LS500

ナビゲーションシステム取扱説明書

クイックガイド	・すぐにナビゲーションでルート案内させるには	1
本機の操作	・各機能を使用する前に知っておきたいこと ・Bluetooth や Wi-Fi® を本機で使用するには	2
ナビゲーション	・地図画面を使用するには ・地図を検索するには ・ルート案内させるには	3
オーディオ＆ ビジュアル	・ラジオを聴くには ・音楽や映像を楽しむには	4
音声操作システム	・ナビゲーションやオーディオを音声で操作するには	5
周辺監視	・車両周囲の状況を確認するには	6
ハンズフリー	・携帯電話をハンズフリーで使用するには	7
G-Link	・G-Link を利用するには	8
ETC2.0 システム	・ETC2.0 システムを利用するには ・ETC2.0 ユニットを使用するには	9
さくいん	・五十音で検索 ・アルファベットで検索	

知っておいていただきたいこと 6
本書の見方..... 7
検索のしかた..... 8

1 クイックガイド

1-1. 基本操作
ディスプレイと操作スイッチ 10
リモートタッチの操作..... 12
メニュー画面について..... 14
分割画面の操作について 16
サブメニューについて..... 18
ステータスアイコンについて 19
設定画面について..... 22
情報画面について..... 23
1-2. ナビゲーション操作
地図画面を操作する..... 24
ルート案内をする..... 25
自宅を登録する..... 26

2 本機の操作

2-1. お使いになる前に
初期画面について..... 28
リモートタッチを操作する 29
文字・数字の入力のしかた／リスト画面の操作 31
マルチインフォメーションディスプレイとナビゲーションシステムの連携 35
2-2. ネットワークの設定
Bluetooth 機器を初期登録する.... 36
Bluetooth の設定をする 41
Wi-Fi® 設定について 49
2-3. その他の設定
共通設定を変更する..... 55
車両設定を変更する..... 63

3 ナビゲーション

3-1. ナビをお使いになる前に
ナビゲーションについて.....68
地図画面について 70
3-2. 地図の基本操作
地図の表示／設定 73
3-3. 情報について
VICS・交通情報を使う.....87
交通ナビ関連情報について 106
3-4. 目的地を探す
目的地の検索 108
検索した地図の操作.....115
目的地を設定してルート探索.....118
全ルート図表示について.....121
目的地案内の開始／中止.....125
ルート案内について.....125
ルートの再探索 133
ルートを変更する 135
3-5. 地点の登録
メモリ地点を登録する.....143
3-6. ナビを使いこなす
ナビゲーションの設定.....152
安全・快適走行の設定.....166
3-7. 知っておいていただきたいこと
GPS について 173
地図データ情報 175
こんなメッセージが表示されたとき 177
故障とお考えになる前に.....180

4 オーディオ＆ビジュアル

4-1. はじめに
基本操作をする..... 184

4-2. ラジオを聞く
ラジオを操作する..... 192

4-3. メディアを操作する
CD を操作する 195
BD/DVD を操作する 197
SD/ サウンドライブラリを操作する 205
地上デジタルテレビを視聴する . 211
USB メモリーを操作する 221
iPod を操作する..... 225
Bluetooth オーディオを操作する 227
AUX を操作する..... 230
Miracast ™を操作する..... 231

4-4. ステアリングスイッチの操作
ステアリングスイッチで操作する 232

4-5. リヤマルチオペレーションパネルの操作
リヤマルチオペレーションパネルで操作する 233

4-6. オーディオの設定をする
オーディオ設定画面について 236

4-7. 後席 11.6 型ワイドディスプレイ
後席 11.6 型ワイドディスプレイについて 247
各部の操作について 249

4-8. 後席ディスプレイで音楽を聞く、映像を見る
ラジオを操作する 258
CD を操作する 259
BD/DVD を操作する 262
サウンドライブラリを操作する ..274
USB メモリーを操作する.....275
iPod を操作する 277
Bluetooth オーディオを操作する 278
地上デジタルテレビを視聴する ..280
SD メモリーカードを操作する ...283
AUX/HDMI を操作する.....291
DLNA を操作する 291
Miracast ™を操作する.....295

4-9. 後席ディスプレイの設定をする
後席ディスプレイ設定画面について 297

4-10.オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて
オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて 301

5 音声操作システム

5-1. 音声操作システムについて
音声操作システム 340

5-2. エージェント（音声対話サービス）について
エージェント（音声対話サービス） 341

5-3. 音声認識の操作
音声認識を利用する.....342
音声認識コマンド一覧.....344
音声認識の設定 351

5-4. モバイルアシスタントの操作
モバイル音声認識の操作について 352

6 周辺監視

6-1. パノラミックビューモニター

パノラミックビューモニターについて 356
シースルービュー／ムービングビューについて 360
パノラミックビュー＆ワイドフロントビューについて..... 361
パノラミックビュー＆サイドクリアランスビュー／コーナリングビューについて 364
パノラミックビュー＆バックビュー／ワイドバックビュー..... 368
ドアミラー格納時の表示について 374
拡大機能について（パノラミックビュー）..... 375
パノラミックビューモニターの注意点について 376
知っておいていただきたいこと . 386

7 ハンズフリー

7-1. お使いになる前に

ハンズフリーについて.....390
ハンズフリーの準備をする.....392

7-2. ハンズフリーの基本操作

ステアリングスイッチで操作する 395
マルチインフォメーションディスプレイとの連携 396
電話をかける 396
電話を受ける 399

7-3. ハンズフリーの便利な使い方

色々な方法で電話をかける.....401
通話中の操作 402
簡易画面について 405

7-4. ハンズフリーの設定を変更する

電話の設定・編集をする.....407
知っておいていただきたいこと ..414

8 G-Link

8-1. はじめに

ご利用の前に知っておいていただきたいこと 418

G-Link について 421

8-2. 各種手続きをする

利用手続きをする..... 423

8-3. G-Link トップ画面

G-Link トップ画面 426

8-4. よく使う情報を登録する（G メモリ地点情報）

G メモリ地点情報..... 427

8-5. 画面操作の説明

G-BOOK Viewer..... 428

G 情報マークを表示する 430

8-6. スマートフォンや携帯電話・パソコンで利用する

スマートフォンや携帯電話・パソコンで利用する 432

8-7. サービスの使い方

ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）を利用する 433

G-Security を利用する 450

リモートメンテナンスサービス . 457

レクサス緊急サポート 24 を利用する 459

マップオンデマンド（地図差分更新）..... 460

ハイブリッドナビ..... 468

G ルート探索（プローブ情報付）を利用する 469

レクサスオーナーズデスクを利用する 471

渋滞予測を表示する..... 473

WEB で目的地を検索する..... 477

エージェントを利用する 478

Lexus Apps を使用する..... 481

CD タイトル情報取得..... 484

8-8. 各種登録・設定

G-Link 設定を変更する 486

契約内容・契約者情報の確認・変更 491

8-9. こんなメッセージが表示されたときは

こんなメッセージが表示されたときは 492

9 ETC2.0 システム

9-1. ETC2.0 ユニット（VICS 機能付）

ETC2.0 サービスについて 496

ETC サービスについて 498

ETC2.0 ユニットの操作 502

ETC2.0 画面の操作.....511

エラーコードについて.....515

さくいん

五十音順さくいん 520

アルファベット順さくいん.....527

知っておいていただきたいこと

本書の内容について

- 本書は、ナビゲーションシステムの取り扱いを説明しています。車両本体の取扱説明書とあわせてお読みください。
- レクサス販売店で取り付けられた装備（販売店装着オプション）の取り扱いについては、その商品に付属の取扱説明書をお読みください。
- ご不明な点は、担当営業スタッフにおたずねください。
- 本書の内容は、仕様変更やソフトウェアの更新などによりお車と一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本書の画面と実際の画面は、装備や契約の有無・地図データの作成時期等によって異なります。
- 操作状況によっては、画面の切り替えに時間がかかったり、黒画やちらつきが生じることがあります。
- 2 章の「本機の操作」には、各機能共通の操作内容、およびはじめに設定しておくと便利なことがまとめられています。本機を初めてお使いになる際は、この章からお読みになることをおすすめします。

ナビゲーションについて

ナビゲーションは、あくまで走行の参考として地図と音声で案内するものですが、精度により、まれに不適切な案内をすることがあります。案内ルートを走行するときは、必ず実際の交通規制（一方通行など）にしたがってください。

データの補償に関する免責事項について

本機は各種データを内蔵メモリーおよび SD メモリーカードに保存します。本機の故障・修理、誤作動、または不具合等により、メモリーに保存されたデータ等が変化・消失することがあります。

お客様がメモリーに保存されたデータについて、正常に保存できなかった場合や損失した場合のデータの補償、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

ダイアグレコーダーについて

お車の万一の故障発生に備えて、回転数や冷却水温度等の故障診断に有用な情報を G-Link システム内に常時記録します。

12V バッテリーの取りはずしについて

本機はエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を OFF にするごとに、各種データを本機に保存しています。各種データの保存が終わる前に 12V バッテリーターミナルを取りはずすと、データが正常に保存できないことがあります。詳しくは、レクサス販売店にお問い合わせください。

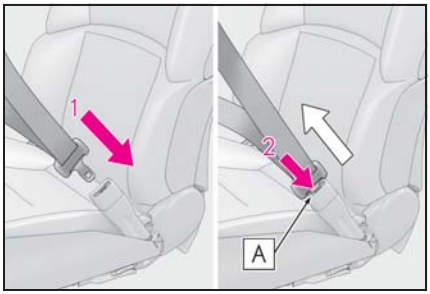
本書の見方

本書で使用している記号について説明します。

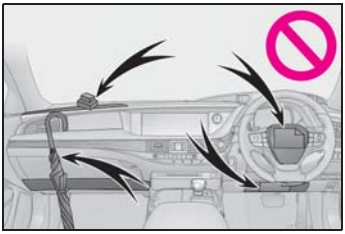
本文の記号について

記号	意味
	警告： お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。
	注意： お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。
	操作・作業の手順を示しています。番号の順に従ってください。
	機能や操作方法の説明以外で知っておいていただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。

イラスト上の記号について



記号	意味
	押す、まわすなど、していただきたい操作を示しています。
	フタが開くなど、操作後の作動を示しています。



記号	意味
	説明の対象となるもの・場所を示しています。
	してはいけません、このようにしないでください、このようなことを起こさないでくださいという意味です。

LS500 と LS500h の表現の違いについて

LS500h特有の語句はLS500特有の語句の後ろに書かれています。

例

エンジンスイッチ※1 <パワースイッチ>※2 をイグニッションONモード※1 < ON モード> ※2 にします。

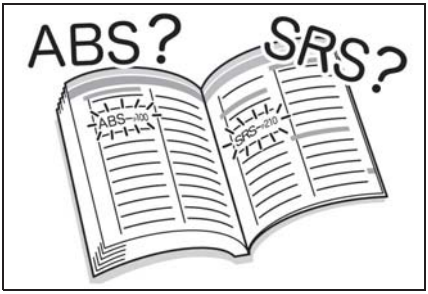
※1 LS500

※2 LS500h

検索のしかた

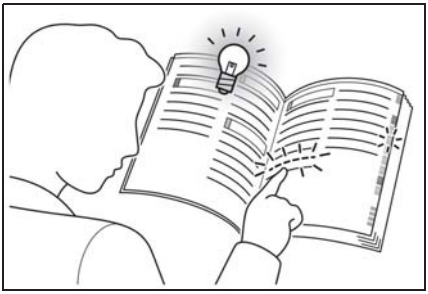
■ 名称から探す

●五十音順さくいん：→P.520
●アルファベット順さくいん：→P.527



■ タイトルから探す

●目次：→P.2



クイックガイド 1

1-1. 基本操作

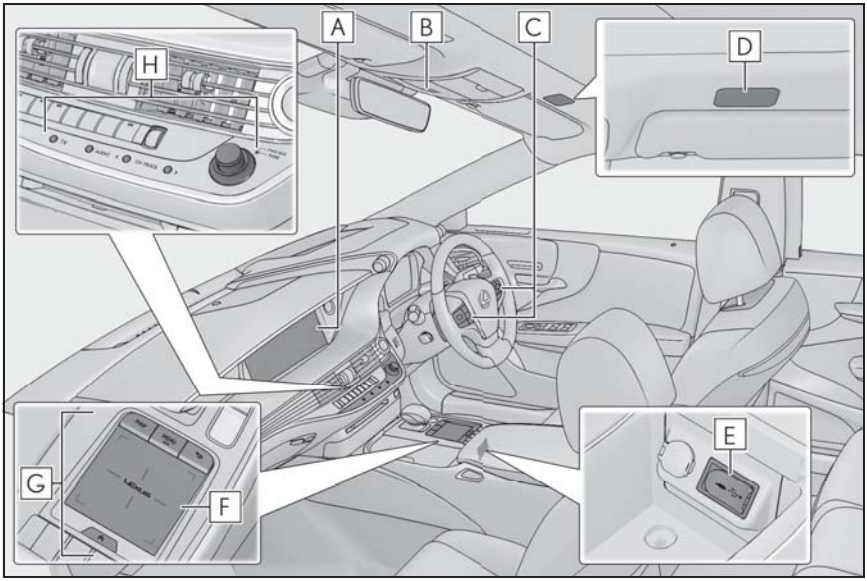
ディスプレイと操作スイッチ 10
リモートタッチの操作 12
メニュー画面について 14
分割画面の操作について 16
サブメニューについて 18
ステータスアイコンについて 19
設定画面について 22
情報画面について 23

1-2. ナビゲーション操作

地図画面を操作する 24
ルート案内をする 25
自宅を登録する 26

ディスプレイと操作スイッチ

各部の名称



A ディスプレイ

B ヘルプネットスイッチ（→P.433）

C ステアリングスイッチ（→P.232、340、395、430、478）

D マイク（→P.340、391、433）

E AUX/USB 端子（→P.187）

F タッチパッド（→P.29）

G リモートタッチ（→P.12）

H オーディオコントロールスイッチ（→P.184）

知識

- －20 ℃以下の低温時には、画面の操作ができなくなったり、SD メモリーカードへの書き込みができなくなります。
- 液晶画面は、斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりします。
- 太陽の光などの外光が画面に当たると画面が見にくくなります。
- 偏光レンズを使用したサングラスなどを装着すると、画面が暗く見えたり、見にくくなったりします。

警告

- 安全のため、運転者は走行中に極力操作をしないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。
- 走行するときは、必ず実際の交通規制にしたがうとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。目的地案内で表示されるルートは、規制標識の変更などにより車両進入禁止などのルートや、道幅が狭く通行できないルートが表示されることがあります。

注意

- 12Vバッテリー上がりを防ぐため、エンジン／ハイブリッドシステム停止中に長時間使用しないでください。

オープンソースソフトウェア（12.3インチディスプレイ）

Free / Open Source Software Information

This product contains Free / Open Source Software（FOSS）.
The license information and / or the source code of such FOSS can be found at the following URL.

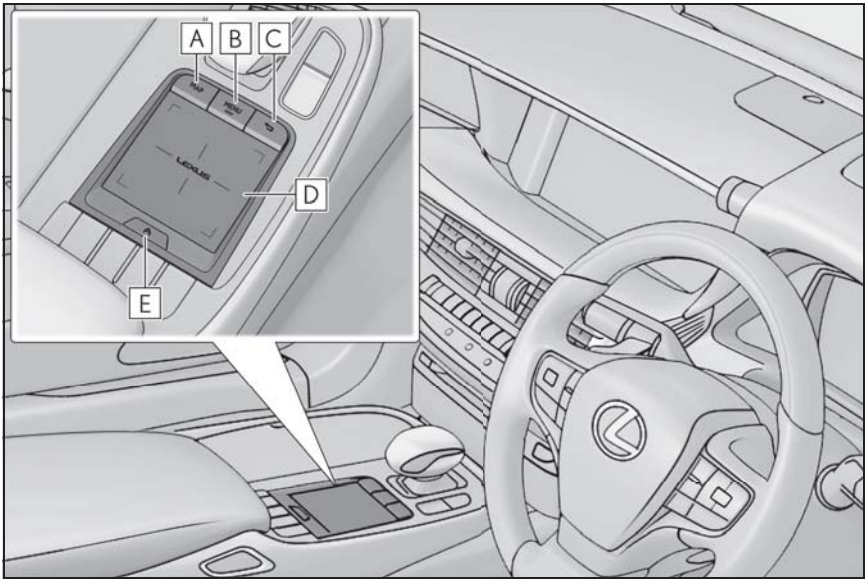
http://www.globaldenso.com/en/opensource/ivi/toyota/

リモートタッチの操作

ナビゲーションシステムは、おもにリモートタッチで操作します。

リモートタッチは、“MAP” ボタン、“MENU” ボタン、戻るボタン、タッチパッド、サブファンクションボタンを含んだ、デバイスの総称です。

各部の名称とはたらき



A “MAP” ボタン

現在地を表示する。(→P.73)

B “MENU” ボタン

メニュー画面を表示する。(→P.14)

C 戻るボタン

1 つ前の画面に戻す。

D タッチパッド

画面上のスイッチを選択または決定する。(→P.29)
リスト画面のスクロールや地図の拡大／縮小など。(→P.30)

E サブファンクションボタン

画面に が表示されているときに各画面ごとに割り当てられたオプション機能を呼び出す。(→P.13)

サブファンクションボタンの使い方

各画面に割り当てられたオプション機能を操作することができます。

1 画面に が表示されている状態でリモートタッチの ボタンを押す。

2 希望の項目を選択。

メニュー画面について

リモートタッチの “MENU” ボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。

メニュー画面の操作

A 目的地を設定する。(→P.108)

B オーディオ操作画面を表示する。(→P.184)

C デジタルテレビを表示する。(→P.211)

D ハンズフリー操作画面を表示する。(→P.396)

E G-Link 画面を表示する。(→P.426)

F 情報画面を表示する。(→P.23)

G 設定・編集画面を表示する。(→P.22)

H エアコン操作画面を表示する。※

※ 詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

オンカーソルショートカットの使い方

メニュー画面の各スイッチにカーソルをあてると、各スイッチに応じたオンカーソルショートカットが表示されます。

オンカーソルショートカットを使用すると、操作手順を省略することができます。

A オンカーソルショートカット

分割画面の操作について

12.3 インチワイド画面では全画面表示で大きく情報を表示したり、分割画面表示で異なる情報を左右に並べて表示・操作することができます。

たとえば地図を表示したままオーディオやエアコン、燃費情報などを並べて表示したい場合などに分割画面を使用します。

各部の名称とはたらき

▶ 全画面表示

▶ 分割画面表示

A メイン画面

主な情報表示や操作はメイン画面で行います。

・画面左側に表示されるサブメニューを使用して、メニュー内の各種機能を切り替えることができます。(→P.18)

B サイド画面

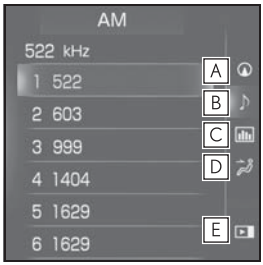
分割表示でメイン画面と異なる情報を並べて表示できます。サイド画面には以下の情報を表示することができます。

・ナビ
・オーディオ
・車両情報
・エアコン

C サイド画面アイコン
サイド画面に表示したい情報を選択して分割画面表示にしたり、サイド画面を非表示にして全画面表示にすることができます。

サイド画面

分割表示でメイン画面と異なる情報を並べて表示できます。



A ナビ操作画面を表示する。(→P.17)

B オーディオ操作画面を表示する。(→P.17)

C 車両情報画面を表示する。※

D エアコン操作画面を表示する。※

E サイド画面を閉じる、または表示する。

※ 詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

ナビの操作

■ 地図のスケール（縮尺）を切り替える

1 拡大するときは ⊕ を選択。縮小するときは ⊖ を選択。

■ 地図の向きを切り替える

1 (ノースアップ表示)、(ヘディングアップ表示)または(3D 表示)を選択。

■ サイド画面の地図画面表示設定をする

1 サイド画面の地図上を選択。

2 設定したい項目を選択する。

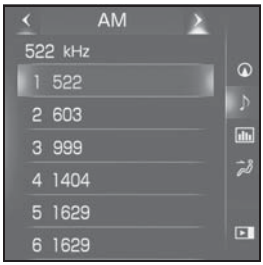
A 周辺施設表示(→P.152)

B VICS 表示(→P.89)

オーディオの操作

■ オーディオソースを切り替える

1 < または > を選択。



■ ラジオの放送局を選ぶ

ラジオ受信時に、プリセットスイッチ

に登録されている放送局を選択することができます。

1 放送局を選択。

■ **選曲する**

各モード再生時に、聞きたい曲（ファイル、トラック）を選択することができます。

1 ⏮または⏭を選択。

● 再生を一時停止したいときは、⏸を選択。

■ **見たい場所を選ぶ**

BD/DVD再生時に、見たいチャプター／トラックなどを選択することができます。

1 ⏮または⏭を選択。

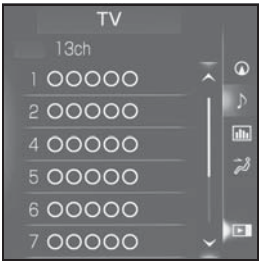
● 再生を停止したいときは、■を選択。

● 再生を一時停止したいときは、⏸を選択。

■ **デジタルテレビの放送局を選ぶ**

選択した放送局の映像を画面表示します。

1 放送局を選択。



知識

●電波の受信状況によっては、放送局名が表示されないことがあります。

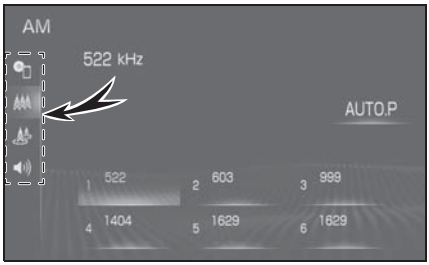
サブメニューについて

メイン画面左側に表示されるサブメニューを使用して、メニュー内の各種機能を切り替えることができます。

分割画面表示の場合は、カーソルをサブメニューアイコンの上に移動させるとサブメニューが表示されます。

サブメニューを表示する

1 カーソルをサブメニューアイコンの上に移動させる。



2 サブメニューから希望の項目を選択。

● カーソルをサブメニューの外に移動させるとサブメニューが閉じます。

知識

●サブメニューの項目は機能毎に異なり

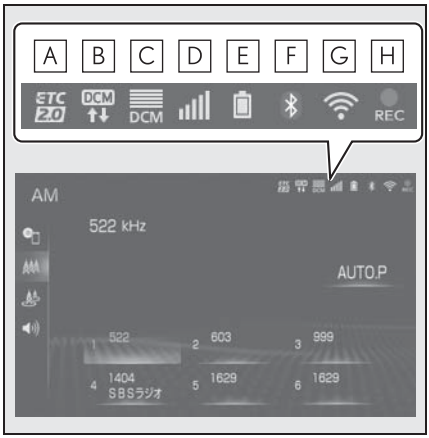
ます。

●全画面表示の場合は常にサブメニューが表示されます。

ステータスアイコンについて

ステータスアイコンは、画面上部に表示されます。

ステータスアイコンの説明



A ETC2.0 表示（→P.512）

・有効期限内の ETC カードが挿入されている場合に表示します。

B 通信モジュール（DCM）が通信中に表示する。

C 通信モジュール（DCM）の受信レベルを表示する。（→P.20）

D Bluetooth 電話機の受信レベルを表示する。（→P.20）

E Bluetooth 電話機の電池残量を表示する。（→P.20）

F Bluetooth 電話機の接続状態を表示する。（→P.21）

G Wi-Fi® の受信レベルを表示する。（→P.20）

H CD 録音中に表示する。（→P.205）

知識

●表示する画面によりステータスアイコンの表示できる数が異なります。

受信レベル表示について

電波の受信レベルの目安を表示します。ただし、携帯電話を使用する場合、データ通信中および電話帳データの転送中は表示されないことがあります。

▶ 携帯電話

レベル	表示
圏外	
弱	
強	

▶ 通信モジュール（DCM）

レベル	表示
圏外	
弱	
強	

▶ Wi-Fi®

レベル	表示
圏外／未接続	
弱	
強	

知識

●/の表示が出ているときは、サービスエリア外または電波の届かない場所にいます。この場合は、携帯電話本体も使用できない可能性があります。/の表示が消えるところまで移動してください。

●ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次の点にも注意してください。

・受信レベルは携帯電話の表示と一致しないことがあります。

・機種によっては、受信レベルの表示ができないことがあります。

・の表示が出ているときは、携帯電話が本機に接続されていません。ハンズフリーを利用する場合は、Bluetooth 接続してからご利用ください。

●Wi-Fi® の受信レベルが弱い場合、使用できないことがあります。

電池残量表示について（携帯電話使用時）

携帯電話の電池残量の目安を表示します。ただし、データ通信中および電話帳データの転送中は表示されないことがあります。

残量	表示
無	
少	
多	

知識

●電池残量表示は携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、電池残量の表示ができないことがあります。

●本システムには携帯電話の充電機能はありません。（Bluetooth 接続時）

Bluetooth 機器の接続状態表示について

携帯電話の Bluetooth 接続状態を表示します。

表示	接続状態
（青色）	Bluetooth 接続の状態が良好であることを示しています。この状態で携帯電話をご使用ください。
（灰色）	この状態では通話時に音質が劣化することがあります。表示が青色になるまで、携帯電話を移動してご使用ください。
	携帯電話が Bluetooth 接続されていない状態を示しています。この状態では携帯電話でのハンズフリーは使用できませんので、再度、携帯電話の選択をご確認ください。（→P.42）携帯電話の登録がされていない場合は、登録を行ってからご使用ください。（→P.36）

知識

● Bluetooth 通信用の車両側アンテナが本機内に内蔵されています。
Bluetooth 携帯電話を使用するときは、青色の表示が出るように、携帯電話の場所を移動させてください。
また、次のような場所や状態で Bluetooth 携帯電話 / ポータブル機を使用すると、Bluetooth の接続ができないことがあったり、携帯電話の Bluetooth 接続状態表示が灰色になることがあります。

・ 携帯電話 / ポータブル機がディスプレイから隠れる場所にあるとき
（携帯電話 / ポータブル機がシートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど）
・ 携帯電話 / ポータブル機が金属製のものに接したり、覆われているとき

● 携帯電話 / ポータブル機を省電力モードに設定していると、自動的に Bluetooth 接続が切断されてしまうことがあります。この場合は、携帯電話 / ポータブル機の省電力モードを解除してください。

設定画面について

設定・編集画面を表示する

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。

2 “設定・編集”を選択。

3 サブメニューから希望の項目を選択。

A 共通の設定を変更する。(→P.55)

B Bluetooth の設定をする。(→P.41)

C オーディオシステムの設定をする。(→P.236)

D ハンズフリーシステムの設定をする。(→P.407)

E ナビゲーションシステムの設定をする。(→P.125、132、135、143、152、175、464)

F 車両の設定をする。(→P.63)

G Wi-Fi® の設定をする。(→P.49)

H G-Link の設定をする。(→P.486)

I 音声認識の設定をする。(→P.351)

J ETC2.0 の設定をする。(→P.513)

情報画面について

情報画面を表示する

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。
2 “情報”を選択。
3 サブメニューから希望の項目を選択。

A エネルギーモニターや燃費情報画面を表示する。※1

B VICS 図形情報、文字情報を表示する。(→P.90)
緊急情報を表示する。(→P.91)
割込情報を表示する。(→P.93)
ETC2.0 サービス割込情報を表示する。(→P.93)

C 高速渋滞予測情報を表示する。(→P.473)

D ETC2.0 画面の表示をする。(→P.511)

E メディアの取り外し画面を表示する。(→P.189)

F 電子取扱書を表示する。※2

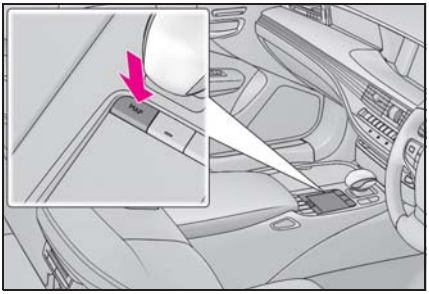
※1詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

※2本書に同梱されている冊子「電子取扱書」をご覧ください。

地図画面を操作する

地図に現在の車の位置を表示する

1 リモートタッチの “MAP” ボタンを押す。



● 現在の車の位置 が表示されます。

■ **地図画面の表示について**

次のような表示をすることもできます。

● 地図の向きをかえる（→P.75）

● 地図を立体的に表示する（→P.75）

● 地図の表示色をかえる（→P.153）

● 市街図を表示する（→P.74）

地図を動かす

1 地図を選択。

● 選択した位置が画面の中央に移動します。

● リモートタッチの “MAP” ボタンを押すと、現在地に戻ります。

地図を拡大／縮小する

■ **地図を拡大する**

1 を選択、またはリモートタッチのタッチパッドでピンチアウト操作をする。（→P.31）

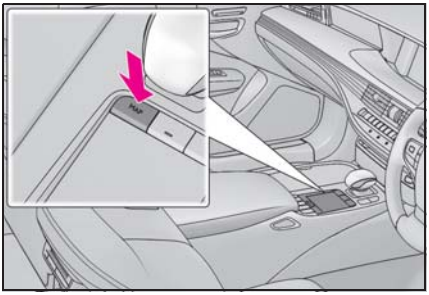
■ **地図を縮小する**

1 を選択、またはリモートタッチのタッチパッドでピンチイン操作をする。（→P.31）

ルート案内をする

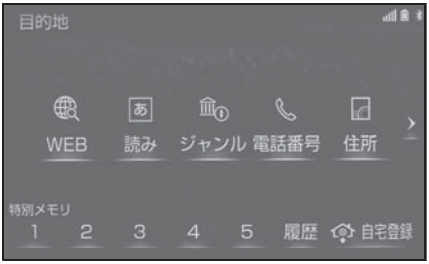
目的地を決める

1 リモートタッチの “MAP” ボタンを押す。



2 “目的地” を選択。

3 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示する。（→P.108、115）



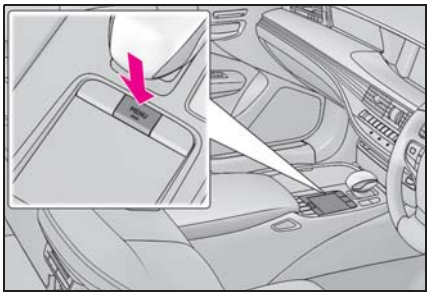
4 “目的地セット” を選択。

5 “案内開始” を選択。

ルート案内を中止する

ルート案内中に寄り道をしたいときなどには、ルート案内を中止することができます。中止しても目的地は消去されません。

1 リモートタッチの “MENU” ボタンを押す。



2 “設定・編集” を選択。

3 サブメニューの “ナビ” を選択。

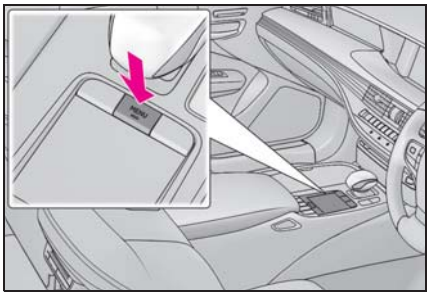
4 “案内中止” を選択。

● 案内を再開するときは、“案内再開” を選択。

目的地を消去する

ルート案内が不要になったときには、目的地を消去することができます。

1 リモートタッチの “MENU” ボタンを押す。



2 “目的地” を選択。

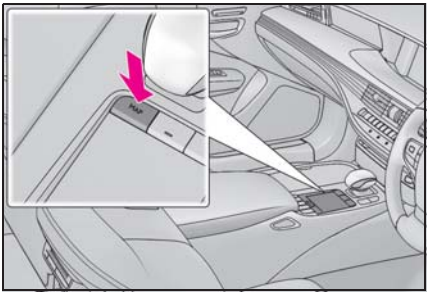
3 “目的地消去” を選択。

4 “はい” を選択。

自宅を登録する

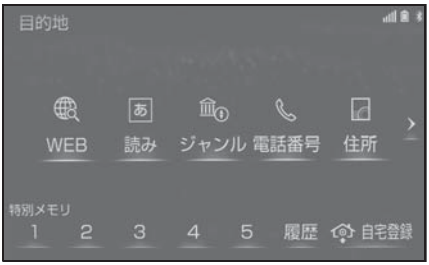
自宅を登録する

1 リモートタッチの “MAP” ボタンを押す。



2 “目的地” を選択。

3 “自宅登録” を選択。



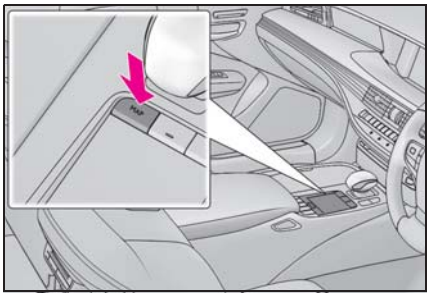
4 地図の呼び出し方法を選び、登録する地点の地図を表示する。(→P.108、115)

5 “セット” を選択。

6 “完了” を選択。

自宅を目的地に設定する

1 リモートタッチの “MAP” ボタンを押す。



2 “目的地” を選択。

3 “自宅に帰る” を選択。

本機の操作 2

2-1. お使いになる前に

初期画面について..... 28
リモートタッチを操作する..... 29
文字・数字の入力のしかた／リスト画面の操作 31
マルチインフォメーションディスプレイとナビゲーションシステムの連携 35

2-2. ネットワークの設定

Bluetooth 機器を初期登録する.. 36
Bluetooth の設定をする 41
Wi-Fi® 設定について 49

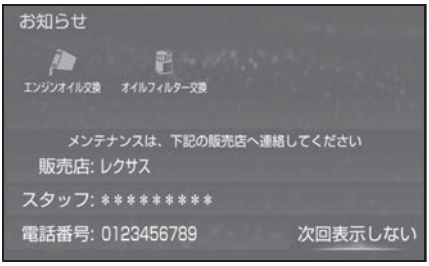
2-3. その他の設定

共通設定を変更する..... 55
車両設定を変更する..... 63

初期画面について

エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード＜ ON モード＞にすると初期画面が表示されます。

メンテナンスの案内表示について



オイルなどの消耗部品の交換時期･各種点検時期･免許証の更新などのイベント時期の案内を行う機能です。

各メンテナンス項目について、あらかじめ設定した日付や走行距離に達すると、システム起動時に案内が表示されます。

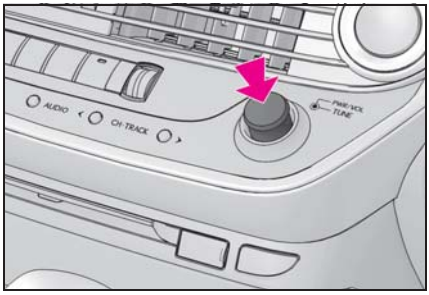
知識

- メンテナンス項目は同時に4つまで案内されます。5つ以上の項目があるときは、（その他）が表示されます。
- “次回表示しない” を選択すると、次にナビゲーション画面が立ち上がるときは、案内されません。
- メンテナンス項目を設定する：→P.63

システムを再起動する

システムの応答が非常に遅い場合、システムを再起動することができます。

1 “PWR・VOL” ノブを 3 秒以上押し続けます。

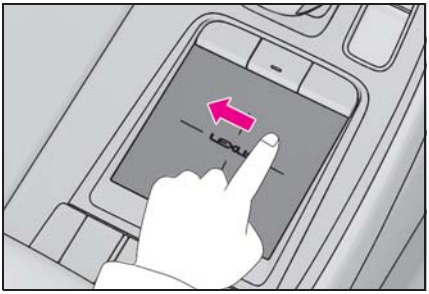


リモートタッチを操作する

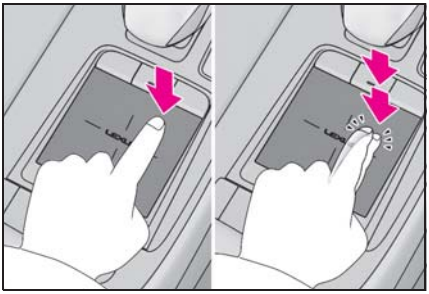
タッチパッドの操作

1 リモートタッチのタッチパッドを操作して、ポインタ ※ を画面スイッチに合わせる。

※ ポインタとはタッチパッドの操作に合わせて画面上を動くマークです。



2 タッチパッドを押す、またはダブルタップ（→P.30）で決定する。



知識

- タッチパッドの操作は指で行ってください。爪やペン等では操作できません。
- ポインタを動かす操作は1本の指で行ってください。他の指がふれているとポインタを操作することができません。
- タッチパッドに水や異物が付着した場合、誤作動を起こすことがあります。その場合、水や異物を抜き取り、30 秒ほど待ってから操作してください。
- 以下の場合、タッチパッドが正常に反応しないおそれがあります。
  - ・手袋などを装着しているとき
  - ・濡れた手で操作したとき
  - ・タッチパッドにフィルムなどを貼ったり、塗装などをしたとき
  - ・タッチパッドに水や汚れなどが付着しているとき
  - ・近くにテレビ塔や発電所、ガソリンスタンド、放送局、大型ディスプレイ、空港など、強い電波やノイズの発生する場所があるとき
  - ・無線機や携帯電話などの無線通信機器を携帯しているとき
  - ・タッチパッドに以下のような金属物が置かれているとき
    小銭
    鍵
    財布やかばんの金属部品
    アルミ箔などが貼られたカード
    アルミ箔を使用したタバコの箱
    使い捨てカイロ
    CD/DVD などのメディア、USB などのケーブル
  - ・-20 ℃以下の低温時
- エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード＜ ON モード＞にしたとき、手や物がタッチパッドに置かれていた場合、タッチパッドが正常に反応しなくなることがあります。その場合、タッチパッドに置かれているものを取り除き、30 秒ほど待ってから再度操作してください。それでも反応しない場合は、エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を OFF にし、再度アクセサリーモードまたはイグニッション ON モード＜ ON モード＞にしてください。
- タッチパッドが汚れていると、タッチ操作の反応が悪くなる場合があるため、こまめに清掃してください。タッチパッドを清掃する際は、誤作動を防ぐためエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を

OFF にした状態で行ってください。

注意

- リモートタッチの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因になります。
- リモートタッチに飲料水や雨水などをかけないでください。変色したり漏電の原因になります。
- タッチパッドを強く押したり、先のとがったもので操作したりしないでください。破損の原因になります。

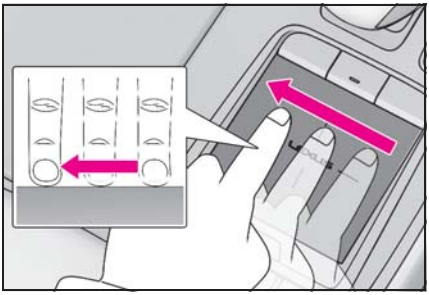
タッチパッドの操作方法

タッチパッドで以下の操作が可能です。

なぞり操作

タッチパッドにふれた状態でパッド面をなぞります。

- カーソルやポインタを動かすことができます。



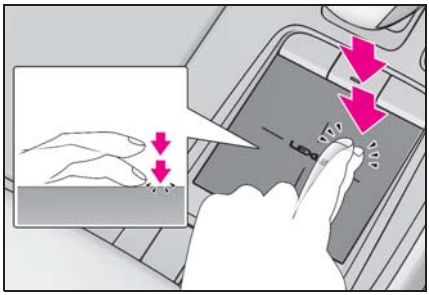
知識

- ポインタの移動速度などタッチパッドの設定を変更することができます。(→P.55)

ダブルタップ

タッチパッドを指先で素早く軽く 2 回叩きます。

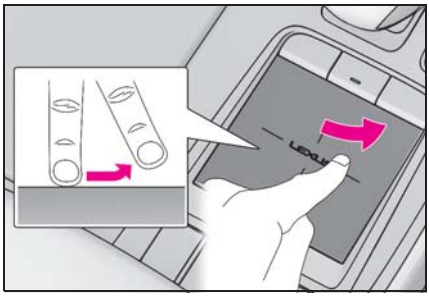
- タッチパッドを押した時と同様に、ポインタで選んだ画面スイッチを決定することができます。



フリック

タッチパッドにふれた指先を素早く大きく払います。

- リスト画面のスクロールや地図を動かすことができます。



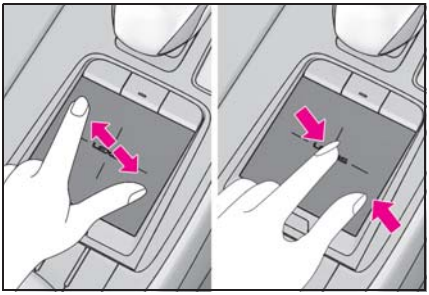
知識

- 地図を動かすには、ナビ詳細設定の地図フリック操作を「する」に設定する必要があります。(→P.165)
- 走行中と停車中でフリック操作の動きが異なります。

ピンチアウト／ピンチイン

タッチパッドにふれた 2 本の指を広げたり近づけたりします。

● 地図の拡大や縮小を行うことができます。



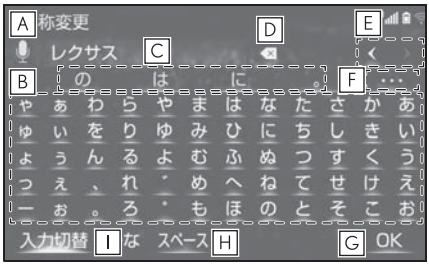
文字・数字の入力のしかた／リスト画面の操作

文字・数字の入力のしかた

ソフトウェアキーボードを使用して、名前や電話番号などを入力します。

● 各スイッチの働きは、各入力時とも共通です。

▶ 画面例（かな・漢字入力）



▶ 画面例（英数字入力）

A 音声認識で文字を入力する。

・ 音声認識で文字を入力するには、別途 G-Link の利用手続きをしていただく必要があります。（→P.423）

B 各種文字を入力する。

C 予測変換候補を表示する。

D 文字を消去する。

・ カーソルが文字の右にあるときは、カーソルの左の文字を消去します。

・ 続けて選択すると、カーソルの位置から 1 文字ずつ順に消去します。

E カーソルを移動する。

・ 続けて選択すると、連続してカーソルが移動します。
・ 未確定の場合は、未確定の範囲内でカーソルが移動します。
・ 確定、未確定に関係なく、カーソルを移動した位置から文字を挿入できます。
・ 変換範囲のみ変換するときは、希望の候補を選択。変換範囲（文節）が間違っているときは、＜・＞を選択して変換範囲を修正する。

F 表示されている以外の予測変換候補を表示する。

G ソフトウェアキーボードを終了する。

・ キーボードが表示される前の画面に戻り、文字が入力される。

H カーソルの左に空白を入力する。

I 文字の入力モードを切り替える。

・ “かな”：ひらがな、漢字を入力
・ “カナ”：カタカナを入力
・ “英数字”：アルファベット、数字を入力
・ “数記号”：数字、記号を入力

J 大文字入力と小文字入力を切り替える。

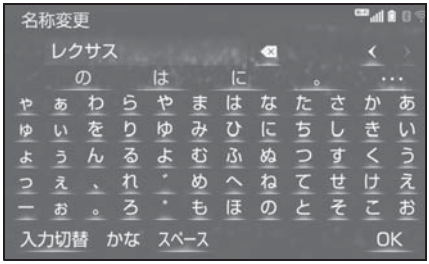
K 半角入力と全角入力を切り替える。

知識

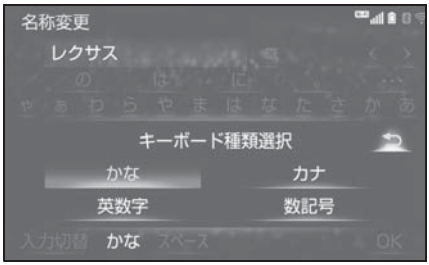
● ソフトウェアキーボードが表示される状況により、キーボード画面の意匠が異なったり、入力方法が限定されたりします。

入力モードの切り替え

1 “入力切替” を選択。



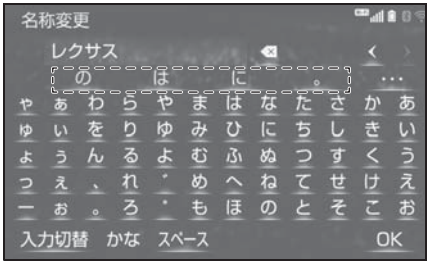
2 変更したいキーボードの種類を選択。



予測変換候補を表示する

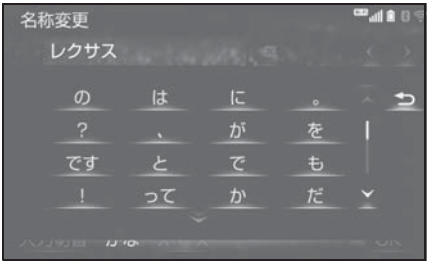
文字を入力すると、未確定文字の後に続く文字を予測して、読みの先頭部分が一致する予測変換候補を表示します。

1 かな入力状態で、文字を入力する。
2 予測変換候補を選択する。



● 表示されてる以外の候補を選択したいときは、・・・を選択し、希望

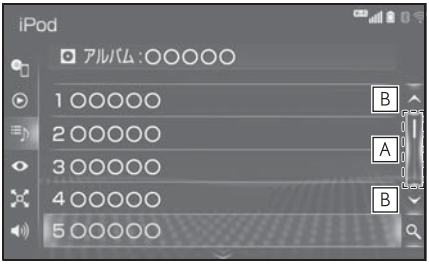
の予測変換候補を選択する。



リスト画面

地図を呼び出すときなどに複数の候補（選択項目）がある場合、リスト画面が表示されます。希望の候補がないときは、リストをスクロールし、希望の候補を選択します。

リスト画面のスクロール



A この部分を選択し、スクロールバーを操作するとリストスクロールすることができます。
リストスクロールを解除したいときは、再度スクロールバーを選択します。

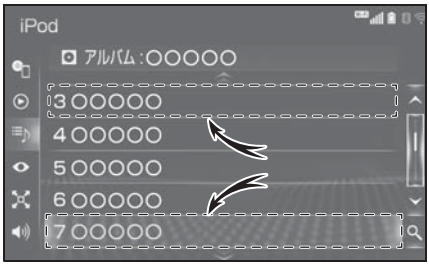
B 選択すると、リストがスクロールします。

知識

●地図フリック操作を「しない」に設定していても、操作することができます。（→P.165）

リスト画面のフリック操作

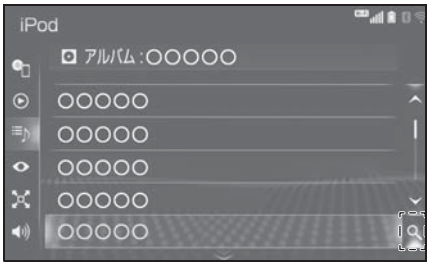
リストの上部または下部にカーソルを合わせた状態でフリック操作をすると、リストをスクロールすることができます。



リストの検索

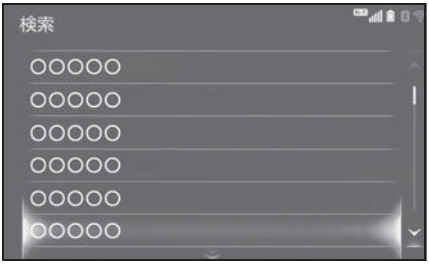
リストに表示されている項目の中から、希望の候補を検索することができます。

1 を選択。



2 文字を入力して“検索”を選択。

3 検索結果がリストに表示される。



知識

●文字を入力するとサイド画面に検索候補リストが表示されます。

リストを並び替える

リストの表示順序を以下のように並べ替えることができます。

● 距離順

● 名称順（50 音順）

● 登録順

など

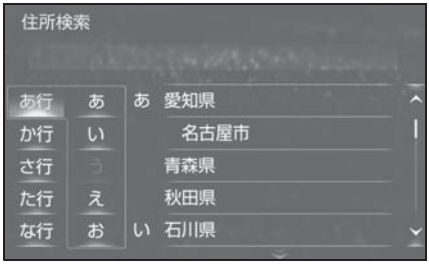
1 画面に“ソート”が表示されたとき、リモートタッチの ボタンを押す。

2 希望の項目を選択します。

複数の候補から項目を選ぶ

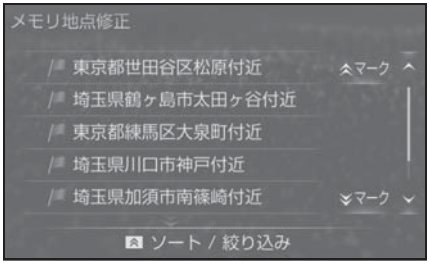
地図を呼び出すときなどに複数の候補（選択項目）がある場合、リスト画面が表示されます。希望の候補がないときは、リストを切り替え、希望の候補を選択します。

▶ 行ごとにリストを切り替える

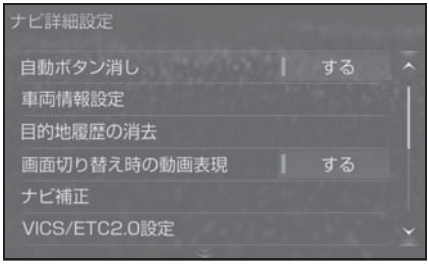


● “あ行”を選択するとあ行のリストに切り替わります。
それと同時に、“あ”から“お”を切り替えるポップアップが表示されます。

▶ マークの種類ごとにリストを切り替える

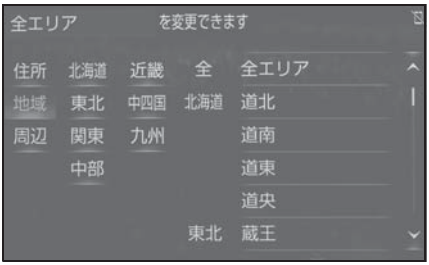


▶ 1 ページずつリストを切り替える

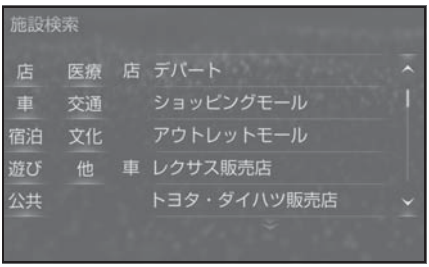


▶ 種類ごとにリストを切り替える

▶ 地域ごとにリストを切り替える



▶ 施設項目ごとにリストを切り替える



マルチインフォメーションディスプレイとナビゲーションシステムの連携

以下の機能は、メーター内にあるマルチインフォメーションディスプレイと連動します。

- ナビゲーション
- オーディオ
- 電話

など

これらの機能はステアリングのメーター操作スイッチで操作することができます。詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

Bluetooth 機器を初期登録する

ハンズフリーや Bluetooth オーディオを使用するためには、携帯電話／ポータブル機を本機に初期登録する必要があります。初期登録完了後は、システムを起動するたびに自動で Bluetooth 接続します。

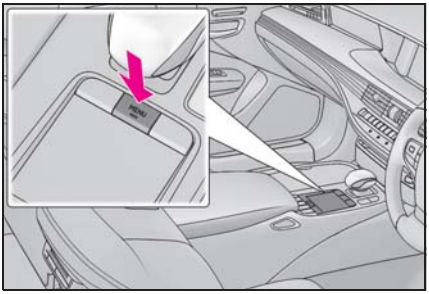
機器を登録する

■ **本機側から登録する**

1 接続する携帯電話／ポータブル機側の Bluetooth 接続機能をオンにする。

● 接続する携帯電話／ポータブル機側の Bluetooth 接続機能がオフの状態ではこの機能は使用できません。

2 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。



3 “設定・編集”を選択。

4 サブメニューの“Bluetooth”を選択。

5 次のいずれかの操作をする。

● 機器がすでに登録されている場合：“機器追加”を選択。

● 機器が未登録の場合：“はい”を選択。

6 追加する機器を選択。

● リスト上に登録したい機器が表示されない場合は、画面下の“見つからない場合は・・・”を選択して携帯電話からの登録を行ってください。（→P.37）

● 複数の携帯電話／ポータブル機を使用する場合は、メッセージが表示されることがあります。画面の案内にしたがって操作してください。

● 携帯電話／ポータブル機の機種により、特定の画面を携帯電話／ポータブル機側で表示させないと、追加機器のリストに表示されない場合があります。詳しくは携帯電話／ポータブル機に添付の取扱説明書をご覧ください。

7 登録する携帯電話／ポータブル機に表示される PIN コードと本機に表示されている PIN コードが同じことを確認する。

● 登録する機種によっては携帯電話／ポータブル機での操作が必要な場合があります。

8 接続完了のメッセージが表示され、“登録機器”画面に登録した携帯電話／ポータブル機の名称が表示される。

● 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従い、操作してください。

知識

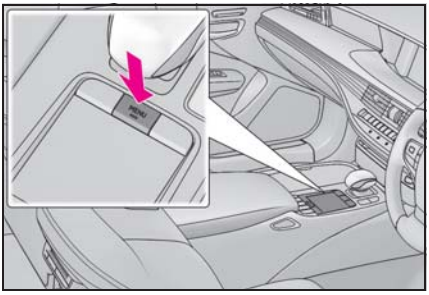
●登録時、携帯電話／ポータブル機側に登録完了が表示されても、本機側の登録が完了しない場合があります。
その場合、携帯電話／ポータブル機側か

ら Bluetooth の接続を行ってください。

■ 携帯電話／ポータブル機側から登録する

本機側からの接続失敗時や機器接続画面上に登録する機器名称が見つからない場合に手動接続します。

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。



2 “設定・編集”を選択。

3 サブメニューの“Bluetooth”を選択。

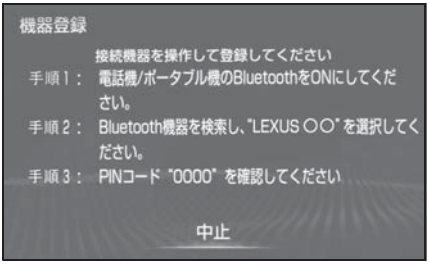
4 “機器追加”を選択。

5 リモートタッチの⌃ボタンを押す。

6 “見つからない場合は・・・”を選択。

7 “機器から登録する”を選択。

8 Bluetooth 登録画面が表示されたら、携帯電話／ポータブル機から Bluetooth 登録する。



● 携帯電話側／ポータブル機側の登録操作は、必ずこの Bluetooth 接続画面を表示させて行ってください。

● 携帯電話／ポータブル機の Bluetooth 接続機能をオンにしてください。

9 携帯電話本体／ポータブル機本体で、本機に表示されている機器名称を選択し、PIN コード（パスキー）を入力する。

● 携帯電話／ポータブル機の機種により、PIN コード（パスキー）入力後に携帯電話／ポータブル機の操作が必要になる場合があります。

● SSP（Secure Simple Pairing）に対応している携帯電話は、PIN コード（パスキー）を入力する必要はありません。ただし、機種によっては携帯電話に確認メッセージが表示される場合があります。表示にしたがって操作してください。

● ポータブル機で PIN コード（パスキー）入力できないときは、本機の PIN コード（パスキー）をポータブル機の PIN コード（パスキー）に変更し（→P.48）操作しなおしてください。

10 初期登録が完了すると、メッセージが表示される。

● 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従い、操作してください。

知識

● 携帯電話を Bluetooth オーディオとしても使用したい場合は、同時に登録できます。

- Bluetooth機器は、5台まで本機に登録できます。
- Bluetooth機器側の操作は、Bluetooth機器に添付の取扱説明書をご覧ください。
- 複数の Bluetooth 機器を使用する場合は、Bluetooth 機器の数だけ登録を繰り返します。
- PIN コード（パスキー）とは、Bluetooth 機器を本機に登録する際のパスワードです。任意の数字に変更することもできます。（→P.48）
- 一番新しく登録したBluetooth機器が本機で使用するBluetooth機器として選択されます。
- 携帯電話の設定によっては、接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。
- HFP に対応していない携帯電話は、本機に携帯電話として登録ができません。また、そのような携帯電話では、OPP およびPBAPのみのサービスは利用できません。（→P.38）
- 接続する携帯電話により、動作や音量が異なることがあります。
- 携帯電話やポータブル機を接続しているときに、他の機器を登録する場合、オーディオ再生しているポータブル機、または携帯電話の接続を切断します。
- Bluetooth 接続している携帯電話で Miracast ™を使用している場合は、Bluetooth オーディオの音が出ないことがあります。Miracast ™を切断すると Bluetooth オーディオの音が出るようになることがあります。
- Miracast ™を利用中に Bluetooth 機器の登録をすると、Miracast ™の音が途切れるときがあります。

Bluetooth オーディオの機器を登録する

Bluetooth オーディオを使用するには、システムに登録する必要があります。一度登録すると Bluetooth オーディオが使用可能になります。

1 接続する携帯電話／ポータブル機側の Bluetooth 接続機能をオンにする。

- 接続する携帯電話／ポータブル機側の Bluetooth 接続機能がオフの状態ではこの機能は使用できません。

2 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。
3 “オーディオ” を選択。
4 サブメニューの“オーディオ選択” を選択。
5 “Bluetooth” を選択。
6 “はい” を選択。
7 「本機側から登録する」（→P.36）の手順 **6** 以降と同じ操作をします。

Bluetooth の仕様、対応プロファイルについて

■ 対応 Bluetooth 仕様

- Bluetooth Specification Ver.2.0 以上（Ver.4.1+EDR 以上を推奨）

■ 対応プロファイル

- HFP(Hands Free Profile) 要求バージョン：Ver. 1.0 以上（推奨バージョン：Ver. 1.7）

・ハンズフリーを行うためのプロファイル

- OPP(Object Push Profile) 要求

バージョン：Ver. 1.1 以上（推奨バージョン：Ver. 1.2）

・電話帳データの転送を行うためのプロファイル

● PBAP(Phone Book Access Profile) 要求バージョン：Ver. 1.0 以上 （推奨バージョン：Ver. 1.2）

・電話帳データおよび通話履歴などの同期を行うためのプロファイル

● SPP(Serial Port Profile) 要求バージョン：Ver. 1.1 以上 （推奨バージョン：Ver. 1.2）

・Bluetooth 搭載機器を仮想シリアルポート化するためのプロファイル

● A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) 要求バージョン：Ver. 1.0（推奨バージョン：Ver. 1.3）

・オーディオを転送するためのプロファイル

● AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile) 要求バージョン：Ver. 1.0（推奨バージョン：Ver. 1.6）

・オーディオをリモートコントロールするためのプロファイル

警告

●ハンズフリーを携帯電話で使用する場合、安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体の操作をしないでください。

●安全な場所に停車して電話をかけてください。運転中に電話がかかってきたときは、安全運転に留意し、通話は手短にしてください。

注意

●携帯電話は車室内に放置しないでください。
炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

Bluetooth 携帯電話について

Bluetooth 携帯電話は、本機と携帯電話との間の通信を無線（Bluetooth）を使用して行う携帯電話です。

例えば、ポケットなどに携帯電話を入れたままでも、そのままの状態でハンズフリーがご利用いただけます。

知識

●Bluetooth 携帯電話と他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。

●同じ 2.4GHz 帯の無線通信を行う Wi-Fi®、Miracast ™と Bluetooth 携帯電話を本機で同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響を及ぼすことがあります。この場合は、本機の Wi-Fi® 機能を利用しない設定にすると快適にご利用できます。

●Bluetooth 携帯電話は、Bluetooth 接続により、携帯電話の電池が早く消耗します。

●この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
（上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）
この機器を使用する前に、近くで「他の

無線局」が運用されていないことを確認してください。
万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

●この機器の使用周波数帯は2.4GHz帯です。
変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。
想定与干渉距離は 10m 以下です。
この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

注意

●Bluetooth 携帯電話を本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。

■ ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Bluetooth 通信時の電波について、次の点にご注意ください。

知識

●Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG,inc が所有する登録商標であり、「パナソニック株式会社」はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

●本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。

●本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

警告

●Bluetooth 通信用の車両側アンテナは本機内に内蔵されています。

●植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。

Bluetooth オーディオと同時に使用するとき

● Bluetooth オーディオとハンズフリーで異なる Bluetooth 対応機器（携帯電話）を同時に使用するときは、次のようになります。

・携帯電話の Bluetooth 接続が切断されることがあります。
・ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。
・ハンズフリーの動作が遅くなることがあります。

● Bluetooth オーディオを再生中にハンズフリーで使用する通信機器の選択を変更した場合、再生音声が途切れることがあります。

● 電話帳データ転送中は、ポータブル機の接続が切断されることがあります。
この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります。）

● ハンズフリー接続とオーディオ接

続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時にできない場合があります。

● 本機で携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をレクサス販売店または http://lexus.jp/ でご確認ください。

Bluetooth の設定をする

使用する機器の選択や、電話機の情報を変更することができます。

Bluetooth の各種設定をする

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。

2 “設定・編集”を選択。

3 サブメニューの“Bluetooth”を選択。

4 各項目を設定する。

A 登録済みの Bluetooth 機器の表示および接続機器の選択をする。(→P.42)

B 新たに Bluetooth 機器の登録追加をする。(→P.36)

C 登録済みの Bluetooth 機器の登録削除をする。(→P.41)

D 接続されている Bluetooth 機器の詳細情報の確認・設定およびシステム設定の変更をする。(→P.47)

Bluetooth 電話機の登録を削除する

1 Bluetooth 設定画面を表示する：

● リモートタッチの“MENU”ボ

タン → “設定･編集” → サブメニューの “Bluetooth” を順に選択。

2 “機器削除” を選択。

3 削除したい携帯電話を選択する。

4 “はい” を選択。

知識

●緊急通報中（ヘルプネット動作中）は、携帯電話の登録を削除することはできません。

使用する通信機器を選択する

携帯電話の登録をすると、一番新しく登録した携帯電話が本機で使用する携帯電話として選択されます。

複数の携帯電話を使用するときや通信モジュールを使用するときは、必要に応じて通信機器を選択します。

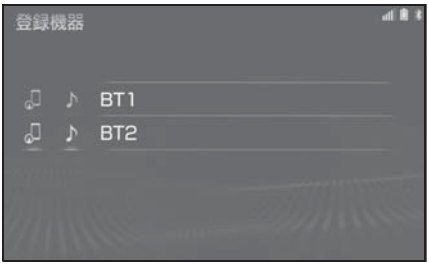
1 Bluetooth 設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “設定･編集” → サブメニューの “Bluetooth” を順に選択。

2 “登録機器” を選択。

3 携帯電話を使用するときは、携帯電話を Bluetooth 接続可能状態にする。

4 使用する携帯電話または“通信モジュール（DCM）” を選択。



: 電話機

: オーディオプレーヤー

: DCM

: スマホ連携対応電話機

5 “（機器名称）の接続” または “電話機の接続”、“ポータブル機の接続” を選択。

● 他の携帯電話が Bluetooth 接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ、“はい” を選択します。

● 接続完了のメッセージが表示されたら、携帯電話が使用できます。

● 携帯電話の登録については、「Bluetooth 機器を初期登録する」（→P.36）を参照ください。

知識

●携帯電話は本機に最大5台まで登録することができますが、本機で使用できるのは電話機選択で選択された携帯電話のみです。

●Bluetooth オーディオ再生中に電話機選択をした場合、音声が途切れることがあります。

●携帯電話の機種により携帯電話の操作が必要な場合があります。

●緊急通報中（ヘルプネット動作中）は、通信機器を選択することはできません。

電話機詳細情報の確認・設定をする

本機に登録されている携帯電話、または通信モジュールの情報を確認及び設定をすることができます。

1 Bluetooth 設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “設定･編集” → サブメニューの “Bluetooth” を順に選択。

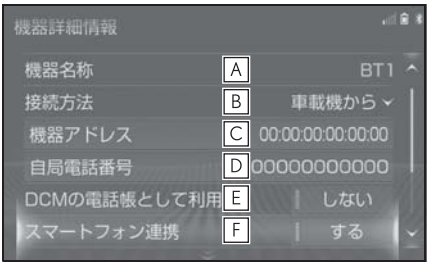
2 “登録機器” を選択。

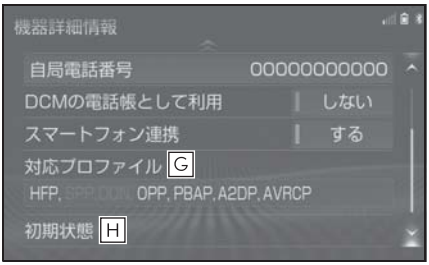
3 詳細情報を表示したい携帯電話または “通信モジュール（DCM）” を選択。

4 “機器詳細情報” または “通信モジュール詳細情報” を選択。

5 各項目の設定・確認をする。

▶ 機器詳細情報画面





A 本機に表示される携帯電話の名称です。任意の名称に変更することができます。

B 本機との接続方法を選択することができます。

C 機器固有のアドレスです。

・変更することはできません

D 携帯電話の電話番号です。

E 本機に登録してある携帯電話の電話帳を通信モジュール（DCM）使用時でも利用することができます。

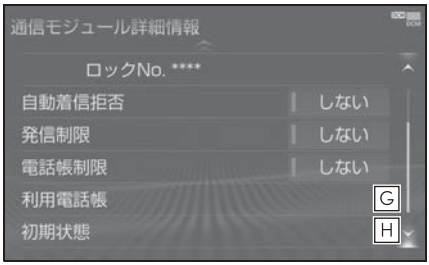
F スマートフォン連携を “する”、“しない” の設定ができます。

G 携帯電話で対応しているプロファイルです。

・変更することはできません

H 初期状態の設定に戻ります。

▶ 通信モジュール詳細情報画面



A 本機に表示される通信モジュールの名称です。

B DCM の電話番号です。

C ロック No. の変更ができます。

D 通信モジュールに電話がかかってきたとき自動着信拒否を設定・解除ができます。

E 通信モジュールでの発信の制限の設定・解除ができます。

F 電話帳利用の制限の設定・解除ができます。

G 登録してある電話帳を通信モジュールで利用の設定・解除ができます。

H 初期状態の設定に戻ります。

知識

- 自局電話番号は携帯電話の機種によっては、表示されない場合があります。
- 通信モジュール詳細情報設定で、初期状態に戻すと、すべての電話帳データが削除されます。
- 表示されている対応プロファイルが本機で使用できないことがあります。詳しくは携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。

携帯電話の名称を変更する（携帯電話使用時）

本機に表示される携帯電話の名称を変更することができます。

1 Bluetooth 設定画面を表示する：

- リモートタッチの “MENU” ボタン → “設定･編集” → サブメニューの “Bluetooth” を順に選択。

2 “登録機器” を選択。

3 “（名称変更したい電話機）” を選択。

4 “機器詳細情報” を選択。

5 “機器名称” を選択。

6 ソフトウェアキーボードを使用して名称を入力し、“OK” を選択。

知識

- 本機で機器名称を変更しても、携帯電話に登録されている機器名称は変更されません。

登録してある電話帳を DCM の電話帳として利用する（通信モジュール装着時）

本機に登録してある携帯電話の電話帳を通信モジュール使用時でも利用することができます。

1 Bluetooth 設定画面を表示する：

- リモートタッチの “MENU” ボタン → “設定･編集” → サブメニューの “Bluetooth” を順に選択。

2 “登録機器” を選択。

3 “（利用したい電話機）” を選択。

4 “機器詳細情報” を選択。

5 “DCM の電話帳として利用” を選択。

- 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

Bluetooth オーディオとの接続方法を設定する（携帯電話使用時）

Bluetooth オーディオと本機の接続を、どちら側からするか選ぶことができます。

1 Bluetooth 設定画面を表示する：

- リモートタッチの “MENU” ボタン → “設定･編集” → サブメニューの “Bluetooth” を順に選択。

2 “登録機器” を選択。

3 “（接続したいBluetoothオーディオ）” を選択。

4 “機器詳細情報” を選択。

5 “接続方法” を選択し、“車載機から” または “ポータブル機から” を選択。

● 本機側から接続するときは、“車載機から”を選択。

● Bluetooth オーディオから接続するときは、“ポータブル機から”を選択。

セキュリティを設定・解除する（ロック No. の変更）（通信モジュール装着時）

セキュリティを設定するときは、ロック No. を変更する必要があります。ロック No. の初期設定は「0000」です。

1 Bluetooth 設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “設定･編集” → サブメニューの “Bluetooth” を順に選択。

2 “登録機器” を選択。

3 “通信モジュール（DCM）” を選択。

4 “通信モジュール詳細情報” を選択。

5 “ロック No.” を選択。

6 現在のロック No.（4 桁数字）を入力し、“完了” を選択。

● 間違えたときは、“修正” を選択。

7 新しいロック No.（4 桁数字）を入力し、“完了” を選択。

8 入力したロック No.（4 桁数字）を再度入力し、“完了” を選択。

知識

● ロックNo.を変更するときは他人にわかりにくい番号にしておいてください。

注意

● ロック No. を変更するときは、ロック No.を忘れないように管理してください。ロック No. を忘れると、レクサス販売店でもセキュリティを解除することができません。
万一ロックNo.を忘れてしまった場合は、“機器詳細情報画面” または “通信モジュール詳細情報画面” で “初期状態” を選択し、セキュリティ設定の初期化を行ってください。（→P.42）ただし、セキュリティ設定の初期化を行うと、電話帳データも削除されます。

自動で着信拒否する（通信モジュール装着時）

電話機選択で通信モジュールを選択している場合、自動着信拒否に設定すると、通信モジュールに電話がかかってきたとき自動で着信を拒否します。電話を受けたくないときに使用します。

1 Bluetooth 設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “設定･編集” → サブメニューの “Bluetooth” を順に選択。

2 “登録機器” を選択。

3 “通信モジュール（DCM）” を選択。

4 “通信モジュール詳細情報” を選択。

5 “自動着信拒否” を選択し、“する” に設定する。

● 解除するときは、“しない” に設定する。

● 設定を変更したときは、ロック No.

を入力し “ 完了 ” を選択。

知識

● ヘルプネットの呼び返し待機状態の間のみ、一時的に自動着信拒否を解除します。

通信モジュールの発信制限をする（通信モジュール装着時）

電話機選択で通信モジュールを選択している場合は、通信モジュールの発信制限を設定すると、次の機能を使用できなくすることができます。

● ダイヤル発信

● 電話帳発信

● 履歴発信

● ワンタッチ発信

● 音声認識発信

● ナビからの発信

● 電話機選択
（携帯電話から通信モジュールへの変更をすることができなくなります。）

1 Bluetooth 設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定･編集 ” → サブメニューの “Bluetooth” を順に選択。

2 “ 登録機器 ” を選択。

3 “ 通信モジュール（DCM）” を選択。

4 “ 通信モジュール詳細情報 ” を選択。

5 “ 発信制限 ” を選択し、“ する ” に設定する。

● 解除するときは、“ しない ” に設定する。

● 設定を変更したときは、ロック No. を入力し “ 完了 ” を選択。

電話帳制限をする（通信モジュール装着時）

電話帳制限をすると、次の機能が使用できません。

● 電話帳画面の表示、電話帳データの転送・登録・修正・削除、電話帳発信

● ワンタッチダイヤル画面の表示、ワンタッチダイヤルの登録・削除、ワンタッチダイヤル発信

● 発信時および着信時の相手先名称の表示

● 全履歴画面、発信履歴画面および着信履歴画面の表示、履歴の削除、履歴発信

● 電話機詳細情報画面の表示

● ロック No. の変更

1 Bluetooth 設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “Bluetooth” を順に選択。

2 “ 登録機器 ” を選択。

3 “ 通信モジュール（DCM）” を選択。

4 “ 通信モジュール詳細情報 ” を選択。

5 “ 電話帳制限 ” を選択し、“ する ” に設定する。

● 解除するときは、“ しない ” に設定する。

● 設定を変更したときは、ロック No.

を入力し “ 完了 ” を選択。

電話帳データを通信モジュールでも利用する（通信モジュール装着時）

利用するには登録してある携帯電話の電話帳を通信モジュールで利用できるようにしておく必要があります。（→P.44）

1 Bluetooth 設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定･編集 ” → サブメニューの “Bluetooth” を順に選択。

2 “ 登録機器 ” を選択。

3 “ 通信モジュール（DCM）” を選択。

4 “ 通信モジュール詳細情報 ” を選択。

5 “ 利用電話帳 ” を選択。

6 電話帳を利用したい携帯電話を選択。

7 “ 追加 ” または “ 上書き ” を選択。

● やめたいときは “ 中止 ” を選択。

本機のBluetooth情報を編集する

Bluetooth 設定は、本機に関する Bluetooth 設定情報の表示と設定の変更をすることができます。

1 Bluetooth 設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定･編集 ” → サブメニューの “Bluetooth” を順に選択。

2 “ 詳細設定 ” を選択。

3 “ 機器情報 ” を選択。

4 各項目を確認／変更する。

自動で電話機を接続する（携帯電話使用時）

エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞をOFFからイグニッションONモード＜ ON モード＞にするたびに、選択した携帯電話と自動的に Bluetooth 接続します。

1 “ACC ON 時の自動接続 ” を選択し、“ する ” に設定する。

● 通常はこの状態で使用してください。

● 携帯電話は Bluetooth 接続可能な状態にしておいてください。

● 解除するときは、“ しない ” に設定する。

知識

● 携帯電話の機種により携帯電話の操作が必要な場合があります。

優先的に接続する機器を設定する

1 “ 優先接続設定 ” を選択。

2 “ 優先接続電話機 ” または “ 優先接続ポータブル機 ” を選択し、設定したい機器を選択。

3 “ 上へ ” または “ 下へ ” を選択し、優先度順に並び替える。

Bluetooth 機器の情報を表示・変更する

1 Bluetooth 設定画面を表示する：

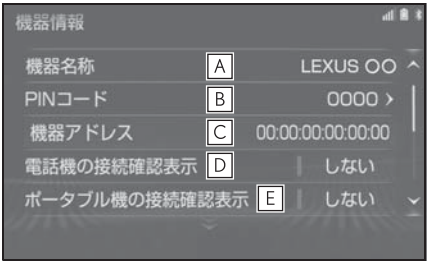
● リモートタッチの “MENU” ボ

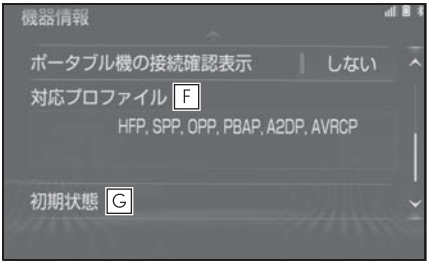
タン → “設定･編集” → サブメニューの “Bluetooth” を順に選択。

2 “詳細設定” を選択。

3 “機器情報” を選択。

4 各項目を設定・確認する。





A Bluetooth ネットワーク内での本機の名称です。任意の名称に変更することができます。

B 携帯電話を本機に登録する際のパスワードです。4 ～ 8 桁の任意の数字に変更することができます。

C 本機に登録されている機器固有のアドレスで、変更することはできません。
機器名称や PIN コード（パスキー）を他の Bluetooth 機器と同じにしてしまい、ネットワーク内での本機の区別がつけられなくなってしまった場合に参考にすることができます。

D 電話機が Bluetooth 接続されたときに、接続確認の表示を画面上部に表示することができます。

E ポータブル機が Bluetooth 接続されたときに、接続確認の表示を画面上部に表示することができます。

F 本機で対応しているプロファイルで、変更することはできません。

G 初期状態の設定に戻ります。

本機の名称を変更する

Bluetooth ネットワーク内での本機の名称を変更することができます。

1 “機器名称” を選択。

2 ソフトウェアキーボードで入力し、“OK” を選択。

知識

● 機器名称を変更した場合、Bluetooth オーディオ設定の機器名称も同時に変更されます。PIN コード（パスキー）については、Bluetooth オーディオと同一の数字を設定することができます。

PIN コード（パスキー）を変更する

PIN コード（パスキー）は 4 ～ 8 桁の任意の数字に変更することができます。

1 “PIN コード” を選択。

2 4 ～ 8 桁の範囲で任意の数字を入力し、“完了” を選択。

● 修正するときは、“修正” を選択。

● PINコード（パスキー）はBluetooth オーディオ設定の PIN コード（パスキー）と別の数字を設定することができます。

電話機／ポータブル機の接続確認を表示する（携帯電話使用時）

エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞をOFFからイグニッションONモード＜ON モード＞にして、携帯電話と自動的に Bluetooth 接続したときに、接続確認の表示を画面上部に表示するかしないかを選択できます。

1 “電話機の接続確認表示” または“ポータブル機の接続確認表示”を選択し、“する”に設定する。

● 解除するときは、“しない” に設定する。

Wi-Fi® 設定について

Wi-Fi® ネットワークへの接続やテザリング対応スマートフォンで Wi-Fi® サービスを利用するには、Wi-Fi® 通信設定が必要です。

Wi-Fi® について

知識

- Wi-Fi は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。
- 本機能はベストエフォート型の機能です。
- 本機能は持ち込み機器との接続にてご利用ください。持ち込み機器以外の接続を行っている場合、環境によって切断される可能性があります。
- Wi-Fi®や無線LAN圏内から出た場合は、通信は切断されます。
- お客様のご利用環境（住宅構造、家具の配置、無線アンテナの設置場所、近隣での各種無線機器利用など）により、通信速度が低下したり、通信ができないことがあります。
- Wi-Fi®、WPA ™、WPA 2 ™、Wi-Fi Protected Setup ™は、Wi-Fi Alliance® の登録商標です。本機は、電波法に基づく特定無線設備の工事設計の認証を取得しています。

■ **対応 Wi-Fi® 通信方式**

● 802.11b/g/n

■ **対応セキュリティ方式**

● WEP

● WPA ™

● WPA2 ™

● Wi-Fi Protected Setup ™

Wi-Fi® 機器使用上の注意事項について

● この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
（上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）
この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

● この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。
変調方式として DS-SS 変調方式、OFDM 変調方式を採用しています。想定与干渉距離は 40m 以下です。この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

■ ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Wi-Fi® 通信時の電波について、次の点にご注意ください。

知識

● 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。

● 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

警告

● Wi-Fi® 通信用の車両側アンテナは本機内に内蔵されています。

● 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。

■ Wi-Fi® と Bluetooth を同時に使用するとき

ハンズフリーと Wi-Fi®、Bluetooth Audio と Wi-Fi® など、Bluetooth 機能と Wi-Fi® を同時に利用すると動作が遅くなることがあります。

Wi-Fi® 通信設定をする

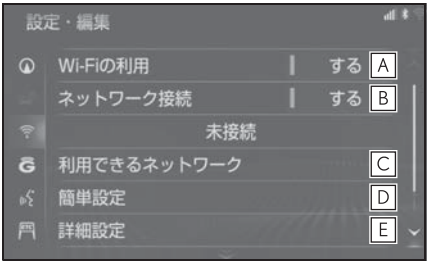
Wi-Fi® 通信に関する各種設定をすることができます。

1 リモートタッチの “MENU” ボタンを押す。

2 “ 設定・編集 ” を選択。

3 サブメニューの “Wi-Fi” を選択。

4 各項目を設定する。



A Wi-Fi®を使用する／しないを切り替える

B Wi-Fi®ネットワークを接続する／しないを切り替える

C 利用できるネットワークからWi-Fi® 接続する（→P.51）

D 簡単設定から Wi-Fi® 接続する（→P.52）

E Wi-Fi® 詳細設定を変更する（→P.53）

F Miracast ™の接続状況を確認する

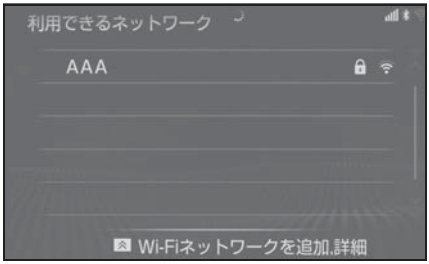
利用できるネットワークからWi-Fi® 接続する

1 Wi-Fi® 設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “設定･編集” → サブメニューの “Wi-Fi” を順に選択。

2 “利用できるネットワーク” を選択。

3 利用するネットワークを選択。



● ネットワークの詳細を確認したいときは、リモートタッチの ボタン → “詳細” → 詳細を確認したいネットワークの順に選択。

● リストにないネットワークに接続したいときは、リモートタッチの ボタン → “Wi-Fi ネットワークを追加” の順に選択し、ネットワーク SSID（アクセスポイントの識別子）を入力。

● 接続にセキュリティを設定するときは、セキュリティ方法（WPA、WEP など）を選択するとパスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力し “完了” を選択すると、ネットワークへの接続を開始します。

● G-Station（EV/PHV 用充電器）の au Wi-Fi® SPOT で接続する場合は、利用するネットワーク SSID を「au Wi-Fi®」に設定してください。その場合はパスワードなしで接続できます。

※ au Wi-Fi® SPOT 機能のない G-Station もあります。

簡単設定からWi-Fi®接続する

簡単設定に対応しているWi-Fi® テザリング対応機器では、より簡単にWi-Fi® 接続することができます。

1 Wi-Fi® 設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “設定･編集” → サブメニューの “Wi-Fi” を順に選択。

2 “簡単設定” を選択。

3 “PINコード” または “プッシュボタン” を選択。

● “PINコード” を選択したときは、画面に表示されている PIN コードをWi-Fi® テザリング対応機器に入力する。（時間内に設定できない場合、簡単設定画面に戻ります。）

● “プッシュボタン” を選択したときは、Wi-Fi® テザリング対応機器のプッシュボタンを押す。（時間内に設定できない場合、簡単設定画面に戻ります。）

4 Wi-Fi®テザリング対応機器を操作し、ネットワークへ接続する。

知識

●Wi-Fi® テザリング対応機器側の操作については、Wi-Fi® テザリング対応機器の取扱説明書をご覧ください。

Wi-Fi®テザリング対応スマートフォンでWi-Fi®接続を行う場合

Wi-Fi® テザリング対応スマートフォンで Wi-Fi® 接続を行う場合、下記の操作例を参考に接続してください。

※ テザリング設定の詳細はスマートフォンの取扱説明書などをご覧ください。

知識

●スマートフォンの機種によっては、毎回接続が必要な場合があります。

利用できるネットワークから接続する

1 スマートフォンを「Wi-Fi® テザリング設定」に切り替える。

2 スマートフォンのWi-Fi®テザリングを「ON」にする。

3 スマートフォンを「Wi-Fi® アクセスポイント設定」に切り替える。

4 スマートフォンに表示されているネットワーク名、パスワードを確認する。

5 本機の “ネットワーク接続” を選択し、“する” に設定する。

6 本機の “利用できるネットワーク” を選択。

7 利用できるネットワーク画面（→P.51）でスマートフォンに表示されている “（ネットワーク名）” を選択。

8 スマートフォンに表示されているパスワードを本機に入力する。

簡単設定（PIN コード）で接続する

1 スマートフォンを「Wi-Fi® テザリング設定」に切り替える。

2 スマートフォンのWi-Fi®テザリングを「ON」にする。

3 スマートフォンを「Wi-Fi® 簡単登録」の「PIN 入力」を選択する。
4 本機の “ ネットワーク接続 ” を選択し、“ する ” に設定する。
5 本機の “ 簡単設定 ” → “PIN コード ” の順に選択。
6 簡単設定画面に表示されているPIN コードをスマートフォンに入力する。

簡単設定（プッシュボタン）で接続する

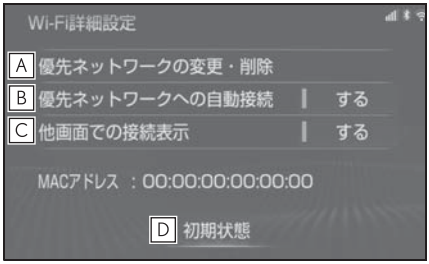
1 スマートフォンを「Wi-Fi® テザリング設定」に切り替える。
2 スマートフォンのWi-Fi®テザリングを「ON」にする。
3 スマートフォンを「Wi-Fi® 簡単登録」の「プッシュボタン」を選択する。
4 本機の “ ネットワーク接続 ” を選択し、“ する ” に設定する。
5 本機の “ 簡単設定 ” → “ プッシュボタン ” の順に選択。
6 簡単設定画面が表示された後、スマートフォンのプッシュボタンを選択する。

知識

●本書に記載されている接続方法は一例であり、簡単設定（PIN コード、プッシュボタン）に対応しているスマートフォンなどの機器に関する内容は、各通信事業者にお問い合わせください。

Wi-Fi® 詳細設定を変更する

1 Wi-Fi® 設定画面を表示する：
● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定･編集 ” → サブメニューの “Wi-Fi” を順に選択。
2 “ 詳細設定 ” を選択。
3 各項目を設定する。



A 優先ネットワークの変更／削除（→P.53）
B 優先ネットワークへの自動接続をする／しないの切り替え
C 他画面でWi-Fi®の接続確認表示をする／しないの切り替え
D 初期状態の設定に戻ります。

優先ネットワークを変更／削除する

1 “ 優先ネットワークの変更・削除 ” を選択。
2 優先順位を変更または削除したいネットワークを選択。

● 優先順位を変更するときは、“ 上へ ” または “ 下へ ” を選択し、

順位を変更。

● ネットワークを削除するときは、“削除” → “はい” の順に選択。

知識

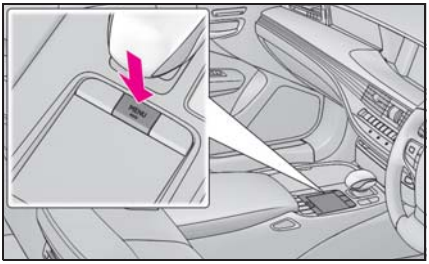
●優先ネットワークへの登録は Wi-Fi® 接続すると自動的に登録されます。最大20 個まで登録可能です。21 個以上登録する場合は古いものより上書きされます。（既に登録済みの au Wi-Fi® を除く）

●セキュリティ保護されていないネットワークは、優先ネットワークには登録されません。

共通設定を変更する

共通設定画面を表示する

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。



2 “設定・編集”を選択。

3 各項目を設定する。

● “時計調整”

GPS の時刻情報（GPS 時計）を利用して、時刻を調整することができます。（→P.56）

● “言語設定”

ディスプレイに表示される言語および音声案内を日本語／英語に切り替えることができます。

● “画質・消”

コントラスト、明るさを調整できます。（→P.57）

● “テーマ切替”

画面のテーマカラーを変更することができます。

● “BEEP 音通知”

ステアリングスイッチの MODE スイッチ、および CH・TRACK スイッチを長押ししたときなどの応答音出力のする / しないを設定できます。

● “操作画面継続表示”

“する”に設定すると、オーディオ操作画面、エアコン操作画面を表示したまま約 20 秒以上操作しなかったときに、表示を継続させることができます。“しない”に設定すると、継続させずに自動で地図画面に戻ります。

● “スタートアップサウンド”

ナビゲーションシステムの起動音を変更することができます。

● “スタートアップサウンド音量”

スタートアップサウンド音量を変更することができます。

● “決定音通知”

リモートタッチで選択したときの応答音出力のする／しないを設定できます。

● “選択音通知”

タッチパッドでポインタをスイッチに合わせたときの応答音出力のする／しないを設定できます。

● “失敗音通知”

ポインタをスイッチに合わせずにタッチパッドを押した場合など、ナビが操作を受け付けなかったときの応答音出力のする／しないを設定できます。

● “操作音音量設定”

スイッチを選択したときの応答音の音量を設定できます。

● “タッチパッド振動設定”

画面スイッチを選択したとき、タッチパッドにふれた指に伝わる振動の強さを変更することができます。

● “ ポインタ速度設定 ”

ポインタの速度調整を設定できます。

● “ マルチタッチ有効 / 無効設定 ”

マルチタッチの有効／無効を設定できます。

● “ 文字学習履歴の削除 ”

キーボードの文字学習履歴を削除することができます。

● “ 文字学習履歴の保存 ”

キーボードの文字学習履歴の保存のする／しないを設定することができます。

● “ 検索履歴の削除 ”

キーボードの文字検索履歴を削除することができます。

● “ 個人情報初期化 ”

本機の設定や保存されている情報を初期化することができます。（→P.58）

● “ ソフトウェア更新 ”

ソフトウェアの更新をすることができます。（→P.58）

● “ ソフトウェア更新設定 ”

ソフトウェア更新の設定を変更することができます。（→P.62）

● “ オープンソフトウェア情報 ”

本製品に使用される第三者ソフトウェアに関するお知らせを表示します。（該当する場合、ソフトウェアの入手方法のご案内も含みます。）

知識

●操作画面継続表示について

・ ハンズフリーの着信時などの割り込み画面が表示されると、割り込み画面の解除後に、もとの画面に戻らないことがあります。

●言語設定について

・ 言語設定を英語に変更した場合、すべての表示および音声案内が英語に変更されるわけではありません。

・ 英語に変更することによって、いくつかの案内がされない場合があります。

時計を調整する

GPS 情報（GPS 時計）を利用して、時刻を表示させることができます。

GPS 補正を使用しない場合は、手動で時計を調整することができます。

GPS を使用して時計を調整する

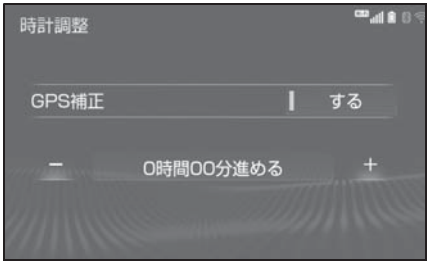
1 共通設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定･編集 ” → サブメニューの “ 共通設定 ” を順に選択。

2 “ 時計調整 ” を選択。

3 “GPS 補正 ” を選択し、“ する ” に設定する。

4 時刻を調整する。



● “ ＋ ” ：実際の時刻より進めることができます。

● “ − ” ：実際の時刻より遅らせることができます。

手動で時計を調整する

1 共通設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “設定･編集” → サブメニューの “共通設定” を順に選択。

2 “時計調整” を選択。

3 “GPS 補正” を選択し、“しない” に設定する。

4 時刻を調整する。

● 時の “−” または “＋” を選択すると “時”、分の “−” または “＋” を選択すると “分” を調整することができます。

● 時報と同時に “:00” を選択すると、時報に合わせることができます。

・0 ～ 29 分は切り下げられます。
（1:00 ～ 1:29 は､1:00 になります。）

・30 ～ 59 分は切り上げられます。
（1:30 ～ 1:59 は､2:00 になります。）

画面の調整・設定を変更する

画面のコントラストや明るさを調整したり昼画面･夜画面表示を切り替えたりすることができます。

1 共通設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “設定･編集” → サブメニューの “共通設定” を順に選択。

2 “画質・消” を選択。

3 各項目を設定する。

● “画面消”

音声を消さずに画面だけを消すことができます。（→P.58）

● “昼画面”

ライト点灯時に昼画表示にすることができます。（→P.58）

● “共通”

画面のコントラストや明るさを調整することができます。（→P.57）

● “カメラ”

パノラミックビューモニターなどのカメラ画面のコントラストや明るさを調整することができます。（→P.57）

画質を調整する

コントラスト、明るさを調整できます。

1 “共通” または “カメラ” を選択。

2 画質を調整する。

● 画質調整では、次の項目を調整することができます。

・コントラスト
“強” ：強くなる
“弱” ：弱くなる

・明るさ
“明” ：明るくする

“暗”：暗くする

知識

- DVD、Blu-ray、SD ビデオ、USB ビデオ、デジタルテレビ、Miracast ™の画質調整方法は、「画質調整について」（→P.191）をご覧ください。
- 画質調整（共通）画面の場合、 < または > を選択すると、地図画面、メニュー画面、カラーバーのサンプルを切り替えることができます。
- 昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。
- サイド画面はメイン画面と同様の画質に調整されます。

ライト点灯時に昼画表示にする

1 夜画表示のとき、“昼画面”を選択。

- 選択するごとに、昼画表示と夜画表示が切り替わります。

知識

- 昼画表示のときは、スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 以下のようなときは、“昼画面”は表示されません。
・ライト消灯時
・ライト点灯時で周囲が明るいとき

画面を消す

音声を消さずに、画面だけを消すことができます。

1 “画面消”を選択。

- 画面を表示させるときは、オーディオコントロールスイッチの“AUDIO”ボタンや、リモートタッチの“MAP”ボタンなどを押す。

知識

- 画面を消しても、GPS による現在地測位は継続されています。

個人情報の初期化について

登録した情報を削除したり、変更した設定を初期設定の状態に戻すことができます。

1 共通設定画面を表示する：

- リモートタッチの“MENU”ボタン → “設定･編集” → サブメニューの“共通設定”を順に選択。

2 “個人情報初期化”を選択。

3 “初期化する”を選択。

4 “する”を選択。

初期化できる項目の例：

- 共通設定
- ナビゲーション設定
- オーディオ設定
- 電話設定
- G-Link 設定

など

ソフトウェア更新について

より快適にナビゲーションシステムをご利用いただくため、購入後のナビゲーションシステムの機能･操作性向上を目的にソフトウェアの更新を行っています。

- 更新対象

・ナビゲーションシステムの性能改善
・ナビゲーションシステムの操作性向上
※ 地図データ、CD タイトル情報（CDDB）は本サービスの更新対象ではありません。

ソフトウェア更新は、次のいずれかの方法で行います。

● USB メモリーを使って更新する（USB メモリーが必要です）
● 本機の通信機能（DCM）を使って更新する
● Wi-Fi® 通信を使って更新する

※ ご不明点についてはレクサス販売店にお問い合わせください。

⚠ 注意

●USB メモリーを使ってソフトウェア更新をする場合、インターネットに接続できる環境のパソコンと 2GB 以上の空き容量がある USB メモリーが必要となります。お客様のパソコンの環境によっては通信料金が高額となりますのでご注意ください。
●ソフトウェア更新はお客様の責任において実行してください。
●ソフトウェア更新を行うと、前のバージョンに戻すことはできません。
●ソフトウェア更新で適用されるソフトは本機専用です。その他の機器で使用しないでください。
●ソフトウェア更新の内容によっては一部の設定が初期化されることがあります。その場合はソフトウェア更新後、再度設定を行ってください。
●ソフトウェア更新中も本機の操作は可能ですが、動作の遅延が発生する可能性がありますので、できるだけ操作しないようにしてください。
●ソフトウェア更新後、自動的にトヨタ自動車の配信サーバに更新が完了したことを通知します。なお、トヨタ自動車は送信された情報をソフトウェア更新以外の目的には使用いたしません。また、お客様のご契約形態によっては通信料が発生する場合があります。
●ソフトウェア更新の内容によっては、本機の通信機能（DCM）を使った更新ができない場合があります。この場合は、USB メモリーを使った更新を行ってください。

USB メモリーを使って更新する

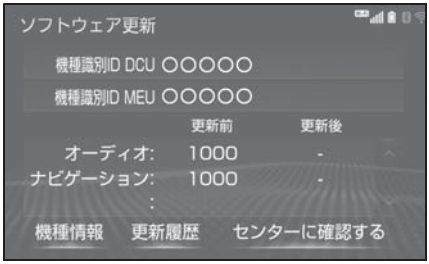
更新データを準備する

1 共通設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “設定･編集” → サブメニューの “共通設定” を順に選択。

2 “ソフトウェア更新” を選択。

3 「機種識別 ID」を確認する。



4 パソコンでレクサスオーナーズサイトにアクセスし、ソフトウェア更新メニューから、「機種識別 ID」に対応した更新ソフトがあることを確認する。

● 機種識別 ID に対応した更新ソフトが見つからない場合は、対象のナビゲーションシステムには現在更新ソフトは提供されていません。なお、更新ソフトは随時配信されます。

5 更新ソフトをパソコンにダウンロードする。

6 パソコンにダウンロードした更新ソフトを USB メモリーにコピーする。

● 更新ソフトは、USB メモリー内の最上位階層に保存してください。作成したフォルダ内に更新ソフトを保存すると、更新ソフトを読み込むことができません。

ソフトウェアを更新する

1 共通設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “設定･編集” → サブメニューの “共通設定” を順に選択。

2 “ソフトウェア更新” を選択。

3 USB 端子に USB メモリーを接続する。（→P.187）

4 “ソフトウェア更新を実施する” を選択。

5 データがコピーされ、ソフトウェア更新が開始される。

● 更新ソフトがインストールされます。約 10 分程度かかります。

● インストールが完了したとき、更新準備完了画面が表示される。

6 USB メモリーを USB 端子から取りはずす。（→P.187）

7 エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を OFF にした後、再度アクセサリーモードまたはイグニッション ON モード＜ ON モード＞にする。

● ソフトウェアの情報を確認するとき、ソフトウェア更新画面で、“更新情報” を選択。

● ソフトウェアの更新履歴を確認するとき、ソフトウェア更新画面で、“更新履歴” を選択。

⚠ 注意

● ソフトウェア更新中は、USB メモリーを抜いたり、エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を OFF にしないでください。

本機の通信機能（DCM）またはWi-Fi®通信を使って更新する

本機の通信機能（DCM）または Wi-Fi® 通信を使ったソフトウェア更新は、ソフトウェア更新設定内容によって一部手順が異なります。

納車時の設定やソフトウェア更新設定の変更については、「ソフトウェア更新の設定を変更する」（→P.62）をご確認ください。

Wi-Fi® 通信を使ってソフトウェア更新をするには、以下の条件が必要です。

● Wi-Fi® アクセスポイントに接続が完了している

● 車が Wi-Fi® アクセス可能な場所にある

● 通信設定が「Wi-Fi®」になってい

る（→P.486）

ソフトウェア更新の内容によっては、本機の通信機能（DCM）またはWi-Fi®通信を使った更新ができない場合があります。この場合は、USB メモリーを使って更新を行ってください。

ソフトウェア更新設定の自動確認「する」時の更新

1 配信サーバに新しい更新ソフトがある場合、メッセージが表示される。

● 更新ソフトウェアの自動確認が「する」のとき、本機は定期的に配信サーバーへアクセスして更新ソフトウェアの有無を確認します。

2 “はい” を選択。

● “いいえ” を選択すると、次回確認時に再度通知します。

3 “ソフトウェア更新を実施する” を選択。

4 “はい” を選択。

● 更新ソフトのダウンロード（約 20 分間）が開始されます。ダウンロード完了後、インストール（約 15 分間）が開始されます。

● ダウンロードとインストールにかかる時間は、通信環境により長くなる場合があります。インストール中にエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を OFF にしたときは、次回エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード＜ON モード＞にするとインストールを再開します。

5 エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を OFF にした後、再度アクセサリーモードまたはイグニッション ON モード＜ ON モード＞にする。

● ソフトウェアの情報を確認するとき、ソフトウェア更新画面で “更新情報” を選択。

● ソフトウェアの更新履歴を確認するとき、ソフトウェア更新画面で “更新履歴” を選択。

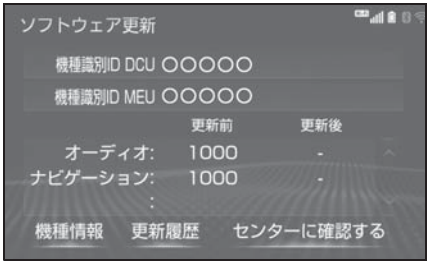
ソフトウェア更新設定の自動確認「しない」時の更新

1 共通設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “設定･編集” → サブメニューの “共通設定” を順に選択。

2 “ソフトウェア更新” を選択。

3 “センターに確認する” を選択。



● 新しい更新ソフトが見つかると、“センターに確認する” が “ソフトウェア更新を実施する” に変わります。

● 新しい更新ソフトがない場合は、画面が表示されます。更新ソフトは随時配信されますので、次の配信までお待ちください。

4 “ソフトウェア更新を実施する”を選択。

5 “はい”を選択。

● 更新ソフトのダウンロード（約 20 分間）が開始されます。ダウンロード完了後、インストール（約 15 分間）が開始されます。

● ダウンロードとインストールにかかる時間は、通信環境により長くなる場合があります。インストール中にエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にしたときは、次回エンジンスイッチ<パワースイッチ>をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード<ON モード>にするとインストールを再開します。

6 エンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にした後、再度アクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にする。

● ソフトウェアの情報を確認するとき、ソフトウェア更新画面で“更新情報”を選択。

● ソフトウェアの更新履歴を確認するとき、ソフトウェア更新画面で“更新履歴”を選択。

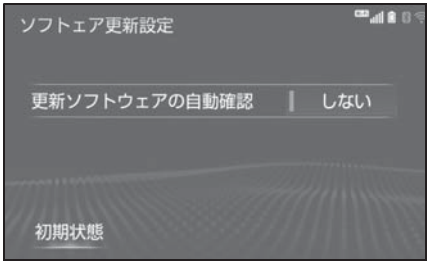
ソフトウェア更新の設定を変更する

1 共通設定画面を表示する：

● リモートタッチの“MENU”ボタン →“設定･編集”→サブメニューの“共通設定”を順に選択。

2 “ソフトウェア更新設定”を選択。

3 “更新ソフトウェアの自動確認”を選択。

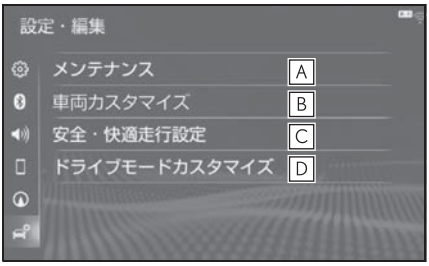


● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

車両設定を変更する

車両設定画面を表示する

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。
2 “設定・編集”を選択。
3 サブメニューの“車両”を選択。
4 各項目を設定する。



A メンテナンス項目の設定を変更することができます。(→P.63)

B 車両カスタマイズの設定を変更することができます。※

C 安全・快適走行設定の項目を変更することができます。(→P.166)

D ドライブモードカスタマイズの設定を変更することができます。※

※ 詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

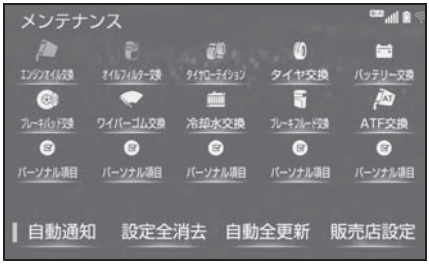
メンテナンス項目を設定する

メンテナンス機能とは、GPS(→P.173)のカレンダー機能と車速信号を利用して、オイルなどの消耗部品の交換時期・各種点検時期・免許証の更新などのイベント時期の案内を行う機能です。

1 車両設定画面を表示する：

● リモートタッチの“MENU”ボタン→“設定･編集”→サブメニューの“車両”を順に選択。

2 “メンテナンス”を選択。
3 設定する項目を選択。



● パーソナル項目(パーソナル項目)を選択すると、表示されている項目以外の項目を設定することができます。(→P.64)

4 “お知らせ日”または“お知らせ距離”を選択。
5 日付・距離を入力し、“完了”を選択。

● 間違えたときは、“修正”を選択。

●「日付入力画面」で、一桁の日付を入力するときは、“年”・“月”・“日”を選択して入力することができます。

・2～9月と4～9日は“月”・“日”を選択して入力する必要はありません。
〈例〉2017年9月25日と入力するとき
“1”・“7”・“年”・“0”・“9”・“2”・“5”または“1”・“7”・“9”・“2”・“5”の順に選択します。

知識

●メンテナンスの内容や時期については、レクサス販売店にご相談ください。

●車の使用状況により、設定した時期と実際に案内が行われる時期は誤差が生じ

ることがあります。また、計測された走行距離と実際の走行距離は誤差が生じることがあります。

● メンテナンス時期の設定をしても、メンテナンスの自動通知を設定しないと、メンテナンス案内は行われません。(→P.28)

● 未設定の項目は（白色）、すでに設定されている項目は（緑色）、メンテナンス案内が行われる時期の項目は（茶色）で表示されます。

パーソナル項目を設定する

1 “パーソナル項目” を選択。

2 設定する項目を選択。

● （パーソナル項目）を選択したときは、名称を入力する。

3 “お知らせ日” または “お知らせ距離” を選択。

4 日付・距離を入力し、“完了” を選択。

メンテナンス設定を消去する

1 設定を消去する項目を選択。

● すべての設定を消去したいときは、“設定全消去” を選択し、“はい” を選択。

2 “設定消去” を選択。

3 “はい” を選択。

メンテナンス設定を個別に更新する

1 設定を更新する項目を選択。

2 “自動更新” を選択。

3 “はい” を選択。

● 距離が更新され、新しい日付・設定した距離に変更されます。

● パーソナル項目の免許証更新を選択したときは、“3 年後” または “5 年後” を選択。

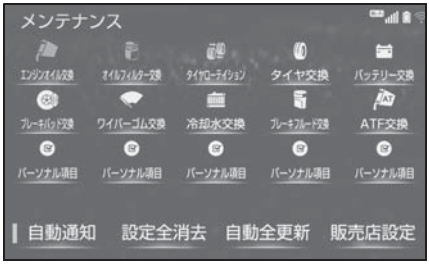
● すべて更新するときは、「メンテナンス設定をすべて更新する」(→P.64) を参照ください。

知識

● 新しい日付は、メンテナンスの時期を設定した日と現在の日、または案内する予定だった日から自動的に計算され、変更されます。（項目により、計算方法は異なります。）

メンテナンス設定をすべて更新する

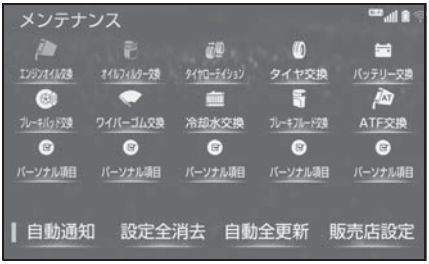
1 “自動全更新” を選択。



2 “はい” を選択。

販売店の設定をする

1 “販売店設定” を選択。



2 地図の呼び出し方法を選び、販売店を設定する地点の地図を表示する。(→P.108、115)

3 “セット” を選択。

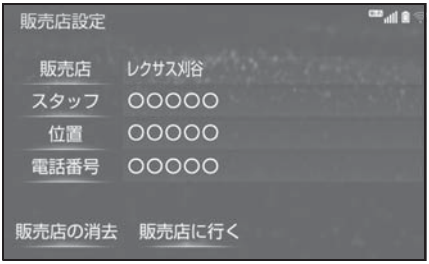
● の位置に販売店が設定されます。

●「施設で検索する」(→P.114)でレクサス販売店を呼び出し、そのまま位置を調整せずに “セット” を選択すると、販売店名・電話番号が自動的に入力されます。

販売店の情報を修正・入力する

1 “販売店設定” を選択。

2 修正／入力をする。



● “販売店に行く” を選択すると、販売店の地図が表示されます。

● 販売店を消去したいときは、“販売店の消去” を選択し、“はい” を選択。

ナビゲーション 3

3-1. ナビをお使いになる前に

ナビゲーションについて 68

地図画面について 70

3-2. 地図の基本操作

地図の表示／設定 73

3-3. 情報について

VICS・交通情報を使う 87

交通ナビ関連情報について 106

3-4. 目的地を探す

目的地の検索 108

検索した地図の操作 115

目的地を設定してルート探索 .. 118

全ルート図表示について 121

目的地案内の開始／中止 125

ルート案内について 125

ルートの再探索 133

ルートを変更する 135

3-5. 地点の登録

メモリ地点を登録する 143

3-6. ナビを使いこなす

ナビゲーションの設定 152

安全・快適走行の設定 166

3-7. 知っておいていただきたいこと

GPS について 173

地図データ情報 175

こんなメッセージが表示されたとき 177

故障とお考えになる前に 180

ナビゲーションについて

目的地を設定することによって、自動的にルートが探索され、音声と画面表示による目的地案内が行われます。

知っておいていただきたいこと

知識

- 走行するときは、実際の交通規制に必ずしたがってください。
- 安全のため、走行状態になると操作できなくなる機能があります。
- 目的地案内で表示されるルートは、あくまでも目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート、渋滞していないルート、早く行けるルートなどではありません。
- 道路・地名・施設情報・料金のデータは、最新状態ではないことや不備な点があることがあります。
- タイヤを交換したときは、自動補正を行ってください。（→P.163）
  このシステムは、タイヤの回転などをもとにして作動していますので、タイヤを交換すると精度が悪くなることがあります。
- 自車位置マークは、必ずしも正しい位置を表示するとは限りません。
  このシステムは、GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して現在位置表示を行っていますが、人工衛星からの電波の精度状態が良くないときや、2 個以下の人工衛星からの電波しか捕捉できないときなどには誤差が生じることがあります。この誤差は、補正などによってなくすことはできません。
- 実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている（自車位置マークがずれている）ことがあります。
- 人工衛星の状態、車両の状態（走行場所や運転条件）などにより、自車位置マークがずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自車位置マークがずれることがあります。
  ただし、地図の自車位置マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチング※やGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）
  「ナビの精度について」もあわせてご覧ください。（→P.173）

※ マップマッチングとは、GPS 情報などを利用して得られた現在地の情報と、今までに走行してきた道路を比較して、最も適切な道路に自車位置マークを表示させるシステムです。

ナビゲーション用アンテナ（GPS アンテナ）について

インストルメントパネル中央付近に内蔵されています。

注意

- インストルメントパネル上やウインドウガラス面には、次の物を設置しないでください。ナビゲーションシステム本来の性能が発揮できないおそれがあります。
  - 金属を含有するウインドウフィルム

注意

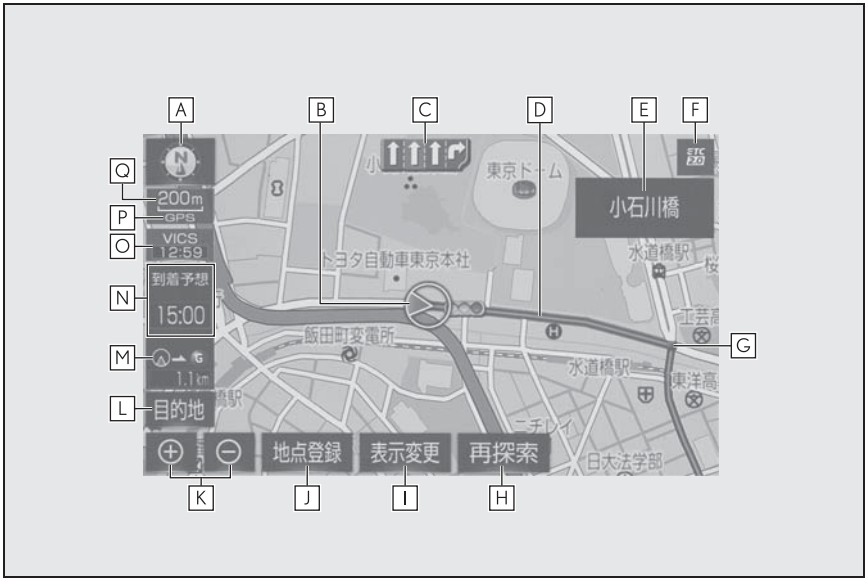
・その他の金属物（レクサス純正品以外の電子機器やアンテナなど）

詳しくは「GPS について」（→P.173）をご覧ください。

地図画面について

地図画面を表示するにはリモートタッチの “MAP” ボタンを押します。

地図画面の見方



A 方位マーク（→P.75）

地図の方角を表示する。

: ノースアップ表示

: ヘディングアップ表示

: 3D 表示

・ 地図向きの切り替えについては、「地図の向きを切り替える」を参照してください。

B 自車位置マーク（→P.24、73）

現在位置と車が向いている方角を表示する。

C レーン（車線）表示

通過・分岐する交差点の車線を表示する。（地図データに情報のある交差点のみ）

・ 目的地案内中は走行を推奨する車線が青色で表示されます。

D ルート表示（→P.118、153）

目的地を設定したとき、目的地までのルートを表示する。

・ ルートの表示色の設定については「地図表示設定をする」を参照してください。

E 名称表示

状況により次のものを表示する。（地図データに情報のある地点のみ）
・ 通過・分岐する交差点の名称
・ 走行している道路の名称
・ 通過する IC・SA・PA の名称（高速道路を走行しているときのみ）
・ 分岐する IC・JCT の方面名称（高速道路を走行しているときのみ）

F ETC 表示（→P.512）

ETC カードが挿入されると表示されます。

G 案内ポイント

目的地案内中、通過・分岐する交差点に表示する。

H 再探索スイッチ（→P.133）

ルートの再検索画面を表示し、目的地の追加などを設定できます。

I 表示変更スイッチ（→P.76）

表示変更画面を表示し、周辺施設の表示設定などを設定できます。

J 地点登録スイッチ（→P.145）

現在表示している地点をメモリ地点として登録します。

K 拡大 / 縮小スイッチ（→P.73）

地図の表示を拡大 / 縮小する。

L 目的地スイッチ（→P.108）

目的地の検索画面を表示します。

M 残距離表示（→P.130）

現在地から目的地までの距離を表示する。
・ 表示されているルートを通っての距離を表示します。ルートからはずれたときは、直線距離を表示します。
・ 残距離表示の切り替えについては、「到着予想時刻・残距離表示を切り替える」を参照してください。

N 到着予想時刻表示／目的地方向マーク（→P.130、156）

状況により次のマークを表示する。

到着予想時刻表示 (アナログ) 15:00 (デジタル)

目的地への到着予想時刻を表示する。
・ 到着予想時刻表示の切り替えについては、「到着予想時刻表示（アナログ／デジタル）の設定」、「到着予想時刻・残距離表示を切り替える」を参照してください。

目的地方向マーク
・ ルートからはずれたとき、目的地の方向を表示する。

O VICS タイムスタンプ（→P.88）

VICS・交通情報が発信されている地域で、VICS・交通情報が提供された時刻を表示する。

・ ルート上に情報があるときは、情報に応じて、タイムスタンプの色がかわります。

P GPS マーク（→P.173）

人工衛星からの絶対位置情報が利用されているときに表示する。

・ GPS マークが表示されているときでも、人工衛星の状態などにより誤差が生じることがあります。

Q スケール表示（→P.74）

表示させている地図の縮尺を表示する。

・ スケール表示については、「地図のスケール表示について」を参照してください。

知識

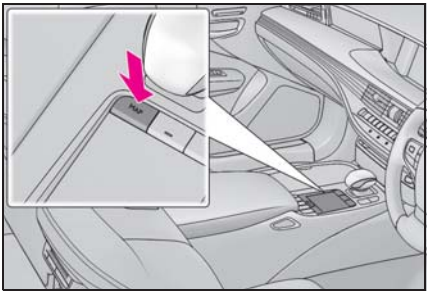
● 本書で使用している地図画面は、一部の説明を除き、GPS マーク非表示、VICS 非表示の画面を使用しています。

地図の表示／設定

現在位置表示や地図のスクロールなど、地図表示に関する基本操作について説明します。

現在の車の位置を表示する

1 リモートタッチの “MAP” ボタンを押す。



2 現在地地点が表示される。

知識

- 現在地画面で、リモートタッチの “MAP” ボタンを押すと、画面上部に現在地付近の地名・付近の路線名・路線番号が表示されます。
- 走行中は表示される道路が制限されます。（幅 5.5m 未満の道路などは表示されません。）ただし、幅 5.5m 未満の道路を走行したときなどは、必要に応じて表示されます。
- 新車時、および 12V バッテリーターミナルを脱着したあとは、実際の現在地と異なる場所に自車位置マーク が表示されている（自車位置マーク がずれている）ことがあります。ただし、地図の自車位置マーク がずれても、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。（→P.162）
- 地図データに情報がないときは、路線名・路線番号は表示されません。
- 200m 図より広域な地図を表示しているときは、路線名は表示されません。

地図のスケール（縮尺）を切り替える

1 ⊕（拡大）または ⊖（縮小）を選択。

- リモートタッチのピンチイン／ピンチアウト操作でも縮尺を切り替えることができます。（→P.31）
- 13 段階に切り替えることができます。
- ⊕・⊖を長押しすると無段階に縮尺が切り替わります。

● ⊕ または ⊖ を選択するとスケールバーが表示されます。スケールバー上の数字を直接選択しても縮尺を切り替えることができます。

知識

● 目的地を設定しているときに、現在地から目的地までの全ルート表示縮尺に切り替えることができます。（→P.130）

● 1/2048万図～1/5千図までの希望の縮尺（地図の範囲）に切り替えることができます。

● 走行中は安全のため、縮尺を無段階に切り替える、または スケールバーの数字を選択して縮尺を切り替えることはできません。

地図のスケール表示について

地図左上に表示される 100m の — の長さが約 100m であり、表示されている地図が 1/1 万縮尺であることを示しています。

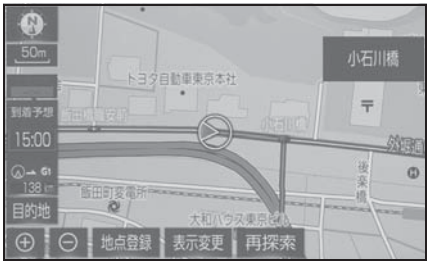
スケール表示	縮尺
25m	1/2500
50m	1/5 千
100m	1/1 万
200m	1/2 万
400m	1/4 万
800m	1/8 万
1.6k	1/16 万
3k	1/32 万
7k	1/64 万
13k	1/128 万
26k	1/256 万
50k	1/512 万
100k	1/1024 万
200k	1/2048 万

知識

● 1/2500 図は市街図表示（→P.74）に切り替えたとき、表示することができます。

市街図を表示する

1 1/5 千図表示中（スケール表示が 50m）のとき ⊕ を選択。



● 市街図表示には 1/5 千市街図と 1/2500 市街図があります。

⊕・⊖を選択、またはリモートタッチのタッチパッドでピンチイン／ピンチアウト操作をして切り替えます。

● 市街図表示を解除するときは、1/5千市街図表示中に⊖を選択、またはリモートタッチのタッチパッドでピンチイン操作をします。

知識

● 地図データに情報がないときは、市街図は表示されません。

● 市街図がない地域に地図または現在地を移動させると、市街図表示は自動的に解除されます。

● 1/2500市街図にすると（一方通行）を表示します。

地図の向きについて

▶ ノースアップ表示

車の進行方向に関係なく、つねに北が上になるように地図を表示します。

▶ ヘディングアップ表示

車の進行方向がつねに上向きになるように地図を表示します。

▶ 3D 表示

地図を立体的に表示させることができます。3D 表示に切り替えているときは、車の進行方向がつねに上向きになるように地図を表示します。

地図の向きを切り替える

1 （ノースアップ表示）、（ヘディングアップ表示）または（3D 表示）を選択。

● 選択するごとに、ノースアップ表示・ヘディングアップ表示・3D 表示に切り替わります。

知識

- 3D 表示の角度を調整することができます。(→P.152)
- ヘディングアップ表示と 3D 表示は、現在地画面以外の地図（目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面など）にするとノースアップ表示になりますが、現在地画面にするとヘディングアップ表示または 3D 表示に復帰します。

3D 表示の地図を回転する

1 地図上を選択。

2 （時計まわり）、（反時計まわり）を選択し、地図を回転する。

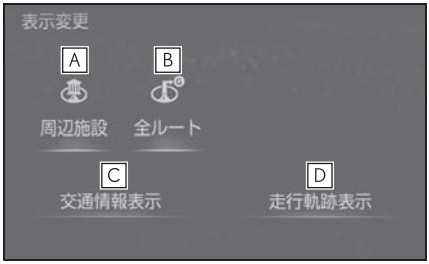
知識

- 現在地画面にすると、もとの表示状態（回転前の状態）に復帰します。

表示変更画面

1 地図画面上の “ 表示変更 ” を選択。

2 希望の項目を選択。



A 周辺施設（→P.77）

地図上に表示する施設記号を設定することができます。

B 全ルート（→P.121）

全ルート図画面を表示することができます。

C 交通情報表示（→P.89）

交通情報の表示設定をすることができます。

D 走行軌跡表示（→P.80）

走行した経路（軌跡）の表示／非表示を切り替えることができます。

地図を動かす

選択した地点が画面の中心になるように地図を動かすことができます。地図データに情報があるときは、画面中心付近の地名・付近の路線名・路線番号が表示されます。

1 地図上の地点を選択。

- 選択した地点が画面の中心になるように移動します。
- 地図を移動させた場所または施設を目的地に設定、メモリ地点に登録することができます。また、施設に情報がある場合は表示することができます。(→P.77、119、145)

● リモートタッチの“MAP”ボタンを押すと、現在地に戻ります。

知識

●地図を動かすと、現在地からの直線距離が表示されます。

●走行中は安全のため、一定の速度でしか移動しません。また、走行中で市街図（→P.74）を表示しているときは、地図を移動することはできません。

●地図を動かすと、走行しても地図は動かなくなります。この場合、リモートタッチの“MAP”ボタンを押し現在地の表示にすると、地図が動くようになります。

●地図を移動させたときは、地図向きの切り替え（→P.75）ができないことがあります。

●地図データに情報があるときは、画面中央付近の地名・付近の路線名・路線番号が表示されます。地名の表示は、地図の移動をやめると、約 6 秒後自動的に消えます。

●路線名は、200m 図より広域な地図を表示しているときは、表示されません。

フリック操作で地図を動かす

リモートタッチのタッチパッドをフリック操作することで、地図を移動させることができます。地図を動かすには、ナビ詳細設定の地図フリック操作を「する」に設定する必要があります。（→P.165）

1 タッチパッドを押し、地図上の地点を選択。

2 タッチパッドのフリック／なぞり操作で地図を移動させる。

● 再度タッチパッドを押すと、画面上のスイッチを選択することができます。

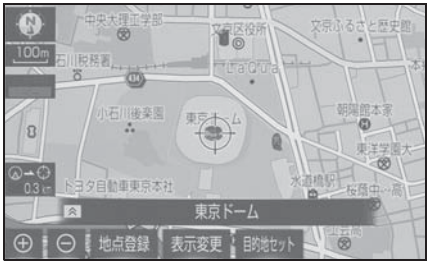
● リモートタッチの⌃ボタンを押すと、目的地に設定またはメモリ地点に登録することができます。

施設の情報を表示する

地図画面上の施設などの情報を確認することができます。

1 地図表示中、施設アイコンなどをカーソルで選択。

2 リモートタッチの⌃ボタンを押す。



3 “情報”を選択。

● 施設が複数重なっている場合は、施設切替ボタンが表示されます。

● 施設によっては“情報”が表示されない場合もあります。

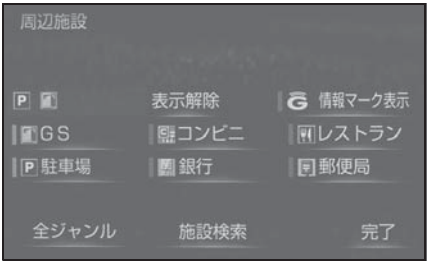
施設記号を表示する

ガソリンスタンドなどの施設記号を地図上に表示することができます。

1 地図表示中に “ 表示変更 ” を選択。

2 “ 周辺施設 ” を選択。

3 施設のジャンルを選択。



● 5つまで選択することができます。

● 表示されている以外のジャンルを選択するときは、“ 全ジャンル ”→施設のジャンル→さらに詳細な施設のジャンルの順に選択します。

● 施設記号の表示を個別に消去するときは、選択済みの施設のジャンルを選択します。すべて消去するときは、“ 表示解除 ” を選択します。
全ジャンル画面を表示しているときにすべて消去するときは、リモートタッチの⌃ボタンを押します。

● “G 情報マーク表示 ” は、G-Link を利用しているときのみ使用できます。(→P.423)

知識

● 地図データに情報のない施設は、表示されません。

● 1/8万図より広域の地図には表示されません。(全ルート図表示画面を除く)

● 表示することができる施設は、自車位置マーク または から半径約 10km 以内にある施設のみです。(最大 200 件まで)

● 施設記号の表示／消去はナビ詳細設定画面でも設定できます。(→P.152)

● 1/4万図から1/8万図のスケールでは、1画面中の表示施設数が一定数以上になると簡易的な表示になります。(道路を見やすくするため)

● ナビ詳細設定の周辺施設表示からも表示施設の設定を行うことができます。(→P.152)

● 避難所は自治体が整備・公表している指定緊急避難所の情報を元に収録しています。災害の種類によって開設される避難所が異なるため、災害時に避難所開設されているかは直接自治体にご確認ください。

近くの施設を検索する

現在地周辺にある施設記号の名称と距離を知ることができます。

1 地図表示中に “ 表示変更 ” を選択。

2 “ 周辺施設 ” を選択。

3 検索する施設記号を選択。

4 “ 施設検索 ” を選択。

5 施設名称を選択。

● 表示されている矢印は、現在の進行方向からみてどの方向にその施設があるかを示しています。

● リモートタッチの⌃ボタンを押すことで以下の並べ方をすることができます。

・“ 距離順 ”：自車位置マークまたは⊕から近い施設の順

・“ 種類順 ”：施設記号順

6 選択した施設の地図が表示される。

● “ 情報 ” を選択すると、施設の内容が表示されます。(→P.116)

知識

●検索することができる施設は、自車位置マークまたは⊕から半径約 10km 以内にある施設のみです。(最大 200 件まで)

●施設によっては、内容が表示されない施設もあります。

ルート沿いにある施設のリストを表示する

1 目的地設定中の地図画面で“表示変更 ” を選択。

2 “ 周辺施設 ” を選択。

3 “ 施設検索 ” を選択。

4 リモートタッチの⌃ボタンを押す。

5 “ ルート沿い考慮 ” を選択。

● 設定しているルートを通っての道なり距離とルートに対して左右のどちらの方向にあるかを表示します。

知識

●表示することができる施設は、ルート沿いにある施設のみです。

立体ランドマーク施設情報を表示する

1 地図表示中、立体ランドマークにカーソルをあわせて選択する。

● 名称と現在地からの直線距離が表示されます。

2 リモートタッチの⌃ボタンを押す。

3 “ 情報 ” を選択。

A 施設切替ボタン

・施設の内容が表示されます。(→P.116)

・施設が複数重なっている場合は施設切替ボタンが表示されます。

走行した経路を表示する（走行軌跡）

走行した道路を約 1000km 分保存し、軌跡を表示することができます。

1 地図表示中に “ 表示変更 ” を選択。

2 “ 走行軌跡表示 ” を選択。

● 走行軌跡を消去するときは、“ 走行軌跡解除 ” → “ はい ” の順に選択します。

知識

●保存できる距離を超えて走行したときは、古い軌跡を消去して、新しい軌跡を保存しなおします。

●1/2500 図～ 1/512 万図で表示することができます。

●走行軌跡を表示していないときは、走行軌跡の情報は保存されません。

地図記号・地図表示について

表示	内容
（紫色）	高速道路 （都市高速道路・有料道路を含む）
（淡黄）	国道
（白色）	主要道・都道府県道・一般幹線道
	トンネルまたは整備計画区間（各道路で表示色は異なります。）
	私鉄
	JR
（青色）	水域
	都道府県界
（緑色）	緑地
（薄茶色）	駅舎・敷地

知識

●選択した地図色によって、道路の表示色は異なります。（→P.153）

●VICS･交通情報を表示する設定になっているときは、道路の表示色が異なります。（→P.89）

表示	内容
	官公庁
	都道府県庁
	市役所・東京 23 区役所
	町村役場・東京以外の区役所
	警察署
	消防署
	郵便局
IC	IC（インターチェンジ）
SA	SA（ サービスエリア）
PA	PA（ パーキングエリア）
IC	スマート IC (ETC 専用インターチェンジ)
	信号機
	駐車場
	駅
	道の駅
	フェリーターミナル
	港湾
	空港・飛行場
	学校
	幼稚園
	病院・医院
	電力会社・発電所

表示	内容
	電話局
	銀行・信用金庫・農協
	デパートなど
	ホテル・旅館など
	ビル
	工場
	灯台
	神社
	寺院
	教会
	霊園・墓地
	城・城跡
	名所・観光地など
	ゴルフ場
	スキー場
	海水浴場
	アイススケート場
	マリーナ・ヨットハーバー
	陸上競技場・体育館
	キャンプ場
	公園
	温泉
	山

表示	内容
	その他の施設
	通常の踏み切り
	ボトルネック踏み切り ※
	レクサス販売店

※ 列車が頻繁に通過するため、通過するのに時間がかかる踏切。

知識

- 地図データに収録されているボトルネック踏み切りデータは、国土交通省の資料を参考に作成しています。
- 表示される記号・表示の位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設が代表して1つのマークで表示されることがあります。

DSSS（Driving Safety Support Systems）運転支援機能について

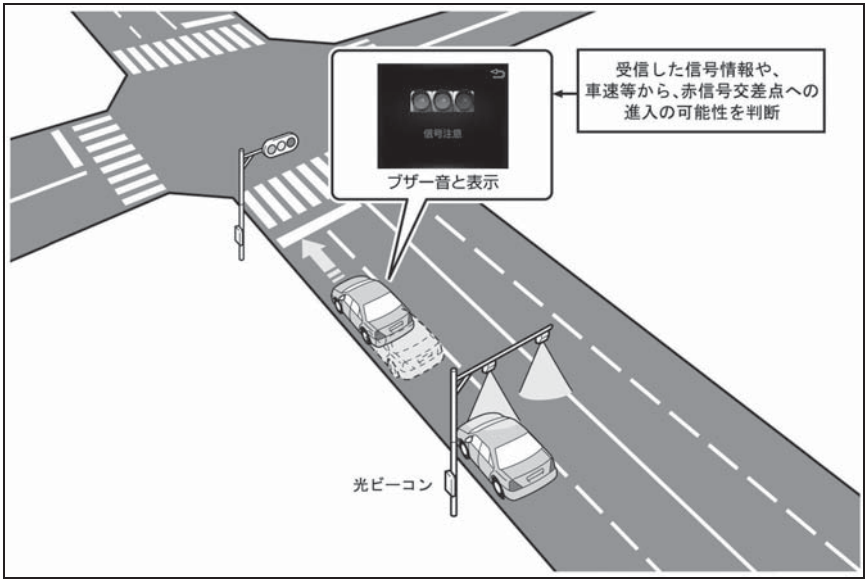
DSSS（Driving Safety Support Systems）は、ドライバーの認知・判断の遅れや誤りを低減するための運転支援機能です。

見通しの悪い周辺の状況や、信号または標識などの交通管制情報を、道路上に設置された DSSS 用光ビーコンから受信し、車の走行状態や受信情報から、必要に応じてドライバーに周辺の危険要因に対する注意を促します。

- DSSS は警察庁が推進しているプロジェクトです。2011 年 7 月より、東京都と神奈川県の交差点でサービスが始まり、順次全国展開される予定です。
- 本サービスの対象交差点などの DSSS プロジェクトに関するお問い合わせについては、「VICS・ETC2.0（ITS スポット）・DSSS の問い合わせ先について」（→P.98）をご覧ください。
- DSSSに関する規格は、一般社団法人UTMS協会によって策定されています。また、DSSS のシステム定義は DSSS 有識者懇談会によって策定されています。本製品はそれらに基づいて作られています。

DSSS では、次のような案内・注意喚起を行います。

- 一時停止注意喚起
- 赤信号注意喚起
- 信号待ち発進準備案内
- 前方停止車両存在案内
- わき道車両存在案内



警告

●DSSS 運転支援機能はあくまでも補助機能です。
案内・注意喚起を過信せず、常に道路標識・表示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

知識

●DSSS の案内・注意喚起は、ブザー音とともにマルチインフォメーションディスプレイなどに表示されます。また、DSSS の設定項目は、マルチインフォメーションディスプレイで設定できます。詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

●以下のような場合は、DSSS 機能が作動しないことや、案内・注意喚起の内容が実際の道路状況と異なる場合があります。

・ ビーコンユニットの上に物を置いたり、窓が汚れたりして、DSSS 用光ビーコンとの通信が遮られたとき
・ DSSS用光ビーコンに木の葉や雪などが付着して、通信が遮られたとき
・ 雨天時等、ワイパーが作動して DSSS 用光ビーコンの通信が遮られたとき
・ DSSS用光ビーコンやビーコンユニットに太陽光などが差し込んだとき
・ DSSS用光ビーコンの通信エリアに駐停車車両があり、通信できないとき
・ DSSS用光ビーコンの通信エリアに他の車両と並走して進入したとき
・ DSSS 用光ビーコンや感知器、信号機など路側装置の機器メンテナンス作業や故障などによって、通信ができないとき、または誤った情報が本機に提供されたとき
・ DSSS用光ビーコン通過時の速度が著しく速いとき
・ DSSS用光ビーコンの近くに他の光ビーコンが設置されているとき
・ DSSS　用光ビーコンヘッドの向きが変わってしまっているとき（台風等）
・ 車両始動直後にDSSS用光ビーコンを通過したとき

・本機に故障等があり、受信した情報を正しく処理できないとき
・システムの誤差などでナビゲーションが現在地を特定できないとき
・遅い速度で走行しているとき
・サービス対象地点の地図データがないとき
・自車位置が特定できないとき

●以下のようなときは、赤信号注意喚起が作動しない、または実際の信号表示と異なる場合があります。
・DSSS 用光ビーコンを通過後、信号情報が変化し、受信した信号情報が実際の信号表示と異なるとき
・信号機に矢印信号が点灯しているとき
・信号機の制御方式等により、DSSS 用光ビーコンから送信される信号情報が不確定なとき

●以下のようなときは、信号待ち発進準備案内が作動しない、または実際の信号表示と異なる場合があります。
・停車時点で赤信号の待ち時間が少ないとき
・信号機に矢印信号が点灯しているとき
・信号機の制御方式等により、DSSS 用光ビーコンから送信される信号情報が不確定なとき

●以下のようなときは、前方停止車両存在案内が作動しない、または実際の道路状況と異なる場合があります。
・DSSS 用光ビーコンを通過後、支援対象地点に進むまでに、停止車両や渋滞などの状況が変化し、受信した検知情報が実際の交通状況と異なるとき
・停止車両がセンサーの検知範囲外に存在しているとき
・車両を検出する路上に設置されたセンサーが、車両の特徴や環境条件、経年変化などによって、車両の未検知や誤検知を起こすとき

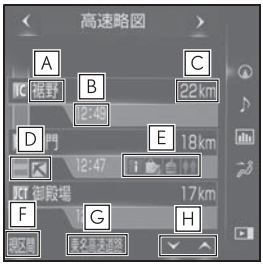
●以下のようなときは、わき道車両存在案内が作動しない、または実際の道路状況と異なる場合があります。
・DSSS 用光ビーコンを通過後、支援対象地点に進むまでに、前方のわき道に存在する車両の状況が変化し、受信した検知情報が実際の交通状況と異なるとき
・車両がセンサーの検知範囲外に存在しているとき
・路上に設置された車両を検出するセンサーが、車両の特徴や環境条件、経年変化などによって、車両の未検知や誤検知を起こすとき

ハイウェイモードについて

高速道路（都市高速を除く）に入ると、自動的にハイウェイモード表示に切り替わります。

目的地案内中は、都市高速または一部の有料道路に入っても、自動的にハイウェイモード表示に切り替わります。

目的地案内中に、降りる IC の先の施設を表示したり、降りる IC を変更することができます。（→P.85、85）



A 施設の名称を表示。（目的地案内をさせていないときは、最大 10 カ所まで）

B 通過予想時刻を表示。

C 現在地からの距離を表示。

D VICS・交通情報を受信したとき、赤色（渋滞）、黄色（混雑）を表示。
・「VICS・交通情報の表示設定」（→P.89）で、「一般道のみ」に設定しているときでも、VICS・交通情報を表示できます。

E 施設（SA・PA のみ）にある設備を、ガソリンスタンドを除き最大 6 つまで表示。

・ ガソリンスタンドは先頭に表示されます。

・ 6 つ以上の設備があるときは、表示されない設備マークがあります。

F 表示区間を切り替えているときに“ 現区間 ” を選択すると、自車が走行している区間に戻る。

G 道路の名称を表示。

H ∧または∨を選択すると、表示区間が切り替わる。

■ 降りる IC より先の施設を表示する

目的地案内中でも、ハイウェイモードの画面にて降りる IC より先にある高速道路上の施設を表示させることができます。

1 ハイウェイモード表示中に∧を選択して、出口 IC の上に表示される “ 降りる IC の先を表示 ” を選択。

■ 降りる IC を変更する

目的地検索にて設定された出口 IC 以外を降りる IC に設定することができます。

1 ハイウェイモード表示中に∧を選択して、出口 IC に設定したい IC を選択。

● 選択した IC を解除するときは、“ 解除 ” を選択します。

2 “ ここで降りる ” を選択。

知識

●施設によっては出口に設定できないことがあります。

設備のマークについて

記号	内容
—※1	ガソリンスタンド
	レストラン
	ドラッグストア
	仮眠休憩施設
	お風呂、シャワー
	キャッシュコーナー
	ハイウェイ情報ターミナル
	郵便ポスト
	FAX サービス
	ショッピングコーナー
	休憩所
	スナックコーナー
	トイレ
	ハイウェイオアシス
	スマート IC (ETC 専用インターチェンジ)
—※2	避難所

※1 固有のロゴマークが表示されます。

※2 各市区町村が緊急避難のための施所・場所として公表する施設（指定緊急避難場所など）およびそれに準ずる施設が表示されます。

知識

●反対車線の情報は表示されません。

●通過予想時刻は設定した平均車速

（→P.155）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

●SA・PA に入るなど、高速道路の本線からはずれたときは、ハイウェイモード表示が解除されることがあります。

●目的地案内中のとき、出口 IC・SA・PA または分岐する JCT の手前では、高速分岐案内画面（→P.86）が自動的に表示され、ハイウェイモードが解除されます。JCT のときはその後、高速分岐案内画面が終了すると、自動的にハイウェイモードに復帰します。

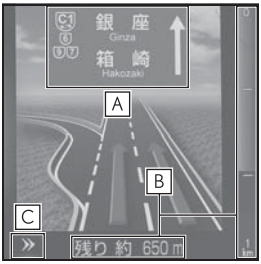
ハイウェイモード表示を解除する

1 “ 高速略図 ” 左右の〈または〉を選択。

● ハイウェイモードに戻すときは、〈または〉を選択して、“ 高速略図 ” を選択します。

高速分岐案内表示について

目的地案内中、分岐点（出口 IC・SA・PA・JCT）が近づくと、高速分岐案内が表示されます。



A IC の出口名称、SA・PA 名称または JCT の方面名称を表示。

B 分岐点までの距離を表示。（分岐点に近づくとともに画面右側に表示されている青色のゲージが短くなります。）

C 高速分岐案内画面を解除。高速分岐案内画面に戻すときは、リモートタッチの “ MAP” ボタンを押します。

知識

●地図データに情報のない分岐点では、高速分岐案内画面は表示されません。また、高速分岐案内画面が表示されても、分岐点名称表示が表示されないことがあります。

●分岐点名称表示、車線数が実際の分岐点と異なることがあります。

●目的地案内直後や目的地周辺では、高速分岐案内が行われない場合があります。

●高速分岐案内画面は、遅れたり早くなることがあります。

●次の分岐点が近いときは、続けて高速分岐案内画面が表示されます。

VICS・交通情報を使う

地図上に VICS 記号（→P.104）を表示することができます。以下は表示例です。

● 現況情報：（赤色：渋滞）、（橙色：混雑）、（水色：すいている道路）

● 統計情報：（赤色：渋滞）、（橙色：混雑）、（水色：すいている道路）

▶ 通常の地図

▶ ハイウェイモード

知識

● 表示させるには、「VICS・交通情報の表示設定」（→P.89 ）をご覧ください。

VICS・交通情報について

VICS・交通情報には、現況情報と統計情報があります。

知識

● 現況情報と統計情報を同時に表示する設定にしている場合は、現況情報を優先して表示します。

● 現況交通情報・統計情報は表示されない地点があります。また、地図差分更新（→P.460）などにより今まで表示されていた地点でも、表示されなくなることがあります。

● 提供される現況交通情報・統計情報は、実際の交通状況と異なる場合がありますので、あくまでも参考としてください。

● 表示する地図の種類によっては、VICS・交通情報を表示させることができない場合があります。

● 交通情報量が多い場合は、表示までに時間がかかります。

● 1/16 万図より広域な地図では、交通情報は表示されません。

現況情報について

■ 現況 VICS 情報

VICS センターから提供される現況の情報です。

知識

● 現況情報は、1/16 万図より詳細な地図で表示することができます。VICS 記号によっては、1/16 万図では表示できない記号もあります。

● 現況交通情報は、G ルート探索（→P.469）すると取得することができます。

■ 現況交通情報

G-Link センターから提供されるプ

ローブコミュニケーション交通情報です。（→P.469）

統計情報について

過去の交通情報を統計処理した情報です。

知識

- この情報は、地図データに収録されています。現況情報が受信できないときでも、日時・時間帯に応じた情報を表示できます。
- 統計情報は、1/8 万図より詳細な地図で表示することができます。

タイムスタンプについて

タイムスタンプを選択すると、現況情報の提供時刻や渋滞情報、渋滞・規制音声案内を出力することができます。（→P.90）

知識

- タイムスタンプはメイン画面の地図上にのみ表示されます。

時刻表示について

- 現況情報が提供された時刻を示しています。（現況情報が受信された時刻ではありません。）
- 現況情報が継続して受信されないと、約 30 分後に自動的に消去され、[- - : - -] の表示になります。現況情報が受信されていて、地図に表示する情報がないときも、表示が [- - : - -] になります。
- エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞をイグニッション ON モード＜ON モード＞にした直後など、現況情報が受信されるまでは、[- - : - -] の表示になります。

色について

目的地案内中で現在地がルート上にあるとき、ルート上（約 10km 以内）に現況情報があると色がかわります。

スイッチ	内容
赤色（8:00）	渋滞情報
橙色（8:00）	混雑情報
黄色（8:00）	交通規制情報

文字表示について

現況 VICS 情報を受信すると「VICS」、現況交通情報を受信すると「交通情報」と表示します。

知識

- 現況VICS情報･現況交通情報の両方が受信されていないときは、「交通情報」が灰色になります。
- 1/16 万図より広域な地図では「交通情報」と表示します。
- エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞をイグニッション ON モード＜ON モード＞にした直後など、現況情報が受信されるまでは「交通情報」と表示します。

●現況 VICS 情報と現況交通情報を同時に表示できるときは、「VICS」と表示します。

VICS 記号の内容を表示する

1 地図上の規制情報、または施設情報（→P.104）の記号を選択。

知識

●VICS記号によっては、内容が表示されないこともあります。

VICS・交通情報の表示設定

1 地図表示中に “ 表示変更 ” を選択。
2 “VICS・交通情報 ” を選択。
3 VICS・交通情報を表示する道路を選択する。

A 高速道路・一般道路に表示

B 一般道路のみに表示

C 高速道路のみに表示

D 交通情報を表示しない

● VICS・交通情報を表示したときは、タイムスタンプが表示されます。

知識

●ハイウェイモード（→P.84 ）では、「一般道のみ」に設定しているときでも、VICS・交通情報が表示されます。

表示する VICS・交通情報を選択する

1 地図表示中に “ 表示変更 ” を選択。
2 “VICS・交通情報 ” を選択。
3 “ 種類 ” タブを選択。
4 表示する VICS・交通情報を選択する。

A 現況情報を利用した渋滞・混雑している道路の表示

B 事象・規制がある道路の表示

C 充電施設情報の表示

D 現況情報を利用した空いている道路の表示

E 駐車場情報の表示

F 統計情報を利用した渋滞・混雑している道路の表示

G 統計情報を利用した空いている道路の表示

● 作動表示灯が点灯している項目が表示されます。

知識

●渋滞・混雑、空き道は統計情報を表示することができます。また、現況情報と統計情報を同時に表示することもできます。ただし、同じ地点に両方の情報があるときは、現況情報を優先して表示します。

●充電施設情報は 2017 年 5 月現在、提供されていません。

渋滞・規制音声案内について

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、ルート上（約 10km 以内）の現況情報を音声案内させることができます。

音声案内の例：

▶ VICS 表示がある地点
「およそ 1km 先渋滞があります」

▶ VICS 記号のある地点
「およそ 5km 先電気工事のため車線規制中です」

知識

●渋滞・規制音声自動発声の出力する／しないを設定できます。（→P.157）

●音声案内はあくまでも参考としてください。

●音声案内の例は一般的なものであり、状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。

●自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。

渋滞・規制音声案内を再出力する

一度音声案内が出力されるとタイムスタンプが点灯し、操作することができます。

1 タイムスタンプを選択。

知識

●VICS 渋滞・規制音声自動発声を「しない」に設定していても、タイムスタンプが点灯していれば、選択すると渋滞・規制音声案内を出力させることができます。

VICS 図形情報・文字情報を表示する

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。

2 “情報”を選択。

3 サブメニューの“VICS”を選択。

4 “FM 図形”、または“FM 文字”を選択。

5 情報の番号（“1”・“2”・“3”…）を選択。

● 文字情報または図形情報に切り替えるときは、“文字”または“図形”を選択します。

6 ∧・∨または“自動送り”を選択。

● 前回情報を表示させたときに「自動送り」を選択していると、情報を表示すると同時に自動送りが開始されます。

● 情報のページを送るときは、∧・

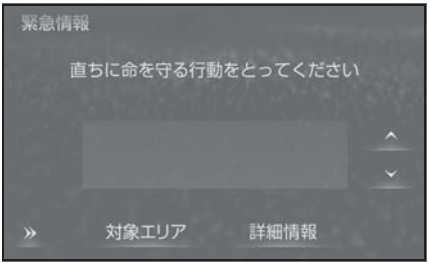
を選択します。

- “自動送り” を選択すると、情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページに戻ります。
  走行中は自動送りできません。
- 情報の自動送りを中止するときは、“停止” を選択します。
- 自動送り中に・を選択して、情報を送ったときは、自動送りは中止されます。
- 文字情報または図形情報に切り替えるときは、“文字” または “図形” を選択します。
- “目次” を選択すると、VICS 情報目次画面が表示されます。（手順 **5** の画面）

緊急情報を表示する

緊急情報※ を受信すると自動的に表示します。

※ 気象・津波・火山噴火（地震を除く）の特別警報



緊急情報を切り替えるとき

1 ・を選択。

- 詳細文字情報に切り替えるときは、“詳細情報” を選択。
- 対象エリアを確認するときは、“対象エリア” を選択。
- 約 15 秒以上操作しなかったときは、もとの画面に戻ります。

表示時間は調整することができます。（→P.94）

緊急情報を再表示する

一度表示した緊急情報を再表示することができます。

■ 地図画面から表示する

1 地図上部の “確認” を選択。

■ 情報画面から表示する

1 リモートタッチの “MENU” ボタンを押す。

2 “情報” を選択。

3 サブメニューの “VICS” を選択。

4 “FM 緊急” を選択。

気象・災害情報を表示する

気象・災害情報を受信すると地図上に自動的に該当エリアがハイライト表示されます。

知識

- 気象・災害情報エリアを回避するルートを探索することができます。（→P.133）

割込情報（ビーコン即時案内）を表示する

割込情報の表示設定をすると、ビーコンからの現況 VICS 情報が受信されたとき、VICS 文字情報または図形情報を自動的に表示させることができます。

割込情報を切り替えるとき

1 図形情報上の ∧・∨ を選択。

- 文字情報または図形情報に切り替えるとき、“文字” または “図形” を選択。
- 割込情報が複数ページある場合は、ページ送りできます。
- » を選択する、または約 15 秒以上操作しなかったときは、もとの画面に戻ります。
  表示時間は調整することができます。(→P.94)
- “音声停止”：割込情報の音声を停止できます。(→P.94)

知識

- 表示させている画面により、割込情報が表示されないことがあります。

ETC2.0 サービスで受けられる割込情報について

ETC2.0 サービスでは、VICS 文字情報・図形情報以外に、以下のサービスが受けられます。

知識

- ETC2.0 サービスについては、「ETC2.0 サービスについて」(→P.496) をご覧ください。
- 以下の割込情報の音量は、ナビの音量設定で調整することができます。(→P.132)
  - 安全運転支援情報
  - 前方状況情報提供サービス
  - 施設情報提供サービス

安全運転支援（注意警戒情報）案内サービス

見通しの悪いカーブ先の渋滞などを、高速道路などに設置されたITSスポットから受信して、音声と画面で案内します。
代表例として以下のような情報が提供されます。

■ 前方障害物情報提供

見通しの悪いカーブの先の停止車両や 渋滞情報をカーブへの侵入前に音声や画面表示で案内します。

- ETC2.0 サービスにより提供される情報にはいくつかの種類があります。この種類は、情報画面上に表示される情報種別で判別できます。

知識

- 割込情報内に表示されるボタンで下記操作ができます。
  » : 現在表示されている割込情報を消すことができます。
- 割込情報内のボタンについては、自動ボタン消しの設定に従います。(→P.161)
- 自動ボタン消し設定を「する」にした場合、割込情報内のボタンが表示されていないことがありますが、地図エリア内でカーソルを移動させれば再度表示されます。

（再表示後数秒間操作が無かった場合にはボタンが消えます）

●以下のようなときは、安全運転支援案内が行われない場合があります。
・ アンテナ付近に障害物があるとき
・ 大型車と並んで走行しているとき
・ 他のナビ音声案内、画面表示などと重なるとき
・ 低速度で走行しているとき
・ 自車位置が正確に特定できないとき
・ ITS スポット、車両検知センサ・カメラ等の路側システムが稼動していないとき

●表示させている画面により、安全運転支援情報が画面に表示されないことがあります。

●実際の音声や画面表示はITSスポットから提供されるものと異なることがあります。

●その他の安全運転支援情報については、「VICS・ETC2.0（ITS スポット）・DSSSの問い合わせ先について」（→P.98）をご覧ください。

道路交通情報

代表例として以下のような情報が提供されます。

■ 前方状況情報提供サービス

進行方向先の交通状況を模式図画面と音声、または音声で案内します。

■ 長文読上げサービス

ハイウェイラジオなどの情報を音声で案内します。

「現在の○○高速上り方向の情報をお知らせします。・・・・・」

1 “はい” を選択。

● 読上げ中、“中止” を選択すると、読上げを中止します。

知識

●読上げ情報は、2 回読上げると終了します。

●約 15 秒以上操作しなかったときは、もとの画面に戻ります。

●再度読上げ情報を聞くときは、「割込情報を呼び出す」（→P.93）をご覧ください。

●長文読上げサービスの音量は、オーディオの音量調整ツマミで調整することができます。（→P.184）

■ 施設情報提供サービス

サービスエリアやパーキングエリアの混雑情報や施設情報を画面や音声で案内します。

割込情報を呼び出す

割込情報の表示を「しない」に設定しているときに、受信された割込情報を表示させることができます。
また、一度表示された割込情報を再度表示させることもできます。

1 リモートタッチの “MENU” ボタンを押す。

2 “情報” を選択。

3 サブメニューの “VICS” を選択。

4 VICS 呼出、または ETC2.0 呼出の “割込情報” を選択。

5 ∧・∨を選択して、割込情報を切り替える。

● 文字情報（ETC2.0 呼出のときは、表示情報、読上げ情報）を表示したときも操作方法は同じです。

● VICS呼出の文字情報または図形情報に切り替えるときは、“文字” または “図形” を選択します。

● ETC2.0 呼出の表示情報または読み上げ情報に切り替えるときは、“表示情報” または “読上げ情報” を選択します。

知識

●提供時刻より約 30 分以上経過した割込情報は、表示させることができません。

割込情報の表示設定を変更する

割込情報の表示／非表示の設定、および割込情報の表示時間の調整をすることができます。

1 リモートタッチの “MENU” ボタンを押す。
2 “設定・編集” を選択。
3 サブメニューの “ナビ” を選択。
4 “ナビ詳細設定” を選択。
5 “その他” を選択。
6 “VICS/ETC2.0 設定” を選択。
7 各項目を設定する。

自動割込を設定する

1 各項目を選択。

● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

割込設定	内容
自動割込 VICS 注意警戒情報	VICS 注意警戒情報を表示します。
自動割込 VICS 文字情報	VICS 文字情報を表示します。
自動割込 VICS 図形情報	VICS 図形情報を表示します。
自動割込 ETC2.0 表示情報	ETC2.0 情報、長文読上げ情報確認画面を表示します。
自動割込 ETC2.0 注意警戒情報	ETC2.0 注意警戒情報、安全運転支援情報を表示します。
ETC2.0 音声案内	長文読上げ情報以外の音声情報の発話を設定します。

2 を選択。

知識

●自動割込情報を「しない」に設定していても、緊急情報が受信されたときは、自動的に文字情報または図形情報が表示されます。

●ETC2.0 サービスにより提供される自動割込は、注意警戒情報と ETC2.0 表示情報の設定項目でする／しないを設定できます。
各々の設定項目は割込み画面上部の情報種別と同じです。

●ETC2.0 音声案内を「する」に設定した場合でも、割込み画面下の “音声停止” を選択すると、音声案内を中止できます。

●同一割込み中において、発話中止後の再読み上げはできません。“音声停止” で中止した発話は次回割込み時に復帰します。

自動割込表示時間を調整する

1 VICS/ETC2.0 設定画面で、“自動割込みの表示時間” を選択。
2 （表示時間を長くする）、または （表示時間を短くする）を選択。
3 を選択。

知識

●音声案内中は表示時間が経過しても表示は消えません。音声案内終了後に消えます。

ETC2.0 走行情報のアップリンクの設定をする

走行履歴などの情報（走行位置の履歴や車両に関する情報など）をETC2.0を通じて、ITSスポットへ送ることができます。詳しくは、「道路管理者からのお知らせとお願い」をご覧ください。（→P.99）

1 VICS/ETC2.0設定画面で、“ETC2.0 走行情報のアップリンク”を選択。

● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

注意

●初期状態では「する」に設定されています。

●本設定が「しない」の場合、走行履歴などの情報を利用したサービスを受けられない場合があります。

新旧ルートを比較して表示する

ビーコンまたはG-Linkセンターなどから提供される現況情報が受信され、渋滞・規制情報が考慮されたルートが新たに見つかったとき、右画面に新ルートと元ルートの比較と分岐点までの距離を表示します。

● 渋滞考慮探索・新旧ルート比較表示を「する」に設定したとき、新旧ルート比較表示ができます。（→P.160、160）

1 “新ルート”、または“元ルート”を選択。

● 約20秒以上操作しなかったときは、新ルートで案内します。

知識

●新旧ルート比較表示を「しない」に設定していても、渋滞考慮探索（→P.160）を「する」に設定していて、渋滞を考慮したルートが新たに見つかったときは自動的に新しいルートで案内します。

●新旧ルート比較表示では、VICS・交通情報の表示設定（→P.89）に関わらず渋滞情報が表示されます。
ただし、地図の縮尺によっては表示されないことがあります。（→P.87）

●交通情報を受信する度に、新旧ルート比較が表示されます。

VICS放送局を選択する

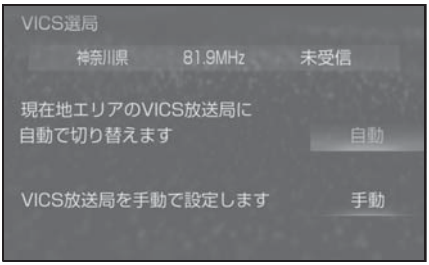
現況VICS情報を提供しているFM放送局を選ぶことができます。

通常は、自動で受信するように設定してください。自動で受信されないときのみ手動で放送局、または放送エリアを選択してください。

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。
2 “設定・編集”を選択。
3 サブメニューの“ナビ”を選択。
4 “ナビ詳細設定”を選択。
5 “その他”を選択。
6 “VICS/ETC2.0 設定”を選択。
7 “VICS 選局”を選択。

● 表示される画面は、前回選択していたモード（自動選択または手動選択）により異なります。

▶ 自動選択時



▶ 手動選択時

自動で放送局を選択する

現在地がある都道府県の、VICS 提供 FM 放送局が受信され、現在地を移動すると、自動的に放送局が切り替わります。

1 “自動”を選択。

知識

●新規エリアについては周波数を手動で選択しないと受信できない場合があります。

手動で放送局を選択する

▶ エリア選択

選んだ都道府県の VICS 提供 FM 放送局が受信されます。受信状態がかわると、選んだ都道府県内で自動的に放送局が切り替わります。

▶ 周波数選択

選んだ周波数の放送局が受信されます。受信状態がかわっても自動的に放送局は切り替わりません。

1 “手動”を選択。
2 エリア選択時は、受信させる放送局のある都道府県名を選択。周波数選択時は、∧・∨ を選択して、放送局の周波数を選ぶ。

● 放送局の電波が受信されると、「受信中」が表示されます。

3 リモートタッチの ⮌ ボタンを押す。

VICS について

VICS（Vehicle Information and Communication System：道路交通情報通信システム）は、渋滞や事故・工事・所要時間・駐車場混雑状況などの道路交通情報をリアルタイムに送信し、ナビゲーションなどの車載のモニターに表示するシステムです。また、道路交通情報の提供を通して、安全性の向上・交通の円滑化による環境の保全などを促進することを目的として

います。

VICS リンクデータベースの著作権は、一般財団法人日本デジタル道路地図協会・公益財団法人日本交通管理技術協会（TMT）が有しています。

VICS、およびこの機器に付与されたVICSのロゴマークは一般財団法人 道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

「VICSWIDE」について

本機は「VICSWIDE」に対応しています。従来の VICS に加えて、次のようなサービスを利用することができます。

- プローブ情報に対応した渋滞情報の提供拡大
- 緊急情報（特別警報（地震を除く））の提供
- 気象・災害情報エリアの表示

VICS のメディアについて

VICS は、FM 多重放送・電波ビーコン（ETC2.0/5.8GHz）・光ビーコンの 3 つのメディアを受信することができます。

- 3 つのメディアはそれぞれ特長が異なります。
- 電波ビーコン（2.4GHz）は、本機では受信しません。

■ FM 多重放送

FM 多重放送は、VICS 提供 FM 放送局（NHK-FM）から電波の届く範囲の車両にVICS情報の提供が行われます。

■ 電波ビーコン（ETC2.0/5.8GHz）

電波ビーコン（ETC2.0/5.8GHz）は、おもに高速道路の路側に設置されており、その地点を通過する車両にETC2.0 サービス情報の提供が行われます。また、ITS スポットにて受信した情報をナビゲーションに蓄積し、高速道路上の任意の場所でタイミングよく情報提供が行われる場合もあります。

■ 光ビーコン

光ビーコンは、おもに一般道路の各車線ごとに設置されており、その車線を通過する車両に VICS 情報およびDSSS 情報の提供が行われます。

VICS の運用時間について

24 時間運用されています。

ただし、FM 多重放送は、第 1・第 3 月曜日の AM1：00 ～ 5：00 の間はメンテナンスのため休止する場合があります。

- 休止時間については、VICS FM 多重放送の「お知らせ」で案内します。
- VICS の運用時間は予告なく変更・廃止されることがあります。

VICS FM 多重放送を受信できないとき

本機は、以下のようなとき VICS FM 多重放送の情報を受信できません。

- VICS FM 多重放送を受信できない状態から、VICS 情報を表示させようとした場合、VICS 情報が表示されない、または地図画面上の VICS タイムスタンプが更新されませ

ん。

VICS の用語について

より有効にVICSを利用していただくために、以下の用語の説明をご一読ください。

■ 緊急情報について

津波情報などの緊急の伝達が必要とされる情報を受信すると、このシステムでは、ほかの情報より優先して提供・表示されます。

■ 交通情報関連の用語について

- 渋滞：交通の流れが非常に悪い状態を示します。
- 混雑：交通の流れがやや悪い状態を示します。

■ 駐車場・SA・PA 関連の用語について

- 空車：駐車場（SA・PA）の利用が可能な状態を示します。
- 混雑：駐車場（SA・PA）において、利用率が高い状態を示します。
- 満車：駐車場（SA・PA）において、ほぼ満車の状態を示します。
- 不明：駐車場（SA・PA）の情報がない状態を示します。
- 閉鎖：駐車場が閉鎖されている状態を示します。

VICS センター著作権について

1　お客様は、共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権を一般財団法人道路交通情報通信システムセンター、一般社団法人 UTMS 協会および一般財団法人道路新産業開発機構が所有しまたは管理すること、並びに共通ネットワーク仕様書以外のVICS 技術情報等の著作権その他知的所有権および使用許諾権を一般財団法人道路交通情報通信システムセンターが所有しまたは管理することに同意する。

2　お客様は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンター、一般社団法人 UTMS 協会および一般財団法人道路新産業開発機構の共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権の保護に努める、並びに一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの共通ネットワーク仕様書以外のVICS技術情報等の著作権その他知的所有権および使用許諾権の保護に努める。

VICS・ETC2.0（ITS スポット）・DSSS の問い合わせ先について

■ レクサス販売店への問い合わせについて

以下の内容はレクサス販売店にご相談ください。

- ナビゲーションシステム、ETC2.0ユニットの調子・機能・使用方法・表示・その他に関するもの
- DSSS 運転支援機能に関するもの

■ VICS　センターへの問い合わせについて

以下の内容はVICSセンターにご相談ください。

- VICS文字情報･VICS図形情報に関するもの

- ETC2.0 サービスにて提供される道路交通情報に関するもの
- ETC2.0 サービスにて提供される安全運転支援案内に関するもの
- VICS の概念・事業計画（サービスエリアの計画）に関するもの
- DSSS の概念･事業計画に関するもの

■ **VICS センター**

電話番号（受け付け時間 …9：30 ～ 17：45、土曜・日曜・祝日を除く）

0570ー00ー8831（全国共通･PHS、IP 電話等を除く）

FAX 番号（受け付け時間 …24 時間）

03ー 3562ー 1719

ホームページ

次のアドレスでも連絡先をご覧いただけます。

http://www.vics.or.jp/

連絡先およびアドレスは、予告なしに変更・休止することがあります。ご了承ください。

道路管理者からのお知らせとお願い

車載器の ID 付きプローブ情報の利用及び取り扱い方針

国土交通省、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社、阪神高速道路株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社及び広島高速道路公社（以下、「道路管理者」と言います。）は、ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビから収集する車載器の ID 付きプローブ情報の利用や取り扱いの方針について、次の通り定めます。

車載器の ID 付きプローブ情報を提供いただくことで、経路情報を活用したサービスを提供することが可能となり、渋滞等を迂回する経路を走行したドライバーを優遇することなどが期待されます。

1．車載器の ID 付きプローブ情報

（1）ここで「車載器の ID 付きプローブ情報」とは、ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビに記録された走行位置の履歴など「プローブ情報」に車両を特定するための「車載器の ID」を付与した情報で、道路管理者が管理する ITS スポット（DSRC 路側無線装置）※1 と通信を行うことにより ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビから収集される情報を言います。

※1 道路管理者とプローブ情報の収集に関する協定等を結んだ者が管理する ITS スポットを含みます。

（2）「車載器の ID 付きプローブ情報」として収集される情報は次のとおりです。※2

- ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビに関する情報（無線機に関する情報（製造メーカ、型番等）、カーナビゲーションに関する情報（製造メーカ、型番等））
- 車両に関する情報 ※3
- 走行位置の履歴 ※4
- 急な車両の動きの履歴 ※4

※2 ただし、個別サービスの種類によって

は、車載器のID付きプローブ情報として収集される情報以外の情報を利用する場合があるため、このようなサービスを利用する場合には、その利用や取り扱いについて、当該サービス提供者の説明を受け、同意した上で当該サービスを利用してください。

※3車載器のセットアップの際にご提供いただいた車両情報です。車両を特定するための車載器のIDに関する情報や自動車登録番号、車両番号が含まれます。ただし自動車登録番号、車両番号については4桁の一連番号は含まれません（例：「品川　500　あ　1234」では「1234」の部分は含まれません。）。

※4走行開始地点や走行終了地点は収集されません。

2. 車載器のID付きプローブ情報の利用目的

（1）渋滞等を迂回する経路を走行したドライバーを優遇する等の経路情報を活用したサービスが実用化した場合、道路管理者は車載器のID付きプローブ情報を当該サービスの提供に利用します。

（2）道路管理者は、車載器のID付きプローブ情報を、経路情報を活用したサービスの有効性検証等のために利用する場合があります。

（3）道路管理者は、（1）または（2）の目的以外で車載器のID付きプローブ情報を利用しません。

3. 車載器のID付きプローブ情報の収集

（1）道路管理者は、道路管理者が管理するITSスポット※1によって、車載器のID付きプローブ情報を収集する場合があります。

（2）ETC2.0 対応カーナビと連動する ETC2.0 車載器の利用者は、設定により1.（2）で示す情報のうちカーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴について、道路管理者への提供の可否を選択できる場合があります。※5

※5ETC2.0 対応カーナビと連動せず単独でプローブ情報を記録できる ETC2.0 車載器の利用者は、設定により道路管理者へ車載器のID付きプローブ情報の提供を拒否する選択は行えません。また、ETC2.0 対応カーナビと連動せず単独でプローブ情報を記録できる ETC2.0 車載器の利用者は、道路管理者からのお知らせとお願いとして周知している「プローブ情報の利用及び取り扱いについて」におけるプローブ情報の収集についても同様に、設定により道路管理者への情報の提供を拒否する選択は行えません。「プローブ情報の利用及び取り扱いについて」は ETC2.0 車載器の説明書または道路管理者 Web サイト等に掲載されています。ETC2.0 車載器を取得する前に、車載器の説明書等によりあらかじめ確認し、取得する ETC2.0 車載器を選択してください。

（3）ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビ利用者は、設定により道路管理者への（2）で示す車載器の ID付きプローブ情報の提供を拒否する選択をした場合、2.（1）の経路情報を活用したサービスによる優遇は受けられません。※6

※6カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供する機能の無いカーナビゲーションは経路情報を活用したサービスによる優遇が受けられません。

4. 車載器のID付きプローブ情報の第三者への提供

（1）道路管理者は、2.（1）及び（2）の目的のため、収集した車載器の ID 付きプローブ情報を個別の車両を特定できないよう統計的に処理した情報を、他の情報提供主体、大学等の研究機関、その他第三者に提供する場合があります。

（2）道路管理者は、ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビ、ITS スポット等の関係設備について、障害発生時の対応や、これらの研究・開発の目的のため、車載器の ID 付きプローブ情報又はこれらを統計的に処理した情報を、製造・開発メーカー等に提供する場合があります。

（3）道路管理者は、（1）及び（2）以外で車載器の ID 付きプローブ情報を第三者に提供しません。

5. 車載器の ID 付きプローブ情報の取り扱い等

（1）道路管理者は、車載器の ID 付きプローブ情報を安全に管理し、情報の漏えい等の防止に努めます。

（2）道路管理者は、車載器の ID 付きプローブ情報が不要となった時点で、当該車載器の ID 付きプローブ情報を消去します。

（3）道路管理者は、車載器の ID 付きプローブ情報の提供先における情報の安全管理および提供した情報が不要となった時点で情報を消去することについて、提供先を適切に指導します。

6. 問い合わせ先

国土交通省 道路局道路交通管理課高度道路交通システム推進室

03-5253-8111（代）

東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社保全・交通部管制技術グループ、阪神高速道路株式会社情報システム部システム技術課、本州四国連絡高速道路株式会社保全計画部保全管理課、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社、広島高速道路公社

2015 年 7 月現在

プローブ情報の利用及び取り扱いについて

国土交通省、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社、阪神高速道路株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社及び広島高速道路公社（以下、「道路管理者」と言います。）は、ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビからプローブ情報を収集する場合における情報の利用や取り扱いについて、次の通りお知らせします。

プローブ情報をご提供いただくことで、より精度の高い道路交通情報などをドライバーの方々に提供することなどが可能となり、道路がより使いやすくなると期待されます。また、交通事故の削減や道路渋滞の緩和など環境負荷低減の取り組みにも活用する予定です。

なお、道路管理者はこのお知らせを変更することがあります。この場合には変更後のお知らせを道路管理者 Web サイト等に掲載します。

1. プローブ情報

（1）ここで「プローブ情報」とは、ETC2.0車載器及びETC2.0対応カーナビに記録された走行位置の履歴などの情報で、道路管理者が管理するITS スポット（DSRC 路側無線装置）※1 と無線通信を行うことによりETC2.0車載器及びETC2.0対応カーナビから収集される情報を言います。

なお、このプローブ情報から車両又は個人を特定することはできません。

プローブ情報として収集する情報は次の通りです。※2

- ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビに関する情報（無線機に関する情報（製造メーカ、型番等）、カーナビゲーションに関する情報（製造メーカ、型番等））
- 車両に関する情報 ※3
- 走行位置の履歴 ※4
- 急な車両の動きの履歴 ※4

※1道路管理者とプローブ情報の収集に関する協定等を結んだ者が管理する ITS スポットを含みます。

※2ただし、個別サービスの種類によっては、車載器の ID 付きプローブ情報として収集される情報以外の情報を利用する場合があるため、このようなサービスを利用する場合には、その利用者取り扱いについて、当該サービス提供者の説明を受け、同意した上で当該サービスを利用してください。

※3車載器のセットアップの際にご提供いただいた車両情報の一部です 。なお、この情報に、車台番号や、自動車登録番号又は車両番号の 4 桁の一連番号は含まれないため、車両又は個人を特定することはできません （例：「品川 500 あ 1234」では「1234」の部分は含まれません。）。

※4走行開始地点や走行終了地点などの個人情報にかかわる情報は、収集されません。

2. プローブ情報の利用目的

（1）道路管理者は、プローブ情報を道路交通情報や安全運転支援情報の提供などドライバーへのサービス、道路に関する調査・研究、道路管理の目的に利用します。※5

※5例えば、収集した走行位置の履歴を統計的に処理することで、区間の走行所要時間や、渋滞の影響を高い精度で把握し、ドライバーに情報提供することができます。また、急な車両の動きを統計的に処理することで、道路上の障害物の検知や、走行に注意が必要な箇所を把握し、ドライバーに情報提供することが考えられます。

（2）道路管理者は、（1）の目的以外でプローブ情報を利用しません。

3. プローブ情報の収集

（1）道路管理者は、道路管理者が管理する ITS スポット ※2 によって、プローブ情報を収集する場合があります。

（2）ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビ利用者は、設定により、1.（1）で示す情報のうちカーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴について、道路管理者への提供の可否を選択することができます。※6※7 選択の方法はETC2.0及びITSスポット対応カーナビの取扱説明書をご覧下さい。

※6カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供する機能の無いカーナビゲーションは該当しません。

※7 ETC2.0 対応カーナビと連動せず単独でプローブ情報を記録できる ETC2.0 車載器の利用者は、設定により道路管理者への（2）で示す情報の提供を拒否する選択を行えません。

（3）ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビ利用者は、カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの 履歴を提供することで、これを利用した様々な追加サービスの提供を受けられる場合があります。

4．プローブ情報の第三者への提供

（1）道路管理者は、2.（1）の目的のため、プローブ情報を統計的に処理した情報を、他の情報提供主体、大学等の研究機関、その他第三者に提供する場合があります。

（2）道路管理者は、ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビ、ITS スポット等の関係設備について、障害発生時の対応や、これらの研究・開発の目的のため、プローブ情報又はこれを統計的に処理した情報を、製造・開発メーカーに提供する場合があります。

（3）道路管理者は、（1）及び（2）以外でプローブ情報を第三者に提供しません。

5．プローブ情報の取り扱い

（1 ）道路管理者は、プローブ情報を安全に管理し、情報の漏えい等の防止に努めます。

（2）道路管理者は、プローブ情報が不要となった時点で、当該プローブ情報を消去します。

（3 ）道路管理者は、プローブ情報の提供先における情報の安全管理について、提供先を適切に指導します。

6．問い合わせ先

国土交通省 道路局道路交通管理課高度道路交通システム 推進室

03-5253-8111（代）

東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社保全・交通部管制技術グループ、阪神高速道路株式会社情報システム部システム技術課、本州四国連絡高速道路株式会社保全計画部保全管理課、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社、広島高速道路公社

2015 年 7 月改定

2014 年 10 月改定

2010 年 10 月現在

知識

● 本機での選択の方法は、「ETC2.0 走行情報のアップリンクの設定をする」（→P.95）をご覧ください。

VICS 過去データについて

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

甲＝一般財団法人道路交通情報通信システムセンター

1 契約者は、共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権を甲、一般社団法人 UTMS 協会及び一般財団法人道路新産業開発機構が所有し又は管理すること、並びに共通ネットワーク仕様書以外のVICS技術情報等の著作権その他知的所有権及び使用許諾権を甲が所有し又は管理することに同意する。

2 契約者は、甲、一般社団法人 UTMS

協会及び一般財団法人道路新産業開発機構の共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権の保護に努める、並びに甲の共通ネットワーク仕様書以外のVICS技術情報等の著作権その他知的所有権及び使用許諾権の保護に努める。

VICS記号・表示について

記号	道路の種類・状況
※（黒色）	通行止めの区間
（赤色）	渋滞している道路
（橙色）	混雑している道路
（水色）	すいている道路

※ 夜画のときは白色で表示されます。

記号	施設情報
P／P（青色）	駐車場／臨時駐車場（空車）
P／P（燈色）	駐車場／臨時駐車場（混雑）
P／P（赤色）	駐車場／臨時駐車場（満車）
P／P（黒色）	駐車場／臨時駐車場（不明）
P／P（赤色）	駐車場／臨時駐車場（閉鎖）

記号	施設情報
SA PA（青色）	SA・PA（空車）
SA PA（燈色）	SA・PA（混雑）
SA PA（赤色）	SA・PA （満車）
SA PA（黒色）	SA・PA（不明）
SA PA（赤色）	SA・PA （閉鎖）
（青色）	充電施設（空車）
（燈色）	充電施設（混雑）
（赤色）	充電施設（満車）
（黒色）	充電施設（不明）
（赤色）	充電施設（閉鎖）

記 号	規制情報
	事故
	故障車
	路上障害
	注意

記 号	規制情報
	地震警戒宣言
	工事
	火災
	雨
	凍結
	雪
	作業
	通行止め
	右折禁止
	左折禁止
	直進禁止
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止
	対面通行
	車線規制
	徐行
	入口閉鎖
	大型車両通行止め
	入口規制
	出口規制
30	速度規制
	イベント

記 号	規制情報
気象速報	気象速報
災害速報	災害速報

知識

●表示される記号・表示の位置は実際と異なることがあります。また、複数のVICS・交通情報が代表して1つの記号で表示されることがあります。

知っておいていただきたいこと

● 提供されるVICS情報はあくまでも参考としてください。（提供されるVICS 情報は、最新ではないことがあります。）

● 電波や光の信号がうまく受信されないときは、一部の表示が乱れることがありますが、新しい信号が正しく受信されれば正しい表示に更新されます。

● VICSの表示内容は、VICSセンターが提供していますので、本書の画面と実際の画面は異なることがあります。

● VICS 情報は、発信されている地域により、情報の内容が異なります。

● VICS による交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の地図への表示は、毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は 経年により、一部の情報が表示されなくなることがあります。

■ FM 多重放送特有の事項について

● FM 多重放送は、一定周期で情報が更新されますので、情報が揃うまでに時間がかかることがありま

す。

● 以下のようなときは、VICS 情報が受信されないことがあります。

・トンネルの中にいるとき
・高層ビルの谷間にいるとき
・高架道路の下にいるとき
・盆地にいるとき
・大型車とすれちがったとき

■ **電波ビーコン（ETC2.0/5.8GHz）特有の事項について**

● 電波ビーコン（ETC2.0/5.8GHz）は、直線的にしか電波が届きません。

● 以下のようなときは、VICS 情報が受信されないことや誤って受信されることがあります。

・電波ビーコン（ETC2.0/5.8GHz）を発信する路側に街路樹が茂っているとき
・トンネルの中にいるとき
・高架道路の下にいるとき
・大型車と並んで走行しているとき
・アンテナ付近に障害物があるとき
・ITSスポットを通過するETC2.0装着車両が多いとき
・高速道路の下の一般道路を走行しているとき、高速道路の電波ビーコン（ETC2.0/5.8GHz）が受信されることがあります。

■ **光ビーコン特有の事項について**

● 以下のようなときは、VICS 情報が受信されないことや誤って受信されることがあります。

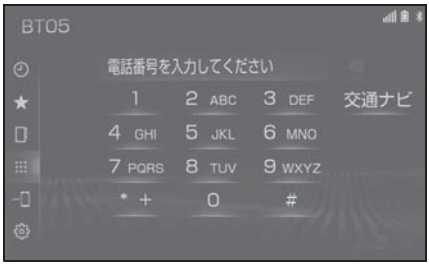
・太陽と重なったとき
・雪が積もっているときやフロントウインドウガラスがよごれているとき
・アンテナ付近に障害物があるとき

交通ナビ関連情報について

JAF や道路交通情報センターなどの電話番号を表示することができます。
また、登録されているメモリ地点や設定されている目的地に電話番号が入力されていれば、その地点の電話番号を表示することができます。

交通ナビ関連情報を表示する

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。
2 “電話”を選択。
3 サブメニューの“キーパッド”を選択。
4 “交通ナビ”を選択。



5 項目を選択。

● 目的地が 1 カ所のみ設定されているときは、“目的地”を選択すると、名称と電話番号を表示します。

6 選択した項目により、次のいずれかの操作をする。

JAF または道路交通情報センターの情報を表示する

1 都道府県名 → 施設名称の順に選択。

メモリ地点の情報を表示する

1 メモリ地点を選択。

● 地図を表示するときは、“地図”を選択します。

目的地の情報を表示する

● 目的地が複数設定されているときは、いずれかの目的地を選択します。

目的地の検索

さまざまな検索方法で目的地に設定する場所を検索することができます。

目的地検索画面を表示する

▶ 地図画面から表示する

1 地図画面の “目的地” を選択。

2 目的地の検索方法を選択する。

▶ メニュー画面から表示する

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。

2 “目的地” を選択。

3 目的地の検索方法を選択する。

目的地検索画面

A G-Link センターの検索エンジンを使用して地図を表示する。(→P.477)

B 読みで検索した施設や、入力した地名がある地域の地図を表示する。(→P.109)

C さまざまなジャンルから検索した施設がある地点の地図を表示する。(→P.112)

D 電話番号で検索した施設や、電話番号が使用されている地域の地図を表示する。(→P.113)

E 住所で指定した地点または地域の地図を表示する。(→P.113)

F あらかじめ登録しておいたメモリ地点の地図を表示する。

・メモリ地点を登録しているときのみ使用できます。(→P.143)

G 名称で検索した施設や、地名がある地域の地図を表示する。(→P.109)

・漢字やカタカナで検索するときに便利です。

H 現在地または目的地周辺などの施設がある地点の地図を表示する。(→P.114)

I ドライブプランやGメモリ地点情報を使用して地図を表示する。(→P.427)

・目的地の設定を行うときのみ使用できます。

J 入力したマップコードが使用されている地域の地図を表示する。(→P.114)

K 特別メモリ地点を目的地としてルート探索を開始する。

・特別メモリ地点を登録しているときのみ使用できます。(→P.144)

・目的地の設定を行うときのみ使用できます。

L 特別メモリ地点周辺の地図を表示する。
・特別メモリ地点を登録しているときのみ使用できます。(→P.144)
・目的地の設定を行うときのみ使用できます。

M 目的地履歴(過去に設定した目的地)の地点の地図を表示する。(→P.115)
・目的地履歴が登録されているときのみ使用できます。

N 前回目的地案内を行ったときの出発地点の地図を表示する。(→P.115)
・一度目的地案内を行ったときのみ使用できます。

O 自宅を目的地としてルート探索を開始する。
・自宅を登録していない場合は、ここから登録することができます。(→P.120)
・目的地の設定を行うときのみ使用できます。

P 自宅周辺の地図を表示する。
・自宅を登録しているときのみ使用できます。(→P.120)
・目的地の設定を行うときのみ使用できます。

Q 2ページ目または1ページ目を表示する。

知識

●目的地検索画面の1ページ目の並び順を変更することができます。(→P.165)

●目的地の追加(→P.137)や、メモリ地点の登録(→P.145)などの場合も同様の方法で目的地を検索します。

読みまたは名称で検索する

施設名称または地名を入力し、地図を呼び出すことができます。

また全国リスト画面(→P.110)に表示された件数が多い場合は、エリア(→P.111)・ジャンル(→P.112)を指定することにより件数を絞り込むことができます。

知識

●入力中に検索先の候補が 5 件以下になり、約 10 秒以上操作しなかったときは、自動的にその時点で入力した文字から検索された施設名称の全国施設リスト画面が表示されます。

●ソフトウェアキーボードの使用方法は、「文字・数字の入力のしかた」(→P.31)をご覧ください。

読みで検索する

1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する:

● 地図画面の“目的地”を選択。

● リモートタッチの“MENU”ボタン→“目的地”の順に選択。

2 “読み”を選択。

3 名称の読みを入力し、“検索”を選択。

● 入力するごとに、検索される施設名称の件数が表示されます。

● 検索された施設名称または地名の全国リスト画面が表示されます。(→P.110)

名称で検索する

読み検索に比べ、検索する施設名称または地名の件数を絞り込むことができます。漢字やカタカナで検索するときに便利です。

■ **ひらがな・漢字入力**

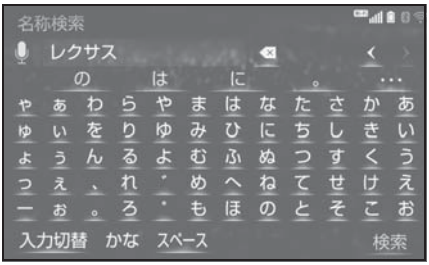
1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：

● 地図画面の “目的地” を選択。

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “目的地” の順に選択。

2 “名称” を選択。

3 名称を入力し、変換候補から選択。



● 変換候補の中に希望の変換語句がない場合、・・・を選択して他の候補を表示させることができます。

● 入力したままの状態で確定したいときは、“確定” を選択します。

● を選択すると音声認識で文字を入力することができます。

4 “検索” を選択。

● 検索された施設名称または地名の全国リスト画面が表示されます。（→P.110）

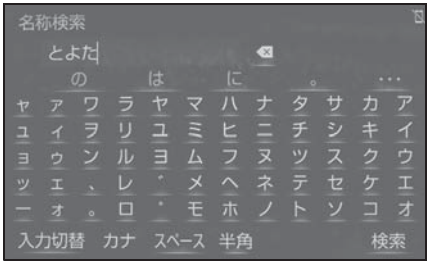
■ **カタカナ、英数字・記号入力**

1 名称検索画面で “入力切替” を選択。

2 “カナ”・“英数字” のいずれかを選択し、入力画面を切り替える。

3 名称を入力し、“検索” を選択。

▶ カタカナ入力時

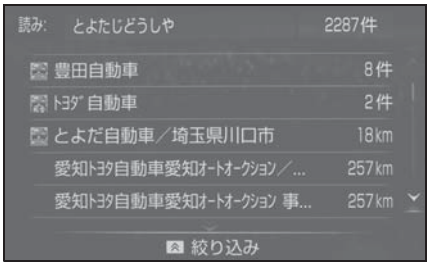


▶ 英数字・記号入力時

● 検索された施設名称または地名の全国リスト画面が表示されます。（→P.110）

全国リストから検索する

1 全国リスト画面で、表示させる施設名称または地名を選択。



● エリア（→P.111）またはジャンル（→P.112）を指定することにより、リストに表示されている施設名称または地名を絞り込むことができます。

● 同じ施設名称、または施設名称に

複数の店舗（チェーン店など）があるときは、まとめてリストに表示されます。この場合、施設名称の右側に検索された施設の件数が表示されます。

● まとめて表示されたリストを選択したときは、施設名称を選択します。施設名称のリストは、リモートタッチの⌃ボタンを押すことで以下の並べ方（ソート）をすることができます。

・“距離順”※:自車位置マークから近い施設または地名の順

・“名称順”：50 音順

※ 検索された施設名称または地名の件数が多い場合は、距離順に並び替えできない場合があります。

● 選択した施設の地図が表示されます。

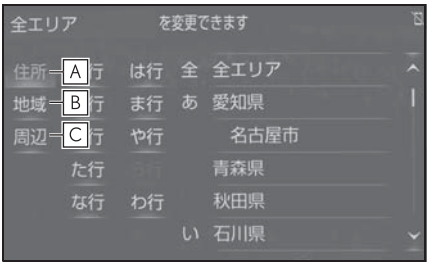
エリア別に絞り込む

エリアを指定して、施設名称または地名を絞り込むことができます。

1 全国リスト画面で、リモートタッチの⌃ボタンを押す。

2 “エリアで絞る” を選択。

3 エリアの指定方法を選択。



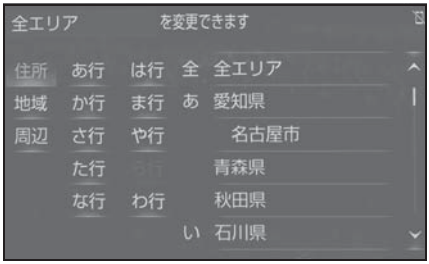
A 住所で絞り込む（→P.111）

B 地域で絞り込む（→P.111）

C 周辺で絞り込む（→P.111）

■ **住所選択時**

1 都道府県名を選択。



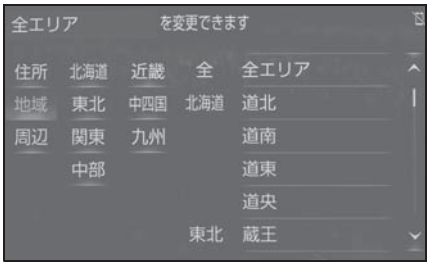
● リスト画面に戻すときは、“全エリア” を選択します。

2 市区町村名を選択。

● 都道府県を指定してリスト画面を表示するときは、“○○全域” を選択します。

■ **地域選択時**

1 地域名を選択。



● リスト画面に戻すときは、“全エリア” を選択します。

■ **周辺選択時**

1 “現在地周辺” または “目的地周辺” を選択。

● リスト画面に戻すときは、“全エリア” を選択します。

● 目的地を複数設定している場合に、“目的地周辺” を選択したと

きは、目的地を選択します。

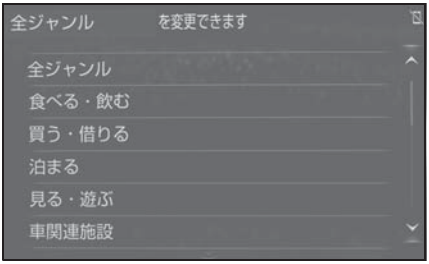
施設のジャンル別に絞り込む

ジャンルを指定して、施設名称または地名を絞り込むことができます。

1 全国リスト画面で、リモートタッチの⌃ボタンを押す。

2 “ジャンルで絞る” を選択。

3 施設のジャンル、さらに詳細な施設のジャンルの順に選択。



● 地名を入力したときは、“その他” → “住所” の順に選択すると、地名のリストが表示されます。

● リスト画面に戻すときは、“全ジャンル” を選択します。

知識

●施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限らず、所在地の住所を代表する地点が表示されることがあります。

ジャンルで検索する

現在地または目的地周辺など施設を検索するエリアを変更し、変更したエリア周辺の施設を検索することができます。

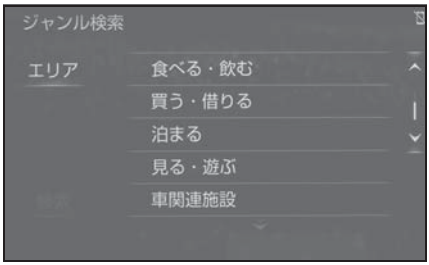
1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：

● 地図画面の “目的地” を選択。

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “目的地” の順に選択。

2 “ジャンル” を選択。

3 施設のジャンル、さらに詳細な施設のジャンル → “検索” の順に選択。



● 5つまで選択することができます。

● 間違えたときは、選択済みの施設のジャンルを選択します。

● 選択ジャンルを解除するときは、リモートタッチの⌃ボタンを押します。押すたびに 1 つずつ選択ジャンルを解除します。

4 施設名称を選択。

● 施設のリストは、リモートタッチの⌃ボタンを押すことで以下の並べ方（ソート）をすることができます。

・“距離順”：自車位置マーク▲または⊕から近い施設の順

・“名称順”：50 音順

● “ルート沿い考慮” を選択すると、ルート沿いの施設のみリストに表示されます。（→P.79）

施設検索するエリアを変更する

1 ジャンル検索画面で “エリア” を選択。

2 施設を検索したい地域を選択。

● “住所指定” を選択すると、住所から施設を検索したい地域を選択することができます。選択方法については、「住所で検索する」（→P.113）手順 **3** へ。

電話番号で検索する

1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：

● 地図画面の “目的地” を選択。

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “目的地” の順に選択。

2 “電話番号” を選択。

3 電話番号を入力し、“検索” を選択。

● 市外局番から入力します。

● 入力した番号に該当する施設があるときは、その施設付近の地図が表示されます。

● 同じ電話番号で複数の地点があるときは、施設名称を選択します。

知識

●該当する施設がないときや個人住宅などのときは、市外・市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。

●同じ名前の施設が、複数表示されることがあります。

●施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限りません。また、以下のようなケースで一般情報誌などとは異なった検索が行われることがあります。

・デパートの美術館・アミューズメントパークなどでは、問い合わせ先の場所と所在地が離れていることがあります。このような施設の電話番号を入力すると、問い合わせ先の所在地の地図が表示されます。

・一般情報誌などではホール等の電話番号として、管理会社の電話番号を記載していることがあります。このような施設の電話番号を入力すると、管理会社名が検索され、その管理会社の所在地の地図が表示されます。

●施設の電話番号や所在地、名前などは 1 年間で数万件が変化します。この点に留意してご利用ください。

●地図に表示される住所は、隣接する地名が表示されることがあります。また、表示される電話番号は途中で切れていることや省略されていることがあります。

●収録されていない電話番号を入力して表示させた地図の地点は、目的地の設定などをした時点で自動的に記憶されます。次回、同じ番号を入力すると記憶された地図が表示されます。記憶できる件数をこえたときは、古いものから自動的に消去されます。

住所で検索する

1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：

● 地図画面の “目的地” を選択。

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “目的地” の順に選択。

2 “住所” を選択。

3 都道府県名・市区町村名・町名・丁目（字）の順に選択。

● “○○主要部” を選択すると、広域図が表示されます。

4 “ 番地指定 ” を選択。

5 番地を入力し、“ 検索 ” を選択。

知識

●入力した番地に該当する住所がないときは、その丁目（字）の広域図が表示されます。

●「郡」や「字」等の名称は、表示されません。

施設で検索する

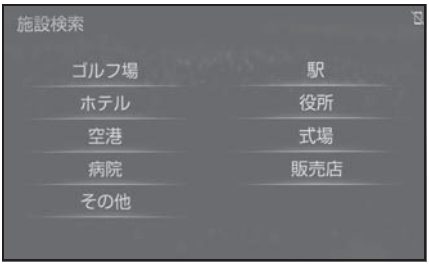
1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：

● 地図画面の “ 目的地 ” を選択。

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 目的地 ” の順に選択。

2 “ 施設 ” を選択。

3 施設のジャンルを選択。



● 表示されている以外のジャンルを表示するときは、“ その他 ” → 施設のジャンルの順に選択します。

4 都道府県名（路線名）を選択。

● さらに市区町村名（または路線名・販売会社名 ）が表示されることがあります。このとき、同様に市区町村名（または路線名・販売会社名）を選択します。

● 施設のジャンルによっては、全国施設リストが表示されることがあります。
このとき、全国施設リスト画面から、施設名称を選び、地図を表示させることができます。
“ 全国の○○ ” を選択すると、全国施設リスト画面になり、全国の施設名称が 50 音順に表示されます。

5 施設名称を選択。

マップコードで検索する

1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：

● 地図画面の “ 目的地 ” を選択。

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 目的地 ” の順に選択。

2 “ マップコード ” を選択。

3 マップコードを入力し、“ 検索 ” を選択。

知識

●マップコードとは、特定の位置の位置データをコード化し、1 ～ 13 桁の番号でその場所を特定することができるものです。従来は、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定することができるようになります。

●「マップコード」は、株式会社 デンソーの登録商標です。

●マップコードについては、以下のホームページで紹介されていますので、そちらをご覧ください。
http://www.e-mapcode.com

●マップコードは、メモリ地点（→P.145）・迂回メモリ地点（→P.147）を登録すると、位置の名称の下に表示されます。

履歴で検索する

1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：

● 地図画面の “目的地” を選択。

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “目的地” の順に選択。

2 “履歴” を選択。

3 希望の目的地履歴を選択。

● リモートタッチの ⌃ ボタンを押し “前回出発地” を選択すると、前回目的地案内させたときの出発地点の地図が表示されます。

履歴を消去する

1 履歴検索画面でリモートタッチの ⌃ ボタンを押し、“履歴消去” を選択。

2 消去したい項目を選択。

3 “消去” を選択。

4 “はい” を選択。

● すべての履歴を削除するときは、リモートタッチの ⌃ ボタンを押し、“はい” を選択します。

知識

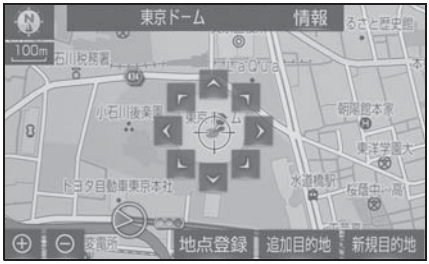
● 自宅および特別メモリ地点は、目的地履歴に記憶されません。

検索した地図の操作

ピンポイント検索について

地図を呼び出したとき、施設によっては、ピンポイント検索されます。

▶ ピンポイント検索されたとき



▶ ピンポイント検索されなかったとき

知識

● 検索された施設に、詳細な情報があるときは、検索された施設の地点に が表示されます。

地図の位置を変更する・調整する

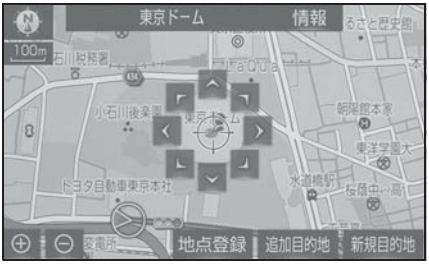
1 地図検索後、目的地セットを行う前に ⌃ を選択して、地図の中心位

置を動かし、目的地の位置を変更・調整する。

● カーソルで希望の場所を選択、またはリモートタッチをフリック操作して移動することもできます。

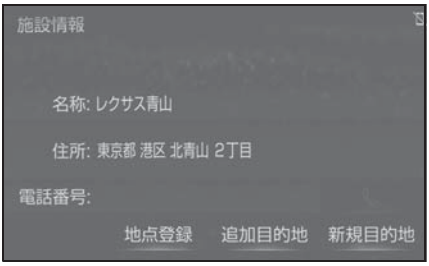
施設の内容を表示する

1 “情報” を選択。



2 施設情報が表示される。

▶ 簡易情報表示



▶ 情報付き施設表示

● 画面をスクロールするときは、 を選択します。

● ワンタッチスクロールによる移動もできます。

● “住所”・“写真” などを選択すると、それぞれの情報が書かれている部分に画面を移動します。

知識

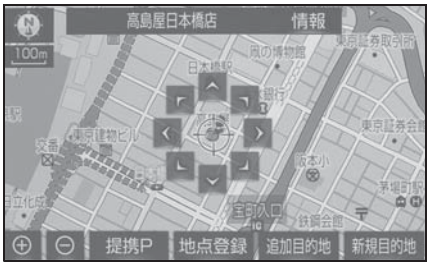
●呼び出した地図の地点により、表示される画面が異なります。

●施設によっては、内容が表示されない施設もあります。

提携駐車場を検索する

検索された施設（デパート・ホテルなど）と提携している駐車場を表示させることができます。

1 “提携 P” を選択。



● 提携駐車場のリストが表示されます。

2 駐車場名称を選択。

● 選択した駐車場の地図が表示されます。

● 専用駐車場は P（青色）、提携駐車場は P（緑色）で表示されます。

知識

● “提携 P” を選択しても、駐車場が検索されないことがあります。

● 地図データに情報のない駐車場は、検索されません。

● 施設によっては、駐車場が検索されない施設もあります。

● 検索される駐車場は、設定した車両情報（→P.161）により異なります。また、車両寸法が設定されていないときは、車両寸法を考慮せずに、駐車場が検索されます。

住所で絞り込む

住所一覧から検索する

次のときに、検索することができます。

●「読みで地図を検索する」のリスト画面で、地名を選択したとき

●「電話番号で地図を検索する」で、該当する施設がなかったとき

1 “住所一覧” を選択。

2 地名を選択。

● 選択した地名の地図が表示されます。

● 詳細がわからないときは、“○○主要部” を選択すると、広域図が表示されます。

周辺住所から検索する

次のときに、検索することができます。

●「住所一覧から検索する」で、該当する住所がなかったとき

●「住所で地図を検索する」で、該当する住所がなかったとき

1 “周辺住所” を選択。

2 番地を選択。

目的地を設定してルート探索

目的地の設定が終了すると、ルート探索が開始されます。ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面（現在地から目的地までの全体ルート）になります。（→P.121）

知識

- 1/8 万図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
- 目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。（最大 100 カ所まで）100 カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地履歴は、消去することもできます。（→P.161）
- ルート探索中に、ほかの画面に切り替えても、探索は続けられています。
- 目的地までの距離が近すぎるときは、ルートは表示されません。
- 高速道路や有料道路の IC・SA・PA 内などでルート探索が行われると、その周辺の一般道路から開始するルートが探索されることがあります。このときは、ルートの再探索（→P.133）を行ってください。
- 私有地などは、その土地の所有者であっても、進入を規制するルートが探索されます。
- 歩行者天国が行われる場所などは、開催日以外の日でも、進入を規制するルートが探索されます。
- 車両制限（車高・車幅・車長など）のある道路は、ルート探索時に考慮されません。

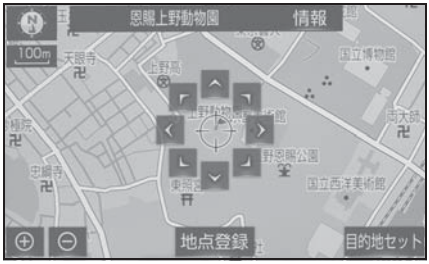
目的地検索画面から目的地を設定する

1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：

- 地図画面の “目的地” を選択。
- リモートタッチの “MENU” ボタン → “目的地” の順に選択。

2 目的地の検索方法を選び、目的地に設定する場所を検索する。（→P.108）

3 “目的地セット” を選択。



- の位置に目的地が G 記号で表示され、ルート探索が開始されます。（→P.121）
- すでに目的地が設定されているときは、“新規目的地”（新しく目的地を設定）、または “追加目的地”（「目的地の追加」（→P.137）の手順 **4**）を選択します。

知識

- 設定した目的地は消去することができます。（→P.138）

目的地候補情報から目的地を設定する

目的地が設定されていないときにエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞をアクセサリーモード、またはイグ

ニッションONモード＜ONモード＞にして現在地画面を表示させると、目的地候補情報が表示されたスイッチが表示されます。スイッチには自宅と特別メモリ（特別メモリの1と2）までの距離と到着予測時間が表示されます。
表示されたスイッチを選択することで目的地に設定できます。

1 リモートタッチの“MAP”ボタンを押す。
2 “自宅”、“特別メモリ1”または“特別メモリ2”を選択。

A 目的地候補情報

● 目的地に設定するには事前に登録しておく必要があります。（→P.143、144）
また、未登録のスイッチを選択することで登録することができます。（→P.119）

知識

● 目的地候補情報の自動表示を「する」に設定したとき、目的地候補情報が表示できます。（→P.154）
● 目的地候補情報はしばらくすると自動で消えます。

目的地候補情報が登録されていないときは

1 目的地候補情報が表示されたときに、未登録の“自宅”、“特別メモリ1”または“特別メモリ2”を選択。
2 目的地の検索方法を選び、目的地に設定する場所を検索する。（→P.108）
3 “セット”を選択。
4 “完了”を選択。

● 上記以外の方法でも登録することができます。（→P.143、144）

地図画面から目的地を設定する

現在、地図上に表示している地点を目的地に設定することができます。

1 地図を希望の場所に移動し、“目的地セット”を選択。

● の位置に目的地が G 記号で表示され、ルート探索が開始されます。（→P.121）
● すでに目的地が設定されているときに、地図画面から目的地を設定した場合、その目的地が一番初めの目的地になり、ルート探索を開始します。

自宅を目的地に設定する

1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：

● 地図画面の “目的地” を選択。

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “目的地” の順に選択。

2 “自宅に帰る” を選択。

自宅が登録されていないときは

1 “自宅登録” を選択。

2 自宅の登録方法を選択する。

● 次の方法で、地図を呼び出すことができます。

・現在地周辺

・目的地履歴（→P.115）

・住所指定（→P.113）

3 “セット” を選択。

4 “自宅に帰る” を選択。

● 上記以外の方法でも登録することができます。（→P.143）

特別メモリ地点を目的地に設定する

1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：

● 地図画面の “目的地” を選択。

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “目的地” の順に選択。

2 特別メモリの “1 ～ 5” 選択。

特別メモリが設定されていないときは

1 登録されていない特別メモリを選択。

2 “はい” を選択。

3 目的地の検索方法を選び、目的地に設定する場所を検索する。（→P.108）

4 “セット” を選択。

● 上記以外の方法でも登録することができます。（→P.144）

メモリ地点を目的地に設定する

1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：

● 地図画面の “目的地” を選択。

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “目的地” の順に選択。

2 “メモリ地点” を選択。

3 目的地に設定するメモリ地点を選択。

● メモリ地点のリストは、以下の並べ方をすることができます。

・登録順：メモリ地点の登録順

・名称順：50 音順

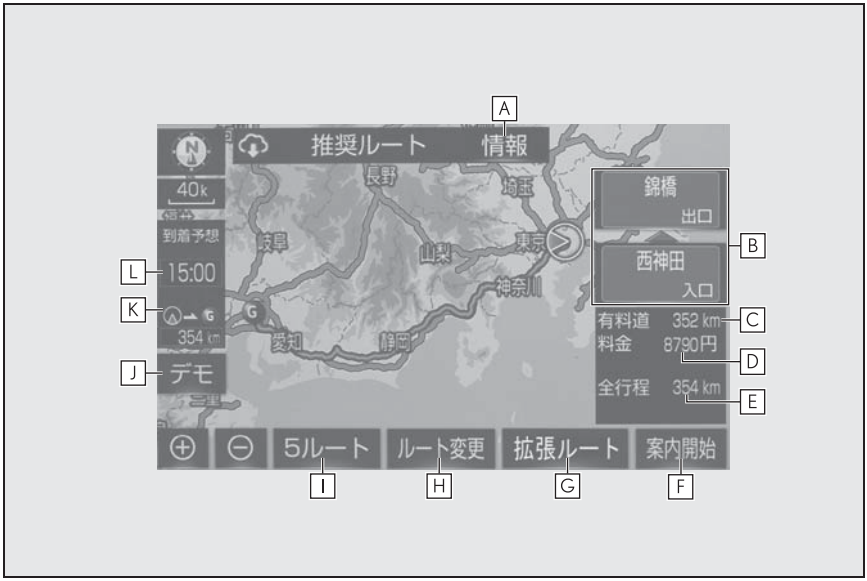
・マーク順：マークの種類別

・グループで絞る：設定してあるグループ別

全ルート図表示について

全ルート表示画面

ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面になります。全ルート図表示画面で、希望ルートの選択やルート情報を確認することができます。



A 案内道路情報を表示する。(→P.123)

B 一番最初に一般道路から有料道路に入る IC の名称を下に、一番最後に有料道路から一般道路に出る IC の名称を上に表示する。

・ 出入口 IC を指定することができます。(→P.139)

C 目的地までに通るすべての有料道路の距離を表示する。

・ 有料道路を通らないときは、利用する主な道路の種類が表示されます。

D 目的地までに通るすべての有料道路の料金を表示する。

・ 有料道路を通らないときは、利用する主な道路の距離が表示されます。

・ 目的地案内開始後に全ルート図表示画面を表示したときは、現在地から目的地までに通る残りの有料道路の料金を表示します。

E 出発地点から目的地までの距離を表示する。

F 目的地案内を開始する。(→P.125) 目的地案内中は、現在地画面に戻る。

G 5 ルートと別の様々なルート探索パターンから希望のルートを選択する。(→P.468)

・ 目的地案内開始後は表示されません。

H ルート変更画面を表示する。(→P.135)

I 条件の異なる 5 つのルートから希望のルートを選択する。(→P.124)

・ 目的地案内開始後は表示されません。

J デモンストレーションを開始する。(→P.123)

K 表示されているルートの自車位置から目的地までの距離を表示する。

・ ルートからはずれたときは、目的地までの直線距離を表示します。

L 目的地への到着予想時刻を表示する。

・ ルートからはずれたときは、目的地方向マークを表示します。
・ 目的地を複数設定しているときは、各目的地までの到着予想時刻・残距離に切り替えることができます。

知識

●G-Link センターから配信されるルートには が表示されます。(→P.468)

●全ルート図が表示されたあと、リモートタッチの "MAP" ボタンを押す、または走行を開始して約3秒以上経過したときは、自動的に目的地案内を開始します。(→P.125)

●目的地案内開始後にも全ルート図表示画面を表示することができます。(→P.76)

●探索されるルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート・早く行けるルート・渋滞していないルートではありません。

●料金は設定した車両情報(→P.161)から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。

●到着予想時刻は設定した平均車速(→P.155)から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

●交通規制(常時進入禁止、時間による進入禁止など)区間を通らないと目的地に行けないようなときは、ルート上の規制箇所に が表示されることがあります。

●地図データには中央分離帯の情報が収録されていないものがあります。そのため、探索されるルートは中央分離帯を考慮したものではないことがあります。

ルートの表示について

ルートの表示は、次の 4 種類あります。

表示色	内容
青色	目的地を 1 カ所、または複数設定しているときの現区間(次の目的地まで)の表示
白色	目的地を複数設定しているときの現区間(次の目的地まで)以外の表示

表示色	内容
水色	幅 5.5m 未満の道路表示
橙色	季節規制区間の表示 (→P.159)

ここでは、初期設定の表示色（青色）で説明しています。

知識

- ルートの表示色の設定を変更することができます。(→P.153)
- 現在地または目的地周辺では、幅 5.5m 未満の道路を通るルートも探索します。
- 交通規制（一方通行など）や道幅が狭いなどの理由により、通行できないルートが探索されることがあります。必ず、実際の交通規制にしたがうとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。

デモンストレーション（デモ）を見る

ルート探索終了後、目的地案内を開始する前に、目的地案内のデモを見ることができます。

1 全ルート図表示画面（→P.121）で “ デモ ” を選択。

- デモの表示速度を変更するときは “ 低速 ”、“ 中速 ” または “ 高速 ” を選択する。

- デモを終了するときは、リモートタッチの “MAP” ボタンを押す、または走行する。

知識

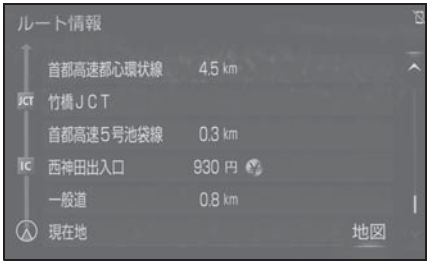
- 目的地案内を開始したあとは、デモを見ることはできません。

ルート情報を表示する（案内道路情報）

ルート探索終了後、ルート情報（道路名称・距離・料金・通過予想時刻）を表示させることができます。

1 全ルート図表示画面（→P.121）で “ 情報 ” を選択。

2 ルート情報画面が表示される。



- 入口 IC・出口 IC・JCT・目的地・道路の種別の変わり目などでルートを分割して表示します。
- 分割されたそれぞれのルートは、道路名称・距離・有料道路の料金・分割された地点への通過予想時刻が表示されます。それぞれの地点の地図を表示するときは、“ 地図 ” を選択します。
- 現在地がルート上にあるときは、ルート情報画面に自車位置マーク が表示されます。

知識

● 現在地がルート上にない（ルートからはずれた）ときは、ルートが表示されている地点からの情報が表示されます。

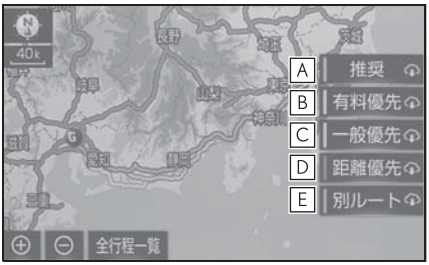
5 つのルートから希望のルートを選ぶ

一般道路を優先したルートや距離の短さを優先したルートなどの、5 つのルートが 5 色に色分けされて表示されます。

1 全ルート図表示画面（→P.121）で “5 ルート” を選択。

2 表示したいルート名称を選択。

● 選択したルートの全ルート図表示画面が表示されます。



A 一般的なルートで案内します。

B 有料道路を優先して案内します。

C 一般道路を優先して案内します。

D 距離の短いルートで案内します。

E 他の 4 つのルートとは別のルートで案内します。

● G-Link センターから配信されるルートには が表示されます。

● “全行程一覧” を選択すると、5つのルートの目的地までの距離・有料道路の距離・料金・所要時間が表示されます。

探索条件	全行程	有料道路	料金	所要時間
推奨	354 km	352 km	8790円	4時間38分
有料優先	354 km	352 km	8790円	4時間38分
一般優先	377 km	0.0 km		12時間37分
距離優先	344 km	277 km	6210円	5時間44分
別ルート	360 km	358 km	8790円	4時間43分

知識

● 以下のときは、5 ルートを表示できません。

・目的地を複数設定しているとき

・通過する地点（IC・通過道路）を指定しているとき

・目的地案内開始後

目的地案内の開始／中止

目的地案内を開始する

1 全ルート図表示画面（→P.121）で “ 案内開始 ” を選択。

知識

- 全ルート図が表示されたあと、リモートタッチの “MAP” ボタンを押す、または走行を開始して約3秒以上経過したときは、自動的に目的地案内を開始します。

目的地案内を中止する

1 リモートタッチの “MENU” ボタンを押す。
2 “ 設定・編集 ” を選択。
3 サブメニューの “ナビ” を選択。
4 “ 案内中止 ” を選択。

- 再開するときは、“ 案内再開 ” を選択します。

知識

- 目的地案内を中止しても、目的地は消去されません。

ルート案内について

ルート案内中は、交差点や分岐点など、ポイントとなる地点では音声や画面でわかりやすく案内します。

案内画面について

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、分岐する交差点に近づくと、レーンリスト図（→P.125）または交差点拡大図（→P.126）に切り替わります。

レーン（車線）リスト図の表示／解除

分岐する交差点の手前（約 700m 以内）では、レーンリスト図を表示させることができます。

レーンリスト図は、走行する交差点の名称とレーンを 4 つまで表示させることができ、走行を推奨するレーンが青色で表示されます。

警告

- レーン案内はあくまでも補助機能です。
  案内を過信せず、常に道路標識・標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

レーンリスト

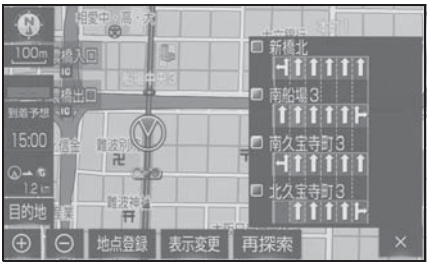
レーンリスト図を解除するときは、×を選択します。

知識

- レーンリスト図が表示されていても、分岐する交差点の約 300m 手前では、交差点拡大図（→P.126）が自動的に表示されます。

高精度レーンリスト

高精度レーンリストでは、実際の車線状況に応じたレーンリスト（右側・左側車線の増減を画面にそのまま反映したもの）が表示されます。



レーンリスト図を解除するときは、×を選択します。

知識

- 高精度レーンリストを表示できる地域について
  2015 年 12 月時点の東京 23 区・政令指定都市 ※1・中核市 ※2 における片側 3 車線以上の道路

※1 京都市、福岡市、静岡市、横浜市、神戸市、広島市、堺市、大阪市、北九州市、仙台市、新潟市、名古屋市、札幌市、千葉市、浜松市、川崎市、さいたま市、岡山市、相模原市、熊本市

※2 宇都宮市、長崎市、旭川市、東大阪市、金沢市、大分市、松山市、富山市、岐阜市、豊田市、横須賀市、函館市、姫路市、福山市、奈良市、下関市、高知市、倉敷市、青森市、宮崎市、川越市、鹿児島市、いわき市、船橋市、秋田市、長野市、郡山市、豊橋市、岡崎市、和歌山市、高松市、高槻市、盛岡市、柏市、西宮市、久留米市、尼崎市、前橋市、大津市、高崎市、豊中市、那覇市、枚方市、越谷市、八王子市、呉市、佐世保市

※ 2017 年 10 月時点のものであり、変更される場合があります。

交差点拡大図について

分岐する交差点に近づくと、交差点案内が行われます。また、分岐する交差点の約 300m 手前では、交差点拡大図が表示されます 。

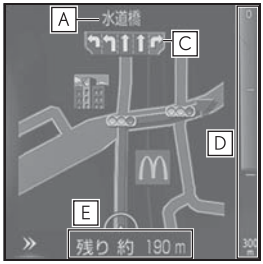
▶ 分岐しない交差点

A 通過・分岐する交差点のレーンが表示されます。

・走行を推奨するレーンが青色で表示されます。

B 通過・分岐する交差点の名称が表示されます。

▶ 分岐する交差点（交差点拡大図）



A 通過・分岐する交差点の名称が表示されます。

B 通過・分岐する交差点に表示されます。

C 通過・分岐する交差点のレーンが表示されます。

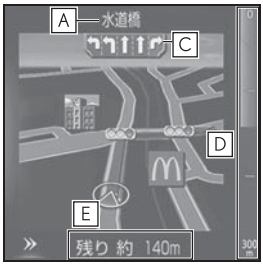
・走行を推奨するレーンが青色で表示されます。

D 交差点までの距離が表示されます。

・交差点に近づくとともに 画面右側に表示されている青色のゲージが短くなります。

E 交差点までの距離が表示されます。

▶ 分岐する交差点（3D　交差点拡大図）



A 通過・分岐する交差点の名称が表示されます。

B 通過・分岐する交差点に表示されます。

C 通過・分岐する交差点のレーンが表示されます。

・走行を推奨するレーンが青色で表示されます。

D 交差点までの距離が表示されます。

・交差点に近づくとともに 画面右側に表示されている青色のゲージが短くなります。

E 交差点までの距離が表示されます。

知識

●交差点拡大図の 3D 表示する／しないを設定できます。（→P.155）

●地図データに情報のない交差点では、レーン表示・交差点名称表示は行われま

せん。

- レーン表示・交差点名称表示が実際の交差点と異なることがあります。
- 目的地案内開始直後は、交差点案内が行われない場合があります。
- 交差点拡大図表示は、遅れたり早くなることがあります。
- 次の分岐する交差点が近いときは、続けて交差点拡大図が表示されます。
- 交差点拡大図が表示されているとき、レーン表示・交差点名称表示は分岐する交差点のものが表示され、分岐する交差点より手前の交差点案内は行われません。
- 交差点拡大図上の残距離とマルチインフォメーションディスプレイ表示上の残距離は異なることがあります。
- ナビ画面上とマルチインフォメーションディスプレイ上の交差点拡大図の表示は異なります。

連続車線変更案内について

分岐する交差点までの距離が短く、複数回車線変更が必要な場合に表示されます。

知識

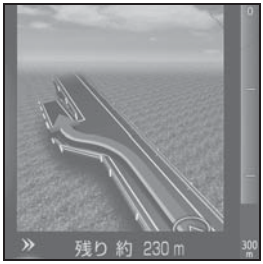
- 地図データに情報のある地点で表示します。

立体的な拡大図の表示／解除

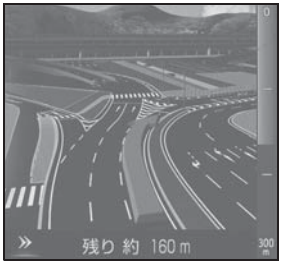
目的地案内中の分岐をわかりやすくするために、交差点手前の景観にあわせた立体的な拡大図が表示されることがあります。

▶ 都市高速 IC 入口

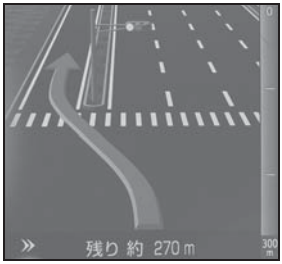
▶ 立体交差点



▶ リアル交差点



▶ 側道案内



拡大図表示を解除するときは、» を選択します。拡大図に戻すときは、リモートタッチの “MAP” ボタンを押します。

知識

- 地図データに情報のある地点で表示されます。
- リアル交差点拡大図は、都市部の交差点で分岐が分かりづらい交差点で表示されます。

到着予想時刻について

全ルート図表示画面（→P.121）と目的地案内中の現在地画面で、現在地がルート上にあるとき、到着予想時刻を表示させることができます。

- 2ヵ所以上目的地を設定しているときは、到着予想時刻表示を選択すると到着予測時刻画面へ切り替えることができます。

知識

- 到着予想時刻は設定した平均車速（→P.155）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- ルートからはずれたときは、目的地方向マーク（ ）になります。
  2ヵ所以上目的地を設定しているときは、目的地方向マークを選択すると直線距離画面へ切り替えることができます。
- 到着予想時刻の表示（アナログ／デジタル）を設定できます。（→P.156）

料金案内について

目的地案内中の現在地画面で、料金通知がある場合、地図左上に料金が表示され、音声案内されます。

知識

- 地図データに情報のない料金所では、料金案内は行われません。
- 料金は設定した車両情報（→P.161）のナンバープレートの分類番号から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 有料道路と一般道路が並行している場合などは、有料道路上の自車位置が一般道路へずれることがあります。このとき再探索が行われると、実際と異なる料金が案内されることがあります。

全ルート図を表示する

1 地図表示中に “表示変更” を選択。

2 “全ルート” を選択。

- 全ルート図表示画面については、

「全ルート図表示について」（→P.121）をご覧ください。

全ルート図表示縮尺を切り替える

目的地を設定しているときに、現在地から目的地までの全ルートを、現在地を画面の中心にした縮尺に切り替えることができます。

1 ⊕または⊖を選択。

2 スケールバーの Ⓐ G を選択。

● 現在地と目的地の位置によっては、全ルートを表示できないことがあります。

到着予想時刻・残距離表示を切り替える

目的地を複数設定しているとき、目的地ごとの到着予想時刻・残距離表示に切り替えることができます。

1 到着予想時刻・残距離表示を選択。

● 目的地が2カ所以上のときは、選択すると各目的地までの到着予想時刻・残距離表示画面に切り替わります。

2 表示させたい目的地までの到着予想時刻・残距離表示を選択。

知識

●状況により目的地までの表示が異なります。

・現在地がルート上にあるときは、到着予想時刻と表示されているルートを通っての距離を表示します。

・ルートからはずれたときは、目的地の方向と直線距離を表示します。

音声案内について

交差点や分岐点、通過点、インターチェンジの入口、出口、ジャンクション、目的地に近づくと、自動で残りの道のりと曲がる方向などを音声で案内します。

知識

●音声案内の例は一般的なものであり、道路の接続状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。

●自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。

●地図データに情報のある地点で案内さ

れます。

●音声案内の音量は調節することができます。（→P.132）

●リモートタッチの “MAP” ボタンを押すと、音声案内が出力されます。

目的地案内中の音声案内の例

分岐交差点手前

700m 手前

「ポーン およそ 700m 先 ○○を右方向です」

300m 手前

「ポーン およそ 300m 先 ○○を右方向です」

100m 手前

「ポーン まもなく右方向です」

交差点直前

「右方向です 」

● ○○（道路名称や交差点名称、目印など）は、情報のある地点のみ案内されます。

▶ 信号機案内の例

「ポーン およそ 300m 先 次の信号を右方向です」

「ポーン 次の信号を右方向です」

「ポーン 2 つ目の信号を右方向です」

知識

●信号機案内は、以下のようなとき出力されない場合があります。

・信号機のある交差点を走行しているとき

・分岐する交差点までの距離が短いとき

・分岐する交差点までの間に別の信号機があるとき

▶ 目印案内の例

リアル交差点（→P.128）を表示したときに音声案内されます。

「ポーン まもなく右方向 高架を登ります」

有料道路への進入時

「ポーン まもなく右方向です
その先 高速道路です」

「ポーン この先 料金所です」

連続車線変更案内時

連続車線変更案内（→P.128）を表示したときに音声案内されます。

「ポーン すぐに左に車線変更が必要です」

幅 5.5m 未満の道路への進入時

「実際の交通規制や道幅に注意して走行してください」

首都高速の車線変更案内時

1km 手前

「およそ 1km 先、右（左）方向〇〇方面です
右(左)側 1 車線を走行してください」

500m 手前

「まもなく右（左）方向、〇〇方面です
右(左)側 1 車線を走行してください」

首都高速の車線変更禁止区間案内時

1km 手前

「およそ 1km 先、右（左）方向〇〇方面です
車線変更禁止区間にご注意ください」

500m 手前

「まもなく右（左）方向、〇〇方面です
車線変更禁止区間にご注意ください」

知識

- 首都高速の車線変更禁止区間案内は、車線変更禁止区間の端までの距離が短いとき出力されない場合があります。

目的地周辺に到着したときの音声案内の例

目的地の手前

「ポーン まもなく目的地です」

目的地の直前

「ポーン 目的地は右（左）側にあります」

音声案内はあくまでも参考と してください。

幅 5.5m 未満の道路での音声案内について

目的地周辺では、幅 5.5m 未満の道路（細街路）を通るルートも音声案内を行います。

知識

- 細街路での音声案内をする／しないを設定できます。（→P.157）
- 実際の入り口（玄関、駐車場など）と異なる場所に案内される場合があります。
- 出発地点が幅 5.5m 未満の道路にある場合、幅 5.5m 以上の道路までは、音声案内を行いません。
- 交通規制（一方通行など）や道幅が狭いなどの理由により、通行できないルートが案内されることがあります。

他モードでの音声案内について

ナビゲーション画面から他モードの画面（情報画面など）に切り替えたときでも、音声案内を出力させることができます。

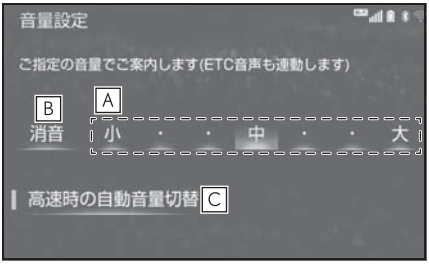
知識

- 他モードに切り替えたときに音声案内のする／しないを設定できます。（→P.157）
- 音声案内が出力されていないときも、目的地案内は継続して行われます。

音声案内の音量を設定する

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。

2 “設定・編集” を選択。
3 サブメニューの “ナビ” を選択。
4 “音量設定” を選択。
5 各項目を設定する。



A 設定したい音量を選択。

B 音声を OFF にする。

C 高速走行時、自動的に音量を大きくする。

知識

- 高速走行時、自動的に音量を大きくする設定にしているときは、車速が約80km/h 以上になると、設定した音量が自動的に上がります。(車速が約70km/h 以下になると、もとの音量に復帰します。)
- クリアランスソナーのブザー音量やETC 音声も連動します。

ルートの再探索

案内中のルートに目的地の追加などを設定したり、探索条件を変更して、ルートを再探索することができます。

ルートを自動で再探索する

ルートからはずれたときに、自動的に再探索させることができます。
再探索されるルートは、ルートからはずれたときの状況により異なります。

知識

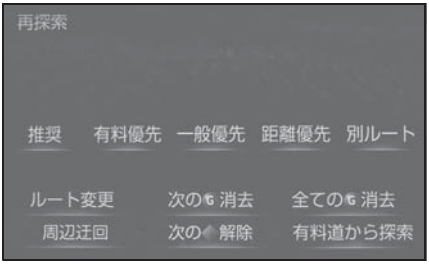
- 現在地と次の目的地の間に IC・通過道路が指定されているときは、現在地から指定されている IC・通過道路の間で、ルートが探索されます。
- 自動再探索は、目的地案内中にルートからはずれたときで、かつ道路を走行していると判断されたときのみ行われます。

ルートの再探索方法を選ぶ

目的地案内中(ルートからはずれたときも含む)の現在地画面を表示させているときに、ルートの再探索をすることができます。

1 リモートタッチの “MAP” ボタンを 押す。
2 “再探索” を選択。

3 再探索する項目を選択。



● “次の G 消去”

現在地の次の目的地を消去して、再探索をする。

● “次の 解除”

現在地の次の通過道路（ ）を解除して、再探索をする。IC を指定している場合、“指定 IC 解除” を選択すると IC の指定を解除して、再探索をする。

● “推奨”

現在地から次の目的地※1の間で、一般的なルートを探索する。

● “有料優先”

現在地から次の目的地※1の間で、有料道路を優先してルートを探索する。

● “一般優先”

現在地から次の目的地※1の間で、一般道路を優先してルートを探索する。

● “距離優先”

現在地から次の目的地※1の間で、距離の短いルートを探索する。

● “別ルート”

現在地から次の目的地※1の間で、選ばれているルートとは別のルートを探索する。

● “ルート変更”

ルート変更画面を表示する。→P.135

● “周辺迂回”※2

現在地周辺で、探索されたルートの迂回路を探索する。（探索されたルートが工事中で通れないときなどに使用します。）

● “有料道から探索”/“一般道から探索”※3

有料道路と並行している一般道路を走行中に、有料道路の方がルート表示されている、またはその逆のときに、もう一方の道路からルートを探索する。

● “回避ルート探索”※4

気象･災害情報エリアを回避するルートを探索する。

※1 現在地と次の目的地の間に IC・通過道路を指定しているときは、現在地から指定されている IC・通過道路の間で、ルートを探索します。

※2 ルートからはずれたときは表示されません。

※3 有料道路と一般道路が並行している場所のように、案内可能な別の道路があるときのみ表示されます。また、ルートからはずれたときは表示されません。

※4 目的地案内中に気象・災害情報を受信したときのみ表示されます。

知識

● 通常のルート探索では、スマート IC を通らないルートが探索されます。

● 「○○優先」というのは、ルート探索のひとつの条件にすぎません。遠まわりになるようなときは、“有料優先” を選択しても有料道路を利用しないルートが探索されたり、有料道路を通らないと目的地に行けないようなときは、“一般優先” を選択しても有料道路を利用するルートが探索されることがあります。

● 道路形状により再探索されないことや、

条件を変更しても同じルートが探索されることがあります。

●ルートを大きくはずれて走行したときは、走行していたルートへ戻るルートではなく、設定している目的地または指定しているIC･通過道路に向かうルートが再探索されます。

ルートを変更する

ルートを探索した後、目的地を追加したり、乗り降りするインターチェンジ（IC）や通過する道路の指定などルートを変更することができます。

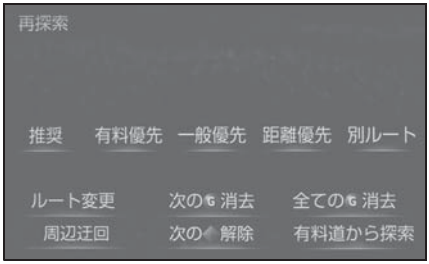
ルート変更画面を表示する

■ **再探索画面から表示する**

1 リモートタッチの “MAP” ボタンを押す。

2 “ 再探索 ” を選択。

3 “ ルート変更 ” を選択。



4 希望の項目を選択する。

■ **設定・編集画面から表示する**

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。

2 “ 設定・編集 ” を選択。

3 サブメニューの “ナビ” を選択。

4 “ ルート変更 ” を選択。

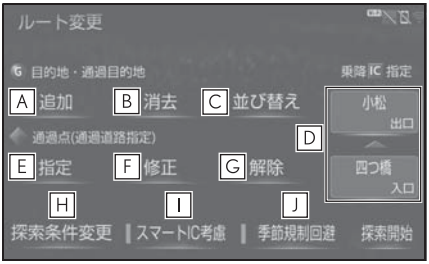
5 希望の項目を選択する。

■ 全ルート図表示画面から表示する

1 全ルート図表示画面（→P.121）で“ルート変更”を選択。

2 希望の項目を選択する。

ルート変更画面



A 目的地の追加（→P.137）

B 目的地の消去（→P.138）

C 目的地の並び替え（→P.137）

D 出入口 IC の指定･解除（→P.139）

E 通過道路の指定（→P.140）

F 通過道路の修正（→P.141）

G 通過道路指定の解除（→P.141）

H 探索条件の変更（→P.136）

I スマート IC を考慮して検索

J 季節規制区間の迂回ルート探索（→P.142）

● “探索開始”を選択すると、スマート IC を通らないルートが探索されます。

● “スマート IC 考慮”を選択すると、目的地周辺や現在地周辺に適当なスマート IC がある場合は、スマート IC を通るルートが探索されます。適当なスマート IC がない場合は、通常の IC を通るルートが探索されます。

探索条件を変更する

目的地を複数設定、または通過道路を指定しているときは、それぞれの区間で探索条件を選択することができます。

1 次のいずれかの操作でルート変更画面を表示する：

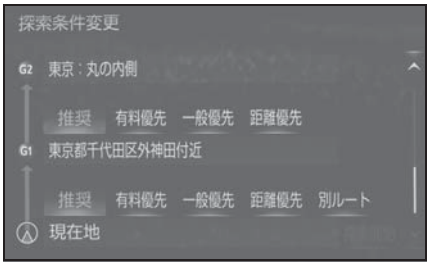
● リモートタッチの“MAP”ボタン→“再探索”→“ルート変更”の順に選択。

● リモートタッチの“MENU”ボタン→“設定･編集”→サブメニューの“ナビ”→“ルート変更”の順に選択。

● 全ルート図表示画面で“ルート変更”を選択。

2 “探索条件変更”を選択。

3 それぞれの区間の探索条件（ルート名称）→“探索開始”の順に選択。



知識

- 探索条件の特徴については、「ルートの再探索方法を選ぶ」（→P.133）をご覧ください。
- 最初の目的地までの区間のみ、「別ルート」が表示されます。

目的地を追加する

目的地を設定したあと、さらに追加して目的地を設定することができます。

1 次のいずれかの操作でルート変更画面を表示する：

- リモートタッチの “MAP” ボタン → “再探索” → “ルート変更” の順に選択。
- リモートタッチの “MENU” ボタン → “設定・編集” → サブメニューの “ナビ” → “ルート変更” の順に選択。
- 全ルート図表示画面で “ルート変更” を選択。

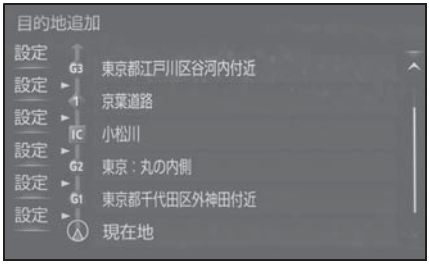
2 目的地・通過目的地の “追加” を選択。

3 目的地の検索方法を選び、目的地に設定する場所を検索する。（→P.108）

4 “目的地セット” を選択。

- の位置に目的地が G 記号で表示されます。
- ここまでの操作は、目的地の設定と同じ方法で追加することもできます。（→P.118）

5 目的地を追加する区間の “設定” を選択。



- ルート変更画面に戻ったときは、“探索開始” を選択します。さらに追加して目的地を設定するときは、“追加” を選択。（手順 3 の画面へ）

知識

- 10 カ所まで追加することができます。
- 1/8 万図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
- 目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。記憶できる件数をこえると、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地履歴を選択して消去することもできます。（→P.161 ）
- IC・通過道路（→P.139）を指定しているときは、目的地を追加すると、指定されている地点によって、IC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

目的地の順番を並び替える

1 次のいずれかの操作でルート変更画面を表示する：

- リモートタッチの “MAP” ボタン → “再探索” → “ルート変更” の順に選択。

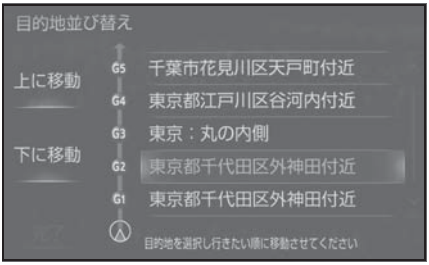
● リモートタッチの “MENU” ボタン → “設定・編集” → サブメニューの “ナビ” → “ルート変更” の順に選択。

● 全ルート図表示画面で “ルート変更” を選択。

2 目的地・通過目的地の “並び替え” を選択。

● IC・通過道路（→P.139）を指定しているときは、メッセージが表示されます。“はい” を選択すると、指定されている地点によって、IC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

3 順番を変更したい目的地を選択。



4 “上に移動” または “下に移動” を選択。

● 選択した目的地を上または下に移動させて並び替えます。

5 “完了” を選択。

● ルート変更画面に戻ったときは、“探索開始” を選択します。

目的地を消去する

次の方法で、目的地を消去することができます。

● ルート変更画面から消去する（→P.138）

● 目的地画面から消去する（→P.139）

● 地図画面から消去する（→P.139）

知識

● すべての目的地を消去すると、目的地案内を再開させることはできません。目的地案内を行わせるには再度、目的地を設定してください。

● 複数目的地を設定し、IC・通過道路（→P.139）を指定しているときは、目的地を消去すると、指定されている地点によって IC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

● 複数目的地を設定時に中間の目的地を削除すると、前ルートの探索条件でルート探索されます。

■ ルート変更画面から目的地を消去する

1 次のいずれかの操作でルート変更画面を表示する：

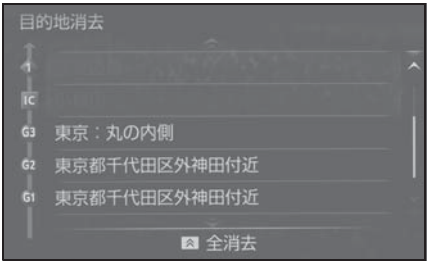
● リモートタッチの “MAP” ボタン → “再探索” → “ルート変更” の順に選択。

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “設定・編集” → サブメニューの “ナビ” → “ルート変更” の順に選択。

● 全ルート図表示画面で “ルート変更” を選択。

2 目的地・通過目的地の “消去” を選択。

3 消去したい目的地を選択。



● 全ての目的地を消去する場合は、リモートタッチの⌃ボタンを押します。

4 “はい” を選択。

● ルート変更画面に戻ったときは、“探索開始” を選択します。

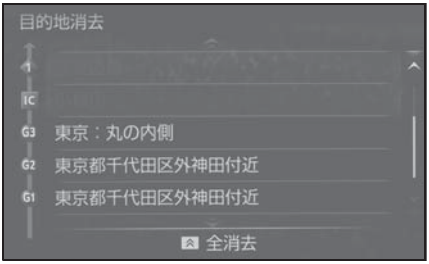
■ **目的地画面から目的地を消去する**

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。

2 “目的地” を選択。

3 “目的地消去” を選択。

4 消去したい目的地を選択。



● 全ての目的地を消去する場合は、リモートタッチの⌃ボタンを押します。

5 “はい” を選択。

● ルート変更画面に戻ったときは、“探索開始” を選択します。

■ **地図画面から目的地を消去する**

1 地図上の消去したい目的地を選択。

2 リモートタッチの⌃ボタンを押す。

3 “情報” を選択。

4 “消去” を選択。

5 “はい” を選択。

● ルート変更画面に戻ったときは、“探索開始” を選択します。

出入口 IC（インターチェンジ）を指定する

目的地を設定したあと、全ルート図表示画面に表示されている出口 IC・入口 IC を 1 カ所ずつ指定することができます。

1 全ルート図表示画面（→P.121）またはルート変更画面（→P.135）を表示する。

2 “（IC 名称表示）” を選択。

3 左画面で指定する場合は、指定したい IC 付近に地図を動かし、“探索開始” を選択。
右画面で指定する場合は、⌃・⌄または “次路線” を選択して IC を切り替え、指定したい IC 名称 → “探索開始” の順に選択。

● “次路線” はJCTがあり分岐するときのみ表示されます。

● ルート変更画面に戻ったときは、“探索開始” を選択します。

知識

●スマート IC（ETC 専用インターチェンジ）を選択することもできます。
このとき、ETC2.0 ユニットの有無、規制情報などは考慮されませんので、事前にご確認の上、注意して走行してください。

IC の指定を解除する

1 全ルート図表示画面（→P.121）またはルート変更画面（→P.135）を表示する。

2 “（IC 名称表示）” を選択。

3 “出口解除” または “入口解除” を選択。

通過する道路を設定する

目的地を設定したあと、通過する道路を指定することができます。

知識

●5 カ所まで指定することができます。

●IC を指定しているとき（→P.139）、通過道路を指定すると、指定されている地点によって、指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

通過する道路を指定する

1 次のいずれかの操作でルート変更画面を表示する：

● リモートタッチの “MAP” ボタン → “再探索” → “ルート変更” の順に選択。

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “設定･編集” → サブメニューの “ナビ” → “ルート変更” の順に選択。

● 全ルート図表示画面で “ルート変更” を選択。

2 通過点（通過道路指定）の “指定” を選択。

3 通過道路を指定する位置に地図を動かし、“通過道路セット” を選択。

4 “セット” を選択。

● 通過道路が 記号で指定されます。

● 希望の通過道路でないときは、“次候補” を選択します。

● 目的地を複数設定しているとき、または IC・通過道路を指定しているときは、通過道路を指定する区間の “設定” を選択します。

● ルート変更画面に戻ったときは、“探索開始” を選択します。

知識

●表示されている地図に道路情報が少ないときは、“次候補” を選択しても、道路が選べないことがあります 。

通過する道路を修正する

1 次のいずれかの操作でルート変更画面を表示する：

● リモートタッチの “MAP” ボタン → “再探索” → “ルート変更” の順に選択。

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “設定･編集” → サブメニューの “ナビ” → “ルート変更” の順に選択。

● 全ルート図表示画面で “ルート変更” を選択。

2 通過点（通過道路指定）の “修正” を選択。

3 通過道路を指定する位置に地図を動かし、“通過道路セット” を選択。

● 通過道路が複数指定されていたときは、道路または地名を選択します。

4 “セット” を選択。

● 通過道路が◆記号で指定されます。

● 希望の通過道路でないときは、“次候補” を選択します。

● ルート変更画面に戻ったときは、“探索開始” を選択します。

知識

●表示されている地図に道路情報が少ないときは、“次候補” を選択しても、道路が選べないことがあります。

通過する道路指定を解除する

1 次のいずれかの操作でルート変更画面を表示する：

● リモートタッチの “MAP” ボタン → “再探索” → “ルート変更” の順に選択。

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “設定･編集” → サブメニューの “ナビ” → “ルート変更” の順に選択。

● 全ルート図表示画面で “ルート変更” を選択。

2 通過点（通過道路指定）の “解除” を選択する。

3 “はい” を選択。

● 通過道路が複数指定されていたときは、道路または地名を選択します。

● すべての通過道路指定を解除するときは、“リモートタッチの⌃ボタンを押し、“はい” の順に選択します。

● ルート変更画面に戻ったとき

は、“ 探索開始 ” を選択します。

季節規制区間の迂回ルートを探索する

1 次のいずれかの操作でルート変更画面を表示する：

- リモートタッチの “MAP” ボタン → “ 再探索 ” → “ ルート変更 ” の順に選択。
- リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ ルート変更 ” の順に選択。
- 全ルート図表示画面で “ルート変更 ” を選択。

2 “ 季節規制回避 ” を選択。

知識

- “ 季節規制回避 ” または “ 季節規制通過 ” は、季節規制区間を通るルートが探索されたときのみ表示されます。
- 規制区間を通らないと目的地に行けないようなとき（規制区間内に目的地・通過道路が設定・指定されているときなど）は、“ 季節規制回避 ” を選択しても、規制区間を利用するルートが探索されることがあります。

メモリ地点を登録する

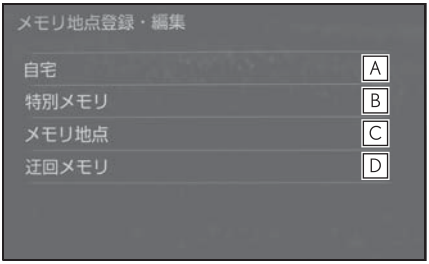
検索した目的地をメモリ地点に登録することができます。

あらかじめメモリ地点に登録しておくと、

- 地図にマークで表示されます。
- 近づいたときに音が鳴るようにすることができます。
- 目的地の設定のときなどに、簡単な操作で地図を呼び出すことやルート探索を開始することができます。(→P.108)

メモリ地点登録・編集画面を表示する

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。
2 “設定・編集”を選択。
3 サブメニューの“ナビ”を選択。
4 “メモリ地点登録･編集”を選択。
5 希望の項目を選択する。



A 自宅の登録と編集を行う。(→P.143)

B 特別メモリの登録と編集を行う。(→P.144)

C メモリ地点の登録と編集を行う。(→P.145)

D 迂回メモリの登録と編集を行う。(→P.147)

知識

- 1/8万図より詳細な地図で登録することができます。(現在地画面(地図画面)から登録するときを除く)
- 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称、電話番号も同時に表示されることがあります。

自宅を登録する

自宅を登録すると、目的地検索画面で“自宅に帰る”を選択するだけで、自宅までのルート探索ができます。

1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：

- リモートタッチの“MENU”ボタン→“設定・編集”→サブメニューの“ナビ”→“メモリ地点登録・編集”の順に選択。

2 “自宅”を選択。
3 “登録”を選択。
4 目的地の検索方法を選び、目的地に設定する場所を検索する。(→P.108)
5 “セット”を選択。
6 “完了”を選択。

知識

- 上記以外の方法でも登録することができます。(→P.120)

自宅を修正する

1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：

- リモートタッチの“MENU”ボ

タン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ メモリ地点登録・編集 ” の順に選択。

2 “ 自宅 ” を選択。

3 “ 修正 ” を選択。

4 自宅修正画面で各項目を修正する。

● 修正・入力方法については次のページをご覧ください。

・ マーク（→P.149）

・ 地図への名称表示（→P.150）

・ 名称（→P.149）

・ 名称読み（→P.150）

・ 位置（→P.150）

・ 電話番号（→P.150）

5 “ 完了 ” を選択。

知識

●地図画面からでも、自宅の修正をすることができます。詳しくは、「地図画面から表示する」（→P.148）をご覧ください。

自宅を消去する

1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ メモリ地点登録・編集 ” の順に選択。

2 “ 自宅 ” を選択。

3 “ 消去 ” を選択する。

4 “ はい ” を選択する。

知識

●地図画面からでも、自宅の消去をすることができます。詳しくは、「メモリ地点を消去する」（→P.146）をご覧ください。

特別メモリを登録する

特別メモリとは、走行中でも呼び出すことが可能なメモリ地点です。5 カ所まで登録することができます。

1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ メモリ地点登録・編集 ” の順に選択。

2 “ 特別メモリ ” を選択。

3 “ 登録 ” を選択。

4 目的地の検索方法を選び、目的地に設定する場所を検索する。（→P.108）

5 “ セット ” を選択。

6 未登録の番号を選択。

● 特別メモリを差し替えたいときは、差し替えたい特別メモリ → “ はい ” の順に選択します。

7 “ 完了 ” を選択。

知識

●設定されていない特別メモリがある場合は “ 目的地 ” 設定画面（→P.120）の特別メモリ（未登録）からも設定できます。

特別メモリを修正する

1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ メモリ地

点登録・編集 ” の順に選択。

2 “ 特別メモリ ” を選択。

3 “ 修正 ” を選択。

4 修正したい特別メモリを選択。

5 特別メモリ修正画面で各項目を修正する。

● 修正・入力方法については次のページをご覧ください。

・ マーク（→P.149）
・ 地図への名称表示（→P.150）
・ 名称（→P.149）
・ 名称読み（→P.150）
・ 位置（→P.150）
・ 電話番号（→P.150）

6 “ 完了 ” を選択。

知識

●地図画面からでも、特別メモリの修正をすることができます。詳しくは、「地図画面から表示する」（→P.148）をご覧ください。

特別メモリを消去する

1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ メモリ地点登録・編集 ” の順に選択。

2 “ 特別メモリ ” を選択。

3 “ 消去 ” を選択。

4 消去したい特別メモリを選択。

5 “ はい ” を選択。

● すべての特別メモリを消去するときは、リモートタッチの ボタンを押し、“ 全消去 ” → “ はい ” の順に選択します。

知識

●地図画面からでも、特別メモリの消去をすることができます。詳しくは、「メモリ地点を消去する」（→P.146）をご覧ください。

メモリ地点を登録する

▶ 設定・編集画面から登録する

1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ メモリ地点登録・編集 ” の順に選択。

2 “ メモリ地点 ” を選択。

3 “ 登録 ” を選択。

4 目的地の検索方法を選び、目的地に設定する場所を検索する。（→P.108）

5 “ セット ” を選択。

6 “ 完了 ” を選択。

▶ 地図画面から登録する

1 地図表示中、登録したい位置に地図を動かし “ 地点登録 ” を選択。

● リモートタッチの ボタンを押して、“ 地点登録 ” を選択することもできます。（→P.77 ）

メモリ地点を修正する

▶ 設定・編集画面から修正する

1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “設定・編集” → サブメニューの “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。

2 “メモリ地点” を選択。

3 “修正” を選択。

4 修正したいメモリ地点を選択。

5 メモリ地点修正画面で各項目を修正する。

● 修正・入力方法については次のページをご覧ください。

・マーク（→P.149）
・地図への名称表示（→P.150）
・名称（→P.149）
・名称読み（→P.150）
・位置（→P.150）
・電話番号（→P.150）
・グループ（→P.151 ）

6 “完了” を選択。

▶ 地図画面から修正する

1 地図表示中、修正したいメモリ地点にカーソルを合わせてリモートタッチの⌃ボタンを押し、“情報” を選択。

2 “修正” を選択。

3 以降の手順は「設定・編集画面から修正する」（→P.146）手順 **5** へ。

知識

●リモートタッチの⌃ボタンを押し、“グループで絞る” を選択すると、メモリ地点を指定したグループで絞り込むことができます。絞り込みを解除したいときは、“絞り込み解除” を選択します。

●メモリ地点のリストは、リモートタッチの⌃ボタンを押すことで以下の並べ方をすることができます。

・“マーク順” ：マークの種類別
・“名称順” ：50 音順
・“登録順” ：メモリ地点の登録順

●地図呼び出し画面のメモリ地点検索でも、グループで絞り込むことができます。（→P.150）

メモリ地点を消去する

▶ 設定・編集画面から消去する

1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “設定・編集” → サブメニューの “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。

2 “メモリ地点” を選択。

3 “消去” を選択。

4 消去したいメモリ地点を選択。

5 “はい” を選択。

● すべてのメモリ地点を消去するときは、リモートタッチの⌃ボタンを押し、“全消去” → “はい” の順に選択します。

▶ 地図画面から消去する

1 地図表示中、消去したいメモリ地点にカーソルを合わせてリモートタッチの⌃ボタンを押し、“情報” を選択。

2 “消去” を選択。

3 以降の手順は「設定・編集画面から消去する」(→P.146)手順 5 へ。

知識

- リモートタッチの ボタンを押し、“グループで絞る” を選択すると、メモリ地点を指定したグループで絞り込むことができます。絞り込みを解除したいときは、“絞り込み解除” を選択します。
- メモリ地点のリストは、リモートタッチの ボタンを押すことで以下の並べ方をすることができます。

・“マーク順”：マークの種類別
・“名称順”：50 音順
・“登録順”：メモリ地点の登録順

迂回メモリを登録する

工事や通行止め、よく渋滞する場所などが分かっているとき、迂回メモリとして登録しておくと、そのエリアを迂回するルートを探索します。

1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：

- リモートタッチの “MENU” ボタン → “設定・編集” → サブメニューの “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。

2 “迂回メモリ” を選択。
3 “登録” を選択。
4 目的地の検索方法を選び、目的地に設定する場所を検索する。(→P.108)
5 “セット” を選択。

- 迂回範囲が黄色の四角で表示されます。

6 迂回範囲を (広くする)、または (狭くする) を選択して設定し、“セット” を選択。

- ・ の間にある数値は迂回させる 範囲の一辺の距離になります。

7 “完了” を選択。

知識

- 1/8万図より詳細な地図で登録することができます。
- 迂回メモリ地点を通らないと目的地に行けないようなときは、迂回メモリ地点を通るルートが探索されることがあります。
- 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称も同時に表示されることがあります。
- 迂回範囲を最小にすると、 (迂回メモリ地点) に切り替えることができます。高速道路(都市高速・有料道路を含む)およびフェリー航路は、迂回範囲内に設定しても迂回させることができません。迂回したいときは、迂回メモリ地点を道路上に設定してください。
- 迂回メモリ地点は専用のマーク( )で表示され、マークを変更することはできません。

迂回メモリを修正する

1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ メモリ地点登録・編集 ” の順に選択。

2 “ 迂回メモリ ” を選択。

3 “ 修正 ” を選択。

4 修正したい迂回メモリ地点を選択。

5 迂回メモリ修正画面で各項目を修正する。

● 修正・入力方法については次のページをご覧ください。

・ 名称（→P.149）

・ 地図への名称表示（→P.150）

・ 位置（→P.150）

● 登録した迂回メモリを解除したいときは、“ 無効 ” を選択します。

● 迂回エリアを変更したいときは、“ 迂回エリア変更 ” を選択し、迂回範囲を ∧ (広くする)、または ∨ (狭くする）を選択して設定し、“ セット ” を選択します。

6 “ 完了 ” を選択。

迂回メモリを消去する

1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ メモリ地点登録・編集 ” の順に選択。

2 “ 迂回メモリ ” を選択。

3 “ 消去 ” を選択。

4 消去したい迂回メモリを選択。

5 “ はい ” を選択。

● すべての迂回メモリを消去するときは、リモートタッチの ⌃⌃ ボタンを押し、“ 全消去 ” → “ はい ” の順に選択します。

メモリ地点の情報を修正する

メモリ地点のマーク･名称などの地点情報は、メモリ地点修正画面から変更できます。

▶ 設定・編集画面から表示する

1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：

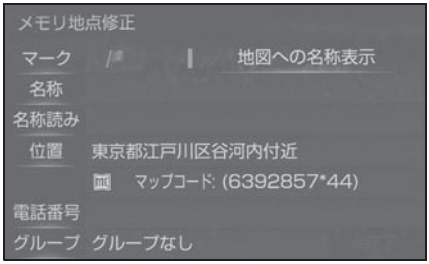
● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ メモリ地点登録・編集 ” の順に選択。

2 “ 自宅 ”、“ 特別メモリ ” または “ メモリ地点 ” を選択。

3 “ 修正 ” を選択する。

● “特別メモリ” または “メモリ地点 ” を選択したときは、修正するメモリ地点を選択してください。

4 希望の項目を選択する。



▶ 地図画面から表示する

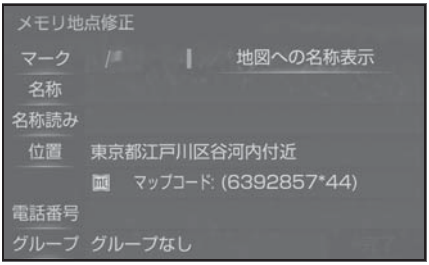
1 地図表示中、修正するメモリ地点をカーソルで選択する。

2 リモートタッチの⌃ボタンを押す。

3 “情報” を選択する。

4 “修正” を選択。

5 希望の項目を選択する。



マークを変更する

1 メモリ地点修正画面（→P.148）を表示する。

2 “マーク” を選択。

3 “マーク 1” タブ、“マーク 2” タブ、“マーク 3” タブまたは “音声付” タブを選択し、希望のマークを選択。

● マークが不要なときは、“マーク 3” タブの “マーク無し” を選択します。

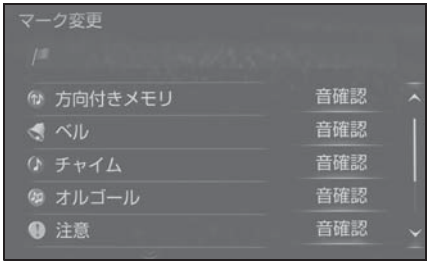
4 “完了” を選択。

■ 音声付メモリを設定する

設定した地点の約 500m 付近で音が鳴ります。

1 マーク変更画面で “音声付” を選択。

2 鳴らしたい音を選択。



● 鳴る音を確認するときは、“音確認” を選択します。

3 “完了” を選択。

■ 音声／方向付きメモリを設定する

指定した方向から約 500m 付近に近づくと音が鳴ります。

1 マーク変更画面で “音声付” を選択。

2 “方向付きメモリ” を選択。

3 ↺（反時計回り）、または ↻（時計回り）を選択して方向を指定し、“セット” を選択。

4 “完了” を選択。

メモリ地点名称を入力する

1 メモリ地点修正画面（→P.148）を表示する。

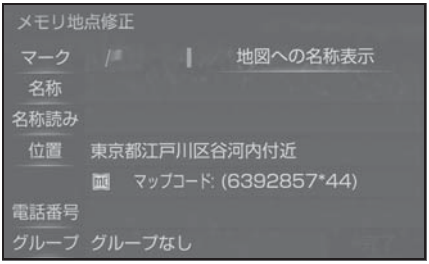
2 “名称” を選択。

3 ソフトウェアキーボードを使用して名称を入力し、“OK” を選択。

4 “完了” を選択。

地図にメモリ地点名称を表示する

1 メモリ地点修正画面（→P.148）を表示する。
2 “地図への名称表示” を選択。



● 解除するときは、“地図への名称表示” を選択します。

知識

● 1/8万図より詳細な地図で名称を表示することができます。

メモリ地点の名称読みを入力する

名称読みを入力しておくと、音声操作で地図を呼び出すことができます。（→P.342）

1 メモリ地点修正画面（→P.148）を表示する。
2 “名称読み” を選択。
3 ソフトウェアキーボードを使用して名称読みを入力し、“OK” を選択。
4 “完了” を選択。

メモリ地点の位置を修正する

1 メモリ地点修正画面（→P.148）を表示する。
2 “位置” を選択。
3 ^ を選択して地点の位置を修正し、“セット” を選択。

4 “完了” を選択。

メモリ地点の電話番号を入力する

電話番号を入力しておくと、電話番号で地図を呼び出すことができます。（→P.113）

1 メモリ地点修正画面（→P.148）を表示する。
2 “電話番号” を選択。
3 市外局番から電話番号を入力し、“完了” を選択。
4 “完了” を選択。

メモリ地点をグループで絞り込む

1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “設定・編集” → サブメニューの “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。

2 “メモリ地点” を選択。
3 “修正” または “消去” を選択。
4 リモートタッチの⌃ボタンを押す。
5 “グループで絞る” を選択。
6 絞り込みたいグループを選択。

● 絞り込みを解除したいときは、“絞り込み解除” を選択します。
● 地図呼び出し画面のメモリ地点検索でも、グループで絞り込むことができます。(→P.120)

グループを指定する

1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “設定・編集” → サブメニューの “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。

2 “メモリ地点” を選択。
3 “修正” を選択。
4 グループを指定したいメモリ地点を選択。
5 “グループ” を選択。
6 指定したいグループを選択。

● グループ指定をしないときは、“グループなし” を選択します。

7 “完了” を選択。

グループを作成・修正する

1 グループ画面でリモートタッチの⌃ボタンを押す。
2 “新規グループ作成” を選択。

● グループ名を修正したいときは、リモートタッチの⌃ボタンを押し、“グループ名修正” の順に選択します。

3 ソフトウェアキーボードを使用してグループ名を入力し、“OK” を選択。

グループを削除する

1 グループ画面でリモートタッチの⌃ボタンを押す。
2 “グループ削除” を選択。
3 削除したいグループを選択。
4 “はい” を選択。

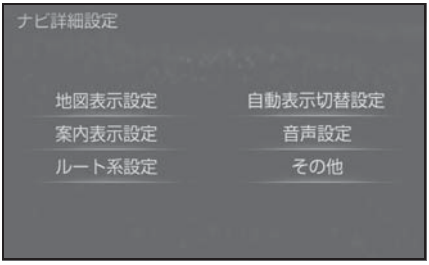
● すべてのグループを消去するときは、リモートタッチの⌃ボタンを押し、“はい” の順に選択します。

ナビゲーションの設定

ナビゲーションの設定では、地図の色や文字サイズなど、ナビの各種設定を変更することができます。

ナビの詳細設定画面を表示する

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。
2 “設定・編集”を選択。
3 サブメニューの“ナビ”を選択。
4 “ナビ詳細設定”を選択。
5 設定したい項目を選択。



- 地図表示設定（→P.152）
- 自動表示切替設定（→P.154）
- 案内表示設定（→P.154）
- 音声設定（→P.157）
- ルート系設定（→P.158）
- その他（→P.161）

知識

- 初期設定の状態に戻すときは、“初期状態”を選択します。

地図表示設定をする

3D 地図の表示を設定する

地図を3D表示するときの角度設定ができます。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- リモートタッチの“MENU”ボタン→“設定・編集”→サブメニューの“ナビ”→“ナビ詳細設定”の順に選択。

2 “地図表示設定”を選択。
3 “3D 地図表示設定”を選択。
4 （角度を上げる）または（角度を下げる）を選択。

5 リモートタッチの ボタンを押す。

知識

- 初期設定の状態に戻すときは、“初期状態”を選択します。

周辺の施設を表示する

ガソリンスタンドなどの施設記号を地図上に表示することができます。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- リモートタッチの“MENU”ボタン→“設定・編集”→サブメニューの“ナビ”→“ナビ詳細

設定 ” の順に選択。

2 “ 地図表示設定 ” を選択。

3 “ 周辺施設表示 ” を選択。

4 施設のジャンルを選択。

施設の表示設定については、「施設記号を表示する」（→P.77）をご覧ください。

地図の色を設定する

地図の表示色を 5 色から選択できます。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ ナビ詳細設定 ” の順に選択。

2 “ 地図表示設定 ” を選択。

3 “ 地図表示カスタマイズ ” を選択。

4 “ 地図色 ” を選択。

5 “ フレッシュ ”、“ ナチュラル ”、“ スタイリッシュ ”、“ クッキリ ” または “ カラフル ” を選択。

● フレッシュ

縁取りや明るめの多色使いで明るい印象を受ける色使い

● ナチュラル

ベース色･道路色ともに明るい配色とした温かみを感じる色使い

● スタイリッシュ

ベース色・道路色ともに明るい配色としたスタイリッシュ感を高めた寒色系の色使い

● クッキリ

シャープ感とクリア感を併せ持つ見やすい色使い

● カラフル

従来のレクサス地図配色に慣れているお客さまにおすすめの色使い

ルートの色を設定する

目的地まで案内するルートの表示色を 5 色から選択できます。

明るい色使いの画面や、すっきりとしたシャープな色使いの画面など、お好みに合わせて選択できます。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ ナビ詳細設定 ” の順に選択。

2 “ 地図表示設定 ” を選択。

3 “ 地図表示カスタマイズ ” を選択。

4 “ ルート色 ” を選択。

5 お好みの色を選択。

知識

●ルート色が変更されるのは地図上のルート色のみです。ルート情報画面、探索条件変更画面、交差点拡大図などのルート色は変更されません。

自車マークを変更する

地図上に表示される自車マークを変更することができます。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ ナビ詳細設定 ” の順に選択。

2 “地図表示設定” を選択。
3 “地図表示カスタマイズ” を選択。
4 “自車マーク” を選択。
5 お好みの自車マークを選択。

地図の文字サイズを変更する

地図上に表示される地名などの文字サイズを３つの中から選択できます。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “設定・編集” → サブメニューの “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。

2 “地図表示設定” を選択。
3 “地図表示カスタマイズ” を選択。
4 “文字サイズ変更” を選択。
5 “大”、“中” または “小” を選択。

地図のアニメーション表示を設定する

地図画面が切り替わるときに、地図画面をアニメーションのように表現される表示のする/しないを選択できます。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “設定・編集” → サブメニューの “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。

2 “地図表示設定” を選択。
3 “地図アニメーション表示” を選択。

● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

自動表示切替を設定する

目的地候補情報の自動表示を設定する

目的地候補情報（現在地から自宅・特別メモリ 1・特別メモリ 2 までの距離、到着時間）の自動表示を表示する／しないを選択できます。(→P.118)

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “設定・編集” → サブメニューの “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。

2 “自動表示切替設定” を選択。
3 “目的地候補情報の自動表示” を選択。

● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

知識

● 目的地候補情報（自宅・特別メモリ 1・特別メモリ 2）が設定されていないと表示されません。(→P.119)

案内表示設定をする

県境案内を設定する

都道府県境を通過したとき、案内マークと音声で案内する／しないを選択できます。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ ナビ詳細設定 ” の順に選択。

2 “ 案内表示設定 ” を選択。

3 “ 県境案内 ” を選択。

● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

知識

● 県境案内は、遅れたり早くなることがあります。

3D 交差点拡大図の表示を設定する

交差点拡大図を立体的（3D）に表示する／しないを選択できます。

3D 交差点拡大図については、「交差点拡大図について」（→P.126）をご覧ください。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ ナビ詳細設定 ” の順に選択。

2 “ 案内表示設定 ” を選択。

3 “3D 交差点拡大図 ” を選択。

● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

オートマップズームを設定する

目的地案内中に案内地点に近づいたときに、地図の縮尺を自動で拡大します。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ ナビ詳細設定 ” の順に選択。

2 “ 案内表示設定 ” を選択。

3 “ オートマップズーム ” を選択。

● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

到着予想時刻用の速度を設定する

ルート案内するときの、到着予想時刻・通過予想時刻・所要時間を計算する基準である平均車速を自動、または手動で設定できます。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ ナビ詳細設定 ” の順に選択。

2 “ 案内表示設定 ” を選択。

3 “ 到着予想時刻用速度設定 ” を選択。

4 “自動” または “手動” を選択。

5 手動を選択した場合は、各道路の ＜（速度を下げる）または ＞（速

度を上げる）を選択し、速度を設定。

6 リモートタッチの ボタンを押す。

知識

● 初期設定の状態に戻すときは、“初期状態”を選択します。

到着予想時刻の表示を切り替える

到着予想時刻の表示を、アナログまたはデジタルに設定できます。

▶ デジタル

▶ アナログ

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “設定・編集” → サブメニューの “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。

2 “案内表示設定” を選択。

3 “到着予想時刻表示” を選択。

4 “デジタル” または “アナログ” を選択。

G 情報マーク連動サービスを設定する

レクサスケアコミュニケーターに目的地周辺の駐車場情報の送信を依頼した場合に、目的地に近づくと最新の満空情報に自動で更新する／しないを選択できます。（→P.471）

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “設定・編集” → サブメニューの “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。

2 “案内表示設定” を選択。

3 “G情報マーク連動サービス” を選択。

● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

音声設定をする

VICS 渋滞・規制音声の自動発声を設定する

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、ルート上（約 10km 以内）の現況情報を音声案内する／しないを選択できます。（→P.90）

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ ナビ詳細設定 ” の順に選択。

2 “ 音声設定 ” を選択。

3 “VICS 渋滞・規制音声自動発声 ” を選択。

● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

知識

●音声案内はあくまでも参考としてください。

●音声案内の例は一般的なものであり、状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。

●自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。

細街路での音声案内を設定する

目的地周辺で、幅 5.5m 未満の道路（細街路）を通るルートで音声案内する／しないを選択できます。（→P.132）

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ ナビ詳細設定 ” の順に選択。

2 “ 音声設定 ” を選択。

3 “ 細街路での音声案内 ” を選択。

● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

他モード時の案内を設定する

ナビゲーション画面から他モードの画面（情報画面など）に切り替えたときに、音声案内する／しないを選択できます。（→P.132）

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ ナビ詳細設定 ” の順に選択。

2 “ 音声設定 ” を選択。

3 “ 他モード時の案内 ” を選択。

● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

ハートフル音声を設定する

通常の目的地案内中の音声案内とは、異なった音声を出力する／しないを選択できます。

ハートフル音声の例

● 自宅を目的地に設定して、目的地に到着したとき
「お疲れさまでした」

● ナビゲーション画面が表示されるとき

・音声 1：「今日は○月○日○曜日です」

・音声 2：「今日は○月○日○曜日です」

「○○の日です」

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ ナビ詳細設定 ” の順に選択。

2 “ 音声設定 ” を選択。

3 “ ハートフル音声 ” を選択。

4 “ 音声 1”、“ 音声 2” または “ しない ” を選択。

知識

●状況などにより異なった音声が出力されたり、他のナビ音声案内などと重なったときは、出力されないことがあります。

案内時の割込み音を設定する

音声案内時の割込み音（ポーン）を、“ 音 1”（低音）、“ 音 2”（高音）、“ しない ” から選択できます。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ ナビ詳細設定 ” の順に選択。

2 “ 音声設定 ” を選択。

3 “ 案内時の割込み音 ” を選択。

4 “ 音 1”、“ 音 2” または “ しない ” を選択。

知識

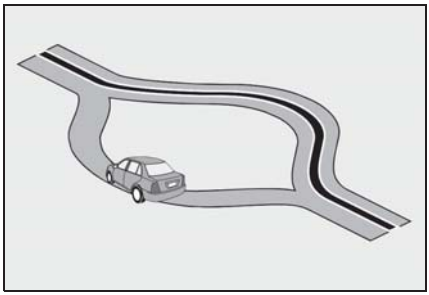
●消音を選択すると、予報音の出力をしません。

ルート系設定をする

ルート学習を設定する

ルート探索時に、いつも通る道を考慮したルートで案内する／しないを選択できます。

「する」に設定した場合、目的地案内中に、ルートとは異なる道路を走行した場合にそのルートを学習します。何度か同じように走行し、学習が完了すると次のルート探索時に学習したルートで案内させることができます。



1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ ナビ詳細設定 ” の順に選択。

2 “ ルート系設定 ” を選択。

3 “ ルート学習 ” を選択。

● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

知識

●ハイブリッドナビ（→P.468）をご利用中の場合は、ルート学習機能を活用いただけません。そのため、ハイブリッドナビをご利用中は、ルート学習を設定する必要がありません。

・ハイブリッドナビは新車登録から 3 年

間、CPO 契約から 2 年間ご利用いただけます。以降のハイブリッドナビの利用条件は、「ハイブリッドナビの利用について」（→P.468）をご覧ください。

- ルート学習する区間に、一部でも幅 5.5m 未満の道路が含まれている場合は、ルート学習をすることができません。（自宅登録時の自宅周辺を除く）
- ルート学習は、ルート探索時の推奨ルートに反映されます。
- ルート学習した道が使われない場合もあります。
- 自車位置マーク が実際の道路と異なる場所に表示されているときは、ルート学習ができない場合があります。（高速道路、またはバイパスのような高架道路と並行している道路がある場合など。）
- 地図データを更新した場合、道路の改良、新規開通などの変化により、ルート学習が反映されない場合があります。

ルート学習結果を消去する

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ ナビ詳細設定 ” の順に選択。

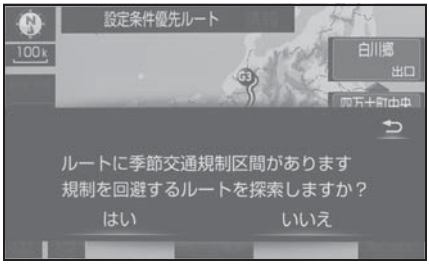
2 “ ルート系設定 ” を選択。

3 “ ルート学習結果の消去 ” を選択。

4 “ はい ” を選択。

季節規制メッセージの表示を設定する

冬期通行止めになる道路など、長期間に渡り規制される区間を含むルートが探索されたとき、メッセージを表示する／しないを選択できます。規制区間は、全ルート図表示画面にルートが （青枠の橙色）で表示されます。



1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ ナビ詳細設定 ” の順に選択。

2 “ ルート系設定 ” を選択。

3 “ 季節規制メッセージ表示 ” を選択。

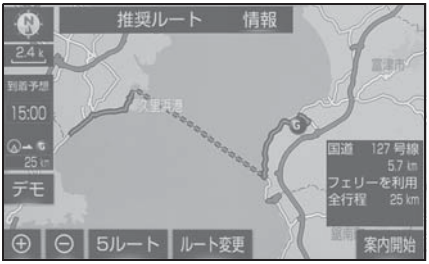
- 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

知識

- 季節規制区間を迂回するルートを探索したいときは、「季節規制区間の迂回ルートを探索する」（→P.142）をご覧ください。
- 地図データに情報のない規制区間では、ルートの色は変わらず、メッセージも表示されません。

フェリールートの利用を設定する

フェリーを利用するルートを探索する／しないを選択できます。フェリーの航路は ------（破線）で表示されます。



1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ ナビ詳細設定 ” の順に選択。

2 “ ルート系設定 ” を選択。

3 “ フェリールート利用 ” を選択。

● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

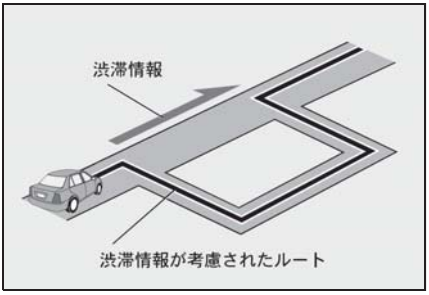
知識

● フェリーターミナルまで音声案内が出力されます。

● フェリー利用後、しばらく走行すると目的地案内が再開されます。

渋滞考慮探索を設定する

ビーコンからの現況VICS情報が受信されたとき、受信された渋滞・規制情報を考慮したルートを探索する／しないを選択できます。



1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ ナビ詳細設定 ” の順に選択。

2 “ ルート系設定 ” を選択。

3 “ 渋滞考慮探索 ” を選択。

● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

知識

● 現在地から約 10km 以内の渋滞・規制情報が考慮されます。したがって、遠方の渋滞・規制情報は考慮されません。

● プローブコミュニケーション交通情報が取得されたとき、より広域の渋滞・規制情報が考慮されたルートを探索できます。（→P.469）

新旧ルート比較表示を設定する

ビーコンまたはG-Linkセンターから提供される現況情報が受信され、渋滞・規制情報が考慮されたルートが新たに見つかったとき、右画面に新ルートと元ルートの比較と分岐点までの距離を表示する／しないを選択できます。（→P.95）

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ ナビ詳細設定 ” の順に選択。

2 “ ルート系設定 ” を選択。

3 “ 新旧ルート比較表示 ” を選択。

● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

プローブ交通情報の自動取得を設定する

2 つのタイミングで自動的に G ルート情報を取得する／しないを選択できます。（→P.469）ハイブリッドナビ（→P.468）利用期間中は、ハイブリッドナビでのルート情報の取得が優先されます。

その他の設定をする

自動ボタン消しを設定する

地図画面下部の ⊕（拡大）／ ⊖（縮小）スイッチなどを常に表示する／しないを設定できます。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ ナビ詳細設定 ” の順に選択。

2 “ その他 ” を選択。

3 “ 自動ボタン消し ” を選択。

● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

知識

●「する」に設定したときは、数秒後にスイッチが消えます。

車両情報を設定する

お車の仕様（サイズなど）を登録しておくと、登録した情報をもとに料金案内の表示や提携駐車場の検索をします。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ ナビ詳細設定 ” の順に選択。

2 “ その他 ” を選択。

3 “ 車両情報設定 ” を選択。

4 “ 全長 ”、“ 全幅 ” または “ 全高 ” を選択。

● ＜ または ＞ を選択して寸法を設定する。

5 “ ナンバー ” を選択。

● “1”、“3” または “5･7” のいずれかのナンバープレートの分類番号を選択する。

知識

● “ 初期状態 ” を選択すると、初期設定の状態（寸法が設定されていない状態）に戻ります。

●目的地が設定されているときは、車両情報を設定することはできません。

●車両寸法については、車検証をご覧ください。

目的地履歴を消去する

目的地設定した地図の地点を消去できます。

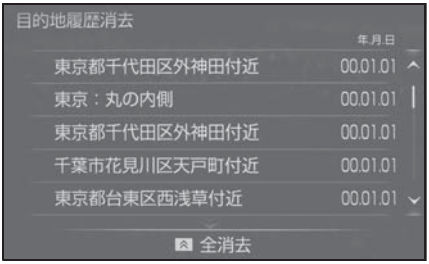
1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ ナビ詳細設定 ” の順に選択。

2 “ その他 ” を選択。

3 “ 目的地履歴の消去 ” を選択。

4 消去する地点名称を選択。



5 “はい”を選択。

● すべての目的地履歴を選択するときは、リモートタッチの⌃ボタンを押し、“はい”を選択します。

知識

●目的地設定した地図の地点が 100 カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されます。

画面切り替え時の動画表現を設定する

画面の切り替わるスイッチを選択したときや、リモートタッチの“MAP”ボタンを押したとき、アニメーションのように表現されて画面を表示する／しないを選択できます。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● リモートタッチの“MENU”ボタン →“設定・編集”→サブメニューの“ナビ”→“ナビ詳細設定”の順に選択。

2 “その他”を選択。

3 “画面切り替え時の動画表現”を選択。

● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

知識

●「しない」に設定してもメニュー画面から画面を切り替えるときの動画は表現されます。

●動画表現することのできない画面もあります。

ナビを補正する

自車位置マークがずれているとき

地図上の自車位置マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。

GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。

● 現在地の自動補正は、数分かかることがあります。

● 1/8 万図より詳細な地図で補正することができます。

現在地を修正する

実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている（自車位置マークがずれている）とき、自車位置マークの位置と向いている方向を修正することができます。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● リモートタッチの“MENU”ボタン →“設定・編集”→サブメニューの“ナビ”→“ナビ詳細設定”の順に選択。

2 “その他” を選択。
3 “ナビ補正” を選択。
4 “現在地修正” を選択。
5 ⌃を選択して現在地を修正し、“セット” を選択。
6 ↓(反時計回り)、または↓(時計回り)を選択して方向を修正し、“セット” を選択。

距離を補正する

走行中、地図上の自車位置マークの進み方と、実際の車の進み方が全く違っているとき、自車位置マークの進み方を修正することができます。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “設定・編集” → サブメニューの “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。

2 “その他” を選択。
3 “ナビ補正” を選択。
4 “自動補正” を選択。

● “自動補正” を選択すると、GPS情報を利用しながら、しばらく走行し、自動的に補正を行います。

知識

● タイヤ交換を行ったときは自動補正を行ってください。
● 自動補正モード中ではないときも、距離補正の学習機能を持っているため、自車位置マークの進み方が走行状態により、変化することがあります。
● 自動補正モード中は、補正をすることはできません。

注意

● TVキットを装着すると、GPS遮断／車速遮断が発生し、自車位置がずれたり、フリーズすることがあります。

VICS/ETC2.0を設定する

割込情報の表示／非表示の設定、および割込情報の表示時間の調整をすることができます。(→P.94)また、現況VICS情報を提供しているFM放送局を選ぶことができます。(→P.95)

ユーザーカスタマイズを設定する

ナビの各種設定を記憶し、その設定状態を呼び出して使うことができます。設定状態は、3パターンまで記憶できます。

ナビ設定を記憶する

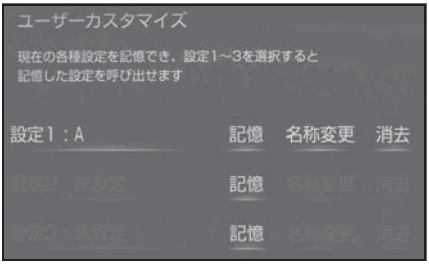
1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “設定・編集” → サブメニューの “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。

2 “その他” を選択。

3 “ ユーザーカスタマイズ ” を選択。

4 “ 記憶 ” を選択。



● 新規で記憶するときは、ソフトウェアキーボードを使用して名称を入力し、“OK” を選択します。

● 設定 1 ～ 3 の名称を変更したいときは、“ 名称変更 ” を選択して名称を入力し、“ 完了 ” を選択します。

● 設定を消去したいときは、“ 消去 ” → “ はい ” の順に選択します。

5 “ はい ” を選択。

● 手順 4 ですでに記憶されている設定を選んだときは、“ はい ” を選択すると上書きされます。

ナビ設定を呼び出す

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ ナビ詳細設定 ” の順に選択。

2 “ その他 ” を選択。

3 “ ユーザーカスタマイズ ” を選択。

4 “ 設定 1”、“ 設定 2” または “ 設定 3” を選択 。

知識

●次の設定項目を記憶することができます。

・ 地図向きの設定（→P.75）
・ 地図表示縮尺の設定（→P.73）
・ 周辺施設走行中呼出ジャンルの設定（→P.164）
・ 音量設定（→P.132）
・ メンテナンス自動通知の設定（→P.63）
・ ナビ詳細設定一覧の設定 ※（→P.152）
・ 安全・快適走行設定一覧の設定（→P.166）
・ VICS・交通情報の表示設定（→P.89）
・ VICS 割込情報の表示設定（→P.94）

※ ルート学習、車両情報設定は記憶することができません。

周辺施設の走行中の呼出ジャンルを設定する

走行中に呼び出すことのできる周辺施設のジャンルを変更することができます。

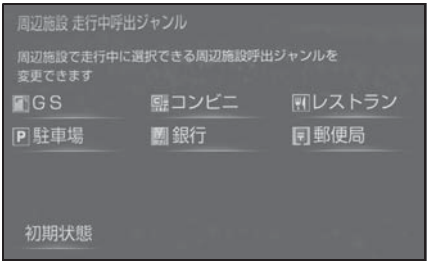
1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ ナビ詳細設定 ” の順に選択。

2 “ その他 ” を選択。

3 “周辺施設走行中呼出ジャンル” を選択。

4 変更したい施設のジャンルを選択。



5 施設のジャンルを選択。

6 表示させたい施設のジャンルを選択。

7 リモートタッチの ボタンを押す。

目的地検索画面の並びを変更する

目的地検索画面の 1 ページ目に表示する項目を変更することができます。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ ナビ詳細設定 ” の順に選択。

2 “ その他 ” を選択。

3 “目的地メニューカスタマイズ” を選択。

4 希望の項目を 5 つ選択。

5 “ 完了 ” を選択 。

地図フリック操作の設定する

リモートタッチのタッチパッドをフリック操作することで、地図を移動させることができます。(→P.77)

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ ナビ ” → “ ナビ詳細設定 ” の順に選択。

2 “ その他 ” を選択。

3 “ 地図フリック操作 ” を選択。

● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

安全・快適走行の設定

安全・快適走行の設定では、運転中に注意する地点の案内について設定することができます。

警告

●安全・快適走行設定の案内は、あくまでも補助機能です。案内を過信せず、常に道路標識・標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

安全・快適走行設定画面を表示する

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。
2 “設定・編集”を選択。
3 サブメニューの“車両”を選択。
4 “安全・快適走行設定”を選択。
5 各項目を設定する。

一時停止案内を設定する

一時停止交差点に近づいたときに、案内マーク（: 赤／黒色）と音声で案内する／しないを選択できます。

1 安全・快適走行画面を表示する：

● リモートタッチの“MENU”ボタン→“設定・編集”→サブメニューの“車両”→“安全・快適走行設定”の順に選択。

2 “一時停止案内”を選択。

● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

知識

●以下のようなときは、一時停止案内が行われない場合があります。
・地図データに情報のない地点
・自車位置が正確に特定できないとき
・進入した道路の一時停止交差点までの距離が短いとき

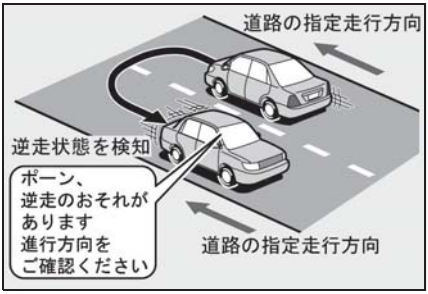
●以下のようなときは、音声案内が行われない場合があります。
・一時停止交差点が連続するとき
・他のナビ音声案内などと重なるとき

●以下のようなときは、誤って一時停止案内を行う場合があります。
・自車位置が正確に特定できないとき
・地図データと実際の道路状態が変わったとき（信号機付き交差点に変わったなど）

逆走注意案内を設定する

サービス対象道路※にて、逆走状態を検知し、画面表示と音声で「ポーン、逆走のおそれがあります。進行方向をご確認ください」と案内する／しないを選択できます。

※サービス対象道路は、都市間高速道路・都市高速道路・一部の有料道路の本線および IC・JCT・SA・PA 施設です。



1 安全・快適走行画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ 車両 ” → “ 安全・快適走行設定 ” の順に選択。

2 “ 逆走注意案内 ” を選択。

● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

知識

●以下のようなときは、逆走注意案内が行なわれない場合があります。

・サービス対象道路以外を走行している場合
・「本線、または本線に繋がる区間での U ターン、SA・PA 進入路からの逆走」以外の方法で逆走する場合（一般道から高速道出口へ進入し逆走する場合など）
・ナビゲーション、またはナビゲーションの各種センサーが故障している場合
・ナビゲーションが、サービス対象道路を走行中であることを特定できていない場合
・地図データに情報のない道路を走行している場合
・急激な回転をした場合
・自車位置補正、方位補正が行われた直後
・地図更新が行われた直後
・料金所付近を走行している場合
・本線への合流区間が短い場合
・スマート IC 付き SA・PA、その他特定の SA・PA である場合

●以下のようなときは、誤って逆走注意案内が行なわれる場合があります。
・自車位置を逆走対象道路上と誤認識し、U ターン動作をした場合
・自車位置マーク の位置が正しくない場合
・料金所手前などのUターンが禁止されている場所で、逆走とはならない U ターンを行った場合
・SA・PA 内で交通規制に従わない走行を行った場合（SA・PA 内での一方通行違反等）
・重大事故発生時などの警察・道路管理会社の誘導により U ターンを行った場合

道路形状案内を設定する

注意する地点の案内がある場所に近づくと、案内マークと音声でお知らせします。

知識

●地図データに情報のない地点では、道路形状案内は行われません。

●以下のようなときは、道路形状案内が行われない場合があります。
・目的地案内開始直後
・再探索直後
・目的地周辺

●現在地から道路形状案内地点までの距離が短い、道路形状案内地点近くで分岐が連続するなど、周辺の道路状況によっても、案内が行われない場合があります。

●道路形状案内は、遅れたり早くなることがあります。

●次の道路形状案内マークが表示されている地点が短いときは、続けて道路形状案内が行われます。

踏切案内を設定する

踏切に近づくと、案内マーク（ ）と音声で案内する／しないを選択できます。

1 安全・快適走行画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ 車両 ” → “ 安全・快適走行設定 ” の順に選択。

2 “ 踏切案内 ” を選択。

● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

合流案内を設定する

合流道路に近づくと、案内マーク（ 、 ）と音声で案内する／しないを選択できます。

1 安全・快適走行画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ 車両 ” → “ 安全・快適走行設定 ” の順に選択。

2 “ 合流案内 ” を選択。

● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

カーブ案内を設定する

急カーブに近づくと、案内マーク（ 、 、 、 ）と音声で案内する／しないを選択できます。

1 安全・快適走行画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ 車両 ” → “ 安全・快適走行設定 ” の順に選択。

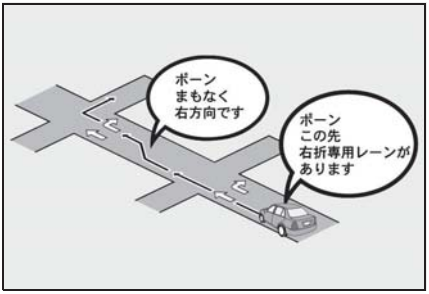
2 “ カーブ案内 ” を選択。

● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

レーン案内を設定する

都市高速道路走行中、レーン数減少地点に近づくと、案内マーク（、）と音声で案内する／しないを選択できます。

右折・左折専用レーン案内の例



直進する交差点に右折（左折）専用レーンがある場合、その交差点に近づくと「この先 右折（左折）専用レーンがあります」と音声案内されます。目的地案内中で、右折（左折）する交差点では右折･左折専用レーン案内はされません。この場合は「ポーン まもなく右方向（左方向）です」と音声案内されます。

1 安全・快適走行画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ 車両 ” → “ 安全・快適走行設定 ” の順に選択。

2 “ レーン案内 ” を選択。

● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

知識

● 右折・左折専用レーンでは、案内マークは表示されません。

事故多発地点案内を設定する

交通事故が多発している地点を案内する／しないを選択できます。

1 安全・快適走行画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ 車両 ” → “ 安全・快適走行設定 ” の順に選択。

2 “ 事故多発地点案内 ” を選択。

● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

知識

● 一般道路上では、交通事故が多発している地点に案内マーク（：赤色）が表示されます。1/5 千図～ 1/8 万図の地図で表示することができます。（全ルート図表示画面を除く）

● 高速道路上では、交通事故が多発している地点に近づくと、案内マーク（：黄色）が表示され、音声で案内します。

学校存在案内を設定する

学校に近づくと、案内マーク（ ）と音声で案内する／しないを選択できます。

1 安全・快適走行画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ 車両 ” → “ 安全・快適走行設定 ” の順に選択。

2 “ 学校存在案内 ” を選択。

● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

知識

●案内できる学校は、全国の小学校・中学校・養護学校（聾学校・盲学校含む）・外国人学校※の小学校・中学校です。

※専有校舎物件のみ。

●以下のようなときは、学校存在案内が行われない場合があります。
・地図データに情報のない地点
・土曜日、日曜日
・午後７時～午前７時
・自宅登録時の自宅周辺
・一部の有料道路や自動車専用道路を走行中

●以下のようなときは、音声案内が行われない場合があります。
・案内表示中に別の学校に近づいたとき
・他のナビ音声案内などと重なるとき

トンネル連動内気を設定する

エアコンの内外気切り替えが AUTO モードのとき、トンネルに入ると自動的に内気循環に切り替えする／しないを選択できます。

1 安全・快適走行画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定・編集 ” → サブメニューの “ 車両 ” → “ 安全・快適走行設定 ” の順に選択。

2 “ トンネル連動内気 ” を選択。

● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

GPS について

GPS（Global Positioning System：汎地球測位システム）は、米国が開発・運用しているシステムで、通常 4 個以上、場合により 3 個の人工衛星を利用して、利用者の現在位置（緯度・経度など）を知ることができるものです。このシステムは、GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して、ナビゲーションを行っています。

GPS 情報について

■ GPS 情報を利用できないとき

以下のようなときは、GPS 情報を利用できないことがあります。

- ビル・トラック・トンネルなどで人工衛星の電波が遮断されるとき
- GPS アンテナの上に物を置くなどして電波が遮断されるとき
- 人工衛星が電波を出していないとき（米国の追跡管制センターで信号をコントロールしているため改良・修理等で電波が止まることがあります。）
- デジタル式携帯電話（1.5GHz）を GPS アンテナ付近で使用したとき

■ システムの特性上、避けられないズレ

このシステムは、GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して現在位置表示を行っていますが、人工衛星からの電波の精度状態が良くないときや、2 個以下の人工衛星からの電波しか捕捉できないときなどには誤差が生じることがあります。この誤差は、補正などによってなくすことはできません。

ナビの精度について

■ 実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されているとき

以下のような車両の状態（走行場所や運転条件）のときは、実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている（自車位置マークがずれている）ことがあります。

- 角度の小さな Y 字路を走行しているとき、他方の道に自車位置マークが表示されることがあります。
- 隣の道路に自車位置マークが表示されることがあります。
- 市街図を表示させているとき、自車位置マークやルート表示が反対車線や道路以外の場所に表示されることがあります。
- 市街図から市街図以外の縮尺の地図に切り替えたとき、ほかの道路に自車位置マークが表示されることがあります。
- フェリー、車両運搬車などで移動したあと、自車位置マークが移動前の位置になっていることがあります。
- 自車位置マークを手動で修正したときに、正しい位置に修正しない状態で走行したとき
- 12V バッテリーターミナルを脱着

したあと

- らせん状の道路を走行しているとき
- 勾配の急な山岳等を走行して いるときや急カーブを走行しているとき
- 地下駐車場や立体駐車場などでの切り返しや、ターンテーブルで回転をしたあと、一般道路に出たとき
- 渋滞・交差点の手前などで、発進・停止を繰り返したときや徐行運転時
- 砂、砂利、雪道などのすべりやすい道路を走行しているとき
- タイヤチェーンを装着して走行しているとき
- タイヤを交換したとき（とくに応急用タイヤ、スタッドレスタイヤ使用時）
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したとき
- タイヤの空気圧が 4 輪とも指定の空気圧でないとき
- 摩耗したタイヤに交換したとき（2シーズン目以降のスタッドレスタイヤなど）
- ビルの近くを走行したとき
- キャリヤを取りつけたとき
- 高速走行中、長距離のルート探索を行ったとき

以上のようなときでも、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）

■ 適切な目的地案内が行われないとき

探索条件や走行場所により、以下のように適切な目的地案内が行われないことがあります。

- 直線道路走行中に、直進の案内が行われることがあります。
- 交差点で曲がるのに、案内が行われないことがあります。
- 案内が行われない交差点があります 。
- U ターン禁止の場所で、U ターンするルートの案内が行われることがあります。
- 実際には通行できない道（進入禁止の道路、工事中の道路、道幅が狭い道路など）の案内が行われることがあります。
- 目的地までの道路がなかったり、細い道路しかないときは、目的地から離れた所までしか目的地案内が行われないことがあります。
- ルートからはずれたとき（手前の交差点などで曲がったときなど）、音声案内が誤って出力されることがあります。
- 実際の現在地と異なる場所に自車位置マーク が表示されている場合、誤った案内をすることがあります。

■ ルートを再探索したとき

ルート再探索時、以下のようなことがあります。

- 再探索時のルートの表示が、次の右左折までに間に合わないことがあります。

- 高速走行時の再探索時間が長いことがあります。
- 再探索時に、ルートが遠まわり（大まわり）になることがあります。
- 通過するはずの目的地を通らずに最終の目的地に向かうとき、再探索すると、通過するはずの目的地へ戻るルートが表示されることがあります。
- 再探索しても、ルートがかわらないことがあります。
- ルートが探索されないことがあります。

■ **タイヤ交換をしたとき**

- このシステムは、タイヤの回転などをもとにして作動していますので、タイヤを交換すると精度が悪くなることがあります。
- タイヤを交換したときは、自動補正を行ってください。（→P.163）

自車位置マークがずれているとき

地図上の自車位置マーク がずれても、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。

GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。（→P.162）

- 現在地の自動補正は、数分かかることがあります。
- 1/8 万図より詳細な地図で補正することができます。

地図データ情報

データベースの情報を見る

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。
2 “設定・編集”を選択。
3 サブメニューの“ナビ”を選択。
4 “地図更新”を選択。
5 “使用データ”を選択。

地図データについて

道路・地名・施設情報・料金は地図データ作成後、変更されることがありますので、現場の状況と異なることがあります。

なお、このナビゲーションシステムの「地図」は国土交通省 国土地理院発行の地形図、および地勢図をもとに、一般財団法人日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社 ゼンリンの地図情報を付加して、株式会社 トヨタマップマスターが製作したものです。

知識

- 地図の作成に当たり、できる限り正確なものを提供できるよう道路の改良、新規開通などの情報収集や現地調査などを行っております。しかしながら、道路・地名・施設情報・料金などは日々刻々と

変化しており、その性質上、道路の抜け、道路形状・道路名称・施設名称・料金の間違いなどを完全にゼロにすることはできません。この点に留意してご利用ください。

●幅が 3m 未満の区間を含む道路は、原則として地図データに収録されていません。道路工事や最新の測量により、幅が 3m 未満の区間を含むと判定された道路は、地図データベースの更新時に削除されることがあります。

地図データの更新について

地図データは、以下の方法で更新することができます。

■ 全更新

最新版地図ソフトを購入いただき、全ての地図データを更新します。詳しくは、レクサス販売店にご相談ください。

■ 差分更新

通信またはパソコン（ディスク、USB メモリー）を使用して、部分的に地図データを更新します。詳しくは、「マップオンデマンド（地図差分更新）」（→P.460）をご覧ください。

知識

●全更新するときは、それまでの差分更新のデータと比較し、古い情報のみ更新され、最新の情報はそのまま保存されます。

●最新版地図ソフトの発行は、予告なく終了する場合があります。

地図データベースについて

■ 交通規制データの出典

この地図に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、（株）トヨタマップマスターが作成したものを使用しています。

■ 道路交通規制の優先

このデータが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。

■ 交通事故多発地点

地図データに収録されている事故多発地点データは、警察庁及び国土交通省のデータを基に作成してあります。

■ 渋滞考慮探索及び周辺迂回路探索

JARTIC/VICS の情報を基にトヨタコネクティッド株式会社が作成したデータを使用しています。

■ 統計交通情報

統計交通情報データは、JARTIC/VICS 及び独自で収集した交通情報を基にトヨタコネクティッド株式会社が統計処理をしたデータを使用しています。

こんなメッセージが表示されたとき

次のメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

メッセージ一覧

メッセージ	原因	処置
自宅が登録されていません 設定・編集のメモリ地点から登録できます	自宅が登録されていないときに、“自宅周辺”を選択したため。	自宅を登録してからお使いください。（→P.143）
特別メモリ地点が登録されていません 設定・編集のメモリ地点から登録できます	特別メモリ地点が登録されていないときに、特別メモリ周辺“1”～“5”または特別メモリに行く“1”～“5”を選択したため。	特別メモリ地点を登録してからお使いください。（→P.144）
該当する電話番号が検索できません 確認して修正して下さい	電話番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	電話番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当するマップコードが収録されていません 確認して修正して下さい	マップコードで地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	マップコードを再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当する施設の地点が特定できません 周辺の地図を表示します	検索された施設の正確な所在地が特定できず、所在地の住所を代表する地点を表示したため。	実際の施設の所在地をご確認ください。
この縮尺では位置が特定できません 詳細な地図に切り替えます	1/8 万図より広域の地図で、目的地・メモリ地点などを設定・登録しようとしたため。（現在地画面（地図画面）から地点登録するときを除く）	目的地・メモリ地点などの設定・登録はできるだけ詳細な地図（1/8 万図以下）で行ってください。

メッセージ	原因	処置
付近に案内可能な道路がありません 移動してから再操作をお願いします	通過道路を指定するときに、道路情報などにより、通過道路が指定されなかったため。	地図を移動して、道路付近に通過道路を指定してください。
目的地周辺に河川などの水域があります 目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、河川などが近くにあるため。	“はい”を選択したあと、地図を道路付近に移動して、“セット”を選択し、目的地を設定してください。 表示されている位置に目的地を設定するときは、“いいえ”を選択してください。
目的地周辺に線路があります 目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、線路が近くにあるため。	
メモリ地点が登録されていません メモリ地点を登録してからお使い下さい	メモリ地点が登録されていないときに、メモリ地点で地図を呼び出そうとしたため。	メモリ地点を登録してからお使いください。 (→P.145)
これ以上登録できません 消去してからお使い下さい	メモリ地点（自宅・特別メモリ地点含む）400 カ所・G メモリ地点情報 100 カ所登録しているときに、さらに登録しようとしたため。	不要なメモリ地点を消去してから登録してください。 (→P.146)
指定した IC は時間規制によりご利用できない場合があります IC 指定を続けますか？	指定した IC に時間規制があるため。	指定を続けるとき、“はい”を選択してください。 指定をやめるとき、“いいえ”を選択してください。
指定された出入口 IC は規制があります ご注意下さい	時間規制のある IC を利用時間内に通過できないおそれがあるため。	指定している前後の IC から乗降してください。
○○○○上に目的地を設定しますか？ （高速道路、有料道路など）	高速道路、有料道路上などで目的地を設定しようとしたため。	そのまま設定するときは、“設定する”を選択してください。 別の道路に設定するときは、“他の道路”を選択してください。

メッセージ	原因	処置
指定された区間の前後に乗降 IC または通過道路が決定済みです 指定を解除しますか？	乗降 IC または通過道路を指定してある前後に目的地を追加しようとしたため。	乗降 IC または通過道路の指定を解除して目的地の追加を続けるときは、“はい”を選択してください。 乗降 IC または通過道路の指定を解除せず目的地の追加を続けるときは、“いいえ”を選択してください。
ルート沿いに該当する施設がありません	ルート沿いの施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	場所を移動するか、ほかの施設で検索してください。
該当する施設がありません	施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	条件を変更して、再度検索してください。

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作の違いで故障と間違えることがありますので、次の表にもとづき、まず確認してください。

処置をしても直らないときは、レクサス販売店で点検を受けてください。

よくあるお問い合わせ

症状	考えられること	処置
走行しても地図が動かない。 自車位置マークが表示されない。	現在地画面以外になっていませんか。	現在地画面を表示させてください。（→P.24）
GPS マークが表示されない。	GPS 情報を利用できない状態ではありませんか。	周囲に障害物がない所へ移動するか、GPS アンテナ上部（→P.68）に物が置いてあるときは、移動させてください。
音声案内が出力されない。	案内中止になっていませんか。	目的地案内を中止したときは、目的地案内を再開させてください。（→P.125 ）
	案内の音量が小さく（音声 OFF に）なっていませんか。	音量を大きくしてください。（→P.132）
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞をイグニッション ON モード＜ ON モード＞にしたあと、しばらく画面にムラがある。	寒冷時、液晶パネルのバックライトの特性上、光ムラが発生することがあります。	バックライトが温まれば、数分後には解消されます。

症状	考えられること	処置
画面が見にくい。	画面のコントラスト、明るさ調整は適正ですか。	コントラスト、明るさを調整してください。（→P.57）
実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている。 （自車位置マークがずれている。）	人工衛星の状態、車両の状態（走行場所や運転条件）などにより、自車位置マークがずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自車位置マークがずれることがあります。	しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。） GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。（→P.162）

オーディオ＆ビジュアル

4

4-1. はじめに

基本操作をする..... 184

4-2. ラジオを聞く

ラジオを操作する..... 192

4-3. メディアを操作する

CD を操作する 195

BD/DVD を操作する 197

SD/ サウンドライブラリを操作する 205

地上デジタルテレビを視聴する 211

USB メモリーを操作する..... 221

iPod を操作する 225

Bluetooth オーディオを操作する 227

AUX を操作する..... 230

Miracast ™を操作する..... 231

4-4. ステアリングスイッチの操作

ステアリングスイッチで操作する 232

4-5. リヤマルチオペレーションパネルの操作

リヤマルチオペレーションパネルで操作する 233

4-6. オーディオの設定をする

オーディオ設定画面について .. 236

4-7. 後席 11.6 型ワイドディスプレイ

後席 11.6 型ワイドディスプレイについて 247

各部の操作について..... 249

4-8. 後席ディスプレイで音楽を聞く、映像を見る

ラジオを操作する 258

CD を操作する 259

BD/DVD を操作する 262

サウンドライブラリを操作する 274

USB メモリーを操作する.....275

iPod を操作する 277

Bluetooth オーディオを操作する 278

地上デジタルテレビを視聴する 280

SD メモリーカードを操作する 283

AUX/HDMI を操作する.....291

DLNA を操作する 291

Miracast ™を操作する.....295

4-9. 後席ディスプレイの設定をする

後席ディスプレイ設定画面について 297

4-10.オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて

オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて 301

基本操作をする

操作画面を表示するには、次の操作を行います。

● オーディオコントロールスイッチから表示する

“AUDIO” ボタンまたは、“TV” ボタンを押す。

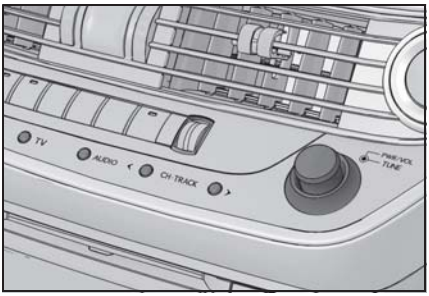
● リモートタッチから表示する

リモートタッチの “MENU” ボタンを押し、“ オーディオ ” または、“TV” を選択。

操作画面とオーディオコントロールスイッチについて

■ **操作画面**

■ **オーディオコントロールスイッチ**



● ラジオ（→P.192）

● CD（→P.195）

● BD/DVD（→P.197）

● SD/ サウンドライブラリ（→P.205）

● デジタルテレビ（→P.211）

● USB メモリー（→P.221）

● iPod（→P.225）

● Bluetooth オーディオ（→P.227）

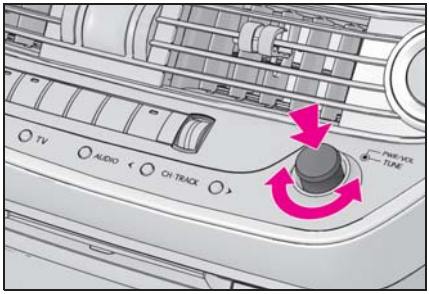
● AUX（→P.230）

● Miracast ™（→P.231）

● オーディオ設定（→P.236）

オーディオシステムを ON/OFF する

エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞がアクセサリーモード、またはイグニッションONモード＜ONモード＞のときに使用できます。



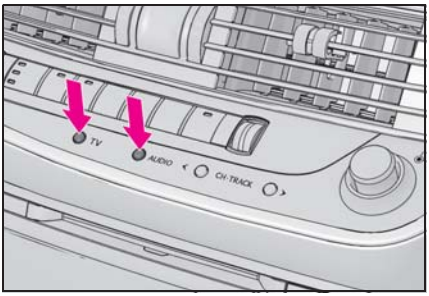
“PWR・VOL” ノブ：押すごとに電源の ON と OFF が切り替わります。回すと音量が切り替わります。

⚠ 注意

● 安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

ソースを選択する

■ オーディオコントロールスイッチから選択する



● “AUDIO” ボタン：押すと、オーディオ操作画面を表示します。

オーディオ操作画面表示中に押すと、オーディオソース選択画面を表示します。

● “TV” ボタン：押すとデジタルテレビを受信します。

■ オーディオソース選択画面から選択する

1 リモートタッチの “MENU” ボタンを押す。

2 “オーディオ” または “TV” を選択。

サブメニューの “オーディオ選択” を選択。

3 ソースを選択。

スイッチ	内容
“AM”	AM ラジオを受信する。
“FM”	FM ラジオを受信する。
“交通情報”	交通情報を受信する。
“DISC”（“CD”/“DVD”/“BD”）	CD、DVD または Blu-ray ディスクを再生する。
“サウンドライブラリ”	本機で CD から SD メモリーカードに録音した音楽ファイルを再生する。
“SD”	パソコンなどで SD メモリーカードに記録した音楽ファイルや動画ファイルを再生する。
“iPod/USB”/“iPod2/USB2”	USB メモリーに記録した音楽ファイルや動画ファイルを再生する。
	iPod の音楽ファイルを再生する。
“Bluetooth”	Bluetooth オーディオを再生する。
“Miracast™”	スマートフォンの画面を表示する。
“AUX”	外部機器を再生する。
“TV”	デジタルテレビを受信する。
"Rear"	後席 11.6 型ワイドディスプレイを使用する。

知識

●次のようなときは、スイッチを操作しても選択することができません。

・ディスクが挿入されていないとき

（DISC モード）
・再生するデータのない（録音されていない）とき（サウンドライブラリモード）
・SD メモリーカードが挿入されていないとき（サウンドライブラリ、SD モード）
・USB 端子に機器が接続されていないとき（USB/iPod モード）

● “DISC” スイッチは、挿入したディスクの種別によって “CD”、“DVD”、“BD” に表示が変わります。

●USB メモリーや iPod を 2 つ同時に接続すると、オーディオソース画面には “USB”/“iPod”、“USB2”/“iPod2” のスイッチが表示されます。

●接続した機器に名称が登録されている場合は、その名称でスイッチが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

●オーディオを聞いているときに、車内または車の近くで携帯電話を使用すると、オーディオのスピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがありますが、故障ではありません。

■ スイッチの配置を変更する

1 リモートタッチの “MENU” ボタンを押す。
2 “オーディオ” または “TV” を選択。
3 サブメニューの “オーディオ選択” を選択。
4 “配置変更” を選択。
5 移動したいオーディオソースを選択。
6 « または » を選択して、スイッチを移動させる。

● ページを切り替えるときは、› または ‹ を選択。

ラジオ用アンテナ

リヤウインドウガラスに埋め込まれています。

⚠ 注意

●アンテナ入りガラス（室内側）の清掃は湿った布で線にそって軽くふいてください。ガラスクリーナーなどは、アンテナをいためますので使用しないでください。

●リヤウインドウガラスのアンテナ線部に以下のものを貼りつけないでください。受信感度が低下したり、ノイズ（雑音）がはいるおそれがあります。
・金属を含有するウインドウフィルム
・その他の金属物（レクサス純正品以外のアンテナなど）

デジタルテレビ用アンテナについて

フロントウインドウガラスおよびリヤウインドウガラスに埋め込まれています。

注意

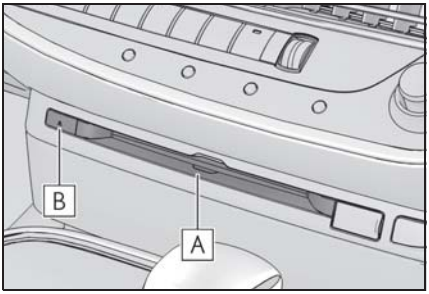
●アンテナ入りガラス（室内側）の清掃は湿った布で線にそって軽くふいてください。ガラスクリーナーなどは、アンテナをいためますので使用しないでください。

●フロントウインドウガラスおよびリヤウインドウガラスのアンテナ線部に以下のものを貼りつけないでください。受信感度が低下したり、ノイズ（雑音）がはいるおそれがあります。

・金属を含有するウインドウフィルム

・その他の金属物（レクサス純正品以外のアンテナなど）

ディスクを出し入れする



A ディスク挿入口

B 取り出しスイッチ

● 本機で使用できるディスクについては、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→P.301）をご覧ください。

■ ディスクを入れる

1 ラベル面を上にして、挿入口に挿入する。

● 途中まで差し込むと自動的に引き込まれ、再生を開始します。

知識

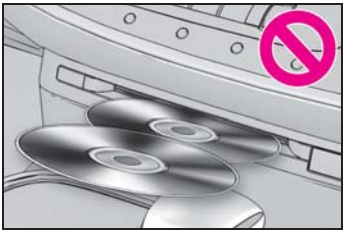
●ディスク挿入時にディスクの種類を判別しているため、再生までに時間がかかります。

■ ディスクを取り出す

1 ▲ を押す。

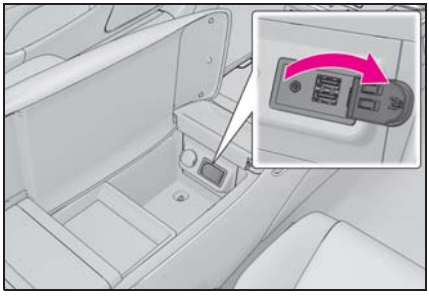
注意

●ディスクを挿入するときは、2 枚以上重ねて挿入しないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となります。



●挿入口にディスク以外のものを入れないでください。故障の原因となります。

AUX/USB 端子について



● ポータブルオーディオなどの機器を接続して、車両のスピーカーで聞くことができます。

知識

- ミニプラグケーブル（3.5Φ）、USB 端子が接続できます。
- USBハブを使用して、USBメモリーを接続した場合、USB メモリーが認識されないことがあります。
- ミニプラグケーブル、USB 端子、接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。
- AUX 端子は音声入力のみに対応しています。
- ミニプラグケーブルは抵抗が入っていないステレオタイプのものを使用してください。
- 接続する機器の電源は、機器に付属のバッテリーなどを使用してください。車に装着されているアクセサリーソケットを使用すると、雑音が出ることがあります。（アクセサリーソケットについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

注意

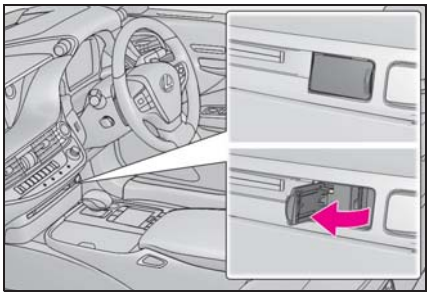
- 接続する機器の形状によっては、周辺部品と干渉し、本体もしくは接続機器が破損する可能性がありますのでご注意ください。

SD メモリーカード（microSD カード）を出し入れする

本機で使用できるSDメモリーカードについては、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→P.301）をご覧ください。

■ SD メモリーカードを入れる

1 カバーを開ける。



2 挿入口に SD メモリーカードを挿入する。

- SD メモリーカードのロゴ面を上にして、挿入口にまっすぐ奥まで挿入します。

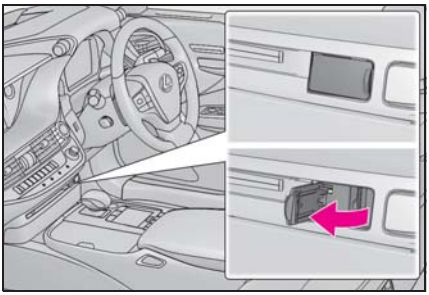
3 カバーを閉める。

注意

- SD メモリーカードは、“カチッ” と音がするまで差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので、無理に力を加えないでください。
- SD メモリーカードは小さな部品のため、飛び出しや落下による紛失にご注意ください。
- 挿入口にSDメモリーカード以外のものを入れないでください。故障の原因となります。

■ SD メモリーカードを出す

1 カバーを開ける。



2 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。

3 “情報”を選択。

4 サブメニューの“メディアの取り外し”を選択。

5 “AUDIO SD”を選択。

6 メッセージが表示された後、SD メモリーカードを押すと、カードが押し出される。

7 カバーを閉める。

知識

●SD メモリーカードを取り出すときは、手順にそって操作を行ってください。パソコンでの読み込みができなくなる恐れがあります。

警告

●SD メモリーカードは、お子さまに触れられないようにご注意下さい。誤って飲み込むと、のどなどにつまらせ重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

注意

●安全上の配慮から車を完全に停止したときのみ、SD メモリーカードの挿入・取り出しを行うことができます。

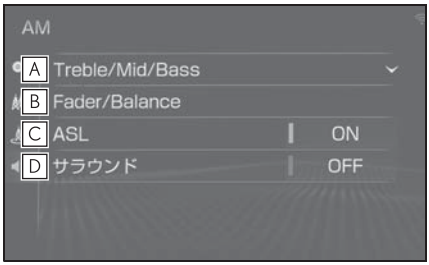
●SD メモリーカードは小さな部品のため、飛び出しや落下による紛失にご注意ください。

音の設定をする

1 各オーディオ操作画面を表示する。(→P.184)

2 サブメニューの“音設定”を選択。

3 各項目を設定する。



A Treble（高音）、Mid（中音）、Bass（低音）の調整をします。

B 前後左右の音量バランスを調整します。

C “ON”に設定すると、走行時の車速に応じて音質や音量を自動的に補正します。

・OFF のときは補正されません。

・ASL は Automatic Sound Levelizer の

略です。

D “ON” に設定すると、臨場感のある音質に切り替えます。

知識

● Treble/Mid/Bass スイッチについて
・各オーディオソースごとに独立して調整することができます。

画面モードについて

DVD などの映像は、通常の映像とワイド映像を切り替えることができます。

画面モードを切り替える

■ **設定・編集画面から切り替える**

1 リモートタッチの “MENU” ボタンを押す
2 “ 設定・編集 ” を選択
3 サブメニューの “ オーディオ ” を選択
4 “ 共通 ” を選択
5 “Wide” を選択

● オーディオソースが DVD、Blu-ray、SD ビデオ、USB ビデオ、デジタルテレビ、Miracast™以外の時は “Wide” は表示されません。

6 希望のモードを選択

表示について

■ **標準画モード（Normal/ ノーマル）**

● 入力映像をよこ 4：たて 3（デジタルテレビは、よこ 16：たて 9）の割合で表示します。

■ **ワイド 1 画モード（Wide1/Wide/フル）**

● メイン画面いっぱいに表示します。

■ **ワイド2画モード（Wide2/ズーム）**

● 入力映像を上下左右方向に均等に拡大して表示します。

● お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利

目的または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

画質調整について

DVD などの映像は、コントラストや明るさなどを調整することができます。

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す
2 “設定・編集” を選択
3 サブメニューの “オーディオ” を選択
4 “共通” を選択
5 “画質調整” を選択

● オーディオソースが DVD、Blu-ray、SD ビデオ、USB ビデオ、デジタルテレビ、Miracast™以外の時は “画質調整” は表示されません。

調整項目について

● 画質調整では、次の項目を調整することができます。

・コントラスト
“強”：強くなる
“弱”：弱くなる

・明るさ
“明”：明るくする
“暗”：暗くする

・色合い※
“緑”：緑色を強くする
“赤”：赤色を強くする

・色の濃さ※
“濃”：色を濃くする
“淡”：色を淡くする

※ 色合い、色の濃さは DVD および Blu-ray の時に調整できます。

ブレーキホールド作動中の動画視聴

パーキングブレーキがかかっていなくても、ブレーキホールドが作動していれば動画を視聴できるように設定できます。
ブレーキホールド作動中の動画視聴設定については、「オーディオの設定をする」（→P.236）をご覧ください。

音声で操作をする

音声操作システムを使ってオーディオを操作できます。

音声操作システムについては、「音声操作システム」（→P.340）をご覧ください。

ラジオを操作する

ラジオ操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で“AM”または“FM”を選択します。

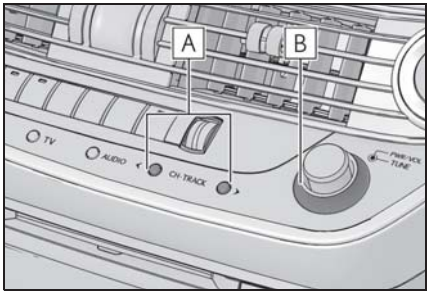
ラジオを聴く

■ 操作画面

A “ピー”と音がするまで選択すると、自動で受信可能な周波数をプリセットスイッチに記憶します。再度選択すると、解除されます。

B 記憶されている放送局を受信します。
マニュアルプリセット画面のときに、記憶したい周波数に切り替え、“ピー”と音がするまで選択すると、その周波数を記憶します。

■ オーディオコントロールスイッチ



A プリセットスイッチに記憶されている放送局が切り替わります。
“ピッ”と音がするまで押すと、受信感度が良く、現在受信している周波数に一番近い周波数を自動で選択します。再度スイッチを押すと、止まります。

B 回すと周波数が切り替わります。

知識

●本機はワイド FM（→P.193）に対応しているため、FM の操作画面に AM の放送局が表示されることがあります。

交通情報を聞く

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。
2 “オーディオ”を選択。
3 サブメニューの“オーディオ選択”を選択。
4 “交通情報”を選択。

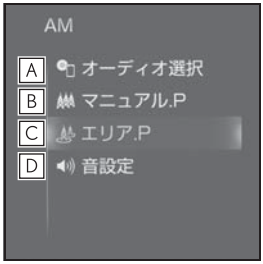
知識

●新車時には 1620kHz にセットしてあります。

●AM 放送の周波数を選択してから、“交通情報”スイッチを“ピッ”と音がするまで選択すると、その周波数が記憶されます。

●交通情報スイッチを押して、ラジオを受信しているときは、“TUNE” スイッチ、“CH・TRACK” スイッチを操作しても、周波数は切り替わりません。

サブメニューの操作をする



A オーディオソース選択画面を表示します。(→P.185)

B マニュアルで記憶している放送局を表示します。

C ナビゲーションがエリアごとに記憶している放送局を表示します。(GPS の自車位置情報により、今いる地域で放送されている放送局の局名と周波数がプリセットスイッチに表示されます。)

D 音設定画面を表示します。(→P.189)

知識

●走行中、受信状態は刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難なことがあります。

●放送を受信できても、放送局名が表示されないことがあります。

●AUTO.P スイッチについて
・エリア .P 画面では、“AUTO.P” スイッチは操作できません。
・AM 放送の場合は 6 局まで、FM 放送の場合は 12 局まで記憶します。受信可能な放送局数が AM 放送は 6 局、FM 放送は 12 局未満の場合、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。
・地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感度が悪い場合、自動で記憶できないことがあります。
・同じ放送局からの受信でも、“TUNE” スイッチまたは “CH・TRACK” スイッチで選択し、記憶させた周波数と AUTO.Pスイッチで記憶させた周波数は一致しないことがあります。
・AUTO.Pスイッチによる周波数の記憶操作を同じ場所で繰り返しても、受信感度の状態によっては、操作ごとに記憶される周波数が異なることがあります。
・受信状況によっては、同一放送局が複数プリセットされる場合があります。その場合、受信状態の良い放送局を選択してください。

●エリア .P 画面について
・プリセットスイッチを選択し続けても、周波数を記憶させることはできません。
・AM 放送の場合、昼画表示（ライト消灯時）と夜画表示（ライト点灯時）で、表示される周波数・放送局名が異なることがあります。

●CH・TRACK スイッチについて
・地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感度が悪い場合、自動で選局できないことがあります。

ワイド FM（FM 補完放送）について

ワイド FM とは、AM 放送の難聴解消や災害時の放送継続のために、FM の周波数を使用して AM の番組を放送することです。

周波数帯は従来アナログ TV で使用されていた V-Low 帯域の一部（90.1MHz ～ 95.0MHz）を使用し

ています。

2014年12月からサービスが開始されていて、FM補完中継局は全国で拡大中です。ワイドFMの開局状況については、各ラジオ局のホームページなどでご確認ください。

知識

●ワイドFMの電波状況について

・従来のFM放送局とは、受信状態が異なる場合があります。

CD を操作する

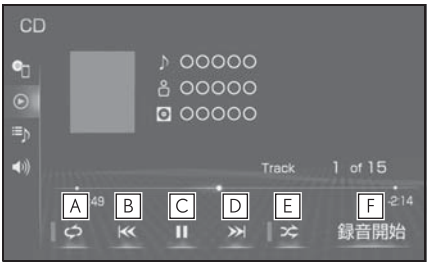
CD 操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で “CD” を選択します。

本機で使用できるディスクや MP3/WMA/AAC 音楽データについては、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→P.301）をご覧ください。

CD を再生する

■ **操作画面**

▶ 音楽 CD 再生時



A 選択するたびに、再生中の曲をリピート再生リピート解除が切り替わります。

B ファイル／トラックが切り替わります。

選択し続けると、早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

C 再生を一時停止します。再度選択すると、再生します。

D ファイル／トラックが切り替わります。

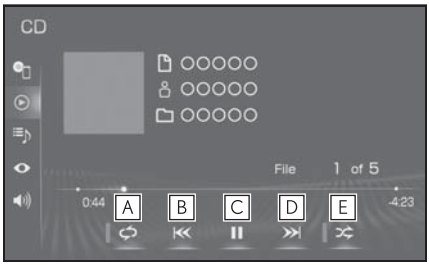
選択し続けると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

E 選択するたびに、ランダム再生ランダム解除が切り替わります。

F SD メモリーカードへの録音を開始します。（→P.205）

録音済みの CD を再生した場合、画面右上に “ 録音済 ” が表示されます。

▶ MP3/WMA/AAC ディスク再生時



A 選択するたびに、再生中の曲をリピート再生リピート解除が切り替わります。

B ファイル／トラックが切り替わります。

選択し続けると、早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

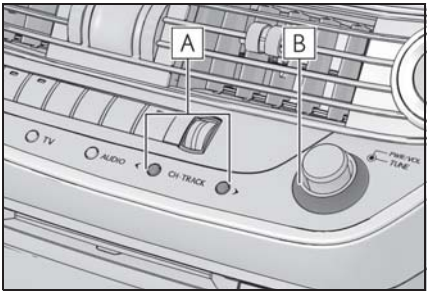
C 再生を一時停止します。再度選択すると、再生します。

D ファイル／トラックが切り替わります。

選択し続けると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

E 選択するたびに、フォルダ内でランダム再生→全フォルダからランダム再生→ランダム解除の順に切り替わります。

■ オーディオコントロールスイッチ



A ファイル／トラックが切り替わります。

音楽 CD 再生時に押し続けると、早送り／早戻しをします。MP3/WMA/AAC ディスク再生時に押し続けると、フォルダが切り替わります。

B ファイル／トラックが切り替わります。MP3/WMA/AAC ディスクで選曲（フォルダ）リスト画面を表示しているときに回すと、フォルダが切り替わります。

知識

●再生しているCDにアーティスト名などの情報が収録されていなくても、Gracenote メディアデータベースに該当する情報がある場合は表示されます。

■ MP3/WMA/AAC の再生について

MP3/WMA/AAC ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初の MP3/WMA/AAC ファイルを再生します。

ディスク内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMA/AAC ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

音楽データとMP3、WMAまたはAAC形式のデータが混在しているディスクは、音楽データのみを再生します。

知識

●CD-R、DVD-R、DVD-RW、シースルーディスクはディスクの特性により読み取れない場合があります。

●MP3/WMA/AAC は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズの発生、また再生できない場合もあります。

●ディスクにMP3/WMA/AAC以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。

注意

●MP3/WMA/AAC 以外のファイルに“.mp3”/“.wma”/“.m4a” の拡張子をつけると、MP3/WMA/AAC ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA/AAC 以外のファイルに“.mp3”/“.wma”/“.m4a” の拡張子をつけないでください。

サブメニューの操作をする

▶ 音楽 CD

A オーディオソース選択画面を表示します。(→P.185)

B 再生中の画面に戻ります。

C トラックリストを表示します。

・トラックを選択すると、再生します。

D 音設定画面を表示します。(→P.189)

▶ MP3/WMA/AAC ディスク

A オーディオソース選択画面を表示します。(→P.185)

B 再生中の画面に戻ります。

C ファイルリストを表示します。

・ファイルを選択すると、再生します。

・ を選択すると、ソフトウェアキーボードを使って曲を検索できます。(→P.31)

D フォルダリストを表示します。

・フォルダを選択すると、ファイルリストを表示します。ファイルを選択すると、再生します。

・ を選択すると、ソフトウェアキーボードを使って曲を検索できます。(→P.31)

E 音設定画面を表示します。(→P.189)

BD/DVD を操作する

BD/DVD 操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で“BD” または “DVD” を選択します。

以下の映像を再生することができます。

- DVD ビデオ(ビデオフォーマットで記録した DVD-R/RW 含む)
- DVD-VR(ビデオレコーディングフォーマットで記録した DVD-R/RW)
- BD ビデオ(BDMV フォーマットで記録された BD-ROM)
- 録画した Blu-ray Disc(BDAV フォーマットで記録した BD-R/RE、AVCREC フォーマットで記録した DVD-R/ RW)
- AVCHD ビデオ(録画機器を使用し AVCHD フォーマットで記録した DVD-R/RW)

詳しくは、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア/データについて」(→P.301)をご覧ください。

知識

●ブレーキホールド作動中の動画視聴設定については、「オーディオ設定画面について」(→P.236)をご覧ください。

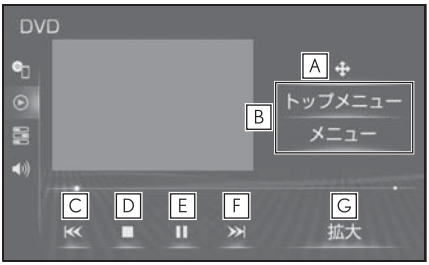
警告

●安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトポジションをPにいれたときのみ映像をご覧になることができます。(走行中は音声だけになります。)

BD/DVD を再生する

■ 操作画面

▶ DVD ビデオ再生時



A メニュー操作画面を表示します。

B ディスク特有のメニュー項目を操作できます。(→P.200)

C 選択し続けると、映像を早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

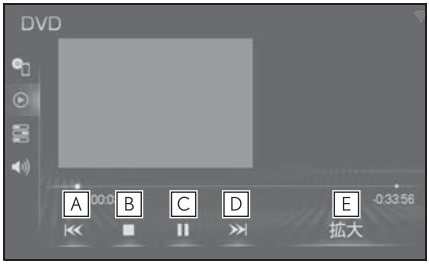
D 映像の再生を停止します。再度選択すると、再生します。

E 映像の再生を一時停止します。再度選択すると、停止した位置から再生します。

F 選択し続けると、映像を早送りします。手を離すと、その位置から再生します。
一時停止中に選択し続けると、スロー再生します。

G 拡大画面に切り替わります。

▶ DVD-VR 再生時



A 選択し続けると、映像を早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

B 映像の再生を停止します。再度選択すると、再生します。

C 映像の再生を一時停止します。再度選択すると、停止した位置から再生します。

D 選択し続けると、映像を早送りします。手を離すと、その位置から再生します。
一時停止中に選択し続けると、スロー再生します。

E 拡大画面に切り替わります。

▶ BD ビデオ再生時

A メニュー操作画面を表示します。

B ディスク特有のメニュー項目を操作できます。(→P.200)

C 本編を再生しながらメニュー画面を表示することができます。

D 選択し続けると、映像を早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

E 映像の再生を停止します。再度選択すると、再生します。

F 映像の再生を一時停止します。再度選択すると、停止した位置から再生します。

G 選択し続けると、映像を早送りします。手を離すと、その位置から再生します。
一時停止中に選択し続けると、スロー再生します。

H 拡大画面に切り替わります。

▶ 録画した Blu-ray Disc 再生時

A 選択し続けると、映像を早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

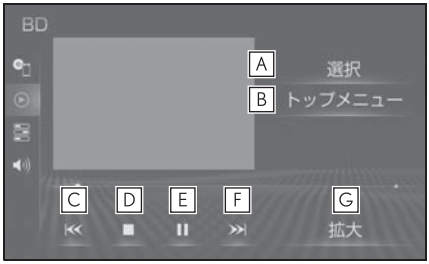
B 映像の再生を停止します。再度選択すると、再生します。

C 映像の再生を一時停止します。再度選択すると、停止した位置から再生します。

D 選択し続けると、映像を早送りします。手を離すと、その位置から再生します。
一時停止中に選択し続けると、スロー再生します。

E 拡大画面に切り替わります。

▶ AVCHD ビデオ再生時



A メニュー操作画面を表示します。

B ディスク特有のメニュー項目を操作できます。(→P.200)

C 選択し続けると、映像を早戻しします。手を離すと、その位置から再生します

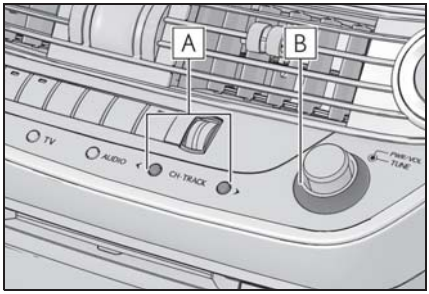
D 映像の再生を停止します。再度選択すると、再生します。

E 映像の再生を一時停止します。再度選択すると、停止した位置から再生します。

F 選択し続けると、映像を早送りします。手を離すと、その位置から再生します。
一時停止中に選択し続けると、スロー再生します。

G 拡大画面に切り替わります。

■ **オーディオコントロールスイッチ**



A DVD ビデオ／ BD ビデオ／

AVCREC 再生時に押すと、チャプターが切り替わります。
DVD-VR、BDAV 再生時に押すと、エントリーポイントが切り替わります。
DVD ビデオ／BD ビデオ再生時に押し続けると、映像を早送り／早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。
DVD-VR、BDAV および AVCREC 再生時に押し続けると、プログラムまたはプレイリストが切り替わります。

B DVD ビデオ／ BD ビデオ／AVCREC 再生時に回すと、チャプターが切り替わります。
DVD-VR、BDAV 再生時に回すと、エントリーポイントが切り替わります。

知識

● “CH・TRACK” スイッチについて
・ ディスクにより、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。

● トップメニュー／メニュースイッチ／ポップアップメニューについて
・ 表示されるメニュー項目や操作方法はディスクによって異なります。再生させているディスクに添付の取扱説明書をご覧ください。

● (一時停止) ／ (再生) スイッチについて
・ BD ビデオの中には、自動で一時停止になる機能（Still 機能）があります。この場合、(再生) スイッチを選択すると、通常再生することができます。

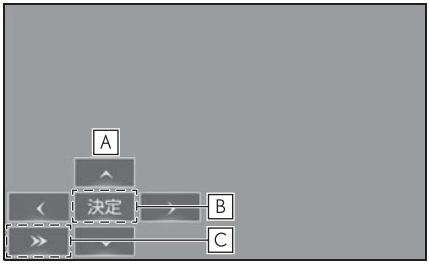
● (停止) ／ (再生) スイッチについて
・ ディスクにより、停止位置から再生する機能（レジューム再生）に対応していない場合があります。

メニュー項目を操作する

トップメニュー画面は DVD ビデオ、BDビデオおよびAVCHD再生時のみ、メニュー画面は DVD ビデオ再生時のみ、ポップアップメニューは BD ビデオ再生時のみ表示されます。

1 DVD 操作画面または Blu-ray 操作画面（→P.198）を表示する。

2 “ トップメニュー ”、“ メニュー ”、または “ ポップアップメニュー ” を選択。



A メニュー項目を選択します。

B 選んだ項目を実行します。

C 操作スイッチがメニューにかかって見づらいときに、操作スイッチを移動することができます。

● ディスクによっては、再生がはじまると、メニューが表示されます。

● メニュー画面を表示中に、操作スイッチが表示されていないときは、 ／ “ 選択 ” を選択。

● ディスクによっては、メニュー項目を直接選択できるものもあります。

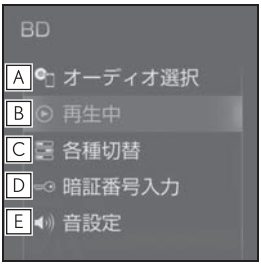
● BD ビデオの本編再生時、“ ポップアップメニュー ” を選択すると、

本編を再生しながらメニュー画面を表示することができます。

● BDビデオ再生時、“表示”を選択すると、“青”、“赤”、“黄”、“緑”が表示されます。

● BDビデオ再生時、“数字”を選択すると、番号スイッチ（“0”～“9”）が表示されます。

サブメニューの操作をする



A オーディオソース選択画面を表示します。（→P.185）

B 再生中の画面に戻ります。

C 各種切替画面を表示します。（→P.201）

D 暗証番号入力画面を表示します。※（→P.204）

E 音設定画面を表示します。（→P.189）

※ BDAV および AVCREC 再生時のみ

DVD/Blu-ray の設定をする

再生中の DVD/Blu-ray に関する設定は、各種切替画面から変更できます。

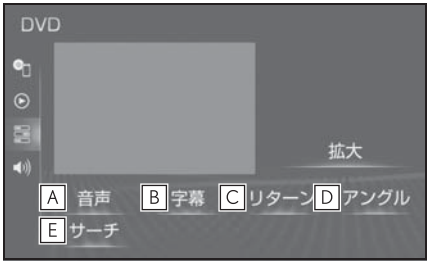
優先して聞きたい音声や、優先して表示したい字幕をあらかじめ設定しておきたい場合は、初期設定画面（→P.243）から行います。

1 DVD 操作画面または Blu-ray 操作画面（→P.198）を表示する。

2 サブメニューの“各種切替”を選択。

3 各項目を設定する。

▶ DVD ビデオ再生時



A 音声が複数収録されているディスクの場合、“音声”を選択するごとに、音声が切り替わります。

B 字幕が複数収録されているディスクの場合、“字幕”を選択すると、“字幕切替”と“字幕消し”が表示されます。

・“字幕切替”を選択するごとに、字幕言語が切り替わります。

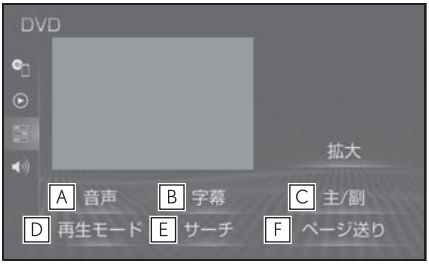
・“字幕消し”を選択すると、字幕が消えます。再度選択すると、表示されます。

C ディスクのあらかじめ決められた位置へ移動し、その位置から再生します。

D 複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、“アングル”を選択するごとに、アングルが切り替わります。複数のアングルが収録されているときは、（マルチアングルマーク）が表示されます。

E タイトル番号を入力し“完了”を選択すると、そのタイトル番号の映像を再生します。

▶ DVD-VR 再生時



A 音声が複数収録されているディスクの場合、“ 音声 ” を選択するごとに、音声が切り替わります。

B 字幕が複数収録されているディスクの場合、“ 字幕 ” を選択すると、“字幕切替” が表示されます。

“ 字幕切替 ” を選択するごとに、字幕言語が切り替わります。

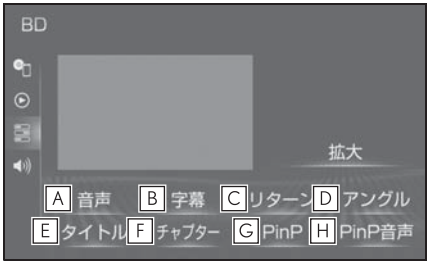
C 音声多重で収録されているディスクを再生中、“ 主／副 ” を選択するごとに、主音声 → 副音声 → 主／副音声→主音声の順に切り替わります。

D ディスク内にプレイリストやプログラムが作成されているときにプレイリストやプログラムを再生します。

E タイトル番号を入力し “ 完了 ” を選択すると、そのタイトル番号の映像を再生します。

F 静止画が収録されているディスクの場合、タッチするごとに静止画が切り替わります。

▶ BD ビデオ再生時



A 音声が複数収録されているディスクの場合、“ 音声 ” を選択するごとに、音声が切り替わります。

B 字幕が複数収録されているディスクの場合、“ 字幕 ” を選択すると、“ 字幕消し ”、“ 字幕スタイル ”、“ 字幕切替 ” が表示されます。

- “ 字幕切替 ” を選択するごとに、字幕言語が切り替わります。
- “ 字幕消し ” を選択すると、字幕が消えます。再度選択すると、表示されます。
- 複数の字幕スタイルがディスクに収録されている場合、“ 字幕スタイル ” を選択すると、字幕スタイルを切り替えることができます。

C ディスクのあらかじめ決められた位置へ移動し、その位置から再生します。

D 複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、“ アングル ” を選択するごとに、アングルが切り替わります。複数のアングルが収録されているときは、（マルチアングルマーク）が表示されます。

E タイトル番号を入力し “ 完了 ” を選択すると、そのタイトル番号の映像を再生します。

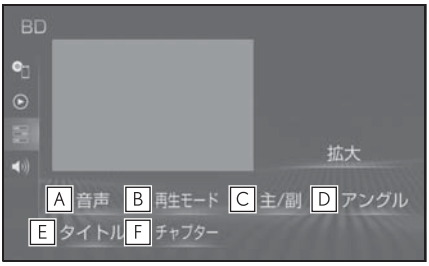
F チャプター番号を入力し “ 完了

” を選択すると、そのチャプター番号の映像を再生します。

G ピクチャーインピクチャー（子画面）が複数収録されているディスクを再生中 “PinP” を選択するごとに、映像の切り替えおよび消去をします。

H ピクチャーインピクチャー（子画面）が複数収録されているディスクを再生中、“PinP 音声 ” を選択するごとに、ピクチャーインピクチャーの音声の切り替えおよび消去をします。

▶ 録画した Blu-ray Disc 再生時



A 音声が複数収録されているディスクの場合、“ 音声 ” を選択するごとに、音声が切り替わります。

B ディスク内にプレイリストやプログラムが作成されているときに、プレイリストやプログラムを再生します。

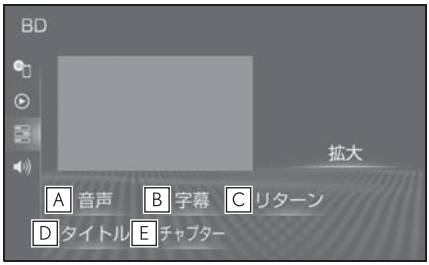
C 音声多重で収録されているディスクを再生中、“ 主／副 ” を選択するごとに、主音声 → 副音声 → 主／副音声→主音声の順に切り替わります。

D 複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、“ アングル ” を選択するごとに、アングルが切り替わります。複数のアングルが収録されているときは、(マルチアングルマーク）が表示されます。

E タイトル番号を入力し “ 完了 ” を選択すると、そのタイトル番号の映像を再生します。

F チャプター番号を入力し “ 完了 ” を選択すると、そのチャプター番号の映像を再生します。

▶ AVCHD ビデオ再生時



A 音声が複数収録されているディスクの場合、“ 音声 ” を選択するごとに、音声が切り替わります。

B 字幕が複数収録されているディスクの場合、“ 字幕 ” を選択すると、“字幕切替” が表示されます。

・“ 字幕切替 ” を選択するごとに、字幕言語が切り替わります。
・“ 字幕消し ” を選択すると、字幕が消えます。再度選択すると、表示されます。

C ディスクのあらかじめ決められた位置へ移動し、その位置から再生します。

D タイトル番号を入力し “ 完了 ” を選択すると、そのタイトル番号の映像を再生します。

E チャプター番号を入力し “ 完了 ” を選択すると、そのチャプター番号の映像を再生します。

知識

●ディスクにより、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。

●“字幕消し” および現在選択中の字幕は、DVD-VR 再生時には表示されません。

BD/DVD の操作について

知識

●画面のスイッチを選択したとき、画面に が表示されたときは、ディスクがその操作を禁止していることを示していますので、その操作を行うことはできません。

●ディスクを挿入する、またはディスクが挿入されているときにディスクモードにすると、ディスク読込み中の画面が表示され、その後再生をはじめます。

●ディスクに傷がついていたり、内部が結露しているときは、画面の一部が表示されなくなることがあります。

●ディスクによっては読込み中の画面の表示時間が長い場合があります。

●メニュー項目の画面など音声が収録されていない場面があります。そのような場面では、音声が出力されない状態が継続されますので、一度、映像を確認して、再生などの操作を行ってください。

●BD ビデオによっては、ローカルストレージにディスクの付加情報（レジューム情報や PinP 映像など）を保存して、再生時に利用することができます。本機は、ローカルストレージを内蔵し、この機能に対応しています。

警告

●DVD ビデオや Blu-ray ビデオでは、迫力のある効果音を得るために、通常の会話シーンの音量を小さくして録音されているものがあります。このようなディスクで、会話シーンのときに音量調整を行うと、効果音のシーンや DVDビデオ以外のモードにしたとき、音量が大きすぎることがありますので、注意してください。
音量が大きすぎると運転の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

再生中の操作について

Blu-ray Disc や DVD ではディスクのソフト制作者の意図により、再生状態が決められていることがあります。この Blu-ray プレーヤーでは、ソフト制作者が意図した内容にしたがって再生されるため、操作した通りに機能が働かないことがあります。必ず、再生させるディスクに添付の取扱説明書もあわせてご覧ください。

BD ビデオには 2 枚以上のセットになっているディスクにおいて、1 枚目を見終わってディスクを取り出した後も、次のディスクを入れるよう表示し続けるものがあります。このようなビデオは、ディスクを入れ替えるとすぐに続きを見ることができます。

■ 暗証番号入力画面が表示されたときは（DVD ビデオ、BDAV、AVCREC）

再生保護や視聴年齢制限が設定されているディスクは、挿入時や操作画面で “拡大”、“暗証番号入力” を選択したときに再生プロテクト解除画面が表示されます。

1 暗証番号を入力し、“完了”を選択。

● 間違えたときは、“修正”を選択。

SD/サウンドライブラリを操作する

SD 操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で“SD”を選択します。

本機で録音した曲の操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で“サウンドライブラリ”を選択します。

本機で使用できる SD メモリーカードや記録できるファイルについては、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→P.301）をご覧ください。

録音についての注意

● 本機の故障、誤作動または不具合により録音されなかった録音内容、および消失した録音データについては保証できません。

● お客様が録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

● 他の車で録音したデータは再生できません。

録音する

1 SD メモリーカードを挿入する。（→P.188）

2 録音したい CD を挿入する。

3 CD 操作画面を表示する。（→P.195）

4 “録音開始”を選択。

● 再生している CD の録音を開始します。

● 録音の設定を変更することができます。（→P.237）

■ **録音を中止する**

1 CD 操作画面を表示する。（→P.195）

2 “録音停止” を選択。

知識

●録音中は、本機の動作が遅くなることがあります。

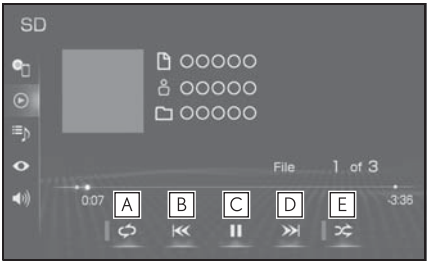
●本機で SD メモリーカードに音楽を録音すると、アーティスト名やジャンルなどの情報を自動で付与しグループ分けしますが、お気に入りの楽曲集（マイベスト）を作成することもできます。また、アルバム情報の編集などをすることができます。（→P.237）

音楽ファイルを再生する

本機で使用できる音楽ファイル（パソコンで記録した場合）については、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→P.301）をご覧ください。

■ **操作画面**

▶ パソコンで記録した音楽再生時（SD）



▶ 本機で録音した音楽再生時（サウンドライブラリ）

A 選択するたびに、再生中の曲をリピート再生→再生中のフォルダ／アルバムをリピート再生→リピート解除の順に切り替わります。

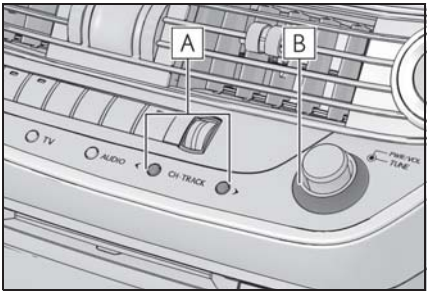
B ファイル／トラックが切り替わります。
選択し続けると、早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

C 再生を一時停止します。再度選択すると、再生します。

D ファイル／トラックが切り替わります。
選択し続けると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

E 選択するたびにフォルダ／アルバム内でランダム再生→全フォルダ／アルバムからランダム再生→ランダム解除の順に切り替わります。

■ オーディオコントロールスイッチ



A ファイル／トラックが切り替わります。再生時に押し続けると、アルバム／フォルダが切り替わります。

B ソングリスト画面を表示しているとき、回すと、ファイル／トラックが切り替わります。
選曲リスト画面を表示しているとき、回すと、フォルダ／アルバムが切り替わります。
ソング／選曲リスト画面以外を表示しているとき、回すと、ファイル／トラックが切り替わります。

知識

- 本機で録音したCDの情報がデータベースにない場合、アーティスト名には「NO DATA」、アルバムタイトルには録音した日時、トラックタイトルにはTRACK1、TRACK2… と表示されます。
- MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/OGG Vorbis ファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。(VBR の FAST UP/DOWN 動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。)
- SD メモリーカードに MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/OGG Vorbis 以外のファイルを保存した場合、再生するまでに時間がかかったり、MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/OGG Vorbis ファイルを表示できないことがあります。

注意

- ファイルの中身と一致しない拡張子をファイルにつけると、誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。間違った拡張子をつけないでください。

< 間違いの例 >

・ MP3 ではないファイルに、“.mp3” の拡張子をつける

< 間違いの例 >

・ WMA ではないファイルに、“.wma” の拡張子をつける

動画ファイルを再生する

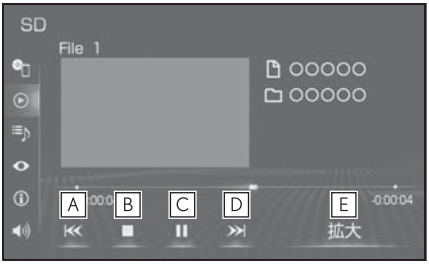
この項目では、家庭用レコーダーなどでSDメモリーカードに録画した動画ファイルの操作方法を説明しています。

本機で使用できるSDビデオ規格については、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→P.301）をご覧ください。

動画ファイルを再生するには、音楽ファイルの操作画面（→P.206）から切り替えます。

1 サブメニューの “選曲” を選択。
2 “ビデオ” を選択。
3 フォーマットを選択。
4 ファイルを選択。

■ 操作画面



A ファイル／番組が切り替わります。

選択し続けると、映像を早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

B 映像の再生を停止します。

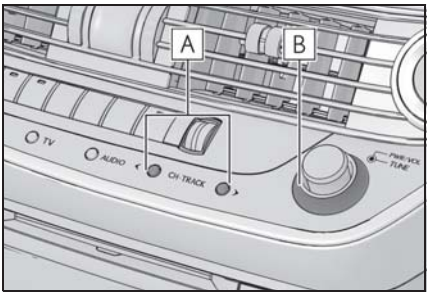
C 映像の再生を一時停止します。再度選択すると、再生します。

D ファイル／番組が切り替わります。

・選択し続けると、映像を早送りします。手を離すと、その位置から再生します。
・一時停止中は、選択し続けている間、スロー再生します。

E 拡大画面に切り替わります。

■ オーディオコントロールスイッチ



A ファイル／番組が切り替わります。チャプターが存在する場合は、チャプターが切り替わります。

B ファイル／番組リスト画面を表示しているとき、回すと、ファイル／番組が切り替わります。
ファイル／番組リスト画面を表示していないとき、回すと、ファイル／番組が切り替わり、チャプターが存在する場合は、チャプターが切り替わります。

知識

●ブレーキホールド作動中の動画視聴設定については、「オーディオ設定画面について」（→P.236）をご覧ください。

警告

●安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトポジションをPにいれたときのみ映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

サブメニューの操作をする

▶ パソコンで記録した音楽（SD）

A オーディオソース選択画面を表示します。（→P.185）

B 再生中の画面に戻ります。

C ソングリストを表示します。

・曲を選択すると、再生します。
・ を選択すると、ソフトウェアキーボードを使って曲を検索できます。（→P.31）

D アーティスト／アルバム／フォル

ダ／曲／ジャンル／作曲者ごとに分類して並び替えたリストから曲を選択します。“ビデオ”を選択すると、動画の再生ができます。（→P.207）

・曲はリストに表示されている順に再生されます。そのためリストの表示方法（“アーティスト”、“アルバム”、“フォルダ”、“曲”、“ジャンル”、“作曲者”）を変更すると再生順が変わります。

・を選択すると、ソフトウェアキーボードを使って曲を検索できます。（→P.31）

E 音設定画面を表示します。（→P.189）

▶ 本機で録音した音楽（サウンドライブラリ）

A オーディオソース選択画面を表示します。（→P.185）

B 再生中の画面に戻ります。

C ソングリストを表示します。

・曲を選択すると、再生します。

・を選択すると、ソフトウェアキーボードを使って曲を検索できます。（→P.31）

D 再生モードを指定して曲を選択します。

・を選択すると、ソフトウェアキーボードを使って曲を検索できます。（→P.31）

・“マイベスト”は、オリジナルの楽曲集が作成されていないときは選べません。（→P.238）

・トラックはリストに表示されている順に再生されます。そのためリストの表示方法（“アーティスト”、“録音日順”、“ジャンル”、“マイベスト”）を変更すると再生順が変わります。

E 音設定画面を表示します。（→P.189）

▶ CPRM 対応動画

A オーディオソース選択画面を表示します。（→P.185）

B 再生中の画面に戻ります。

C ソングリストを表示します。

ファイルを選択すると、再生します。

D ファイルフォーマット選択画面を表示します。

・フォーマットを選択すると、ファイル／番組リストが表示されます。

・ を選択すると、ソフトウェアキーボードを使ってファイル／番組を検索できます。（→P.31）

E タイトル／番組（動画ファイル）の情報を表示します。

F 各種切替画面を表示します。（→P.210）

G 音設定画面を表示します。（→P.189）

▶ CPRM 非対応動画

A オーディオソース選択画面を表示します。（→P.185）

B 再生中の画面に戻ります。

C ソングリストを表示します。

ファイルを選択すると、再生します。

D ファイルフォーマット選択画面を表示します。

・ フォーマットを選択すると、ファイルリストが表示されます。

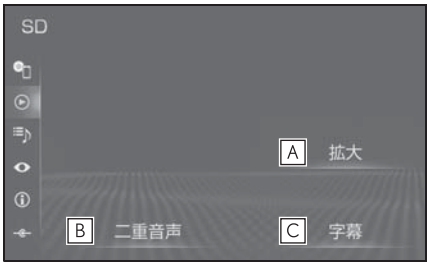
・ を選択すると、ソフトウェアキーボードを使ってファイルを検索できます。（→P.31）

E タイトル／動画ファイルの情報を表示します。

F 音設定画面を表示します。（→P.189）

各種切替画面について

再生中の動画ファイルに二重音声や字幕がある場合、切り替えることができます。



A 拡大画面に切り替わります。

B 音声が複数収録されているファイルの場合、“音声切替”を選択するごとに、音声が切り替わります。

C 字幕が複数収録されているファイルの場合、“字幕切替”を選択するごとに、字幕言語が切り替わります。

“字幕消し”を選択すると、字幕が消えます。再度選択すると、表示されます。

地上デジタルテレビを視聴する

デジタルTV操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で“TV”を選択します。

地上デジタルテレビの操作は、おもに操作画面とTV局リスト画面から行います。

目的に応じていずれかの画面を表示して操作します。

知識

●本機での地上デジタルテレビ放送の受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。
この関係の主な例を次に説明します。
・電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
・ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
・電波の特性上、建物や山などが障害物となり受信状態が悪くなることがあります。
・トンネル内にはいったり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
・一部の地域において、テレビやラジオなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。

●本機はハイビジョン放送の受信は可能ですが、表示は標準映像となります。また、双方向通信には対応していません。

●デジタルテレビの画面表示などは、製品の仕様変更などにより、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

●本機は、B-CASカードを使用せずに地上デジタル放送を視聴できる新RMP方式※を採用しており、B-CASカードを付属していません。

※新RMP方式とは、地上デジタル放送のコンテンツ権利保護専用方式です。詳しくは、下記サイトをご覧ください。
一般社団法人地上放送RMP管理センター
http://www.trmp.or.jp/

※放送局が新RMPに関する情報を更新した際は、更新情報を取得するまでの間（最大30秒）地上デジタル放送が視聴できない場合があります。

知識

●ブレーキホールド作動中の動画視聴する/しないを選択できます。（→P.236）

警告

●安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトポジションをPにいれたときのみ映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

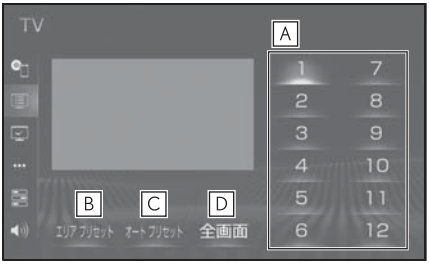
初回起動時について

■ 居住地域の設定について

データ放送で地域情報を受信するために、居住地域を設定する必要があります。居住地域の設定については「機能設定画面について」（→P.216）をご覧ください。

デジタル TV を視聴する

■ 操作画面



A 記憶されているチャンネル放送局を受信します。
記憶したいチャンネルを選択し、“ピー”と音がするまで選択すると、そのチャンネルを記憶します。

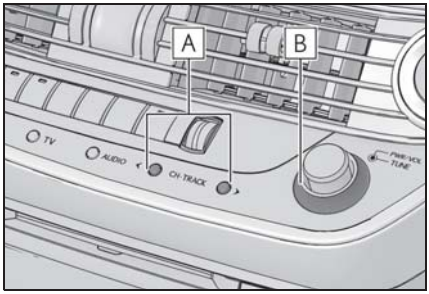
“エリアプリセット”スイッチ選択中は、チャンネルを記憶できません。

B ナビゲーションがエリアごとに記憶しているチャンネルを表示します。(GPS の自車位置情報により、今いる地域で放送されている放送局の局名とチャンネルがプリセットスイッチに表示されます。)再度選択すると、解除されます。

C “ピー”と音がするまで選択すると、自動で受信可能なチャンネルを、一時的にプリセットスイッチに記憶します。再度押すと、解除されます。

D 全画面に切り替わります。
全画面表示中は、画面を選択すると操作画面に切り替わります。

■ オーディオコントロールスイッチ



A プリセットスイッチに記憶されている順にチャンネルが切り替わります。
“ピー”と音がするまで押すと、受信感度が良く、現在受信している周波数に一番近いチャンネルを選択します。再度押すと、選択を停止します。

B 回すと、チャンネルが切り替わります。

知識

- プリセットスイッチについて
・すべてのプリセットスイッチにチャンネル番号が表示されていない場合、チャンネル設定が行われていません。初期スキャンを行ってください。(→P.216)
- ワンセグ放送のサービス番号は、611 ～ 728 に割り当てられています。
- ご覧になっているチャンネルがワンセグ放送をおこなっていない場合、ワンセグ放送に切り替えることができません。
- ワンセグ自動切替に設定されている場合、通常の地上デジタルテレビ放送が受信可能なときは、ワンセグ放送に切り替えても自動で通常の地上デジタルテレビ放送に戻ります。(→P.213)
- 地上デジタルテレビ放送では1つのチャンネル（放送局）で複数の番組（サービス）を同時に放送することができます。

違うチャンネルの番組に切り替えたい場合、チャンネルを選択した後、番組を切り替えてください。

●1 つのチャンネルで、同じ番組を放送している場合があります。

サブメニューの操作をする

A オーディオソース選択画面を表示します。(→P.185)

B 操作画面を表示します。

C TV 局リスト画面を表示します。(→P.213)

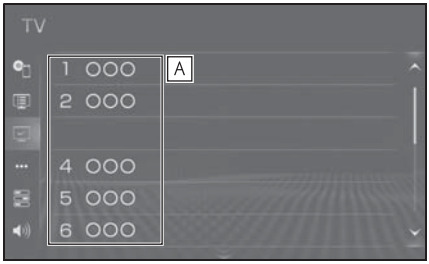
D 地上デジタルテレビの設定をします。(→P.213)

E 音や映像の設定を変更することができます。(→P.217)

F 音設定画面を表示します。(→P.189)

TV 局リスト画面について

1 サブメニューの “TV 局リスト” を選択。

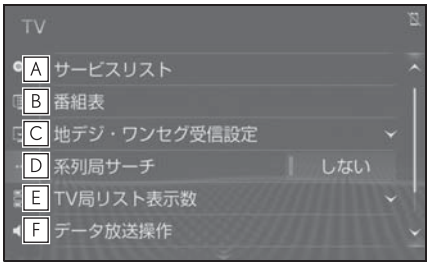


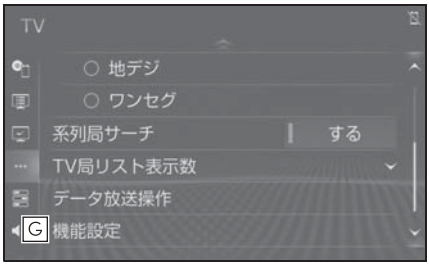
A 選択したチャンネルを受信します。長押しすると、受信中のチャンネルを記憶します。

“エリアプリセット” 選択中は、チャンネルを記憶できません。

メニュー画面について

1 サブメニューの “メニュー” を選択。





A 同じチャンネル内で、サービスが複数ある場合に切り替えることができます。

B 番組表を表示します。(→P.214)

C 地上デジタルテレビ放送／ワンセ

グ放送を切り替えます。

・“ワンセグ自動切替”を選択すると、地上デジタルテレビ放送が受信できなくなった場合、自動でワンセグ方法に切り替えます。地上デジタルテレビが受信可能になると、ワンセグ放送から自動で切り替わります。
・“地デジ”を選択すると、地上デジタルテレビ放送に固定します。
・“ワンセグ”を選択すると、ワンセグ放送に固定します。

D 走行中に、地上デジタルテレビ放送の受信状態が不安定になった場合、より受信感度が良い中継局や系列局を自動的にサーチして受信することができます。(→P.215)

E TV 局リスト画面での放送局リスト表示数を選択できます。

F データ放送操作スイッチを表示します。(→P.215)

G 機能設定画面を表示します。初期スキャンや居住地域の登録などができます。(→P.216)

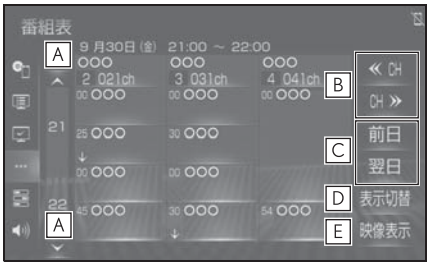
知識

●地デジ・ワンセグ受信設定スイッチについて
・ワンセグ放送を受信しているときは、映像の右下に「ワンセグ」と表示されます。
・放送が切り替わるとき、一時的に画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
・自動で切り替わった番組の映像や音声が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
・ワンセグ放送を実施していない放送局をご覧になっている場合、ワンセグ自動切替にしていても、ワンセグ放送に切り替わりません。

EPG（電子番組表）を見る

EPG とは放送局が提供する、画面上で見ることができるテレビ番組表です。画面上で番組をさがすことができます。

1 サブメニューの“メニュー”を選択。
2 “番組表”を選択。



A 前後の時間帯の番組情報に切り替えます。

B チャンネルを切り替えます。

C 別の日の番組情報に切り替えます。

D 別のサービスの番組情報に切り替えます。

選択するごとに、複数サービス →1 サービス → プライマリーサービスの順に表示が切り替わります。

・複数サービスは、1 チャンネルの全番組を表示します。
・サービスは、1 チャンネルの 1 番組を表示します。
・プライマリーサービスは、3 チャンネルを 1 番組ずつ表示します。

E 映像を表示します。

知識

●番組を選択すると、詳細情報を表示します。表示しきれていない番組がある場合はリストが表示されます。

●TV 番組表画面は現在から最大 7 日分表示することができます。

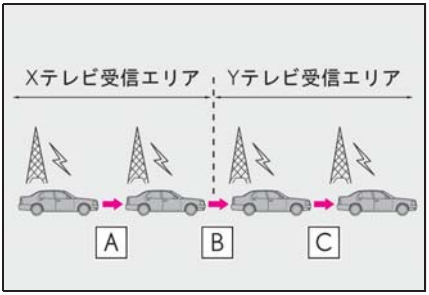
系列局サーチ

1 サブメニューの “メニュー” を選択。

2 “系列局サーチ” を選択。

● “する”：中継局、系列局を自動的にサーチして受信します。

● “しない”：中継局のみ自動的にサーチして受信します。



A 中継局サーチ

親局の受信エリアから外れても、中継局を自動でサーチし、切り替えます。

B 系列局サーチ

X テレビの受信エリアを外れても、隣接する系列局の Y テレビを自動でサーチし、切り替えます。

C 中継局サーチ

受信状態の良い親局や中継局を自動でサーチし、切り替えます。

知識

●系列局サーチスイッチについて

・同じ中継局／系列局を探し出し、受信するまでの約 10 秒間は受信できません。

・系列局を受信した場合、自動で切り替わった番組の映像や音声が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。

データ放送を操作する

データ放送とはデジタルテレビ映像の他に、図形や文字の情報を付加した放送です。受信するデータ放送により、番組の内容と関係ないニュースや天気、交通情報などの独立した情報や番組に連動した情報を見ることができます。

画面に表示される説明の順に操作すると、さまざまな情報を見ることができます。受信したデータ放送は色ボタン、カーソル、10 キー（テンキー）などで操作します。操作方法は受信したデータ放送により異なります。

1 サブメニューの “メニュー” を選択。

2 “データ放送操作” を選択。

3 “d” を選択。

● データ放送が表示されます。

● データ放送画面を解除するときは、再度 “d” を選択。

A スイッチの表示を消します。

B 色ボタンとカーソルでデータ放送を操作します。（→P.216）

C 10 キー（テンキー）で数字を入力し、データ放送を操作します。（→P.216）

D 全画面に切り替わります。

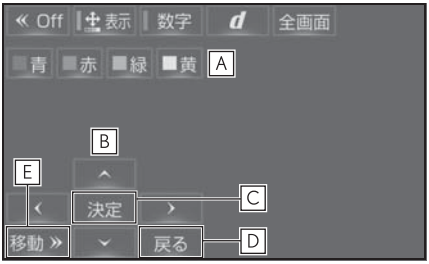
E データ放送操作画面を、ひとつ前に表示させていた画面に戻します。

知識

- 本機はワンセグ放送のデータ放送には対応していません。
- データ放送を受信可能な場合、デジタルテレビ操作画面に “d” が表示されます。
- データ放送の操作は、画面に表示される指示の順におこなってください。

■ 色ボタンとカーソルを操作する

1 サブメニューの “ メニュー ” を選択。
2 “ データ放送操作 ” を選択。
3 “ 表示 ” を選択。



A 色ボタン
B カーソル
C カーソルを操作して選択した項目を実行する。
D ひとつ前に表示させていた画面に戻します。
E 色ボタン・カーソルの表示位置を左下または右上に移動する。

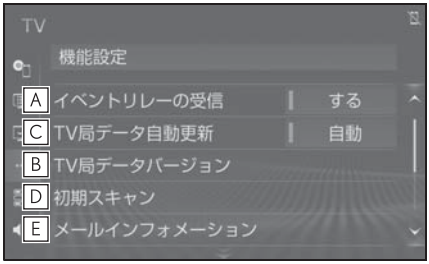
■ 10 キー（テンキー）で数字を入力する

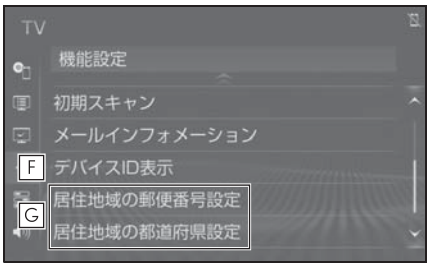
1 サブメニューの “ メニュー ” を選択。
2 “ データ放送操作 ” を選択。
3 “ 数字 ” を選択。

A 数字を入力する。
B 入力した数字を決定する。
C ひとつ前に表示させていた画面に戻します。
D 10 キーの表示位置を左下または右上に移動する。

機能設定画面について

1 サブメニューの “ メニュー ” を選択。
2 “ 機能設定 ” を選択。





A 視聴中の番組から、異なるイベント（番組）や臨時サービスに自動で切り替えする／しないを選択できます。

イベントリレーを受信すると、例えば、野球の延長放送を、視聴中の番組とは異なるサービス番号で放送するときに、自動で切り替えます。

B 本機の放送局データを、自動または手動で更新します。

手動で更新する場合は、“TV 局データバージョン” を選択します。

C 本機の TV 局データのバージョンを表示します。

・“TV 局データ更新 ” を選択すると、データが更新されます。
・中止するときは、“ 中止 ” を選択。

D プリセットスイッチにチャンネル番号が表示されていないときや、地域を移動したとき、現在地で受信可能なチャンネルを自動で設定します。

・設定が終了すると機能設定画面に戻ります。
・中止するときは、“ 中止 ” を選択。

E 放送局から受信したメールを確認できます。

・タイトル別または受信した日時でリストを表示できます。
・見たいメールを選択すると、メール詳細画面が表示されます。
・未読のメールがあるときは、スイッチ部分に が表示されます。

F デバイス ID を表示します。

G データ放送で地域情報を受信するために、居住地域を設定する必要があります。初めて起動したときや、引越したときは必ず設定してください。

設定方法は 2 種類あります。

・“ 居住地域の郵便番号設定 ” ：郵便番号を入力して設定します。
・“ 居住地域の都道府県設定 ” ：地方や県名などを選択して設定します。

知識

●イベントリレーの受信スイッチについて

・地域によっては、同じ番組を放送している放送局に切り替わらない場合があります。
・受信電波の弱い地域では放送局が切り替わらない場合があります。
・山を境に放送区域が変わる所では、トンネルを出ても放送局が切り替わらない場合があります。
・ご覧になっている放送局と移動先の放送局の受信状態が同じようなときは、頻繁に切り替わることがあります。

●メールインフォメーションスイッチについて

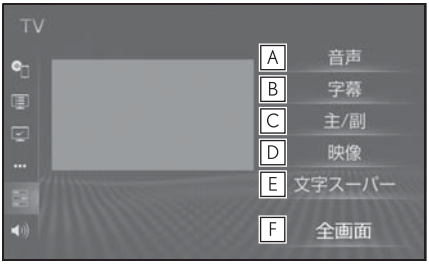
・受信したメールのタイトルは、受信メールの先頭から全角 18 文字（メール詳細画面では 14 文字）をタイトルとして表示します。
・メールの保存件数は最大 7 件です。7 件を超えたときは、一番古いメールが自動で削除されます。（未読メール含む）

●居住地域の設定スイッチについて

・都道府県名から設定するとき、東京都島部（伊豆・小笠原諸島）または鹿児島県島部（南西諸島の鹿児島県域）にお住いの場合は、“ 沖縄地方・その他 ” を選択してください。
・郵便番号から設定するとき、郵便番号は 7 桁で入力してください。

各種切替画面について

1 サブメニューの “ 各種切替 ” を選択。



A 地上デジタルテレビ放送では、複数の音声を提供している場合があります。
選択するごとに、音声が切り替わります。

B 地上デジタルテレビ放送では、複数の字幕を提供している場合があります。
選択するごとに、日本語 → 英語 →字幕なしの順に字幕が切り替わります。

C 選択するごとに、主音声 → 副音声 →主／副音声の順に切り替わります。

D 地上デジタルテレビ放送では、マルチビュー放送で複数の映像を提供する場合があります。
選択するごとに、映像が切り替わります。

E 地上デジタルテレビ放送では、放送と独立して文字スーパー（天気予報やニュースなどを字幕で放送するサービス）を行っています。
選択するごとに、日本語 → 英語 →表示なしの順に文字スーパーが切り替わります。

F 全画面を表示します。

・映像部分を選択して全画面を表示することもできます。

知識

●映像スイッチについて

・映像を切り替えると同時に、音声と字幕も切り替わることがあります。

●主／副スイッチについて

・副音声または主／副音声を選択している場合、受信状態によって主音声・副音声が頻繁に切り替わることがあります。

緊急警報放送（EWS）について

緊急警報放送（EWS:Emergency Warning System）は、緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせする放送です。緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があったときに放送されます。

■ 緊急警報放送を受信したときは

緊急警報放送を受信した場合、自動で放送内容が表示されます。放送が終了すると、自動的にもとの番組に戻ります。

こんなメッセージが表示されたとき

メッセージ	原因	処置
受信制御データが設定されていません しばらくお待ちください	新 RMP に関する情報が取得できていないため。	受信環境の良い場所で受信できるまでお待ちください。
このチャンネルは視聴できません ご覧のチャンネルのカスタマーセンターにお問い合わせください	新 RMP に関する情報が取得できていないため。	メッセージに表示された放送局にお問い合わせください。
この受信機ではご覧になることができません ご覧のチャンネルのカスタマーセンターにお問い合わせください	放送波が RMP ではない形式になっているため。	メッセージに表示された放送局にお問い合わせください。
放送を受信できません	地上デジタル放送の受信エリア外にいるため。	地上デジタル放送を受信できるエリアに移動してください。
データを受信できませんでした	データ放送を正常に受信できなかったため。	もう一度、操作し直してください。
データを表示できませんでした	本機で対応していないデータを受信したため。	故障ではありません。

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作の違いで故障と間違えることがありますので、次の表にもとづき、まず確認してください。

処置をしても直らないときは、レクサス販売店で点検を受けてください。

症状	考えられること	処置
地上デジタル放送が受信できない。	地上デジタル放送の受信エリア外で使用していませんか。	地上デジタル放送を受信できるエリアに移動してください。
映像は出るが、音が出ない。	音量が小さくなっていませんか。	音量を大きくしてください。 (→P.184)

<table>
<tr><th>症状</th><th>考えられること</th><th>処置</th></tr>
<tr><td>映像が止まって、音が出ない。</td><td rowspan="2">地上デジタル放送の受信状態が良くない。</td><td rowspan="2">受信エリア内でも環境により受信できない場合があります。（→P.211）
受信できる場所に移動してください。</td></tr>
<tr><td>画面上部のチャンネル番号の表示が 13 ～ 52 のままで、プリセットスイッチにチャンネル番号が表示されない。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">黒い画面が表示され、音が出ない。
地上デジタル放送が受信できない。</td><td>チャンネルの設定がされていない。</td><td rowspan="2">チャンネル設定を行ってください。
●オートプリセット／エリアプリセット（→P.212）
●初期スキャン（→P.216）</td></tr>
<tr><td>チャンネル（放送局）が増えたり、他のエリアに移動して受信環境が変わったため。</td></tr>
</table>

USB メモリーを操作する

USB 端子（→P.187）に接続したUSB メモリー内の音楽ファイルや動画ファイルを再生することができます。

USB 操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で “USB”（機器名称）を選択します。

USB を接続すると、オーディオソース画面には、その機器名称のスイッチが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

本機で使用できるUSBメモリーやUSB メモリーに記録できる動画ファイルについては、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→P.301）をご覧ください。

知識

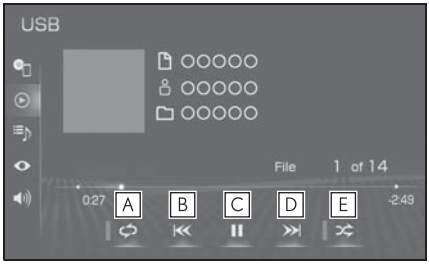
●本機で対応していないフォーマットのファイルを読み込んだ場合、動作に影響がでることがあります。

警告

●安全のため、運転者は運転中にUSBメモリーを操作しないでください。

音楽ファイルを再生する

■ 操作画面



A 選択するたびに、再生中の曲をリピート再生→再生中のフォルダ／アルバムをリピート再生→リピート解除の順に切り替わります。

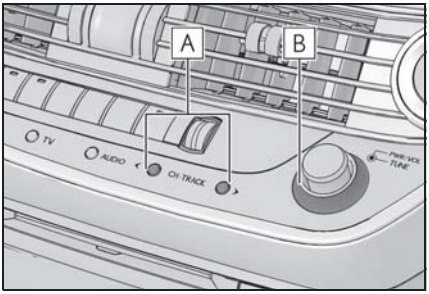
B ファイルが切り替わります。
選択し続けると、早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

C 再生を一時停止します。再度選択すると、再生します。

D ファイルが切り替わります。
選択し続けると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

E 選択するたびにフォルダ／アルバム内でランダム再生→全フォルダ／アルバムからランダム再生→ランダム解除の順に切り替わります。

■ オーディオコントロールスイッチ



A ファイル／トラックが切り替わります。
押し続けると、フォルダ／アルバムが切り替わります。

B 回すと、ファイル／トラックが切り替わります。
ソングリスト／選曲リスト画面を表示しているとき、回すと、リストが切り替わります。

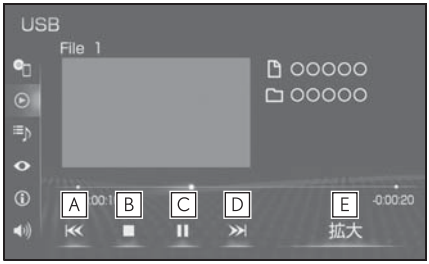
動画ファイルを再生する

本機で使用できるUSBビデオ規格については、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→P.301）をご覧ください。

動画ファイルを再生するには、音楽ファイルの操作画面（→P.221）から切り替えます。

1 サブメニューの“選曲”を選択。
2 “ビデオ”を選択。
3 フォルダを選択。
4 ファイルを選択。

■ 操作画面



A ファイルが切り替わります。
選択し続けると、映像を早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

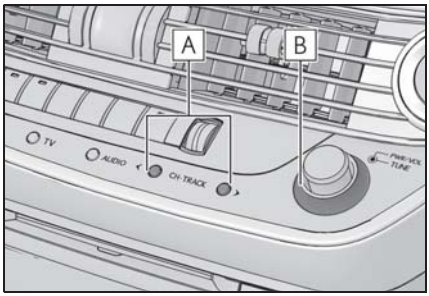
B 映像の再生を停止します。

C 映像の再生を一時停止します。再度選択すると、再生します。

D ファイルが切り替わります。
・選択し続けると、映像を早送りします。手を離すと、その位置から再生します。
・一時停止中は、選択し続けている間、スロー再生します。

E 拡大画面に切り替わります。

■ オーディオコントロールスイッチ



A ファイルが切り替わります。

B 回すと、ファイルが切り替わります。
ソングリスト／選曲リスト画面を表示しているとき、回すと、ファイル／フォルダが切り替わります。

知識

●ブレーキホールド作動中の動画視聴できる / できないを選択できます。
(→P.236)

警告

●安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトポジションをPにいれたときのみ映像をご覧になることができます。(走行中は音声だけになります。)

■ MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/OGG Vorbis の再生について

MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/OGG Vorbis ファイルが収録されている USB メモリーを接続すると、最初に USB メモリー内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初の MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/OGG Vorbis ファイルを再生します。

USB メモリー内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/OGG Vorbis ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

知識

●MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/OGG Vorbis は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズの発生、また再生できない場合もあります。

注意

●ファイルの中身と一致しない拡張子をファイルにつけると、誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。間違った拡張子をつけないでください。

< 間違いの例 >

・ MP3 ではないファイルに、“.mp3”の拡張子をつける

< 間違いの例 >

・ WMA ではないファイルに、“.wma”の拡張子をつける

サブメニューの操作をする

▶ 音楽ファイル

A オーディオソース選択画面を表示します。(→P.185)

B 再生中の画面に戻ります。

C ソングリストを表示します。

・ 曲を選択すると、再生します。

・ を選択すると、ソフトウェアキーボードを使って曲を検索できます。(→P.31)

D 再生モードを指定して曲を選択します。
アーティスト／アルバム／フォルダ／曲／ジャンル／作曲者ごとに分類して並び替えたリストから曲

を選択します。“ビデオ”を選択すると、動画の再生ができます。（→P.222）

・曲はリストに表示されている順に再生されます。そのためリストの表示方法（“アーティスト”、“アルバム”、“フォルダ”、“曲”、“ジャンル”、“作曲者”）を変更すると再生順が変わります。

・を選択すると、ソフトウェアキーボードを使って曲を検索できます。（→P.31）

E 音設定画面を表示します。（→P.189）

▶ 動画ファイル

A オーディオソース選択画面を表示します。（→P.185）

B 再生中の画面に戻ります。

C ソングリストを表示します。

・ファイルを選択すると、再生します。

・を選択すると、ソフトウェアキーボードを使ってファイルを検索できます。（→P.31）

D 再生モードを指定してファイルを選択します。

・“ビデオ”以外のモードを選択すると、音楽を再生します。

・を選択すると、ソフトウェアキーボードを使ってファイルを検索できます。（→P.31）

E タイトル（動画ファイル）の情報を表示します。

F 音設定画面を表示します。（→P.189）

iPod を操作する

USB 端子（→P.187）に接続した iPod の音楽ファイルを再生することができます。

iPod 操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で “iPod”（機器名称）を選択します。

iPod を接続すると、オーディオソース画面には、その機器名称のスイッチが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

本機で使用できる iPod については、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→P.301）をご覧ください。

知識

- iPodモード中にiPod端子を抜いたり、接続する機器を抜き差ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- iPod が接続されている状態で、他モードより iPod モードに切り替えたとき、前回、最後に再生していた曲から再生されます。

警告

- 安全のため、運転者は運転中にiPodを操作しないでください。

注意

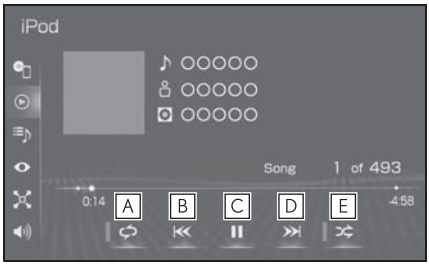
- iPodを車室内放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- iPod が接続されているときに、iPod の上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因になります。

注意

- iPod 端末の差込口に iPod 端末以外のものを入れないでください。故障の原因となります。

音楽ファイルを再生する

■ 操作画面



A リピート再生をします。
選択するたびに、モードが切り替わります。

・iPhone 5 以降の機種：
再生中のトラックをリピート再生 → アルバム内の全トラックをリピート再生 → リピート解除が切り替わります。

・iPhone 4S 以前の機種
再生中のトラックをリピート再生 → リピート解除が切り替わります。

・シャッフル再生時は、再生中のトラックをリピート再生 → リピート解除が切り替わります。

B 曲が切り替わります。
選択し続けると、早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

C 再生を一時停止します。再度選択すると、再生します。

D 曲が切り替わります。
選択し続けると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

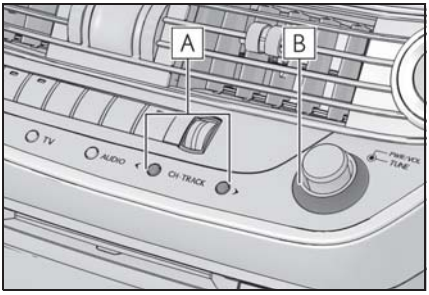
E 選択するたびに、アルバム内で

シャッフル再生→全アルバムからシャッフル再生→シャッフル解除の順に切り替わります。

知識

●iPhone 5 以降の機種の場合、リピート/シャッフルの設定がどの順番で切り替わるかは機種によって異なります。

■ オーディオコントロールスイッチ



A 曲が切り替わります。
再生時に押し続けると、早送り／早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

B 回すと、曲が切り替わります。
選曲リスト画面を表示しているとき、回すと、リストが切り替わります。

知識

●カバーアートについて
・接続する iPod の世代や機種によって、画像が粗くなることがあります。

●接続機器によっては、リストスクロールの表示が遅くなる場合があります。

●iPhone 5 以降の機種と iPhone 4S 以前の機種で動作が異なることがあります。

サブメニューの操作をする

A オーディオソース選択画面を表示します。（→P.185）

B 再生中の画面に戻ります。

C ソングリストを表示します。
・曲を選択すると、再生します。
・ を選択すると、ソフトウェアキーボードを使って曲を検索できます。（→P.31）

D 再生モードを指定して曲を選択します。
プレイリスト／アーティスト／アルバム／曲／ Podcasts ／オーディオブック／ジャンル／作曲者ごとに分類して並び替えたリストから曲を選択します。
・ファイルはリストに表示されている順に再生されます。そのためリストのプレイモード（“プレイリスト”、“アーティスト”、“アルバム”、“曲”、“Podcasts”、“オーディオブック”、“ジャンル”、“作曲者”）を変更すると再生順が変わります。
・ を選択すると、ソフトウェアキーボードを使って曲を検索できます。（→P.31）

E カバーアートを拡大して表示します。

F 音設定画面を表示します。

（→P.189）

Bluetooth オーディオを操作する

動作確認済の Bluetooth ポータブルオーディオプレーヤー※（以下「ポータブル機」）を本機に接続することで、ポータブル機を直接操作することなく使用できます。

Bluetooth 操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で“Bluetooth” を選択します。

本システムに接続するポータブル機が対応していなければならない仕様については、「Bluetooth について」（→P.322）をご覧ください。ただし、ポータブル機の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 携帯電話のオーディオプレーヤーを含む。
Bluetooth オーディオ対応のアダプターについては、動作確認を実施していません。
本機で動作確認済みの携帯電話の機種については、レクサス販売店または http://lexus.jp/ でご確認ください。

Bluetooth オーディオについて

知識

- 他の無線機器と同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth 接続により、ポータブル機の電池が早く消耗します。
- ポータブル機で Miracast ™（→P.231）

の接続をしているときは、Bluetooth オーディオの音が出ないことがあります。その場合は、Miracast ™を切断するとBluetoothオーディオの音がでることがあります。

●本機の Wi-Fi® 機能を利用する設定になっているときは、Bluetooth オーディオの音がとぎれる場合があります。このときは Wi-Fi® 機能を利用しない設定にすると快適にご利用できます。

●Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG,inc が所有する登録商標であり、「パナソニック株式会社」はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

警告

●安全のため、運転者は運転中にポータブル機本体の操作をしないでください。

注意

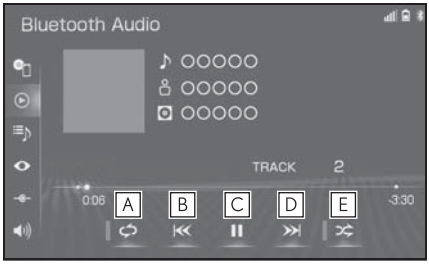
●ポータブル機は車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

●ポータブル機を本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。

Bluetooth オーディオを再生する

Bluetooth オーディオを使用するためには、まず本機にポータブル機を登録することが必要です。（→P.36）

■ 操作画面



A 選択するたびに、再生中の曲をリピート再生→再生中のフォルダ／アルバムをリピート再生→リピート解除の順に切り替わります。

B トラックが切り替わります。

選択し続けると、早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

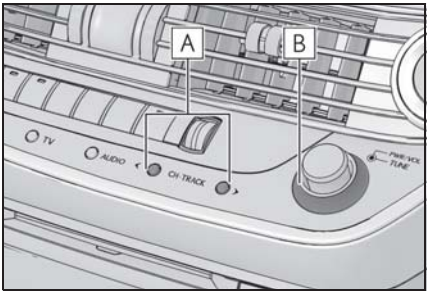
C 再生／一時停止をします。

D トラックが切り替わります。

選択し続けると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

E 選択するたびに、アルバム内でランダム再生→全アルバムからランダム再生→ランダム解除の順に切り替わります。

■ オーディオコントロールスイッチ



A 曲が切り替わります。
再生時に押し続けると、アルバムが切り替わります。

B 回すと、曲が切り替わります。
選曲リスト画面を表示しているとき、回すと、アルバムが切り替わります。

知識

- 接続した機器によっては、アーティスト名、アルバム名、トラック名などが表示されないことがあります。
- 接続した機器によっては、次のような場合があります。
・本機で操作できない。
・動作や音量が異なる。
・本機とポータブル機で曲情報や時間表示などの表示が異なる。
・再生を停止すると、接続が切断される。この場合、手動で接続してください。(→P.393)
- 長時間再生した場合、音飛びすることがあります。
- 接続時のボリュームレベルは、Bluetooth 機器によって異なります。

サブメニューの操作をする

A オーディオソース選択画面を表示します。(→P.185)

B 再生中の画面に戻ります。

C ソングリストを表示します。
曲を選択すると、再生します。

D 選曲リストを表示します。
項目選択後、再生したいトラックを選択すると、選択したトラックが再生されます。(→P.228)

E ポータブル機が Bluetooth 接続されてないときに登録済みの機器と接続します。

F 音設定画面を表示します。(→P.189)

AUX を操作する

ミニプラグケーブルを使用して、AUX 端子（→P.187）に接続した外部機器を再生することができます。

AUX 操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で “AUX” を選択します。

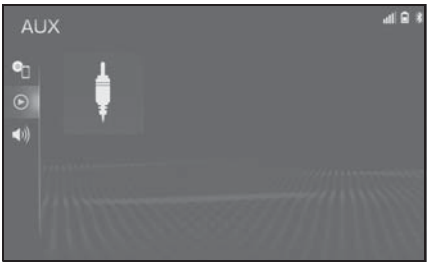
接続後、接続した機器の電源を入れてください。

知識

- AUX モード中に AUX 端子側のミニプラグを抜いたり、接続する機器側のミニプラグケーブルを抜き差ししたりすると、雑音が出ることがあります。

AUX を再生する

■ 操作画面



サブメニューの操作をする

A オーディオソース選択画面を表示します。（→P.185）

B 再生中の画面に戻ります。

C 音設定画面を表示します。（→P.189）

Miracast ™を操作する

Miracast™は、スマートフォンもしくはタブレットの画面を、車載機の画面に表示したり、音声を再生する機能です。車載機とデバイスはWi-Fi® 接続（P2P モード）で通信します。

Miracast ™操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で“Miracast ™ ” を選択します。

知識

- 「Wi-Fi」、「Wi-Fi Direct」、「Wi-Fi CERTIFIED Miracast」、「Miracast」はWi-Fi Alliance® の登録商標です。
- 本機能はベストエフォート型の機能です。
- Miracast ™は機器によって、” スクリーンミラーリング ” 、” メディアアウトプット ” などと表示されることがあります。
- Miracast ™は Bluetooth と同じ 2.4GHz 帯の電波を使った無線通信をします。利用環境によっては電波干渉などにより、相互に影響をあたえ、画像の乱れや音途切れが発生するときがあります。
- Wi-Fi® ネットワーク接続（→P.50）を“ する ” にしていると、Wi-Fi® ネットワーク接続の通信と、Miracast ™の通信の相互に影響をあたえ、画像乱れや音途切れが発生するときがあります。その場合、Wi-Fi® ネットワーク接続を “ しない ” にすると影響を軽減することができます。

接続できる機器について

Miracast ™機能をサポートする Android スマートフォンとタブレットでご使用できます。

Miracast ™の対応状況については、機器に添付の取扱説明書などでご確認ください。

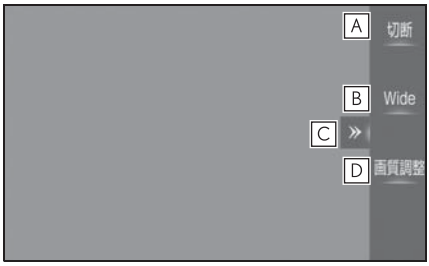
機器を接続する

1 オーディオソース画面を表示する。（→P.185）
2 “Miracast ™ ” を選択。
3 「Miracast™はWi-Fiを利用しますWi-Fi を利用しますか？」というメッセージが表示されたら“はい ” を選択。
4 Miracast ™対応機器を接続可能な状態にする。

- 機器の操作については、機器に添付の取扱説明書でご確認ください。
- 機器が見つからなかった場合は、“ 再検索 ” を選択してください。

5 機器名称を確認して、“ はい ” を選択。

Miracast ™を操作する



A Miracast ™を切断して、オーディオソース選択画面を表示します。

B 通常の映像とワイド映像を切り替えることができます。（→P.190）

C 選択するたびに、操作スイッチの表示／非表示が切り替わります。

D 画質調整画面を表示します。（→P.191）

知識

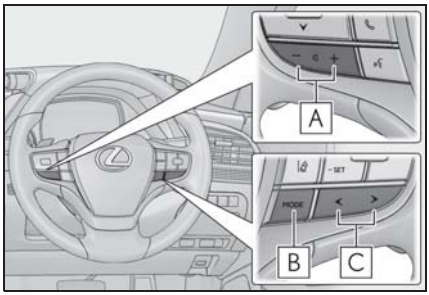
- Miracast ™の音量は、本機の音量と接続した機器の音量が加味されます。Miracast ™使用時は、事前に接続機器の音量を適正なレベルに設定してください。
- Bluetooth オーディオを使用している機器で Miracast ™を使用する場合に、Miracast ™の音が出ないことがあります。そのときは Bluetooth オーディオを切断するとMiracast™の音が出るようになることがあります。

Miracast™の画面表示について

Miracast ™の画面表示は、機器から送られる映像をそのまま表示します。機器の画面が縦向きの時は、縦向きの表示になります。

ステアリングスイッチで操作する

各部の名称とはたらき



A “音量調整” スイッチ

“＋”：音量が大きくなります。

“－”：音量が小さくなります。

・1 秒以上押し続けると、連続して調整できます。

B “MODE” スイッチ

押すとラジオやテレビなどのオーディオソースが順番に切り替わります。

・オーディオソース画面のスイッチの配置を変更（→P.186）すると、切り替わる順番も変わります。

1 秒以上押し続けると、消音または再生を一時停止します。再度、1 秒以上押し続けると解除されます。

C “TUNE・TRACK” スイッチ

▶ ラジオ（AM・FM）/ デジタルテレビ

プリセットスイッチに登録されている周波数・チャンネルが順番に切り替わります。

“ピッ” と音がするまで押すと、受信感度が良く、現在受信している周波数／チャンネルに一番近い周波数／チャンネルを選択します。

再度押すと、選択を停止します。

▶ Blu-ray プレーヤー/ サウンドライブラリ /SD/USB/iPod/Bluetooth オーディオ

ファイル・トラック・チャプターが切り替わります。

1 秒以上押し続けると、早送り／早戻しまたはフォルダ・アルバムが切り替わります。

● フォルダ・アルバムが作成されている場合のみ切り替わります。

知識

●TUNE・TRACK スイッチについて

・ 地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数／チャンネルの受信感度が悪い場合、自動で選択できないことがあります。

・ ディスクや接続している機器により、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。

注意

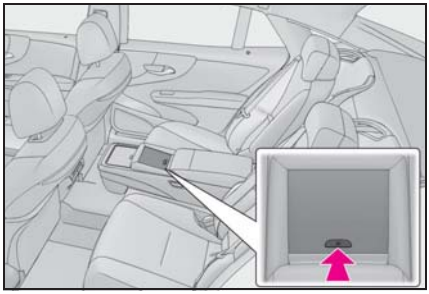
●安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

リヤマルチオペレーションパネルで操作する★

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

オーディオ操作画面を表示する

1 リヤアームレストの を押す。



2 “オーディオ” にタッチ。

● 後席 11.6 型ワイドディスプレイ装着車は、"前席" にタッチします。

3 オーディオを操作する

▶ 後席 11.6 型ワイドディスプレイ非装着車

A オーディオシステムのON/OFFを切り替えます。

B オーディオソース選択画面を表示します。

C 音量を調整します。

D オーディオを操作します。

・オーディオソースにより表示されるスイッチは異なります。

▶ 後席 11.6 型ワイドディスプレイ装着車

A オーディオシステムのON/OFFを切り替えます。

B オーディオソース選択画面を表示します。

C 音量を調整します。

D オーディオを操作します。

オーディオソースにより表示されるスイッチは異なります。

オーディオソースを選択する

1 “オーディオ選択” にタッチ。

2 オーディオソースを選択。

オーディオを操作する

● AM/FM

“< CH >”：プリセットスイッチに記憶されている放送局が切り替わります。

● 音楽 CD

“< Track >”：トラックが切り替わります。

● MP3/WMA/AAC ディスク

“< Folder >”：フォルダが切り替わります。

“< File >”：ファイルが切り替わります。

● DVD ビデオ /DVD-VR/BD ビデオ /AVCHD/BDAV/AVCREC

“< Chapter >”：チャプター / エントリーポイントが切り替わります。

● SD（パソコンで記録した音楽）

“< Folder/Album >”：フォルダ/アルバムが切り替わります。

“< File/Track >”：ファイル / トラックが切り替わります。

● SD（サウンドライブラリ）

“< Album >”：アルバムが切り替わります。

“< Track >”：トラックが切り替わります。

● SD 動画（CRPM 対応）

“< Chapter >”：チャプターが切り替わります。

● SD 動画（CRPM 非対応）

“< File >”：ファイルが切り替わります。

● デジタル TV

“< CH >”：チャンネルが切り替わります。

● USB メモリー（音楽ファイル）

“< Folder/Album >”：フォルダ/アルバムが切り替わります。

“< File/Track >”：ファイル / トラックが切り替わります。

● USB メモリー（動画ファイル）

“< File >”：ファイルが切り替わります。

● iPod

“< Track >”：トラックが切り替わります。

● Bluetooth オーディオ

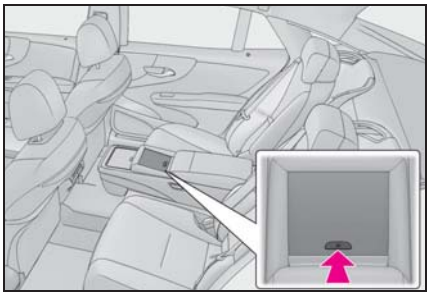
“< Album >”：アルバムが切り替わります。

“< Track >”：トラックが切り替わります。

ショートカットスイッチについて

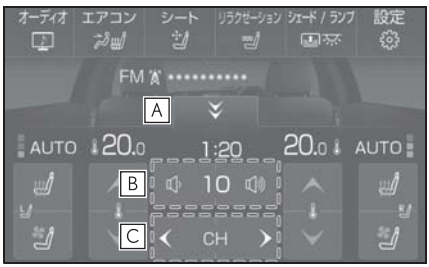
HOME 画面に視聴中のオーディオ操作スイッチを表示できます。

1 リヤアームレストの を押す。



2 にタッチ。

3 ショートカットスイッチを操作する



A ショートカットスイッチを非表示にします。

B 音量を調整します。

C オーディオを操作します。

・オーディオソースによりスイッチは異なります。

・各オーディオソースでの操作については、「オーディオを操作する」（→P.234）をご覧ください。

オーディオ設定画面について

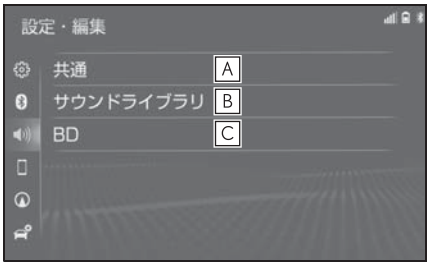
DVD の設定や画面サイズの変更など、オーディオの詳細設定をします。

オーディオ設定画面を表示する

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す

2 “設定・編集”を選択

3 サブメニューの“オーディオ”を選択



A 共通項目の設定ができます。（→P.236）

B 録音設定の変更や、本機で SD メモリーカードに録音したデータの編集ができます。（→P.237）

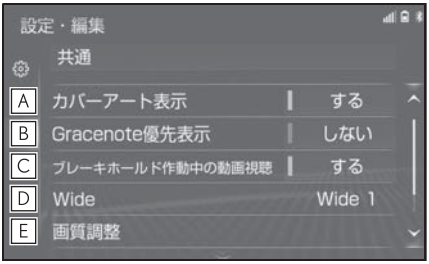
C Blu-ray と DVD の初期設定ができます。（→P.243）

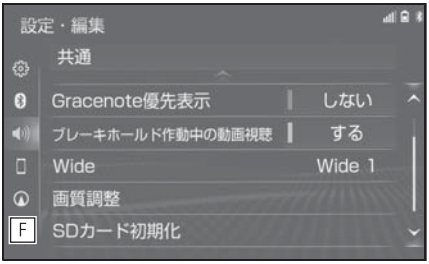
共通設定をする

1 オーディオ設定画面を表示する：

● “MENU” ボタン → “設定･編集” →サブメニューの“オーディオ” を順に選択。

2 “共通” を選択。





A CDやiPodなどのカバーアート表示のする／しないを設定できます。

B すでにカバーアートが設定されている曲に対して、Gracenote のデータベースに別のカバーアートがある場合、Gracenote のデータを優先して表示する／しないを設定できます。

C ブレーキホールド作動中の動画視聴する／しないを選択することができます。（→P.191）

D BD/DVD などの映像は、通常の映像とワイド映像を切り替えることができます。※ （→P.190）

E BD/DVDなどの映像は画質調整ができます。※ （→P.191）

F 音楽用 SD メモリーカードを初期化することができます。初期化すると、SD メモリーカード内のデータがすべて削除されます。

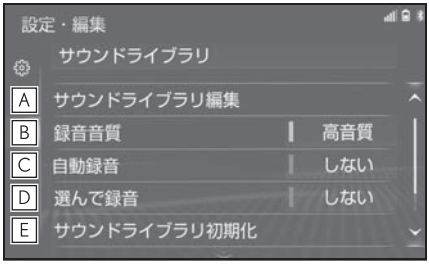
※ 映像モード時のみスイッチが表示されます。

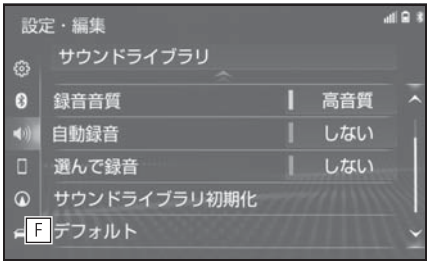
サウンドライブラリの設定をする

1 オーディオ設定画面を表示する：

● “MENU” ボタン → “設定･編集” →サブメニューの “オーディオ” を順に選択。

2 “サウンドライブラリ” を選択。





A お気に入りの楽曲集（マイベスト）の作成や編集、アルバム情報の修正などができます。（→P.238）

B 録音音質を変更できます。

・“高音質” または “普通” を選択します。

C 自動録音の設定を変更できます。

・“する” に設定すると、CD を再生すると同時に録音を開始します。

D 希望の曲だけを選んで録音することができます。（→P.242）

E サウンドライブラリを初期化します。

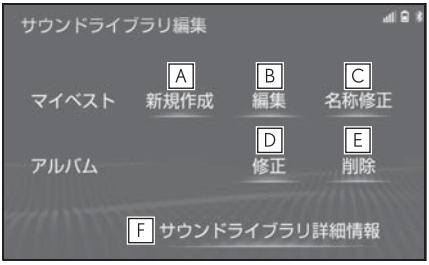
F サウンドライブラリの設定を初期の状態に戻します。

サウンドライブラリの編集をする

SDメモリーカードに録音したデータの編集をするときは、サウンドライブラリ編集メニュー画面から行います。

1 “サウンドライブラリ編集” を選択。

2 各項目の編集・確認をする。



A マイベストの新規作成（→P.238）

B マイベストの編集（→P.239）

・トラックの追加
・トラックの並び替え
・トラックの削除
・マイベストの削除

C マイベストの名称修正（→P.240）

D アルバム情報の修正（→P.240）

・アルバムタイトル、アルバム読み修正
・アーティスト名、アーティスト読み修正
・ジャンル修正
・トラックタイトル、トラック読み修正
・タイトル情報の再取得

E アルバム／トラックの削除（→P.241）

F サウンドライブラリ詳細情報の表示（→P.242）

知識

●走行中および録音中は、サウンドライブラリの編集をすることができません。

お気に入りの楽曲集（マイベスト）を作成する

作成した楽曲集は、アルバムリスト画面のマイベストから簡単に呼び出すことができます。

1 マイベストの “新規作成” を選択。

2 マイベストの名称を入力。

3 “OK” を選択。

4 登録したい曲の含まれているアルバムを選択。

● “アーティスト”、“録音日順”、“ジャンル”、“マイベスト” から、アルバムを分類したり並び替えて、絞り込むことができます。

5 登録したい曲を選択。

● 選択を解除するときは、選択されている曲を選択。

● 一度に複数の曲を選択できます。

● 選択した曲は色が変わります。

6 リモートタッチの ⌃ ボタンを押す。

7 “登録” を選択。

8 “完了” を選択。

● 続けて曲を追加するときは、“追加” を選択。（手順 **4** へ）

・同様の手順で追加できます。

知識

●同じ名称は重複して登録できません。

●マイベストは 999 個作成できます。また、1 つのマイベストには 99 曲まで登録できます。

マイベストを編集する

作成したマイベストの修正や削除をすることができます。

■ 曲を追加する

1 マイベストの “ 編集 ” を選択。
2 “（追加したいマイベスト）” を選択。
3 “ トラックを追加 ” を選択。
4 追加したい曲が含まれているアルバムを選択。

● “ アーティスト ”、“ 録音日順 ”、“ ジャンル ”、“ マイベスト ” から、アルバムを分類したり並び替えて、絞り込むことができます。

5 追加したい曲を選択。

● 選択を解除するときは、選択されている曲を選択。

6 リモートタッチの ⌃ ボタンを押す。
7 “ 登録 ” を選択。
8 “ 完了 ” を選択。

● 続けて曲を追加するときは、“ 追加 ” を選択。（手順 **2** へ）

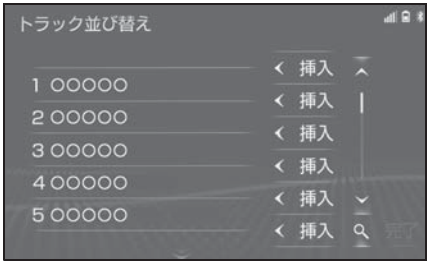
・同様の手順で追加できます。

知識

●1 つのマイベストには 99 曲まで登録できます。

■ 曲を並べ替える

1 マイベストの “ 編集 ” を選択。
2 “（並べ替えをしたいマイベスト）” を選択。
3 “ トラックを並び替え ” を選択。
4 移動したい曲を選択。
5 移動したい場所の “ 挿入 ” を選択し、“ 完了 ” を選択。



■ 曲を削除する

1 マイベストの “ 編集 ” を選択。
2 “（消去したい曲の含まれているマイベスト）” を選択。
3 “ トラックを削除 ” を選択。
4 削除したい曲を選択。

● 選択を解除するときは、選択されている曲を選択。

5 リモートタッチの ⌃ ボタンを押す。
6 “ 削除 ” を選択。
7 “ はい ” を選択。

■ マイベストを削除する

1 マイベストの “ 編集 ” を選択。
2 “（消去したいマイベスト）” を選択。
3 “ このマイベストを削除 ” を選択。
4 “ はい ” を選択。

マイベストの名称を修正する

1 マイベストの “名称修正” を選択。
2 “（修正したいマイベスト）” を選択。
3 名称を入力する。
4 “OK” を選択。

知識

●同じ名称は重複して登録できません。

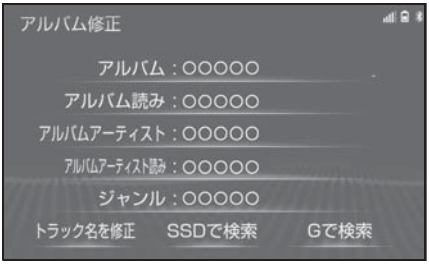
アルバム情報を修正する

アルバム名やアーティスト名、ジャンル、トラック名などを変更することができます。

1 アルバムの “修正” を選択。
2 編集したいアルバムを選択。

● “アーティスト”、“録音日順”、“ジャンル” から、アルバムを分類したり並び替えて、絞り込むことができます。

3 各項目を編集する。



■ アルバムタイトル、アルバム読みを変更する

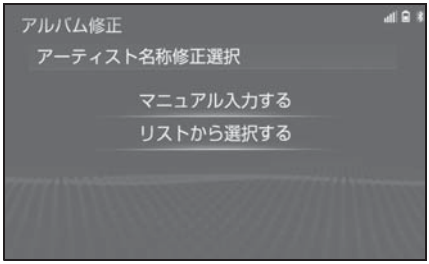
1 “アルバム” または、“アルバム読み” を選択。
2 アルバムまたはアルバム読みを入力し、“OK” を選択。

知識

●読みは半角カタカナのみ入力できます。

■ アーティスト名を変更する

1 “アルバムアーティスト” を選択。
2 編集方法を選択。



▶ マニュアル入力するときは

1 “マニュアル入力する” を選択。
2 アーティスト名を入力し、“OK” を選択。

▶ リストから選ぶときは

1 “リストから選択する” を選択。
2 アーティスト名を選択。

知識

●リストに表示されるアーティストはすでに登録されているアーティストのみです。

■ アーティスト読みを変更する

1 “アルバムアーティスト読み” を選択。
2 アーティスト読みを入力し、“完了” を選択。

知識

●読みは半角カタカナのみ入力できます。

■ ジャンルを変更する

1 “ジャンル” を選択。

2 ジャンルを選択し、“OK” を選択。

■ **トラックタイトル、トラック読みを変更する**

1 “トラック” または “トラック読み” を選択。

2 トラックまたはトラック読みを入力し、“OK” を選択。

知識

●読みは半角カタカナのみ入力できます。

■ **タイトル情報を再取得する**

録音時に Gracenote のデータベースから付与されたタイトル情報が、録音に使用したCDのタイトル情報と違っているときには、再度、データベースを検索し、該当する情報を付与することができます。

1 “SSD で検索” を選択。

● CD タイトル検索画面が表示されます。

● 検索が終わると自動的に画面が切り替わります。

● 中止するときは、“中止” を選択。

● 複数候補があるときは、タイトルを選択。

2 “登録” を選択。

知識

● “Gで検索” は、G-Linkを利用されているときに使用することができます。G-Link を利用すると、最新の CD タイトル情報を G-Link センター経由で Gracenote メディアデータベースから取得することができます。(→P.484)

●再生している曲の録音に使用した CD のタイトル情報とは、全く異なる候補が表示されることがあります。登録の前に、必ずタイトル情報を確認してください。

アルバムを削除する

1 アルバムの “削除” を選択。

2 削除したいアルバムを選択。

● “アーティスト”、“録音日順”、“ジャンル” から、アルバムを分類したり並び替えて、絞り込むことができます。

3 “このアルバムを削除” を選択。

4 “はい” を選択。

知識

●削除するアルバム内の曲がマイベストにも登録されているときは、マイベスト内の曲も同時に削除されます。

■ **トラックを削除する**

1 アルバムの “削除” を選択。

2 削除したい曲の含まれているアルバムを選択。

● “アーティスト”、“録音日順”、“ジャンル” から、アルバムを分類したり並び替えて、絞り込むことができます。

3 “トラックを削除” を選択。

4 削除したい曲を選択。

● 選択を解除するときは、選択され

ている曲を選択。

5 リモートタッチの ⌃ ボタンを押す。

6 “削除” を選択。

7 “はい” を選択。

知識

●削除する曲がマイベストにも登録されているときは、マイベスト内の曲も同時に削除されます。

SD 空き容量を確認する（詳細情報の表示）

データベースのバージョン情報やSDの空き容量を確認することができます。

1 “サウンドライブラリ詳細情報” を選択。

曲を選んで録音する

希望の曲だけを選んで録音することができます。

1 録音設定の自動録音を「しない」、選んで録音を「する」に設定する。（→P.237）

2 録音したい CD を挿入する。

3 CD 操作画面を表示する。（→P.195）

4 “録音開始” を選択。

5 録音したい曲を選択。

● 走行中は曲を選択することはできません。

● 選択を解除するときは、選択されている曲を選択。

6 “OK” を選択。

知識

●走行中および録音中は、録音設定をすることができません。

●録音中は録音された音楽を時間差で再生するため、CD 再生時と異なって聞こえることがあります。

●録音中に他のオーディオソースに切り替えることができます。オーディオソースを切り替えても録音は継続されます。

●録音が完了した後、エンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にしたり、他のオーディオに切り替えるなどお客様が操作しない限り、録音された音を継続して再生します。

●すでに録音されている曲は、重複して録音することはできません。

●音飛びなどが発生した場合、録音をやり直します。

●録音の開始時や終了時は、約 5 秒間音楽が停止します。

●SD メモリーカードの容量がなくなった場合、録音が中止され録音途中の曲は削除されます。

●通常の速さで再生しながら、最大 4 倍の速さで録音するため、再生している曲と録音している曲は異なります。

●録音中は、画面上部にステータスアイコンが表示されます。（→P.19）

●録音中は、“RPT”、“RAND”、“選曲” の各スイッチは操作できません。また、選曲、早送り・早戻しもできません。

●CD 以外のモードに切り替えても、録音は継続されます。ただし以下のときは、録音を中止または中断し、録音途中の曲を削除します。

・エンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にしたとき

・CD を取り出したとき

・録音した曲数が 9999 曲になったとき

・SD メモリーカードの容量がいっぱいになったとき

●CD を録音しながら再生しているときに、録音が終了すると、CD の再生が一瞬途切れる場合があります。

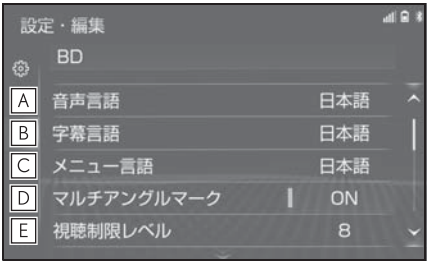
BD/DVD の初期設定をする

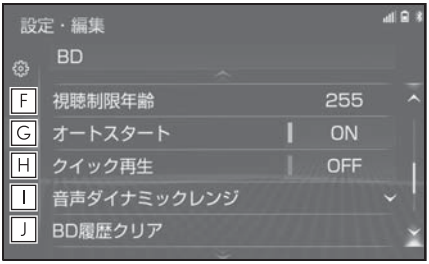
BD/DVD の初期設定ができます。

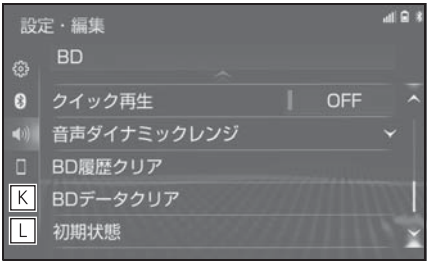
1 オーディオ設定画面を表示する：

● “MENU” ボタン→“設定･編集”→サブメニューの“オーディオ”を順に選択。

2 “BD” を選択。







A 優先して聞きたい音声の言語を設定します。

・言語コード（→P.244）を指定する場合は、“その他”→言語コードを入力→“完了”の順に選択

B 優先して表示したい字幕の言語を設定します。

・言語コード（→P.244）を指定する場合は、“その他”→言語コードを入力→“完了”の順に選択

C ディスク独自のメニュー項目に表示される言語を設定します。

・言語コード（→P.244）を指定する場合は、“その他”→言語コードを入力→“完了”の順に選択

D マルチアングル（→P.316）で記憶されているディスクを再生させているときに、マルチアングルマークを表示する／しないを選択できます。

E 視聴制限レベル（→P.244）を設定します。

F 視聴制限年齢（→P.244）を設定します。

G メニュー画面表示中に走行を開始したとき、選択されているメニュー項目を自動的に再生する／しないを選択できます。（DVD ビデオのみ）

H BD ビデオのディスク挿入後に最初に再生する箇所を飛ばし、本編をすぐに再生する／しないを選択できます。（BD ビデオのみ）

I 音声の最大値と最小値の比を、“MAX”・“MID”・“MIN”の中から選択できます。

・“MAX”：最大ダイナミックレンジ
・“MID”：標準ダイナミックレンジ
・“MIN”：最小ダイナミックレンジ

J 選択後、“はい”を選択すると、

本機に記録されたレジューム機能などの情報を削除します。(BD ビデオのみ)

K 選択後、“はい” を選択すると、本機に記録された PinP 映像などの情報を削除します。(BD ビデオのみ)

L 初期設定の状態に戻します。

・視聴制限以外の項目が初期設定の状態に戻ります。

知識

●オートスタートスイッチについて

・ディスクにより自動的に再生することができないことがあります。

視聴制限レベル／視聴制限年齢を設定する

視聴制限レベルは DVD ビデオのみ、視聴制限年齢は、BD ビデオのみ設定できます。

1 “視聴制限レベル” または “視聴制限年齢” を選択。

A 4 桁の暗証番号を入力します。

B 入力後に選択し、続けて視聴制限レベルの選択、または視聴制限年齢を入力します。

● 暗証番号が未設定のとき(「ーーーー」が表示されているとき)は、入力した番号が暗証番号として登録されます。

● 暗証番号入力時、⌫を連続して 10 回選択すると、暗証番号を初期化(未設定の状態に)することができます。

● 視聴制限年齢の設定を解除するときは、「255」を入力します。

言語コード一覧

記号	機能
1001	日本語
0514	英語
0618	フランス語
0405	ドイツ語
0920	イタリア語
0519	スペイン語
1412	オランダ語
1821	ロシア語
2608	中国語
1115	韓国語
0512	ギリシャ語
0101	アファル語
0102	アブハズ語
0106	アフリカーンス語
0113	アムハラ語
0118	アラビア語
0119	アッサム語
0125	アイマラ語
0126	アゼルバイジャン語
0201	バシキール語
0205	ベラルーシ語
0207	ブルガリア語

記号	機能
0208	ビハーリー語
0209	ビスラマ語
0214	ベンガル語
0215	チベット語
0218	ブルトン語
0301	カタロニア語
0315	コルシカ語
0319	チェコ語
0325	ウェールズ語
0401	デンマーク語
0426	ブータン語
0515	エスペラント語
0520	エストニア語
0521	バスク語
0601	ペルシア語
0609	フィンランド語
0610	フィジー語
0615	フェロー語
0625	フリジア語
0701	アイルランド語
0704	スコットランドゲール語
0712	ガリシア語
0714	グァラニ語
0721	グジャラート語
0801	ハウサ語
0809	ヒンディー語
0818	クロアチア語
0821	ハンガリー語
0825	アルメニア語
0901	国際語
0905	Interlingue

記号	機能
0911	イヌピアック語
0914	インドネシア語
0919	アイスランド語
0921	イヌイット語
0923	ヘブライ語
1009	イディッシュ語
1023	ジャワ語
1101	グルジア語
1111	カザフ語
1112	グリーンランド語
1113	カンボジア語
1114	カンナダ語
1119	カシミール語
1121	クルド語
1125	キルギス語
1201	ラテン語
1214	リンガラ語
1215	ラオス語
1220	リトアニア語
1222	ラトビア語
1307	マダガスカル語
1309	マオリ語
1311	マケドニア語
1312	マラヤーラム語
1314	モンゴル語
1315	モルダビア語
1318	マラーティー語
1319	マレー語
1320	マルタ語
1325	ビルマ語
1401	ナウル語

記号	機能
1405	ネパール語
1415	ノルウェー語
1503	プロバンス語
1513	オロモ語
1518	オリヤー語
1601	パンジャブ語
1612	ポーランド語
1619	パシュトー語
1620	ポルトガル語
1721	ケチュア語
1813	レトロマンス語
1814	ルンディ語
1815	ルーマニア語
1823	ルワンダ語
1901	サンスクリット語
1904	シンド語
1907	サンゴ語
1908	セルビアクロアチア語
1909	シンハラ語
1911	スロバキア語
1912	スロベニア語
1913	サモア語
1914	ショナ語
1915	ソマリ語
1917	アルバニア語
1918	セルビア語
1919	スワティ語
1920	ソト語
1921	スンダ語
1922	スウェーデン語
1923	スワヒリ語

記号	機能
2001	タミル語
2005	テルグ語
2007	タジク語
2008	タイ語
2009	ティグリニア語
2011	トルクメン語
2012	タガログ語
2014	ツワナ語
2015	トンガ語
2018	トルコ語
2019	ツォンガ語
2020	タタール語
2023	トウィ語
2107	ウイグル語
2111	ウクライナ語
2118	ウルドゥー語
2126	ウズベク語
2209	ベトナム語
2215	ボラピューク語
2315	ウォロフ語
2408	コサ語
2515	ヨルバ語
2601	チワン語
2621	ズールー語

後席 11.6 型ワイドディスプレイについて★

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

前席のナビゲーションシステムでは走行中にご覧いただくことのできない BD ビデオ、デジタルテレビなどの映像が、後席用ディスプレイで走行中でもご覧いただけます。ただし、助手席シート側の後席ディスプレイが、運転席から見ることのできる位置にあるとき、映像は映りません。

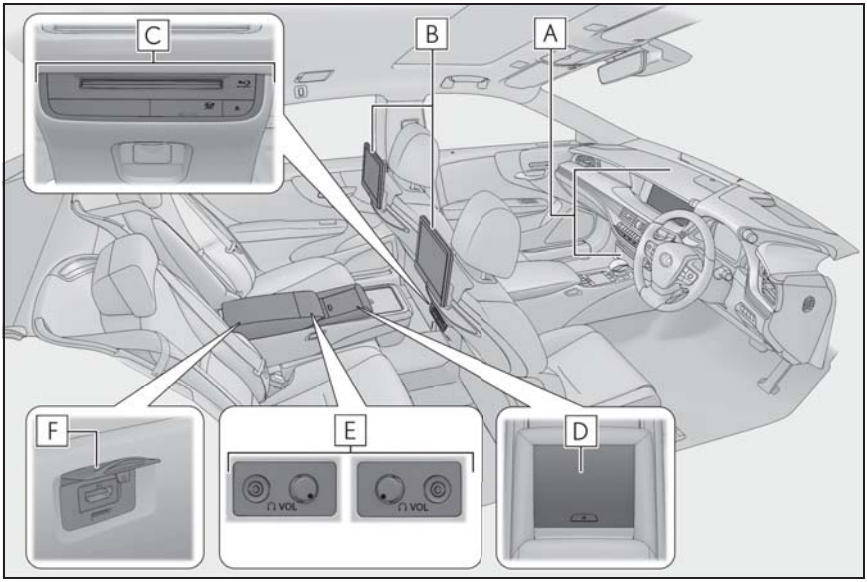
後席11.6型ワイドディスプレイはエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞がアクセサリーモード、またはイグニッションONモードのとき使用できます。

後席 11.6 型ワイドディスプレイでできること

次の操作を行うことができます。

- リヤマルチオペレーションパネルを使用して、後席ディスプレイを操作 (→P.249)
- メディアの出し入れおよび外部機器を後席ブルーレイディスク™ (BD)/DVD プレーヤーに接続 (→P.254)
- スピーカー出力の設定 (→P.256)
- 前席のナビゲーションシステムからの後席ディスプレイの設定 (→P.257)
- 後席ディスプレイの映像表示制限 (→P.257)
- 各ソースの操作 (→P.258)
- 後席ディスプレイの設定 (→P.297)

各部の名称



A 前席ナビゲーションシステム

B 後席ディスプレイ

C 後席ブルーレイディスク™ (BD)/DVD プレーヤー

D リヤマルチオペレーションパネル

E ヘッドフォン音量調整つまみ / ヘッドフォンジャック

F HDMI 端子

各部の操作について

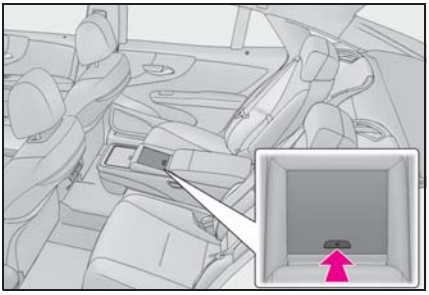
リヤマルチオペレーションパネルについて

後席ディスプレイに表示されるスイッチに直接タッチしても、操作することはできません。

リヤマルチオペレーションパネルで、後席ディスプレイ操作画面を表示すると、操作できます。

後席ディスプレイ操作画面を表示する

1 リヤアームレストの を押す。



2 “オーディオ” にタッチ。

3 後席ディスプレイ操作画面を操作する。

A 前席のオーディオ操作画面を表示します。(→P.233)

B 後席左側のオーディオ操作画面を表示します。

C 後席右側のオーディオ操作画面を表示します。

D 後席ディスプレイの電源をON/OFF にします。(→P.249)

E オーディオソース選択画面を表示します。(→P.250)

F オーディオ詳細画面を表示します。(→P.252)

G 操作スイッチ

選択したオーディオソースにより表示されるスイッチは異なります。

H もとの画面に戻ります。

後席ディスプレイを ON/OFF する

1 後席ディスプレイ操作画面を表示する：

● リヤアームレストの → “オーディオ” → “後席左側” または “後席右側” の順にタッチ。

2 にタッチ。

知識

●前席のナビゲーションシステムからも後席ディスプレイの ON/OFF をすることができます。(→P.257)

ソースを選択する

左右の後席ディスプレイごとにソースを選択できます。

■ 後席ディスプレイから選択する

1 後席ディスプレイ操作画面を表示する：

● リヤアームレストの → “オーディオ” → “後席左側” または “後席右側” の順にタッチ。

2 “… 詳細” にタッチ。

3 にタッチ。

4 “リヤメニュー” にタッチ。

5 4 方向スイッチ(→P.252)にタッチし、ソースを選択。

■ リヤマルチオペレーションパネルから選択する

1 後席ディスプレイ操作画面を表示する：

● リヤアームレストの → “オーディオ” → “後席左側” または “後席右側” の順にタッチ。

2 “オーディオ選択” にタッチ。

3 ソースにタッチ。

メディア	前席ナビゲーションシステムのソース	後席ディスプレイのソース
ラジオ	“AM”，“FM” (→P.258)	—
音楽 CD、 MP3/WMA/ AAC ディスク	“DISC” / “CD” (→P.259)	“Rear-DISC” (→P.259、262)
Video CD	—	
DVD	“DISC” / “DVD” (→P.262)	
Blu-ray Disc ™	“DISC” / “BD” (→P.262)	
USB メモリー	“USB/USB2” (機器名称) (→P.275)	—
iPod	“iPod/iPod2” (機器名称) (→P.277)	—
Bluetooth® オーディオ	“Bluetooth” (→P.278)	—
サウンドライブラリ	“ サウンドライブラリ ” (→274)	—
SD メモリーカード	“SD” (→283)	“Rear-SD” (→283)
AUX，HDMI	“AUX” (→P.291)	“Rear-HDMI” (→291)
デジタルテレビ	“TV” (→P.280)	—
DLNA	—	“Rear-DLNA” (→P.291)
Miracast ™	—	“Rear-Miracast ™ ” (→295)

知識

●前席のナビゲーションシステムと後席ディスプレイで同じソースを使用しているときは、前席のナビゲーションシステムと後席ディスプレイで独立して操作することはできません。例えば、デジタルテレビをご覧になっているとき、前

席のナビゲーションシステムと後席ディスプレイで異なるチャンネルを選択することはできません。

●次のソースを選択しているときは、後席右側と後席左側で独立して操作できません。
・Rear-DISC
・Rear-SD
・Rear-DLNA
・Rear-Miracast ™

●前席のナビゲーションシステムで Bluetooth 接続を使用するハンズフリーや Apps を使用している場合、次のソースは使用できません。
・Rear-DLNA
・Rear-Miracast ™

●Bluetooth オーディオ、Apps を選択しているときは、後席左側、後席右側で同時に Wi-Fi® 接続を使用するソースを選択できません。

●後席左側、後席右側で同時に Wi-Fi® や Bluetooth 接続を使用するソースを選択できません。

オーディオ詳細画面を表示する

1 後席ディスプレイ操作画面を表示する：

● リヤアームレストの → “オーディオ” → “後席左側” または “後席右側” の順にタッチ。

2 “… 詳細” にタッチ。

3 操作したいスイッチにタッチ。

A 後席ディスプレイの設定画面を表示します。(→P.297)

B 前席のナビゲーションとのスピーカー連動を ON/OFF にします。(→P.256)

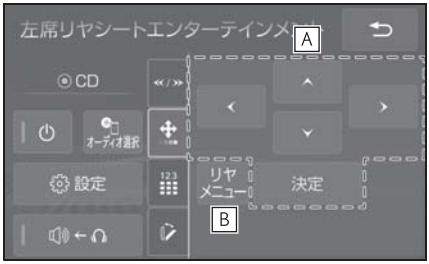
C 各操作スイッチを表示します。

▶ オーディオ操作画面

A オーディオの操作スイッチを表示します。

選択したソースにより表示されるスイッチは異なります。

▶ 十字キー操作画面



A 後席ディスプレイに表示されるス

イッチの操作をします。

4 方向スイッチで後席ディスプレイに表示されるスイッチを選択し、“決定” にタッチするとスイッチ操作を実行します。

B 各ソースのメニュー画面が後席ディスプレイに表示されます。

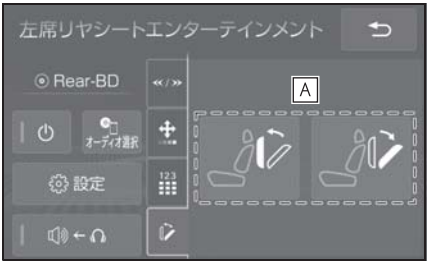
▶ 12 キー画面

A ソースがデジタルテレビのとき、チャンネルを選択できます。

▶ 10 キー画面

A BD ビデオを再生しているとき、コンテンツに応じて数字を入力する際に使用します。

▶ ディスプレイ角度調整画面



A 後席ディスプレイの角度を調整します。

注意

- “オートチルト” (→P.299) が ON のときや、ディスプレイの角度調整中は、手などを挟まないよう注意してください。けがをしたり、後席ディスプレイの故障の原因となります。
- 後席ディスプレイを手で動かさないでください。後席ディスプレイが損傷する恐れがあります。

ショートカットスイッチについて

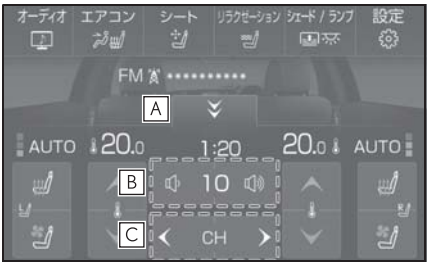
リヤマルチオペレーションパネルの HOME 画面から一部の操作ができます。

“スピーカ出力” (→P.256) が ON のとき、操作できます。

1 リヤアームレストの を押す。

2 にタッチ。

3 ショートカットスイッチを操作する。



A ショートカットスイッチを非表示にします。

B 音量を調整します。

C オーディオを操作します。

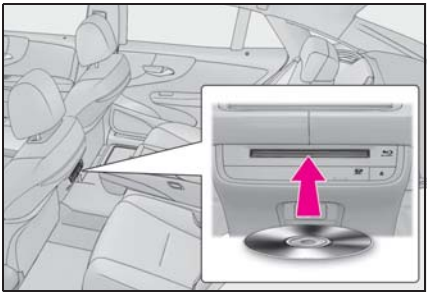
選択したソースにより表示されるスイッチは異なります。

後席ブルーレイディスク™(BD)/DVD プレーヤーについて

ディスクを出し入れする

ディスクを入れる

1 ラベル面を上にして、挿入口に挿入する。



● 途中まで差し込むと自動的に引き込まれ、再生を開始します。

知識

●ディスク挿入時にディスクの種類を判別しているため、再生までに時間がかかります。

ディスクを取り出す

1 ▲ を押す。

知識

●取り出されたディスクが挿入口に 15 秒間残っていると、ディスクは自動で引き込まれます。

● ▲ を10秒間長押しすると、ディスクが強制的に排出されます。

●このプレーヤーは 8cm ディスクには対応していません。

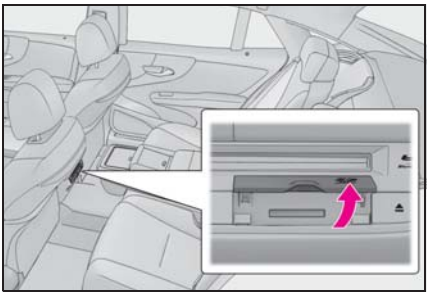
注意

●挿入口にディスク以外のものを入れないでください。故障の原因となります。

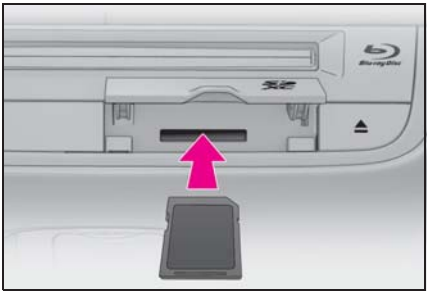
SD メモリーカードを出し入れする

SD メモリーカードを入れる

1 カバーを開ける。



2 挿入口に SD メモリーカードを挿入する。



● SD メモリーカードのロゴ面を上にして、挿入口にまっすぐ奥まで挿入します。

3 カバーを閉める。

知識

●miniSD カード /microSD カード /miniSDHC カード /microSDHC カード /microSDXC カードを使用する場合は、専用のアダプターを使用してください。

注意

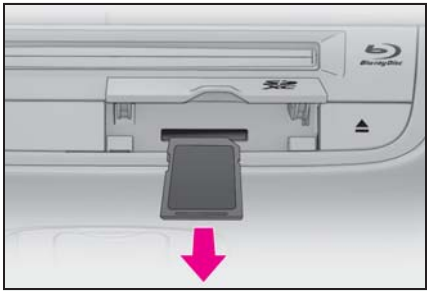
●SD メモリーカードは、“カチッ” と音がするまで差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので、無理に力を加えないでください。

●挿入口に SD メモリーカード以外のものを入れないでください。故障の原因となります。

SD メモリーカードを出す

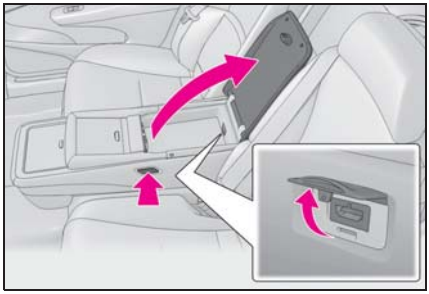
1 カバーを開ける。

2 SD メモリーカードを押すと、カードが押し出される。



3 カバーを閉める。

HDMI 端子について



● ポータブルオーディオなどの機器を接続して、聞くことができます。

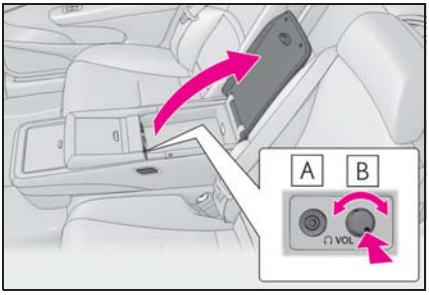
知識

●接続する機器の電源は、機器に付属のバッテリーなどを使用してください。車に装着されているアクセサリーソケットを使用すると、雑音が出ることがあります。（アクセサリーソケットについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

音声モードについて

ヘッドフォンモード

後席で、市販のヘッドフォンを使用して音声を聞くことができます。前席と異なるソースを選択しているときの後席音声は、ヘッドフォンのみで聞くことができます。ヘッドフォンはヘッドフォンジャックに接続するタイプのものが使用できます。



A ヘッドフォンジャック

ヘッドフォンジャックにヘッドフォンのコネクターを差し込みます。

B 音量調整ツマミ

音量調整ツマミを押して、右に回すと音量が大きくなり、左に回すと音量が小さくなります。

スピーカー出力について

“スピーカ出力” を ON に設定すると、前席のナビゲーションシステムと連動して操作することができます。

1 オーディオ詳細画面を表示する：

● リヤアームレストの → “オーディオ” → “後席左側” または “後席右側” → “… 詳細” の順にタッチ。

2 にタッチ。

● 選択するごとに ON と OFF が切り替わります。

● “スピーカ出力” がONのときは、スイッチの作動表示灯が点灯します。

知識

●前席のナビゲーションシステムからも設定できます。（→P.257）

スピーカーの音量を調整する

“スピーカ出力” を ON に設定（→P.256）しているときのみ主音量（スピーカー音量）を調整できます。

1 後席ディスプレイ操作画面を表示する：

● リヤアームレストの → “オーディオ” → “前席” の順にタッチ。

2 または にタッチ。

注意

●安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

前席のナビゲーションシステムから後席ディスプレイを操作する

1 オーディオソース選択画面(→P.185)で、“Rear”を選択。

2 後席ディスプレイを操作する。

A 選択するごとに後席ディスプレイの電源を ON/OFF します。

B 選択するごとに後席側での操作を ON/OFF します。

C 前席のナビゲーションシステムと連動して操作する場合に選択します。“右”または“左”を選択すると、選択した側の音声がスピーカーから出力されます。

知識

●前席のナビゲーションシステムからの後席ディスプレイ ON/OFF は左右両方のディスプレイが ON/OFF されますが、リヤマルチオペレーションパネルからの操作は、左右それぞれのディスプレイの ON/OFF になります。

後席ディスプレイの映像表示制限について

走行中、助手席シートにあるディスプレイが運転席から見ることができる位置にあるとき、ディスプレイに警告メッセージが表示され、映像は映りません。(助手席側のディスプレイにのみメッセージが表示されることがあります)。次のいずれかの方法で映像を見ることができます。

● 助手席シートにあるディスプレイが運転席から見ることができない位置に助手席をスライドする

● 車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトポジションを P にいれる

ラジオを操作する

ラジオ操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で“AM”または“FM”を選択します。

操作画面

■ リヤマルチオペレーションパネル

A タッチすると、周波数が切り替わります。
タッチし続けると、受信感度が良く、現在受信している周波数に一番近い周波数を自動で選択します。再度スイッチにタッチすると、止まります。

B プリセットスイッチに記憶されている放送局が切り替わります。

知識

- 本機はワイド FM(→P.193) に対応しているため、FM の操作画面に AM の放送局が表示されることがあります。
- 走行中、受信状態は刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難なことがあります。
- 地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感度が悪い場合、自動で選局できないことがあります。

CD を操作する

CD 操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で“DISC”/“CD” または“Rear-DISC” を選択します。

Video CD 操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で“Rear-DISC” を選択します。

本機で使用できるディスクやMP3/WMA/AAC 音楽データについては、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→P.301）をご覧ください。

操作画面（音楽 CD、MP3/WMA/AAC ディスク）

■ リヤマルチオペレーションパネル

▶ 音楽 CD 再生時

A タッチし続けると、早送り / 早戻しします。
手を離すと、その位置から再生します。

B 再生を一時停止します。
再度タッチすると、再生します。

C トラックが切り替わります。
"Rear-DISC"選択時にタッチし続けると、早送り / 早戻しします。
手を離すと、その位置から再生します。

▶ MP3/WMA/AAC ディスク再生時

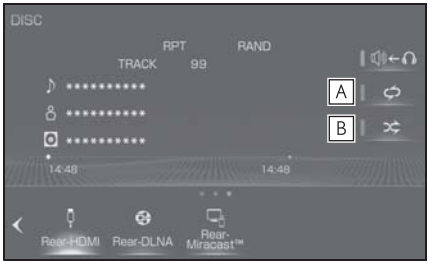
A タッチし続けると、早送り / 早戻しします。
手を離すと、その位置から再生します。

B 再生を一時停止します。
再度タッチすると、再生します。

C ファイルが切り替わります。
"Rear-DISC"選択時にタッチし続けると、早送り / 早戻しします。
手を離すと、その位置から再生します。

D フォルダが切り替わります。

■ 後席ディスプレイ



A 選択すると、リピート再生を行います。
再生するディスクにより、次のように切り替わります。

・音楽 CD 再生時：
選択するたびに、再生中の曲をリピート

再生→リピート解除が切り替わります。

・MP3/WMA/AAC ディスク再生時：
選択するたびに、再生中のファイルをリピート再生 → フォルダ内の全ファイルをリピート再生 → リピート解除が切り替わります。
ランダム再生時は選択するたびに、再生中のファイルをリピート再生→リピート解除が切り替わります。

B 選択すると、ランダム再生を行います。
再生するディスクにより、次のように切り替わります。

・音楽 CD 再生時：選択するたびに、ランダム再生→ランダム解除が切り替わります。
・MP3/WMA/AAC ディスク再生時：選択するたびに、フォルダ内でランダム再生→全フォルダからランダム再生→ランダム解除の順に切り替わります。

操作画面（Video CD）

■ リヤマルチオペレーションパネル

▶ オーディオ詳細画面（操作画面）

A タッチし続けると、早戻しします。
手を離すと、その位置から再生します。

B 再生を一時停止します。
再度タッチすると、再生します。

C タッチし続けると、早送りします。
手を離すと、その位置から再生します。
一時停止中にタッチし続けると、スロー再生します。

D トラックが切り替わります。
タッチし続けると、早戻しします。
手を離すと、その位置から再生します。

E 映像の再生を停止します。

F トラックが切り替わります。
タッチし続けると、早送りします。
手を離すと、その位置から再生します。

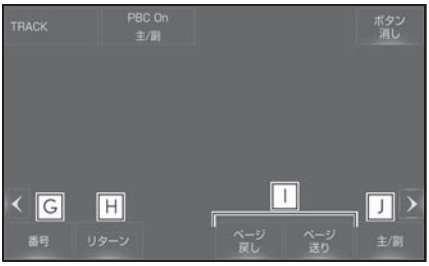
▶ オーディオ詳細画面（十字キー画面）

A 後席ディスプレイに操作スイッチを表示します。（→P.260）

■ 後席ディスプレイ

1 オーディオ詳細画面（十字キー画面）（→P.252）で“オプション”にタッチ。

2 4 方向スイッチでスイッチを選択。



A スイッチの表示を消します。

B ページを切り替えます。

C 選択し続けると、映像を早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

D 映像の再生を停止します。

E 映像の再生を一時停止します。
再度選択すると、再生します。

F 選択し続けると、映像を早送りします。手を離すと、その位置から再生します。
一時停止中にタッチし続けると、スロー再生します。

G タイトル番号を入力し “ 完了 ” を選択すると、そのタイトル番号の映像を再生します。

H ディスクのあらかじめ決められた位置へ移動し、その位置から再生します。

I 表示されるメニューのページを切り替えます。

J 音声多重で収録されているディスクの場合、“ 主 / 副 ” を選択するごとに、主音声、副音声、主音声 / 副音声が切り替わります。

BD/DVD を操作する

BD/DVD 操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で“DISC”/“DVD”/“BD”または“Rear-DISC”を選択します。

以下の映像を再生することができます。

- DVD ビデオ（ビデオフォーマットで記録した DVD-R/RW 含む）
- DVD-VR（ビデオレコーディングフォーマットで記録した DVD-R/RW）
- BD ビデオ（BDMV フォーマットで記録された BD-ROM）
- 録画した Blu-ray Disc（BDAV フォーマットで記録した BD-R/RE、AVCREC フォーマットで記録した DVD-R/ RW）
- AVCHD ビデオ（録画機器を使用し AVCHD フォーマットで記録した DVD-R/RW）

詳しくは、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→P.301）をご覧ください。

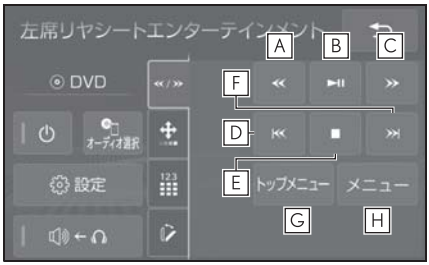
知識

- BD ビデオには、ローカルストレージにディスクの付加情報（レジューム情報など）を保存して、再生時に利用することができるものがあります。本機では SD メモリーカードを挿入することにより、この機能に対応しています。
- SD メモリーカードを利用する機能は、再生する BD ビデオにより異なります。
- データの入っている SD メモリーカードを挿入した場合、それらのデータを保護するため、BD ビデオディスク情報は保存できません。SD メモリーカードをローカルストレージとして使用する場合は、データの入っていない SD メモリーカードをご使用ください。

操作画面（DVD ビデオ）

■ **リヤマルチオペレーションパネル**

▶ オーディオ詳細画面（操作画面）



A タッチし続けると、映像を早戻しします。
手を離すと、その位置から再生します。

B 映像の再生を一時停止します。
再度タッチすると、停止した位置から再生します。

C タッチし続けると、映像を早送りします。
手を離すと、その位置から再生します。
一時停止中にタッチし続けると、スロー再生します。

D チャプターが切り替わります。
“Rear-DISC”選択時にタッチし続けると、映像を早戻しします。
手を離すと、その位置から再生します。

E 映像の再生を停止します。

F チャプターが切り替わります。

“Rear-DISC” 選択時にタッチし続けると、映像を早送りします。手を離すと、その位置から再生します。
一時停止中にタッチし続けると、スロー再生します。

G トップメニュー画面を表示します。(→P.271)

H メニュー画面を表示します。(→P.271)

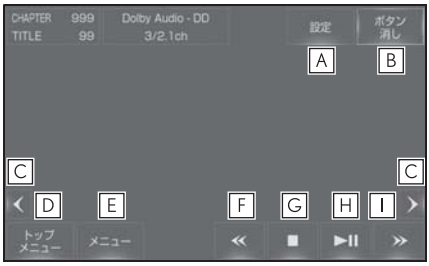
▶ オーディオ詳細画面（十字キー画面）

A 後席ディスプレイに操作スイッチを表示します。(→P.263)

■ **後席ディスプレイ**

1 オーディオ詳細画面（十字キー画面）(→P.252) で、“オプション” にタッチ。

2 4 方向スイッチで、スイッチを選択。



A 初期設定画面を表示します。(→P.272)

B スイッチの表示を消します。

C ページを切り替えます。

D トップメニュー画面を表示します。(→P.271)

E メニュー画面を表示します。(→P.271)

F 選択し続けると、映像を早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

G 映像の再生を停止します。

H 映像の再生を一時停止します。
再度選択すると、再生します。

I 選択し続けると、映像を早送りします。手を離すと、その位置から再生します。
一時停止中に選択し続けると、スロー再生します。

J タイトル番号を入力し “ 完了 ” を選択すると、そのタイトル番号の映像を再生します。

K ディスクのあらかじめ決められた位置へ移動し、その位置から再生します。

L 音声が複数収録されているディスクの場合、“ 音声 ” を選択するごとに、音声が切り替わります。

M 字幕が複数収録されているディスクの場合、“ 字幕 ” を選択するごとに、字幕言語が切り替わります。

“ 字幕消し ” を選択すると、字幕が消えます。再度選択すると、表示されます。

N 複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、“ アングル ” を選択するごとに、アングルが切り替わります。複数のアングルが収録されているときは、（マルチアングルマーク）が表示されます。

操作画面（DVD-VR）

■ リヤマルチオペレーションパネル

▶ オーディオ詳細画面（操作画面）

A タッチし続けると、映像を早戻しします。
手を離すと、その位置から再生します。

B 映像の再生を一時停止します。
再度タッチすると、停止した位置から再生します。

C タッチし続けると、映像を早送りします。
手を離すと、その位置から再生します。
一時停止中にタッチし続けると、スロー再生します。

D エントリーポイントが切り替わります。
“Rear-DISC” 選択時にタッチし続けると、映像を早戻しします。
手を離すと、その位置から再生します。

E 映像の再生を停止します。

F エントリーポイントが切り替わります。
“Rear-DISC” 選択時にタッチし続けると、映像を早送りします。
手を離すと、その位置から再生します。
一時停止中にタッチし続けると、スロー再生します。

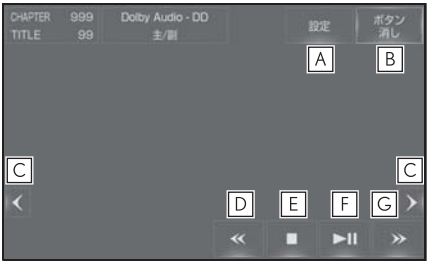
▶ オーディオ詳細画面（十字キー画面）

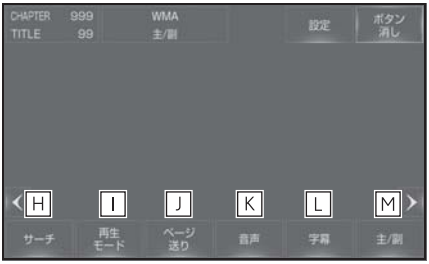
A 後席ディスプレイに操作スイッチを表示します。(→P.265)

■ **後席ディスプレイ**

1 オーディオ詳細画面（十字キー画面）(→P.252) で、“オプション” にタッチ。

2 4 方向スイッチで、スイッチを選択。





A 初期設定画面を表示します。(→P.272)

B スイッチの表示を消します。

C ページを切り替えます。

D 選択し続けると、映像を早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

E 映像の再生を停止します。

F 映像の再生を一時停止します。再度選択すると、再生します。

G 選択し続けると、映像を早送りします。手を離すと、その位置から再生します。
一時停止中に選択し続けると、スロー再生します。

H タイトル番号を入力し “完了” を選択すると、そのタイトル番号の映像を再生します。

I ディスク内にプレイリストやプログラムが作成されているときにプレイリストやプログラムを切り替えます。

J 静止画が収録されているディスクの場合、選択するごとに静止画が切り替わります。

K 音声が複数収録されているディスクの場合、“音声” を選択するごとに、音声が切り替わります。

L 字幕が複数収録されているディスクの場合、“字幕” を選択するごとに、字幕言語が切り替わります。

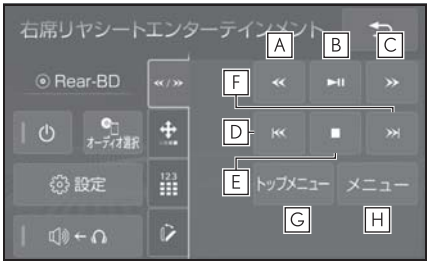
“字幕消し” を選択すると、字幕が消えます。再度選択すると、表示されます。

M 音声多重で収録されているディスクの場合、“主 / 副” を選択するごとに、主音声、副音声、主音声 / 副音声が切り替わります。

操作画面（BD ビデオ）

■ **リヤマルチオペレーションパネル**

▶ オーディオ詳細画面（操作画面）



A タッチし続けると、映像を早戻しします。

手を離すと、その位置から再生します。

B 映像の再生を一時停止します。
再度タッチすると、停止した位置から再生します。

C タッチし続けると、映像を早送りします。
手を離すと、その位置から再生します。
一時停止中にタッチし続けると、スロー再生します。

D チャプターが切り替わります。
“Rear-DISC” 選択時にタッチし続けると、映像を早戻しします。
手を離すと、その位置から再生します。

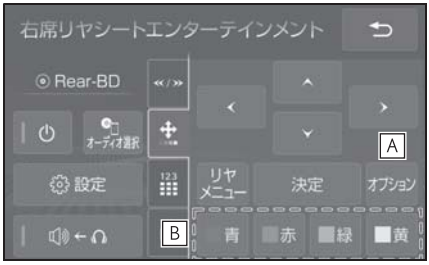
E 映像の再生を停止します。

F チャプターが切り替わります。
“Rear-DISC” 選択時にタッチし続けると、映像を早送りします。
手を離すと、その位置から再生します。
一時停止中にタッチし続けると、スロー再生します。

G トップメニュー画面を表示します。(→P.271)

H 本編を再生しながらメニュー画面を表示できます。(→P.271)

▶ オーディオ詳細画面（十字キー画面）



A 後席ディスプレイに操作スイッチを表示します。(→P.266)

B コンテンツに応じて、さまざまな用途に使用します。

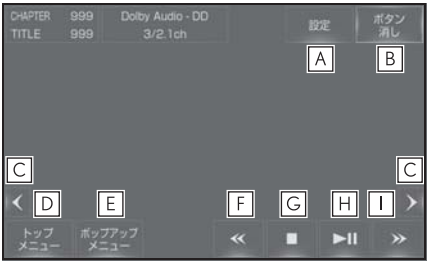
▶ オーディオ詳細画面（10　キー画面）

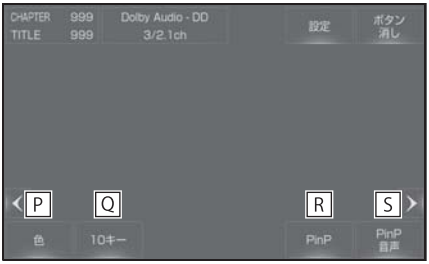
A コンテンツに応じて数字を入力するときに使用します。

■ **後席ディスプレイ**

1 オーディオ詳細画面（十字キー画面）(→P.252) で、“ オプション ” にタッチ。

2 4 方向スイッチ（→P.252）で、スイッチを選択。





A 初期設定画面を表示します。（→P.272）

B スイッチの表示を消します。

C ページを切り替えます。

D トップメニュー画面を表示します。（→P.271）

E 本編を再生しながらメニュー画面を表示できます。（→P.271）

F 選択し続けると、映像を早戻しします。
手を離すと、その位置から再生します。

G 映像の再生を停止します。

H 映像の再生を一時停止します。
再度選択すると、再生します。

I 選択し続けると、映像を早送りします。
手を離すと、その位置から再生します。
一時停止中に選択し続けると、スロー再生します。

J タイトル番号を入力し“完了”を選択すると、そのタイトル番号の映像を再生します。

K チャプター番号を入力し“完了”を選択すると、そのチャプター番号の映像を再生します。

L ディスクのあらかじめ決められた位置へ移動し、その位置から再生します。

M 音声が複数収録されているディスクの場合、“音声”を選択するごとに、音声が切り替わります。

N 字幕が複数収録されているディスクの場合、“字幕”を選択するごとに、字幕言語が切り替わります。

・複数の字幕スタイルがディスクに収録されている場合、“字幕スタイル”を選択すると、字幕スタイルを切り替えることができます。
・“字幕消し”を選択すると、字幕が消えます。再度選択すると、表示されます。

O 複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、“アングル”を選択するごとに、アングルが切り替わります。複数のアングルが収録されているときは、（マルチアングルマーク）が表示されます。

P カラーボタンを表示します。

カラーボタンは、コンテンツに応じてさまざまな用途に使用します。

Q 10 キーボタンを表示します。

10 キーボタンは、コンテンツに応じてさまざまな用途に使用します。

R ピクチャーインピクチャー（子画面）が複数収録されているディスクを再生中 “PinP” を選択するごとに映像の切り替えおよび消去をします。

S ピクチャーインピクチャー（子画面）が複数収録されているディスクを再生中、“PinP 音声” を選択するごとに、ピクチャーインピクチャーの音声の切り替えおよび消去をします。

操作画面（BDAV/AVCREC）

■ リヤマルチオペレーションパネル

▶ オーディオ詳細画面（操作画面）

A タッチし続けると、映像を早戻しします。
手を離すと、その位置から再生します。

B 映像の再生を一時停止します。
再度タッチすると、停止した位置から再生します。

C タッチし続けると、映像を早送りします。
手を離すと、その位置から再生します。
一時停止中にタッチし続けると、スロー再生します。

D チャプターが切り替わります。
“Rear-DISC” 選択時に長押しすると、タイトルが切り替わります。

E 映像の再生を停止します。

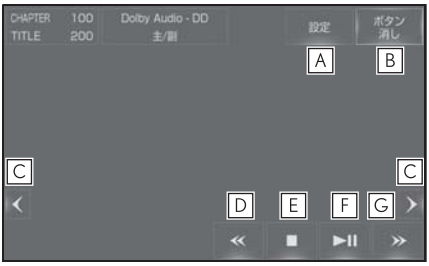
▶ オーディオ詳細画面（十字キー画面）

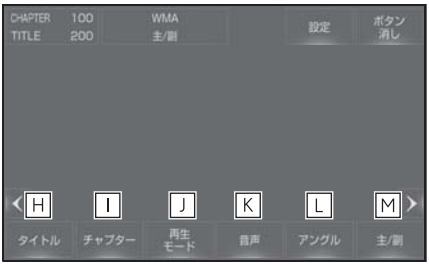
A 後席ディスプレイに操作スイッチを表示します。(→P.268)

■ 後席ディスプレイ

1 オーディオ詳細画面（十字キー画面）(→P.252) で、
“ オプション ” にタッチ。

2 4 方向スイッチで、スイッチを選択。





A 初期設定画面を表示します。(→P.272)

B スイッチの表示を消します。

C ページを切り替えます。

D 選択し続けると、映像を早戻しします。
手を離すと、その位置から再生します。

E 映像の再生を停止します。

F 映像の再生を一時停止します。
再度選択すると、再生します。

G 選択し続けると、映像を早送りします。
手を離すと、その位置から再生します。
一時停止中に選択し続けると、スロー再生します。

H タイトル番号を入力し“完了”を選択すると、そのタイトル番号の映像を再生します。

I チャプター番号を入力し“完了”を選択すると、そのチャプター番号の映像を再生します。

J ディスク内にプレイリストやプログラムが作成されているときにプレイリストやプログラムを再生します。

K 音声が複数収録されているディスクの場合、“音声”を選択するごとに、音声が切り替わります。

L 複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、“アングル”を選択するごとに、アングルが切り替わります。複数のアングルが収録されているときは、(マルチアングルマーク)が表示されます。

M 音声多重で収録されているディスクの場合、“主 / 副”を選択するごとに、主音声、副音声、主音声 / 副音声が切り替わります。

操作画面(AVCHD)

■ リヤマルチオペレーションパネル

▶ オーディオ詳細画面(操作画面)

A タッチし続けると、映像を早戻しします。
手を離すと、その位置から再生します。

B 映像の再生を一時停止します。
再度タッチすると、停止した位置から再生します。

C タッチし続けると、映像を早送りします。
手を離すと、その位置から再生します。
一時停止中にタッチし続けると、スロー再生します。

D チャプターが切り替わります。
“Rear-DISC” 選択時にタッチし続けると、映像を早戻しします。
手を離すと、その位置から再生します。

E 映像の再生を停止します。

F チャプターが切り替わります。
“Rear-DISC” 選択時にタッチし続けると、映像を早戻しします。
手を離すと、その位置から再生します。
一時停止中にタッチし続けると、スロー再生します。

G トップメニュー画面を表示します。(→P.271)

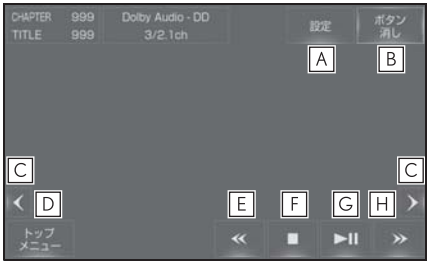
▶ オーディオ詳細画面（十字キー画面）

A 後席ディスプレイに操作スイッチを表示します。(→P.270)

■ 後席ディスプレイ

1 オーディオ詳細画面（十字キー画面）(→P.252) で、“オプション” にタッチ。

2 4 方向スイッチで、スイッチを選択。



A 初期設定画面を表示します。(→P.272)

B スイッチの表示を消します。

C ページを切り替えます。

D トップメニュー画面を表示します。(→P.271)

E 選択し続けると、映像を早戻しします。
手を離すと、その位置から再生します。

F 映像の再生を停止します。

G 映像の再生を一時停止します。
再度選択すると、再生します。

H 選択し続けると、映像を早送りします。

手を離すと、その位置から再生します。
一時停止中に選択し続けると、スロー再生します。

I タイトル番号を入力し“完了”を選択すると、そのタイトル番号の映像を再生します。

J チャプター番号を入力し“完了”を選択すると、そのチャプター番号の映像を再生します。

K ディスクのあらかじめ決められた位置へ移動し、その位置から再生します。

L 音声が複数収録されているディスクの場合、“音声”を選択するごとに、音声が切り替わります。

M 字幕が複数収録されているディスクの場合、“字幕”を選択するごとに、字幕言語が切り替わります。

“字幕消し”を選択すると、字幕が消えます。再度選択すると、表示されます。

メニュー項目を操作する

トップメニュー画面は DVD ビデオ、BDビデオおよびAVCHD再生時のみ、メニュー画面は DVD ビデオ再生時のみ、ポップアップメニューは BD ビデオ再生時のみ表示されます。

■ リヤマルチオペレーションパネル

1 オーディオ詳細画面（操作画面）(→P.262、265）で、“トップメニュー”または“メニュー”にタッチ。

2 にタッチ。

3 4 方向スイッチで、メニュー項目を選択。

■ 後席ディスプレイ

1 オーディオ詳細画面（十字キー画面）(→P.252) で、“オプション”にタッチ。

2 “トップメニュー”、“メニュー”、または“ポップアップメニュー”を選択。

3 4 方向スイッチで、メニュー項目を選択。

暗証番号入力画面が表示されたとき

▶ BD/DVD ビデオ再生時のみ

1 オーディオ詳細画面（十字キー画面）(→P.252) で、数字を選び、暗証番号を入力する。

2 “完了”を選択。

DVD/Blu-ray の初期設定をする

1 “設定” を選択。

2 各項目を設定し、“完了” を選択。

A 優先して聞きたい音声の言語を設定します。

言語コード（→P.244）を指定する場合は、“その他” → 言語コードを入力 → “完了” の順に選択

B 優先して表示したい字幕の言語を設定します。

言語コード（→P.244）を指定する場合は、“その他” → 言語コードを入力 → “完了” の順に選択

C ディスク独自のメニュー項目に表示される言語を設定します。

言語コード（→P.244）を指定する場合は、“その他” → 言語コードを入力 → “完了” の順に選択

D マルチアングル（→P.316）で記憶されているディスクを再生させているときに、マルチアングルマークを表示する／しないを選択できます。

- “表示”：マルチアングルマークを表示する
- “非表示”：マルチアングルマークを表示しない

E 視聴制限レベルを設定します。（→P.273）

F 選択後、“はい” を選択すると、本機に記録されたレジューム機能などの情報を削除します。（BD ビデオのみ）

G 視聴制限年齢を設定します。（→P.273）

H BD ビデオのディスク挿入後に最初に再生する箇所を飛ばし、本編をすぐに再生する／しないを選択できます。

- “ON”：ディスク挿入後に最初に再生する箇所を飛ばす
- “OFF”：ディスク挿入後に最初に再生する箇所を飛ばさない

I 音声の最大値と最小値の比を、“MAX”・“MID”・“MIN”・“AUTO” の中から選択できます。

- “MAX”：最大ダイナミックレンジ
- “MID”：標準ダイナミックレンジ
- “MIN”：最小ダイナミックレンジ
- “AUTO”：Dolby TrueHD のときにコンテンツの意図に従います。

J BD ビデオの副音声 / 操作音の出力する / しないを設定できます。（“Rear-DISC” 選択時のみ）

- “ON”：BD ビデオの副音声 / 操作音を出力する
- “OFF”：BD ビデオの副音声 / 操作音を出力しない

K 初期設定の状態に戻します。

視聴制限、視聴制限年齢設定以外の項目が初期設定の状態に戻ります。

知識

●音声ダイナミックスイッチについて
・音声ダイナミックの設定は、Dolby Digital、Dolby TrueHD 音声時のみ有効です。
・“AUTO” は、BD ビデオ再生中（“Rear-DISC” 選択時）のみ選択できます。
・“MIN” は、BD ビデオ再生時（“Rear-DISC” 選択時）は選択できません。

●BD ビデオ副音声 / 操作音設定スイッチについて
・BDビデオ副音声/操作音設定を “ON” に設定した場合、副音声 / 操作音が収録されている区間にて副音声 / 操作音が出力できますが、HD 音声 (5.1ch など) の出力はされなくなります。ただし、以下の条件にすべて当てはまる区間を再生中は、HD 音声 (5.1ch など) の出力ができます。
・インタラクティブオーディオ（効果音）が存在していない
・セカンダリオーディオ（映画の解説など）が存在していない
・BD-J タイトルではない
・BD ビデオ副音声 / 操作音設定を “OFF” に設定した場合、HD 音声 (5.1ch 等) の出力ができますが、副音声 / 操作音が収録されている区間においては、副音声 / 操作音が出力されなくなります。

視聴制限レベルを設定する

1 “ 視聴制限 ” を選択。
2 4 桁の暗証番号を入力し、“ 完了 ” を選択。

● 暗証番号が未設定のとき（「－－－－」が表示されているとき）は、入力した番号が暗証番号として登録されます。

● 暗証番号入力時、“ 修正 ” を連続して 10 回選択すると、暗証番号を初期化（未設定の状態に）することができます。

3 設定したい視聴制限レベルを選択。

● 視聴制限レベルについては、「視聴制限」P.315 をご覧ください。

視聴制限年齢を設定する

1 “ 視聴制限年齢設定 ” を選択。
2 4 桁の暗証番号を入力し、“ 完了 ” を選択。

● 暗証番号が未設定のとき（「－－－－」が表示されているとき）は、入力した番号が暗証番号として登録されます。

● 暗証番号入力時、“ 修正 ” を連続して 10 回選択すると、暗証番号を初期化（未設定の状態に）することができます。

3 視聴制限年齢を入力し、“ 完了 ” を選択。

● 視聴制限年齢の設定を解除するときは、「255」を入力します。

サウンドライブラリを操作する

サウンドライブラリ操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で“サウンドライブラリ”を選択します。

操作画面

■ **リヤマルチオペレーションパネル**

A タッチし続けると、早送り / 早戻しします。
手を離すと、その位置から再生します。

B 再生を一時停止します。
再度タッチすると、再生します。

C トラックが切り替わります。
タッチし続けると、アルバムが切り替わります。

D アルバムが切り替わります。

■ **後席ディスプレイ**

A 選択するたびに、再生中の曲をリピート再生→再生中のアルバムをリピート再生→リピート解除の順に切り替わります。
ランダム再生時は選択するたびに、再生中の曲をリピート再生→リピート解除が切り替わります。

B 選択するたびにアルバム内でランダム再生→アルバムからランダム再生→ランダム解除の順に切り替わります。

USB メモリーを操作する

USB 端子（→P.187）に接続した USB メモリー内の音楽ファイルや動画ファイルを再生することができます。

USB メモリー操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で“USB” を選択します。

本機で使用できるUSBメモリーや記録できるファイルについては、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→P.301）をご覧ください。

操作画面（音楽ファイル）

■ リヤマルチオペレーションパネル

A タッチし続けると、早送り / 早戻しします。
手を離すと、その位置から再生します。

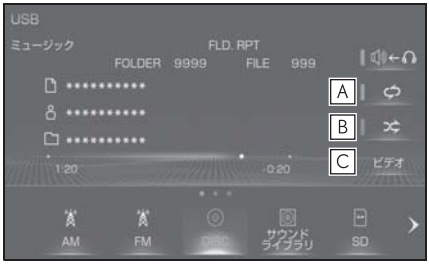
B 再生を一時停止します。
再度タッチすると、再生します。

C ファイル / トラックが切り替わります。

D フォルダが切り替わります。

E 動画ファイルを再生します。(→P.276)

■ 後席ディスプレイ



A 選択するたびに、再生中のファイル / トラックをリピート再生 →フォルダ / アルバム内の全ファイルをリピート再生→リピート解除が切り替わります。
ランダム再生時は選択するたびに、再生中のファイル / トラックをリピート再生→リピート解除が切り替わります。

B 選択するたびに、フォルダ / アルバム内でランダム再生→全フォルダ / アルバムからランダム再生 →ランダム解除の順に切り替わります。

C 動画ファイルを再生します。(→P.276)

操作画面（動画ファイル）

■ リヤマルチオペレーションパネル

▶ オーディオ詳細画面（操作画面）

A タッチし続けると、映像を早戻しします。
手を離すと、その位置から再生します。

B 映像の再生を一時停止します。
再度タッチすると、停止した位置から再生します。

C タッチし続けると、映像を早送りします。
手を離すと、その位置から再生します。
一時停止中にタッチし続けると、スロー再生します。

D ファイルが切り替わります。

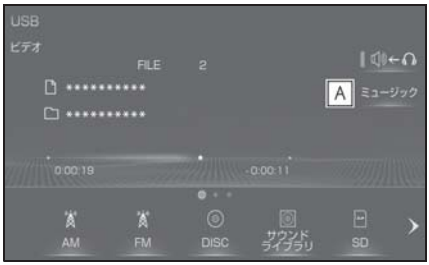
E 映像の再生を停止します。

F 音楽ファイルを再生します。(→P.275)

▶ オーディオ詳細画面（十字キー画面）

A 後席ディスプレイに操作スイッチを表示します。(→P.276)

■ 後席ディスプレイ（ソース選択画面）

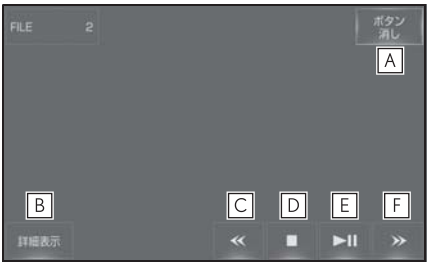


A 音楽ファイルを再生します。(→P.275)

■ 後席ディスプレイ（オプション画面）

1 オーディオ詳細画面（十字キー画面）(→P.252) で、“オプション” にタッチ。

2 4 方向スイッチで、スイッチを選択し、“決定” にタッチ。



A スイッチの表示を消します。

B 動画ファイルの詳細情報を表示する。

C 選択し続けると、映像を早戻しします。
手を離すと、その位置から再生します。

D 映像の再生を停止します。

E 映像の再生を一時停止します。
再度選択すると、再生します。

F 選択し続けると、映像を早送りします。
手を離すと、その位置から再生します。
一時停止中に選択し続けると、スロー再生します。

iPod を操作する

iPod 操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で “iPod”（機器名称）を選択します。iPod を接続すると、オーディオソース画面には、その機器名称のスイッチが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

本機で使用できる iPod については、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→P.301）をご覧ください。

操作画面

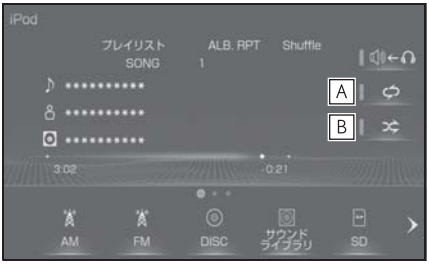
■ **リヤマルチオペレーションパネル**

A タッチし続けると、早送り / 早戻しします。
手を離すと、その位置から再生します。

B 再生を一時停止します。
再度タッチすると、再生します。

C トラックが切り替わります。

■ 後席ディスプレイ



A 選択するたびに、リピート再生が次のように切り替わります。

・iPhone 5 以降の機種：
再生中のトラックをリピート再生 → アルバム内の全トラックをリピート再生 → リピート解除が切り替わります。

・iPhone 4S 以前の機種：
再生中のトラックをリピート再生 → リピート解除が切り替わります。

・シャッフル再生時は、再生中のトラックをリピート再生 → リピート解除が切り替わります。

B 選択するたびに、アルバム内でシャッフル再生→全アルバムからシャッフル再生→シャッフル解除の順に切り替わります。

Bluetooth オーディオを操作する

動作確認済の Bluetooth ポータブルオーディオプレーヤー※（以下「ポータブル機」）を本機に接続することで、ポータブル機を直接操作することなく使用できます。

Bluetooth 操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で“Bluetooth” を選択します。

Bluetooth オーディオを使用するためには、まず本機にポータブル機を登録することが必要です。**（→P.36）**

本システムに接続するポータブル機が対応していなければならない仕様については、「Bluetooth について」（→P.322）をご覧ください。ただし、ポータブル機の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 携帯電話のオーディオプレーヤーを含む。
Bluetooth オーディオ対応のアダプターについては、動作確認を実施していません。
本機で動作確認済みの携帯電話の機種については、レクサス販売店またはhttp://lexus.jpでご確認ください。

操作画面

■ リヤマルチオペレーションパネル

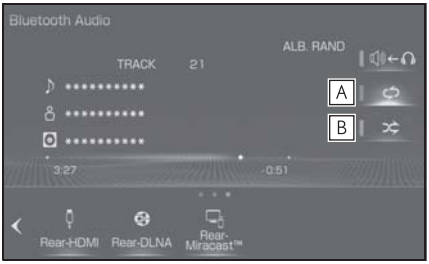
A タッチし続けると、早送り / 早戻しします。
手を離すと、その位置から再生します。

B 再生を一時停止します。
再度タッチすると、再生します。

C トラックが切り替わります。

D アルバムが切り替わります。

■ 後席ディスプレイ



A 選択するたびに、再生中のトラックをリピート再生→アルバム内の全トラックをリピート再生 → リピート解除が切り替わります。
ランダム再生時は選択するたびに、再生中のトラックをリピート再生→リピート解除が切り替わります。

B 選択するたびに、アルバム内でランダム再生→全アルバムからランダム再生→ランダム解除の順に切り替わります。

地上デジタルテレビを視聴する

デジタルTV操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で“TV”を選択します。

操作画面

■ リヤマルチオペレーションパネル

▶ オーディオ詳細画面（操作画面）

A チャンネルが切り替わります。

長押しすると、受信感度が良く、現在受信している周波数に一番近いチャンネルを選択します。再度タッチすると、選択を停止します。

B プリセットスイッチに記憶されている順にチャンネルが切り替わります。

C データ放送画面を表示します。(→P.282)

D 番組表を表示します。(→P.280)

▶ オーディオ詳細画面（12 キー画面）

A プリセットスイッチに記憶されているチャンネルを選択できます。

EPG(電子番組表)から見たい番組を選ぶ

EPG とは放送局が提供する、画面上で見ることができるテレビ番組表です。画面上で見たい番組を選ぶことができます。

1 オーディオ詳細画面（操作画面）(→P.280) で、“番組表” にタッチ。

2 オーディオ詳細画面（十字キー画面）(→P.252) で、4 方向スイッチ にタッチし、見たい番組を選択。

● 色ボタンの（青）にタッチすると、番組表の表示が切り替わります。

● 色ボタンの（黄）にタッチすると、デジタルTVの全画面映像に切り替

わります。

自動でチャンネルを記憶する

自動で受信可能なチャンネルを、一時的にプリセットスイッチに記憶させることができます。

旅先などで放送局のチャンネルがわからないときなどに便利です。

後席ディスプレイでチャンネルを記憶させると、前席のナビゲーションシステムにも同じチャンネルが記憶されます。

1 オーディオ詳細画面（操作画面）(→P.280) で、“番組表” にタッチ。

2 オーディオ詳細画面（十字キー画面）(→P.252) で、色ボタン（緑）にタッチし続ける。

● 後席ディスプレイに「AUTO.P」の表示が出ます。

● チャンネルの記憶操作が終了すると、“ピッピッ” と音がして記憶した中で一番小さいチャンネルを受信します。

● 記憶されたチャンネルがプリセットスイッチに表示されます。

● 再度色ボタン（緑）にタッチすると、AUTO.P を解除します。

知識

●自動でチャンネルを記憶させても、スイッチ操作する前（「AUTO.P」の表示が出ていないとき）に記憶させたチャンネルは消去されません。

●「AUTO.P」を解除すると、スイッチ操作する前のチャンネルがプリセットスイッチに表示されます。

●受信感度の良いチャンネルを低い順に 12 局まで自動的に記憶します。受信チャンネルが 12 局未満のときは、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

●地域や車の向きなどの条件により、すべてのチャンネルの受信感度が悪い場合、自動で記憶できないことがあります。

●同じ放送局からの受信でも、選局スイッチで選択し記憶させたチャンネルと色ボタン（緑）で記憶させたチャンネルは一致しないことがあります。

●色ボタン（緑）によるチャンネルの記憶操作を同じ場所で繰り返しても、受信感度の状態によっては、操作ごとに記憶されるチャンネルが異なることがあります。

●色ボタン（緑）でチャンネルを記憶した地域から移動して、放送局名とチャンネル番号が一致しない場合は、再度色ボタン（緑）で記憶しなおしてください。

エリアスイッチについて

あらかじめナビゲーションがエリアごとに記憶しているチャンネルを表示させることができます。（GPS の自車位置情報により、今いる地域で放送されている放送局の局名とチャンネルがプリセットスイッチに表示されます。）旅先などで放送局のチャンネルがわからないときなどに便利です。

1 オーディオ詳細画面（操作画面）(→P.280) で、“番組表” にタッチ。

2 オーディオ詳細画面（十字キー画面）(→P.252) で、色ボタン（赤）にタッチ。

● 後席ディスプレイに「エリア .P」の表示が出ます。

● 再度色ボタン（赤）にタッチすると、エリア .P を解除します。

データ放送を見る

データ放送とはデジタルテレビ映像の他に、図形や文字の情報を付加した放送です。受信するデータ放送により、番組の内容と関係ないニュースや天気、交通情報などの独立した情報や番組に連動した情報を見ることができます。画面に表示される説明の順に操作すると、さまざまな情報を見ることができます。受信したデータ放送は色ボタン、カーソルなどで操作します。操作方法は受信したデータ放送により異なります。

1 オーディオ詳細画面（操作画面）(→P.280) で、“d” にタッチ。

2 データ放送を操作する。

● 画面に表示される説明の順に操作すると、さまざまな情報を見ることができます。受信したデータ放送は色ボタン、4 方向スイッチで操作します。操作方法は受信したデータ放送により異なります。

● オーディオ詳細画面（十字キー画面）で、“戻る” にタッチすると、データ放送画面を、ひとつ前に表示させていた画面に戻ります。

知識

●本機はワンセグ放送のデータ放送には対応していません。

●データ放送を受信可能な場合、デジタルテレビ番組表画面に “d” が表示されます。

SD メモリーカードを操作する

SD メモリーカード操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で “SD” または “Rear-SD” を選択します。

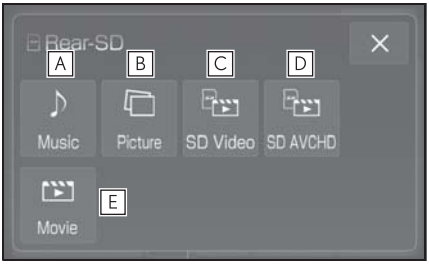
本機で使用できる SD メモリーカードや記録できるファイルについては、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→P.301）をご覧ください。

再生モードを選択する（“Rear-SD” 選択時）

■ リヤマルチオペレーションパネル

1 Rear-SD 操作画面で、“SD メニュー” にタッチ。

2 再生モードにタッチ。



A 音楽ファイルを再生します。（→P.284）

B 写真一覧画面を表示します。（→P.285）

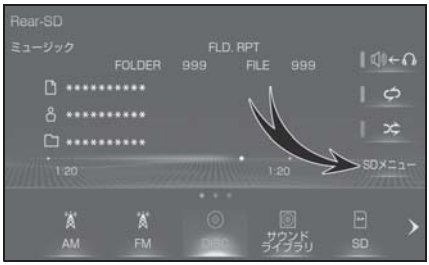
C 動画ファイル（SD-Video）を再生します。（→P.286）

D 動画ファイル（AVCHD）を再生します。（→P.286）

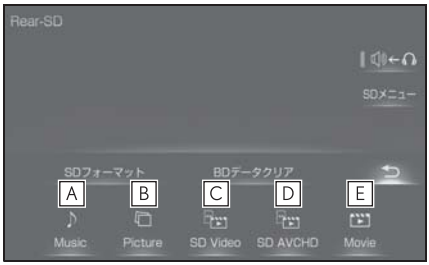
E 動画ファイル（Movie）を再生します。（→P.286）

■ 後席ディスプレイ

1 オーディオ詳細画面（十字キー画面）（→P.252）で、4 方向スイッチにタッチし、“SD メニュー” を選択。



2 4 方向スイッチにタッチし、再生モードを選択。



A 音楽ファイルを再生します。（→P.284）

B 写真一覧画面を表示します。（→P.285）

C 動画ファイル（SD-Video）を再生します。（→P.286）

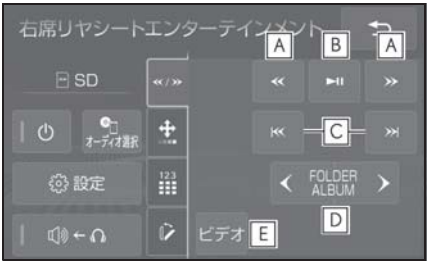
D 動画ファイル（AVCHD）を再生します。(→P.286)

E 動画ファイル（Movie）を再生します。(→P.286)

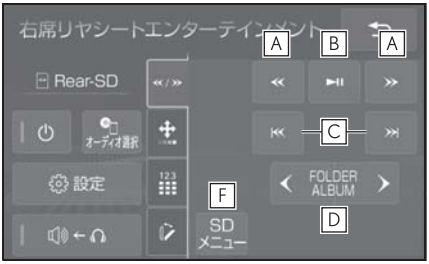
操作画面（音楽ファイル）

■ リヤマルチオペレーションパネル（オーディオ詳細画面）

▶ 操作画面（“SD” 選択時）



▶ 操作画面（“Rear-SD” 選択時）



A タッチし続けると、早送り / 早戻しします。
手を離すと、その位置から再生します。

B 再生を一時停止します。
再度タッチすると、再生します。

C ファイルが切り替わります。
“Rear-SD” 選択時にタッチし続けると、映像を早戻し / 早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

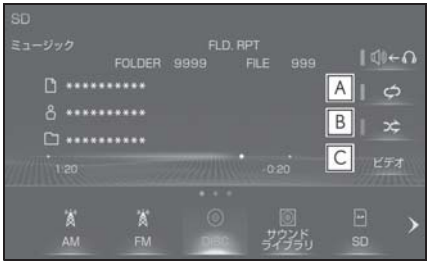
D フォルダが切り替わります。

E “SD” 選択時：
動画ファイルを再生します。(→P.286)

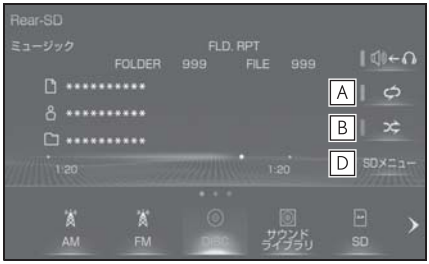
F “Rear-SD” 選択時：
SD メニュー画面を表示します。(→P.283)

■ 後席ディスプレイ

▶ “SD” 選択時



▶ “Rear-SD” 選択時



A 選択するたびに、再生中のファイル / トラックをリピート再生 →フォルダ / アルバム内の全ファイルをリピート再生→リピート解除が切り替わります。
ランダム再生時は選択するたびに、再生中のファイル / トラックをリピート再生→リピート解除が切り替わります。

B 選択するたびに、フォルダ / アルバム内でランダム再生→全フォル

ダ / アルバムからランダム再生 → ランダム解除の順に切り替わります。

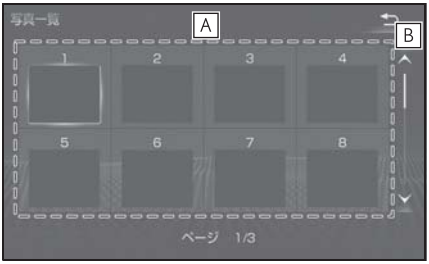
C “SD” 選択時：
動画ファイルを再生します。(→P.286)

D “Rear-SD” 選択時：
SD メニュー画面を表示します。(→P.283)

操作画面（写真ファイル：“Rear-SD” 選択時）

■ 写真選択画面

1 オーディオ詳細画面（十字キー画面）(→P.252) で、4 方向スイッチにタッチし、写真を選択。



A 写真を全画面で表示します。

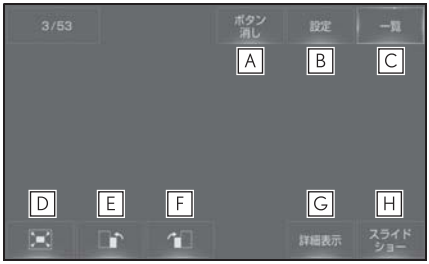
B ページが切り替わります。

■ 写真操作画面

1 写真を選択。(→P.285)

2 オーディオ詳細画面（十字キー画面）(→P.252) で、“ オプション ” にタッチ。

3 4 方向スイッチで、スイッチを選択。



A スイッチの表示を消します。

B 写真設定画面を表示します。(→P.285)

C 写真選択画面を表示します。(→P.285)

D 画像を拡大 / 縮小します。

E 画像の表示を左に回転します。

F 画像の表示を右に回転します。

G 画像ファイルの情報を表示します。

H スライドショーを表示します。

オーディオ詳細画面（十字キー画面）(→P.252) で、“ 決定 ” または “ オプション ” にタッチするとスライドショーが終了します。

■ 写真設定画面

1 写真操作画面を表示する。(→P.285)

2 “ 設定 ” を選択。

3 4 方向スイッチ (→P.252) で設定項目を選択。

A スライドショーの間隔を設定できます。

“5 秒”、“10 秒”、“15 秒”、“30 秒”、“60 秒” から選択できます。

B スライドショーの表示が切り替わるときの表現を設定できます。

“フェード”、“スライド”、“ワイプ 1”、“ワイプ 2”、” ディゾルブ”、“ズーム”、“なし” から選択できます。

C リピート再生のする / しないを設定できます。

・ “ON”：リピート再生する
・ “OFF”：リピート再生しない

D 設定を初期状態に戻します。

操作画面（動画ファイル）

■ リヤマルチオペレーションパネル（オーディオ詳細画面）

▶ 操作画面（SD-Video/SD AVCHD：“SD” 選択時）

▶ 操作画面（Moive：“SD” 選択時）

A タッチし続けると、映像を早戻しします。
手を離すと、その位置から再生します。

B 映像の再生を一時停止します。
再度タッチすると、停止した位置から再生します。

C タッチし続けると、映像を早送りします。
手を離すと、その位置から再生します。
一時停止中にタッチし続けると、スロー再生します。

D チャプター / ファイルが切り替わります。

SD-Video の場合、タッチし続けると、プログラム / プレイリストが切り替わります。

E 映像の再生を停止します。

F チャプター / ファイルが切り替わります。

SD-Video のの場合、タッチし続けると、プログラム / プレイリストが切り替わります。

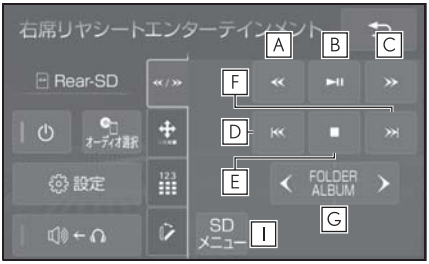
G フォルダが切り替わります。

H 音楽ファイルを再生します。(→P.284)

▶ 操作画面（SD-Video：“Rear-SD” 選択時）

▶ 操作画面（SD AVCHD：“Rear-SD” 選択時）

▶ 操作画面（Moive：“Rear-SD” 選択時）



A タッチし続けると、映像を早戻しします。
手を離すと、その位置から再生します。

B 映像の再生を一時停止します。
再度タッチすると、停止した位置から再生します。

C タッチし続けると、映像を早送りします。
手を離すと、その位置から再生します。
一時停止中にタッチし続けると、スロー再生します。

D チャプター / ファイルが切り替わります。
タッチし続けると、映像を早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

SD-Video の場合、タッチし続けると、プログラム / プレイリストが切り替わります。

E 映像の再生を停止します。

F チャプター / ファイルが切り替わります。
タッチし続けると、映像を早送りします。手を離すと、その位置から再生します。一時停止中にタッチし続けると、スロー再生します。

SD-Video の場合、タッチし続けると、プログラム / プレイリストが切り替わります。

G フォルダが切り替わります。

H 動画ファイル特有のメニュー項目を操作できます。(→P.271)

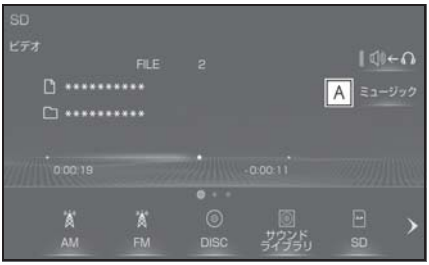
I SD　メニュー画面を表示します。(→P.283)

▶ 十字キー画面

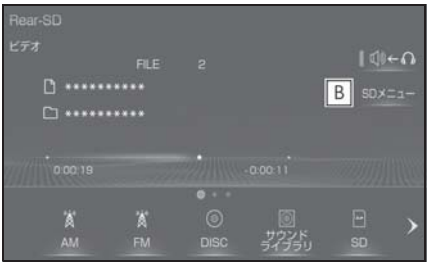
A 後席ディスプレイに操作スイッチを表示します。(→P.288)

■ **後席ディスプレイ（ソース選択画面）**

▶ “SD” 選択時



▶ “Rear-SD” 選択時



A 音楽ファイルを再生します。(→P.284)

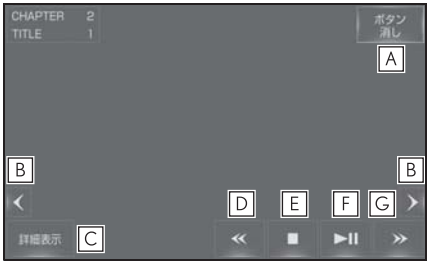
B SD メニュー画面を表示します。(→P.283)

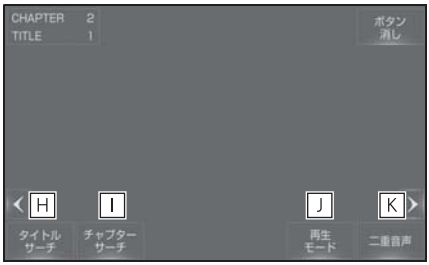
■ **後席ディスプレイ（オプション画面）**

1 オーディオ詳細画面（十字キー画面）(→P.252) で、“オプション” にタッチ。

2 4 方向スイッチで、スイッチを選択。

▶ SD-Video





A スイッチの表示を消します。

B ページを切り替えます。

C 動画ファイルの詳細情報を表示します。

D 選択し続けると、映像を早戻しします。
手を離すと、その位置から再生します。

E 映像の再生を停止します。

F 映像の再生を一時停止します。
再度選択すると、停止した位置から再生します。

G 選択し続けると、映像を早送りします。
手を離すと、その位置から再生します。
一時停止中に選択し続けると、スロー再生します。

H タイトル番号を入力し “完了” を選択すると、そのタイトル番号の映像を再生します。

I チャプター番号を入力し “ 完了 ” を選択すると、そのチャプター番号の映像を再生します。

J 動画ファイルにプレイリストが作成されている場合、“ 再生モード ” を選択するごとに、再生モードが切り替わります。

K 音声多重で収録されている動画ファイルの場合、“ 主 / 副 ” を選択するごとに、主音声、副音声、主音声/副音声が切り替わります。

▶ SD AVCHD

A スイッチの表示を消します。

B ページを切り替えます。

C 動画ファイルの詳細情報を表示します。

D 動画ファイル特有のメニュー項目を操作できます。(→P.271)

E 選択し続けると、映像を早戻しします。
手を離すと、その位置から再生します。

F 映像の再生を停止します。

G 映像の再生を一時停止します。
再度選択すると、停止した位置から再生します。

H 選択し続けると、映像を早送りします。
手を離すと、その位置から再生します。
一時停止中に選択し続けると、スロー再生します。

I タイトル番号を入力し “ 完了 ” を選択すると、そのタイトル番号の映像を再生します。

J チャプター番号を入力し “ 完了 ” を選択すると、そのチャプター番号の映像を再生します。

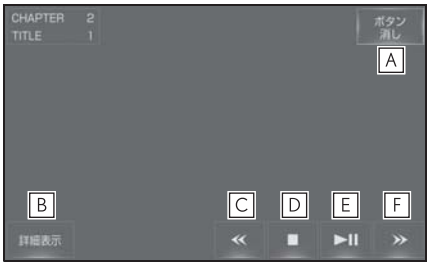
K 動画ファイルのあらかじめ決められた位置へ移動し、その位置から再生します。

L 音声が複数収録されているディスクの場合、“ 音声 ” を選択するごとに、音声が切り替わります。

M 字幕が複数収録されているディスクの場合、“ 字幕 ” 選択するごとに、字幕言語が切り替わります。

“ 字幕消し ” を選択すると、字幕が消えます。再度選択すると、表示されます。

▶ Movie



A スイッチの表示を消します。

B 動画ファイルの詳細情報を表示します。

C 選択し続けると、映像を早戻しします。
手を離すと、その位置から再生します。

D 映像の再生を停止します。

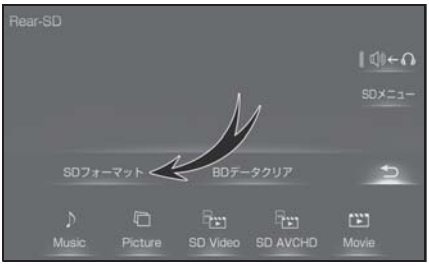
E 映像の再生を一時停止します。
再度選択すると、停止した位置から再生します。

F 選択し続けると、映像を早送りします。
手を離すと、その位置から再生します。
一時停止中に選択し続けると、スロー再生します。

SD メモリーカードを初期化する（“Rear-SD” 選択時）

1 オーディオ詳細画面（十字キー画面）(→P.252) で、4 方向スイッチにタッチし、“SD メニュー” を選択。

2 4 方向スイッチにタッチし、“SD フォーマット” を選択。



3 “はい” を選択。

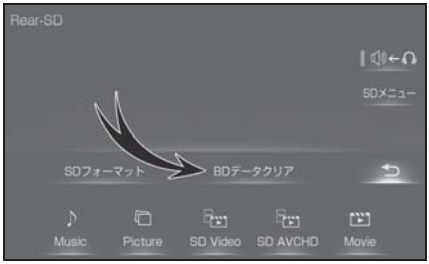
● 初期化を行うと、すべてのデータが消去され、元に戻すことはできません。

BD データを削除する（“Rear-SD” 選択時）

再生したBDビデオのブックマークやコンテンツのレジューム情報を削除することができます。

1 オーディオ詳細画面（十字キー画面）(→P.252) で、4 方向スイッチにタッチし、“SD メニュー” を選択。

2 4 方向スイッチにタッチし、“BD データクリア” を選択。



3 “はい” を選択。

知識

● SD カード内に本機以外で保存されたデータが含まれていた場合、BD データの削除はできません。

AUX/HDMI を操作する

ミニプラグケーブルを使用して、AUX 端子（→P.187）に接続した外部機器を再生することができます。
AUX 操作画面を表示するには、接続した機器の電源を入れた後、オーディオソース選択画面で“AUX” を選択します。

市販のケーブルを使用して、HDMI 端子（→P.255）に接続した外部機器を再生することができます。
HDMI 操作画面を表示するには、接続した機器の電源を入れた後、オーディオソース選択画面で“Rear-HDMI” を選択します。

本機で使用できる HDMI 機器については、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→P.301）をご覧ください。

知識

- AUX モード中に AUX 端子側のミニプラグを抜いたり、接続する機器側のミニプラグケーブルを抜き差ししたりすると、雑音が出ることがあります。

DLNA を操作する

DLNA は、スマートフォンもしくはタブレットの機器やメーカーを問わず、ネットワークを通じて、映像/音楽/写真をやりとりできるようにする機能です。車載機とデバイスは Wi-Fi® 接続で通信します。
Rear-DLNA 操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で“Rear-DLNA” を選択します。

知識

- Wi-Fi は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。
- 本機能はベストエフォート型の機能です。
- 本機はDLNAのレンダラー機能に対応しています。DLNA サーバー機能を備えた機器のコンテンツを再生することができます。DLNA サーバーには、DMC と互換性を持つソフトウェアをインストールしてください。
- モバイル機器の操作可能範囲は、通信環境や接続するモバイル機器の機種によって変わります。お使いの機器によっては、DLNA 機能使用中にインターネット接続できなくなることがあります。
詳細については、モバイル機器の取扱説明書などでご確認ください。
- ハンズフリーやBluetooth オーディオなど Bluetooth 通信を使用するソースと Wi-Fi® 通信を使用するソースは干渉するため、同時に視聴することはできません。例えば、前席のナビゲーションシステムで Bluetooth オーディオをお聞きになっているとき、後席ディスプレイでは Rear-DLNA を視聴できません。
- Bluetooth オーディオ、Apps、ハンズフ

リー着信などでBluetooth通信を使用する場合、後席の Wi-Fi® 通信は切断されるため、Rear-DLNA を利用できません。

●Wi-Fi® ネットワーク接続（→P.50）を“する”にしていると、Wi-Fi® ネットワーク接続の通信と、DLNA の通信の相互に影響をあたえ、画像乱れや音途切れが発生するときがあります。その場合、Wi-Fi® ネットワーク接続を“しない”にすると影響を軽減することができます。

機器を接続する

1 Rear-DLNA 画面を表示する。（→P.250）

2 Wi-Fi® が ON になっていることを確認する。

● Wi-Fi® が ON のときは、作動表示灯が点灯します。

3 DLNA 対応機器を操作して、Wi-Fi® 接続する。

● 画面に表示されているアクセスポイントを選択します。

4 DLNA 対応機器を操作して、映像 / 音楽 / 写真を再生する。

● 次のようなときは、再生を停止します。

・DLNA 対応機器で、DLNA 機能を終了したとき
・“Wi-Fi” を OFF にしたとき
・他のオーディオソースを選択したとき

アクセスポイント名およびのパスワードを変更する

一度 Wi-Fi® 接続すると、次回から自動で接続される場合があります。自動接続されたくない場合は、“更新”を選択し、アクセスポイント名とパスワードを変更することができます。DLNA 対応機器がすでに接続されているときに更新を実施すると、すべての Wi-Fi® 接続が解除されます。

1 オーディオ詳細画面（十字キー画面）（→P.252）で、4 方向スイッチにタッチし、“更新”を選択。

2 “はい” を選択。

知識

●Wi-Fi® 情報を更新すると、接続済み機器との接続が解除されるため、再度接続の操作を行ってください。

操作画面（音楽ファイル）

■ リヤマルチオペレーションパネル

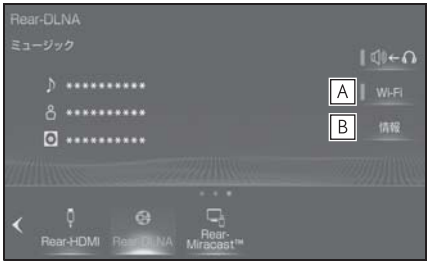
A タッチし続けると、早送り / 早戻しします。
手を離すと、その位置から再生します。

B 再生を一時停止します。
再度タッチすると、再生します。

知識

●一時停止、早送り／早戻しの操作は、接続機器やDLNAのアプリケーションにより機能しない場合があります。

■ 後席ディスプレイ



A 選択するごとに、Wi-Fi® 機能の ON/OFF が切り替わります。

・Wi-Fi® 機能の ON のときは、作動表示灯が点灯します。

B Wi-Fi®接続に関する情報を表示します。

操作画面（動画ファイル）

■ リヤマルチオペレーションパネル

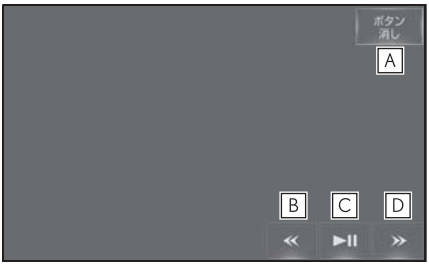
▶ オーディオ詳細画面（十字キー画面）

A 後席ディスプレイに操作スイッチを表示します。(→P.293)

■ 後席ディスプレイ

1 オーディオ詳細画面（十字キー画面）(→P.252) で、“オプション” にタッチ。

2 4 方向スイッチで、スイッチを選択。



A スイッチの表示を消します。

B 選択し続けると、映像を早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

C 再生を一時停止します。再度選択すると、再生します。

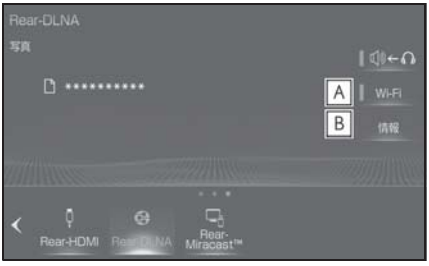
D 選択し続けると、映像を早送りします。手を離すと、その位置から再生します。
一時停止中に選択し続けると、スロー再生します。

知識

●一時停止、早送り／早戻しの操作は、接続機器やDLNAのアプリケーションにより機能しない場合があります。

操作画面（写真ファイル）

■ 後席ディスプレイ



A 選択するごとに、Wi-Fi® 機能の ON/OFF が切り替わります。

B Wi-Fi®接続に関する情報を表示します。

Miracast ™を操作する

Miracast ™は、スマートフォンもしくはタブレットの画面を、車載機の画面に表示したり、音声を再生する機能です。車載機とデバイスは Wi-Fi® 接続（P2P モード）で通信します。Miracast ™操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で “Rear-Miracast ™ ” を選択します。

知識

- Wi-Fi は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。
- 本機能はベストエフォート型の機能です。
- Miracast ™は機器によって、” スクリーンミラーリング ” 、” メディアアウトプット ” などと表示されることがあります。
- ハンズフリーやBluetoothオーディオなど Bluetooth 通信を使用するソースとWi-Fi® 通信を使用するソースは干渉するため、同時に視聴することはできません。例えば、前席のナビゲーションシステムでBluetoothオーディオをお聞きになっているとき、後席ディスプレイではRear-Miracast ™を視聴できません。
- Bluetooth オーディオ、Apps、ハンズフリー着信などでBluetooth通信を使用する場合、後席の Wi-Fi® 通信は切断されるため “Rear-Miracast™” を利用できません。
- Miracast ™は Bluetooth と同じ 2.4GHz 帯の電波を使った無線通信をします。利用環境によっては電波干渉などにより、相互に影響をあたえ、画像の乱れや音途切れが発生するときがあります。
- Wi-Fi® ネットワーク接続（→P.50）を “ する ” にしていると、Wi-Fi® ネットワーク接続の通信と、Miracast ™ の通信の相互に影響をあたえ、画像乱れや音途切れが発生するときがあります。その場合、Wi-Fi® ネットワーク接続を “ しない ” にすると影響を軽減することができます。

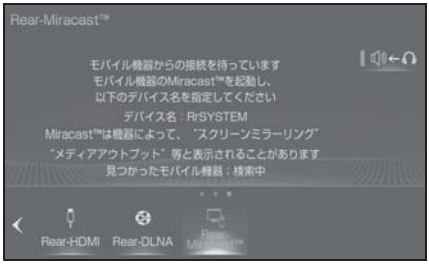
接続できる機器について

Miracast ™機能をサポートする Android スマートフォンとタブレットでご使用できます。Miracast ™の対応状況については、機器に添付の取扱説明書などでご確認ください。

機器を接続する

1 Rear-Miracast ™操作画面を表示する。（→P.250）

2 Miracast™対応機器で、Miracast™を起動し、接続する。



- 後席ディスプレイに表示されているデバイス名を選択してください。
- 機器の操作については、機器に添付の取扱説明書でご確認ください。
- 次のようなときは、Miracast™の再生を停止します。

・ Miracast ™対応機器で、Miracast ™機能を終了したとき
・ 後席ディスプレイ側で切断の操作をしたとき (→P.296)
・ 他のオーディオソースを選択したとき

Miracast ™ の接続を切る

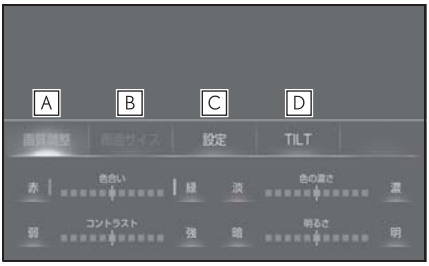
1 オーディオ詳細画面（十字キー画面）(→P.252) で、4 方向スイッチにタッチし、“ 切断 ” を選択。

後席ディスプレイ設定画面について

後席ディスプレイ設定画面を表示する

1 オーディオ詳細画面（→P.252）で、“設定”にタッチ。

2 オーディオ詳細画面（十字キー画面）(→P.252) で、4 方向スイッチにタッチし、調整する項目を選択。



A 画質を調整します。（→P.298）

B 画面モードを切り替えます。（→P.298）

C ディスプレイに関する各種設定を行います。
- 音声を出力したまま画面を消す（→P.298）
- 液晶 AI を設定する（→P.298）
- 超解像の設定をする（→P.299）

D ディスプレイの角度を調整します。(→P.299)

画質を調整する

1 後席ディスプレイ設定画面で、“画質調整”を選択。(→P.297)

2 画質を調整する。

A 色合いを調整します。
・“赤”：赤色を強くする
・“緑”：緑色を強くする

B 色の濃さを調整します。
・“淡”：色を淡くする
・“濃”：色を濃くする

C コントラストを調整します。
・“弱”：弱くする
・“強”：強くする

D 明るさを調整します。
・“暗”：暗くする
・“明”：明るくする

● 選択したオーディオソースにより表示されるスイッチは異なります。

画面モードを切り替える

1 後席ディスプレイ設定画面で、“画面サイズ”を選択。(→P.297)

2 画面モードを選択。

● 選択したオーディオソースにより表示されるスイッチは異なります。

● 各画面モードの内容については、「表示について」(→P.190)をご覧ください。

音声を出力したまま画面を消す

1 後席ディスプレイ設定画面で、“設定”を選択。(→P.297)

2 “画面消”を選択。

● 画面が消え、音声のみ出力されます。オーディオ詳細画面(→P.252)で、再度“設定”にタッチすると、画面が表示されます

映像のコントラストを最適化する

映像の明暗を自動判別してコントラ

ストを最適化し、メリハリのある画像を表示します。

1 後席ディスプレイ設定画面で、“設定”を選択。(→P.297)

2 “液晶AI”を選択。

● 選択するごとにONとOFFが切り替わります。

● “液晶AI”がONのときは、スイッチの作動表示灯が点灯します。

超解像の設定をする

画面の伸長の際に、一つの映像の中でも輪郭部やグラデーションの部分などの特徴に合わせて最適なフィルター処理をかけることで、解像感の向上を図ります。

1 後席ディスプレイ設定画面で、“設定”を選択。(→P.297)

2 “超解像”を選択。

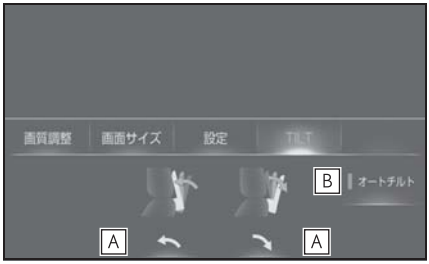
● 選択するごとにONとOFFが切り替わります。

● “超解像”がONのときは、スイッチの作動表示灯が点灯します。

ディスプレイの角度を調整する

1 後席ディスプレイ設定画面で、“TILT”を選択。(→P.297)

2 ディスプレイの角度を調整する。



A 選択するごとに角度が変わります。

B シート位置に応じて、ディスプレイの角度を自動で調整します。

・選択するごとにONとOFFが切り替わります。

・“オートチルト”がONのときは、スイッチの作動表示灯が点灯します。

注意

- “オートチルト” がONの場合、シートの位置を調整すると、それに合わせてディスプレイの角度も自動で調整されます。シートの位置を調整しているときは、ディスプレイに触れないでください。手などを挟んでけがをしたり、後席ディスプレイの故障の原因となります。
- ディスプレイの角度調整中は、手などを挟まないよう注意してください。けがをしたり、後席ディスプレイの故障の原因となります。
- 後席ディスプレイを手で動かさないでください。後席ディスプレイが損傷する恐れがあります。

オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて

メディアについて

使用できるディスク、SD メモリーカードなどの仕様は、下記の通りです。

■ ディスクについて

次のマークが表示されているディスクが使用できます。

	市販ディスク	記録されたディスク
CD	音楽 CD	CD-R/RW
	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable
	COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable
DVD	DVD ビデオ	DVD-R/RW
	DVD VIDEO	DVD R / DVD RW
Blu-ray	BD-ROM/BD-R/BD-RE	
	Blu-ray Disc	
Video CD	VIDEO CD	—

● “DVD Logo” はDVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。

● カラーテレビ方式は、NTSCおよびPAL 方式に対応しています。SECAM 方式に対応したディスクは再生することができません。

■ SD メモリーカードについて

本機は、SD 規格に準拠した次の SD メモリーカードに対応しています。

▶ 使用できる SD メモリーカード（前席ナビゲーションシステム）

使用できる SD メモリーカード	容量
microSD	512MB ～ 2GB
microSDHC	4GB ～ 32GB

▶ 使用できる SD メモリーカード（後席 11.6 型ワイドディスプレイ）

使用できる SD メモリーカード	容量
SD miniSD microSD	512MB ～ 2GB
SDHC miniSDHC microSDHC	4GB ～ 32GB
SDXC microSDXC	48GB ～ 512GB

▶ 制限事項

SD スピードクラス	Class4 以上を推奨
最大フォルダ数	3000（ルート含む）
最大フォルダ階層	8
最大ファイル数	9999（1 フォルダにつき、最大 255 ファイル）

■ USB メモリーのフォーマット、仕様について

使用できる USB メモリーのフォーマット、規格ならびに制限事項は次のとおりです。

USB コミュニケーションフォーマット	USB2.0 HS（480MBPS）
ファイルフォーマット	FAT 16/32
通信クラス	Mass storage class
最大フォルダ数	3000（ルート含む）
最大フォルダ階層数	8
最大ファイル数	9999（1 フォルダにつき、最大 255 ファイル）

- 上記フォーマット以外のファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。
- ご利用の USB メモリーによっては、本機で再生できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

知識

- ビデオフォーマットまたは VR フォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）で記憶された DVD-R/RW の再生に対応しています。また、CPRM 対応の DVD-R/RW の再生にも対応しています。
- BDMV フォーマットで記録された BD-ROM（1.1）、BD-R（1.0/2.0）、BD-RE（2.0/3.0）の再生に対応しています。
- BDAV フォーマットで記録した BD-R（1.0/2.0）、BD-RE（2.0/3.0）の再生に対応しています。
- 8cm ディスクには対応していません。
- カートリッジ付きの BD-RE（1.0）の再生には対応していません。
- Blu-ray/CD ハイブリッドディスクの Blu-ray Disc 層は再生できません。
- Ultra HD Blu-ray ディスクには対応していません。
- BD-XL には対応していません。
- BD-Live および Blu-ray 3D には対応していません。
  2D 映像の記録されている Blu-ray3D は 2D 再生で視聴可能です。
- コピーコントロール CD などの正式な CD 規格に準拠していない特殊ディスクには対応していません。
- CD-R/RW、DVD-R/RW は、記録状態、記録方法やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていないディスクは再生できません。
- CD-R、CD-RW は通常の音楽 CD に使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部の CD-R、CD-RW は再

生できない場合があります。また、ディスクに指紋や傷をつけた場合、再生できないことや、音飛びすることがあります。

●一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。なお、CD-R、CD-RW は紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

●microSD や miniSD などを使用する場合は、専用のアダプターが必要となります。

●microSD ロゴは SD-3C, LLC の商標です。

●microSDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。

●SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。

●マルチメディアカード（MMC）は使用できません。

●SD スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。

⚠ 注意

●ディスクには指紋、よごれ、キズ等をつけないように取り扱ってください。

●ディスクを扱うときは、中心の穴と端を挟んで持つか、両端を挟んで持ち、ラベル面を上にしてください。

●ディスクのよごれは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。手で強く押したり、かたい布でこすると表面に傷がつくことがあります。また、レコードスプレー・帯電防止剤・アルコール・ベンジン・シンナーなどの溶剤や化学ぞうきんなどを使用すると、ディスクが損傷し、使用できなくなるおそれがあります。

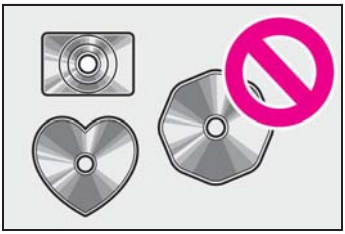
●ディスク取り出しスイッチを押して、ディスクが飛び出た状態のまま長時間放置しないでください。ディスクがそるなど変形し、使用できなくなるおそれがあります。

●ディスクは直射日光を避けて保管してください。ディスクがそるなど変形し、使用できなくなるおそれがあります。

●DualDisc には対応していません。機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。

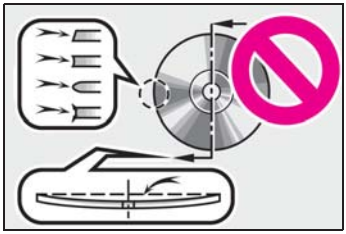
●レンズクリーナーを使用すると、プレーヤーのピックアップ部の故障の原因となるおそれがありますので、使用しないでください。

●直径 12cm の円形以外のディスクは再生できません。特殊形状のディスクは、機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。

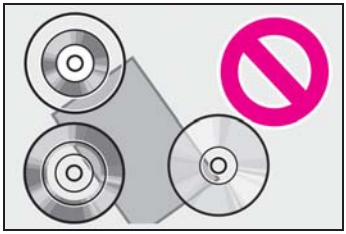


注意

●低品質または変形したディスクは機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。



●記録部分に透明または半透明部分があるディスクは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので、使用しないでください。



●セロハンテープ、シール、CD-R 用ラベルなどが貼ってあるディスクや、はがしたあとのあるディスクは使用しないでください。プレーヤーが正常に作動しなくなったり、ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となるおそれがあります。

●プリンタブルディスク（ラベル印刷面に対応したディスク）は使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

フォーマットについて

使用できる音楽データの仕様は、次の通りです。

■ MP3

対応規格	MP3（MPEG1 LAYER3、MPEG2 LSF LAYER3）
対応サンプリング周波数（kHz）	MPEG1 LAYER3：32、44.1、48 MPEG2 LSF LAYER3：16、22.05 、24
対応ビットレート（kbps）	MPEG1 LAYER3：32 ～ 320 MPEG2 LSF LAYER3：8 ～ 160 ※ VBR（Variable Bit Rate）に対応しています。
対応チャンネルモード	ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル
ID3 タグ	ID3 Ver.1.0、1.1、2.2、2.3、2.4（文字数は各 Ver, に準拠）

■ WMA

対応規格	WMA Ver.7、8、9（9.1、9.2） ※ DRM ファイルには対応していません。
対応サンプリング周波数（kHz）	8、11.025、16、22.05、32、44.1、48
対応ビットレート（kbps）	Ver7, 8, 9(9.1/9.2)：CBR（Constant Bit Rate）5 ～ 320 ※ VBR（Variable Bit Rate）に対応しています。 ※ マルチチャンネルの音源は 2ch に変換されます。

■ AAC

対応規格	MPEG2 AAC-LC MPEG4 AAC-LC ※ ADIF には対応していません。
対応サンプリング周波数（kHz）	16、22.05、24、32、44.1、48
対応ビットレート（kbps）	8 ～ 384 ※ VBR（Variable Bit Rate）に対応しています。
対応チャンネルモード	1ch（1/0）、2ch（2/0）、3ch（3/0、2/1）、4ch（2/2、3/1）、5.1ch（3/2.1） ※ デュアルチャンネルには対応していません。

■ WAV（LPCM）

対応サンプリング周波数（kHz）	8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48、88.2、96、176.4、192 ※ 48kHz/24bit 以上の音源は 48kHz/24bit にダウンコンバートします。
対応量子化 bit 数（bit）	16/24 ※ マルチチャンネルの音源は 2ch に変換されます。
対応チャンネルモード	1ch（1/0）、2ch（2/0）

■ FLAC

対応サンプリング周波数（kHz）	8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48、88.2、96、176.4、192 ※ 48kHz/24bit 以上の音源は 48kHz/24bit にダウンコンバートします。
対応量子化 bit 数（bit）	16/24 ※ マルチチャンネルの音源は 2ch に変換されます。

■ ALAC

対応 サンプリング 周波数 (kHz)	8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48、64、88.2、96 ※ 48kHz/24bit 以上の音源は 48kHz/24bit にダウンコンバートします。
対応 量子化 bit 数 (bit)	16/24 ※ マルチチャンネルの音源は 2ch に変換されます。

■ OGG Vorbis

対応サンプリング 周波数 (kHz)	8、11.025、16、22.05、32、44.1、48 ※ 48kHz/24bit 以上の音源は 48kHz/24bit にダウンコンバートします。
対応ビット レート (kbps)	32 ～ 500 ※ VBR（Variable BitRate）に対応しています。

■ ディスクに記録する場合のフォーマット

▶ ファイルフォーマット：ISO9660（LEVEL1、LEVEL2、LEVEL3、LEVEL4）

最大フォルダ名 (最大文字数)	半角 32 文字（全角 16 文字）
最大ファイル名 (最大文字数)	半角 32 文字（全角 16 文字）
文字コード	英数字（ASCII コード）
ディスクフォーマット	CD-ROM Mode1、CD-ROM XA Mode2 Form1、DVD-ROM
最大ディレクトリ階層	8 階層
最大書き込みフォルダ数	255（ルート含む）
最大書き込みファイル数	512

▶ ファイルフォーマット：拡張フォーマット（ROMEO　形式、JOLIET 形式、RockRidge 形式）

最大フォルダ名 (最大文字数)	半角 32 文字（全角 16 文字）
最大ファイル名 (最大文字数)	半角 32 文字（全角 16 文字）
文字コード	ROMEO 形式： 英数字（ASCII コード）日本語（S-JIS コード） JOLIET 形式： 英数字（ASCII コード）日本語（unicode） RockRidge 形式： 英数字（ASCII コード）
ディスクフォーマット	CD-ROM Mode1、CD-ROM XA Mode2 Form1、DVD-ROM
最大ディレクトリ階層	8 階層
最大書き込みフォルダ数	255（ルート含む）
最大書き込みファイル数	512

▶ ファイルフォーマット：UDF（1.02、1.50、2.00、2.01）

最大フォルダ名（最大文字数）	半角 32 文字（全角 16 文字）
最大ファイル名（最大文字数）	半角 32 文字（全角 16 文字）
文字コード	英数字（ASCII コード） 日本語（Unicode）
ディスクフォーマット	CD-ROM Mode1、CD-ROM XA Mode2 Form1、DVD-ROM
最大ディレクトリ階層	8 階層
最大書き込みフォルダ数	255（ルート含む）
最大書き込みファイル数	512

■ ファイル名について

MP3/WMA/AAC と認識し再生するファイルは MP3/WMA/AAC の拡張子 “.mp3” / “.wma” / “.m4a” がついたものだけです。
MP3/WMA/AAC ファイルには、“.mp3” / “.wma” / “.m4a” の拡張子をつけて保存してください。

■ ID3タグ/WMAタグ/AACタグについて

MP3 ファイルには、ID3 タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

WMA ファイルには、WMA タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名を保存することができます。

AAC ファイルには、AAC タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト、アルバム名を保存することができます。

■ マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3/WMA/AAC ファイルを追記した CD-R および CD-RW の再生が可能です。ただし、ファーストセッションのみ再生します。

■ マルチボーダーについて

マルチボーダーに対応しており、MP3/WMA/AAC ファイルを追記した DVD-R および DVD-RW の再生が可能です。ただし、ファーストボーダーのみ再生します。

ハイレゾリューション（ハイレゾ）音源について

本機はハイレゾ音源に対応しています。ハイレゾの定義は、一般社団法人電子技術産業協議会（JEITA）の定義に準拠しています。対応フォーマットと再生可能メディアについては、次の通りです。

■ 対応フォーマット

WAV、FLAC、ALAC、OGG Vorbis

■ 再生可能メディア

SD、USB

SD メモリーカード／USB メモリーから再生できる動画データについて

本機は、家庭用のレコーダーなどで SD メモリーカードに録画した動画

ファイルについては、SD VIDEO 規格（ISDB-T Mobile Video Profile/ H.264 Mobile Video Profile）に準拠した動画ファイルに対応しています。

フォーマット	コーデック
ISDB-T Mobile Video Profile	●動画コーデック：H.264（AVC） ●オーディオコーデック：AAC（256kbps）
H.264 Mobile Video Profile	●動画コーデック：H.264（AVC） ●オーディオコーデック：AAC（128kbps）

- 対応画像サイズは、ISDB-T Mobile Video Profile が 320×240、320×180 ピクセル、H.264 Mobile Video Profile が 640×480、640×360 です。
- 対応フレームレートは ISDB-T Mobile Video Profile が 15fps、H.264 Mobile Video Profile が 30fps です。

ビデオカメラなどでSDメモリーカードに記録した動画ファイルやパソコンから USB メモリーに記録した動画ファイルについては、次のフォーマットに対応しています。

フォーマット	コーデック
MPEG4 拡張子：.mp4 .m4v .m2ts	●動画コーデック：H.264、MPEG-4 AVC ●オーディオコーデック：AAC
AVI コンテナ 拡張子：.avi	●動画コーデック：MPEG-4、WMV9、WMV9 Advanced Profile、H.264 ●オーディオコーデック：MP3、AAC、WMA9.2（7、8、9.1、9.2）
Windows Media Video 拡張子：.wmv	●動画コーデック：WMV9、WMV9 Advanced Plofile ●オーディオコーデック：WMA9.2（7、8、9.1、9.2）
AVCHD 拡張子：.mts .m2t	●動画コーデック：H.264、MPEG-4 AVC ●オーディオコーデック：Dolby Digital

- 対応画像サイズは、最大 1920×1080 ピクセルです。
- 対応フレームレートは最大 60i ／ 30p です。
- 録画機器の種類や記録条件、使用する SD メモリーカードや USB メモリーによっては、動画を再生できない場合があります。

Blu-ray プレーヤーについて

- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプ

レーヤーの機能が停止します。画面に表示されたメッセージにしたがって操作しても、なお機能が停止しているときは、故障のおそれがありますのでレクサス販売店で点検を受けてください。

- 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、プレーヤー内部にも露（水滴）が生ずることがあります。この場合、音が飛んだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音跳びをすることがあります。

知識

- Blu-ray Disc ™、Blu-ray ™、BD-Live ™、BDXL™、AVCREC™及びその関連のロゴは、ブルーレイディスクアソシエーションの商標です。

Blu-ray Disc、DVD について

■ 再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について

ディスクには、表示させることができるプレーヤーの地域（国）を表す地域番号が表示されているものがあります。

地域番号が表示されているディスクでは、その表示の中に「2」（DVD ビデオ）、「A」（Blu-ray ビデオ）（日本を含む番号）が含まれていない、または「ALL」（DVD ビデオ）、「ABC」（BD ビデオ）（全世界向け）と表示されていないディスクは、この Blu-ray プレーヤーで再生させることができません。

このようなディスクを再生させようとしたときは、「リージョンコードエラー」というメッセージが画面に表示されます。

また、地域番号の表示がないディスクでも地域が制限されていることがありますので、その場合は、この Blu-ray プレーヤーで再生させることができないことがあります。

■ ディスクに表示されているマークについて

ディスクやパッケージに表示されているマークには、下記のものがあります。

マーク	意味
NTSC/PAL	カラーテレビの方式。
2	音声のトラック数。 ●数字が収録されている音声数。
2	字幕の言語数。 ●数字が収録されている言語数。
3	アングルの数。 ●数字が収録されているアングル数。

マーク	意味
16:9 LB 4:3	選択することができる画面モード。 ●「16：9」はワイド画面、「4：3」は標準画面。
DVD ビデオ ALL 2	再生可能な地域番号。 ●ALL は全世界向け、数字は地域番号。
BD ビデオ A A B C	再生可能な地域番号。 ●アルファベットは地域記号。

■ **ディスクの構成について**

ディスクに記憶されている映像や曲はいくつにも区切られています。

【例】

タイトル 1	チャプター 1
	チャプター 2
タイトル 2	チャプター 1
	チャプター 2
	チャプター 3
タイトル 3	チャプター 1

■ **タイトル**

ディスクに記憶されている映像や曲の区切りの一番大きい単位。通常は、映像ソフトでは映画 1 作品、音楽ソフトでは、アルバム 1 枚（あるいは 1 曲）にあたります。それぞれのタイトルに順につけられた番号をいいます。

■ **チャプター**

ディスクに記憶されている映像や曲の区切りで、タイトルより小さい単位。1 つのタイトルは、複数のチャプターで構成され、それぞれのチャプターに順につけられた番号をいいます。

知識

●ディスクによっては、再生中にタイトル番号、チャプター番号、再生時間が表示されないものもあります。

Blu-ray プレーヤーの用語について

より正しく有効に DVD や Blu-ray Disc 利用していただくために、次の用語の説明をご一読ください。

■ **DVD ビデオ**

動画の記憶されている DVD ビデオでは、デジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつである「MPEG2」（エムペグ 2）が採用され、映像データが平均約 1/40 に圧縮して記憶されています。また、画像の形状に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されています。音声情報は、PCM のほか、ドルビーデジタルを用いて記憶させることができ、より臨場感のある音声を楽しむことができます。

さらに、マルチアングル・マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用

意されており、より高度に楽しむことができます。

■ BD ビデオ

BDMV（Blu-ray Disc Movie）フォーマットで、読み込み専用の Blu-ray Disc（BD-ROM）で記録されています。市販の映画などはこれに該当します。

DVD ビデオ同様にマルチアングル・マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意されています。

■ BDAV（Blu-ray Disc Audio/Visual）

BDAV とは、BDA（Blu-ray DISC Association）により規格化されたフォーマットです。著作権保護機能に対応し、デジタル放送の番組を記録することができます。本機では BD-R、BD-RE に記録した BDAV フォーマット映像を再生することができます。

■ AVCHD

デジタルビデオカメラにおいて、高精細なハイビジョン映像を DVD 記録用ディスクやハードディスクドライブ、メモリーカードなどに撮影記録できるように開発された新しい記録フォーマット（規格）の名称です。

本機では録画機器を使用して DVD-R、DVD-RWに記録したAVCHD フォーマット映像を再生することができます。

知識

● “AVCHD”、“AVCHD Progressive”、および“AVCHD Progressive”ロゴは、パナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。

■ AVCREC

AVCREC とは、BDA（Blu-ray Disc Association）により規格化されたフォーマットです。著作権保護機能に対応し、デジタル放送の番組を記録することができます。

本機では、DVD に記録した AVCREC フォーマット映像を再生することができます。

■ BD-J（Blu-ray Disc java）

Java アプリケーションを含んだ BD ビデオを BD-J といいます。通常の BD ビデオに比べて色々な機能を楽しむことができます。

● BD-Live には対応していません。

知識

● Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

● Oracle

Notice statement

“This product includes the Oracle Java ME. The Terms and Conditions that govern your user of this software are as follows.”

END USER LICENSE AGREEMENT

BEFORE USING THIS IN-CAR BLU-RAY PRODUCT, PLEASE READ ALL OF THE FOLLOWING TERMS AND CONDITIONS OF THIS END USER LICESE AGREEMENT (“Agreement”) CAREFULLY. THIS AGREEMENT IS A LEGALLY BINDING CONTRACT BETWEEN END USER (“you”) AND PANASONIC THAT SETS FORTH THE TERMS AND CONDITIONS THAT GOVERN YOUR USE OF ORACLE JAVA ME MEDIA PACK FOR CDC (the “program”) IMPLEMENTED IN THIS IN-CAR BLU-RAY PRODUCT.

(1) Java Technology Restrictions. You are prohibited from creating, modifying, changing the behavior of classes, interfaces, or subpackages that are in any way identified as "Java", "Javax", "Sun" or similar convention as specified by Oracle in any naming convention designation.

(2) Trademarks and Logos. You shall acknowledge that Oracle owns the Java trademark and all Java-related trademarks, logos and icons including the Coffee Cup and Duke ("Java Marks") and shall agree to: (a) comply with the Java Trademark Guidelines at http://www.oracle.com/us/legal/third-party-trademarks/index.html; (b) not do anything harmful to or inconsistent with Oracle's rights in the Java Marks; and (c) assist Oracle in protecting those rights, including assigning to Oracle any rights acquired by you in any Java Mark.

(3) Third Party Code. You shall read additional copyright notices and license terms applicable to portions of the programs are set forth below.

==========
COMPONENTS
==========

The following software (or certain identified files distributed with the software) may be included in this product. Unless otherwise specified, the software identified in this file is licensed under the licenses described below. The disclaimers and copyright notices provided are based on information made available to Oracle by the third party licensors listed.

3DES

3DES
Des3Cipher - the triple-DES encryption method

Copyright (C) 1996 by Jef Poskanzer . All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR

IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Visit the ACME Labs Java page for up-to-date versions of this and other fine Java utilities: http:www.acme.com/java/

AES

Cryptix General License

Copyright (c) 1995-2005 The Cryptix Foundation Limited.All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE CRYPTIX FOUNDATION LIMITED AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.IN NO EVENT SHALL THE CRYPTIX FOUNDATION LIMITED OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

DES

DES
DesCipher - the DES encryption method

@@ The meat of this code is by Dave Zimmerman , and is:

Copyright (c) 1996 Widget Workshop, Inc. All Rights Reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for NON-COMMERCIAL or COMMERCIAL purposes and without fee is hereby granted, provided that this copyright notice is kept intact.

WIDGET WORKSHOP MAKES NO REPRESENTATIONS OR WARRANTIES ABOUT THE SUITABILITY OF THE SOFTWARE, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE IMPLIED

WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT. WIDGET WORKSHOP SHALL NOT BE LIABLE FOR ANY DAMAGES SUFFERED BY LICENSEE AS A RESULT OF USING, MODIFYING OR DISTRIBUTING THIS SOFTWARE OR ITS DERIVATIVES.

THIS SOFTWARE IS NOT DESIGNED OR INTENDED FOR USE OR RESALE AS ON-LINE CONTROL EQUIPMENT IN HAZARDOUS ENVIRONMENTS REQUIRING FAIL-SAFE PERFORMANCE, SUCH AS IN THE OPERATION OF NUCLEAR FACILITIES, AIRCRAFT NAVIGATION OR COMMUNICATION SYSTEMS, AIR TRAFFIC CONTROL, DIRECT LIFE SUPPORT MACHINES, OR WEAPONS SYSTEMS, IN WHICH THE FAILURE OF THE SOFTWARE COULD LEAD DIRECTLY TO DEATH, PERSONAL INJURY, OR SEVERE PHYSICAL OR ENVIRONMENTAL DAMAGE ("HIGH RISK ACTIVITIES"). WIDGET WORKSHOP SPECIFICALLY DISCLAIMS ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY OF FITNESS FOR HIGH RISK ACTIVITIES.

@@ The rest of the code is:

Copyright (C) 1996 by Jef Poskanzer . All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Visit the ACME Labs Java page for up-to-date versions of this and other fine Java utilities: http:www.acme.com/java/

JPEG library

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-1998, Thomas G. Lane.

---
zlib 1.1.3

@@ Acknowledgments:

Oracle gratefully acknowledges the contributions of Jean-loup Gailly and

Mark Adler in creating the zlib general purpose compression library which is used in this product.

@@ Copyright notice:

(C) 1995-1998 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly
Mark Adler
jloup@gzip.org
madler@alumni.caltech.edu

If you use the zlib library in a product, we would appreciate *not* receiving lengthy legal documents to sign. The sources are provided for free but without warranty of any kind. The library has been entirely written by Jean-loup Gailly and Mark Adler; it does notinclude third-party code.

If you redistribute modified sources, we would appreciate that you include in the file ChangeLog history information documenting your changes.

(4) Others.

(i)You shall not install the programs separately and independently from this Blu-ray product.
(ii)You agree not to reply on the future availability of any programs or services which Oracle will provide.

(5) ENTIRE AGREEMENT

You agree that this Agreement is the complete agreement pertaining to the subject matter hereof (including references to information contained in a URL) and this Agreement supersedes all prior or contemporaneous written or oral agreements or representations existing between you and Panasonic with respect to such subject matter. If any term of this Agreement is found to be invalid or unenforceable, the remaining provisions will remain effective. Panasonic’ s failure to enforce any right or provisions in this Agreement will not constitute a waiver of such provision, or any other provision of this Agreement.

■ 視聴制限

「国ごとの規制レベルに合わせ、その国の視聴制限に対応し、ディスクの再生を制限する。」という DVD ビデオや BD ビデオの機能の 1 つです。視聴制限は、ディスクによって異なり、全く再生されないことや、過激な場面を飛ばしたり、別の場面に差し替えて再生されることがあります。

DVD ビデオでは、1 から 8 のレベルで視聴制限を設定することができます。

- レベル 1：子ども向けのディスクのみを再生させることができます。（一般向けと成人向けのディスクを再生させることはできません。）
- レベル2～7：子ども向けと一般向けのディスクのみを再生させることができます。（成人向けのディス

クを再生させることはできません。）

● レベル8：すべてのディスクを再生させることができます。

BD ビデオの年齢制限は、年齢を入力することにより設定することができます。視聴対象が設定年齢以上の BD ビデオを再生しようとすると視聴制限がかかり、再生することはできません。視聴制限年齢の設定で、BD ビデオの制限年齢以上まで視聴対象年齢を上げると再生することができます。

■ **マルチアングル**

DVD ビデオや BD ビデオの機能のひとつで、同じ場面が視点をかえて複数のアングル（カメラの位置）で記憶させることができるため、アングルを自由に選択することができます。

■ **マルチランゲージ（多言語）**

DVD ビデオや BD ビデオの機能のひとつで、同じ映像に対して音声や字幕を複数の言語で記憶させることができるため、言語を自由に選択することができます。

■ **地域番号（リージョンコード）**

Blu-ray プレーヤーとディスクは、販売地域ごとに再生可能な地域番号（リージョンコード）が設けられています。

再生させるディスクに表示されている番号に、プレーヤーに設定されている地域番号が含まれていない場合は、ディスクを再生させることはできません。地域番号については、「再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について」をご覧ください。（→P.309）

■ **ポップアップメニュー**

BD ビデオの機能の一つで、本編を再生しながらメニューを表示・操作ができます。

■ **ピクチャーインピクチャー**

BD ビデオの機能の一つで、画面の一部に小画面を表示し、本編の再生と特典映像などの映像を同時に表示できます。

■ **DUBA(Disc Unbound BD-J Application)**

2 枚組以上の BD ビデオの場合、再生中のディスクを取り出した後、続きのディスクに交換すると、その直後に映像の続きを見ることができます。

■ **プレイリスト（BDAV、AVCREC、DVD-VR のみ）**

プレイリストは、再生する順番をリスト化されたもので、見たい映像を探すことができます。プレイリストは、ディスクに記録したときに自動で生成されたり、レコーダーなどで編集することができます。

■ **エントリーポイント**

DVD-VR フォーマットや BDAV フォーマットでディスクに記憶されている映像の区切りです。

Blu-ray プレーヤーの音声について

この Blu-ray プレーヤーでは、ディスク再生時の音声は、リニア PCM・ドルビーデジタル・DTS・MPEG オーディオ・AAC に対応しており、ほかのデコード方式には対応していません。

■ ドルビーデジタル

ドルビー社が開発したデジタル音声の圧縮技術です。音楽信号を最大6chに分解して記録、再生する（ウーハーch は通常 0.1ch で表現するため、5.1ch）完全ディスクリート（分割）方式です。

■ ドルビーデジタルプラス

ドルビーデジタルプラスは、ドルビーデジタル技術を拡張した多機能デジタル音声コーディング技術です。BD-ROM フォーマットでは最大 7.1 チャンネルのサラウンドサウンドを再現するドルビーデジタルプラスは、音声伝達方式の拡張性が高く幅広いビットレートに対応しているので、利用可能な帯域幅に合わせた最適な音質と効率を実現します。

知識

● ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。「ドルビー」、「Dolby Audio」、「Dolby」及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

■ DTS

DTS, Inc. が開発したデジタル音声の圧縮技術です。1.5Mbps のフル・ビット・レートを実現することにより、高品位なサラウンド再生をすることができます。

■ DTS-HD マスターオーディオ

BD ビデオでオプションとして採用されている音声技術です。最大 7.1ch をサポートしています。24.5Mbps までの可変ビット・レートでロスレス･オーディオ符号化を実現しており、スタジオ・マスターと同じ音質でブルーレイディスクに収録されています。

知識

● DTS 特許については、http://patents.dts.com を参照してください。DTS、DTS-HD、シンボルマークおよび DTS とシンボルマークとの複合ロゴは登録商標です。DTS-HD Master Audio | Essential は DTS, Inc. の商標です。®DTS, Inc. 無断複写・転載を禁じます。

■ サンプリング周波数、量子化ビット

アナログ信号をデジタル信号に変換する時、一定の時間で信号を区切りデジタル化する（サンプリング）という方法が取られています。

1 秒間に区切る回数を表わしたのが、サンプリング周波数でその時のデータ量の大きさが量子化ビット数です。

これらの数値が大きいほど、アナログの音を精密に再現できます。

■ リニア PCM

音楽CDに用いられている信号記録方

式です。

音楽 CD では 44.1kHz/16bit で記録されているのに対し、DVD ビデオでは 48kHz/16bit ～ 96kHz/24bit で記録されているので、音楽 CD よりも高音質の再生が可能です。

■ AAC（Advanced Audio Coding）

衛星デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。CD 並みの音質データを約1/12まで圧縮できます。また、5.1ch のサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

知識

- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  - ・画像情報をMPEG-4 Visual、AVC、VC-1 規格に準拠して（以下、MPEG-4/AVC/VC-1 ビデオ）を記録すること。
  - ・個人的活動に従事する消費者によって記録された MPEG-4/AVC/VC-1 ビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手した MPEG-4/AVC/VC-1 ビデオを再生すること。

  詳細については MPEG LA, L.L.C.（http://www.mpegla.com）をご参照ください。
- 本製品はコピー防止技術を採用しており、ロヴィ社が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されております。分解したり、改造することも禁じられております。
- WMA（Windows Media® Audio）、Microsoft、Windows、Widows Media は、米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標および商標です。
  本製品は、Microsoft Corporation と複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配布は、Microsoft もしくは権限を有する Microsoft の子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。
- Cinavia の通告
  この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。
  Cinavia 技術に関する詳細情報は、http://www.cinavia.com の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA まではがきを郵送してください。
- この製品は Verance Corporation（ベランス・コーポレーション）のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第 7,369,677 号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。Cinavia は Verance Corporation の商標です。Copyright 2004-2014 Verance Corporation. すべての権利は Verance が保有しています。リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

SD メモリーカードについて

SD メモリーカードで次のファイルを

再生することができます。

- パソコン／本機で記録した音楽ファイル
- 家庭用レコーダーなどで録画した動画ファイル

■ パソコンで記録した音楽ファイルの再生について

SD メモリーカードに記録された次の音楽ファイルを再生することができます。

- MP3
- WMA
- AAC
- FLAC
- WAV
- ALAC
- Ogg Vorbis

本機で使用できる音楽ファイル（パソコンで記録した場合）については、「フォーマットについて」（→P.304）をご覧ください。

知識

- 本機で音楽 CD を録音すると、SD メモリーカード内に録音用フォルダ（RIPPED）ができます。録音用フォルダ（RIPPED）内にパソコンで記録した音楽ファイルを入れると、その音楽ファイルは再生することができません。また、録音用フォルダ（RIPPED）内のデータをパソコンなどで編集すると、再生できなくなったり、データが破損する恐れがあります。

■ 本機で記録した音楽ファイルの再生について

音楽 CD を SD メモリーカードに録音することができます。また、録音したアルバムにアルバム名やアーティスト名などの情報を自動で付けるので、聞きたいアルバムをアルバム名やアーティスト名などから簡単に探し出し再生することができます。

本機で使用できるSDメモリーカードについては、「メディアについて」（→P.301）をご覧ください。

知識

- 本機は、音楽 CD を AAC（Advanced Audio Coding）圧縮技術で圧縮して、SD メモリーカードに録音することができます。
- SD メモリーカードに録音することができるデータは、CD（アルバム／ 8cm ディスクを除くシングルディスク）の音楽データのみです。
- SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）に対応しているため、次の CD からは録音できません。
  - ・オーディオ機器を使用して録音した CD-R や CD-RW（パソコンを使用して作成、または複製した CD-R や CD-RW は、ライティングソフトウェアの仕様に依存されます。）
  - ・録音が禁止されている音楽 CD
- MP3・WMA・AAC を記録した CD-R や CD-RW からは録音できません。
- DTS-CD からは録音できません。
- 録音可能な曲の総数は、最大 9999 曲です。ただし、録音する SD メモリーカードの容量や曲の長さによっては、最大 9999 曲まで録音することができません。
- SD メモリーカードに録音すると、録音データ管理用として約200MBが使用されます。そのため、実際の容量よりも録音可能なデータが少なくなることがあります。

●録音された音楽は暗号化されて SD メモリーカードに記録されるため、パソコンや他の機器では再生できません。

●録音したデータは、パソコンに保存することができます。保存したデータは、録音時に使用した SD メモリーカードであれば、同じフォルダ構成で再度データを保存することができます。

■ 家庭用レコーダーなどで録画した動画ファイルの再生について

家庭用レコーダで録画したテレビ番組をSDメモリーカードで持ち出して再生することができます。また、拡張子 MP4（MPEG-4 AVC/H.264）などで記録した動画を再生することも可能です。

本機で使用できるSDビデオ規格については、「SD メモリーカード／ USB メモリーから再生できる動画データについて」（→P.307）をご覧ください。

■ SD　メモリーカードおよびアダプタについて

注意

●定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。

●ラベルがはがれていたり、ネームテープが貼ってあるSD メモリーカードおよびアダプタは使用しないでください。

●直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。SD メモリーカードおよびアダプタが使用できなくなることがあります。

●端子部には、手や金属が触れないようにしてください。

●持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。

●静電気や電気的ノイズを受ける恐れのある場所に、SD メモリーカードを放置しないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。

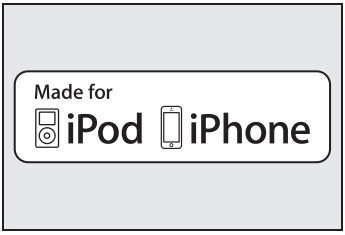
●SD メモリーカードの再生中、録音中は、SD メモリーカードを抜かないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。SD メモリーカードの取り出し方法については、「SD　メモリーカードを出す」（→P.189、255）をご覧ください。

●本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。廃棄／譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

iPod について

知識

■商標・設計認証情報



● “Made for iPod”, and “Made for iPhone”, mean that an electronic

accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

- Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- The trademark “iPhone” is used with a license from Aiphone K.K.
- The Lightning connector works with iPhone 6s Plus, iPhone 6s, iPhone SE, iPhone 6 Plus, iPhone 6, iPhone 5s, iPhone 5c, iPhone 5, iPod touch (5th and 6th generation), and iPod nano (7th generation).
- The 30-pin connector works with iPhone 4S, iPhone 4, iPhone 3GS, iPhone 3G, iPhone, iPod touch（1st through 4th generation）, iPod classic, and iPod nano（1st through 6th generation）.
- USB works with iPhone 6s Plus, iPhone 6s, iPhone SE, iPhone 6 Plus, iPhone 6, iPhone 5s, iPhone 5c, iPhone 5, iPhone 4S, iPhone 4, iPhone 3GS, iPhone 3G, iPhone, iPod touch (1st through 6th generation), iPod classic, and iPod nano (1st through 7th generation).
- Bluetooth® technology works with iPhone 6s Plus, iPhone 6s, iPhone SE, iPhone 6 Plus, iPhone 6, iPhone 5s, iPhone 5c, iPhone 5, iPhone 4S, iPhone 4, iPhone 3GS, iPhone 3G, iPhone, iPod touch (2nd through 6th generation) and iPod nano (7th generation).

■ 再生可能な iPod について

本機は下記の iPod®、iPod nano®、iPod classic®、iPod touch®、iPhone® を使用することができます。

Made for

- iPod touch（6th generation）
- iPod touch（5th generation）
- iPod touch（4th generation）
- iPod touch（3rd generation）
- iPod touch（2nd generation）
- iPod touch（1st generation）
- iPod nano（7th generation）
- iPod nano（6th generation）
- iPod nano（5th generation）
- iPod nano（4th generation）
- iPhone SE
- iPhone 6s Plus
- iPhone 6s
- iPhone 6 Plus
- iPhone 6
- iPhone 5s
- iPhone 5c
- iPhone 5
- iPhone 4S
- iPhone 4
- iPhone 3GS
- iPhone 3G

知識

●使用できるモデルに該当していても、機種やソフトウェアバージョン、個体差などにより使用できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

●機種やソフトウェアのバージョンなどの違いによっては、本機と互換性がない機種があります。
・iPod classic
・iPod with video
・iPod nano (3rd generation)
・iPod nano (2nd generation)
・iPod nano (1st generation)
・iPhone

●本機では音声の再生のみに対応しています。

USB メモリーについて

知識

●再生中にUSBメモリーを抜いたり、接続する機器を抜き差ししたりすると、雑音が出ることがあります。

●USB メモリーが接続されている状態で、他モードより USB メモリーモードに切り替えたとき、最初のファイルが再生されます。もし、同じ USB メモリー（内容が変更されていないもの）が再び差し込まれたときは、前回、最後に再生していた曲から再生されます。

注意

●USB メモリーを車室内放置しないでください。
炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

●USB メモリーが接続されているときに、USB メモリーの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因になります。

●USB メモリー端末の差込口に USB メモリー端末以外のものを入れないでください。故障の原因となります。

MP3/WMA/AAC の仕様について

使用できる音楽データの仕様は、次の通りです。

MP3（MPEG Audio LAYER3）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3 を使用すれば、元のファイルを約 1/10 のサイズに圧縮することができます。

WMA（Windows Media Audio）はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも小さいサイズに圧縮することができます。

AAC（Advanced Audio Coding）は MPEG2、MPEG4 で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。本機では、MPEG2、MPEG4 で作成された AAC ファイルを再生できます。

使用できる MP3/WMA/AAC ファイルの規格やそれを記憶したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMA/AAC ファイルを書き込むときには次のことに注意してください。

Microsoft、Windows、Windows Media は、米国 Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

Bluetooth について

使用できる Bluetooth の仕様およびプロファイルは次のとおりです。

項目	Bluetooth オーディオ
対応 Bluetooth 仕様	Bluetooth Specification Ver.1.1 以上
	Ver.4.1+EDR 以上を推奨
対応 Profile	●A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）音楽データを伝送するためのプロファイル：Ver.1.0 以上（Ver. 1.3 を推奨） ●AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）本機からポータブルオーディオなどをコントロール（再生・停止など）するためのプロファイル：Ver.1.6 を推奨

HDMI について

使用できる HDMI 機器の映像および音声信号の規格は次の通りです。

項目	Bluetooth オーディオ
対応映像信号	480p、576p、VGA
対応音声信号	LPCM 2ch

知識

●HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

Gracenote® について

CDアルバムを再生または録音した場合、本機のデータベースの中からアルバム名やアーティスト名、ジャンル、トラック名を検索し、各情報がデータベースに収録されていると、各情報を自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote メディアデータベースを使用しています。

知識

■Gracenote® メディアデータベースについて

●自動で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。

●「Gracenote メディアデータベース」によって提供されたデータについては内容を 100%保証するものではありません。

●音楽認識技術と関連情報は Gracenote® 社によって提供されています。
Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote® 社のホームページ www.gracenote.com をご覧下さい。

●Gracenote, Inc.提供のCDおよび音楽関連データ：copyright © 2000-present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote. 本製品およびサービスに

は、Gracenote が所有する 1 つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部の Gracenote 特許の一覧については、Gracenote の Web サイトをご覧ください。Gracenote、CDDB、MusicID、MediaVOCS, Gracenote のロゴとロゴタイプ、および “Powered by Gracenote” ロゴは、米国および／またはその他の国における Gracenote の登録商標または商標です。

■ **Gracenote® メディアデータベースのご利用について**

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

● 本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc.（以下「Gracenote」とする）から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア（以下「Gracenote ソフトウェア」とする）を利用し、音楽 CD や楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報（以下「Gracenote データ」とする）などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenote サーバー」とする）から取得するとともに、取得された Gracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に Gracenote データを使用することはできません。
お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアやGracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

● お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利を Gracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。
Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるよう

にしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenoteプライバシーポリシーを参照してください。

●Gracenoteソフトウェアと Gracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたはGracenoteサーバーにエラー、障害のないことや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenoteは、将来Gracenoteが提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

●Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様によるGracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

copyright © 2000 to present Gracenote

文字情報の表示について

各種画面で情報として表示できる文字数には制限があるため、すべてを表示できないことがあります。また、記録されている内容によっては正しく表示されなかったり、表示ができないことがあります。

オープンソースソフトウェアについて

■本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。
(1) パナソニック株式会社（「パナソニック」）により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア
(2)パナソニックにライセンスされた第三者所有のソフトウェア
(3)GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2(「GPL」）に基づいてライセンスされたソフトウェア
(4)GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.0 またはGNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1(まとめて「LGPL」）に基づいてライセンスされたソフトウェア
(5)GPL, LGPL 以外に基づいてライセンスされたオープンソースソフトウェア

■上記 (3)、(4) に分類されるソフトウェアについては、それぞれ、以下のGPL および LGPL 所定の条件をご参照ください。
GPL:http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
LGPL:http://www.gnu.org/licenses

/old-licenses/lgpl-2.1.htmlhttp://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.0.html

また、上記 (3)、(4) に分類されるソフトウェアについては、多数の人が著作権を保有しています。これらの著作権者の著作権表示については、以下をご参照ください。
http://car.panasonic.jp/oss/ca9gwkz2/

GPL/LGPL に基づきライセンスされるソフトウェア（「GPL/LGPL ソフト」）は、有用であることを願って頒布されますが、全くの無保証です。商業可能性があることや特定の目的に適合していることについては、黙示的保証も含め、一切保証されません。

パナソニックは、製品発売から少なくとも 3 年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた全ての方に対してソースコードの提供に必要な物理的コストを上回らない程度の料金と引き換えに、GPL/LGPL ソフトに対応した完全かつ機械で読み取り可能なソースコードを提供します。ソースコードの内容等についてのご質問はお答えできませんので、あらかじめご了承ください。またインターネット接続環境はお客様ご自身でご用意していただく必要があります。Web サイトの閲覧中およびダウンロード中のインターネット接続、回線使用料等はお客様ご負担となります。

[問い合わせ窓口] 〒 224-8520 神奈川県横浜市都筑区池辺町 4261 番地パナソニック株式会社 オートモーティブ＆インダストリアルシステムズ社 技術管理部門 責任者 宛

また、上記の GPL/LGPL ソフトに対応したソースコードは、以下のウェブサイトで、誰でも自由に入手することができます。
http://car.panasonic.jp/oss/ca9gwkz2/

■上記(5)に分類されるソフトウェアには、以下のソフトウェアを含む様々なオープンソースソフトウェア のプログラム（OSS）が含まれています。

<1> juniversalchardet-1.0.2
Copyright (C) 1998 the Initial Developer. All Rights Reserved.This software licensed under Mozilla Public License Version 1.1 (“MPL-1.1”).Please refer to the terms and conditions of MPL-1.1 at the website below:
https://www.mozilla.org/en-US/MPL/1.1/
Corresponding source code is freely available to you and any member of the public at the website below:
http://www.antepedia.com/detail/p/juniversalchardet.html

<2> dhcp-4.2.1-P1 Copyright (c) 2004-2011 by Internet Systems Consortium, Inc. ("ISC")
Copyright (c) 1995-2003 by Internet Software Consortium
Permission to use, copy, modify, and distribute this software for anypurpose with or without fee is hereby granted, provided that the abovecopyright notice and this permission notice appear in all copies.
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ISC DISCLAIMS ALL WARRANTIESWITH REGARD TO

THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OFMERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL ISC BE LIABLE FORANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGESWHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN ANACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUTOF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.Internet Systems Consortium, Inc. 950 Charter Street Redwood City, CA 94063
<info@isc.org>
https://www.isc.org/

<3> iw-3.11
Copyright (c) 2007, 2008 Johannes Berg
Copyright (c) 2007 Andy Lutomirski
Copyright (c) 2007 Mike Kershaw
Copyright (c) 2008-2009 Luis R. Rodriguez
Permission to use, copy, modify, and/or distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND THE AUTHOR DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FORANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN ANACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

<4> expat-2.1.0
Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper
Copyright (c) 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006 Expat maintainers.
Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaininga copy of this software and associated documentation files (the"Software"), to deal in the Software without restriction, includingwithout limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and topermit persons to whom the Software is furnished to do so, subject tothe following conditions:
The above copyright notice and this permission notice shall be includedin all copies or substantial portions of the Software.
THE SOFTWARE IS PROVIDED

"AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND,EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OFMERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT.IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANYCLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT,TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THESOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

<5> libxml2-2.9.1

Except where otherwise noted in the source code (e.g. the files hash.c,list.c and the trio files, which are covered by a similar license but with different Copyright notices) all the files are:

Copyright (C) 1998-2012 Daniel Veillard. All Rights Reserved.

Permission is here by granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS ORIMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FIT-NESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THEAUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHERLIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM,OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS INTHE SOFTWARE.

<6> openssl-1.0.0a

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

<7> tcp_wrappers-7.6
Copyright 1995 by Wietse Venema. All rights reserved. Some individualfiles may be covered by other copyrights.
This material was originally written and compiled by Wietse Venema at Eindhoven University of Technology, The Netherlands, in 1990, 1991,1992, 1993, 1994 and 1995.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that this entire copyright noticeis duplicated in all such copies.
This software is provided "as is" and without any expressed or impliedwarranties, including, without limitation, the implied warranties of merchantibility and fitness for any particular purpose.

<8> libjpeg
This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.

<9> Bitstream Vera Fonts
Copyright (c) 2003 by Bitstream, Inc. All Rights Reserved. Bitstream Vera is atrademark of Bitstream, Inc.
Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of thefonts accompanying this license (“Fonts”) and associated documentation files (the “Font Software”), to reproduce and distribute the Font Software, including without limitation the rights to use, copy, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Font Software, and to permit persons to whom the Font Software is furnished to do so, subject to the following conditions:
The above copyright and trademark notices and this permission notice shall beincluded in all copies of one or more of the Font Software typefaces.
The Font Software may be modified, altered, or added to, and in particular thedesigns of glyphs or characters in the Fonts may be modified and additional glyphsor characters may be added to the Fonts, only if the fonts are renamed to names notcontaining either the words “Bitstream” or the word “Vera”.
This License becomes null and void to the extent applicable to Fonts or Font Softwarethat has been modified and is distributed under the “Bitstream Vera” names.
The Font Software may be sold as part of a larger software package but no copy of oneor more of the Font Software typefaces may be sold by itself.
THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS”, WITHOUT WARRANTY OF ANYKIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIESOF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE

ANDNONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT.IN NO EVENT SHALL BITSTREAM OR THE GNOME FOUNDATION BE LIABLE FORANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL,INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTIONOF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE ORINABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONTSOFTWARE.

Except as contained in this notice, the names of Gnome, the Gnome Foundation, andBitstream Inc., shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use orother dealings in this Font Software without prior written authorization from the Gnome Foundation or Bitstream Inc., respectively. For further information, contact: fonts atgnome dot org.

<10> libtiff-4.0.0beta7

Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler

Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, providedthat (i) the above copyright notices and this permission notice appear inall copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising orpublicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FORANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND,OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS,WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

<11> giflib-4.1.6

The GIFLIB distribution is Copyright (c) 1997 Eric S. Raymond Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this

software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:
The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

<12>libGLESv1_CM.so.1
MIT-V:18
SGI FREE SOFTWARE LICENSE B (Version 2.0, Sept. 18, 2008)
Copyright (C) Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved.
Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:
The above copyright notice including the dates of first publication and either this permission notice or a reference to http://oss.sgi.com/projects/FreeB/ shall be included in all copies or substantial portions of the Software.
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL SILICON GRAPHICS, INC. BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.
Except as contained in this notice, the name of Silicon Graphics, Inc. shall not be used in advertising or

otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from Silicon Graphics, Inc.

MIT-V:7

Copyright (c) 2008-2009 The Khronos Group Inc.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and/or associated documentation files (the "Materials"), to deal in the Materials without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Materials, and to permit persons to whom the Materials are furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Materials.

THE MATERIALS ARE PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE MATERIALS OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE MATERIALS.

<13> i2c-omap35xx-j5

Copyright Notice and Attribution Chart:

Notice Number Name of Licensor Date(s) Restriction

1 Epson Research and Development, Inc. 2000, 2001

2 Texas Instruments 2005

3 The Apache Software Foundation 2001-2005

4 The Apache Software Foundation 2000-2004

5 The Apache Software Foundation 2002-2004

7 The Apache Software Foundation 2003-2004

8 Texas Instruments, Inc. - http://www.ti.com/ 2001-2010

9 Spansion International Inc. 2009 This software is limited to use with Spansion’s S29GLxxxS NOR Flash parts.

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");

you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at

http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS,

WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

<14> libcapture-soc-j5.so.1
Copyright Notice and Attribution Chart:
Notice Number Name of Licensor Date(s) Restriction
1 Epson Research and Development, Inc. 2000, 2001
2 Texas Instruments 2005
3 The Apache Software Foundation 2001-2005
4 The Apache Software Foundation 2000-2004
5 The Apache Software Foundation 2002-2004
7 The Apache Software Foundation 2003-2004
8 Texas Instruments, Inc. - http://www.ti.com/ 2001-2010
9 Spansion International Inc. 2009 This software is limited to use with Spansion’s S29GLxxxS NOR Flash parts.Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");you may not use this file except in compliance with the License.You may obtain a copy of the License at
http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0
Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

これらの OSS についてのライセンス条件その他の事項に関しては、以下の URL をご参照ください。
http://car.panasonic.jp/oss/ca9gwkz2/

■前記(2)に分類されるソフトウェアには、Oracle Java ME が含まれています。
このソフトウェアのユーザーを規定する契約条件については、以下のURLをご参照ください。
http://car.panasonic.jp/oss/b01qhs03/oracle_licence.htm

Oracle Java ME エンドユーザー使用許諾契約書（END USER LICENSE AGREEMENT）

BEFORE USING THIS IN-CAR BLU-RAY PRODUCT, PLEASE READ ALL OF THE FOLLOWING TERMS AND CONDITIONS OF THIS END USER LICESE AGREEMENT (“Agreement”) CAREFULLY. THIS AGREEMENT IS A LEGALLY BINDING CONTRACT BETWEEN ENDUSER (“you”) AND PANASONIC THAT SETS FORTH THE TERMS AND CONDITIONSTHAT GOVERN YOUR USE OF ORACLE JAVA ME MEDIA PACK FOR CDC (the “ program”) IMPLEMENTED IN THIS IN-CAR BLU-RAY PRODUCT.

(1) Java Technology Restrictions.

You are prohibited from creating, modifying, changing
the behavior of classes, interfaces, or subpackages that are in any way identified as
“Java”, “Javax”, “Sun” or similar convention as specified by Oracle in any naming
convention designation.

(2) Trademarks and Logos. You shall acknowledge that Oracle owns the Java trademarkand all Java-related trademarks, logos and icons including the Coffee Cup and Duke
(“Java Marks”) and shall agree to: (a) comply with the Java Trademark Guidelines at
http://www.oracle.com/us/legal/third-party-trademarks/index.html; (b) not do anythingharmful to or inconsistent with Oracle’s rights in the Java Marks; and (c) assist Oraclein protecting those rights, including assigning to Oracle any rights acquired by you inany Java Mark.

(3) Third Party Code. You shall read additional copyright notices and license terms applicable to portions of the programs are set forth below.

==========
COMPONENTS
==========

The following software (or certain identified files distributed with the software) may beincluded in this product. Unless otherwise specified, the software identified in this fileis licensed under the licenses described below. The disclaimers and copyright noticesprovided are based on information made available to Oracle by the third party licensorslisted.

3DES

Des3Cipher - the triple-DES encryption method
Copyright (C) 1996 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>. All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, arepermitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF

MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUS INESSINTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHERIN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Visit the ACME Labs Java page for up-to-date versions of this and other fine Java utilities:
http:www.acme.com/java/

AES

Cryptix General License
Copyright (c) 1995-2005 The Cryptix Foundation Limited. All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE CRYPTIX FOUNDATION LIMITED AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE CRYPTIX FOUNDATION LIMITED OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUS INESSINTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF

THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

DES

DesCipher - the DES encryption method
@@ The meat of this code is by Dave Zimmerman <dzimm@widget.com>, and is:
Copyright (c) 1996 Widget Workshop, Inc. All Rights Reserved.
Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation
for NON-COMMERCIAL or COMMERCIAL purposes and without fee is hereby granted,
provided that this copyright notice is kept intact.

WIDGET WORKSHOP MAKES NO REPRESENTATIONS OR WARRANTIES ABOUT THE SUITABILITY OF THE SOFTWARE, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT. WIDGET WORKSHOP SHALL NOT BE LIABLE FOR ANY DAMAGES SUFFERED BY LICENSEE AS A RESULT OF USING, MODIFYING OR DISTRIBUTING THIS SOFTWARE OR ITS DERIVATIVES. THIS SOFTWARE IS NOT DESIGNED OR INTENDED FOR USE OR RESALE AS ONLINE CONTROL EQUIPMENT IN HAZARDOUS ENVIRONMENTS REQUIRING FAIL-SAFE PERFORMANCE, SUCH AS IN THE OPERATION OF NUCLEAR FACILITIES, AIRCRAFT NAVIGATION OR COMMUNICATION SYSTEMS, AIR TRAFFIC CONTROL, DIRECT LIFE SUPPORT MACHINES, OR WEAPONS SYSTEMS, IN WHICH THE FAILURE OF THE SOFTWARE COULD LEAD DIRECTLY TO DEATH, PERSONAL INJURY, OR SEVERE PHYSICAL OR ENVIRONMENTAL DAMAGE (“HIGH RISK ACTIVITIES”). WIDGET WORKSHOP SPECIFICALLY DISCLAIMS ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY OF FITNESS FOR HIGH RISK ACTIVITIES.

@@ The rest of the code is:
Copyright (C) 1996 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>.
All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following

disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Visit the ACME Labs Java page for up-to-date versions of this and other fine Java utilities: http:www.acme.com/java/

JPEG library

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided “AS IS”, and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-1998, Thomas G. Lane.

---

zlib 1.1.3

@@ Acknowledgments:

Oracle gratefully acknowledges the contributions of Jean-loup Gailly and Mark Adler in creating the zlib general purpose compression library which is used in this product.

@@ Copyright notice:

(C) 1995-1998 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided ‘as-is’, without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software. Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must

not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.

2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.

3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly Mark Adler
jloup@gzip.org
madler@alumni.caltech.edu
If you use the zlib library in a product, we would appreciate *not* receiving lengthy legal documents to sign. The sources are provided for free but without warranty of any kind. The library has been entirely written by Jean-loup Gailly and Mark Adler; it does not include third-party code. If you redistribute modified sources, we would appreciate that you include in the file ChangeLog history information documenting your changes.

(4)Others.

(i) You shall not install the programs separately and independently from this Blu-ray product.

(ii) You agree not to reply on the future availability of any programs or services which Oracle will provide.

(5)ENTIRE AGREEMENT

You agree that this Agreement is the complete agreement pertaining to the subject matter hereof (including references to information contained in a URL) and this Agreement supersedes all prior or contemporaneous written or oral agreements or representations existing between you and Panasonic with respect to such subject matter. If any term of this Agreement is found to be invalid or unenforceable, the remaining provisions will remain effective. Panasonic' s failure to enforce any right or provisions in this Agreement will not constitute a waiver of such provision, or any other provision of this Agreement.

音声操作システム

5

5-1. 音声操作システムについて

音声操作システム..... 340

5-2. エージェント（音声対話サービス）について

エージェント（音声対話サービス）..... 341

5-3. 音声認識の操作

音声認識を利用する..... 342

音声認識コマンド一覧..... 344

音声認識の設定..... 351

5-4. モバイルアシスタントの操作

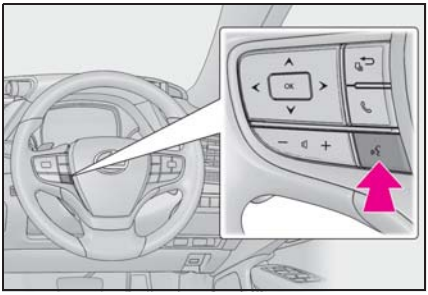
モバイル音声認識の操作について..... 352

音声操作システム

音声操作システムを使用して、目的地や情報の検索、ナビゲーションやオーディオ、エアコンなどの操作を行うことができます。
発話内容や通信環境によって、車載音声認識とエージェント（G-Link センターの音声対話サービス）を自動的に切替え、より利便性の高い音声認識操作が行えます。

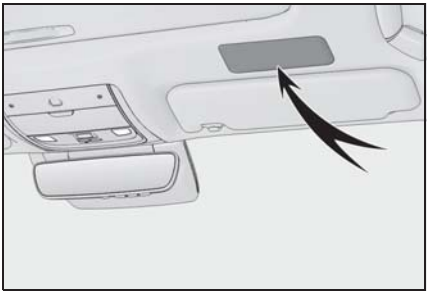
各部の名称とはたらき

■ **トークスイッチについて**



● 音声認識モードを開始または中止するときに使用します。

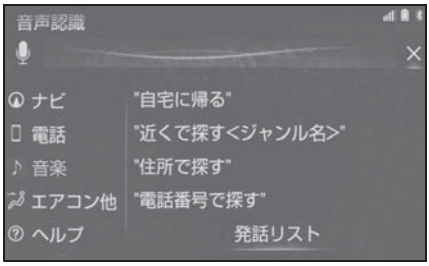
■ **音声認識用マイクについて**



● 音声認識コマンドを発声するときに使用します。

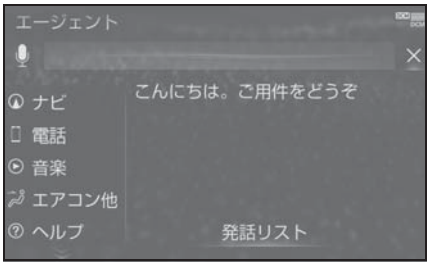
■ **音声操作システムの画面について**

▶ 音声認識（→P.342）



● 音声認識コマンドを発声して、ナビゲーションやオーディオ、エアコンなどの操作を行うことができます。G-Link が使用できない通信環境でも使用できます。

▶ エージェント（音声対話サービス）（→P.341、478）



● エージェントでは車載音声認識に加えて、目的地設定の操作や、天気予報などの情報を音声とテキストでご案内することができます。

エージェント（音声対話サービス）

エージェント（音声対話サービス）を利用するには別途G-Linkの利用手続きをしていただく必要があります。
「エージェントを利用する」(→P.478) の手順でエージェントを起動します。

エージェントについて

主なサービスと機能概要
日常会話： エージェントとの日常会話を行う。 発話例：「おはよう」
ニュース： 提携コンテンツから取得したニュースのテキスト表示・読み上げをする。 発話例：「スポーツニュースは？」
天気予報： 提携コンテンツから取得した天気予報のテキスト表示・読み上げをする。 発話例：「横浜の天気は？」
目的地検索： 提携コンテンツで検索した施設を目的地に設定したり、施設情報の確認、施設への電話発信や G メモリ地点への登録をする。 発話例：「名古屋駅周辺のイタリアン」
閲覧履歴： 閲覧履歴を表示し、履歴から目的地を選択したり履歴の編集（削除）ができる。 発話例：「閲覧履歴」
レクサスオーナーズデスク： レクサスオーナーズデスクに接続し、レクサスコミュニケーターによる情報検索やナビ設定ができる。 発話例：「オーナーズデスク」
交通情報： 提携コンテンツから取得した交通情報（渋滞情報）のテキスト表示・読み上げをする。 発話例：「この辺の渋滞情報を教えて」
自宅に帰る： 自宅が登録されている場合、自宅に目的地を設定する。 発話例：「自宅に帰りたい」

※ サービス内容は順次変更されます。

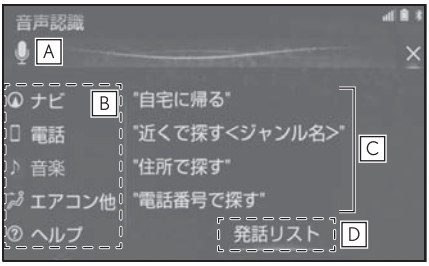
知識

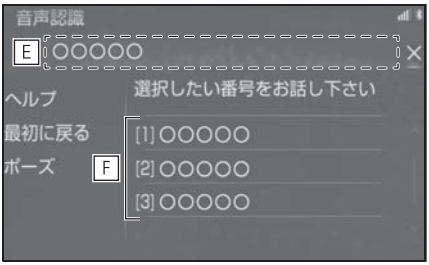
- 話しかける際は、大きめな声でゆっくり、はっきりとお話ください。
- エアコンの風量が強いと認識しづらい場合があります。
- 認識しづらい場合は条件を2回に分けるなど、短い文章でお話ください。
  例）「駐車場付きの名古屋のレストラン」
  ・発話 1 回目：「名古屋のレストラン」→名古屋のレストランを検索
  ・発話 2 回目：「駐車場付き」→駐車場付きの名古屋のレストランを検索
- 音声受付中に「ポーズ」と発話すると、音声受付状態を一旦停止します。ステアリングスイッチのトークスイッチを押すことで、再度音声受付状態になります。

音声認識を利用する

音声認識コマンドを発声して、ナビゲーションやオーディオ、エアコンなどの操作を行うことができます。

音声認識画面について





A 音声認識中になるとアイコン形状が変化する。

B 発話または選択するとガイドメニュー画面が表示される。

C 発声可能なコマンドが表示される。

D 発話または選択すると発話リストが表示される。

E 認識結果が表示される。

F 認識結果に他の候補がある場合に表示される。

知識

●音声操作システムは、正しく発声しないと認識されないことがありますので、以下の点にご留意の上、ご使用ください。

・音声操作を開始するときは、必ずトークスイッチを短く押してください。

・“ピッ”という音の後にお話しください。“ピッ”という音の前または同時に発声した場合は、正しく認識されません。

・ハッキリと発声してください。

・声色によっては、認識されづらいこともあります。

・騒音（風切り音・外部の音）などにより正しく認識されないことがあるため、発声するときは、できるだけ窓を閉めておいてください。また、エアコン送風の音が大きいときも、正しく認識されないことがあります。

・方言や言い方の違いには対応していません。必ず指定された読みで発声してください。

・地名や施設名称などは、通称名や略称には対応していません。必ず正式名称の読みで発声してください。

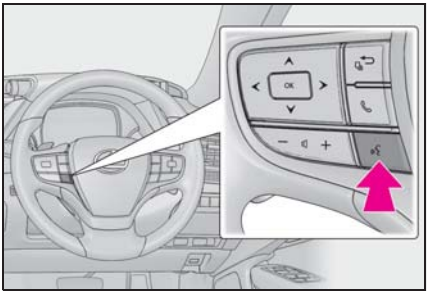
●コマンドの表示を切り替えたいときは、「発話リスト」と発声する、または“発話リスト”を選択してください。
なお、表示が隠れているコマンドを発声しても認識されます。

●G-Linkのデータ受信ができないなど、使用できないコマンドは表示されないことがあります。

音声認識を操作する

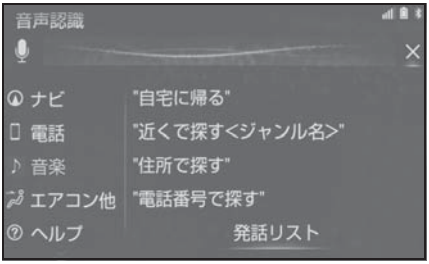
基本的な操作の流れを見ながら、音声操作を開始する方法と、音声認識モード中の基本操作を覚えましょう。

1 トークスイッチを押す。



● 音声操作画面に切り替わり、「ご用件をお話し下さい」という音声ガイドのあと、<ピッ>と音がします。

2 発話受付中アイコンに変化したら、希望のコマンドを発声する。



: 発話受付中

: 発話受付不可

● <ピッ>と音がしてから約 5 秒以内に発声を開始してください。

● 発声を開始したら 約 15 秒以内で発声を完了してください。

● コマンドが認識されると、音声ガイドが出力され、実行されます。

知識

●コマンドの< XXXX >は、システムに登録されている施設名称や、ユーザーで登録した電話帳名称などを任意に発声できます。(→P.344)

例）「電話帳でかける　< XX >（人名）の自宅」「近くで探す　コンビニ」

・< XXXX >を発声することで、操作手順が短縮されます。

・< XXXX >を省略しても認識されます。

●発声したコマンドと異なる認識結果のときは、「戻る」と発声し、音声認識を操作する（→P.342）の手順 **2** から操作しなおしてください。

●候補に希望の結果が表示されているときは、「候補 1」、「候補 2」または「1 番」、「2 番」、「3 番」、「4 番」と発声してください。

●候補に希望の結果が表示されていないとき、または候補が表示されないときは、「戻る」と発声し、「音声認識を操作する」（→P.342）の手順 **2** から操作しなおしてください。

●次のような場合は、音声認識モードを中断します。
この場合、トークスイッチを押すと再開できます。

・「ポーズ」と発話した後。

・画面上の “ ポーズ ” を選択した後。

●「ヘルプ」と発声すると、音声ガイドによる詳しい操作方法を聞くことができます。

●音声ガイド出力時にトークスイッチを押すと、音声ガイドが途中でも次の動作に移ることができます。

音声認識モードを中止する

次のいずれかの操作をします。

● トークスイッチを押し続ける。

● ✕を選択。

音声認識コマンド一覧

音声認識モードで表示されるコマンドについて、発声する認識語とそのときの動作をまとめています。

「音声認識を操作する」（→P.342）の手順で、コマンドを発声します。

知識

●車両に装着されている機能のみ、音声での操作ができます。

●発話リストには、音声で操作ができるコマンドの一部が表示されます。

音声認識コマンド一覧

■ 初期画面

コマンド名称	認識語	動作
自宅に帰る	じたくにかえる	自宅へのルートを表示する
近くで探す < ジャンル名 >	ちかくでさがす 例）「近くで探すコンビニ」「近くのコンビニ」	希望の（ジャンル名）のうち、より近いところを探す
住所で探す	じゅうしょでさがす	住所から目的地を設定し、ルートを表示する
電話番号で探す	でんわばんごうでさがす	電話番号から目的地を設定し、ルートを表示する

● 初期画面表示中に “ 発話リスト ” を選択、または「発話リスト」と発話することにより以下のコマンドリストが表示されます。

コマンド名称	認識語	動作
自宅に帰る	じたくにかえる	自宅へのルートを表示する
近くで探す < ジャンル名 >	ちかくでさがす 例）「近くで探すコンビニ」「近くのコンビニ」	近くの施設（ジャンル）を目的地に設定し、ルートを表示する
住所で探す	じゅうしょでさがす	住所から目的地を設定し、ルートを表示する
電話番号で探す	でんわばんごうでさがす	電話番号から目的地を設定し、ルートを表示する

コマンド名称	認識語	動作
施設で探す	しせつでさがす	施設名から目的地を設定し、ルートを表示する
メモリ地点で探す < メモリ地点名 >	めもりちてんでさがす 例）「メモリ地点で探す　XXX※1」「メモリ地点　XXX※1」	（メモリ地点）へのルートを表示する
施設表示 < ジャンル名 >	しせつひょうじ 例）「施設表示病院」	施設ジャンルのアイコンを地図上に表示する
目的地削除	もくてきちさくじょ	設定したルートを消去する
電話履歴	でんわりれき	発着信履歴画面を表示する
電話帳でかける < 電話帳名 >	でんわちょうでかける 例）「電話帳でかける　XXX※2」「電話帳　XXX※2」	（電話帳名）へ電話をかける
曲を探す	きょくをさがす	オーディオ操作コマンドを表示する
G-Link を実行	じーりんくをじっこう	G-Link サービスのコンテンツを表示する※3
<G-Link コンテンツ名 >	例）「オーナーズデスク ※3」など	G-Link サービスの（コンテンツ名）を実行する
オートエアコン < オン／オフ >	おーとえあこん < おん／おふ >	オートエアコンをオンにする／オフにする
A/C< オン／オフ >	えーしー < おん／おふ >	A/C をオンにする／オフにする
温度＜設定温度＞℃	おんど＜せっていおんど＞ど	エアコンの設定温度を（設定温度）に変更する
風量を＜スピードレベル＞にする	ふうりょうをくすぴーどれべる＞にする 例）「風量を 3 にする」	エアコンの風量を（スピードレベル）にする
吹き出し口を上半身にする／足元にする	ふきだしぐちをじょうはんしんにする／あしもとにする	エアコンの吹き出し口を上半身にする／足元にする

コマンド名称	認識語	動作
ヘルプ	へるぷ	操作方法の音声ガイダンスを出力する
中止	ちゅうし	音声認識モードを中止する

※1登録したメモリ地点名称を発声してください。

※2任意の電話帳名を発声してください。

※3G-Link センターから設定されたコンテンツを利用できます。

■ ガイドメニュー画面の表示コマンド

コマンド名称	認識語	動作
ナビゲーション	なびげーしょん	ナビ操作コマンドを表示する
電話	でんわ	電話操作コマンドを表示する
音楽	おんがく	オーディオ操作コマンドを表示する
エアコン他	えあこんほか	エアコン操作コマンドを表示する
ヘルプ	へるぷ	操作方法の音声ガイダンスを出力する
G-Link	じーりんく	G-Link コマンドを表示する

● ガイドメニュー画面で、各機能選択後に “ 発話リスト ” を選択、または「発話リスト」と発話することにより以下の発話リストが表示されます。

▶ ナビゲーションの発話リスト

コマンド名称	認識語	動作
自宅に帰る	じたくにかえる	自宅へのルートを表示する
近くで探す	ちかくでさがす	近くの施設を目的地に設定し、ルートを表示する
近くで探す < ジャンル名 >	ちかくでさがす 例）「近くで探すコンビニ」「近くのコンビニ」	施設ジャンルのアイコンを地図上に表示する
住所で探す	じゅうしょでさがす	住所から目的地を設定し、ルートを表示する
電話番号で探す	でんわばんごうでさがす	電話番号から目的地を設定し、ルートを表示する
施設で探す	しせつでさがす	施設名から目的地を設定し、ルートを表示する

コマンド名称	認識語	動作
メモリ地点で探す	めもりちてんでさがす	登録したメモリ地点を目的地に設定し、ルートを表示する
メモリ地点で探す < メモリ地点名 >	めもりちてんでさがす 例）「メモリ地点で探す　XXX※」「メモリ地点　XXX※」	
施設表示 < ジャンル名 >	しせつひょうじ 例）「施設表示病院」	（ジャンル名）の施設の記号を地図上に表示する
施設消去 < ジャンル名 >	しせつしょうきょ 例）「施設消去病院」	（ジャンル名）の施設の記号を地図上から消去する
目的地削除	もくてきちさくじょ	設定したルートを消去する
案内中止	あんないちゅうし	ルート案内を中止する
案内再開	あんないさいかい	中止したルート案内を再開する

※ 登録したメモリ地点名称を発声してください。

▶ 電話の発話リスト

コマンド名称	認識語	動作
電話履歴	でんわりれき	発着信履歴画面を表示する
電話帳でかける	でんわちょうでかける	電話帳から電話をかける
電話帳でかける < 電話帳名 >	でんわちょうでかける 例）「電話帳でかける　XXX※」「電話帳XXX※」	（電話帳名）の電話をかける
電話番号でかける	でんわばんごうでかける	電話番号から電話をかける
電話番号でかける < 電話番号 >	でんわばんごうでかける < でんわばんごう >	（電話番号）に電話をかける

※ 任意の電話帳名を発声してください。

▶ 音楽の発話リスト

コマンド名称	認識語	動作
アーティストで再生	あーてぃすとでさいせい	（アーティスト名）から音楽を再生する
アーティストで再生 < アーティスト名 >	あーてぃすとでさいせい 例）「アーティストで再生　XXX※」「アーティスト XXX※」	
アルバムで再生	あるばむでさいせい	（アルバム名）から音楽を再生する
アルバムで再生 < アルバム名 >	あるばむでさいせい 例）「アルバムで再生　XXX※」「アルバム　XXX※」	

※ 任意のアーティスト名、またはアルバム名を発声してください。

▶ エアコン他の発話リスト

コマンド名称	認識語	動作
オートエアコン < オン／オフ >	おーとえあこん < おん／おふ >	オートエアコンをオンにする／オフにする
A/C< オン／オフ >	えーしー < おん／おふ >	A/C をオンにする／オフにする
温度＜設定温度＞℃	おんど＜せっていおんど＞ど	設定温度を変更する
温度を 上げる／少し上げる	おんどをあげる／すこしあげる	温度を 2 度上げる／ 温度を 1 度上げる
温度を 下げる／少し下げる	おんどをさげる／すこしさげる	温度を 2 度下げる／ 温度を 1 度下げる
風量を 最大にする／最小にする	ふうりょうをさいだいにする／さいしょうにする	エアコンの風量を最大／最少にする
風量を＜スピードレベル＞にする	ふうりょうを＜すぴーどれべる＞にする 例）「風量を 3 にする」	風量を変更する

コマンド名称	認識語	動作
吹き出し口を上半身にする／足元にする	ふきだしぐちをじょうはんしんにする／あしもとにする	エアコンの吹き出し口を変更する
クライメイトコンシェルジュオン	くらいめいとこんしぇるじゅおん	クライメイトコンシェルジュモード※をオンにする
デュアルモード < オン／オフ >	でゅあるもーど < おん／おふ >	運転席／ 助手席連動モードをオンにする／オフにする
ワイパーデアイサ < オン／オフ >	わいぱーであいさ < おん／おふ >	ワイパー凍結防止機能をオンにする／オフにする
リヤデフォッガー < オン／オフ >	りやでふぉっがー < おん／おふ >	リヤデフォッガーをオンにする／オフにする
ステアリングヒーター画面表示	すてありんぐひーたーがめんひょうじ	ステアリングヒーター操作画面を表示する
フロントシートベンチレーター画面表示	ふろんとしーとそうふうがめんひょうじ	フロントシートベンチレーター操作画面を表示する
フロントシートヒーター画面表示	ふろんとしーとひーたーがめんひょうじ	フロントシートヒーター操作画面を表示する
リヤエアコン < オン／オフ >	りやえあこん < おん／おふ >	リヤエアコンをオンにする／オフにする
リヤシートベンチレーター画面表示	りやしーとそうふうがめんひょうじ	リヤシートベンチレーター操作画面を表示する
リヤシートヒーター画面表示	りやしーとひーたーがめんひょうじ	リヤシートヒーター操作画面を表示する

※ 詳しくは、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

▶ G-Link の発話リスト

コマンド名称	認識語	動作
G-Link を実行	じーりんくをじっこう	G-Link サービスのコンテンツを実行する※
G-Link を実行 < コンテンツ名 >	じーりんくをじっこう 例）「G-Link を実行 オーナーズデスク」	
<G-Link コンテンツ名 >	例）「オーナーズデスク※」など	（G-Link コンテンツ名）を実行する

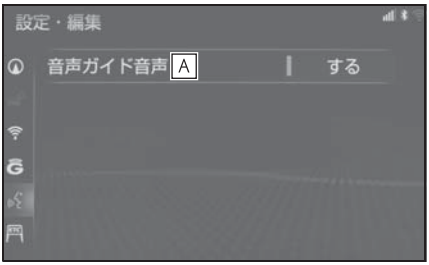
コマンド名称	認識語	動作
マイリクエストを実行	まいりくえすとをじっこう	マイリクエストを実行する
マイリクエストを実行 < コンテンツ名 >	まいりくえすとをじっこう < こんてんつめい >	

※ G-Link センターから設定されたコンテンツを利用できます。

音声認識の設定

音声認識の設定をする

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。
2 “設定・編集”を選択。
3 サブメニューの“音声認識”を選択。
4 音声ガイドの設定をする。



A 操作時の音声ガイドの再生する／しないを選択できます。

モバイル音声認識の操作について

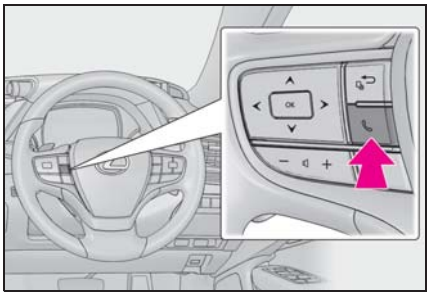
モバイル音声認識は、音声入力により対応するデバイスを操作する機能です。デバイスに話すように入力された音声に従い、デバイスは音声による対応やデバイス内のコンテンツを実行します。モバイル音声認識を使用するためには、この機能に対応するデバイスをナビゲーションシステムに登録し、Bluetooth 接続する必要があります。

接続できる機器および使用可能な機能について

Siri Eyes Free 機能をサポートする iOS スマートフォン または、Google アプリ機能をサポートする Android スマートフォンでご使用できます。また、使用可能な機能については、インストールされている iOS または Android OS と Google アプリのバージョンに依存します。
本機で動作確認済みの機種については、レクサス販売店または http://lexus.jp/ でご確認ください。

モバイル音声認識の操作について

1 ステアリングスイッチの をモバイル音声認識の画面に切り替わるまで押し続けてください。



2 モバイル音声認識は下記の画面が表示されたときのみ使用可能です。

● モバイル音声認識をキャンセルするには、ステアリングスイッチの を押し続けてください。

● モバイル音声認識を再開するには、ステアリングスイッチの を押してください。

・ モバイル音声認識は音声コマンドに応答した後のみ再開可能です。

・ 電話や音楽のコマンドを認識した場合、デバイスは対応機能を実行し、モバイル音声認識を終了します。

● モバイル音声認識の音量調整は、オーディオコントロールスイッチ

の音量調整ツマミまたはステアリングスイッチの音量調整スイッチで調整可能です。モバイル音声認識と受話音量は同期しています。

知識

- お客様がSiriで音楽再生機能を使って音楽を再生しても、オーディオのソース選択にてiPhoneが選択されていない状態ですと、iPhone 本体から音楽が再生されます。
- 通話中はモバイル音声認識の機能は使用できません。
- もし携帯電話のナビゲーション機能を使用している場合、ルート音声案内を聞こえるようにするために、確実にオーディオソースをBluetoothオーディオかiPodを選択してください。
- モバイル音声認識を使用する際は、ビープ音が聞こえるまでお待ちください。
- モバイル音声認識は以下の状況ではコマンドを認識できない可能性があります。
  - ・話すスピードが速すぎる
  - ・声が小さいまたは大きい
  - ・窓があいている
  - ・モバイル音声認識使用中に他の人が話している
  - ・エアコンの風量が強めに設定されている
  - ・エアコンの吹き出し口がマイクの方向に向いている

周辺監視

6

6-1. パノラミックビューモニター

パノラミックビューモニターについて 356
シースルービュー／ムービングビューについて 360
パノラミックビュー＆ワイドフロントビューについて..... 361
パノラミックビュー＆サイドクリアランスビュー／コーナリングビューについて 364
パノラミックビュー＆バックビュー／ワイドバックビュー..... 368
ドアミラー格納時の表示について 374
拡大機能について（パノラミックビュー）..... 375
パノラミックビューモニターの注意点について 376
知っておいていただきたいこと 386

パノラミックビューモニターについて

パノラミックビューモニターは、車両に取り付けたフロント、サイド、バックカメラの映像を合成して画面上につなぎ目のない車両上方からの映像を表示させることで、低速時の運転を補助する装置です。

知識

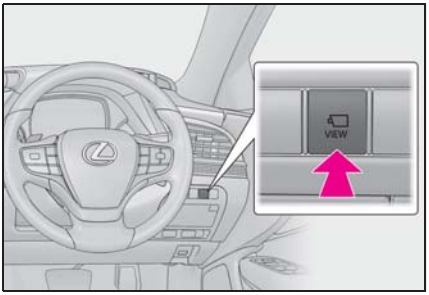
- 本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

警告

- パノラミックビューモニターは、車両周囲確認を補助する装置です。必ず周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

カメラスイッチについて

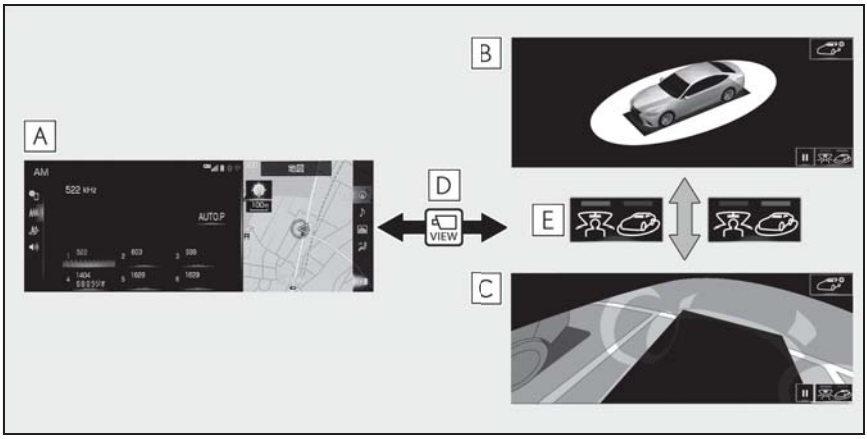
パノラミックビューモニターの表示と画面の切り替えをします。



パノラミックビューモニター画面表示条件について

エンジン／パワースイッチが ON モードの状態で、カメラスイッチを押したときにシフトレバーの位置に応じて、パノラミックビューモニター画面は表示されます。（以下は一例です）

▶ シフトレバーが P のとき



A ナビゲーション画面、オーディオ画面など

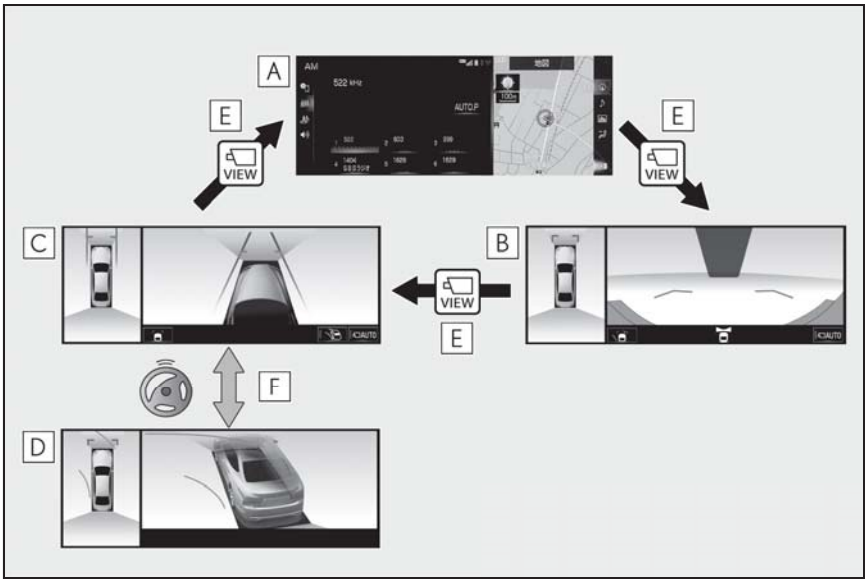
B ムービングビュー

C シースルービュー

D カメラスイッチを押す

E 画面切り替えスイッチを選択

▶ シフトレバーが D、N のとき



A ナビゲーション画面、オーディオ画面など

B パノラミックビュー＆ワイドフロントビュー

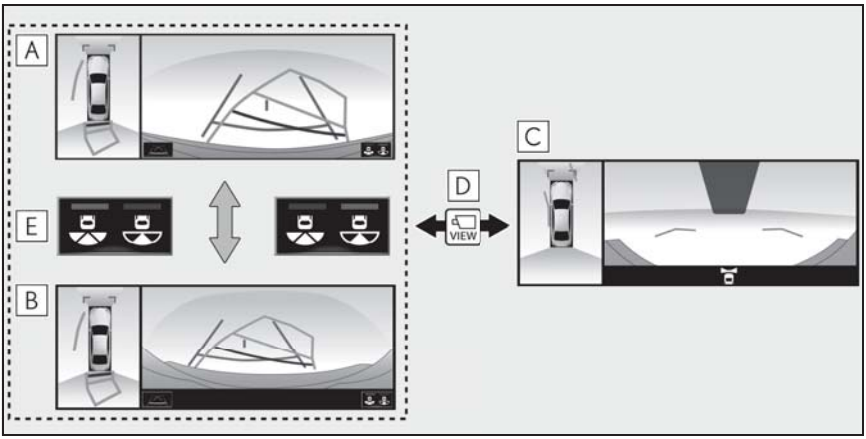
C パノラミックビュー＆サイドクリアランスビュー

D パノラミックビュー＆コーナリングビュー

E カメラスイッチを押す

F 直進状態から 180 度以上ハンドルを操作

▶ シフトレバーが R のとき



A パノラミックビュー＆バックビュー

B パノラミックビュー＆ワイドバックビュー

C パノラミックビュー＆ワイドフロントビュー

D カメラスイッチを押す

E 画面切り替えスイッチを選択

知識

- 車速が約12km/h以下でカメラスイッチを押した場合、約8秒間パノラミックビューモニター画面を表示します。車速が約 12km/h 以上になると、パノラミックビューモニター画面が消えて元の画面に戻ります。
- 車速が約12km/h以上でカメラスイッチを押した場合、車速が約12km/h以下にならない限り、約 5 分間はパノラミックビューモニター画面が表示されます。ただし、車速が約 12km/h 以下になった場合は、約 8 秒間はパノラミックビューモニター画面が表示され、車速が約 12km/h 以上になると、パノラミックビューモニター画面が消えて元の画面に戻ります。
- 画面表示タイマー機能を作動していないとき、車速が 12km/h 以上になると、パノラミックビューモニター画面が消えて元の画面に戻ります

シースルービュー／ムービングビューについて

車両周辺の障害物を確認するため、各カメラから合成された映像を表示するモードです。運転席から見たような映像や、車両周りの斜め上方から見たような映像を表示します。

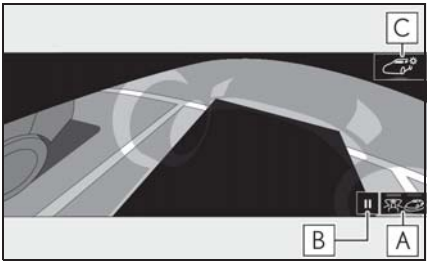
画面を表示する

1 シフトレバーを P にする。

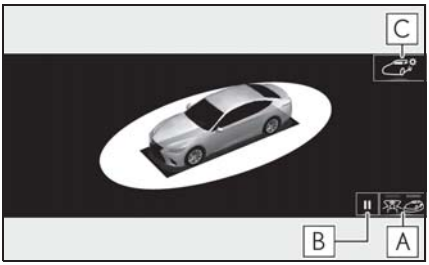
2 カメラスイッチを押す。

● シースルービュー／ムービングビューが表示されます。

▶ シースルービュー



▶ ムービングビュー



A 画面モード切り替え

シースルービュー／ムービングビューを切り替える。

B 一時停止／再回転スイッチ

回転表示を一時停止、再開する。

C ボディカラー設定スイッチ

パノラミックビューモニターで表示される車両のボディカラーを設定する画面を表示する。

知識

● シフトレバーが P のときにシースルービュー／ムービングビューを表示できます。

● シースルービュー／ムービングビューが表示されているときに、シフトレバーを D または N にすると、パノラミックビュー＆ワイドフロントビュー表示に切り替ります。

● クリアランスソナーが ON のときのみ、シースルービュー／ムービングビューを 表示できます。（クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

ボディカラーを設定する

パノラミックビューモニターで表示される車両のボディカラーを変更することができます。

1 を選択。

2 希望のボディカラーを選択。

パノラミックビュー＆ワイドフロントビューについて

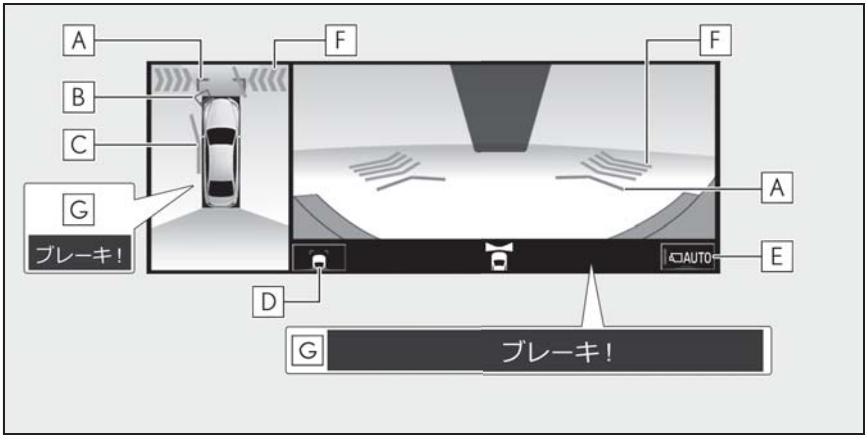
見通しの悪い交差点や丁字路などで、車両の前方と左右方向の状況確認をするために、車両上方からの映像と前方カメラからの映像を同時に表示するモードです。

画面を表示する

1 シフトレバーを D または N にする。

2 カメラスイッチを押す。

● パノラミックビュー＆ワイドフロントビューが表示されます。



A 前方距離目安線

車両前端から約 1.0m 先（青色）を示す。

B クリアランスソナー

クリアランスソナーが ON のとき、クリアランスソナーが障害物を感知すると、画面にインジケーターが表示される。（クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

C 前進予想進路線

・ ハンドル操作と連動して、進路の目安を示す（黄色）。
・ 直進状態から 90 度以上ハンドル操作をした場合に表示します。

D ガイド線表示モード切り替えスイッチ

スイッチを押すたびにガイド線表示モードが切り替わります。（→P.362）

E 自動表示モード切り替えスイッチ

・ 自動表示モードの ON/OFF を切り替える。（→P.363）

・ 自動表示モードが ON のときは作動表示灯が点灯します。

F FCTA(フロントクロストラフィックアラート)（Lexus Safety System+A 装着車）& ITS Connect

前側方からの接近車両や障害物をFCTA(フロントクロストラフィックアラート)またはITS Connect が感知すると、画面にインジケーターが表示される。（FCTA(フロントクロストラフィックアラート)、ITS Connect については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

G PCS（プリクラッシュセーフティシステム）（Lexus Safety System+A 装着車）& PKSB（パーキングサポートブレーキ）

衝突の可能性がある障害物を感知すると、画面にメッセージが表示される。（PCS（プリクラッシュセーフティシステム）、PKSB（パーキングサポートブレーキ）については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

知識

- シフトレバーがD､Nのときにパノラミックビュー＆ワイドフロントビューを表示できます。
- シフトレバーがRのときにカメラスイッチを押すと､パノラミックビュー＆ワイドフロントビューに切り替えできます。
- クリアランスソナーの障害物の接近をお知らせする機能であり、画面に障害物感知方向の映像が映ることはありません。

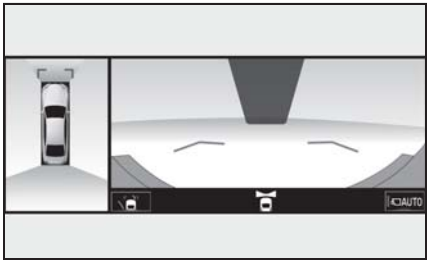
警告

- 乗車人数・積載量・路面の勾配などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- クリアランスソナー、FCTA(フロントクロストラフィックアラート)&ITS Connect の表示は、カメラ映像に重畳して表示しているため、周囲の明るさや色などによっては見えにくい場合があります。

ガイド線表示モードについて

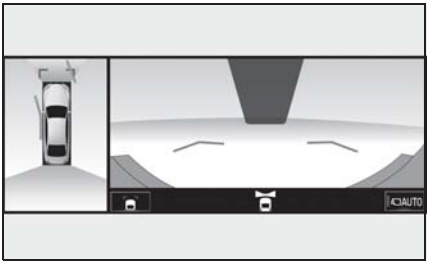
ガイド線表示モード切り替えスイッチを選択するごとに、表示モード が切り替わります。

▶ 距離目安線表示モード



- 車両前端から約 1.0 m 先を示します。（青色）

▶ 予想進路線表示モード



● ハンドル操作と連動して、進路の目安を示します。（黄色）直進状態から 90 度以上ハンドル操作をした場合に表示されます。

自動表示モードについて

カメラスイッチの操作による表示に加え、車速に応じて自動的にパノラミックビュー＆ワイドフロントビュー、パノラミックビュー＆サイドクリアランスビュー、パノラミックビュー＆コーナリングビューが表示される自動表示モードを設定することができます。

● 自動表示モードを ON にすると、次の場合に自動で表示することができます。

・ シフトレバーを D または N にしたとき

・ 車速が約 10km/h 以下に減速したとき（シフトレバーが R 以外）

● 自動表示モード 切り替えスイッチを選択するごとに、自動表示モードの ON/OFF が切り替わります。

クリアランスソナー連動表示機能について

クリアランスソナーの感知状態に応じて、パノラミックビュー＆ワイドフロントビューが自動的に表示されます。

● 次の場合に自動で表示されます。

・ クリアランスソナーが障害物を感知したとき（シフトレバーが D または N のとき）

● 次の場合に自動で元の画面へ戻ります。

・ クリアランスソナーの感知が終了したとき

知識

●画面表示中にリモートタッチの ボタンを押すと元の画面に戻ることができます。

パノラミックビュー＆サイドクリアランスビュー／コーナリングビューについて

車両をうしろ上空から見たような映像を表示し、車両側方の安全確認や狭い小路での接触回避などの操作を補助するモードです。

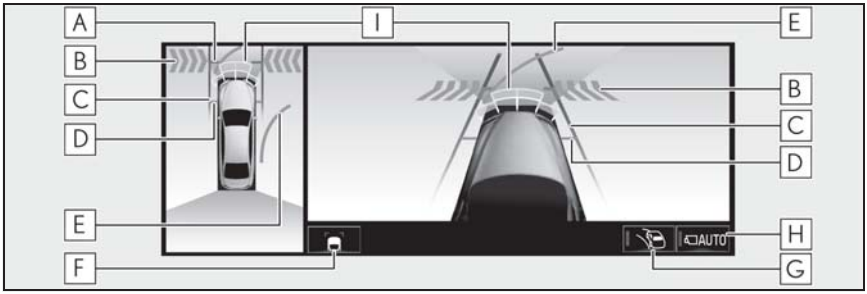
画面を表示する

1 シフトレバーを D または N にする。

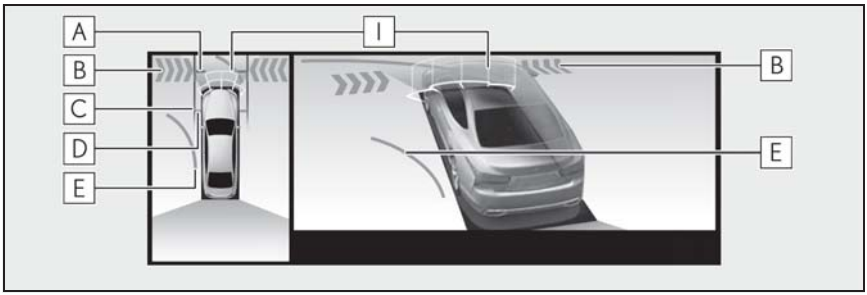
2 カメラメインスイッチをパノラミックビュー＆サイドクリアランスビュー／コーナリングビューが表示されるまで押す。

● パノラミックビュー＆サイドクリアランスビュー／コーナリングビューが表示されます。

▶ パノラミックビュー＆サイドクリアランスビュー



▶ パノラミックビュー＆コーナリングビュー



A 前方距離目安線

車両前端から約 1.0m 先（青色）を示す。

B FCTA(フロントクロストラフィックアラート)（Lexus Safety System+A 装着車）& ITS Connect

前側方からの接近車両や障害物をFCTA(フロントクロストラフィックアラート)または

ITS Connect が感知すると、画面にインジケーターが表示される。(FCTA(フロントクロストラフィックアラート)、ITS Connect については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

C 車幅平行線

ドアミラー分を含んだ車幅の目安線（灰色）を示す

D 前輪接地線

前タイヤの位置（灰色）を示す。

E 前進予想進路線

ハンドル操作と連動して、進路の目安を示す (黄色)。(直進状態から 90 度以上ハンドル操作をした場合に表示)

F ガイド線表示モード切り替えスイッチ

ガイド線表示モードを切り替える。

G コーナリングビュー自動表示モード切り替えスイッチ

・ コーナリングビュー自動表示モードの ON/OFF を切り替える。(→P.366)
・ コーナリングビュー自動表示モードが ON のときは作動表示灯が点灯します。

H 自動表示モード切り替えスイッチ

・ 自動表示モードの ON/OFF を切り替える。(→P.366)
・ 自動表示モードが ON のときは作動表示灯が点灯します。

I クリアランスソナー

クリアランスソナーが ON のとき、クリアランスソナーが障害物を感知すると、画面にインジケーターが表示される。(クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

知識

- シフトレバーが D、N のときにパノラミックビュー＆サイドクリアランスビュー、パノラミックビュー＆コーナリングビューを表示できます。
- クリアランスソナーは障害物の接近をお知らせする機能であり、画面に障害物感知方向の映像が映ることはありません。
- クリアランスソナーが　ON　のときのみ、パノラミックビュー＆サイドクリアランスビュー、パノラミックビュー＆コーナリングビューを表示できます。

警告

- 乗車人数・積載量・路面の勾配などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- クリアランスソナー、FCTA(フロントクロストラフィックアラート) の表示は、カメラ映像に重畳して表示しているため、周囲の明るさや色などによっては見えにくい場合があります。

自動表示モードについて

カメラスイッチの操作による表示に加え、車速に応じて自動的にパノラミックビュー＆サイドクリアランスビュー／コーナリングビューが表示される自動表示モードを設定することができます。

● 自動表示モードをONにすると、次の場合に自動で表示することができます。

・シフトレバーをDまたはNにしたとき

・車速が約 10km/h 以下に減速したとき（シフトレバーがR以外）

● 自動表示モード 切り替えスイッチを選択するごとに、自動表示モードのON/OFF が切り替わります。

コーナリングビュー自動表示モードについて

ハンドル操作に応じて自動的にパノラミックビュー＆コーナリングビューが表示されるコーナリングビュー自動表示モードを設定することができます。

● コーナリングビュー自動表示モードを ON にすると、次の場合に自動でコーナリングビューを表示することができます。

・シフトレバーをDまたはNにしたとき

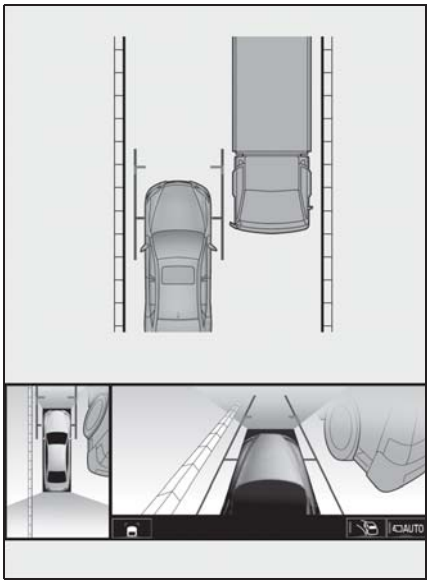
・車速が約 10km/h 以下に減速したとき（シフトレバーがR以外）

・直進状態から 180 度以上ハンドル操作をしたとき

● コーナリングビュー自動表示モード切り替えスイッチを選択するごとに、コーナリングビュー自動表示モードのON/OFF が切り替わります。

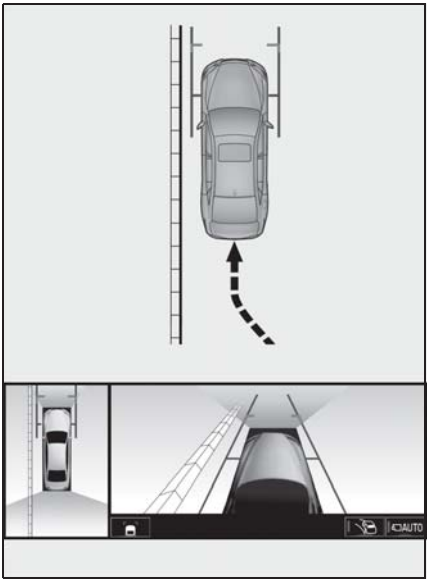
車幅平行線の使い方

■ パノラミックビュー＆サイドクリアランスビュー



● 車幅平行線と障害物との位置関係を確認します。

● 車幅平行線が実際の障害物などに重ならないようにハンドル操作をして前進します。



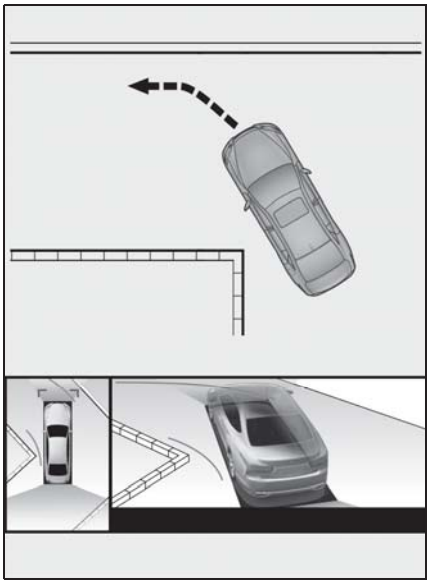
● 車両平行線と路肩の縁石などの目標物との位置関係を確認します。

● 上記のように車幅平行線が重ならないように車両を幅寄せします。

● 同時に車幅平行線と目標物が平行になるように運転操作することで、目標物に沿って駐車することができます。

前進予想進路線の使い方

■ パノラミックビュー＆コーナリングビュー



● 前進予想進路線と障害物との位置関係を確認します。

● 前進予想進路線が実際の障害物と重ならないようにハンドル操作をして前進します。

パノラミックビュー＆バックビュー／ワイドバックビュー

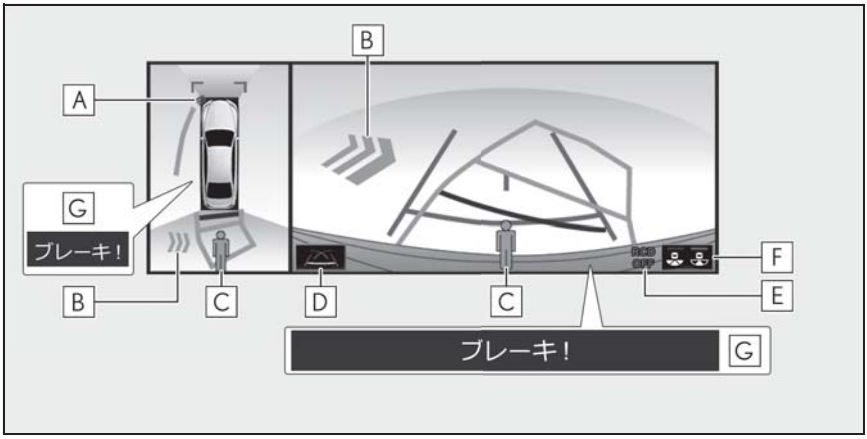
駐車時の安全確認を行うために、車両上方からの映像と後方カメラからの映像を同時に表示するモードです。

画面を表示する

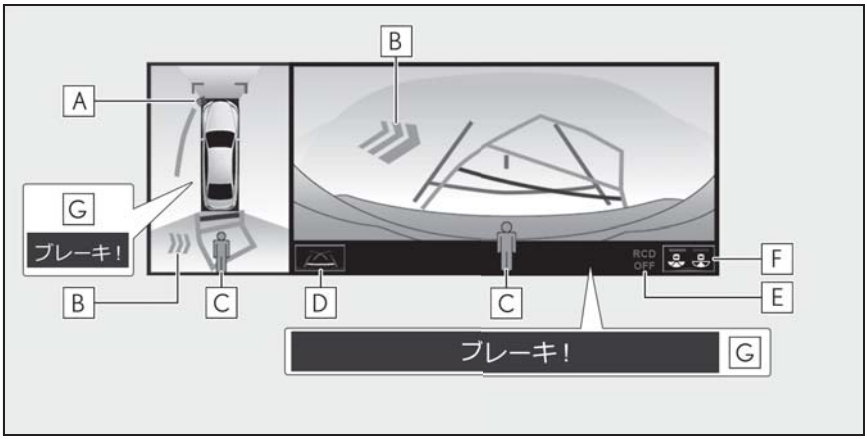
1 シフトレバーを R にする。

● パノラミックビュー＆バックビュー／ワイドバックビューが表示されます。

▶ パノラミックビュー＆バックビュー



▶ パノラミックビュー＆ワイドバックビュー



A クリアランスソナー

クリアランスソナーが ON のとき、クリアランスソナーが障害物を感知すると、画面にインジケーターが表示される。（クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

B RCTA（リヤクロストラフィックアラート）

後側方からの接近車両や障害物を後側方レーダーで検知すると、画面にインジケーターが表示される。（RCTA（リヤクロストラフィックアラート）については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

C RCD（リヤカメラディテクション）

後方の歩行者をリヤカメラが検知すると、画面にインジケーターが表示される。（RCD（リヤカメラディテクション）については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

D ガイド線表示モード切り替えスイッチ

スイッチを押すたびにガイド線表示モードが切り替わります。（→P.370）

E RCD（リヤカメラディテクション）表示灯

RCD 機能が OFF の時は、RCD OFF 表示灯が表示されます。エンジン／パワースイッチが ON モードになるたび、RCD 機能は ON になります。（RCD（リヤカメラディテクション）については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

F 画面モード切り替えスイッチ

スイッチを押すたびに、バックビューとワイドバックビューが切り替わります。

G PCS（プリクラッシュセーフティシステム）（Lexus Safety System+A 装着車）& PKSB（パーキングサポートブレーキ）

衝突の可能性がある障害物を感知すると、画面にインジケーターが表示される。（PCS（プリクラッシュセーフティシステム）、PKSB（パーキングサポートブレーキ）については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

知識

- シフトレバーが R のときにパノラミックビュー＆バックビュー／ワイドバックビューを表示できます。
- シフトレバーがRのときにカメラスイッチを押すと、パノラミックビュー＆ワイドフロントビューに切り替えできます。

警告

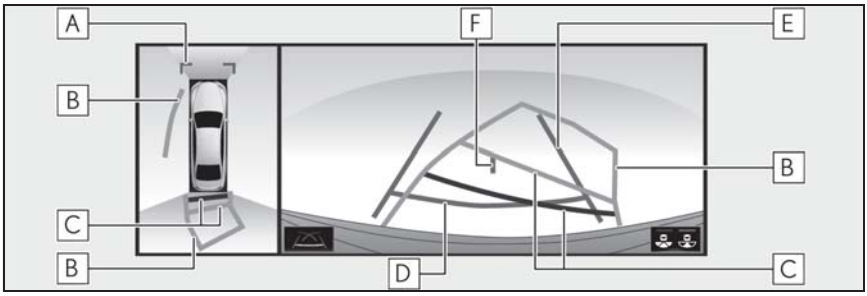
- 乗車人数・積載量・路面の勾配などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- クリアランスソナー、RCTA（リヤクロストラフィックアラート）の表示は、カメラ映像に重畳して表示しているため、周囲の明るさや色などによっては見えにくい場合があります。

ガイド線表示モードについて

ガイド線表示モード切り替えスイッチを選択するごとに、表示モード が切り替わります。

▶ 予想進路線表示モード

ハンドル操作に連動した予想進路線などが表示されます。



A 前方距離目安線

車両前端から約 1.0m 先（青色）を示す。

B 予想進路線

ハンドル操作と連動して、進路の目安（黄色）を示す。

C 後方距離目安線

車の後方の距離を示す。
・ 予想進路線と連動する。
・ 車両後端から約 0.5m 先（赤色）・約 1m 先（黄色）を示す。

D 後方距離目安線

車両後端から約 0.5m 先（青色）を示す。

E 後方車幅延長線

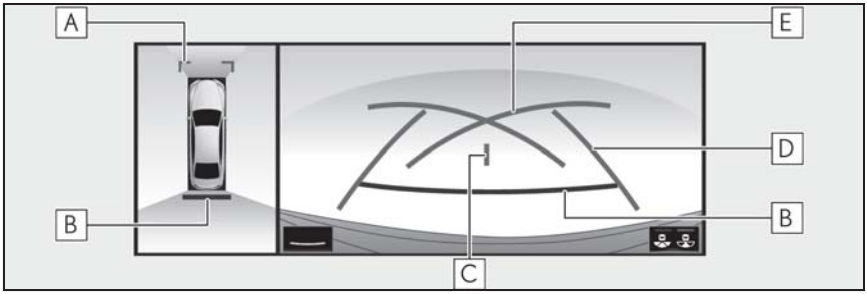
車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。
・ 実際の車幅より広く表示。
・ 直進状態になっているときは、予想進路線と重なる。

F 車両中央線

後方車幅延長線の中心位置（青色）を示す。

▶ 駐車ガイド線表示モード

ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されます。予想進路線表示を必要とせずに駐車できる、車両感覚に慣れた方におすすめします。



A 前方距離目安線

車両前端から約 1.0m 先（青色）を示す。

B 後方距離目安線

車の後方の距離を示す。

・ 車両後端から約 0.5m 先（赤色）を示す。

C 車両中央線

後方車幅延長線の中心位置（青色）を示す。

D 後方車幅延長線

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。

・ 実際の車幅より広く表示。

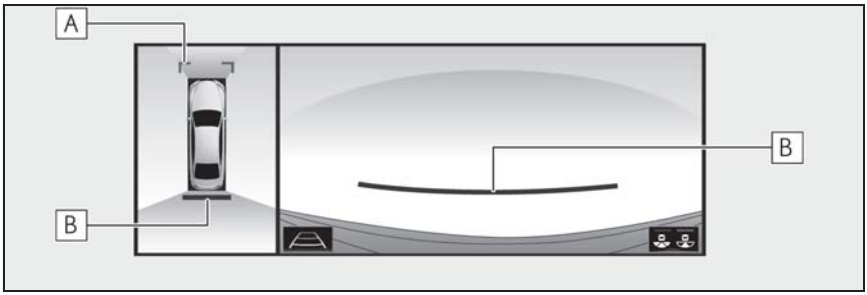
E 駐車ガイド線

もっとも後方へ小まわりしたときの進路の目安を示す。

・ 駐車時にハンドルを操作する位置の目安。

▶ 距離目安線表示モード

距離目安線のみ表示されるモードです。ガイド線を必要としない方におすすめします。



A 前方距離目安線

車両前端から約 1.0m 先（青色）を示す。

B 後方距離目安線

車の後方の距離を示す。

・車両後端から約 0.5m 先（赤色）を示す。

知識

●トランクが閉じていないとガイド線は表示されません。トランクを閉じてもガイド線が表示されない場合は、レクサス販売店で点検を受けてください。

●クリアランスソナーは障害物の接近をお知らせする機能であり、画面に障害物感知方向の映像が映ることはありません。

警告

●ハンドルがまっすぐ（直進状態）で車幅延長線と予想進路線がずれているときは、できるだけ曲り角・カーブ等がなく、渋滞の少ない道路を前進で約 5 分間以上走行してください。それでも直らない場合は、レクサス販売店で点検を受けてください。

●後方車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

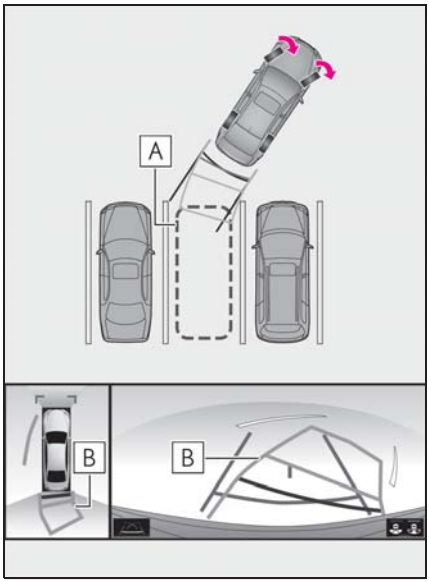
駐車する

予想進路線表示モード

以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

1 シフトレバーを R にする。

2 予想進路線が駐車スペースの中に入るようにハンドルを操作して、ゆっくり後退する。

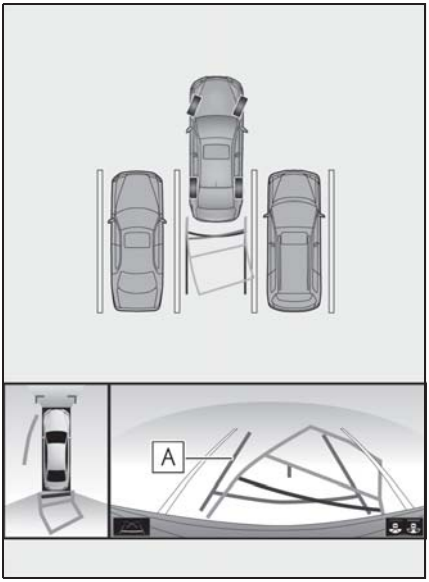


A 駐車スペース

B 予想進路線

3 車の後部が駐車スペースの中に入ったら、車幅延長線が駐車ス

ペース左右の区画線の間に入るようにハンドルを操作する。



A 車幅延長線

4 車幅延長線と駐車スペースの区画線が平行になったら、ハンドルをまっすぐにして、車が駐車スペースにすべて入るまで、ゆっくり後退する。

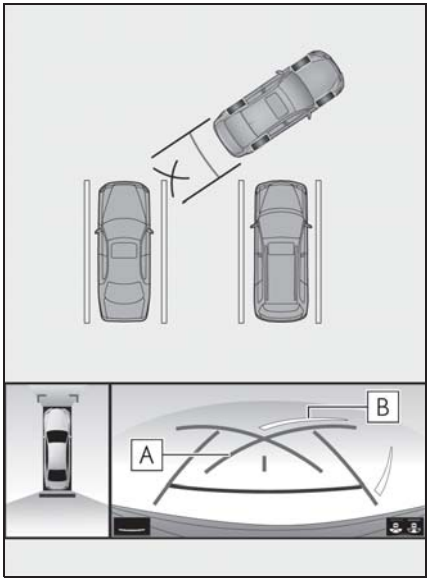
5 適切な位置で停車し、駐車を終える。

駐車ガイド線表示モード

以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

1 シフトレバーを R にする。

2 駐車ガイド線が駐車スペースの左端の区画線に合うまで後退したら止まる。



A 駐車ガイド線

B 駐車場の区画線

3 ハンドルを右いっぱいにまわして、ゆっくり後退する。

4 車が駐車スペースと平行になったら、ハンドルをまっすぐにして、車が駐車スペースにすべて入るまで、ゆっくり後退する。

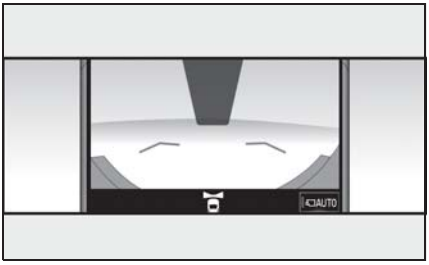
5 適切な位置で停車し、駐車を終える。

ドアミラー格納時の表示について

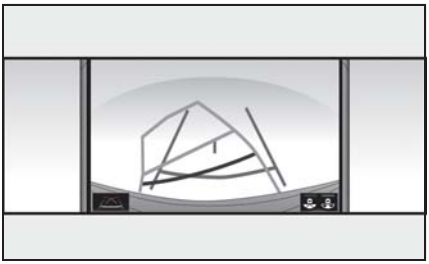
ドアミラーを格納した場合、パノラミックビューの代わりにサイドカメラからの映像が表示されます。狭い場所での幅寄せ駐車の際などに、車両周辺の安全確認を補助します。

画面の見方について

▶ ワイドフロントビュー＆サイドビュー



▶ バックビュー＆サイドビュー



▶ ワイドバックビュー＆サイドビュー

警告

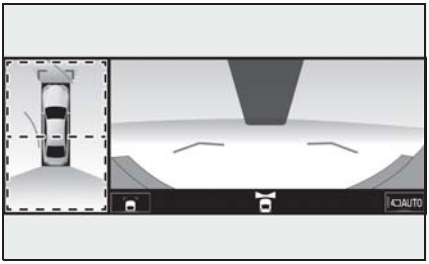
- 乗車人数・積載量・路面の勾配などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

拡大機能について（パノラミックビュー）

パノラミックビューを表示させているとき、画面に映っているものが小さく見えにくい場合に、パノラミックビューの車両の前後 2 カ所のいずれかを拡大して表示させることができます。

画面を拡大表示させる

1 パノラミックビューを表示させているとき（パノラミックビュー＆コーナリングビュー表示中は除く）に、パノラミックビューの拡大させたいエリアを選択。



● 選択したエリアが拡大表示されます。

● 拡大表示を解除するには、再度画面を選択します。

知識

●以下の条件をすべて満たすと拡大機能を使用することができます。
・ 車速が 12km/h 以下
・ クリアランスソナーがONになっている

●以下のいずれかの条件を満たすと拡大表示が自動的に解除されます。
・ 車速が 12km/h 以上になった
・ クリアランスソナーを OFF にした

●シフトレバーが R のときの パノラミックビュー＆フロントビューでは、拡大機能を使用できません。

●パノラミックビューの拡大表示は、通常のパノラミックビューとは違い、ガイド線を表示しません。

●クリアランスソナーの割込表示は障害物の接近をお知らせする機能であり、画面に障害物感知方向の映像が映ることはありません。

パノラミックビューモニターの注意点について

運転時の注意

運転操作時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認してください。お守りいただかないと、車をぶつけるなど、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。パノラミックビューモニターを使用するときは以下のことをお守りください。

警告

- パノラミックビューモニターを過信しないでください。一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に運転してください。特に周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- 運転操作時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 画面だけを見ながら運転操作することは絶対にしないでください。画面に映し出されている映像と実際の状況は異なることがあります。また、カメラの映し出す範囲は限られていますので、画面だけを見て右左折、後退することは絶対にしないでください。車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。必ず目視やインナーミラー、ドアミラーなどで周囲の安全を確認し、十分注意したうえで運転してください。
- 乗車人数・積載量・路面の勾配などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 以下のような状況では、使用しないでください。
  - ・凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
  - ・タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
  - ・フロントドア・トランクが完全に閉まっていないとき
  - ・坂道など平坦でない道路
  - ・タイヤをメーカー指定のものから交換しているとき
  - ・サスペンションを改造しているとき
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

注意

- シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューは、フロントカメラとバックカメラ、左右サイドカメラが撮影した映像を合成処理した映像です。表示可能な範囲や表示内容には限界があるため、パノラミックビューモニターの特性を十分理解したうえで使用してください。

注意

●シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューの四隅には、それぞれのカメラ映像境界位置を中心に映像合成処理領域が存在し、映像の鮮明度が低下することがありますが、故障ではありません。

●それぞれのカメラ付近の照度条件により、シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューに明暗ができる場合があります。

●シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューでは、それぞれのカメラの取り付け位置や撮像範囲より上部は表示されません。

●車両付近には死角があり、パノラミックビューモニターには表示されない領域があります。

●ワイドフロントビュー または バックビュー、ワイドバックビュー、サイドビューに表示されている立体物が、シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューでは表示されない場合があります。

●パノラミックビューモニターは、人物や障害物などの立体物が実際と異なって表示される場合があります。（倒れているように表示される場合や、映像合成処理領域付近で消えてしまう場合、映像合成処理領域付近から現れるように表示される場合、表示位置の距離感が実際と異なるなど）

●パノラミックビューモニターは、以下のとき正しく表示されません。また、クリアランスソナー、ガイド線などは、以下のとき正しく表示されないことがあります。

・バックカメラが取り付けられたトランクが開いている

・サイドカメラを内臓したドアミラーが閉じている

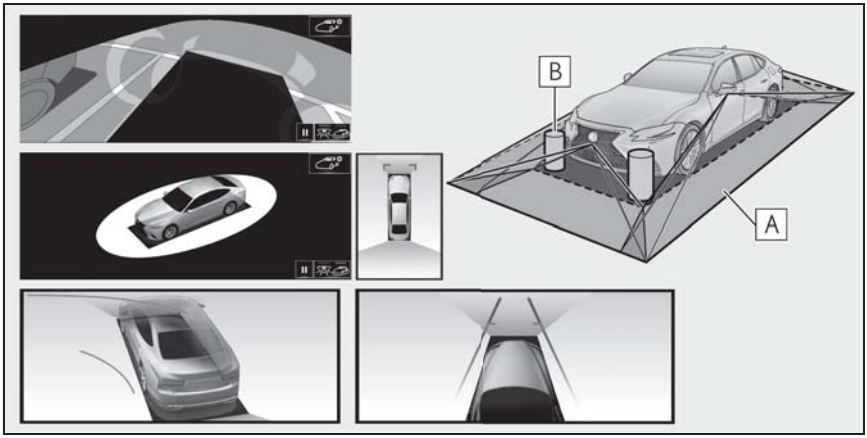
・ドアミラーが取り付けられたフロントドアが開いている

●シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューに表示される車両アイコンは、コンピューターグラフィックによる画像を表示しているため、実際の車両とは色や形状、大きさなどが異なります。このため、車両付近の立体物が車両と接触しているように見える場合や、立体物との位置関係が実際の位置関係と異なる場合があります。

画面に映る範囲について

シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー（拡大表示を含む）、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューについて

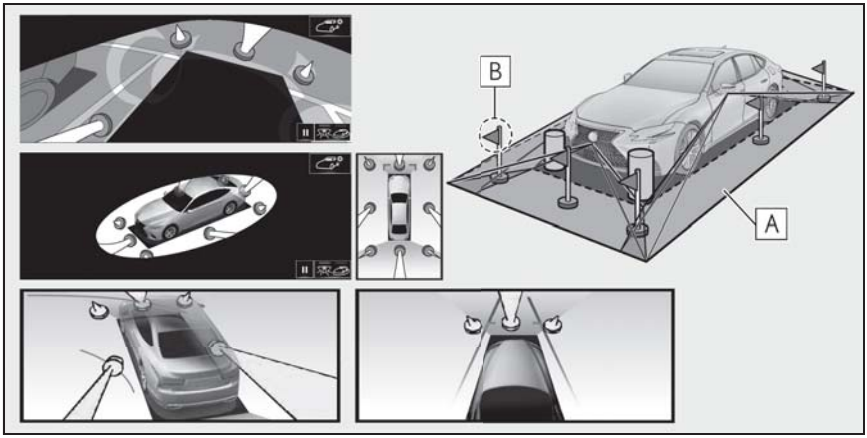
車両付近には死角があり、表示されない領域があります。画面では車両の周辺に何も表示されていなくても、実際には障害物が進路上にあるため、接触することがあります。必ず周囲の安全を直接確認してください。



A 画面に映るエリア

B 画面に映らない障害物

黒色部分内にある障害物は画面に表示されません。



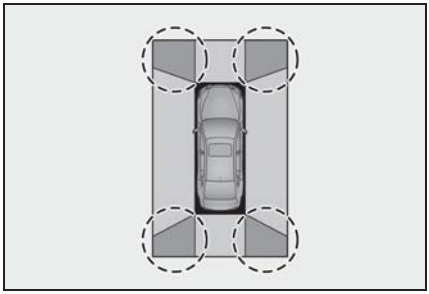
A 画面に映るエリア

B 画面に映らない障害物

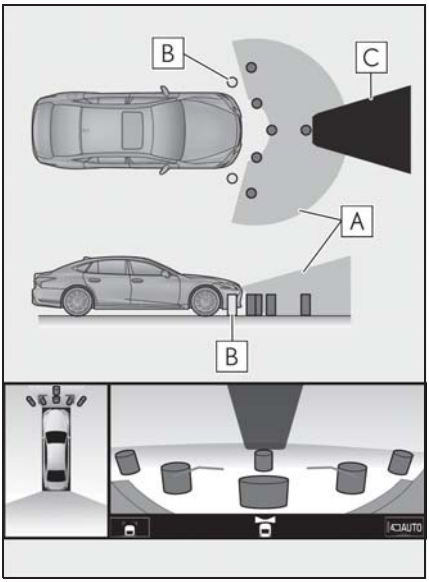
路面より高い部分は画面に表示されません。

知識

- 車両アイコンまわりの黒色部分はカメラに映らない部分です。直接確認してください。
- シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー（拡大表示を含む）、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューは、4 つのカメラから得られた画像を平な路面を基準に加工して表示しているため、以下のように表示されることがあります。
・ 立体物が倒れて細長く、もしくは大きく見える。
・ 路面より高い位置にある立体物が実際より遠くに見える、もしくは見えない。
・ 高さのある物が合成のつぎ目から現れてくるように見える場合がある。
- 照度条件により、カメラごとの映像の明るさにばらつきが出る場合があります。
- 乗員人数、積載状況、ガソリン残量による車体の傾きや車高の変化などにより、表示映像がずれる場合があります。
- 車高モードが標準モード以外のときは、表示映像がずれる場合があります。
- ドアが完全に閉まっていないと、表示映像・ガイド線が正しく表示されない場合があります。
- シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー（拡大表示を含む））、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューに表示されている車両アイコンと、路面・障害物との位置関係は実際の位置とは異なる場合があります。
- 字光式ナンバープレートを装着していると、画面上に映り込むことがあります。
- 下図の○部分は画像を合成しているため、映像が見えにくい場合があります。



ワイドフロントビューについて



A 画面に映るエリア

B 画面に映らない障害物

バンパーの両端付近は画面に映りません。

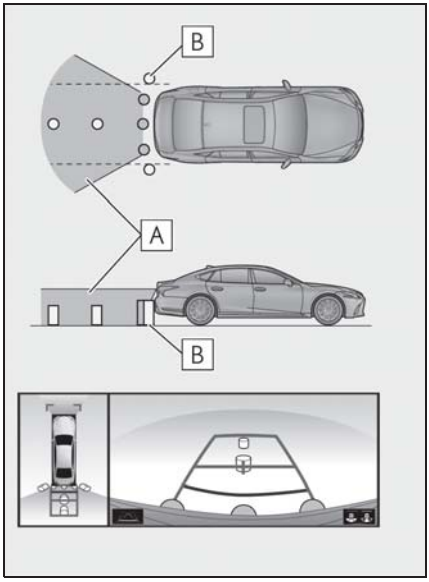
C マスキング

知識

- 車両前方は距離感が異なるため、マスキングをしています。
- カメラの映し出される範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの真下付近にある物は映し出されません。
- 画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- ワイドフロントビューのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感は実際の距離とは異なります。

バックビュー・ワイドバックビューについて

▶ バックビュー

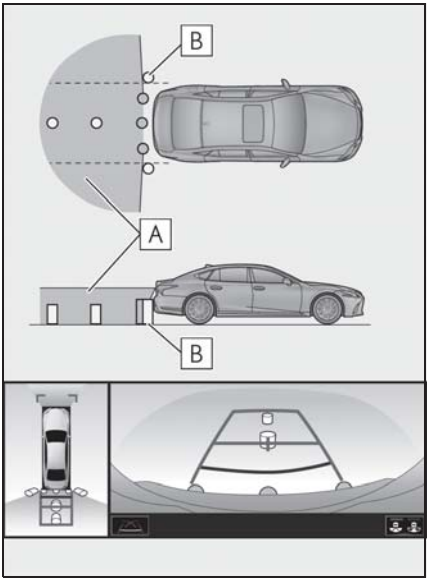


A 画面に映るエリア

B 画面に映らない障害物

バンパーの両端付近は画面に映りません。

▶ ワイドバックビュー



A 画面に映るエリア

B 画面に映らない障害物

バンパーの両端付近は画面に映りません。

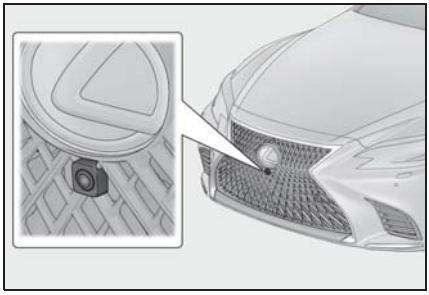
知識

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラの映し出される範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの真下付近にある物は映し出されません。
- 画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- バックビュー・ワイドバックビューのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感は実際の距離とは異なります。
- バックカメラより高い位置にあるものについては、モニターに映らないことがあります。
- 字光式ナンバープレートを装着していると、画面上に映り込むことがあります。

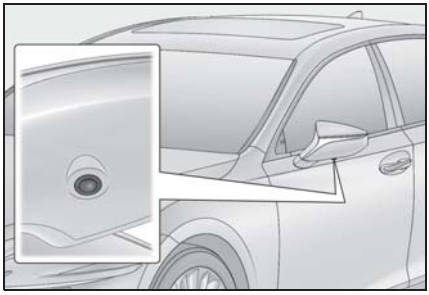
カメラについて

パノラミックビューモニターの各カメラは図の位置にあります。

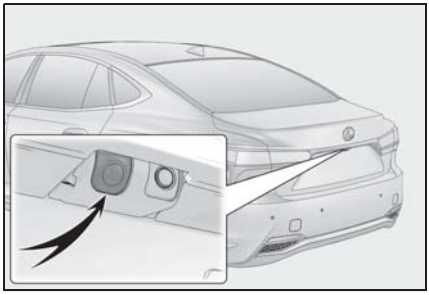
▶ フロントカメラ



▶ サイドカメラ



▶ バックカメラ



カメラのお手入れについて

カメラに水滴、雪、泥などの異物や汚れが付着していると、鮮明な画像を見

ることができません。この場合、大量の水でカメラの汚れを流し、水で湿らせた柔らかい布でカメラレンズをふき取ってください。

⚠注意

●パノラミックビューモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことにご注意ください。

・カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。

・カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。

・カメラレンズを洗うときは、大量の水でカメラの汚れを流した後、水で湿らせた柔らかい布でカメラレンズをふき取ってください。カメラレンズを強くこするとカメラレンズが傷ついて、鮮明な画像を見ることができなくなるおそれがあります。

・カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。

・寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。

・洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、装置が正常に作動しなくなるおそれがあります。

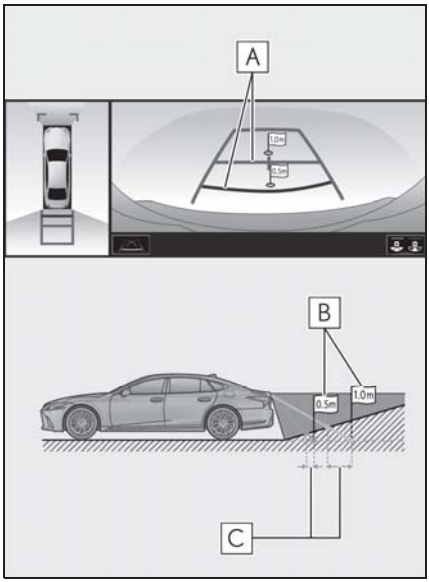
●カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにレクサス販売店で点検を受けてください。

画面と実際の路面との誤差について

パノラミックビューモニターの合成映像・ガイド線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

急な上り坂が後方にあるとき

実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。そのため、上り坂にある障害物は実際より遠くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。



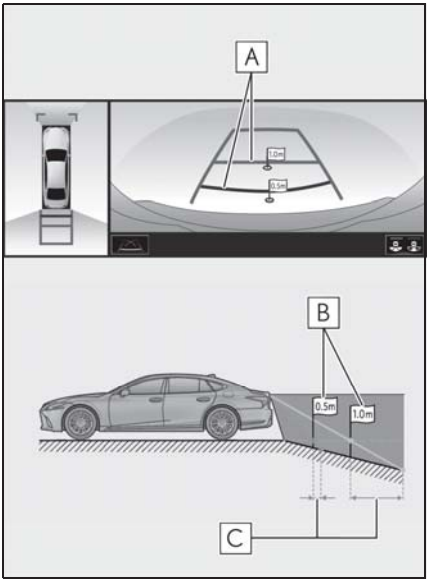
A 距離目安線

B 実際の距離

C 誤差

急な下り坂が後方にあるとき

実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。そのため、下り坂にある障害物は、実際より近くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。



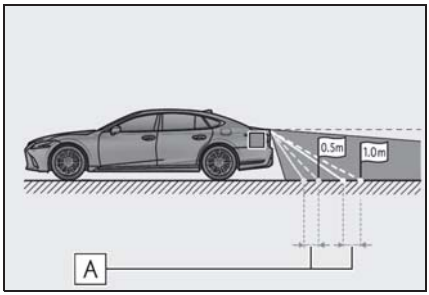
A 距離目安線

B 実際の距離

C 誤差

車が傾いているとき

乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。



A 誤差

画面と実際の立体物との誤差について

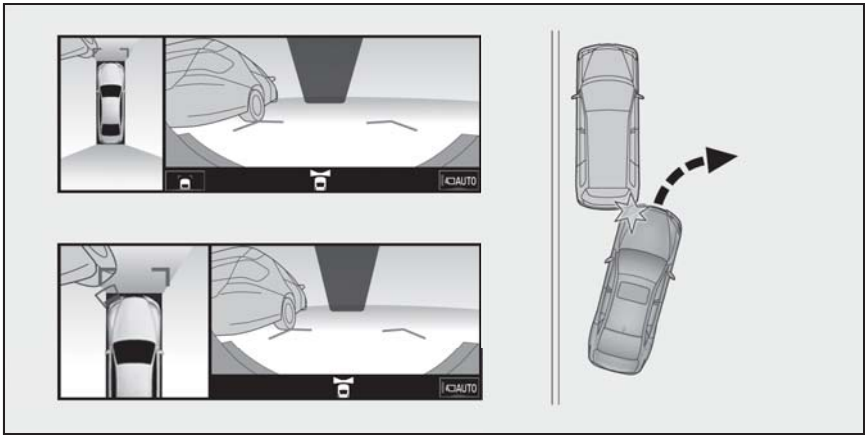
画面に表示されるガイド線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断することができません。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、以下のことにご注意ください。

警告

- クリアランスソナーの表示が赤色のときは、必ず直接確認して、それ以上進まないでください。車をぶつけるなど、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

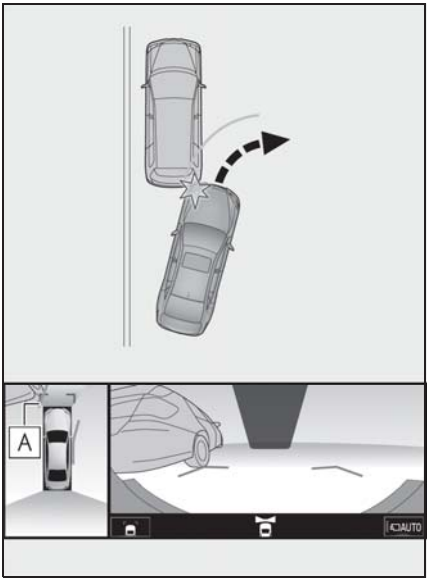
パノラミックビュー（拡大表示を含む）の表示について

画面では車両のバンパーとの間に余裕があり、ぶつからないように見えても、実際には車両が進路上にあるためぶつかることがあります。周囲の安全を直接確認してください。



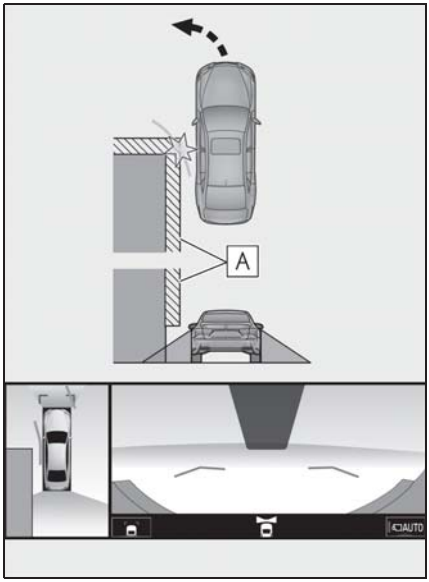
予想進路線について

● 画面では車両のバンパーが予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際には車両が進路上にあるためぶつかることがあります。周囲の安全を直接確認してください。



A 予想進路線

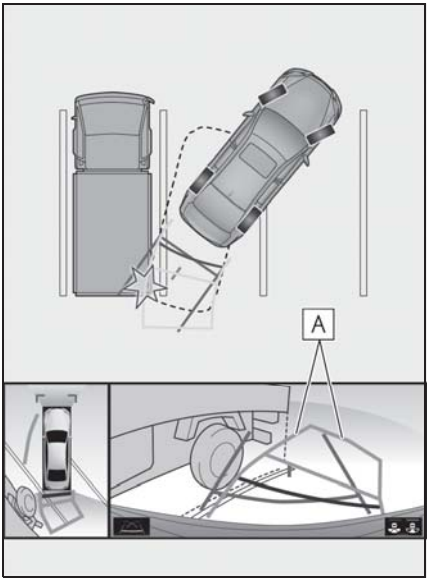
● 高い位置にある立体物（張り出しのある壁やトラックの荷台など）は、画面に映らない場合があります。周囲の安全を直接確認してください。



A 壁の張り出し部分

● 画面では、トラックの荷台が予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際は荷台が

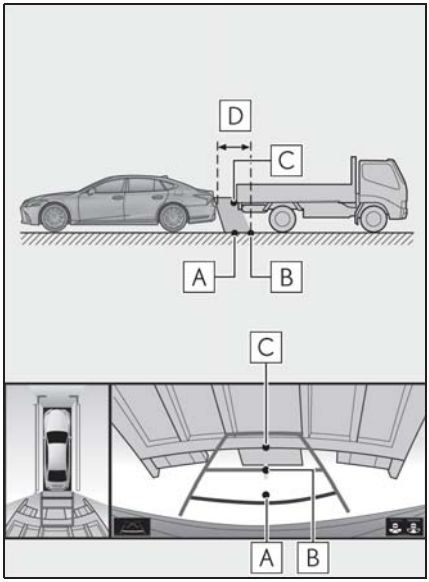
進路上に張り出しているためぶつかることがあります。周囲の安全を直接確認してください。



A 予想進路線

距離目安線について

画面では、距離目安線によりBの位置にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはAの位置まで後退すると、ぶつかります。画面ではA、B、C の順に近く見えますが、実際の距離はAとCは同じ距離で、BはAとCより遠い距離にあります。後方や周囲の安全を直接確認してください。



D 約 1.0m

知っておいていただきたいこと

故障とお考えになる前に

下記のような症状で気になったりお困りになった時は、考えられる原因と処置を参考に、もう一度確認してください。

処置をしても直らないときは、レクサス販売店で点検を受けてください。

症状	考えられる原因	処置
画面が見にくい	●夜間など暗いところで使用。 ●レンズ付近の温度が高い、または低い。 ●外気温が低いとき。 ●カメラに水滴がついた。 ●雨天時など湿度が高い。 ●カメラ付近に異物（泥など）がついた。 ●太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たった。 ●蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの照明下で使用した。	車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。 カメラおよびその周辺環境が改善されてから、再びパノラミックビューモニターをご使用ください。 パノラミックビューモニターの画質調整の方法は、ナビゲーション画面の調整と同じです。（→P.57）
画面が不鮮明	カメラのレンズに水滴、雪、泥など異物や汚れが付着している。	大量の水でカメラの汚れを流した後、水で湿らせた柔らかい布でカメラレンズをふき取ってください。
画面がずれている	カメラ部に強い衝撃が与えられた。	レクサス販売店で点検を受けてください。
ガイド線が大きくずれる	カメラの位置がずれている。	レクサス販売店で点検を受けてください。
	●車が傾いているとき（重い荷物の積載やパンクしてタイヤ空気圧が低いときなど）。 ●傾斜地で使用するとき。	車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。

症状	考えられる原因	処置
ハンドルが直進状態であるにも関わらず予想進路線がまがっている（車幅延長線と予想進路線がずれる）	ステアリングセンサーの信号に異常が発生した。	レクサス販売店で点検を受けてください。
ガイド線が表示されない	トランクが開いている。	トランクを閉める。 直らない場合は、レクサス販売店で点検を受けてください。
画面に◆と表示された	●12V バッテリーの脱着中にハンドル操作を行った。 ●12V バッテリー能力が低下した。 ●12V バッテリーを脱着した。 ●ステアリングセンサーを脱着した。 ●ステアリングセンサーの信号に異常が発生した。	車を止め、ハンドルを左右いっぱいにまわしてください。 直らない場合は、レクサス販売店で点検を受けてください。
パノラミックビューが拡大できない シースルービュー／ムービングビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューが表示されない	クリアランスソナーに異常（汚れ・故障など）が発生した。	クリアランスソナー異常時の対処方法にしたがってください。（クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

ライセンスについて

This product contains eT-Kernel Multi-Core Edition™ real-time OS of eSOL Co.,Ltd.
Copyright (c) 2017 eSOL Co.,Ltd.
eT-Kernel Multi-Core Edition™ is a trademark of eSOL Co.,Ltd in Japan.

T-Kernel
This Product uses the Source Code of T-Kernel under T-License granted by the T-Engine Forum (www.t-engine.org).

ハンズフリー 7

7-1. お使いになる前に

ハンズフリーについて 390

ハンズフリーの準備をする 392

7-2. ハンズフリーの基本操作

ステアリングスイッチで操作する 395

マルチインフォメーションディスプレイとの連携 396

電話をかける 396

電話を受ける 399

7-3. ハンズフリーの便利な使い方

色々な方法で電話をかける 401

通話中の操作 402

簡易画面について 405

7-4. ハンズフリーの設定を変更する

電話の設定・編集をする 407

知っておいていただきたいこと 414

ハンズフリーについて

動作確認済の Bluetooth 携帯電話※（以下「携帯電話」）を本機に接続することで、携帯電話を直接操作することなく、「電話をかける」「電話を受ける」という電話機能を使用できます。これをハンズフリー機能と呼びます。
また、G-Link でオプションの自動車専用ハンズフリー電話を契約された場合は、携帯電話がなくても、通信モジュール（DCM）を使用してハンズフリー機能が利用できます。

本システムに接続する携帯電話は、本機の仕様に対応した携帯電話である必要があります。（→P.38）ただし、携帯電話の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 本機で携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をレクサス販売店または http://lexus.jp/ でご確認ください。なお、動作確認は、一定の条件下で確認したものです。そのため、携帯電話の仕様変更などにより、動作確認済機種でも、確認内容が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

ハンズフリーが使用できないとき

● 次の場合は、ハンズフリーを使用することができません。

・ 通話エリア外のとき
・ 回線が混雑しているなど、発信規制中のとき
・ 緊急通報中のとき
・ 携帯電話から電話帳データを転送中のとき
・ 携帯電話がダイヤルロックされているとき
・ データ通信中など、携帯電話が使用中のとき
・ 携帯電話が故障しているとき
・ 携帯電話が本機に接続されていないとき
・ 携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき
・ 携帯電話の電源が OFF のとき
・ 携帯電話の設定が、ハンズフリーモードでないとき
・ 本機側でデータ通信や電話帳転送からハンズフリー通話に切り替えているとき
（切り替え中は本機の Bluetooth 接続状態表示が表示されません。）
・ その他、携帯電話自体が使えないとき

知識

● 三者通話を契約しているときは、携帯電話本体で三者通話を解除してからお使いください。

● ヘルプネットをご利用の場合は、次のような制限があります。
・ ヘルプネット動作中はハンズフリーを使用できません。
また、ヘルプネット動作中は電話を切る操作による回線切断ができません。ただし、呼び返し待機中は、ハンズフリーで発信できます。
・ 着信中、応答保留中または通話中画面表示中にヘルプネットが起動すると、ハンズフリーは強制終了されて、ハンズフリー画面が解除されます。

お車を手放すとき

ハンズフリーを使用すると、多数の個

人情報が登録されます。

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。（→P.58）

なお、個人情報の初期化を行うと、二度ともとの状態に戻すことはできません。

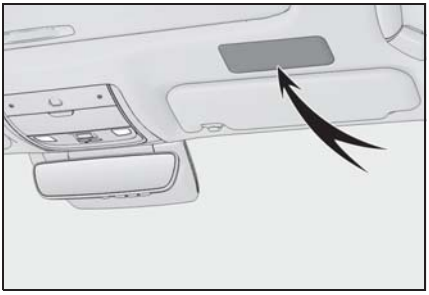
間違えて初期化してしまわないよう、ご注意ください。

● ハンズフリーでは、次の情報が初期化されます。

・電話帳データ
・画像データ
・発信または着信の履歴データ
・ワンタッチダイヤル
・Bluetooth 電話機の登録情報
・ロック No.
・ハンズフリー関連の設定・編集項目

音声について

マイクを通して通話できます。



● 着信通知や通話時などの音声出力は、前席両側のスピーカーから出力されます。

● ハンズフリーで音声や呼び出し音などが出力されると、オーディオ音声などはミュート（消音）されます。

知識

●通話時は通話相手と交互にお話しください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声が相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなることがあります。（故障ではありません。）

●受話音量はできるだけ小さく調整してください。音量が大きい場合、次のようになることがあります。
・通話相手の音声が車外にもれる。
・通話相手側にエコーが聞こえる。

●音声は大きくはっきりとお話しください。

●次のような場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなることがあります。
・悪路走行時
・高速走行時
・窓を開けているとき
・エアコンの吹き出し口をマイクの方に向けたとき
・エアコン送風の音が大きいとき
・携帯電話をマイクに近づけたとき

●使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪化（ノイズ、エコーなど）することがあります。

●他の Bluetooth 対応機器（ポータブル機）が同時に接続されている場合、ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。

●本器で Wi-Fi® 機能を利用する設定にしていると、ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。

注意

●マイクに触れたり、先の尖った物を入れないでください。故障の原因となります。

ハンズフリーの準備をする

ハンズフリーを使用する前に、まず使用する通信機器の設定をします。

本システムは携帯電話を接続して使用しますが、オプションの自動車専用ハンズフリー電話を契約された場合は、通信モジュール(DCM)を使用してハンズフリー機能が利用できます。

ハンズフリーの設定をする

- 携帯電話を使用するとき(→P.36)
- 通信モジュール(DCM)を使用するとき(→P.394)

携帯電話を登録する

Bluetooth 携帯電話を使用するためには、携帯電話を本機に初期登録する必要があります。(→P.36)

携帯電話を接続する

Bluetooth 携帯電話の本機への接続は、自動と手動の 2 通りの方法があります。

知識

- 携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth オーディオの再生中に接続動作を行った場合、オーディオ再生しているポータブル機、または携帯電話の接続を切断します。
- Bluetooth オーディオの操作後に携帯電話の接続を行った場合、接続できないことがあります。また、携帯電話の接続動作中に Bluetooth オーディオの操作を行った場合、接続が中断されます。これらの場合、しばらくしてから手動で接続を行ってください。
- 携帯電話接続時の動作が不安定な場合は、一度通話を切り、再度接続してください。
- Miracast™を利用中に携帯電話を登録すると、Miracast ™の音が途切れることがあります。

自動で接続する

Bluetooth 詳細設定の自動接続(→P.47)を「する」に設定すると、自動で Bluetooth 接続できます。

エンジンスイッチ<パワースイッチ>をOFFからイグニッションONモード <ON モード > にするたびに、本機は過去の接続履歴順に Bluetooth 接続します。

- Bluetooth 詳細設定の電話機の接続確認表示(→P.47)で「する」を選択しているときは、電話機が Bluetooth 接続されると、接続完了の表示が画面上部に表示されます。
  ハンズフリーを携帯電話で使用するときは、表示をご確認ください。

Bluetooth 接続状態表示でも確認できます。(→P.21)

- 接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。(→P.393)

知識

- 接続完了の表示は、エンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF からイグニッション ON モード <ON モード > にした

後、携帯電話と Bluetooth 接続が完了したときに表示されます。
（ヘルプネット動作後に再接続した場合は表示されません。）

●携帯電話の機種によってはエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞がイグニッションONモード＜ONモード＞のときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明を OFF に設定してください。
（設定については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。）

●PBAPに対応している携帯電話を接続すると、電話帳、発着信履歴は自動で同期されます。

手動で接続する

携帯電話の自動接続が失敗したときや自動接続 OFF 状態にしているときに Bluetooth 接続するときは、手動で Bluetooth 接続操作をします。

▶ 他の携帯電話が接続されていない時

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。

2 “設定・編集” を選択。

3 “Bluetooth” を選択。

● 携帯電話が登録されていない場合は、“はい” を選択し、追加する機器を選択。

・リスト上に登録したい機器が表示されない場合は、画面下の “見つからない場合は・・・” を選択して携帯電話からの登録を行ってください。（→P.37）

・複数の携帯電話／ポータブル機を使用する場合は、メッセージが表示されることがあります。画面の案内にしたがって操作してください。

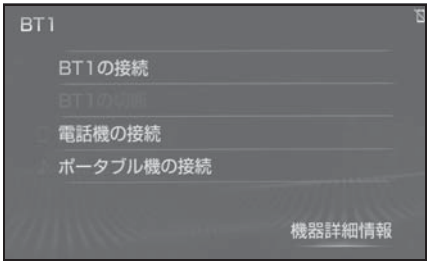
・携帯電話／ポータブル機の機種により、特定の画面を携帯電話／ポータブル機側で表示させないと、追加機器のリストに表示されない場合があります。詳しくは携帯電話／ポータブル機に添付の取扱説明書をご覧ください。

4 “登録機器” を選択。

5 携帯電話を Bluetooth 接続可能な状態にする。

6 使用する携帯電話を選択。

7 “電話機の接続 “または” （機器名称）の接続” を選択。



8 Bluetooth接続画面が表示される。

● 他のオーディオ機器などをBluetooth 接続しているときは、メッセージが表示されることがあります。画面の案内にしたがって操作してください。

9 電話画面が表示されたら、Bluetooth 接続状態表示を確認する。

● 良好な状態であれば携帯電話が使用できます。

▶ 他の携帯電話が接続されている時

1 電話画面を表示する（→P.396）

2 サブメニューの“接続”を選択。

3 携帯電話を Bluetooth 接続可能な状態にする。

4 使用する携帯電話を選択。

5 Bluetooth接続画面が表示される。

● 他の機器を Bluetooth 接続しているときは、メッセージが表示されることがあります。画面の案内にしたがって操作してください。

6 再び電話画面が表示されたら、Bluetooth 接続状態表示を確認する。

● 良好な状態であれば携帯電話が使用できます。

知識

● 携帯電話の状態によっては、一度で接続できない場合があります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

Bluetooth 接続の再接続について

エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞がイグニッションONモード＜ONモード＞のときに、一度接続が成立した Bluetooth 接続が切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、再接続処理を自動的に行います。この場合、“電話機の接続確認表示”、または“ポータブル機の接続確認表示”をする／しないを設定できます。（→P.47）

知識

● 再接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。（→P.393）

● 前回のエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞イグニッション ON モード＜ON モード＞ 時に接続していた電話機に、優先的に接続されます。

通信モジュール（DCM）の使用について

オプションの自動車専用ハンズフリー電話を契約された場合は、通信モジュール（DCM）を使用してハンズフリーを利用することができます。

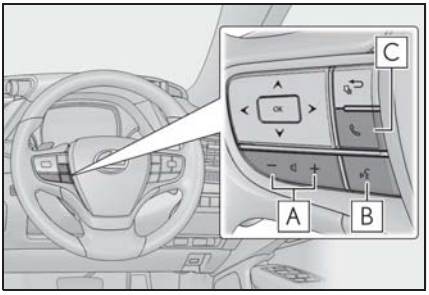
● 通信モジュール（DCM）を使用する場合は、「使用する通信機器を選択する」（→P.42）で通信モジュール（DCM）を選択します。

● 通信モジュール（DCM）でのハンズフリーを選択した場合は、携帯電話でのハンズフリーが使用できなくなります。

ステアリングスイッチで操作する

各部のはたらき

電話の主な操作は、ステアリングスイッチでも操作することができます。



A 音量調整スイッチ

＋：受話音量・着信音量が大きくなります。

－：受話音量・着信音量が小さくなります。

B トークスイッチ

音声操作で電話をかけることができます。

・音声操作中に約２秒間長押しすると、操作が中止されます。

C スイッチ

▶ 着信時または応答保留時

電話をとることができます。

▶ が画面に表示されているとき

電話をかけることができます。

▶ が画面に表示されていないとき

メーターの表示が電話画面に切り替わります。

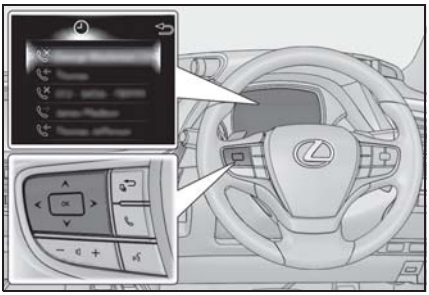
▶ 発信中または通話中

電話を切ることができます。

音声操作で電話をかけている場合、操作が中止されます。

マルチインフォメーションディスプレイとの連携

ハンズフリー機能は、マルチインフォメーションディスプレイの表示と連動しています。マルチインフォメーションディスプレイの表示を操作することで、電話をかける・電話に出るなどの機能を操作することができます。



● マルチインフォメーションディスプレイの操作は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

電話をかける

電話画面から色々な方法で電話をかけることができます。

電話画面を表示する

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。

2 “電話”を選択。

3 サブメニューから希望の項目を選択する。

● 携帯電話が登録されていないときはメッセージが表示されます。“はい”を選択すると、携帯電話の登録（→P.36）を開始します。

電話画面

A 発信または着信の履歴から電話をかける（→P.397）

B ワンタッチダイヤルから電話をかける（→P.398）

C 本機の電話帳から電話をかける（→P.398）

D 電話番号を入力して電話をかける（→P.398）

知識

● この画面から以下の設定もできます。

・2 台以上の電話機の登録がある場合、使用する電話機を選択することができる。
・電話の各種設定をする。

●その他、次の方法で電話をかけることもできます。
・音声認識で電話をかける（→P.401）
・ナビに登録しているデータ、または G-Link で検索したデータから電話をかける（→P.401）

●ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次の点に注意してください。
・Bluetooth 携帯電話は、本機に登録して Bluetooth 接続しないとハンズフリーが使用できません。ハンズフリーを使用するときは、まず携帯電話の登録を行ってください。（→P.36）
・携帯電話は Bluetooth 機能を使用できる状態にしてご使用ください。

●携帯電話の機種によっては、次のようなことがあります。
・発信中画面が表示されず、相手が電話に出る前に通話中画面が表示されることがあります。
・通信事業者のサービスにより発信中画面で 10 キー入力する必要がある場合、10 キー入力をしてもトーン信号を送れないことがあります。10 キー入力については、「10 キー入力する」（→P.403）をご覧ください。

●Bluetooth オーディオ再生中に発信すると、発信中画面の表示および発信音の鳴る動作が遅れることがあります。

●携帯電話の機種により、発信操作後に携帯電話の操作が必要になる場合があります。

履歴から発信する

発信または着信の履歴として登録されている電話番号から電話をかけることができます。

最新の履歴 30 件を表示できます。

1 リモートタッチの “MENU” ボタンを押す。
2 “電話” を選択。
3 サブメニューの “履歴” を選択。
4 希望の通話相手を選択。

5 希望の電話番号を選択。

知識

●履歴が 30 件を超えると、古い履歴から自動で削除されます。

●発信履歴は、状況によって次のように登録されます。
・本機の電話帳またはナビに登録されている電話番号に発信した場合、そのデータに名称情報・画像情報があると、名称・画像も登録されます。
・同一電話番号に発信した場合は、最新の発信履歴のみ登録されます。

●着信履歴は、状況によって次のように登録されます。
・本機の電話帳に登録してある電話番号から着信した場合、そのデータに名称情報・画像情報があると、名称・画像も登録されます。
・同一電話番号から着信した場合は、すべて登録されます。
・不在着信および着信拒否も登録されます。
・相手先電話番号の情報がない場合は、「非通知」と登録されます。

ワンタッチ発信する

よくかける電話番号をワンタッチダイヤルとして登録（→P.411）しておくと簡単な操作で電話をかけることができます。

ワンタッチ発信は走行中でも使用することができます。

1 リモートタッチの “MENU” ボタンを押す。
2 “電話” を選択。
3 サブメニューの “ワンタッチダイヤル” を選択。
4 希望の番号を選択する。

電話帳から発信する

電話番号を本機に登録（→P.408）しておくと、電話帳から電話をかけることができます。

1 リモートタッチの “MENU” ボタンを押す。
2 “電話” を選択。
3 サブメニューの “電話帳” を選択。

● 電話帳データが登録されていないときはメッセージが表示されます。

・PBAP に対応していない携帯電話の場合、“編集” を選択すると、電話帳名称変更画面（→P.412）が表示されます。“転送” を選択すると、電話帳転送画面（→P.409）が表示されます。

・PBAP に対応している携帯電話の場合、“はい” を選択すると電話帳転送を行います。

4 希望の通話相手を選択。

● 接続されている携帯電話に対応した電話帳のみ表示されます。

● 画面右下の を選択することにより、キーボード入力での名称検索ができます。

・名称検索結果はひらがなで表示されます。

・ソフトウェアキーボードの使用方法は、「文字・数字の入力のしかた」（→P.31）をご覧ください。

5 希望の電話番号を選択。

● PBAP に対応している携帯電話で画像表示設定をしている場合、携帯電話から画像情報が表示されると、電話番号と共に画像が表示されます。

ダイヤル発信する

1 リモートタッチの “MENU” ボタンを押す。
2 “電話” を選択。
3 サブメニューの “キーパッド” を選択。

4 電話番号を入力する。

5 ステアリングスイッチの スイッチを押す、または画面上の を選択。

知識

●電話画面を表示しているときに走行を開始すると、メッセージが表示され 10 キーが操作できなくなります。この場合、電話番号が入力済みであれば、発信することはできます。

電話を切る

1 次のいずれかの操作をする。

● ステアリングスイッチの スイッチを押す。

● 発信中または通話中画面で “終話” を選択。

● 携帯電話本体で電話を切る。（携帯電話接続時）

電話を受ける

着信があると着信音が鳴り、着信画面が表示されます。

着信画面は、着信割込み表示の設定（→P.407）により表示画面が異なります。

電話に出る

1 次のいずれかの操作をして、電話を受ける。

● ステアリングスイッチの スイッチを押す。

● “応答” を選択。

知識

●周辺監視画面表示中は、着信中画面を表示しません。着信音のみで着信を通知します。

●着信したら、ハンズフリー以外で出力される音声をミュート（消音）します。ただし、ハンズフリーより優先される音声（ナビ案内など）は、ミュートされません。

・電話の通話画面の設定項目でナビ案内は出力できるように変更できます。

●ハンズフリーを使用する場合は、次のようなことがあります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

・ドライブモードなど、携帯電話の設定によっては、着信できないことがあります。

・着信音の設定で “電話機の着信音” 以外を設定している場合（→P.407）、携帯電話をマナー（バイブレータ）モードや着信音消去に設定していても、本機に登録されている着信音が出力されます。

・着信音については、

①車両のスピーカーから聞こえる
②両方から聞こえる
など、機種によって異なります。着信音の設定で“電話機の着信音”以外を設定している場合（→P.407）、着信音は本機に登録されている音が出力されます。

・機種によっては、着信時に相手の電話番号が表示されないことがあります。
・携帯電話を直接操作して電話を受けたとき、または携帯電話を自動着信応答に設定したときは、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。
・携帯電話でデータ通信を行っている最中に着信があった場合、機種によっては、本機に着信中画面が表示されず、着信音も鳴らないことがあります。
・Bluetooth オーディオ再生中に着信があった場合、着信中画面の表示および着信音の鳴る動作が遅れることがあります。

●PBAP に対応している携帯電話で、電話帳の画像データが転送された場合、着信時の画像表示（→P.409）が「する」に設定されていると、電話番号と共に画像が表示されます。

電話を保留する（応答保留）

1 着信中、画面上の“応答保留”を選択。

● 応答保留を解除して通話するときは、画面上の“保留解除”を選択します。

● 応答保留中に電話を切るときは、画面上の“拒否”を選択します。

知識

●ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次のようなことがあります。
・携帯電話の機種によっては、応答保留できないことがあります。
・携帯電話の機種によっては、本機側の操作で応答保留中になると、自動的に携帯電話本体での通話に切り替わることがあります。
・Bluetooth 接続中に、携帯電話本体で応答保留する、または応答保留を解除すると、携帯電話本体での通話に切り替わります。

着信を拒否する

携帯電話使用時は、携帯電話が着信拒否に対応しているときのみ使用することができます。

1 次のいずれかの操作をする。

● 画面上の“拒否”を選択。

● 電話機を直接操作する。

・着信拒否すると、ハンズフリー画面が解除されます。

色々な方法で電話をかける

ここでは、さまざまな電話のかけ方について説明します。

音声認識で発信する

音声操作システムを使って電話をかけることができます。音声認識発信のしかたについては、「音声認識コマンド一覧」を参照してください。(→P.344)

■ **音声認識発信を中止する**

1 次のいずれかの操作をする。

● 「音声認識モードを中止する」(→P.343)

● ステアリングスイッチの スイッチを押す。

知識

● 音声認識中に着信した場合やハンズフリー以外の画面に切り替えた場合は、認識動作を中止します。

● 音声認識発信は走行中でも使用できます。

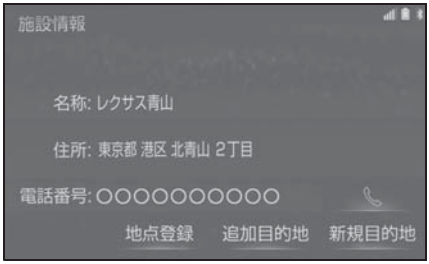
● 音声操作で電話をかける場合、携帯電話の機種によっては、発信後電話画面に切り替わるまでに時間がかかることがあります。

● データ通信中に音声操作で電話をかけると、データ通信は強制終了されます。

ナビ画面から発信する

ナビ画面で または“電話をかける” が表示されているときは、ナビに登録されているデータの電話番号に電話をかけることができます。

1 または“電話をかける”を選択。



電話画面の“交通ナビ”の操作

電話画面で“交通ナビ”を選択すると、ナビの交通ナビ関連画面が表示され、ここからも電話をかけることができます。(→P.106)

携帯電話本体から発信する（携帯電話使用時）

本機に Bluetooth 接続された携帯電話本体を直接操作して、発信することができます。

携帯電話本体から発信しても、Bluetooth 接続中であれば、ハンズフリー画面を表示することができます。

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。

2 “電話”を選択。

● “ハンズフリー通話”以外のス

イッチは、操作できません。

画面スイッチを使用したいときは、「通話を転送する（携帯電話使用時）」を参照してください。（→P.404）

知識

●単独で通話中の携帯電話が本機に接続された場合、相手先電話番号は発信履歴または着信履歴に登録されません。

●携帯電話本体から発信した場合、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

警告

●安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体の操作をしないでください。

通話中の操作

通話中は通話中画面が表示され、次の操作をすることができます。

簡易画面表示の場合は、サイド画面で操作します。（→P.405）

- 受話音量の調整
- 送話音量の調整
- 送話音のミュート
- ナビ案内音声のミュート
- 通話の転送
- 割込通話
- 10 キーの入力

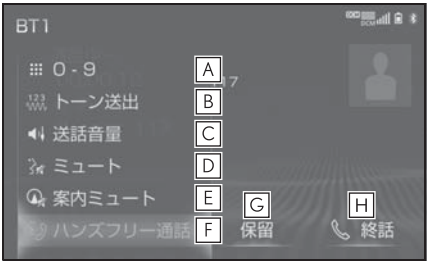
知識

●ハンズフリーを使用する場合は、次のようなことがあります。
携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

・単独で通話中の携帯電話が本機に接続されると、通話中画面が表示されます。この場合、そのままで通話が維持されるか、ハンズフリーでの通話になるかは、機種によって異なります。

・ハンズフリーで通話中にエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を操作すると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。
なお、通話が携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。この場合、エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞がイグニッションON モード <ON モード > であれば、通話を転送することでハンズフリーでの通話に切り替えられます。（→P.404）

通話中画面について



A 通話中に 10 キー入力が必要な場合は、10 キーを表示させます。(→P.403)

B ウェイト信号を含む電話番号が電話帳に登録されているとき、利用できます。(→P.403)

C 送話音量を調整します。(→P.404)

D 通話中の発話を相手に聞こえないようにすることができます。(→P.404)

E 通話中にナビ案内音声をミュートすることができます。(→P.404)

F 通話中にハンズフリー通話と携帯電話本体での通話切り替えができます。(→P.404)

G 通話保留、または第三者通話の切り替えができます。(→P.404)

H 電話を切る、または割込み通話の拒否ができます。(→P.399、405)

受話音量を調整する

1 次のいずれかの操作をする。

● ステアリングスイッチの音量調整スイッチを押す。

● オーディオコントロールスイッチの音量調整ツマミをまわす。

10 キー入力する

通話中に 10 キー入力が必要な場合は、10 キーを表示させます。

サイド画面表示の場合は、10 キーを表示できません。(→P.405)

1 通話中画面で、サブメニューの“0-9”を選択。

2 10 キーを選択して番号を入力する。

● 画面上の“終話”を選択すると、電話が切れます。

知識

● 走行中は安全上の配慮から 10 キーは操作できません。

トーン送出する

ウェイト(;)信号が含まれる番号に電話をかける際、使用できます。
例)117(;)56931

1 電話帳からウェイト信号を含む番号に電話をかける。

● 通話中画面になるとサブメニューに“トーン送出”が表示されます。

2 “トーン送出”を選択すると、登録した番号のウェイト(;)信号以降がダイヤルされる。

知識

● “トーン送出”は、国際電話や音声ガイダンスなどの自動応答サービスを利用する際に使用します。

送話音量を調整する

1 “送話音量” を選択。

2 調整する音量を選択。

知識

●送話音量の設定を変更すると、音質が悪くなることがあります。

送話音をミュート（消音）する

通話中の発話を相手に聞こえないようにすることができます。このとき相手の発話は聞くことはできます。

1 “ミュート” を選択。

● ミュートを解除するときは、再度“ミュート” を選択します。

ナビ案内音声をミュート（消音）する

通話中にナビ案内音声をミュートすることができます。通話を終えるとミュートは解除されます。

1 “案内ミュート” を選択。

● ミュートを解除するときは、再度“案内ミュート” を選択します。

●「通話中の音声案内」が “しない” に設定している場合は、通話中の音声案内が常にミュートされます。（→P.407）

通話を転送する（携帯電話使用時）

Bluetooth 携帯電話では、本機と携帯電話の間で、通話を転送することができます。

ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話、または携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えられます。

■ 携帯電話に通話転送する

1 通話中画面で、サブメニューの “ハンズフリー通話” を選択。

知識

●走行中は、ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話に切り替えることはできません。

■ 本機に通話転送する

1 通話中画面で、サブメニューの “ハンズフリー通話” を再度選択し解除する。

● 携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えると、ハンズフリー画面が表示され、ステアリングスイッチや画面のスイッチでの操作ができます。

知識

●携帯電話の機種により、転送方法や動作が異なります。また、転送できない機種もあります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

●応答保留中の携帯電話本体の通話をハンズフリー通話に切り替えると、携帯電話は応答保留中のままで本機には通話中画面が表示されます。この場合は、“保留解除” を選択すると、ハンズフリー通話を続けることができます。

割込通話を受ける／拒否する（携帯電話使用時）

通話中に第三者から着信が入った場合、割込通話で両者と通話することができます。

知識

- 電話会社と割込通話の契約をしている必要があります。
- 携帯電話が HFP Ver 1.5 プロファイルに対応していない場合は、割込通話できません。
- 通信モジュールを使用しているときは、着信音が鳴っても電話を受けることはできません。

■ 割込通話を受ける

通話中に第三者から着信が入ったとき、画面表示で割込み着信中であることを知らせます。

1 “応答” を選択またはステアリングスイッチの スイッチを押す。

- 着信相手と通話でき、通話していた相手は保留中になります。
- “通話者切替” を選択するごとに通話相手が切り替わります。

■ 割込通話を拒否する

1 “終話” を選択、またはステアリングスイッチの スイッチを押す。

知識

- 携帯電話の機種により、両者とも通話が切れる場合があります。携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

簡易画面について

状況に応じて次のような画面が表示され、電話がつながっていることをお知らせします。

知識

- 電話が切れる、または電話を切ると、TEL 音声画面やサイド画面表示は解除されます。

TEL 音声画面について

電話がつながっているときにオーディオ画面に切り替えた場合、「電話機使用中」と表示されます。

サイド画面

通知設定の着信割り込み表示（→P.407）で「簡易」を選択しているときはサイド画面に通話画面が表示されます。

A 通話中の発話を相手に聞こえないようにすることができます。（→P.404）

B 通話中にハンズフリー通話と携帯電話本体での通話切り替えができます。（→P.404）

C 電話を切る、または割込み通話の拒否ができます。（→P.399、404）

D 通話保留、または第三者通話の切り替えができます。(→P.404)

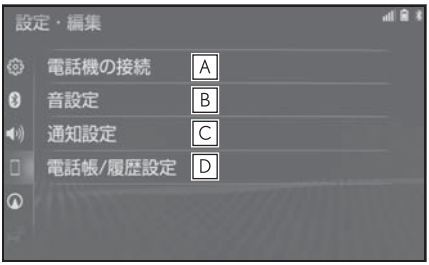
E 通話中画面をサイド画面からメイン画面に切り替えができます。

電話の設定・編集をする

設定・編集画面から電話の各種設定をすることができます。

電話設定・編集画面を表示する

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。
2 “設定・編集”を選択。
3 サブメニューの“電話”を選択。
4 各設定をする。



A 電話機の接続

B ハンズフリー各音の音量調整・設定（→P.407）

C 着信時の通知設定（→P.407）
- 着信割込み表示
- 電話帳／履歴転送確認表示

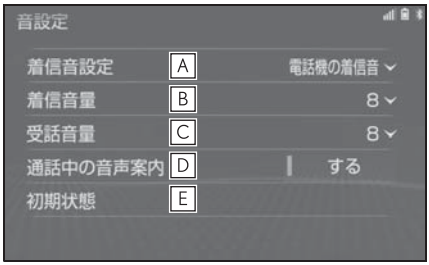
D 電話帳／履歴の転送・登録・編集・削除（→P.408）
- ワンタッチダイヤルの登録・削除
- 履歴データの削除
- 電話帳の登録・編集・削除

音の設定をする

1 電話設定・編集画面を表示する：

● リモートタッチの“MENU”ボタン→“設定･編集”→サブメニューの“電話”を順に選択。

2 “音設定”を選択。
3 各設定をする。



A “着信音 1”、“着信音 2”、“着信音 3”、“電話機の着信音”のいずれかを選択すると、ハンズフリーの着信音が切り替わります。

B “＋”、“－”を選択すると、着信音量を調整できます。

C “＋”、“－”を選択すると、受話音量を調整できます。

D 通話中の音声案内をする／しないの選択ができます。

E 初期設定の状態に戻ります。

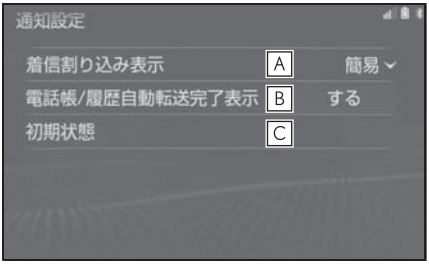
電話の通知設定を変更する

1 電話設定・編集画面を表示する：

● リモートタッチの“MENU”ボタン→“設定･編集”→サブメニューの“電話”を順に選択。

2 “通知設定”を選択。

3 各設定をする。



A 電話がかかってきた場合の、画面の表示方法を “ 標準 ” または “ 簡易 ” から選択できます。

・ “ 標準 ” ：着信画面がメイン画面に表示されます。

・ “ 簡易 ” ：着信画面がサイド画面に表示されます。

B PBAP に対応している携帯電話と Bluetooth 接続後、電話帳データや履歴データの自動転送が完了したときに、完了表示を画面に表示する／しないを選択できます。

C 初期設定の状態に戻ります。

電話帳の設定・編集をする

電話帳は、次のいずれかの方法で電話番号（電話帳データ）を登録しておくことができます。

● 携帯電話に登録してある電話帳を本機の電話帳に転送する。（→P.409）

● 本機の電話帳に新規登録する。（→P.412）

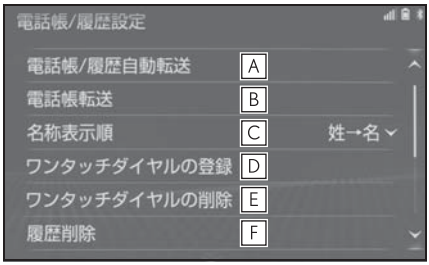
● 履歴データから登録する。（→P.412）

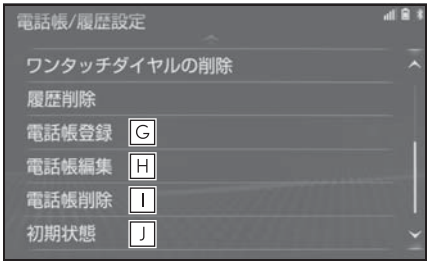
1 電話設定・編集画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “ 設定･編集 ” → サブメニューの “ 電話 ” を順に選択。

2 “ 電話帳／履歴設定 ” を選択。

3 電話帳の設定をする。





A PBAP に対応している携帯電話と Bluetooth 接続時に携帯電話の電話帳データや履歴データの自動転送をする／しないを選択できます。

・ 携帯電話の電話帳や履歴が更新されている場合、本機の電話帳や履歴も更新されます。

・ 自動転送は、エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞をイグニッション ON モード <ON モード > にし、初めて携帯電話が Bluetooth 接続されたときや使用する携帯電話を切り替えて、Bluetooth 接続されたときに行われます。

B OPP に対応している携帯電話と Bluetooth 接続時に携帯電話の電話帳データを上書き転送、追加転送することができます。また、USB メモリー内に電話帳データが登録してある場合は転送が可能です。

・転送中はOPP以外のプロファイルは切断されるため、携帯電話への着信を車載機で受けることはできません。
・USBメモリーから転送する場合、vCard形式（.vcf）のデータのみ転送可能です。

C 電話帳に登録してある名称の表示を「姓 → 名」の順／「名 → 姓」の順に変更できます。

D 電話帳に登録済みの電話番号をワンタッチダイヤルに登録できます。（→P.411）

E ワンタッチダイヤルに登録済みの電話番号を削除できます。（→P.412）

F 履歴データの削除ができます。

G 新規連絡先を電話帳に登録することができます。

H 登録済みの電話帳内容を編集することができます。

I 登録済み連絡先を削除することができます。

J 初期設定の状態に戻ります。

知識

●電話帳は接続された携帯電話 1 台につき、5000 名分のデータを登録することができます。接続されている携帯電話に対応した電話帳のみ表示することができます。

●この電話帳は、1 名につき最大 4 件の電話番号が登録できます。

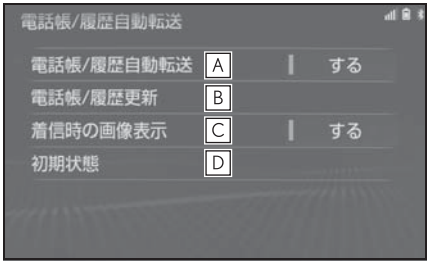
●接続された電話機ごとに電話帳は管理されます。

電話帳 / 履歴自動転送を表示する

PBAP に対応している携帯電話では、Bluetooth 接続時に携帯電話の電話帳データを自動転送することができます。

1 “電話帳／履歴自動転送” を選択。

2 各項目を設定をする。



A 電話帳と履歴の自動転送を選択するごとにする／しないが切り替わります。

B 選択すると、電話帳と履歴が更新されます。

C 着信時の画面表示を選択するごとにする／しないが切り替わります。

D 初期設定の状態に戻ります。

携帯電話の電話帳データを転送する（携帯電話使用時）

携帯電話に登録してある電話番号（電話帳データ）を、本機に転送することができます。

● **この機能は、OPP か PBAP のどちらかに対応している携帯電話で使用できます。**ご使用の携帯電話がOPP、PBAP に対応しているかは携帯電話に添付の取扱説明書または本機と接続中の携帯電話の対応プロファイルを確認してください。（→P.38）

▶ PBAP を利用して電話帳データを転送するとき

1 “電話帳／履歴自動転送” を選択。

2 “電話帳／履歴更新” を選択。

3 電話帳更新画面が表示されます。

● 携帯電話の機種によっては、携帯電話の操作が必要な場合があります。

4 転送が終了したとき、メッセージが表示され転送が完了します。

▶ OPP を利用して電話帳データを転送するとき

1 “電話帳転送” を選択。

2 “電話機から Bluetooth で転送” を選択。

3 電話帳にすでに電話帳データがある場合は、転送方法を選ぶ。

● “上書き”：現在のデータに上書きする

● “追加”：現在のデータに追加する

4 携帯電話を操作して電話帳データを転送する。

5 “完了” を選択。

知識

●転送するときは、エンジン＜ハイブリッドシステム＞を始動した状態で行ってください。

●PBAP による電話帳データ転送時、携帯電話の機種により携帯電話の操作が必要な場合があります。

●PBAP に対応している携帯電話で「電話帳／履歴自動転送」（→P.409）が「する」に設定しているときは、追加・修正をすることができません。追加・修正が必要な場合は、「電話帳／履歴自動転送」を「しない」に設定してから転送の操作をしてください。

■ 転送失敗画面が表示されたとき

転送失敗画面が表示されたときは、転送操作を最初からやり直してください。

知識

●電話帳データを転送する際、各データについては、次のような制限があります。

・携帯電話の電話帳で 1 つの名称に 5 件以上の電話番号が登録されている場合、本機の電話帳には同じ名称を複数登録してすべての電話番号を登録します。

・電話番号と同時に名称も転送されますが、機種によっては漢字や記号などが転送されないことや、すべての文字が転送されないことがあります。また、転送されても正しく表示されないことがあります。

・通常はシークレットメモリの読み出しは行いません。（携帯電話の仕様により可能な場合もあります。）

・携帯電話に登録されているグループ名は転送されません。

・本機の電話帳で表示されるアイコンは、転送元の情報を元にして自動で割り当てられます。ただし、携帯電話の機種や使用環境によっては、表示されるアイコンがすべて同じになることがあります。

・電話帳データを転送する際、機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワードの入力を求められることがあります。この場合、認証パスワードは“1234” を入力してください。

・OPP 転送に対応していない電話機は、電話帳転送の追加ができません。

●一括転送可能な機種は、電話帳データを転送する際、次のような特徴があります。

・転送には 10 分程度かかる場合があります。

・電話帳データ転送画面が表示されているときでも他画面に切り替えることができます。この場合、電話帳データ転送は継続されます。

●電話帳データ転送中は、次のように対応します。

・電話帳データ転送中に着信があった場合は、状況によりどちらかが優先されます。
着信が優先された場合、着信した電話は携帯電話本体での通話になります。この場合は、通話終了後、再度転送操作をやり直してください。

・電話帳データ転送中に発信操作をした場合、転送を継続して発信を中止します。

・電話帳データ転送中にエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にした場合、転送は中止されます。この場合は、エンジン<ハイブリッドシステム>を始動して、再度転送操作をやり直してください。

●次の場合、転送済みの電話帳データは本機の電話帳に保存されます。

・本機のメモリ容量により途中で転送が終了したとき。

・何らかの原因で転送が中断されたとき。

●本機の電話帳データを携帯電話に転送することはできません。

●電話帳データ転送中は、Bluetooth オーディオの接続が切断されることがあります。この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります。）

USB メモリーの電話帳データを転送する

USB メモリーに登録してある電話番号（電話帳データ）を、本機に転送することができます。

● USB メモリーの電話帳データは、vCard 形式（.vcf）のデータのみ転送可能です。

1 USB 端子に USB メモリーを接続する。（→P.187）

2 “電話帳転送” を選択。

3 “USB メモリから転送” を選択。

4 すでに電話帳登録がある場合は、“追加” または “上書き” を選択。

5 vCard ファイルリストより、転送したいファイルを選択。

6 転送が完了すると、“電話帳／履歴設定” が表示されます。

ワンタッチダイヤルを登録する

■ 設定・編集画面から設定する

1 “ワンタッチダイヤルの登録” を選択。

2 登録したいデータを選択。

3 登録したい電話番号を選択。

4 登録したいスイッチを選択。

■ 電話画面から設定する

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。

2 “電話” を選択。

3 “ワンタッチダイヤル” を選択。

4 “未登録” を選択。

5 “はい” を選択。

6 登録したいデータを選択。

7 登録したい電話番号を選択。

知識

●ワンタッチダイヤルは選択した “未選択” ボタンの位置に登録されます。

●ワンタッチダイヤルは電話機ごとに登

録が必要です。

ワンタッチダイヤルを削除する

1 “ ワンタッチダイヤルの削除 ” を選択。
2 削除したいワンタッチダイヤルを選択。
3 リモートタッチの⌃ボタンを押す。
4 “ 削除 ” を選択。
5 “ はい ” を選択。

履歴データを削除する

1 “ 履歴削除 ” を選択。
2 “ はい ” を選択。

知識

●PBAP に対応している携帯電話の履歴は、「電話帳／履歴自動転送」（→P.409）が「する」に設定されている場合、削除することはできません。削除する場合は、「電話帳／履歴自動転送」を「しない」にしてから行ってください。

●お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。（→P.58）

電話帳に新規データを追加する

本機の電話帳に直接データを入力して電話帳を作ることができます。

電話帳には、1 名のデータにつき、次の項目が登録できます。

名称、電話番号（最大 4 件）、アイコン（各電話番号にそれぞれ 1 つ）

1 “ 電話帳登録 ” を選択。
2 各項目を編集する。（→P.412）

● 履歴内容画面（→P.397）の “ 新規登録 ” からも、電話帳編集画面を呼び出して新規データを追加することができます。

知識

●PBAP に対応している携帯電話の電話帳は、「電話帳／履歴自動転送」（→P.409）が「する」に設定されている場合、追加することはできません。追加する場合は、「電話帳／履歴自動転送」を「しない」にしてから行ってください。

■ 名称、電話番号、アイコンの編集をする

電話帳は 1 名につき最大 4 件登録できます。また、それぞれの電話番号にアイコンを登録できます。

1 ソフトウェアキーボードで名称を入力し、“OK” を選択。
2 電話番号を入力し、“OK” を選択。
3 登録したいアイコンを選択。

▶ 電話番号を追加する場合

4 “ はい ” を選択。

● 手順２に戻ります。

▶ 編集を終了する場合

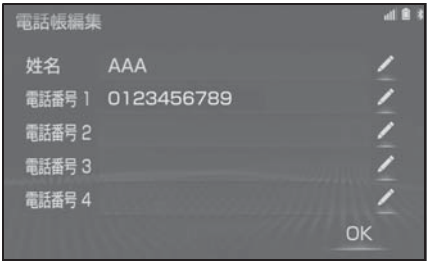
4 “ いいえ ” を選択。

電話帳のデータを修正する

登録済みの電話帳データを修正することができます。

1 “ 電話帳編集 ” を選択。
2 修正したいデータを選択。

3 各項目のスイッチを選択して編集する。



4 “OK” を選択。

知識

●PBAPに対応している携帯電話の電話帳は、「電話帳／履歴自動転送」(→P.409)が「する」に設定されている場合、修正することはできません。修正する場合は、「電話帳／履歴自動転送」を「しない」にしてから操作を行ってください。

■ 姓名の編集をする

1 “姓名” を選択。

2 ソフトウェアキーボードで入力し、“OK” を選択。

■ 電話番号を編集する

1名につき最大4件登録できます。また、それぞれの電話番号にアイコンを登録できます。

1 “電話番号1” ～ “電話番号4” のいずれかを選択。

2 電話番号を入力し、“完了” を選択。

3 登録したいアイコンを選択。

電話帳のデータを削除する

1 “電話帳削除” を選択。

2 削除したいデータを選択。

3 リモートタッチの⌃ボタンを押す。

4 “削除” を選択。

5 “はい” を選択。

知識

●PBAPに対応している携帯電話の電話帳は、「電話帳／履歴自動転送」(→P.409)が「する」に設定されている場合、削除することはできません。削除する場合は、「電話帳／履歴自動転送」を「しない」にしてから操作を行ってください。

●お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。(→P.58)

知っておいていただきたいこと

故障とお考えになる前に

ハンズフリー /Bluetooth でお困りの際は、まず以下の表を確認してください。

▶ ハンズフリー /Bluetooth を使う

症状	考えられること	処置
ハンズフリー／Bluetooth を使うことができない	携帯電話が Bluetooth 非対応機種である。	本機で動作確認済みの機種については、レクサス販売店または http://lexus.jp/service/g-link/index.html でご確認ください。
	携帯電話のバージョンが Bluetooth に適合していない。	Bluetooth Specification Ver2.0 以上（Ver.4.1+EDR 以上を推奨）の携帯電話を使用してください。（→P.38）

▶ 携帯電話の登録と接続

症状	考えられること	処置
携帯電話が登録できない	携帯電話に入力した PIN コード（パスキー）が間違っている。	携帯電話に正しい PIN コード（パスキー）を入力してください。
	携帯電話の登録操作が完了していない。	携帯電話に承認ボタンが表示されているときは承認ボタンを選択して、登録操作を継続してください。
	本機、携帯電話どちらか一方の登録情報が残っている。	本機の登録処理を中止し、再度登録操作を行ってください。（→P.36）
		本機、携帯電話双方の登録情報を削除してから、登録操作を行なってください。（→P.36、41）
Bluetooth 接続ができない	お使いになる携帯電話以外がすでに Bluetooth 接続状態にある。	お使いになる携帯電話を本機から手動で Bluetooth 接続してください。（→P.393）
	携帯電話の Bluetooth 機能が有効状態でない。	携帯電話の Bluetooth 機能を有効にしてください。
	本機の Bluetooth 自動接続が OFF になっている。	本機の Bluetooth 自動接続を ON にしてください。（→P.47）

症状	考えられること	処置
「電話機をご確認ください」とメッセージが表示される	携帯電話の Bluetooth 機能が有効状態でない。	携帯電話の Bluetooth 機能を有効にしてください。
	携帯電話の登録情報が削除されている。	本機、携帯電話双方の登録情報を削除してから、登録操作を行なってください。（→P.36、41）

▶ 着信と発信

症状	考えられること	処置
電話をかける、受けるができない	圏外である。	「圏外」表示が消えるところまで移動してください。
	携帯電話の発信制限（ダイヤルロック）が ON になっている。	携帯電話の発信制限（ダイヤルロック）を OFF にしてください。

▶ 電話帳

症状	考えられること	処置
電話帳データの転送／自動転送ができない	携帯電話の Profile が電話帳データ転送に対応していない。	本機で動作確認済みの機種については、レクサス販売店または http://lexus.jp/service/g-link/index.html でご確認ください。
	本機の自動転送設定が OFF になっている。	本機の電話帳自動転送の設定を ON にしてください。（→P.409）
	携帯電話の PIN コード（パスキー）を入力していない。	携帯電話で PIN コード（パスキー）を求められているとき、PIN コード（パスキー）を入力してください。PIN コード（パスキー）は “1234” です。
	携帯電話が電話帳転送の承認待ちになっている。	携帯電話で電話帳転送承認ボタンを選択してください。
携帯電話に「承認」の確認画面が表示される	承認時に「常に許可」が選択されていない。	携帯電話で「常に許可」を選択し承認してください。

症状	考えられること	処置
電話帳データが「その他」のフォルダに登録される	携帯電話の電話帳に登録してある名称にふりがながない。	携帯電話の電話帳に登録してある名称にふりがながあるか確認してください。
	携帯電話に電話帳が登録されていない。	携帯電話に電話帳を登録してください。
電話帳データの編集ができない	電話帳自動転送の設定が ON になっている。	自動転送の設定を OFF にしてください。（→P.409）

▶ その他の状況

症状	考えられること	処置
エンジン / パワースイッチ ON モードの都度、画面上部に Bluetooth 接続状態が表示される	本機の接続確認表示の設定が ON になっている。	接続状態を表示させたくないときは、本機の接続確認表示の設定を OFF にしてください。（→P.47）
考えられる処置をしても、症状が改善されないとき	携帯電話と本機の距離が離れすぎている。	携帯電話と本機の距離を近づけてください。
	電波干渉が発生している。	Wi-Fi® 機器など電波を発生する機器の電源を OFF にしてください。 本機の Wi-Fi® 設定を OFF にしてください。（→P.50）
	携帯電話に要因がある。	携帯電話の電源を OFF にして、電池パックを取り出してください。
		携帯電話の Bluetooth 接続を OFF から ON にしてください。
		携帯電話の Wi-Fi® 接続を OFF にしてください。
		携帯電話のセキュリティソフト、または常駐アプリを停止してください。
		携帯電話にインストールしたアプリケーションは、提供元および動作状況について十分ご確認の上ご利用ください。

8-1. はじめに

ご利用の前に知っておいていただきたいこと 418

G-Link について 421

8-2. 各種手続きをする

利用手続きをする..... 423

8-3. G-Link トップ画面

G-Link トップ画面 426

8-4. よく使う情報を登録する（G メモリ地点情報）

G メモリ地点情報..... 427

8-5. 画面操作の説明

G-BOOK Viewer..... 428

G 情報マークを表示する..... 430

8-6. スマートフォンや携帯電話・パソコンで利用する

スマートフォンや携帯電話・パソコンで利用する 432

8-7. サービスの使い方

ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）を利用する 433

G-Security を利用する.....450

リモートメンテナンスサービス 457

レクサス緊急サポート 24 を利用する.....459

マップオンデマンド（地図差分更新）.....460

ハイブリッドナビ 468

G ルート探索（プローブ情報付）を利用する 469

レクサスオーナーズデスクを利用する.....471

渋滞予測を表示する.....473

WEB で目的地を検索する 477

エージェントを利用する.....478

Lexus Apps を使用する 481

CD タイトル情報取得 484

8-8. 各種登録・設定

G-Link 設定を変更する 486

契約内容・契約者情報の確認・変更 491

8-9. こんなメッセージが表示されたときは

こんなメッセージが表示されたときは.....492

ご利用の前に知っておいていただきたいこと

G-Link を利用するには、別途利用手続きをしていただく必要があります。

知識

- 本機で携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をレクサス販売店または http://lexus.jp/ でご確認ください。なお、動作確認は、一定の条件下で確認したものです。そのため、携帯電話の仕様変更などにより、動作確認済機種でも、確認内容が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
- G-Link は東京ガス株式会社の商標で使用許諾を受けて使用しています。

安全にご利用するため注意すること

G-Link をご利用になるときは、次の注意事項を必ずお守りの上、正しくお使いください。

■ 走行中の操作、表示規制について

走行中に G-Link をご利用になると、安全のため、操作の一部を制限したり、コンテンツによっては G-BOOK Viewer のコンテンツ表示部分を覆って、メッセージを表示します。
このようなコンテンツをご覧になるときは、安全な場所に車を停車させてご覧ください。

■ 消耗品について

エアバッグ作動による自動通報を補助するため、ヘルプネット専用補助バッテリーを搭載しています。
寿命による交換時期は、ヘルプネットスイッチの表示灯（赤点滅）でお知らせします。また、エアバッグ作動による自動通報を実施した際は、安全のため交換をお願いします。
ヘルプネット専用補助バッテリーの交換についてはレクサス販売店にご相談ください。

警告

- 安全のため、運転者は走行中に極力操作（音声操作も含む）をしないでください。
  走行中の操作はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。
  なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

掲載画面について

本書で使用している画面の表示内容は、サンプル表示となっております。

また、使用する携帯電話の機種やサービス内容の変更により、本機や携帯電話の表示画面が異なったり変更になる場合があります。

通信機器について

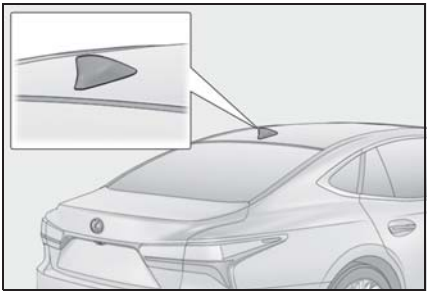
G-Link は、通信モジュール（DCM）、Wi-Fi® テザリング対応機器（スマートフォン／ Wi-Fi® ルーター等）を利用して、データ通信を行います。

サービスによっては、別途 Bluetooth 携帯電話が必要となります。

サービス	G-Link データ通信／ヘルプネットとレクサスオーナーズデスクの音声通話	ハンズフリー通話
G-Link	通信モジュール（DCM） Wi-Fi® 機器 ●お客様のスマートフォンがWi-Fi®テザリングに対応しているかをご確認ください。 詳しくは、ご契約されている通信事業者にご確認ください。	Bluetooth 携帯電話 ※ 通信モジュール（オプションの自動車専用ハンズフリー電話契約時のみ）

※ 本機で動作確認済みの機種については、レクサス販売店または http://lexus.jp/ でご確認ください。

通信モジュール（DCM）について



通信モジュール（DCM）は通信アンテナを使用します。

通信アンテナは、ルーフ後部とインストルメントパネルに設置されています。

知識

●通信モジュール（DCM）は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼りつけてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。

●通信モジュール（DCM）を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

●フリー／オープンソースソフトウェア情報について

・本製品はフリー／オープンソースソフトウェアを含んでいます。
このようなフリー／オープンソースソフトウェアのライセンス情報やソースコードの両方またはどちらか片方は以下の URL で入手することができます。
http://www.globaldenso.com/en/opensource/dcm/toyota/

■ ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

データ通信時の電波について、次の点にご注意ください。

警告

●植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器をお使いの方は、G-Link をお使いになる前に、医師や医療用電気機器の製造事業者などに個別にご相談ください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

データ通信時の留意事項

G-Link は、データ取得時に通信を行います。

次の点をご理解の上、正しくお使いください。

● 通信方式は、KDDI 株式会社の LTE 方式です。
LTE サービスエリアでは、最大 75 Mbps のデータ通信サービスがご利用いただけます。サービスエリアは同社サービスエリア図をご参照ください。
なお、通信状況は様々な要因で変動します。必ずしもサービスエリア内にいれば、常に通信が可能というわけではありません。

● 次のような通信環境では、データ通信できません。

・トンネルの中にいるとき
・地下駐車場にいるとき
・山奥などの通信圏外にいるとき
・回線が混雑しているなど、発信規制中のとき

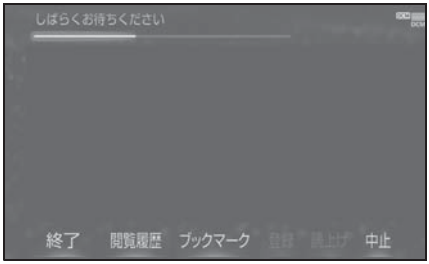
● この先、通信事業者にて通信に使用する電波が変更もしくは打ち切りになった場合、G-Link が使用できなくなります。（その場合には事前にご連絡します。）

● ヘルプネット（→P.433）での緊急通報中は、G-Link センターに接続できません。

● 画面上部（タイトル）に、ネットワーク接続中は「接続中」、コンテンツ読み込み中は「しばらくお待ちください」が表示されます。また、コンテンツ読み込み中は、タイトルの下に読み込み状況がバーで表示されます。バーの表示が消えて、コンテンツのタイトルが表示されたら、画面の操作を行ってください。

・走行中のためにコンテンツの表示が制限されている場合は、コンテンツの読み込みが終了すると、<ピッ>という音でもお知らせします。

● 通信中は、ネットワーク接続中であることをお知らせするため、通信中マークが表示されます。



知識

●G-Link はデータ取得に通信を利用するため、通信環境の整わない状況では通信を利用するサービスはすべて利用できません。

●通信モジュール（DCM）でのデータ通信に関する通信料金は G-Link 利用料金に含まれています。

●データ取得までの時間は、本機の状態やデータの内容、電波状態によって異なります。

●GPS 信号を長い間（数カ月間）受信していないとき、または 12V バッテリーとの接続が断たれたときは、データ通信ができなくなることがあります。この場合は、GPS 信号が受信できる場所（→P.173）に車を移動し、リモートタッチの “MAP” ボタンを押して地図画面上に GPS マークが表示されることを確認した後、再度試してみてください。

■ 受信レベルについて

画面右上に受信レベルが表示されます。データ通信時の目安にしてください。

▶ 通信モジュール（DCM）使用時

レベル	表示
圏外	
弱	
強	

▶ Wi-Fi®テザリング対応機器（スマートフォン／Wi-Fi® ルーター等）使用時

レベル	表示
圏外／未接続	
弱	
強	

● Wi-Fi® の受信レベルにつきましては、「受信レベル表示について」をご覧ください。（→P.20）

知識

●受信レベル表示が「圏外」の場合でも、本機はデータ取得動作を行いますが、一定時間経過してもデータ取得できない場合は、自動的に中止します。中止までの時間は本機の通信状態によって異なります。

G-Link について

G-Link について

いつでも、どこでも、お客様のお車をネットワークでサポートするレクサス専用のテレマティクスサービスです。トヨタが開発したテレマティクスサービスにレクサス専用サービスである「レクサス緊急サポート 24」をプラス。「レクサスオーナーズデスク」との連携により、最先端のサービスを提供致します。

■ テレマティクスサービス

G-Link センターに接続し、以下のようなサービスを提供します。

● 緊急通報サービス
ヘルプネット（→P.433）

● カーセキュリティサービス
G-Security（→P.450）

● お車の情報を活用したカーライフサポート（→P.458）
e ケア

● お車の設定を遠隔で変更（→P.458）
G カスタマイズ

● 地図更新サービス
マップオンデマンド（→P.460）

● 最適ルートの探索

ハイブリッドナビ（→P.468）

- ルート上の渋滞を予測
  渋滞予測（→P.473）
- インターネットで施設検索サービス
  WEB 検索（→P.477）
- G-Link センターの音声対話サービス
  エージェント（→P.478）
- LEXUSのアプリケーションサービス
  LEXUS Apps（→P.481）
- 最新の楽曲情報をダウンロード
  CD タイトル情報取得（→P.484）
- エコドライブをサポート
  Harmonious Driving Navi.※

※ Harmonious Driving Navi.については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

■ **レクサスオーナーズデスク**

レクサスオーナー専用のコールセンターです。フリーダイヤルにお電話をしていただくと、レクサスケアコミュニケーターが以下のようなご要望に24　時間・365　日お答えします。（→P.471）

- ドライブサポート
  （ナビゲーションシステムの目的地設定や施設情報案内など）
- 予約サービス
- 各種問い合わせ
- レクサス緊急サポート 24
  （→P.459）

掲載の情報は、2017 年 10 月現在のサービスです。サービス内容は変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

最新のサービスは、http://lexus.jp/でご確認ください。

利用手続きをする

下記にしたがって、利用手続きとそれに伴う各種設定を行ってください。

- レクサス販売店にて「利用申込書」で申し込みをする
- ナビの利用開始操作（e ケア・G カスタマイズの利用開始操作、ヘルプネットサービス開始操作※）をする

※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

利用開始操作をする

利用開始操作は、可能な限り見晴らしの良い場所で行ってください。

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。

2 “G-Link” を選択。

3 “ 利用開始 ” を選択し、画面の指示にしたがって操作する。

- 本人確認画面が表示されたら、画面の指示にしたがって、確認・操作する。
- サービス内容確認画面が表示されたら、サービス内容を確認・操作する。
- G 暗証番号の設定をしていない方は、G 暗証番号の設定が表示される。
  画面の指示にしたがって、確認・操作する。
  「G 暗証暗号」は、G-Security の設定変更など暗証番号が必要なときに入力していただく 4 桁の番号です。

4 ヘルプネットのサービス開始案内が表示されたら、“ はい ” を選択し、ヘルプネットサービス開始操作※（→P.436）を行う。

※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

- ヘルプネットセンターの音声案内にしたがい、現在地とマイク音声を確認する。
- サービス開始操作が正常に完了しないと、ヘルプネットサービスの提供ができません。

5 e ケア・G カスタマイズの利用手続きの開始案内が表示されたら“はい”を選択し、開始操作を行う。

- エンジン<ハイブリッドシステム>を始動してから開始案内が表示されるまでに、約 2 分程度かかる場合があります。

6 e ケア・G カスタマイズの利用手続き完了後、完了案内が表示されたら “OK” を選択。

- 利用手続きが正常に完了しないと、e ケア・G カスタマイズのサービスが提供できません。
- 完了案内が表示されるまで約 10 分程度かかる場合があります。その間、エンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にしないで、そ

のままお待ちください。

■ **利用開始操作のお問合せ先**

G-Link サポートセンター

全国共通・フリーコール

0800-300-3388

受付時間　9：00 ～ 18：00

月曜～金曜（除く祝日）

継続手続きについて

契約の更新日が近づくと、トヨタコネクティッド（株）より案内を送付します。

継続手続きについては、レクサス販売店にご相談ください。

解約手続きについて

お車を手放すときなど、G-Link を解約するときは、状況に応じて、次の手続きを行ってください。

■ **本機で解約する場合**

解約手続きをする（→P.424）

■ **お車を手放す場合**

個人情報の初期化をする（→P.58）

解約しないで車を手放したときなどは、G-Link サポートセンターに連絡して解約する

G-Link サポートセンター

全国共通・フリーコール

0800-300-3388

受付時間　9：00 ～ 18：00

月曜～金曜（除く祝日）

以下の情報が必要となりますのでご確認ください。

- G-Link 契約 ID またはオーナーズカード ID
- 車両情報（車台番号、車両登録ナンバー）

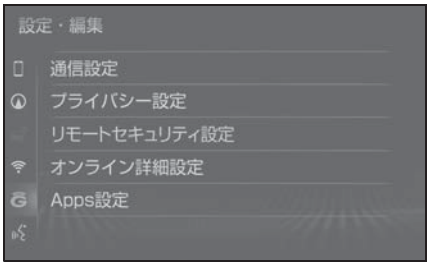
注意

- 本機に保存した情報は、本機で解約したときのみ消去できます。
- お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放すときは、本機で解約手続きおよび初期化を必ず行ってください。

解約手続きをする

G-Link の利用登録を解除するときは、次の手順で実施してください。

1. リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。
2. “設定・編集”を選択。
3. サブメニューの“G-Link”を選択。
4. “オンライン詳細設定”を選択。



5. “G-Link 契約解除”を選択。
6. 画面の指示にしたがって操作する。

知識

- ユーザー設定画面からでも解約手続きができます。（→P.491）

お車を手放す際にすること

- 解約手続きをしただけでは、本機に保存したお客様の情報は消去されません。
- お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放す際は必ず、利用契約の解除と情報の消去をお願いします。（→P.424）
- お車を手放すときは、個人情報の初期化も合わせて必ず実施してください。（→P.58）

G-Link トップ画面

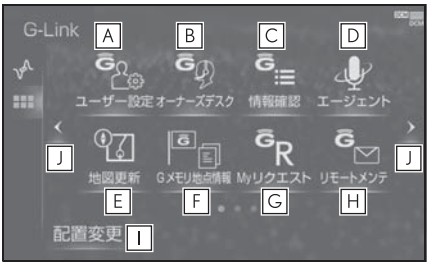
G-Link 画面から、G-Link の各コンテンツを起動することができます。

G-Link 画面の使い方

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。

2 “G-Link”を選択。

3 希望の項目を選択。



A ユーザー設定画面を表示する。（→P.491）

B レクサスオーナーズデスクを利用する。（→P.471）

C レクサスオーナーズデスクで取得した情報を確認する。（→P.472）

D エージェント画面を表示する。（→P.478）

E 地図更新画面を表示する。（→P.464）

F 本機で保存しているGメモリ地点情報をリスト表示します。（→P.427）

・G メモリ地点情報は、同じ内容がナビのメモリ地点にも保存されます。修正や消去をしたいときは、ナビのメモリ地点画面で行ってください。（→P.146）

G Myリクエスト画面を表示する。

H リモートメンテナンス画面を表示する。（→P.457）

I スイッチの表示位置の入れ替えや、削除をする。

・一部のスイッチは、削除することができません。

J ページを切り替える。

G メモリ地点情報

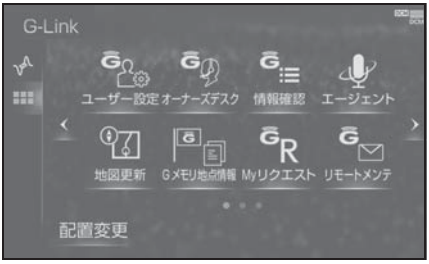
パソコンのG-Linkユーザーサイトで登録した G メモリ地点情報を、本機のメモリ地点に登録できます。

一度本機のメモリ地点に登録すると、G-Link センターに接続しなくても、G メモリ地点情報を呼び出すことができます。

G メモリ地点情報を表示する

G メモリ地点として登録した地点情報は、G-Link 画面から呼び出すことができます。

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。
2 “G-Link” を選択。
3 “G メモリ地点情報 ” を選択。



4 G メモリ地点情報を選択。
5 G-BOOK Viewer 画面に切り替わる。

● G-BOOK.com コンテンツ上の詳細な情報を表示すると同時に、情報を読み上げます。

知識

●G メモリ地点情報は、ナビゲーションのメモリ地点と同様に、メモリ地点が呼び出せるナビゲーションの画面からも呼び出すことができます。また、名称読みが登録してあれば、音声認識を使用することもできます。

●G メモリ地点情報は、同じ内容がナビゲーションのメモリ地点にも保存されます。
修正や消去をしたいときは、ナビゲーションのメモリ地点画面で行ってください。
詳しくは、「メモリ地点を登録する」をご覧ください。（→P.143）

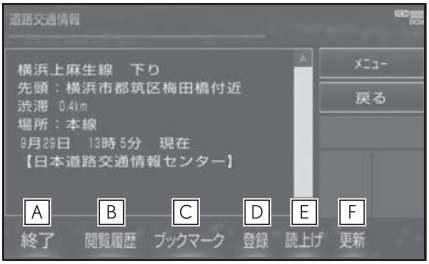
●同一の G メモリ地点情報は、上書き登録されます。ただし、音声認識で使用する名称読みが登録してある場合、その情報は保持されます。

G-BOOK Viewer

G-BOOK Viewer は、G-Link の各種コンテンツの表示や操作を行います。

G-BOOK Viewer 画面には、コンテンツ閲覧中に表示される画面と、コンテンツ読み上げ中に表示される画面があります。自動で読み上げするコンテンツもあります。

閲覧中に操作する



A G-BOOK Viewer 画面を終了して G-BOOK Viewer 表示前の画面に戻る。

B 閲覧履歴画面を表示する。

C ブックマーク画面を表示する。

D 表示中のページをブックマークに登録する。

E 読み上げを開始する。

・ 読み上げ情報がないときは、スイッチは灰色になっています。

・ 読み上げ情報があるコンテンツを表示したときに、自動で読み上げをするかしないかを設定できます。（→P.429）

F コンテンツの再読み込みをして画面を更新する。（コンテンツの読み込みが完了または中断しているときに表示）

“中止”：コンテンツの読み込みを中止する。（コンテンツの読み込み中に表示）

● コンテンツの読み込み中に“中止”を選択したり通信が切断された場合、コンテンツが表示されずに背景のみとなったり、読み込み中のコンテンツが乱れて表示されることがあります。
この場合は、次のいずれかの操作を行ってください。

・ “更新”を選択して、コンテンツを再取得する。

・ を選択していったん前のページを表示し、コンテンツを取得しなおす。

知識

●各スイッチはG-BOOK Viewer表示前の画面により、スイッチの表示・非表示およびスイッチ名称に違いがあることがあります。

読み上げ中に操作する

A G-BOOK Viewer 画面を終了して G-BOOK Viewer 表示前の画面に戻る。

B コンテンツを読み上げるときの音量を調整する。

：小さくする

⊕：大きくする

C 読み上げの開始位置を変更する。

⏮：読み上げ中の項目の先頭からはじめる

⏭：次の項目の先頭からはじめる

・前の項目の先頭からはじめるときは、⏮を選択してから約 1 秒以内に再度選択。

D コンテンツの読み上げを停止する。

E ⏸：コンテンツの読み上げを一時停止する。（読み上げ中に表示）

▶：読み上げていた項目の頭から読み上げを再開する。（読み上げ一時停止中に表示）

G-BOOK Viewerの自動読み上げを設定する

G-BOOK Viewerで読み上げ情報があるコンテンツを表示したとき、自動で読み上げをすることができます。

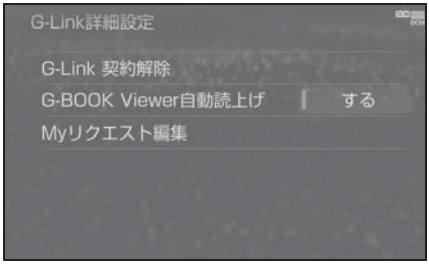
1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。

2 “設定・編集”を選択。

3 サブメニューの“G-Link”を選択。

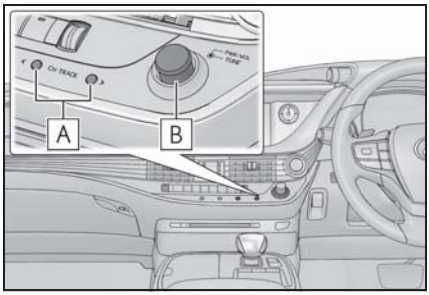
4 “オンライン詳細設定”を選択。

5 “G-BOOK Viewer 自動読上げ”を選択し、“する”に設定する。



● 解除するときは、“しない”に設定する。

オーディオコントロールスイッチで操作する



A コンテンツの読み上げの開始位置を変更する。

・読み上げ中の項目の先頭からはじめるときは、<側を押す。

・次の項目の先頭からはじめるときは、>側を押す。

・前の項目の先頭からはじめるときは、<側を押してから約 1 秒以内に再度押す。

B PWR スイッチ

コンテンツの読み上げを停止する。

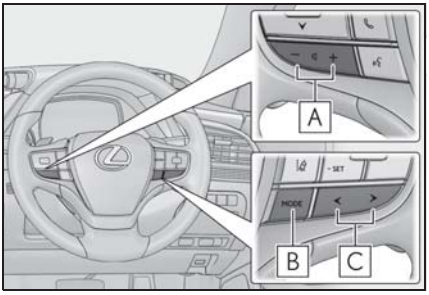
VOL ツマミ

コンテンツの読み上げ音量を調整する。

・大きくするときは、右へまわす。

・小さくするときは、左へまわす。

ステアリングスイッチで操作する



A コンテンツの読み上げ音量を調整する。

・大きくするとき は、＋側を押す。
・小さくするときは、－側を押す。

B コンテンツの読み上げを解除するときは、読み上げ中にスイッチを押す。

C コンテンツの読み上げの開始位置を変更する。

・読み上げ中の項目の先頭からはじめるときは、＜側を押す。
・次の項目の先頭からはじめるときは、＞側を押す。
・前の項目の先頭からはじめるときは、＜側を押してから約 1 秒以内に再度押す。

G 情報マークを表示する

G 情報マークは、G-Link のコンテンツが提供する地点情報です。

情報を取得すると自動で G 情報マークが地図に表示されます。

施設の情報を確認することができます。

施設の情報を表示する

地図上に G 情報マークが表示されているときは、その施設の情報を見ることができます。

1 G 情報マークを選択。
2 リモートタッチの ボタンを押す。
3 “情報” を選択。
4 G-BOOK Viewer 画面に切り替わる。

● G-BOOK.com コンテンツ上の詳細な情報を表示すると同時に、情報を読み上げます。

G 情報マークを非表示にする

G 情報マークを消したいときは、次の手順で非表示にすることができます。

1 地図表示中、“表示変更” を選択。
2 “周辺施設” を選択。

3 “G 情報マーク表示” を選択。

● 地図上の G 情報マークが非表示になります。

スマートフォンや携帯電話・パソコンで利用する

G-Link のさまざまなサービスはG-Linkセンターからインターネットを通じて、パソコンや携帯電話・スマートフォンからもご利用いただけます。

アドレスは以下をご確認ください。

パソコンサイト

● URL：http://lexus.jp/

携帯電話サイト

● URL：http://mo.lexus.g-book.com/

● QR コード：

smartG-Link（スマートフォンアプリ）

● smartG-Link アプリ（無料）を下記URL からダウンロードします。

・ URL：http://spb.lexus.g-book.com/mpx/spappdl/SpAppDL.aspx

・ QR コード：

ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）を利用する

ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）は、交通事故発生時や急病などの緊急事態発生時に、自動またはボタン操作でヘルプネットセンターに電話し、車内からの通報を補助するシステムです。

ヘルプネットは、警察や消防への緊急通報サービスです。ロードサービスへの取次ぎは行いません。

ヘルプネットについて

■ サービス開始と解約について

ヘルプネットは、G-Link 利用手続後に手動保守点検によるサービス開始操作 ※ が完了すると利用できます。（→P.436）

※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

ヘルプネットを解約したいときは、G-Link 利用契約を解約すると、同時に解約されます。

● ヘルプネットは（株）日本緊急通報サービスの登録商標です。

■ 緊急通報について

緊急通報は、サービス開始操作が完了すると利用できる機能です。

▶ エアバッグ作動による自動通報

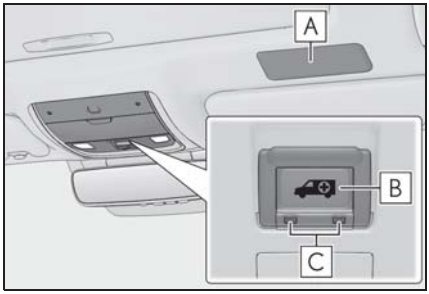
● エアバッグ作動時など、お車に一定以上の衝撃が加わると、自動的にヘルプネットセンターに通報します。

▶ ボタン操作による手動通報

● 乗員がヘルプネットボタンを押すと、ヘルプネットセンターに通報します。

各部の名称とはたらき

■ ヘルプネットスイッチパネル



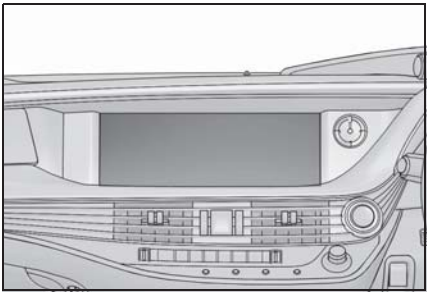
A マイク
緊急通報中や手動保守点検中のハンズフリー通話時に使用する。

B ヘルプネットボタン
ボタン操作による手動通報をするとき。また、手動保守点検をするときに押す。

C 表示灯
赤と緑の表示灯の点灯の組み合わせにより機器の故障、緊急通報中などシステムの動作を知らせる。（→P.445）

■ 本機

緊急通報時や保守点検時にメッセージを表示する。



知識

●いたずらなどで緊急車両などが出動したとき、該当費用に関しての請求をされたり、関連法規により処罰されることがあります。いたずらをしないでください。

●事故発生時以外でも、エアバッグが開いたときには自動通報します。このようなときには、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて通報を終了してください。

●表示灯は、緊急通報可能または不可能状態を正しく表示しないことがあります。例えば、解約時の処理をしていない中古車などに搭載された通信モジュールを使用するときは、サービスの利用契約をしていない状態でも緊急通報可能状態として表示することがあります。

注意

●ヘルプネットスイッチパネルなどに液体をかけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
ヘルプネットスイッチパネルなどが故障すると、緊急通報ができなくなったり、システム状態を正確にお知らせすることができなくなります。ヘルプネットスイッチパネルなどが故障したときは、必ずレクサス販売店にご相談ください。

●緊急通報および手動保守点検時は、スピーカーまたはマイクに故障不具合等があると、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話できません。これらの機器が故障したときは、必ずレクサス販売店にご相談ください。

安全のために

警告

●安全運転を心がけてください。本機は、交通事故や急病時などの救援通報を補助するものであり、乗員保護の機能を持つものではありません。乗員保護のために、乗員はシートベルトを着用し、安全運転を心がけてください。

●緊急事態が発生したときは、人命救助とけが人の対処を最優先にしてください。

●緊急事態発生により燃料の匂いや異臭を感じるときは、車内にとどまらずにただちに安全な場所に避難してください。

●サービス開始操作 ※ は契約者本人が行い、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯していることを必ず確認してください。

※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

●本機は衝撃などによって、作動しなくなることがあります。このようなときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。

●12V バッテリーの電圧低下または接続が断たれたとき、ヘルプネットセンターと通信できないことがあります。

警告

●携帯電話サービスエリア内であっても電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話が困難になることがあります。この場合は、ヘルプネットセンターと回線接続しても、ヘルプネットセンターと通信できず、救援要請の通報および通話ができません。緊急通報できないときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。

●事故発生時、エアバッグが作動せず、車両へ強い衝撃が加わっていないときは自動通報されません。また、エアバッグが作動しても通報されないことがあります。このようなときにはボタン操作による手動通報をしてください。

●以下のときは緊急通報できません。緊急通報できないときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。

・携帯電話サービスエリア外で使用している

・関連機器（ヘルプネットスイッチパネル、ディスプレイ、マイク、スピーカー、通信モジュール、アンテナ、およびこれらを接続する電気配線など）に異常または損傷があり、故障している

・G-Link 利用契約が未契約、または契約期限が切れている

・サービス開始操作※を実施していないため、緊急通報可能状態になっていない

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

●緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返し行います。ただし、電波状態などの理由で回線接続ができないときは、ヘルプネットスイッチパネルの赤の表示灯が点滅し、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要なときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。

●緊急通報後に救援を待つ間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。

●安全のため、走行中は緊急通報をしないでください。走行中の通報はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。緊急通報は、停車して安全を確認してから行ってください。

●G-Link 利用契約を解約してもヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯しているときは、レクサス販売店にご相談ください。

●ヒューズ交換は、必ず表示された規格のヒューズをご使用ください。規定以外のヒューズを使用すると、発煙、発火の原因となり、火災につながるおそれがあり危険です。

●煙が出る、異臭がするなど異常な状態で使用すると、発火の原因になります。ただちに使用を中止してレクサス販売店にご相談ください。

注意

- 本機内部は精密な構造になっています。無理に分解しようとすると、故障の原因になります。万一、異常などがあるときには、すぐにレクサス販売店にご相談ください。
- 関連機器などの取りはずしをすると、接触不良や機器の故障などを引き起こし、緊急通報ができなくなることがあります。取りはずしが必要なときには、レクサス販売店にご相談ください。
- 緊急通報および手動保守点検時は、スピーカーまたはマイクに故障などがあると、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話ができません。これらの機器が故障したときは、必ずレクサス販売店にご相談ください。
- 以下の温度範囲以外では、緊急通報が正常に動作しないことがあります。そのときは、最寄りの公衆電話などを使用してください。
  動作温度範囲：-20 ℃～＋ 60 ℃
- 実際の通報地点とヘルプネットセンターに通報される位置には、誤差が発生することがあります。通報地点や目標物は、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話で相互確認してください。
- 呼び返し待機状態で火災発生などの危険がある場合、および車外に避難するときは、パーキングブレーキをしっかりかけて、エンジンスイッチ ＜パワースイッチ＞を OFF にしてください。

サービス開始操作をする

ヘルプネットは、サービス開始操作※を完了すると利用できます。（→P.423）

G-Link 利用手続後、以下の手順でサービス開始操作※をしてください。また、ヘルプネットスイッチパネルなどが正常に動作するか確かめてください。この確認をしないと、ヘルプネットサービスの利用ができません。

※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

1 できるだけ見晴らしの良い場所に車を移動する。

- ビルの谷間や工場などの屋内は避けてください。

2 手動保守点検を行い、以下の点を確かめる。（→P.442）

- 通信が正常に始まる。
- 通話ができる。
- 通報位置が正しい（ヘルプネットセンターとの通話で確認）。

3 手動保守点検後、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯します。

- ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯しないときは、再度、手動保守点検をしてください。
- 手動保守点検が正常に終了しなくてもヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯することがあります。このとき、緊急通報できないことがあるため、レクサス販売店にご相談ください。

知識

- 手動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリーなどが利用できません。このとき、手動保守点検が終了してからご利用ください。

警告

- 以下のように、関連機器が正常に動作しないとき、緊急時にヘルプネットセンターへ正しい情報が伝わらず、救援困難となる可能性があります。
  - ・通信が始まらない。
  - ・通報位置とヘルプネットセンターの位置表示が違う。
  - ・通話できない。
- サービス開始操作 ※ は途中で中断せず、最後まで完了してください。エンジンスイッチ <パワースイッチ>をOFF にして中断したときは、基本的にヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯は点灯しません。それでも点灯したときはレクサス販売店にご相談ください。

※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

- サービス開始操作 ※ 時の手動保守点検が正常に動作しなかったときは、緊急通報できないことがあり危険です。手動保守点検時に関連機器が正常に動作しないときや、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯は点灯しているが、通話ができないときには、レクサス販売店にご相談ください。

※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

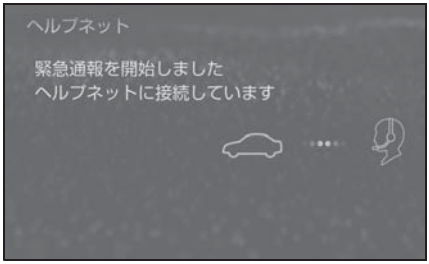
- 手動保守点検後、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯しないとき、緊急通報は動作しません。表示灯が正常に点灯しないときは、レクサス販売店にご相談ください。

緊急通報をする

■ エアバッグ作動による自動通報

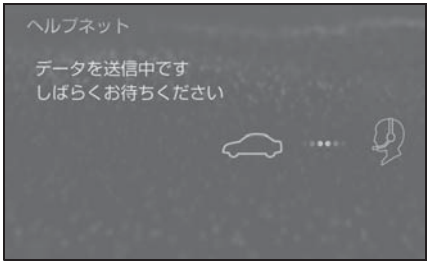
エアバッグ作動時など、お車に一定以上の衝撃が加わると、自動的にヘルプネットセンターに通報されます。

1 エアバッグ作動時など、車に一定以上の衝撃が加わると、緊急通報が開始される。

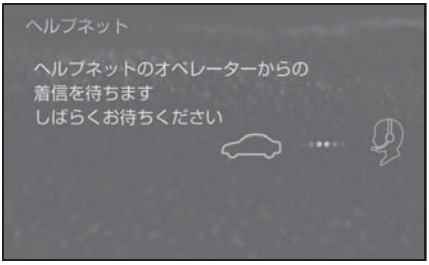


- スイッチパネルの緑の表示灯が点滅し、システムが作動していることを知らせます。
- メッセージが表示され、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。
- エアバッグが作動しなくても、事故の形態によっては通知を開始する場合があります。

2 ヘルプネットセンターに車両の位置などが送信される。



3 データ通信完了後、通話モードになる。

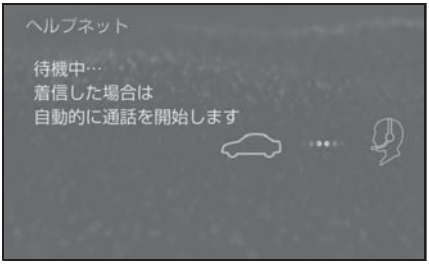


4 通話中画面が表示される。ヘルプネットセンターのオペレーターに、状況やけがの状態、警察、消防またはレクサス緊急サポート24への通報の要・不要を伝える。

● お客様からの応答が無い場合には意識不明と判断し、オペレーターがお客様に代わって速やかに救急車の手配を要請します。

5 警察、消防またはレクサス緊急サポート24への通報が必要なときは、ヘルプネットセンターが警察、消防またはレクサス緊急サポート24に接続する。

6 通話終了後、約30分間は、ヘルプネットセンターおよび救援機関からの電話による問い合わせのため、呼び返し待機状態になる。この間にかかってくる電話は、自動的にハンズフリー通話でつながる。



警告

● 呼び返し待機状態の間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。

● 呼び返し待機中は、緊急通報に関係のない着信も自動的にハンズフリー通話でつながります。通話中は救援活動に関わる着信であっても、着信できません。

● 緊急通報終了後約30分間の呼び返し待機状態で電話がかかってくると、さらに約30分間、呼び返し待機状態が延長されます。この間にかかってくる電話は自動的にハンズフリー通話でつながります。

7 呼び返し待機状態が終了すると、ヘルプネット画面は解除される。

● ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅表示を終了します。

8 車内および車外の状況に応じて二次災害を防ぎながら、最も安全な処置をして救援を待ちます。

知識

● 緊急通報中に音声案内が流れている間

は、通話することができません。音声案内が終わったら、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話して、状況をお知らせください。

●緊急通報開始から通話終了までの間は、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。

●緊急通報中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー／ヘルプネットを除く G-Link サービスなどは利用できません。

●誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、車両から通信または通話を終了することができません。終了する場合には、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて通報を終了してください。ただし、オペレーターとの通話中に電波状態の悪化によって回線が切断されることがあります。

警告

●緊急通報できなかったときは、最寄りの公衆電話などから通報してください。

・携帯電話サービスエリア外では緊急通報できません。緊急通報できなかったときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。

・携帯電話サービスエリア内であっても、電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話することが困難になることがあります。このときは、ヘルプネットセンターと回線接続しても通信できず、救援要請の通報および通話ができません。

・緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返し行います。ただし、電波状態などにより回線接続ができないときには、ヘルプネットスイッチパネルの赤の表示灯が点滅し、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要なときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。

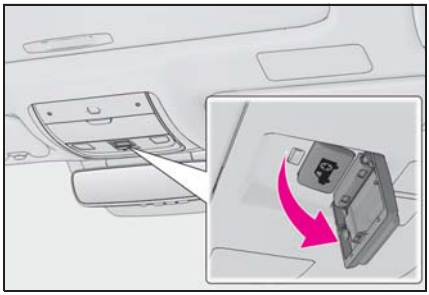
■ ボタン操作による手動通報

急病などの緊急事態発生時、車内からヘルプネットセンターへ通報するときにボタン操作をすることで緊急通報ができます。

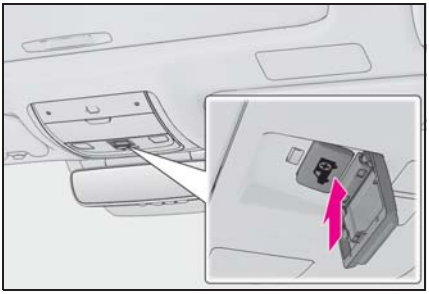
● エンジンスイッチ ＜パワースイッチ＞がアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード＜ ON モード＞のとき、ヘルプネットボタンを押すと緊急通報が始まります。あとは音声案内やヘルプネットセンターのオペレーターの指示にしたがってください。

1 ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯していることを確かめる。

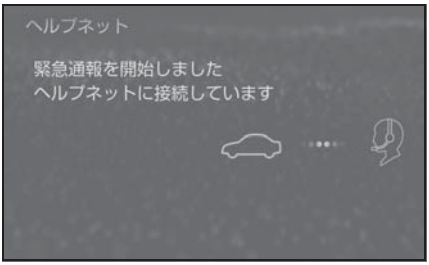
2 ヘルプネットスイッチパネルのカバーを開く。



3 ヘルプネットボタンを押す。



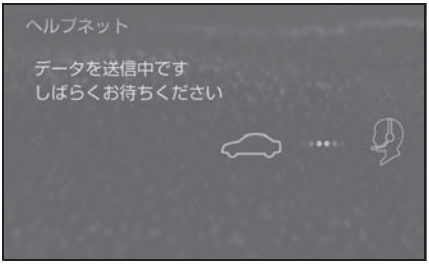
4 ヘルプネットセンターへ接続を開始し、緊急通報が開始される。



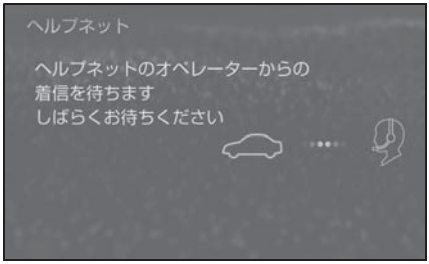
● スイッチパネルの緑の表示灯が点滅し、システムが作動していることを知らせます。

● メッセージが表示され、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。

5 ヘルプネットセンターにデータ通信を行い、車両の位置などが送信される。



6 データ通信完了後、通話モードになる。



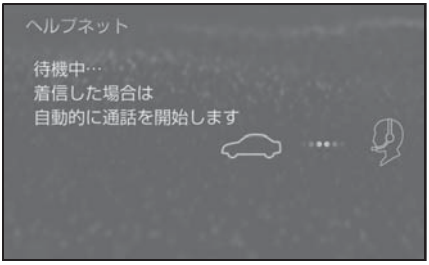
7 通話中画面が表示される。ヘルプネットセンターのオペレーターに、状況やけがの状態、警察、消防またはレクサス緊急サポート24への通報の要・不要を伝える。

● 手動通報時には、ヘルプネットセンターのオペレーターは、通報者の要請に基づき警察、消防などに接続します。通話にて状況を直接オペレーターにお知らせください。

8 警察、消防またはレクサス緊急サポート 24 への通報が必要なときは、ヘルプネットセンターが警察、消防またはレクサス緊急サポート24に接続する。

9 通話終了後、約 30 分間は、ヘルプネットセンターおよび救援機関からの電話による問い合わせのため、呼び返し待機状態になる。この間にかかってくる電話は、自動

的にハンズフリー通話でつながる。



● 緊急通報終了後約 30 分間の呼び返し待機状態で電話がかかってくると、さらに約 30 分間、呼び返し待機状態が延長されます。この間にかかってくる電話は自動的にハンズフリー通話でつながります。

警告

● 呼び返し待機状態の間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。

● 呼び返し待機中は、緊急通報に関係のない着信も自動的にハンズフリー通話でつながります。通話中は救援活動に関わる着信であっても、着信できません。

10 呼び返し待機状態が終了すると、ヘルプネット画面は解除される。

● ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅表示を終了します。

知識

● 緊急通報中に音声案内が流れている間は、通話することができません。音声案内が終わったら、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話して、状況をお知らせください。

● 緊急通報開始から通話終了までの間は、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。

● 緊急通報中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー／ヘルプネットを除く G-Link サービスなどは利用できません。

● 誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、車両から通信または通話を終了することができません。終了するときには、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて通報を終了してください。ただし、オペレーターとの通話中に電波状態の悪化によって回線が切断されることがあります。

警告

- 緊急通報できなかったときは、最寄りの公衆電話などから通報してください。
  - 携帯電話サービスエリア外では緊急通報できません。緊急通報できなかったときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
  - 携帯電話サービスエリア内であっても、電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話することが困難になることがあります。このときは、ヘルプネットセンターと回線接続しても通信できず、救援要請の通報および通話ができません。
  - 緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返し行います。ただし、電波状態などにより回線接続ができないときには、ヘルプネットスイッチパネルの赤の表示灯が点滅し、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要なときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。

保守点検をする

■ 自動保守点検について

自動保守点検は、定期的に自動で実施される保守点検です。お客様が会員登録されているかを、ヘルプネットセンターが確かめます。

自動保守点検を行うための特別な操作は、必要ありません。

- 点検時期
  （株）日本緊急通報サービスが定める期間ごとに行われます。
- 点検時間
  開始後 1 ～ 2 分で終了します。

知識

- 自動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー／ヘルプネットを除く G-Link サービスなどは利用できません。

注意

- 自動保守点検開始後、何らかの理由で通信が中断されてしまったときは、次にエンジンスイッチ ＜パワースイッチ＞を OFF からアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード＜ON モード＞ にしたときに、再び自動保守点検を開始します。何度も正常に終了しないときは、レクサス販売店にご相談ください。

■ 手動保守点検を実施する

手動保守点検は、お客様ご自身が手動で実施する保守点検です。

手動保守点検は、以下の保守点検を実施します。

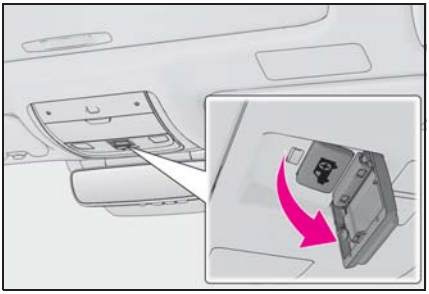
- 関連機器の保守点検（関連機器修理点検や車両修理後の保守点検）
- ヘルプネットセンターに会員登録されているかの確認（加入時、契約内容変更時）

警告

- 手動保守点検の途中で、エンジンスイッチ ＜パワースイッチ＞を OFF にしないでください。手動保守点検が正しく終了しません。スイッチを OFF にしてしまったときは、再度手動保守点検をやり直してください。

1 現在地画面で GPS の受信（GPS マークが表示されること）を確かめる。

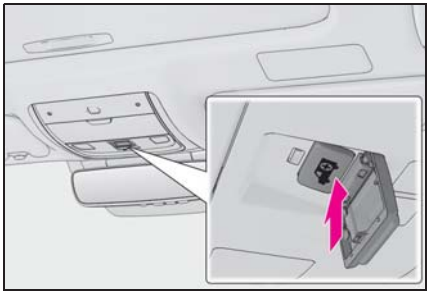
2 ヘルプネットスイッチパネルのカバーを開く。



3 エンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にする。

4 エンジンスイッチ<パワースイッチ>をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にする。

5 ヘルプネットスイッチパネルの赤と緑の表示灯がともに点灯したら、すぐにヘルプネットボタンを約 10 秒間押し続ける。



6 ヘルプネットセンターに接続を開始します。

● 手動保守点検が開始されると、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅し始めます。ボタンから指を離してください。

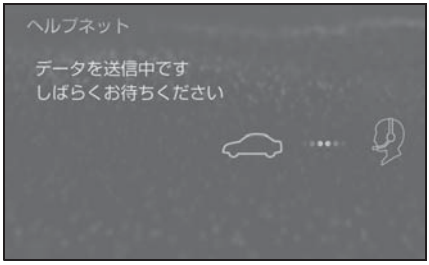
● メッセージが表示されると、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。

7 ヘルプネットセンターに接続すると、最初にデータ通信を行い、以下の確認をする。

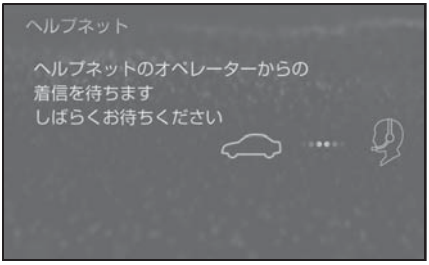
● 車両の現在地

● 手動保守点検をしていること

● ヘルプネットセンターに会員登録されていること



8 データ通信完了後、通話モードになります。



9 マイクを通して、ヘルプネットセンターと通話する。

● ヘルプネットセンターの応対は、自動音声で行われます。自動音声で車両の現在地の確認後に、名前を聞かれます。「ピー」と鳴ったら、お客様の名前を話してください。自動音声で名前を繰り返したのち、緊急通報可能であることをお知らせし、通話が終了します。

10 通話の終了後に点検を終了します。

● 緑の表示灯は点滅を終了し、最新のシステム状態を表示します。

知識

● 手動保守点検開始から通話終了までの間は、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。

● 手動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー／ヘルプネットを除く G-Link サービスなどは利用できません。手動保守点検が終了してからご利用ください。

警告

● 手動保守点検を実施するときは、途中で中断せず、最後まで完了してください。途中で中断したときは、手動保守点検が失敗となるためヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯は点灯しません。それでも点灯したときは緊急通報できない可能性があるため、レクサス販売店にご相談ください。

注意

● 手動保守点検は見晴らしのよい場所で行ってください。

・ 手動保守点検は、正確に位置情報を送ることができることを確認しています。手動保守点検はビルの谷間や工場などの屋内は避け、GPS を受信できる見晴らしのよい場所で行ってください。

・ 手動保守点検開始後、何らかの理由でヘルプネットセンターとの接続ができなかったときは、ヘルプネットスイッチパネルの赤の表示灯が点滅します。このときはエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を一度 OFF にして、赤の表示灯の点滅が終了してから手動保守点検をやり直してください。携帯電話サービスエリア内でやり直しても接続されないときには、レクサス販売店にご相談ください。

表示灯について

ヘルプネットシステムはシステムの作動状態をヘルプネットスイッチパネルの赤と緑の表示灯でお知らせします。

表示灯		動作状態	対処法
緑	赤		
点灯	消灯	動作中のとき （携帯電話サービスエリア内）	緊急通報がご利用になれます。
消灯	点灯	動作中のとき （携帯電話サービスエリア外）	緊急通報ができません。携帯電話サービスエリア内に移動して使用してください。
		関連機器に異常があるとき （携帯電話サービスエリア内）	携帯電話サービスエリア内でいつまでもこの表示が続くときは機器の故障が考えられます。 レクサス販売店にご相談ください。
点滅	消灯	緊急通報中のとき	緊急通報が終了しても表示が変化しないときは、レクサス販売店にご相談ください。
		手動保守点検中のとき	手動保守点検が終了しても表示が変化しないときは、レクサス販売店にご相談ください。

表示灯		動作状態	対処法
緑	赤		
消灯	点滅	緊急通報に失敗したとき	約 10 秒後に表示が変化します。再度緊急通報するか、最寄りの公衆電話などから通報してください。
		自動保守点検を何回も連続して失敗したとき （携帯電話サービスエリア外）	携帯電話サービスエリア内に移動して、手動保守点検をしてください。（→P.442）それでも表示が続く場合は、レクサス販売店にご相談ください。
		手動保守点検に失敗したとき	携帯電話サービスエリア内に移動してから、再度試みてください。
		関連機器に異常があるとき	いつまでも正常な表示に戻らないときは、機器に異常があることが考えられます。ただちにレクサス販売店にご相談ください。
		ヘルプネット専用補助バッテリーの寿命が切れたとき	レクサス販売店で交換してください。
点灯	点灯	エンジンスイッチ ＜パワースイッチ＞をイグニッション ON モード ＜ ON モード＞にしたとき（約 5 秒間）	20 秒以上続くときは、機器に異常があることが考えられます。レクサス販売店にご相談ください。
		関連機器に異常があるとき	
消灯	消灯	ヘルプネットサービスの契約が切れているとき	G-Link サービスを契約してください。
		関連機器が動作していないとき	エンジンスイッチ ＜パワースイッチ＞をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード ＜ ON モード＞にしてもこの状態が続くときは、レクサス販売店にご相談ください。
		サービス開始操作をしていないとき	サービス開始操作を行う。 （→P.436）

警告

●表示灯が以下のときには、ヘルプネットシステムに異常があることをお知らせしています。これらの異常表示がされたとき、システムが正常作動せず緊急通報できないことがあります。ただちにレクサス販売店にご相談ください。

・エンジン <ハイブリッドシステム> 始動後にヘルプネットスイッチパネルの赤と緑の表示灯が約 5 秒間点灯したあと、赤の表示灯が点滅し続ける。

・エンジン <ハイブリッドシステム> 始動後、赤と緑の表示灯の点灯がいつまでも続く。

・携帯電話サービス圏内にもかかわらず赤の表示灯がいつまでも続く。

・エンジン <ハイブリッドシステム> 始動後に赤と緑の表示灯が点灯しない。

●表示灯は、緊急通報可能または不可能状態を正しく表示しないことがあります。例えば、解約時の処理をしていない中古車などに搭載された関連機器を使用するときは、サービスの利用契約を結んでいない状態においても緊急通報可能状態として表示することがあります。

緊急通報できない場合について

以下のようなときには、ヘルプネットサービスが提供できない、またはヘルプネットサービスに支障が出ることがあります。

■ G-Link利用契約の不成立または消滅

● 未契約のとき

● 契約が締結できないとき

● 契約の解除が実施されたとき

● 契約が終了したとき

■ 関連機器の異常による通信不能

● 関連機器（ヘルプネットスイッチパネル、ディスプレイ、マイク、スピーカー、通信モジュール、アンテナおよびこれらを接続する電気配線など）の故障

● 12V バッテリーの電圧低下など、関連機器の故障・消耗など

● 車両の衝突・横転時の衝撃や車両火災などによる、関連機器の損傷

■ 緊急通報センターシステムの位置評定エラー

GPS のシステムの異常、トンネルや建物の密集地、フェリー降船後などで GPS での位置演算の誤差が大きいとき、地図データベースが古くマップマッチングに誤差が大きいときなど、位置評定が正常に行われないまたは誤差が大きいとき

知識

●ヘルプネットは、ナビゲーションシステムの GPS から位置情報を取得しています。（→P.173）

■ ヘルプネットセンター／G- Link センターシステムの異常による通信不能

● センターシステムの故障など

● センターの火災などによる、センターシステムの損傷

■ ヘルプネットで利用する通信網に起因する通信不能

● 本サービスに使用する携帯電話サービスエリア外に、“登録車両” が位置するとき

- 本サービスに使用する携帯電話サービスエリア内であっても、電波の受信状態が悪く、結果として通信ができないとき
- 本サービスに使用する携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）が著しく混雑しているなど、通話利用もしくは通話時間が制限され、結果としてヘルプネットによる通信ができないとき
- 本サービスに使用する通信事業者が大規模災害などにより通話が制限され、結果としてヘルプネットによる通話ができないとき
- 本サービスに使用する携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）のサービスが事故、保守、工事などのため中断または休止されたとき

■ **緊急通報事業者の都合によるサービス提供の中断または休止**

- センターシステムの保守を、定期的にまたは緊急に行う必要があるとき
- 大規模な事故や災害により、一時的に緊急通報がセンターに集中したとき

■ **その他の要因**

手動通報で、ヘルプネットセンターからの問いかけに対して、通報者から応答が無く、ヘルプネットセンターとして状況把握ができないとき（手動通報後に容体が悪化した、強盗や暴漢に襲われたなど）

故障とお考えになる前に

本機が正常に作動しなくなったときは、以下の表にしたがって確認してください。表にしたがって対処しても作動しないときは、レクサス販売店にご相談ください。また、万一異常が起きたら、必ずレクサス販売店に修理をご依頼ください。

症状	考えられること	処置
緑の表示灯が点灯しない	サービス開始操作※を完了していますか。	サービス開始操作※をする。(→P.436)
緊急通報できない	エンジンスイッチ <パワースイッチ>をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード < ON モード>にした直後の点検中ではありませんか。	緑の表示灯が点灯するまで待ってから、ヘルプネットボタンを操作して通報してください。(→P.439)
	電波状態は良好ですか。	電波状態の良好な場所に移動して、手動保守点検を実施してください。(→P.442)
	携帯電話のサービスエリア外で使用していませんか。	
	携帯電話回線が混雑している。	しばらくしてから、または電波状態の良好な場所に移動して、手動保守点検を実施してください。(→P.442)
エンジンスイッチ <パワースイッチ>を OFF にしても赤または緑の表示灯が点滅し続けた	緊急通報中ではありませんか。	「緊急通報を、終了しました」という音声案内が流れてから約 30 分経過するまで待って、緑の表示灯の点滅が終了することを確かめてください。
エンジン <ハイブリッドシステム>始動後、表示灯が両方共に点灯しない	G-Link 利用契約がされていますか。	G-Link 利用契約をする。

※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

警告

- 緊急事態発生時に緊急通報できないときは、最寄りの公衆電話などから通報してください。

G-Security を利用する

G-Security は、ドアのこじ開けなどオートアラームの作動を検知した場合、異常をメールや電話でお知らせします。また、車両盗難時はお客様の要請により、車両の位置を追跡し、警備員を現場に派遣します。

G-Security について

■ **アラーム通知（→P.452）**

お車のオートアラーム作動を検知した場合、お客様へメールと電話でお知らせします。

■ **エンジン始動通知（→P.453）**

エンジン ＜ハイブリッドシステム＞の始動を検知し、メールでお知らせします。

■ **うっかり通知（→P.453）**

ドアロック忘れやウインドウ（ドアガラス）の閉め忘れ、ハザードランプ（非常点滅灯）の消し忘れなどを、メールでお知らせします。

■ **リモートイモビライザー（→P.454）**

エンジン ＜ハイブリッドシステム＞の始動・ステアリングロックの解除を禁止することができます。

■ **リモート確認（→P.454）**

ドア・トランク・ボンネット・ウインドウ（ドアガラス）の開閉やロックの状態、ハザードランプ（非常点滅灯）の点滅状態、電子キーの車内への置き忘れなどを携帯電話で確認できます。

■ **リモート操作（→P.455）**

「うっかり通知」と連携し、遠隔操作でドアロックなどの操作をすることができます。

■ **車両の位置追跡（→P.456）**

お客様の要請により、盗難車の位置を追跡します。

■ **警備員の派遣（→P.456）**

車両盗難や車上荒らしの際、お客様の要請により、警備員を派遣します。

詳しくは、http://lexus.jp/ をご覧ください。

■ **カーファインダー（→P.457）**

リモート操作で、ハザードランプ（非常点滅灯）を点滅させ、お車の位置を確認することができます。

知識

- G-Security では、車両の異常を検知した場合、サポートアドレスに登録されている電話番号やメールアドレスに通知します。サポートアドレスに登録されていない場合、通知できませんので、必ずご登録ください。また、連絡先に変更があった場合は変更手続きを行ってください。（→P.489）
- 携帯電話で迷惑メールの拒否設定などをされている場合は、以下の発信元メールを受信できるようにご登録ください。
  ［登録する発信元メールアドレス］
  g-book.info@03-003.mail.g-book.com
- メールによる通知には遅延が発生することがありますので、あらかじめご了承ください。
- アラーム通知される番号は、レクサスオーナーズデスクのフリーダイヤルとなっています。（→P.471） また、指定着信許可・拒否などの設定をされている

場合は、レクサスオーナーズデスクのフリーダイヤルの番号を着信できるようご登録ください。

●G-Security では車両の位置情報を使用します。本機が起動していない状態で車両が移動された場合、または電波の届かない場所に車両が移動された場合は、位置情報の変化を確認できません。

●G-Link 利用契約を解除した場合、メールや電話による通知は送信されません。

初期設定の確認・変更

アラーム通知、エンジン始動通知、うっかり通知の設定の確認・変更について説明します。

■ 通知設定の一覧

サービス名	通知方法	設定		
アラーム通知	電話	設定中 ※	解除中	ー
	E メール	設定中 ※	解除中	ー
エンジン始動通知	E メール	設定中	解除中 ※	ー
うっかり通知	E メール	設定中 ※	解除中	一時停止中

設定中 … 通知します

解除中 … 通知されません

一時停止中 … 通知を 2 時間停止します。一時停止後、2 時間経過すると自動的に設定中に切り替わります

※ 納車時の設定

サポートアドレスにメールアドレスの登録がない場合は、通知されません。

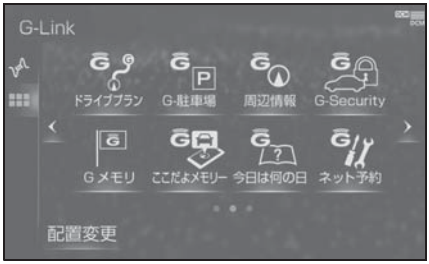
サポートアドレスの登録はナビ画面で行えます。(→P.489)

■ 解除中 → 設定中へ切り替える

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。

2 “G-Link” を選択。

3 “G-Security” を選択。



4 設定したい項目を選択。

● 設定の説明画面が表示されるとき

内容を確認し、“確認”を選択。

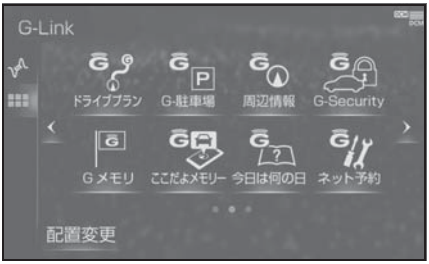
● スイッチが「設定中」にかわり、通知設定が切り替わります。

■ **設定中→解除中または一時停止中へ切り替える**

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。

2 “G-Link”を選択。

3 “G-Security”を選択。



4 解除または一時停止したい項目を選択。

5 エンジン始動通知を解除するときは“解除”を選択。

● アラーム通知を解除するときは、手順 **6** へ

6 G 暗証番号またはパスワードを入力する。

● ソフトウェアキーボードで入力します。

● G暗証番号を登録しているときは、G 暗証番号表示窓を選択。

● G 暗証番号を登録していないときは、パスワード表示窓を選択。

7 “解除”または“停止”を選択。

● “停止”は手順 **4** で「うっかり通知」を選択すると表示されます。

8 “確認”を選択。

● 設定が「解除中」にかわり、通知設定が切り替わります。

知識

● 一時停止は、「うっかり通知」のみの設定です。

● 「G 暗証番号」は、お客様情報の確認・変更や G-Security の設定変更など暗証番号が必要なときに入力していただく4桁の番号です。

アラーム通知

ドアのこじ開け、車内侵入などのオートアラーム作動※を検知した場合、サポートアドレスに登録してあるメールアドレスや電話番号に通知します。

※ 詳しくは、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

アラーム通知の設定・解除を行うことができます。(→P.451)

● 車外に出たあと、ドア・トランク・ボンネットを閉め、全てのドアをロックしたあと、30 秒以上経過すると自動的にオートアラームが設定されます。

● アラーム通知はサポートアドレスに連絡されます。

● アラーム通知の連絡を受けたとき、車両から遠く離れていたり車両が盗難にあった場合は、車両の位置確認／警備員の派遣サービスをご利用ください。
車両の位置確認／警備員の派遣サービスは、お客様の要請に基づいてレクサスケアコミュニケーターが車両の位置を追跡します。さらに、お客様の要請に基づき警備員を現場に派遣します。
ご利用の際はレクサスオーナーズデスクにご連絡ください。

（→P.471）

- 12V バッテリーがあがった場合、アラーム通知は行われません。
- 車両の室内温度が非常に高いとき、アラーム通知の送信が行われないことがあります。
- 通信環境が整わない状況等によりアラーム通知の送信が行われない場合、送信が完了するまで継続されます。
- アラーム通知が未送信状態で、アラームが複数回作動した場合は、最新のアラームを通知します。
- ヘルプネット通報中は、通報が終わるまで、アラーム通知は行われません。
- G-Link 利用契約を解除した場合、アラーム通知は送信されません。

エンジン始動通知

エンジン ＜ハイブリッドシステム＞の始動を検知し、サポートアドレスに登録してあるメールアドレスに通知します。

お車から離れるとき、携帯電話などから設定しておくと、第三者によるエンジン ＜ハイブリッドシステム＞始動がわかります。

エンジン始動通知の設定・解除を行うことができます。（→P.451）

- エンジン始動通知はサポートアドレスに連絡されます。
- エンジン始動通知の連絡を受けたとき、車両から遠く離れていたり車両が盗難にあった場合は、車両の位置確認／警備員の派遣サービスをご利用ください。
  車両の位置確認／警備員の派遣サービスは、お客様の要請に基づいてレクサスケアコミュニケーターが車両の位置を追跡します。さらに、お客様の要請に基づき警備員を現場に派遣します。
  ご利用の際はレクサスオーナーズデスクにご連絡ください。（→P.471）
- オプション設定にて、エンジン始動通知の連絡を受けたあと、エンジンスイッチ ＜パワースイッチ＞が OFF になったことを検知し、通知させることができます。
- オプション設定にて、エンジン始動通知の連絡を受けたあと、10 分間隔で通知させることができます。（24 時間経過後、自動解除されます。）

うっかり通知

ドアロック忘れやハザードランプ（非常点滅灯）の消し忘れ、ウインドウ（ドアガラス）の閉め忘れなどを、サポートアドレスに登録してあるメールアドレスに通知します。

うっかり通知の設定・解除を行うことができます。（→P.451）

- エンジンスイッチ ＜パワースイッチ＞を OFF にして数分後、以下の条件をすべて満たすとうっかり通知メールが配信されます。
  - ・ドア・トランク・ボンネットがすべて閉まっている
  - ・電子キーが車内未検知
  - ・ドアロック忘れやウインドウ（ドアガラス）、ハザードランプ（非常点滅灯）が点滅しているなど

● お車を駐車した場所やお客様の携帯電話が電波状態の悪い所にあるときは、配信されなかったり、配信が遅れたりすることがあります。

● うっかり通知メールはサポートアドレスに配信されます。

● 12V バッテリー脱着後はエンジンスイッチ <パワースイッチ>をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード < ON モード>にしないと、うっかり通知メールが配信されません。

● 電子キーが車外にあっても、以下のような場合では車内と判断されることがあります。その際には、うっかり通知メールが配信されない場合があります。

・ドアガラスに近い位置、またはルーフ上に電子キーがある場合。

・ウインドウ（ドアガラス）から車内にある電子キーを車外に出した場合。

・スマートエントリー＆スタートシステムをキャンセルしている場合。

● 電子キーが車内にあっても、以下のような場合では車外と判断されることがあります。その際には、うっかり通知メールが配信される場合があります。

・窓から電子キーを車内に入れた場合。

・電子キーの置き場所（インストルメントパネル上など）、状況（電池切れ、金属製ケースなどの中）、また周囲の電波環境によってスマートエントリー＆スタートシステムが正常に働かないおそれがある場合。※

※詳しくは、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

リモートイモビライザー

お車が盗難にあった場合にお客様の要請により、エンジン <ハイブリッドシステム>の始動を禁止し、ステアリングロックの解除を禁止することができます。

● ご利用の際はレクサスオーナーズデスクにご連絡ください。（→P.471）

● リモートイモビライザーの設定をレクサスオーナーズデスクへ依頼するときには、警察に車両盗難被害届けを提出してください。

● リモートイモビライザーは以下のとき、正しく作動しないことがあります。

・車両の室内温度が非常に高いとき

・お車が電波状態の悪い所にあるとき

・1 週間以上お車を使用していないとき

・12V バッテリーの電圧が低下しているとき

● レクサスオーナーズデスクにリモートイモビライザー設定の要請をしたとき、お車に一定の条件が整うと、リモートイモビライザーが設定されます。

リモート確認

ドア・トランク・ボンネット・ウインドウ（ドアガラス）の開閉やロックの状態、ハザードランプ（非常点滅灯）の点滅状態、電子キーの車内への置き忘れなどを携帯電話で確認できます。

● 携帯電話でご覧いただける、リモート確認画面での情報は、センターの最新値で、アクセス時点での状態ではありません。お車が電

波状態の悪い所に駐車してあるときなどは情報が更新できず、前回の情報が表示されることがあります。

・各車両の状態はエンジンスイッチ ＜パワースイッチ＞ OFF 後、ドアの開閉などが一定時間なかったときに、また、お車の状態の項目は状態に変化が発生するごとに更新されます。

● 12V バッテリー脱着後は、エンジンスイッチ ＜パワースイッチ＞をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード ＜ ON モード＞にしないと、リモート確認画面での情報は更新されません。

● スマートエントリー＆スタートシステムをキャンセルしている場合、電子キーが車外にあっても、車内にあると判断されることがあり、リモート確認時にも携帯電話サイト／スマートフォンアプリには「スマートキー車内」と表示されます。

リモート操作

ドアロックのし忘れやハザードランプ（非常点滅灯）の消し忘れのとき、携帯電話を利用して、ドアロックなどの操作をすることができます。

● リモート操作を行う前に安全を確認してください。最終停車位置の住所は、リモート操作画面から確認することができます。お車を駐車した場所が電波の届かない場所などでは位置情報が更新されない場合があります。

● リモート操作結果通知はサポートアドレスに連絡されます。

● リモート操作をおこなってから、24 時間以内であれば、元に戻す操作ができます。（→P.456）

● リモート操作でドアロックしたとき、オートアラームとステアリングロックは設定されません。

● リモート操作は以下のとき、正しく作動しないことがあります。

・お車が電波状態の悪い所にあるとき

・1 週間以上お車を使用していないとき

・12V バッテリーの電圧が低下しているとき

● リモート操作は以下のとき操作することができません。

・エンジンスイッチ ＜パワースイッチ＞がアクセサリーモードまたはイグニッションONモード ＜ONモード＞のとき

・電子キーが車内（トランク内も含む）にあると検知したとき

・ドア・トランク・ボンネットが開いているまたは開閉操作があったとき

・前回のリモート操作が操作中のとき

● 電子キーが車外にあっても、以下のような場合では車内と判断されることがあります。その際には、リモート操作が実施できない場合があります。

・ドアガラスに近い位置、またはルーフ上に電子キーがある場合。

・ウインドウ（ドアガラス）などから車内にある電子キーを車外に出した場合。

・スマートエントリー＆スタートシステムをキャンセルしている場合。

● 電子キーが車内にあっても、以下のような場合では車外と判断されることがあります。その際には、リモート操作が実施される場合があります。

・窓などから電子キーを車内に入れた場合。

・電子キーの置き場所(インストルメントパネル上など)、状況（電池切れ、金属製ケースなどの中)、また周囲の電波環境によってスマートエントリー＆スタートシステムが正常に働かないおそれがある場合。※

※詳しくは、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

● 道路交通法により、駐車時にハザードランプ（非常点滅灯）などの点滅が必要な場合がありますので、ご注意ください。

警告

●リモート操作をお使いになる前に

・リモート操作を過信しないでください。車を離れるときは、ドアロック、ハザードランプ（非常点滅灯）などを必ずご確認ください。

●リモート操作をするときは

・車内に人がいる場合や他の人が車を使っている場合には、リモート操作をしないでください。人が車内に閉じ込められたり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ リモート操作を元に戻す操作

リモート操作をおこなってから24時間以内であれば、元に戻す操作ができます。

● 元に戻す操作結果通知は、サポートアドレスに連絡されます。

● 24 時間以内であっても、お車で操作があった場合は、以降の元に戻す操作はできません。

● ドアロックの操作を元に戻したときは、「解錠操作のセキュリティ機能」（自動ロック機能）は働きません。

● ドアロックの操作を元に戻したときは、操作前の状態にかかわらず全席解錠されます。

● 元に戻す操作は、以下のとき正しく作動しないことがあります。

・お車が電波状態の悪い所にあるとき

・12V バッテリーの電圧が低下しているとき

車両の位置追跡

お客様の要請により、レクサスケアコミュニケーターが盗難車両の位置を追跡します。

ご利用の際はレクサスオーナーズデスクにご連絡ください。（→P.471）

警備員の派遣

お車が盗難にあったり、オートアラーム作動を検知した場合にお客様の要請により、警備員を現場に派遣します。

ご利用の際はレクサスオーナーズデスクにご連絡ください。（→P.471）

● 警備員が出動してから 1 時間以内は無料です。1 時間を超える場合は、レクサスケアコミュニケーターから延長するかどうかの確認を行います。
延長した場合の利用料金は、レクサス販売店または http://lexus.jp/ でご確認ください。

● 警備員は盗難車両の確保はいたしません。追跡調査のみ行います。

● 警備員の派遣を依頼するときには、警察への被害届けが必要となります。

カーファインダー

リモート操作で、ハザードランプ（非常点滅灯）を点滅させ、お車の位置を確認することができます。

● ハザードランプ（非常点滅灯）は約 1 分間点滅します。ハザードランプ（非常点滅灯）が点滅しているときにドアを開けるなどするとハザードランプ（非常点滅灯）は消灯します。

リモートメンテナンスサービス

リモートメンテナンスサービスについて

お車の状態に関する情報を G-Link センターで取得し、カーライフに役立つ情報を提供するサービスです。

リモートメンテナンスメール

走行距離や使用期間に応じて、定期点検やオイル交換・タイヤ交換などのメンテナンス内容を、お車にメールでご連絡します。

また、電話や本機の画面から、その場でレクサス販売店への入庫予約をおこなうことができます。

ウォーニング通知

お車のエンジン <ハイブリッドシステム>・ブレーキ関係・オイルなどの項目について、メーター内の警告灯が点灯し G-Link センターが異常を検知すると、その内容を本機にてお客様にご連絡します。

また、電話や本機の画面から、レッカー車の手配やレクサス販売店への入庫予約をおこなうことができます。

● すべての警告灯の点灯に対し、ウォーニング通知を送信するわけではありません。

ウォーニング通知受信時の操作

■ 電話をかけて入庫予約する

1 “内容表示” を選択し、ウォーニング内容表示画面を表示させる。
2 “TEL” を選択し、連絡先選択画面を表示する。
3 連絡先を選びハンズフリー通話する。

■ 本機の画面から入庫予約する

1 “内容表示” を選択し、ウォーニング内容表示画面を表示させる。
2 “予約” を選択し、入庫予約を行う。

e ケア

走行アドバイス

ウォーニングランプ点灯時などにお客様からレクサス販売店にお問い合わせがあった場合、車両から発信される情報をもとに、走行を継続できるかどうかの判断など適切なアドバイスが可能です。

ヘルスチェックレポート

12V バッテリー、ウォッシャー液などの消耗品の状態を G-Link ユーザーサイトにて確認することができます。

G- カスタマイズ

車両カスタマイズ項目の一部を遠隔で設定変更するサービスです。

● G-Link ユーザーサイトのご利用、またはレクサス販売店へのご依頼により、設定変更ができます。

レクサス緊急サポート 24 を利用する

ご利用の際は、レクサスオーナーズデスクへご連絡ください。

- ガス欠などのトラブルが路上で発生した場合、現場での応急サービスを 24 時間 365 日無料で提供しています。
- お車が自力走行不能な場合には、レッカー車による移動を無料で実施いたします。
- さらに故障の場合は、目的地までの交通費・宿泊費なども一定条件で補償いたします。

サービス内容

内容		概要	備考
ロードサービス	レッカーサポート	レクサス販売店までの搬送手配と費用を負担	事故・故障を問わず
	現場緊急修理サポート	現場での 30 分程度の応急修理の手配と費用を負担	JAF 会員は油脂・燃料・部品代も費用負担
故障時臨時費用サポート		臨時交通費・臨時宿泊費・修理後搬送費用をサポート	故障時のみ
保険会社取り次ぎサービス		保険会社への事故報告のサポート（転送・番号案内など）	—
緊急伝言サービス		ご家族・勤務先等にメッセージを伝言	—

知識

- 自力走行不能とは、物理的に走行不可能なとき、または法令上走行が禁止されるとき（例：夜間でライトが作動しないときなど）、およびオーナーズデスクが自力走行不能と判断した場合をいいます。
- 一部有料となる作業や手配を行えない場合があります。
- G-Link 利用契約を解約した場合、レクサス緊急サポート 24 を利用できません。

マップオンデマンド（地図差分更新）

マップオンデマンドとは

マップオンデマンドは、通信モジュール（DCM）、Wi-Fi®、パソコン（ インターネット）を経由して新しい道路情報をダウンロードし、地図を更新するサービスです。

マップオンデマンドは、新しい道路情報が準備でき次第、順次地図データを更新しています。

マップオンデマンド（地図差分更新）と全更新
地図更新は、以下の 2 種類があります。 ●マップオンデマンド（ 地図差分更新）：新しい道路データ（ 差分）を更新。 ●全更新：「最新版地図ソフト」を購入いただき、すべての地図データを更新。 ・ 更新済みの新しい差分データはそのまま保存されます。 ・ 全都道府県の施設名も含めた地図データが更新されます。

マップオンデマンドの更新方法、および更新にかかる費用	
お客様の通信手段により、更新時に次の費用がかかります。	
① [通信で更新]（G-Link 契約時のみ利用可能） ▶ 通信モジュール（DCM）利用時 ●基本利用料に含む ▶ Wi-Fi® 利用時 ●Wi-Fi® テザリング契約料 ●Wi-Fi® 通信費	② [パソコンで更新] ▶ CD-R/DVD-R または USB メモリー（ 機種により異なります） ●パソコンのインターネット通信費 ●CD-R/DVD-R または USB メモリー代
③ [地図更新 DVD を注文して更新] ●地図更新 DVD は有料です。料金については、レクサス販売店またはパソコンサイト（http://lexus.jp/）をご確認ください。	

■ サービス期間

マップオンデマンドは、ナビ初度登録日をサービス利用開始日とし、利用開始日より 3 年間ご利用いただけます。

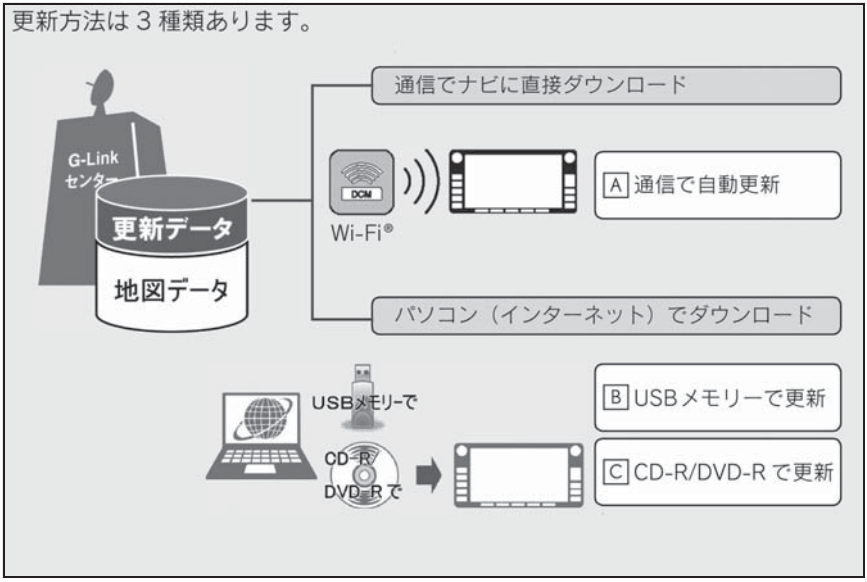
また、「全更新（ 最新版地図ソフトを販売店でご購入いただき更新）」することで、「全更新」を実施した日から 2 年間ご利用いただけます。
（ただし、利用開始日より 3 年未満に「全更新」された場合であっても、ご利

用期間は「全更新」の実施日から 2 年間となりますので、ご注意ください。

なお、登録初年度に「全更新」された場合のみ利用開始日より 3 年間はご利用いただけます。）

■ **更新方法**

G-Link センターからの更新データと地図データの更新方法は 3 種類あります。



A 通信モジュール（DCM）や Wi-Fi® を使用して、通信で直接ダウンロード（自動更新）（→P.465）

B USB メモリーを使用して、パソコン（インターネット）からダウンロードし、更新（→P.465）

C CD-R/DVD-R を使用して、パソコン（インターネット）からダウンロードし、更新（→P.466）

▶ 通信で更新

自動更新

下記のタイミングで、自動的に更新データをダウンロードします。

● エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード＜ ON モード＞時、ナビゲーションで登録した自宅周辺 80km（細街路は 10km）ならびに全国配信道路に更新情報がある場合

● 目的地設定時、目的地周辺 10km 四方ならびに全国配信道路に更新情報がある場合

▶ パソコン経由で更新

● 更新したい都道府県を選択すると、全国配信道路の更新データもあわせてダウンロードします。

● G-Link を利用していないお客様も、ご利用いただけます。

▶ 地図更新 DVD を注文して更新

● レクサスオーナーズデスクに地図更新DVDを電話注文して、更新することができます。G-Link 契約のないお客様につきましては、マップオンデマンド・サポートデスクにてご対応させていただきます。
その際、以下の情報が必要となりますのでご確認ください。

・ 車種名

・ 終了日（年／月／日）※

・ 地図のタイプ ※

・ ナビバージョン ※

※ 地図更新画面で確認できます。（→P.464）

● 地図更新　DVD　は有料です。料金については、レクサス販売店または http://lexus.jp/ でご確認ください。

● G-Link を利用していないお客様も、ご利用いただけます。

マップオンデマンド・サポートデスク
0561-57-6814
受付時間　9：00 ～ 18：00（年中無休）

▶ 更新データの配信について

● 高速道路のデータについては、地図更新データの収集／整備状況により、配信まで 3 カ月ほどかかる場合もあります。

● 一般道路のデータについては、地図更新データの収集／整備後、順次配信します。

■ **更新対象**

更新対象	全国配信	指定エリア ※ 配信
道路データ	高速道路・有料道路、主要国道	一部国道、主要道、都道府県道、その他道路、道幅 5.5m 未満の道路
施設情報	高速道路・有料道路施設	立体ランドマーク相当の著名な施設など
市街図	更新対象外	更新対象外
音声案内	更新対象外	更新対象外

※ 指定エリア

［通信で更新時］：自宅周辺 80km（細街路は 10km）四方、目的地周辺 10km 四方
指定エリア配信を通信で更新する場合、事前に自宅登録もしくは目的地設定が必要です。
［パソコンで更新時］：選択した都道府県

知識

●施設の情報は、マップオンデマンドで更新されません。ただし、一部の施設マーク（コンビニエンスストア、ガソリンスタンド、ファミリーレストラン、ファーストフード店、駐車場）の表示は更新されます。

●マップオンデマンドでは、一部更新されない音声案内データがありますので、交差点、目印などが更新された場合、固有の音声案内は出力されません。

■ **地図更新のステップ**

更新データのナビゲーションへのダウンロード（またはコピー）後、地図の更新が完了するまで 2 つのステップがあります。

● 地図の更新準備

地図データを書き換えるための準備を行います。

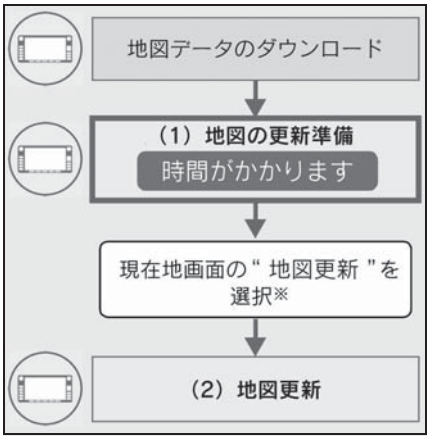
ご利用の地図データや更新頻度により異なりますが、更新データが多い場合、数時間かかることがあります。自動更新以外でご利用の場合、定期的に更新することをお勧めします。

● 地図更新

本機の地図データを書き換える処理です。

更新準備が完了後、現在地画面の “地図更新” を選択した後、20 ～ 30 秒程度で完了します。ただし、更新データが多い場合は数分程度かかることがあります。

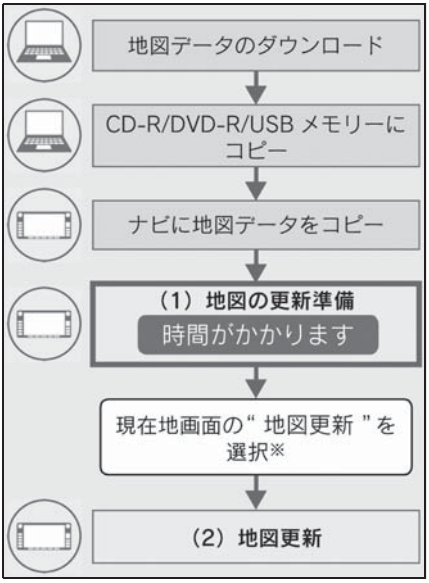
▶ 通信で更新する



※ “地図更新” を選択しなかった場合、次回エンジンスイッチ <パワースイッチ> をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード> 時に地図更新を行います。

▶ パソコン経由で更新する

● CD-R/DVD-R/USB メモリーを使用する場合



※ “地図更新” を選択しなかった場合、次回エンジンスイッチ <パワースイッチ>をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード> 時に地図更新を行います。

知識

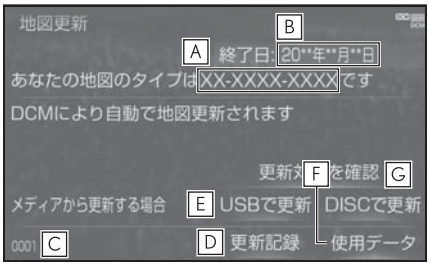
●「地図の更新準備」および「地図更新」中にオーディオなどの操作を行った場合は、さらに時間がかかることがあります。

■ 地図更新画面の使い方

地図更新に関する情報の確認や操作は、地図更新画面から行います。

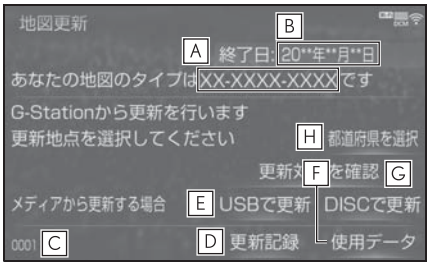
1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。
2 “設定・編集” を選択。
3 サブメニューの “ナビ” を選択。
4 “地図更新” を選択。

▶ 通信モジュール（DCM）・Wi-Fi®（au Wi-Fi® 以外）利用時



A 地図のタイプを表示する。
B 更新サービス終了日を表示する。
C ナビバージョンを表示する。
D 最新の更新日を確認する。
E USB メモリーで更新する。
F 使用データ画面を表示する。
・本機に収録されているデータベースなどの情報を確認できます。
G CD-R/DVD-R で更新する。

▶ G-Station（au Wi-Fi®）利用時



A 地図のタイプを表示する。
B 更新サービス終了日を表示する。
C ナビバージョンを表示する。
D 最新の更新日を確認する。
E USB メモリーで更新する。
F 使用データ画面を表示する。
・本機に収録されているデータベースな

どの情報を確認できます。

G CD-R/DVD-R で更新する。

H 更新する都道府県を選択する。

知識

●G-Station で更新する場合、Wi-Fi® 設定をしてください。(→P.49)

地図を更新する

■ 通信モジュール（DCM）・Wi-Fi®（au Wi-Fi® 以外）で更新する

差分データがあると自動でダウンロードし、更新準備まで行います。

1 G-Link センターに接続し、差分データがあると、データがダウンロードされる。

● 更新準備が完了すると、音声案内が出力されます。

2 現在地画面の “ 地図更新 ” を選択。

3 地図が更新される。

● 地図更新中画面が表示されている間は、ナビの操作はできません。

■ G-Station（au Wi-Fi®）で更新する

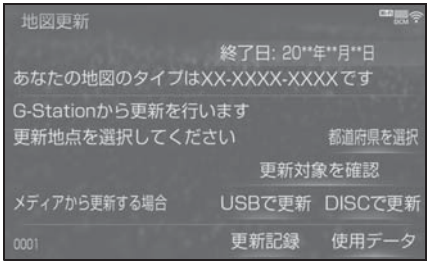
1 リモートタッチの “MENU” ボタンを押す。

2 “ 設定・編集 ” を選択。

3 サブメニューの “ナビ” を選択。

4 “ 地図更新 ” を選択。

5 “ 都道府県を選択 ” を選択。



6 都道府県を選択。

● 更新する都道府県を選択し、 “ 開始 ” を選択。(選択できる都道府県は最大 3 つです。)

7 データがダウンロードされ、地図更新の準備をする。

● 更新準備が完了すると、音声案内が出力されます。

8 現在地画面の “ 地図更新 ” を選択。

9 地図が更新される。

知識

●地図更新中画面が表示されている間は、ナビゲーションの操作はできません。

●地図のダウンロードに 20 分以上かかる場合があります。

●ダウンロードが完了すると、G-Station エリアから離れることができます。

■ パソコン（USB メモリー）で更新する

▶ 地図データを用意する

1 レクサスオーナーズサイト (http://lexus.g-book.com/) にログイン後、マップオンデマンドを選択する。

2 マップオンデマンドのダウンロードサイトからデータをダウンロードする。

3 データを USB メモリーにコピーする。

注意

●ダウンロードした地図データのファイル名および拡張子を変更しないでください。

●地図データの入っているフォルダ（diff）には、地図データ以外の情報を入れないでください。

▶ 地図を更新する

1 本機に USB メモリーを接続する。（→P.187）

2 更新する都道府県を 3 つまで選択し、“開始” を選択。

● 地図が最新状態の場合は、メッセージが表示されます。

3 データがコピーされる。

4 地図更新の準備をする。

● 更新準備が完了すると、音声案内が出力されます。

5 現在地画面の “地図更新” を選択。

6 地図が更新される。

知識

●地図更新情報画面が表示されている間は、ナビゲーションの操作はできません。

●詳しい操作方法は、マップオンデマンドのダウンロードサイトの「使い方ガイド」にてご確認ください。

●USB メモリー内のファイルが極端に多い場合、地図データの認識に時間がかかることがあります。

●コピーが完了したら、USB メモリーを取りはずすことができます。

■ パソコン（CD-R/DVD-R）で更新する

1 レクサスオーナーズサイト（http://lexus.g-book.com/）にログイン後、マップオンデマンドを選択する。

2 マップオンデマンドのダウンロードサイトからデータをダウンロードする。

3 データを CD-R/DVD-R にコピーする。

注意

●CD-R/DVD-R には地図データ以外の情報を入れないでください。

●ダウンロードした地図データのファイル名および拡張子を変更しないでください。
変更すると地図更新できません。

▶ 地図を更新する

1 回の更新で 3 都道府県まで更新できます。

1 CD-R/DVD-R を本機に挿入する。

2 CD-R/DVD-R に差分データがある場合は、“開始” を選択。

● 更新する都道府県を 3 つまで選択し、“開始” を選択。

● 地図が最新状態の場合は、メッセージが表示されます。

3 データがコピーされ、地図更新の準備をする。

● 更新準備が完了すると、音声案内が出力されます。

4 現在地画面の “地図更新” を選択。

5 地図が更新される。

■ 地図更新 DVD を注文する（有料）

地図更新 DVD は、レクサスオーナーズデスク（→P.471）に電話で注文して購入することも可能です。

G-Link 契約のないお客様につきましては、マップオンデマンド・サポートデスクへ注文してください。

その際、以下の情報が必要になりますので、確認しておいてください。

- 車種名
- サービス終了日※
- 地図のタイプ※
- ナビバージョン※

※地図更新画面で確認できます。（→P.464）

マップオンデマンド・サポートデスク

0561－57－6814

受付時間 9：00 ～ 18：00
（年中無休）

故障とお考えになる前に

症状	考えられること	処置
地図更新画面の終了日が「＊」になっている。	サービス有効期間の設定前であるためです。	サービス有効期間は自動で設定されます。 サービス有効期間設定前でも地図の更新は可能です。
いつまでたっても地図データが更新される気配がない。	通信で更新する場合、通信状態によってはダウンロードが中断することがあります。	しばらくしてから、通信状態が良好な場所で再度確認してください。
	お客様がお住まいの地域で実際に道路更新がなかった。	レクサス販売店で点検を受けてください。
	ダウンロード中、コピー中、または更新準備中である。	リモートタッチの “MAP” ボタン → “設定・編集” → サブメニューの “ナビ” → “地図更新” の順に選択し、表示された画面で状態を確認してください。
USB メモリーでの地図更新時、データ認識に時間がかかる。	USB メモリーの空き容量が不足している。	USB メモリーの空き容量を増やしてから更新を行うようにしてください。

ハイブリッドナビ

ハイブリッドナビは、車載ナビによるルート探索と、G-Link センターから配信される最適なルート探索を合わせた、通信型ルート案内サービスです。

- G-Link センターで、プローブコミュニケーション交通情報に基づく「現在地周辺の交通情報」および「高速道路・一般道路の渋滞予測情報」を考慮した最適なルートを探索し、車載ナビに配信します。
- ルート案内の際、G-Link センターの最新地図を取得して表示します。
- ルート案内中もG-Linkセンターで約 5 分毎に最適ルート探索を行い、より短時間で目的地に到着できるルートがあれば、新しいルートを提案します。
- 通信環境が悪く、G-Link センターと通信できないエリアでは車載ナビでルート探索を行い、通信環境の良いエリアに入ると、自動的に G-Link センターと通信を開始してハイブリッドナビによるルート探索を行います。

知識

- 目的地をセットすると、自動的に G-Link センターでルート探索を行います。G-Link センターから配信されるルートには が表示されます。
- G-Link センターでルート探索を行った場合、ルート学習の設定（→P.158）を「する」にしてもルートを学習をすることができません。

拡張ルート探索

ハイブリッドナビの機能の一つとして、5 つのパターン（推奨、有料優先、一般優先、距離優先、別ルート）から希望のルートを選ぶ 5 ルート探索（→P.124）の他に、G-Link センターから配信される、お客様のニーズに応じた様々なルート探索パターンを選択することができます。

1 ルート探索終了後に表示される全ルート図表示画面で“拡張ルート” を選択。

2 希望のルートを選択する。

- 新しいルート探索パターンは順次配信されます。

ハイブリッドナビの利用について

■ **利用条件**

G-Link 利用契約の有効期間であることと、マップオンデマンドのサービス利用期間（→P.460）であることが必要です。

■ **ナビ初度登録から 3 年間の利用について**

ハイブリッドナビのサービスが無料

でご利用いただけます。

■ **ナビ初度登録から 4 年目以降の利用についての注意事項**

▶ G-Link　利用契約の有効期間であり、最新版地図ソフトを購入しなかった場合

G ルート探索（プローブ情報付）がご利用いただけます。（→P.469）

G ルート探索（プローブ情報付）を利用する

G-Link センターから、プローブコミュニケーション交通情報に基づく「現在地周辺の交通情報」および「高速道路・一般道路の渋滞予測情報」を、広域の渋滞予測情報として提供します。この情報をもとに、目的地までの最適なルートを探索し、ご案内します。

ナビ初度登録から 4 年目以降、G-Link 利用契約の有効期間中、最新版地図ソフトを購入しなかった場合にご利用いただけます。

知識

- レクサスオーナーズデスクにナビの目的地設定を依頼すると、G ルート探索による最適なルート案内を行います。
- 渋滞予測は、突発で起こる事象（事故など）および規制などは予測しておりません。
- G ルート探索をしても、ルートが変わらないことがあります。

G ルート探索（プローブ情報付）

■ **目的地設定時に手動で取得する**

目的地設定後に表示される全ルート図表示画面から、G ルート探索することができます。

1 ルート探索終了後に表示される全ルート図表示画面で“Gルート”を選択。

● G-Link センターに接続し、G ルート探索を行います。

● 通常のルート探索をしたルートに戻すときは、“元ルート”を選択。

知識

●Gルート探索後にIC指定や探索条件変更などを行うと、広域の渋滞予測情報は破棄されます。

●新たなルートが探索されたとき、渋滞を考慮したルートが表示されます。

●Gルート探索で取得した情報が本機に保存されていれば、“元ルート”を選択したあとに“Gルート”を選択しても、G-Link センターに接続されません。

■ ルート案内中に手動で取得する

ルート案内中に手動で、G ルート探索することができます。

1 現在地画面表示中、“再探索”を選択。

2 “G ルート探索”を選択。

● G-Link センターに接続し、G ルート探索を行います。

● G ルート探索情報の取得を中止するときは、“取得中止”を選択。

● 新たなルートが探索されたとき、渋滞を考慮したルートが表示されます。

■ G ルート探索を自動で取得する

プローブ交通情報を自動取得に設定すると、次のタイミングで自動的に G ルート情報を取得できます。

● ルート案内開始時と、案内開始以降約 20 分ごと

● JCT 手前や高速道路に乗る手前

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。

2 “設定・編集”を選択。

3 サブメニューの“ナビ”を選択。

4 “ナビ詳細設定”を選択。

5 “ルート系設定”を選択。

6 “プローブ交通情報自動取得”を選択し、“する”に設定する。

● 解除するときは、“しない”に設定する。

知識

●ハイブリッドナビ（→P.468）利用期間中は、ハイブリッドナビでのルート取得が優先されます。

レクサスオーナーズデスクを利用する

レクサスオーナー専用のコールセンターです。フリーダイヤルにお電話していただくと、レクサスケアコミュニケーター（レクサス専用オペレーター）が 24 時間 365 日さまざまなご要望にお答えします。

詳しいサービス内容については、http://lexus.jp/のトータルケアをご覧ください。

レクサスオーナーズデスクについて

知識

- 本機の時刻データが更新されていないと、レクサスオーナーズデスクを利用できません。この場合は、GPS 信号が受信できる場所に車を移動し、リモートタッチの “MAP” ボタンを押して地図画面上に GPS マークが表示されることを確認した後、再度試してみてください。
- ヘルプネットの緊急通報中または保守点検中は、レクサスオーナーズデスクを利用できません。
- レクサスオーナーズデスク接続中は、ヘルプネットおよびセキュリティ、一部のサービス※以外のデータ通信を必要とするサービスは使用できません。これらのサービスを使用するときは、レクサスオーナーズデスク接続を終了してからご使用ください。

※ G-BOOK Viewer 起動、ハイブリッドナビ（センタールートのみ）、渋滞予測情報

- G-Link 利用契約を解除した場合、レクサスオーナーズデスクのサービスが一部利用できません。
- お問い合わせ内容により、ご希望に沿えない場合があります。

■ 本機からレクサスオーナーズデスクへ接続する

レクサスオーナーズデスクは、ハンズフリー電話の設定不要で簡単に発信ができます。（通話料無料）

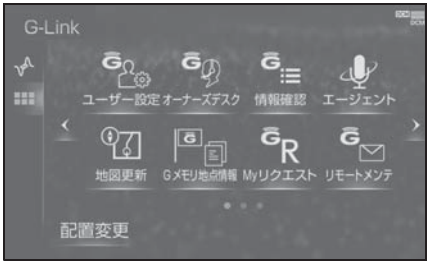
- レクサスオーナーズデスクへの発信のみ可能です。
  着信やレクサスオーナーズデスク以外への発信はできません。※

※ 本機でレクサスオーナーズデスクからの着信や任意の番号への電話をご利用になるには、「自動車専用ハンズフリー電話」のオプション契約の申し込みが必要です。

レクサスオーナーズデスクを使う

車内よりハンズフリーを利用する場合の使用例を紹介します。

1. リモートタッチの “MENU” ボタンを押す。
2. “G-Link” を選択。
3. “ オーナーズデスク ” を選択。



4 レクサスオーナーズデスクに接続する。

● 中止するときは、“中止” を選択。

5 レクサスケアコミュニケーターと通話する。

● 「ナビの目的地設定」、「レストランや駐車場などの周辺情報の検索」や「ニュースの配信」など、利用したい内容をレクサスケアコミュニケーターにお伝えください。

● レクサスケアコミュニケーターが調べた情報を通話中に表示することが可能です。※

※ 停車中にご利用ください。

6 画面の指示にしたがって操作する。

携帯電話・固定電話から利用する

いつもご利用の携帯電話、自宅やオフィスの電話からも利用できます。

1 レクサスオーナーズデスクに電話をかける。

2 利用したい内容を伝える。

● ドライブサポート

● トラブルサポート

3 本機を使用して、手動で受信する。

● 携帯電話や固定電話から利用すると、次回エンジンスイッチ ＜パワースイッチ＞をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード ＜ ON モード＞にしたときに、情報の受信をお知らせするメッセージが本機に表示されます。画面の指示にしたがって、操作してください。
表示されない場合は、手動で情報を取得してください。（→P.472）

知識

●「周辺情報の検索」や「ニュースの配信」などを利用した場合、G-Link センターから情報を取得すると、メッセージが表示されます。

●ご利用の際は、お申し込み時にサポートアドレスとして登録した番号から、発信者番号通知でかけていただくと、スムーズにご利用いただけます。

●次の場合、レクサスケアコミュニケーターがご本人であることを確認させていただくことがあります。
・ G-Link 利用契約を解除した場合
・ ご利用の携帯電話や固定電話が、番号非通知設定になっている場合
・ ご利用の携帯電話や固定電話が、サポートアドレスに登録されていない場合

手動で情報を取得する

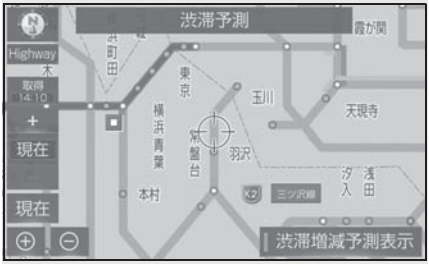
自動で情報が取得されない場合は、次の手順で取得してください。

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。
2 “G-Link” を選択。
3 “ 情報確認 ” を選択。
4 メッセージが表示されたら、“ はい ” を選択。

● メッセージが表示されないときは、“ 受信一覧 ” を選択。
● 過去に依頼した情報が表示されます。

渋滞予測を表示する

G-Linkセンターから渋滞予測情報を取得し、その情報を表示するサービスです。
高速路線マップで表示された道路の現在地周辺とルート上に、渋滞の増減を示すアイコン（渋滞増減予測のアイコン）を表示します。また、ルートが設定されているときは、ルート上の渋滞予測情報を読み上げることもできます。
今後の旅行の計画を立てるときに利用すると便利です。



渋滞予測の表示について

渋滞予測情報は現在地周辺を基準として提供され、「渋滞」および「混雑」について、旅行時間データが提供されている路線のみ表示します。

表示	名称	内容
（赤色）	渋滞	渋滞の区間を示しています。
（橙色）	混雑	混雑の区間を示しています。

表示	名称	内容
（黒色）	通行止め区間	通行止めの区間を示しています。
（灰色）	不明区間	交通情報が配信されていない区間を示しています。

※ 渋滞予測は、突発で起こる事象（事故など）および規制などは予測しておりません。
なお、「通行止め」は現在の状況が継続するとして扱っております。
交通情報提供区間の距離が短い場合は、矢じりを表示しません。

渋滞予測情報を提供する路線について

- 都市間高速道路
- 都市高速道路
- 主な有料道路
- 一部の一般道路

・ 松永道路、名阪国道、姫路西バイパス、姫路バイパス、保土ヶ谷バイパス、加古川バイパス、米子バイパスなど

※ 情報提供路線は随時更新されます。

■ 渋滞予測情報を表示する

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。

2 “情報”を選択。

3 サブメニューの“高速渋滞予測”を選択。

4 G-Link センターに接続し、渋滞予測情報を取得する。

- 情報の表示および読み上げを行います。
- 中止するときは、“中止”を選択。

知識

- 渋滞予測情報の読み上げは、ブラウザの自動読上げ設定（→P.429）に関係なく、常に読み上げられます。
- 以前に取得した渋滞予測情報が本機に保存されているときは、G-Link センターに接続しないことがあります。
- 極端に遠い距離の渋滞予測情報（到着予想時刻を含む）は、表示されないことがあります。
- 新規開通道路については、VICS情報の配信状況により正しく表示されないことがあります。

■ 渋滞予測時間を変更する

渋滞予測情報は、現在の渋滞状況以外に、一定の時間単位で時間を進めて、今後の渋滞予測を表示させることができます。

1 次のいずれかを選択。

- ＋：渋滞予測時間を進める
- －：渋滞予測時間を戻す

● “ 現在 ”：現在の渋滞状況を表示する

知識

●G-Link センターから提供される渋滞予測情報は、現在については現在の交通状況が提供され、未来については予測した情報が提供されます。

●その時間の渋滞予測情報を取得していない場合のみ、G-Link センターに接続して渋滞予測情報を取得します。

■ 渋滞増減予測を表示する

渋滞予測画面の地図上に、渋滞増減予測のアイコンを表示させることができます。

また、ルート上の読み上げ情報があるアイコンの場合は、渋滞情報を音声で読み上げることができます。

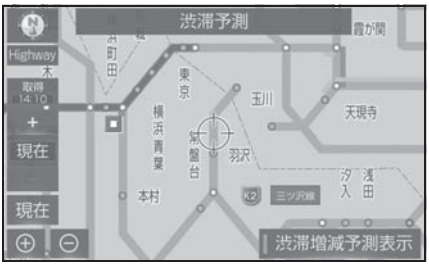
渋滞増減予測アイコンの ON（表示する）／ OFF（表示しない）を選択できます。

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。

2 “ 情報 ” を選択。

3 サブメニューの “ 高速渋滞予測 ” を選択。

4 “ 渋滞増減予測表示 ” を選択。



● アイコン表示が ON のときは、作動表示灯が点灯します。

● アイコンを表示しないときは、再度 “ 渋滞増減予測表示 ” を選択。

5 読み上げ情報があるアイコンの場合は、地図上に表示されたアイコンを選択。

● 渋滞情報を読み上げます。

アイコン	内 容
＋	表示している時間後に、渋滞が増加傾向であることを表します。
－	表示している時間後に、渋滞が減少傾向であることを表します。
■	表示している時間後に、渋滞が変化しないことを表します。

知識

●渋滞増減予測のアイコンは、地図の縮尺によっては、表示されないものもあります。

●渋滞増減予測のアイコンは、ルートが設定されている場合は、ルート沿いの情報を提供します。また、ルートが設定されていない場合は、現在地周辺の情報を提供します。

■ 渋滞予測地図の縮尺を切り替える

渋滞予測画面の地図は、通常の地図と同様に地図の縮尺を切り替えることができます。

1 ⊕ または ⊖ を選択または リモートタッチのタッチパッドでピンチイン / ピンチアウト操作をする。

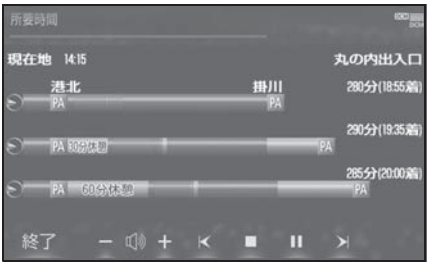
● ルートが設定されているときは、もっとも詳細な縮尺に切り替えると、地図上に IC 毎の到着予想時刻が表示されます。

・ もっとも詳細な縮尺で表示される到着予想時刻は、3 時間先以降は到着予想時刻設定（→P.155）で設定した車速から計算されます。そのため、渋滞予測情報から計算される到着予想時刻にくらべると、誤差が広がることがあります。

■ 区間所要時間予測を表示する

高速道路を通るルートが設定されているとき、休憩した場合の所要時間予測を行います。

ルート上の渋滞変化を予測し、高精度の到着予測時間をサービスします。



1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。

2 “情報”を選択。

3 サブメニューの“高速渋滞予測”を選択。

4 “所要時間”を選択。

● G-Link センターに接続し、区間所要時間予測情報を取得すると、ブラウザ画面で区間所要時間予測が表示されると同時に読み上げが行われます。

5 区間所要時間予測表示を解除するときは、“終了” または ⮌ 選択。

知識

● 出口ICまでの距離が遠い場合は、出口ICまで表示されないことがあります。

● 渋滞予測画面で表示される到着予想時刻と区間所要時間予測表示で表示される内容は、それぞれ独自で処理するため異なる表示をすることがあります。

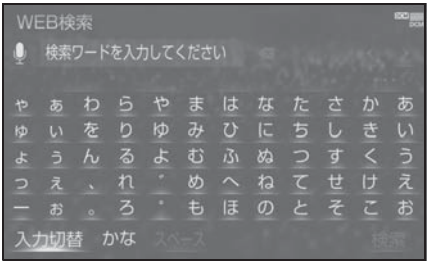
● 新規開通道路については、VICS情報の配信状況により正しく表示されないことがあります。

WEB で目的地を検索する

インターネットの検索エンジンを使用して施設を検索し、目的地に設定することができます。

WEB 検索の使い方

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。
2 “目的地”を選択。
3 “WEB”を選択。
4 ソフトウェアキーボードを使用してキーワードを入力し、“検索”を選択。



● 施設名や住所、郵便番号、電話番号などのフリーワードで検索することができます。

● 検索文字の一部を入力すると、候補となる施設や場所がサイド画面に表示されます。

● スペースを空けて複数の検索ワードを入力すると、候補となる施設や場所を絞り込んで検索することができます。(例：東京　名所)

● を選択すると音声認識で文字を入力することができます。

・音声認識での文字入力は走行中でも使用することができます。

● ソフトウェアキーボードの使用方法は、「文字・数字の入力のしかた」（→P.31）をご覧ください。

5 検索結果リストから希望の目的地を選択。

● を選択すると、施設情報を表示することができます。

● リモートタッチの　ボタンを押し、エリアまたはジャンルを指定することにより、目的地を絞り込むことができます。（→P.110）

6 “目的地セット”を選択。

知識

● 検索条件によっては、検索結果が取得できない場合があります。

● 検索エンジンからの取得結果によっては、実際の位置と異なる場所が表示される場合があります。

エージェントを利用する

エージェント（音声対話サービス）を使用することにより、目的地設定の操作や、天気予報などの情報を音声とテキスト表示でご案内します。

エージェント画面を操作して、電話をかけたり施設情報を見ることができます。

エージェントについて

主なサービスと機能概要
日常会話： エージェントとの日常会話を行う。 発話例：「おはよう」
ニュース： 提携コンテンツから取得したニュースのテキスト表示・読み上げをする。 発話例：「スポーツニュースは？」
天気予報： 提携コンテンツから取得した天気予報のテキスト表示・読み上げをする。 発話例：「横浜の天気は？」
目的地検索： 提携コンテンツで検索した施設を目的地に設定したり、施設情報の確認、施設への電話発信やＧメモリ地点への登録をする。 発話例：「名古屋駅周辺のイタリアン」
閲覧履歴： 閲覧履歴を表示し、履歴から目的地を選択したり履歴の編集（削除）ができる。 発話例：「閲覧履歴」
レクサスオーナーズデスク： レクサスオーナーズデスクに接続し、レクサスコミュニケーターによる情報検索やナビ設定ができる。 発話例：「オーナーズデスク」
交通情報： 提携コンテンツから取得した交通情報（渋滞情報）のテキスト表示・読み上げする。 発話例：「この辺の渋滞情報を教えて」
自宅に帰る： 自宅が登録されている場合、自宅に目的地を設定する。 発話例：「自宅に帰りたい」

※ サービス内容は順次変更されます。

知識

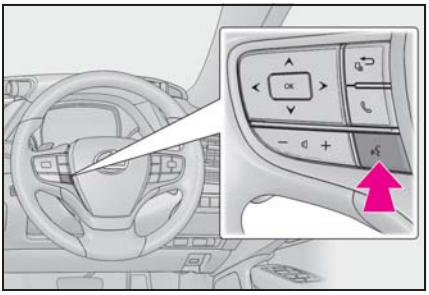
- 話しかける際は、大きめな声でゆっくり、はっきりとお話ください。
- エアコンの風量が強いと認識しづらい場合があります。
- 認識しづらい場合は条件を2回に分けるなど、短い文章でお話ください。
  例）「駐車場付きの名古屋のレストラン」
  ・発話 1 回目：「名古屋のレストラン」→名古屋のレストランを検索
  ・発話 2 回目：「駐車場付き」→駐車場付きの名古屋のレストランを検索
- 音声受付中に「ポーズ」と発話すると、音声受付状態を一旦停止します。ステアリングスイッチのトークスイッチを押すことで、再度音声受付状態になります。

エージェントを開始する

基本的な操作の流れを見ながら、エージェントを開始する方法と、音声対話中の基本操作を覚えましょう。以下

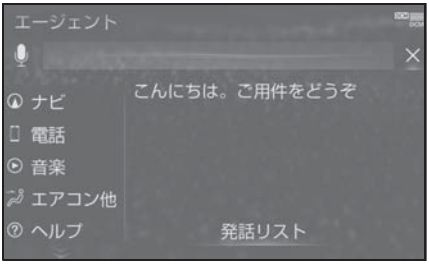
は、目的地設定の例です。

1 ステアリングスイッチのトークスイッチを押す。



● G-Link 画面（→P.426）の “ エージェント” を選択してもエージェントを開始することができます。

2 マイクアイコンが になったら、発声する。

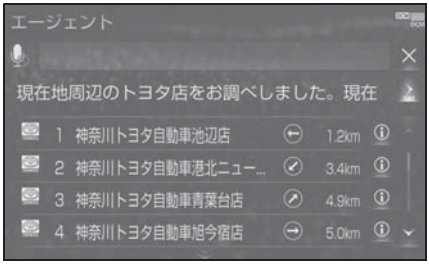


● ＜ピッ＞と音がしてから約 5 秒以内に発声してください。

● 発声後、1 つ前のエージェント画面に戻りたいときは、「戻る」と発声します。

3 画面の案内に従って、発声する。

4 リストが表示された場合は、目的の番号（「○番目」）を発声する。



● 音声が認識されると、音声ガイドが出力され、実行されます。

● リストを選択して操作することもできます。

●「○番目を目的地セット」と続けて発声すると、目的地の設定まで完了させることができます。

5 地図が表示された後、「目的地セット」と発声する、または “ 目的地セット ” を選択。

● ルート案内が開始されます。

● リストを選択して操作することもできます。

● “ 施設情報 ” を選択すると、検索地点の情報を確認することができます。

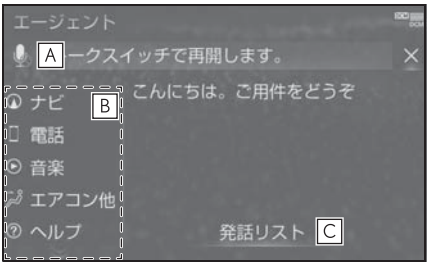
● 情報画面表示後、「地図」と発声する、または “ 周辺施設地図 ” を選択すると、地図画面が表示されます。

知識

●エージェント開始から終了までの間は、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。

エージェント画面の使い方

■ エージェント画面



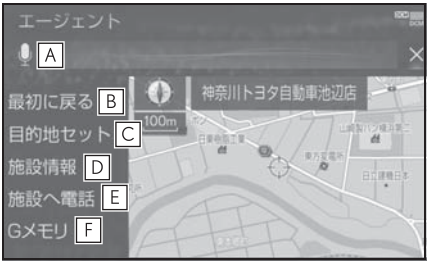
A ユーザーの発話受付開始を表示する。

・音声受付中はアイコンが に変化します。

B 発話または選択するとガイドメニュー画面が表示される。（→P.346）

C 発話または選択すると発話リストが表示される。（→P.346）

■ 地図表示中のエージェント画面



A ユーザーの発話受付開始を表示する。

・音声受付中はアイコンが に変化します。

B エージェント操作開始画面に戻る。

C 検索した地点を目的地に設定する。

D 検索した地点の施設情報を表示する。

・呼び出した地図の地点により、表示される画面が異なります。

・施設によっては、内容が表示されない施設もあります。

E 検索した地点（施設）に電話をかける。

F 検索した地点をＧメモリに登録する。

音声対話を一旦停止する

音声受付中、次のいずれかの操作で音声対話を一旦停止します。

●「ポーズ」と発声する。

●“ポーズ”を選択。

閲覧履歴を表示する

閲覧履歴を表示し、履歴から目的地を選択したり履歴の編集（削除）をすることができます。
次のいずれかの操作で閲覧履歴を表示します。

●「閲覧履歴」と発声する。

●“閲覧履歴”を選択。

最初に戻る

次のいずれかの操作をします。

●「最初に戻る」と発声する。

●“最初に戻る”を選択。

音声ガイドを省略する

音声ガイド出力時にステアリングスイッチのトークスイッチを押すと、音声ガイドが途中でも次の動作に移ることができます。

音声対話を中断する

次のような場合は、音声対話を中断します。

- 通信中、または認識中にステアリングスイッチのトークスイッチを押す。
- 音声を 3 回連続で認識できなかったとき。

音声対話を再開する場合は次の操作をします。

- ステアリングスイッチのトークスイッチを押す。

エージェントを終了する

次のいずれかの操作でエージェントを終了します。

- ステアリングスイッチのトークスイッチを押し続ける。
- ✕ を選択。
- 「中止」と発声する。

知識

- 次の条件でもエージェントは終了します。
  - ・エージェントの検索結果を実行したとき（目的地設定画面に移行したときなど）
  - ・ハンズフリーの着信が入ったとき

Lexus Apps を使用する

Lexus Apps は多彩なアプリを本機にダウンロードし、ご利用いただけるサービスです。

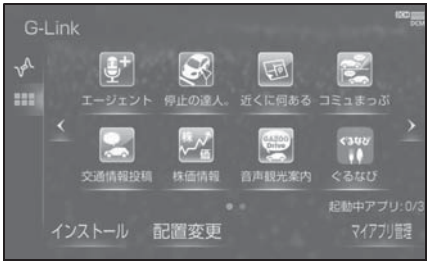
Lexus Apps を利用するには、G-Link の契約が必要です。レクサス販売店へお問い合わせください。

有料アプリのご利用にはレクサス販売店で次の手続きが必要です。

クレジットカード情報の登録やアプリの詳細については、http://lexus.jp/ のレクサスオーナーズG-Linkサイトをご覧ください。

アプリを購入する

1. リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。
2. “G-Link” を選択。
3. “Apps” を選択。
4. “インストール” を選択。



5. アプリを選択し、サービス内容・価格を確認して、“購入”を選択。
6. レクサスオーナーズカード ID、パスワードを入力する。
7. “完了” を選択。

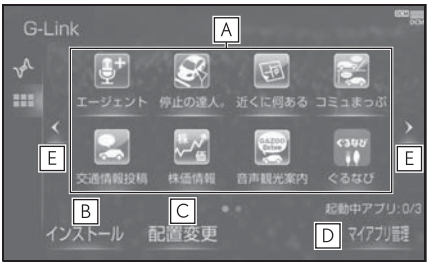
8 規約を確認後、“同意する”を選択。

9 “はい”を選択。

知識

- 走行中はアプリの購入ができません。安全な場所に車を停止させて実施ください。
- アプリの購入履歴は、http://lexus.jp/ のレクサスオーナーズ G-Link サイトより確認ができます。

Apps 画面の使い方



A 選択すると該当のアプリを起動する、または起動中のアプリを長押しすることで該当のアプリを停止する。

B インストール画面を表示する。

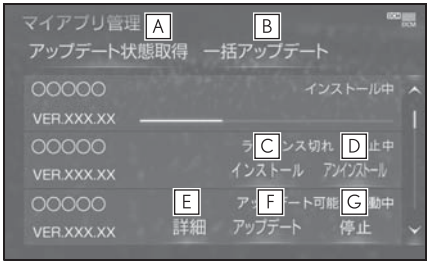
C 配置変更画面を表示する。

D インストールした各アプリの動作やアップデート等の詳細を確認する。

E ページを切り替える。

・9 個以上のアプリがインストールされている場合、ページ切替ボタンが表示されます。

■ マイアプリ画面



A 最新のアップデート状態を取得する。

B アップデートができるアプリを一括でアップデートする。

C インストール

ライセンス切れやアプリ破損の際に、アプリを再インストールする。

D アプリをアンインストールする。

起動中のアプリをアンインストールする場合は、“停止”を選択後、アンインストールできます。

E インストール、アップデート失敗時の対処方法を表示する。

F アプリをアップデートする。

G 起動中のアプリを停止する。

知識

- アプリは同時に 3 つまで起動可能です。
- 音楽系のアプリを同時に2つ以上起動することはできません。

アプリの割込み表示について

次のような場合、地図画面上にアプリ画面が表示されます。

- 地図画面上の “Apps” を選択したとき

・カーソルを移動させると表示されます。

● アプリが自動で割込み表示をしたとき

1 現在地画面表示中に “Apps” を選択。

2 アプリ画面が表示されます。

● アプリ画面を非表示にするときは、» を選択。

● 割込み表示されたアプリを切り替えるときは、‹ または › を選択。

● “Apps” を選択しなくても、アプリ画面が自動で表示されることがあります。

● アプリ画面が自動で非表示になることがあります。

マイアプリ管理について

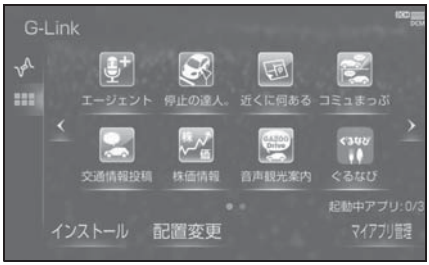
■ アプリをアップデートする

1 リモートタッチの “MENU” ボタンを押す。

2 “G-Link” を選択。

3 “Apps” を選択。

4 “ マイアプリ管理 ” を選択。



5 “ アップデート ” を選択。

● 複数のアプリをまとめてアップデートしたいときは、→ “ 一括アップデート ” を選択。

6 アップデート確認画面が表示される。

● ユーザ認証画面がでたときは、レクサスオーナーズカード ID、パスワードを入力し、“完了” を選択。

7 “ はい ” を選択。

Apps 設定を変更する

アプリのアップデート設定を変更することができます。

■ アプリのアップデート方法を設定する

1 リモートタッチの “MENU” ボタンを押す。

2 “ 設定・編集 ” を選択。

3 サブメニューの “G-Link” を選択。

4 “Apps 設定 ” を選択。

5 “ 自動アップデート確認 ” を選択。

● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

“ する ” ：アップデート可能なアプリが

あると、マイアプリ管理画面の対象アプリにアップデートスイッチが自動的に表示されます。

“しない”：マイアプリ管理画面の“アップデート状態取得”を選択すると、アップデート可能なアプリにアップデートスイッチが表示されます。

6 “はい”を選択。

CD タイトル情報取得

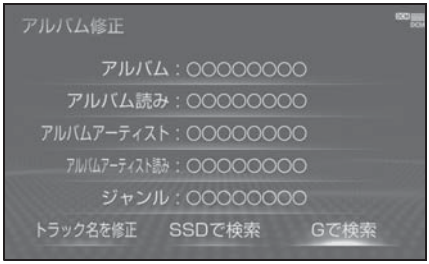
音楽 CD から音楽用 SD メモリーカードへ録音した楽曲のタイトル情報（アルバム名、アーティスト名、ジャンル名など）を、本機に収録されているデータベースから取得することができます。

ただし、新しい曲などはデータベースにタイトル情報がないものもあります。G-Link を利用すると、最新の CD タイトル情報を G-Link センター経由で Gracenote メディアデータベースから取得することができます。

データベースの検索については、「タイトル情報を再取得する」（→P.241）を参照ください。

タイトル情報を取得する

1 アルバム修正画面（→P.240）で、“G で検索”を選択。



2 表示された画面の指示にしたがって、希望のタイトルを選択・登録する。

知識

- 該当する CD タイトル情報が見つからなかった場合は、メッセージが表示されたあとにアルバム修正画面に戻ります。

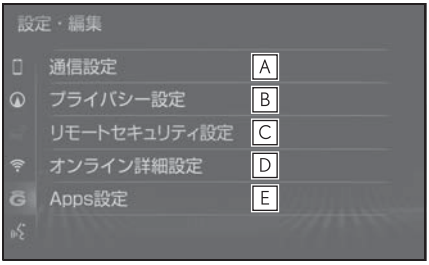
- ハンズフリー着信など、優先順位の高い機能の割り込みがあったときは、CD タイトル情報の取得を中止します。

G-Link 設定を変更する

設定・編集画面を表示する

G-Link を利用するときの各種設定は、設定・編集画面から行います。

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。
2 “設定・編集”を選択。
3 サブメニューの“G-Link”を選択。
4 各項目を設定する。



A 通信設定（→P.486）

B プライバシー設定（→P.486）

C リモートセキュリティ設定（→P.490）

D オンライン詳細設定（→P.489）

E Apps 設定（→P.483）

通信設定

通信に使用する機器を選択することができます。

通信接続機器を選択する

1 G-Link 設定画面を表示する：

● “MENU” ボタン → “設定･編集” → サブメニューの “G-Link” を順に選択。

2 “通信設定” を選択。
3 “通信接続機器” を選択。
4 通信に使用する機器を選択。

知識

● 本機がWi-Fi® 接続状態であっても、通信接続機器側が「Wi-Fi® 設定」になっていない場合、Wi-Fi® によるデータ通信は行われません。

● 次の項目は携帯電話毎に設定が保持されます。
・ 使用する携帯電話の設定
・ 通信接続時の確認

警告

● “完了” を選択して設定が終わるまでは、次のような操作をしないでください。
・ エンジンスイッチ <パワースイッチ> を OFF にする。
・ エンジン <ハイブリッドシステム> を始動しなおす。

プライバシー設定について

暗証番号などを変更することができます。

プライバシー設定を変更する

プライバシーに関する各種設定をすることができます。

1 G-Link 設定画面を表示する：

● “MENU” ボタン → “設定･編集” → サブメニューの “G-Link” を順に選択。

2 “プライバシー設定” を選択。
3 各項目を設定する。

● 通信ロックを使う。（→P.487）

- 暗証番号を変更する。（→P.488）
- 暗証番号を確認する。（→P.489）
- G-BOOK Viewer の閲覧履歴を削除する。
- G-BOOK Viewer のブックマークを削除する。

通信ロックを使う

通信ロックを使用すると、各機能の動作を下表のように制限することができます。

他人に車を貸す場合など、G-Link を触らせたくないときや、プライベートな情報を見せたくないときに使用してください。

○：利用できます

×：利用できません

機能		動作	
ヘルプネット		○	
マップオンデマンド（地図更新）		×	（Wi-Fi® テザリング対応機器または通信モジュール（DCM）で更新するとき）
G-BOOK.com		×	
閲覧履歴		×	
ブックマーク		×	
レクサスオーナーズデスク		×	
Lexus Apps		○	（通信を使用するアプリを除く）
レクサスアプリストア		×	
CD タイトル情報取得		×	
G-Link とナビの連携機能	WEB 検索	×	
	周辺情報	×	
	Harmonious Driving Navi.	○	（エコレベル、毎分燃費のみ）
	G ルート探索	×	（プローブコミュニケーション交通情報を含む）
	G メモリ地点情報	○	（保存済みデータのみ）
	G で設定	×	
	施設情報表示	×	

機能		動作	
リモートメンテナンスサービス	リモートメンテナンスメール	×	
	ウォーニング通知	○	（ウォーニング通知の送信のみ）
	e ケア（診断サービス）	○	（DCM による通話を除く）
	e ケア（ヘルスチェックレポート）	○	
	G- カスタマイズ	○	（画面表示を除く）

■ **ロックする**

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。
2 “設定・編集”を選択。
3 サブメニューの“G-Link”を選択。
4 “プライバシー設定”を選択。
5 “通信ロック”を選択。
6 “はい”を選択。

■ **解除する**

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。
2 “設定・編集”を選択。
3 サブメニューの“G-Link”を選択。
4 “プライバシー設定”を選択。
5 “通信ロック解除”を選択。
6 暗証番号を入力し、“完了”を選択。

● 間違えたときは、“修正”を選択。

知識

● 通信ロックを解除するときは、暗証番号が必要になります。暗証番号については、「暗証番号を変更する」をご覧ください。（→P.488）

暗証番号を変更する

暗証番号は、通信ロック（→P.487）したときに、ロックを解除するために入力が必要になります。通信ロックを使用するときは、まず暗証番号および暗証番号を忘れたときの質問とその回答を設定してください。

注意

● “完了”を選択して設定が終わるまでは、次のような操作をしないでください。
・エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を OFF にする。
・エンジン＜ハイブリッドシステム＞を始動しなおす。

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。
2 “設定・編集”を選択。
3 サブメニューの“G-Link”を選択。
4 “プライバシー設定”を選択。
5 “暗証番号変更”を選択。
6 現在の暗証番号を入力し、“完了”を選択。

● はじめて設定するときは、「0000」を入力する。

● 変更するときは、設定してある暗証番号を入力する。

● 間違えたときは、“修正” を選択。

● 暗証番号を忘れたときは、「暗証番号を忘れた場合」（→P.489）を参照ください。

7 新しく設定したい暗証番号を入力し、“完了” を選択。

8 新しい暗証番号の確認のため、再度新しく設定したい暗証番号を入力し、“完了” を選択。

9 “質問”、“回答” を選択して、それぞれ入力する。

● ソフトウェアキーボードで入力する。

10 “完了” を選択。

知識

●暗証番号は 4 桁の数字です。初期設定は「0000」になっています。
暗証番号は、他人にわかりにくい番号にしておいてください。

●質問とその回答は、暗証番号を忘れた場合に暗証番号を表示するために設定します。（→P.489）質問とその回答は、お客様以外にわかりにくい内容にしておいてください。

■ 暗証番号を忘れた場合

1 リモートタッチの “MENU” ボタンを押す。

2 “設定・編集” を選択。

3 サブメニューの “G-Link” を選択。

4 “プライバシー設定” を選択。

5 “暗証番号を忘れた場合” を選択。

6 “回答” を選択。

7 回答を入力する。

● ソフトウェアキーボードで入力する。

8 “完了” を選択。

9 暗証番号を確認したら、“了解” を選択。

オンライン詳細設定について

サポートアドレスは、G-Security やレクサス緊急サポート24などのコンテンツ利用にあたって、お客様に連絡が必要になった場合の連絡先です。

G-Link 利用申込書に記入いただいた連絡先が、サポートアドレスとして登録されています。

連絡先に変更があった場合に変更してください。

また、G-Link 詳細設定では通信ロックの設定や、暗証番号の変更などができます。

サポートアドレスを確認・変更する

1 リモートタッチの “MENU” ボタンを押す。

2 “G-Link” を選択。

3 “ユーザー設定” を選択。

4 “サポートアドレスの登録・変更” を選択。

※ この画面に表示されていないときは “ユーザー設定” を選択し、ユーザーページにて操作してください。

5 G 暗証番号を入力。

● G 暗証番号が未設定の場合、オーナーズカード ID またはサービスカード ID とパスワードを入力し、G 暗証番号を設定してください。

6 表示される電話番号を確認した後、“メール”を選択。

● 電話番号を変更するときは、変更する電話番号を選択し、入力する。

7 メールアドレスを確認する。

● メールアドレスを変更するときは、変更するメールアドレスを選択し、入力する。

知識

●サポートアドレスの確認・変更は、パソコンや携帯電話の G-Link ユーザーサイト（http://lexus.g-book.com/）でも行うことができます。

●携帯電話で迷惑メールの拒否設定などをされている場合は、以下の発信元メールを受信できるようにご登録ください。
［登録する発信元メールアドレス］
g-book.info@03-003.mail.g-book.com

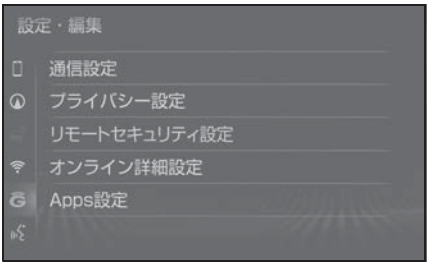
オンライン詳細設定を変更する

G-Link に関する各種設定をすることができます。

1 G-Link 設定画面を表示する：

● “MENU” ボタン → “設定･編集” → サブメニューの “G-Link” を順に選択。

2 “オンライン詳細設定”を選択。



3 各項目を設定する。

● 契約の解除手続き（→P.424）

● G-BOOK Viewer の自動読上げ（→P.429）

● 入力履歴の削除（→P.490）

入力履歴を削除する

1 “入力履歴削除”を選択。

● すべての履歴を削除するときは、“全削除”を選択してください。

2 “はい”を選択。

リモートセキュリティ設定

リモートイモビライザーの設定を確認する

リモートイモビライザー（→P.454）の設定は、設定・編集画面から確認できます。

● ご利用の際はレクサスオーナーズデスクにご連絡ください。（→P.471）

1 G-Link 設定画面を表示する：

● “MENU” ボタン → “設定･編集” → サブメニューの “G-Link” を順に選択。

2 “リモートセキュリティ設定”を選択。

● リモートイモビライザーが設定されている場合は、エンジン＜ハイブリッドシステム＞が始動できない旨の画面が表示されます。

● リモートイモビライザーが設定されていない場合は、リモートイモビライザーが利用できる旨の画面が表示されます。

契約内容・契約者情報の確認・変更

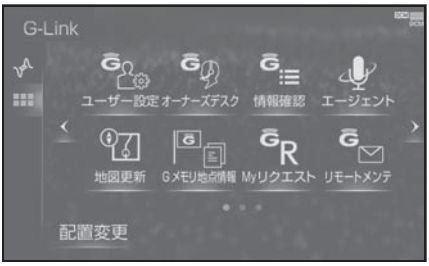
登録内容や契約者情報の確認・変更、G 暗証番号の変更などを行えます。

契約内容を確認・変更する

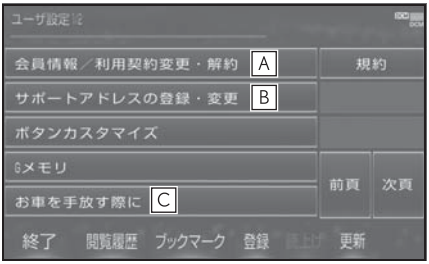
1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。

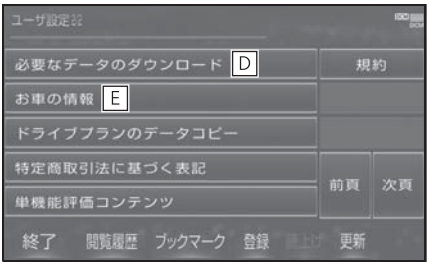
2 “G-Link” を選択。

3 “ユーザー設定” を選択。



4 各項目の設定・確認をする。





A 登録しているユーザーの情報や利用契約内容を確認･変更できます。

B サポートアドレス（電話番号やメールアドレス）の登録を追加・変更できます。

C 利用契約を解約することができます。

D 必要なデータのダウンロードができます。

E 車両登録番号の変更ができます。

こんなメッセージが表示されたときは

次のようなメッセージが表示されたときは、処置内容や画面の指示にしたがって操作してください。

故障とお考えになる前に

メッセージ	原因	処置
G-Link の利用手続きが必要です G-Link のオンラインから手続きできます	G-Link の利用手続きがされていない。	利用手続きを行ってください。（→P.423）
緊急通報中です このサービスはご利用できません	ヘルプネットの緊急通報中のため。	緊急通報が終了してから、ご利用ください。 ●誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて、通報を終了してください。
オペレーターと通話中です 終了してからご利用ください	レクサスオーナーズデスクを利用中のため。	レクサスオーナーズデスクが終了してからご利用ください。
電話機が使用中です 通話を終了してからご利用ください	ハンズフリー通話中のため。	通話を終了してからご利用ください。
通話中は操作できません		
これ以上登録できません 設定・編集の G-Link のプライバシー設定で削除してください	ブックマークの最大登録数を超過したため。	不要なブックマークを削除してください。（→P.486）
これ以上 G メモリ地点を登録できません 設定・編集のナビから不要な G メモリ地点情報を削除してください	G メモリ地点情報の最大保存数を超過したため。	不要な G メモリ地点情報を削除してください。（→P.146）

メッセージ	原因	処置
通信ロック中です ロックを解除してからご利用ください	通信ロックされている。	通信ロックを解除してください。 通信ロック解除のための暗証番号を忘れた場合は、プライバシー設定画面で暗証番号の“忘れた場合”を選択して確認してください。
回線が混みあっている等により表示できませんでした しばらく待ってから再度操作してください	サービスエリア圏外にいる。 ●認証に失敗した。 ●通信環境が悪い。 ●通信機器の接続状態に異常がある。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。
時刻データが古いため通信できません 移動して GPS を受信してください	GPS が受信できていない。	GPS が受信できる場所に移動してください。
回線が混雑しています しばらく待ってご利用ください	発信規制中である。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。
通話エリア外です 通話エリアに移動してご利用ください	サービスエリア圏外にいる。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。

メッセージ	原因	処置
回線が混みあっている等により情報を取得できませんでした しばらく待ってから再度操作してください	サービスエリア圏外にいる。 ●認証に失敗した。 ●通信環境が悪い。 ●通信機器の接続状態に異常がある。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。
e ケア・G- カスタマイズの契約を完了できませんでした再度エンジンをかけなおしてください	●電波状況や基地局が混雑している。 ●通信環境が悪い。	一度、エンジンスイッチ <パワースイッチ>を OFF にし、再度イグニッション ON モード < ON モード>にしてください。再度、e ケア・G- カスタマイズ契約の開始メッセージが表示されますので、画面の指示に従って、再度、e ケア・G- カスタマイズ利用手続きを行ってください。

ETC2.0 システム

9

9-1. ETC2.0 ユニット（VICS 機能付）

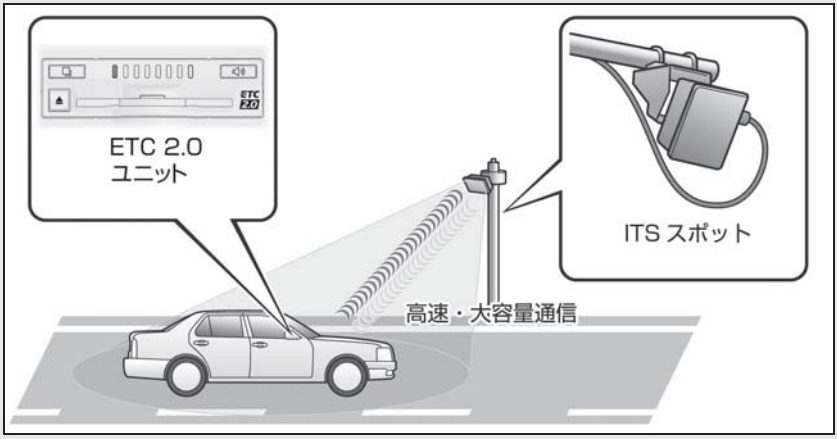
ETC2.0 サービスについて 496
ETC サービスについて 498
ETC2.0 ユニットの操作 502
ETC2.0 画面の操作 511
エラーコードについて 515

ETC2.0 サービスについて

高速道路を中心に設置された「ITS スポット」と車に搭載された「ETC2.0 ユニット」との間で双方向の高速・大容量通信を行うことにより、広域な道路交通情報や安全運転を支援する情報を、音声や画面への表示でリアルタイムに提供するサービスです。

● ITS スポット
DSRC 通信を利用し、ETC2.0 サービスが行われる場所を「ITS スポット」と呼びます。

● DSRC（Dedicated Short Range Communication：スポット通信）
これまで ETC に用いられてきた通信方式で、高速で大容量の情報を送受信することが可能です。



提供サービス

ETC2.0 サービスでは、次のサービスが提供されます。

提供サービス	主なサービス内容
ダイナミックルートガイダンス ●県境を越える広域な道路交通情報を利用して、ナビがリアルタイムに最適な走行ルートを提供します。	リアルタイムに最適な走行ルートを提供
道路交通情報 ●進行方向先の交通状況や、SA・PA の混雑状況、施設情報などを画面や音声で案内します。	前方状況情報提供（音声、図形表示、画像表示）（→P.93）
	施設情報提供（→P.93）
	ハイウェイラジオ情報読上げ（→P.93）
	ETC2.0 走行情報のアップリンク（→P.95）

提供サービス	主なサービス内容
安全運転支援情報 ●見通しの悪いカーブ先の渋滞などを、ITS スポットから受信して、音声と画面で案内します。	前方障害物情報提供（音声、図形表示）（→P.92）
ETC ●有料道路に設置されたアンテナと ETC2.0 ユニットが通信を行うことによって、自動で料金を精算するシステムです。	自動料金支払い機能（→P.498）

※ VICS サービス（FM 多重放送、光ビーコン）については、「VICS・交通情報を使う」（→P.87）を参照してください。

注意

●ETC2.0 ユニット（VICS 機能付）は、今後のシステム変更や上記以外のサービスに対応できない場合があります。また、ITS スポットから提供される通信データが予告なく停止しサービスが受けられない場合があります。あらかじめご了承ください。詳しくはレクサス販売店へお問い合わせください。

ETC サービスについて

ETC（Electronic Toll Collection）サービスは、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。
路側無線装置と車両の ETC2.0 ユニットとの間で通信を行い、料金はお客様が登録された ETC カードの引き落とし口座から後日引き落とされます。

ETC を利用する前に

ETC サービスを利用する際には、次の点に注意してください。

警告

- 安全のため、運転者は走行中に ETC カードの抜き差し、および ETC2.0 ユニットの操作を極力しないでください。
  走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。

注意

- その他、ETC2.0 ユニットを用いたサービス（スマート IC 等）には、様々な制約があります。
  サービスを運営する事業者が案内する利用方法をご確認ください。

■ ETC カードを挿入する前

注意

- ETC カードの有効期限切れにご注意ください。
  ETC カードの有効期限が切れていると、開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。お手持ちの ETC カードに記載された有効期限を、あらかじめ確認してください。
- ETC カード接点に汚れが付着していないか確認してください。
  ETC カード接点に手の脂や化粧品等の汚れが付着していると、ETC2.0 ユニット内部のカード接点に汚れが転写・堆積し、ETC2.0 ユニットで ETC カードを認証できなくなるため、エラーが発生したり、開閉バーが開かなくなるおそれがあります。
  このような現象が発生した場合は、ETC2.0ユニット内部のカード接点および ETC カード接点のクリーニングを実施してください。クリーニング方法については、クリーニングカードをご使用いただくか（→P.503）、レクサス販売店にお問い合わせください。

■ ETC カードを挿入した後

注意

- ETCを利用する際は、あらかじめETCカードが確実にETC2.0ユニットに挿入されていることと、ETC2.0 ユニットが正常に作動していることを確認してください。開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ETC2.0ユニットがETCカードを認証するまでには数秒かかりますので、料金所手前でETCカードを挿入すると、開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ 料金所を通過するときは

知識

●領収書はその場では発行されません。通行時、その場で証明が必要な場合は係員のいる車線（一般車線または混在車線）で一旦停止の上、ETC カードで料金清算し通常の利用明細書をもらってください。
現在、ETC で無線走行されたときの利用証明書を、インターネットによりお客様のプリンタから印刷できます。詳細は道路事業者にお問い合わせください。

●均一料金制の有料道路では、出口部に設置された路側無線装置（フリーフローシステム）との通信により料金が払い戻される場合があるため、出口通過まで ETC2.0 ユニットに ETC カードを挿入しておく必要があります。

注意

●ETC　車線に設置されている開閉バーは、ETC2.0 ユニットと路側無線装置の間の通信、あるいは ETC2.0 ユニットと ETC カードとの通信が正常に行われなかった場合は、開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●通行料金の請求を受ける料金所で、ETC 車線が閉鎖されている場合は、係員のいる車線（一般車線または混在車線）で ETC カードでの支払いが可能です。無理な車線変更は危険ですので、おやめください。

※ ETC 車線の機器の点検等により、ETC 車線を閉鎖している場合がありますのでご注意ください。

●ETC 車線の進入は、十分な車間距離をとり、約 20km/h 以下の安全な速度で進入してください。

●ETC 車線を通行するときは、前車との車間距離を保持した上で、開閉バーの手前で安全に停止できるように十分に減速し、開閉バーが開いたことを確認してから通行してください。

●ETC 車線で、開閉バーが開かない等の理由で停止された場合には、危険ですので絶対に車をバックさせないでください。バックすると後続車に追突される危険がありますし、バックして他の車線に入りなおすことはエラー発生の原因となります。また、後続車のエラーを誘発することとなり危険です。料金所での案内、または係員へ知らせた後、その案内にしたがってください。

●うっかりETCカードをETC2.0ユニットに挿入し忘れて ETC 車線を通過された場合などは、速やかに、当該道路を管理する道路事業者（高速道路会社など）に通行の状況を連絡してください。

●もし、入口料金所のETC車線で通信エラー等により、通行券を受け取られた場合には、出口料金所での料金のお支払いは、係員のいる車線（一般車線または混在車線）で、一旦停車して、ETC カードと通行券を係員にお渡しください。

●通行料金の請求を受ける料金所で異常が発生した場合は、料金所での案内、または係員へ知らせた後、その案内にしたがってください。

●入口料金所をETCで通行した場合で、出口料金所で ETC 車線がご利用できないとき、あるいは設置されていないときは、一旦停車して ETC カードを係員にお渡しください。

注意

●有料道路の利用開始から利用終了までは、同一の ETC カードを継続してご使用ください。
料金所以外にも ETC アンテナが設置されている箇所があり、ETC カードには走行中、通行料金の計算に必要な情報が記録されます。途中でカードを入れかえると正しく通行料金が計算されない場合があります。

■ スマート IC について

注意

●スマートICは、ETC専用インターチェンジです。
所定の方法で車両に取り付け・セットアップされた ETC2.0 ユニットに、有効なETCカードを確実に挿入し、ETCシステムをご利用可能な場合に通行することができます。

●運営時間、出入方向および対象車種等に制約がありますのでご注意ください。

●スマートICでは、車が停止した状態で通信のやりとりが行われ、開閉バーが開くシステムとなっておりますので、必ず開閉バーの手前で一旦停止してください。なお、一旦停止してもバーが開かない場合には、車線に設置されたインターホン等で係員を呼び、案内にしたがってください。

●通行止めなどが実施された場合や道路を管理するうえで必要な場合、やむを得ず、予告なく出入口が閉鎖されることがあります。この場合、最寄りのICをご利用ください。

■ 車載器管理番号について

注意

●車載器管理番号は、ETC の各種割引サービスを受ける場合、あるいは今後の新たなサービスを受けるにあたって必要な番号です。『セットアップ申込書・証明書（お客様保存用）』を大切に保管していただくとともに、車載器管理番号を別に記録し、保管するようにしてください。

車載器管理番号シールを貼って大切に保管してください。

■ 障害者割引制度について

注意

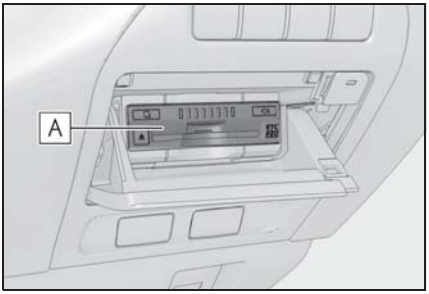
●ETC　無線走行で障害者割引の適用を受けるには、事前に福祉事務所等での手続きと、併せて有料道路事業者が設置する窓口への登録が必要になります。両方の手続きがなされていない場合、ETC 無線走行での障害者割引適用がされません。

ETC2.0 ユニットの操作

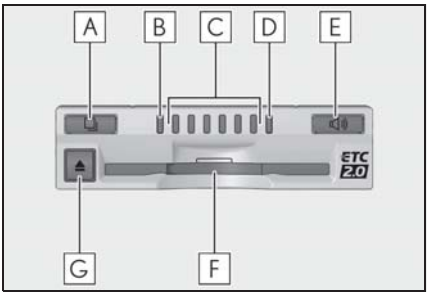
ETC2.0 ユニットについて

運転席右下にあります。
エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞をアクセサリーモードまたはイグニッションONモード＜ONモード＞にすると、ETC2.0 ユニットの電源が入ります。

● 初めて ETC2.0 ユニットをご利用される前に、ETC2.0 ユニットのセットアップ手続きが必要です。レクサス販売店にご相談ください。（セットアップ手続きには別途費用が発生します。）



A ETC2.0 ユニット



A 利用履歴確認スイッチ

B 緑ランプ

C スピーカー部

D 橙ランプ

E 音量調整スイッチ

F ETC カード挿入口

G イジェクトスイッチ

知識

●ETC2.0 ユニットは、電波法の基準に適合しています。ETC2.0 ユニットに貼りつけられているシールはその証明ですので、はがさないでください。また、ETC2.0 ユニットを分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

●お車のナンバープレートが変更になった場合は、再度 ETC2.0 ユニットのセットアップ手続きが必要になりますので、レクサス販売店にご相談ください。

●フロントウインドウガラスのよごれや積雪がひどい場合は、それらを取り除いてください。

注意

●路側無線装置との通信の妨げにならないよう、ETC2.0 ユニットのアンテナ（インストルメントパネル中央付近に内蔵されています。）の上方には物を置かないでください。

●ETC2.0ユニットの内部に異物などを入れないでください。ETC2.0 ユニットが故障するおそれがあります。

●ETC2.0ユニットに衝撃を与えないでください。ETC2.0 ユニットが、故障・破損するおそれがあります。

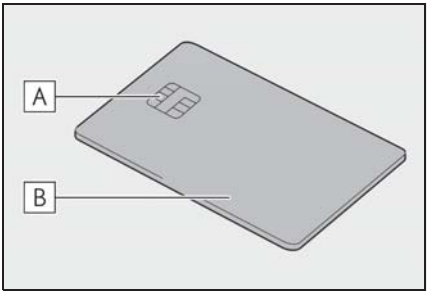
●濡れた手でETC2.0ユニットに触れたり、水（液体など）を付着させないでください。ETC2.0 ユニット内部に水が入り、故障・破損するおそれがあります。また、付着した液体の成分によっては、ETC2.0 ユニットが変形・変色・故障する場合があります。

注意

- よごれたときは、柔らかい乾いた布でよごれをふき取ってください。ワックス、シンナー、アルコールなどの薬品は絶対に使用しないでください。ETC2.0 ユニットが変形・変色・故障する場合があります。
- 車両1台に対して複数のETCユニットまたはETC2.0ユニットを取りつけると、ゲートの開閉バーが開かないことがあります。

ETC カードについて

ETC カードはお客様にて、別途お申し込みが必要です。



A 金属端子（IC チップ）

B ETC カード

注意

- ETC　カードの取り扱いについては、ETC カード発行会社の提示する注意事項にしたがってください。
- ETC カードには有効期限があります。有効期限内の ETC カードをご利用ください。
- セロハンテープ・シールなどが貼ってある ETC カードは使用しないでください。
  ETC2.0ユニットが正常に作動しなくなり、ETC カードが取り出せなくなるなど、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。
- 金属端子（IC チップ）が汚れている ETC カードは使用しないでください。
  ETC2.0ユニット内部のカード接点に汚れが転写・堆積し、ETC2.0 ユニットで ETC カードを認証できなくなるため、エラーが発生したり、開閉バーが開かなくなるおそれがあります。
  このような現象が発生した場合は、ETC2.0ユニット内部のカード接点および ETC カード接点のクリーニングを実施してください。クリーニング方法については、レクサス販売店にお問い合わせください。

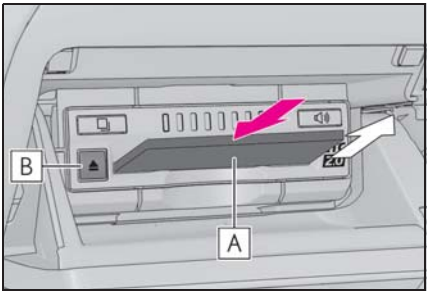
ETC2.0 ユニット内部のカード接点のクリーニング

ETC カードの金属端子部はきれいに見えても汚れている場合があります。このようなカードを使い続けると、ETC2.0 ユニット内部のカード接点に汚れが転写、堆積する場合があり、ETC2.0 ユニットで ETC カードを認証できずエラーが発生したり、ETC ゲートの開閉バーが開かなくなるおそれがあります。そのため、ETC2.0 ユニット内部のカード接点部をきれいに保つ必要がありますので、定期的にクリーニングカードでの清掃をおすすめします。以下のような症状がでた場合には、必ずクリーニングカードでの ETC2.0 ユニットの清掃と、きれいで乾いた柔らかい布での ETC カードの金属端子部の清掃を実施してください。

- ETC カード挿入時に認証エラーがでた場合
- ETC ゲートの出口で開閉バーが開かなかった場合
- 他車両のユニットでカード認証できて自車両のユニットで認証エラーが発生する場合

クリーニングカードの使用方法

1 エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を OFF にする。
2 本書に同梱されているクリーニングカードを、クリーニング面を汚さないように取り出す。
3 運転席右下のフタを開け、クリーニングカードの端を持ち、ETC2.0 ユニットにしっかりと差し込む。
4 イジェクトスイッチを押し、クリーニングカードが出てきた状態から、再度差し込む。



A クリーニングカード

B イジェクトスイッチ

5 手順 4 を 10 回繰り返す。
6 ETC2.0 ユニットからクリーニングカードを抜く。
7 クリーニングカードを本書の元の場所に戻す。

知識

- クリーニングカードは前後両面（4 箇所）使用可能です。
- クリーニングカードにふき取られた汚れは見えない場合があります。
- 汚れによってはクリーニングカードでふき取れない場合があります。

注意

- エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞をアクセサリーモードまたはイグニッションONモード＜ONモード＞にしてクリーニングカードを挿入するとエラーが発生しますので、必ずエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を OFF にして使用して下さい。
- クリーニングカードは、ほこりや湿気、汚れが付く場所に保管しないでください。クリーニングカードに付着したほこりや湿気、汚れが ETC2.0 ユニット内部のカード接点に汚れが転写、堆積するおそれがあります。
- クリーニングカードに文字などを書いたり、水や洗剤をつけたりしないでください。ETC2.0 ユニットが故障するおそれがあります。
- 汚れやほつれ、毛羽立ち、変形があるクリーニングカードは使用しないでください。
- 挿入しにくいなどの違和感があるクリーニングカードは使用しないでください。
- 以下のような場合はレクサス販売店にお問い合わせください。
  - ・クリーニングカードが使用できなくなった場合。
  - ・クリーニングカードが取り出せなくなった場合。無理に取り出さないでください。

⚠ 注意

・ETC2.0ユニット内部のカード接点を清掃しても症状が改善されない場合。

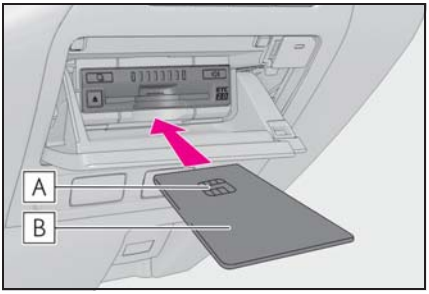
・ETC　カード側の接点部のクリーニングをしたい場合。

ETC カードを挿入する

1　エンジン<ハイブリッドシステム>を始動する。

● ETC2.0 ユニットの電源が入り、緑ランプと橙ランプが同時に点灯し、しばらくすると消灯します。

2　運転席右下のフタを開け、図のように正しい挿入方向で、ETC カードを ETC2.0 ユニットにしっかり差し込む。



A 金属端子（IC チップ）

B ETC カード

●「ピッ」とブザー音が出力され、緑ランプが点滅します。

3　ETC カードが認証される。

▶ 正しく認証された場合

● 音声案内

・ETC カード有効期限が翌月以降のとき「ポーン ETC カードが挿入されました」

・ETC カード有効期限が当月のとき「ポーン ETC　カードの有効期限は今月末です カードをお確かめください」

● 画面表示

・ETC カード有効期限が翌月以降のとき「ETC カードが挿入されました」

・ETC カード有効期限が当月のとき「ETC　カードの有効期限は今月末です カードをお確かめください」

● ETC2.0 ユニット
緑ランプが点灯したまま。

・ETC2.0 システムを利用するときは、この状態でご利用ください。
エンジン<ハイブリッドシステム>始動前または始動後約 20 秒以内に ETC カードを挿入すると音声案内および画面表示がされないことがあります。

▶ 正しく認証されなかった場合

● 橙ランプが点滅し、統一エラーコードが画面に表示されます。（→P.515）

4　運転席右下のフタを閉める。

知識

●橙ランプが点灯しているときは、ETC2.0 ユニットのセットアップ手続きができていないので使用できません。

●解約済みのETCカードをETC2.0ユニットに挿入してもエラー表示はされませんが、開閉バーは開きません。

●有効期限内の ETC カードを挿入すると、画面上部にETC2.0マークが表示されます。（→P.512）

⚠ 注意

●ETC　カードの有効期限案内機能は、ETC　カードの有効期限を確認するための補助手段として使用してください。ETC を使用する前は、必ず ETC カードに記載されている有効期限を確認してください。

注意

●ETC カードは必ずエンジン＜ハイブリッドシステム＞始動後に挿入してください。ETC カード内のデータが破損するおそれがあります。

●緑ランプが点滅中は ETC カードを抜かないでください。ETC カード内のデータが破損するおそれがあります。

●ETC2.0 ユニットや ETC カードにエラーが発生した場合は、橙ランプが点滅します。ETC 車線に設置されている開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。状況に応じて、次のように対応してください。

・統一エラーコード〔01 ～ 07〕もしくは〔11〕が画面に表示された場合は、「統一エラーコード一覧について」（→P.515）に記載されている対応方法にしたがってください。

・エンジン＜ハイブリッドシステム＞始動時にエラーが発生した場合は、いったんエンジン＜ハイブリッドシステム＞を停止させ、再度始動してみてください。それでもエラー表示が続くときは、レクサス販売店で点検を受けてください。

・ETC カード挿入時にエラーが発生した場合は、いったん ETC カードを抜き、挿入方向を確認して再度差し込んでみてください。それでもエラー表示が続くときは、レクサス販売店で点検を受けてください。

有効期限切れ通知について

ETC カードを挿入したとき、または ETC カード挿入状態でエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード＜ ON モード＞にすると、次のように有効期限切れ通知が行われます。

音声案内
「ポーン　ETC カードの有効期限が切れています」

画面表示
「ETC カードの有効期限が切れています」

● エンジン＜ハイブリッドシステム＞始動前または始動後約 20 秒以内に ETC カードを挿入すると音声案内および画面表示がされない場合があります。

ETC2.0 ユニット

ランプ表示：緑ランプが点灯したまま

知識

●ETC カードの有効期限切れ通知は、ETC2.0 の設定・編集画面（→P.513）で ETC 割込表示や ETC 音声案内を「しない」に設定した場合でも通知が行われます。

注意

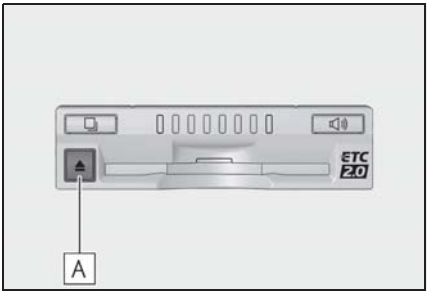
●有効期限切れ ETC カードでは、開閉バーは開きません。有効期限内の ETC カードをご利用ください。

●ナビゲーションシステムを 12V バッテリーターミナルから脱着したあとに起動した場合、GPS 情報受信後、数分間は有効期限切れ通知されないことがあります。（→P.173）

ETC カードを抜く

1 車を停車し、エンジン＜ハイブリッドシステム＞を停止させる前

にETC2.0ユニットのイジェクトスイッチを押す。



A イジェクトスイッチ

● ETC カードを抜く前に、エンジン＜ハイブリッドシステム＞を停止すると、カード抜き忘れをお知らせする音声案内が、ETC2.0ユニットより出力されます。（→P.507）

2 ETC2.0ユニットからETCカードを抜く。

知識

●ETC カードを放置してお車から離れないでください。ETCカードが盗難にあうおそれがあります。

注意

●ETC カードを放置してお車から離れないでください。車内の温度上昇により、ETC カードが変形したり、ETCカード内のデータが破損するおそれがあります。

■ カード抜き忘れ警告について

ETC カードを抜く前に、エンジン＜ハイブリッドシステム＞を停止すると、ETC2.0 ユニットから「ピーッ、カードが残っています」と音声が出力されます。

● 設定する場合は、車を停車し、ETC2.0ユニットにETCカードが挿入され、緑ランプが点灯している状態で、利用履歴確認スイッチと音量調整スイッチを同時に約 2 秒間押し続けます。操作をするごとに ON/OFF が切り替わり（ETC2.0ユニットから「ピッ」もしくは「ピッピッ」と音がします）、以後選択した設定が保持されます。

● ON/OFF の切り替え設定後、設定内容が音声にて通知されます。

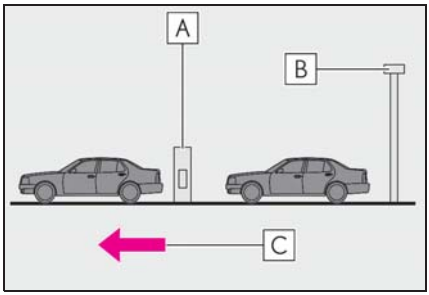
知識

●カード抜き忘れ警告のする／しないの設定は ETC2.0 の設定・編集画面（→P.513）でも行えます。

車両走行中のETC2.0ユニットの表示と音声案内について

走行中は、次のようにETC2.0ユニットのランプ表示と通知が行われます。ただし、運転者は走行中にランプ表示を見ないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ ETC ゲート（入口）、検札所、予告アンテナ、ETC カード未挿入お知らせアンテナを通過したとき



A 開閉バー

B 予告アンテナ／ETCカード未挿入

お知らせアンテナ

C 進行方向

▶ 通信が正常に行われた場合

ETC2.0 ユニット

ランプ表示：緑ランプ点灯したまま

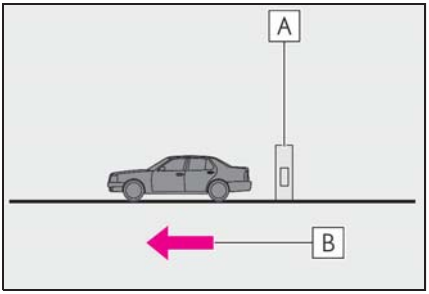
通知音※：「ピンポン」

※ETC カード未挿入お知らせアンテナを通過したときは通知されません。

▶ 通信が正常に行われなかった場合

橙ランプが点滅し、統一エラーコードが画面に表示されます。（→P.515）

■ ETC ゲート（出口／精算用）を通過したとき



A 開閉バー

B 進行方向

▶ 通信が正常に行われた場合

ETC2.0 ユニット

ランプ表示：緑ランプ点灯したまま

通知音：「ピンポン」

通行料金が画面表示と音声で案内されます。

▶ 通信が正常に行われなかった場合

橙ランプが点滅し、統一エラーコードが画面に表示されます。（→P.515）

知識

- 道路側システムにより通信が正常に行われた場合、1 つの ETC ゲートで 2 回通知されることがあります。
- 予告アンテナは、料金所の手前に設置され、ETC2.0 ユニットと通信し、ETC ゲートを利用できるかどうかを ETC2.0 ユニットを通じて運転者にあらかじめ通知するためのアンテナです。
- ETC カード未挿入お知らせアンテナは、料金所の手前に設置され、ETC2.0 ユニットと通信し、ETC2.0 ユニットに正しく ETC カードが挿入されていない場合に、ETC2.0 ユニットを通じて運転者にあらかじめ通知するためのアンテナです。
- 予告アンテナ･ETC カード未挿入お知らせアンテナは、道路側のシステムにより、設置されている場合と設置されていない場合があります。
- ETC カードを挿入していないときに、予告アンテナや ETC カード未挿入お知らせアンテナを通過した場合は、橙ランプが点滅し、「ポーン ETC ゲートを通過できません」または「ポーン ETC カードが挿入されていません」と案内されます。
  これは ETC システムが利用できないことをお知らせするもので、ETC2.0 ユニットが故障したわけではありません。
- 通行料金の画面表示・音声による案内は、割り引きなどにより実際と異なる場合があります。
  また、他のナビ案内などと重なったときは、通行料金の画面表示・音声による案内は行われない場合があります。
- ETC 無線通信ができなかった際に、再度無線通信を行うためのリカバリーアンテナが設置されている料金所があります。対応方法については、料金所係員の指示にしたがってください。

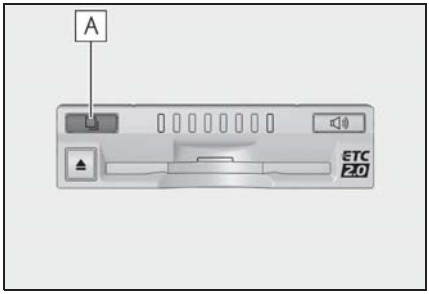
注意

- ETC ゲート進入時は、十分減速してください。進入速度が速すぎると、ETC 車線に設置されている開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ETC ゲート通過時は、ETC ゲート付近に表示されている案内にしたがって走行してください。ETC2.0 ユニットやナビゲーションシステムでは、エラーが案内されない場合があります。
- ETC ゲートの開閉バーが開かない場合は、料金所係員の指示にしたがってください。
- その他、道路事業者の発行する利用方法にしたがってください。
- ETC ゲート、検札所、予告アンテナ、ETC カード未挿入お知らせアンテナ付近では、ETC カードを抜かないでください。ETC カード内のデータが破損するおそれがあります。
- 必ず、ETC ゲート（入口）で使用した ETC カードで、ETC ゲート（出口／精算用）または検札所を通過してください。

ETC2.0 ユニットでの利用履歴を確認する

有料道路の利用日および通行料金を音声で確認できます。
ETC カードが挿入され、緑ランプが点灯している状態で停車中に利用できます。

1 利用履歴確認スイッチを押す。



A 利用履歴確認スイッチ

- 最新の利用履歴が音声で案内されます。
- 押すごとに、古い利用履歴に切り替わります。なお、最も古い利用履歴の次は、最新の利用履歴に切り替わります。
- 利用履歴発話中は、緑ランプが点滅します。
- 案内終了後、約 1 秒以上たってからスイッチを押した場合は、最新の利用履歴から案内されます。

知識

- 利用履歴は ETC カードに記録されるため、記録件数は使用する ETC カードにより異なります。（最大 100 件）
- 利用履歴は消去することができません。ただし、利用履歴の最大記録件数を超えた場合は、最も古い利用履歴が消去されます。
- 利用履歴がない場合は、「利用履歴はありません」と案内されます。
- 利用日の情報が正しくない場合は、「利用日付は不明です」と案内されます。
- 通行料金の情報が正しくない場合は、「料金は不明です」と案内されます。
- 利用履歴は画面でも確認することがで

きます。（→P.512）

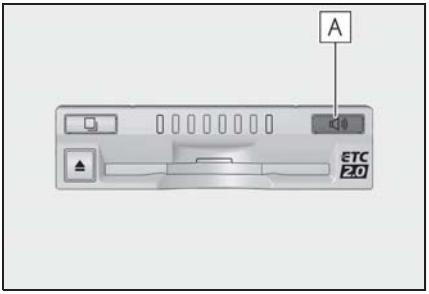
注意

●ETC ゲート付近では、利用履歴の確認を行わないでください。路側無線装置と通信ができなくなるなど、ETC 車線に設置されている開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ETC2.0 ユニットの音量を調整する

ETC2.0 ユニットから出力される音声案内の音量を調整することができます。

1 音量調整スイッチを押す。



A 音量調整スイッチ

● 音量は、スイッチを押すごとに音量 0 から音量 4 まで 1 ずつ切り替わり、音量 4 の次は音量 0 になります。

● 音量 1 から音量 4 に調整したときは、ETC2.0 ユニットから「音量○○です」と音声案内が出力されます。

● 音量 0 に調整したときは、ETC2.0 ユニットから「音声案内を中止します」と音声案内が出力されます。

知識

●ETC2.0 ユニットの音量調整は以下のような案内に有効です。
・未セットアップ状態の通知
・エラー発生時のブザー音
・カード抜き忘れ警告
・ETC2.0 ユニットでの利用履歴の確認
・ETC2.0 ユニットの音量調整時の案内

●音声案内を中止（音量 0）、または音量 1 に設定してあっても、エラー発生時には音量 2 で出力されます。

●ETC2.0 ユニットが未セットアップ状態（セットアップ手続きをしていない状態）の通知は、ETC2.0 ユニットを消音（音量 0）にすると出力されません。

ETC2.0 ユニットでセットアップ情報を確認する

ETC2.0 ユニットでのセットアップ情報を音声で確認できます。

● カード未挿入状態で ETC2.0 ユニットの電源を入れ、緑ランプと橙ランプが点灯中に利用履歴確認スイッチを押し続けると、セットアップ情報通知モードが起動します。

● セットアップ情報通知モードに入ると、車載器管理番号を通知します。その後、利用履歴確認スイッチを押す毎に、型式登録番号、型式、ETC セットアップカード発行年月日、DSRC セットアップカード発行年月日の順に通知します。DSRC セットアップカード発行年月日の通知の後に利用履歴確認スイッチを押すと、車載器管理番号の通知に戻ります。

● セットアップ情報通知モード起動

後は、以下の操作を行うことによりモード状態を抜け、ETC2.0 ユニットは通常の動作となります。

・ETC カード挿入

・エンジンスイッチ<パワースイッチ>の操作

・セットアップ情報通知の発話終了から約 1 分後

ETC2.0 画面の操作

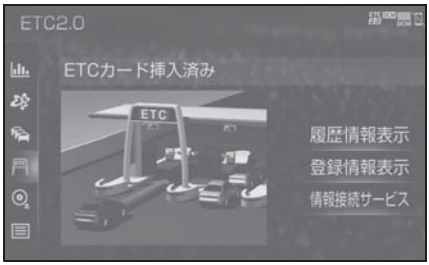
ETC2.0 画面を表示する

1 リモートタッチの“MENU”ボタンを押す。

2 “情報”を選択。

3 サブメニューの“ETC2.0”を選択。

4 ETC2.0 画面が表示される。



ETC2.0 メッセージについて

現在の ETC2.0 ユニットの状態が表示されます。

メッセージ	状態
ETC カード確認中	ETC カードを読み込んでいます。
ETC カード挿入済み	ETC カードが挿入されていることを確認しました。
システム異常	ETC2.0 ユニットまたは ETC アンテナに何らかの異常が発生しています。
ETC カード異常	ETC カードを読み込むことができませんでした。
ETC カード未挿入	ETC カードが挿入されていません。

メッセージ	状態
未セットアップ	ETC2.0 ユニットがセットアップされていません。
セットアップ完了	ETC2.0 ユニットがセットアップされました。

ETC 割込表示について

有料道路にある ETC ゲートを通ったときや、エラーが発生したときに表示されます。

ETC カードを ETC2.0 ユニットに挿入したときの認証状態や、ETC カードの有効期限が切れている、または当月末で切れるときは、表示とともに音声でも案内されます。

知識

- 地図を表示しているときの通行料金案内は、通知設定画面の ETC 割込表示（→P.513）を「しない」に設定しているときでも、画面左上に表示されます。
- 表示される通行料金は道路事業者の割り引きなどにより実際と異なる場合があります。
  また、他のナビ案内などと重なったときは、通行料金の割込表示・音声による案内は行われない場合があります。
- ETC カードの認証や有効期限切れ案内は、エンジン<ハイブリッドシステム>始動前または始動後約 20 秒以内に ETC カードを挿入すると、音声案内および画面表示がされない場合があります。

ETC2.0 マーク表示について

ETC カードを挿入すると、画面上部に ETC2.0 マークが表示されます。

A ETC2.0 マーク表示

- ETC2.0 マーク表示はカード挿入状態を表しており、必ずしも ETC ゲートを通過できることを表してはいません。
- ETC カードの有効期限が切れている場合は、ETC2.0 マークは表示されません。
- ナビゲーションシステムを 12V バッテリーターミナルから脱着したあとに起動した場合、GPS 情報受信後、数分間は ETC2.0 マークが表示されないことがあります。（→P.173）

履歴を表示する

1 ETC2.0 画面を表示する：

- リモートタッチの “MENU” ボタン → “情報” → サブメニューの “ETC2.0” を順に選択。

2 “ 履歴情報表示 ” を選択。

3 履歴表示を切り替える。

“ 最新 ” ：最新の履歴に戻る

“ 詳細 ” ：利用区間を表示する

知識

- 表示させることができる履歴は、ETC カードに記録されるため、記録件数は使用する ETC カードにより異なります。（最大 100 件）

●道路事業者の設定する料金所情報に追加・変更があった場合、利用区間が正しく表示されないことがあります。

⚠注意

●ETC ゲート付近で履歴を表示させると、路側無線装置との通信ができなくなるなど、ETC 車線に設置されている開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

統一エラーコードを表示する

最後に発生した統一エラーコードが確認できます。

1 ETC2.0 画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “情報” → サブメニューの “ETC2.0” を順に選択。

2 エラー発生時、“ 登録情報表示 ” を選択。

ETC2.0 登録情報を表示する

お客様の車の ETC2.0 ユニットに登録された情報が表示されます。

1 ETC2.0 画面を表示する：

● リモートタッチの “MENU” ボタン → “情報” → サブメニューの “ETC2.0” を順に選択。

2 “ 登録情報表示 ” を選択。

● エラー発生時は、最後に発生した統一エラーコードも表示されます。

ETC の通知設定をする

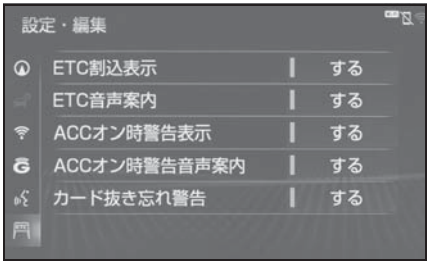
1 リモートタッチの “MENU” ボタンを押す。

2 “ 設定・編集 ” を選択。

3 サブメニューの “ETC2.0” を選択。

4 設定したい項目を選択。

● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。



次の設定を変更することができます。

項目	内容
ETC 割込表示	「ETC 割込表示」(→P.512)
ETC 音声案内	ETC2.0 ユニットを利用するときに、音声を出力します。
ACC オン時警告表示	エンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF からアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にしてから約 20 秒以上経過したとき、カードの差し忘れなどを画面に表示して警告します。

項目	内容
ACC オン時警告音声案内	エンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF からアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にしてから約 20 秒以上経過したとき、カードの差し忘れなどを音声で警告します。
カード抜き忘れ警告	ETC カードが挿入されている状態で、エンジンスイッチ<パワースイッチ>をアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>から OFF にしたとき、カードの抜き忘れを ETC2.0 ユニットからの音声で警告します。

知識

- 通知設定画面で ETC 割込表示を「しない」に設定すると、エラー発生時に統一エラーコードが画面表示されません。ETC2.0 画面の “ 登録情報表示 ” で確認してください。（→P.513）
- ナビゲーションシステムを 12V バッテリーターミナルから脱着したあとに起動した場合、「ACC オン時警告表示」及び「ACC オン時警告音声案内」の、画面表示と音声案内がされないことがあります。また、ETC2.0 ユニットから音声案内がされることがあります。

エラーコードについて

統一エラーコード一覧について

エラーが発生すると、統一エラーコードが画面に表示されます。

この場合は、次の表にもとづき、処置をしてください。

（例）エラー 01 が発生したときは、次のように音声で案内されると同時に、統一エラーコードが画面に表示されます。

音声案内：「ポーン ETC カードが挿入されていません」

画面表示：「ETC カードが挿入されていませんコード〔01〕」

統一エラーコード	異常状態	想定される要因	処置
01	ETC カード挿入異常	●ETC カードが通信時に挿入されていない ●ETC カードの挿入状態が悪い	ETC カードの挿入状態をご確認のうえ、再度挿入してください。
02	ETC カード読込異常	●ETC カードからの読込エラー ●ETC カードと ETC2.0 ユニットの接点不良（ETC カードアクセス中の瞬断） ●読出し中に ETC カードが排出された	[ETC カード挿入時] 挿入された ETC カードのデータが読み出せませんでした。再度挿入してください。それでも異常のときは、レクサス販売店へお問い合わせください。 [ETC ゲート通過前] 料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。 車両停止後、料金所係員の指示にしたがってください。 [ETC ゲート通過後] 次の料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。料金所係員のいる一般車線（ETC ／一般共用車線を含む）へ進入してください。

統一エラーコード	異常状態	想定される要因	処置
03	ETC カード異常	●ETC カードが故障している ●ETC カードと ETC2.0 ユニットの接点不良 ●ETC カード以外のカードが挿入され、通信しない ●ETC カードの誤挿入（裏面、挿入方向違い）	挿入されたカードが ETC カードであることを認識できませんでした。正しい ETC カードであること、および挿入方向などをご確認のうえ、再度挿入してください。 それでも異常のときは、レクサス販売店へお問い合わせください。
04	ETC2.0 ユニット故障	自己診断結果により、ETC2.0 ユニットが故障している	再度エンジン<ハイブリッドシステム>を始動してみてください。それでも異常のときは、レクサス販売店へお問い合わせください。
05	ETC カード情報の異常	●ETC カードとの認証エラー ●ETC カードと ETC2.0 ユニットの接点不良 ●ETC カード以外の IC カードが挿入された ●認証中に ETC カードが排出された ●未セットアップ状態での ETC カードの挿入	挿入されたカードが ETC カードであることを認識できませんでした。正しい ETC カードであること、および挿入方向などをご確認のうえ、再度挿入してください。 それでも異常のときは、レクサス販売店へお問い合わせください。

統一エラーコード	異常状態	想定される要因	処置
06	ETC2.0 ユニット情報の異常	路側無線装置との認証エラー	ETC2.0 ユニットと料金所間におけるデータ処理にエラーが発生しました。料金所係員の指示にしたがってください。
07	通信異常	路側無線装置との通信が途中で終了	
	アンテナ接続異常	ETC アンテナの結線が外れている場合	カードを抜くと異常警告が止まります。ETC の利用を中止して、レクサス販売店へお問い合わせください。
11	ETC カード書込異常	●ETC カードへの書込エラー ●ETC カードと ETC2.0 ユニットの接点不良（ETC カードアクセス中の瞬断） ●書込中に ETC カードが排出された	[ETC ゲート通過前] 料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。 車両停止後、料金所係員の指示にしたがってください。 [ETC ゲート通過後] 次の料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。料金所係員のいる一般車線（ETC ／一般共用車線を含む）へ進入してください。

知識

●以下の設定にした場合は、エラーが発生しても音声案内は出力されません。ETC2.0 ユニットからブザー音のみが出力されます。
・ETC2.0 の設定・編集画面で、ETC 音声案内（→P.513）を「しない」に設定したとき
・ナビゲーションの音量設定画面（→P.132）で、「消音」に設定したとき

●ETC　カード未挿入お知らせアンテナなどと通信した際に、統一エラーコード〔01〕と通知されることがありますが、ETC2.0 ユニットの故障ではありません。

●ETC2.0　ユニットの無線通信を利用して、駐車場管理システムが運用されています。有料道路の料金支払いと異なる通信を行った場合、画面表示・“登録情報表示”　で確認できる統一エラーコードが〔01〕もしくは〔07〕と表示されることがありますが、ETC2.0 ユニットの故障ではありません。

●ETC　ゲート通過後にエラーが発生した場合、ETC カードを抜くとエラー音が停止します。
この場合、再度 ETC カードを挿入すると、「ポーン ETC カードが挿入されました」の音声と同時に緑ランプが点灯しますが、次の料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。

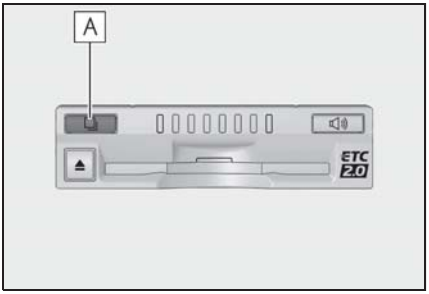
●統一エラーコード〔02〕、〔03〕、〔05〕、〔11〕が発生した場合、ETC2.0 ユニット内部のカード接点や ETC カード接点のクリーニングが必要となる場合があります。クリーニング方法についてはレクサス販売店にお問い合わせください。

記録されている統一エラーコードを確認する

ETC2.0 ユニットは、最後に発生した統一エラーコードを記録しています。

1 ETC カードが挿入されている場合は、ETC カードを抜く。

2 利用履歴確認スイッチを約 2 秒以上押す。



A 利用履歴確認スイッチ

● 最後に案内された統一エラーコードが音声で案内されます。
なお、統一エラーコードの確認は、ETC2.0 画面でも行うことができます。（→P.513）

さくいん

五十音順さくいん..... 520
アルファベット順さくいん..... 527

五十音順さくいん

あ

アラーム通知 452
暗証番号 204, 488
安全・快適走行の設定 166

う

迂回 142, 147

え

エージェント（音声対話サービス）. 341
エージェントを利用する 478

お

オーディオ & ビジュアル
- オーディオシステムを ON/OFF する . 184
- 基本操作 184
- 使用できるメディア / データについて 301
- 操作画面とオーディオコントロールスイッチ..... 184
- ソースを選択する 185

オーディオスイッチ
- オーディオコントロールスイッチ 184

オーディオの設定 236
- BD/DVD の初期設定をする 243
- オーディオ設定画面について 236
- 共通設定をする 236
- サウンドライブラリの設定をする 237

お車を手放すとき 390
音の設定を変更する 189
音声操作システム 340
音声について 391
音声認識画面 342
音声認識コマンド一覧 344
音声認識の設定をする 351
オンライン詳細設定 489
- オンライン詳細設定を変更する 490
- サポートアドレスを確認・変更する...489

音量調整ツマミ 184

か

画質調整 191
画質調整画面を表示する.....57
画面モードについて 190
簡易画面について 405
- TEL 音声画面.....405
- サイド画面.....405

き

共通設定を変更する 55
- 画面の調整・設定を変更する 57
- 共通設定画面を表示する 55
- 個人情報の初期化について 58
- ソフトウェア更新について 58
- 時計を調整する 56

緊急警報放送（EWS）.....218
緊急通報 437

く

クリーニングカードについて（ETC2.0）.....503
クリーニングカードの使用方法（ETC2.0）.....504

け

契約内容・契約者情報の確認・変更 491
現在地の修正 162
検索した地図の操作 115
- 施設の内容を表示する 116
- 住所で絞り込む.....117
- 地図の位置を変更する 115
- 提携駐車場を検索する 116
- ピンポイント検索について 115

こ

後席 11.6 型ワイドディスプレイ ... 247
AUX の操作 291
AVCHD の操作 269
BD/DVD の操作について 262
BDAV/AVCREC の操作..... 268
BD データの削除 290
BD ビデオの操作 265
Bluetooth オーディオの操作について 278
CD の操作 259
DLNA 機器の接続..... 292
DLNA の操作について 291
DLNA の操作（音楽ファイル）..... 293
DLNA の操作（写真）..... 294
DLNA の操作（動画ファイル）..... 293
DVD/Blu-ray の初期設定をする..... 272
DVD-VR の操作 264
DVD の操作 262
HDMI の操作..... 291
iPod の操作 277
Miracast 対応機器について 295
Miracast 対応機器の接続 295
Miracast の接続を切る 296
Miracast の操作について 295
SD メモリーカードの初期化..... 290
SD メモリーカードの操作（音楽ファイル）
..... 284
SD メモリーカードの操作（再生モードの選択）..... 283
SD メモリーカードの操作（写真）..... 285
SD メモリーカードの操作（動画ファイル）
..... 286
SD メモリーカードの操作について ... 283
USB メモリーの操作（音楽ファイル）275
USB メモリーの操作（動画ファイル）276
USB メモリーの操作について 275
液晶 AI..... 298
各部の名称.....248
画質の調整.....298
画面消.....298
画面モードの切り替え 298
後席 11.6 型ワイドディスプレイについて
.....247
後席ディスプレイ設定画面の表示.....297
サウンドライブラリの操作 274
地上デジタルテレビを視聴する.....280
超解像.....299
ディスプレイの角度調整 299
メニュー項目を操作する 271
ラジオの操作.....258
交通ナビ関連情報について.....106
個人情報初期化 58

さ

サイド画面
オーディオの操作 17
ナビの操作.....17
サブファンクションボタン.....13
サブメニューについて.....18
サブメニューを表示する 18

し

自車位置マークがずれているとき ...162
自宅を登録する 26
自宅を目的地に設定する 26
車両設定を変更する 63
車両設定画面を表示する 63
メンテナンス項目を設定する 63
渋滞予測情報を表示する.....474
情報画面について 23
初期画面について 28
システムを再起動する 28
メンテナンスの案内表示について.....28

す

ステアリングスイッチで操作する（オーディオ）..... 232
ステアリングスイッチで操作する（ハンズフリー）..... 395
ステータスアイコン
Bluetooth 機器の接続状態表示について 21
受信レベル表示について..... 20
電池残量表示について..... 20
ステータスアイコンについて 19

せ

設定・編集（ETC2.0）..... 513
設定・編集（G-Link）..... 486
設定・編集（オーディオ）..... 236
設定・編集（音声認識）..... 351
設定・編集（電話）..... 407
設定・編集（ナビ）..... 152
設定画面について..... 22
設定・編集画面を表示する..... 22
設定を変更する..... 55
画質・消..... 57
決定音通知..... 55
検索履歴の削除..... 55
個人情報初期化..... 58
失敗音通知..... 55
スタートアップサウンド..... 55
スタートアップサウンド音量..... 55
選択音通知..... 55
操作音音量設定..... 55
操作画面継続表示..... 55
ソフトウェア更新..... 58
ソフトウェア更新設定..... 62
タッチパッド振動設定..... 55
テーマ切替..... 55
時計調整..... 56
ポインタ速度設定..... 55
マルチタッチ有効 / 無効設定..... 55
文字学習履歴の削除..... 55
文字学習履歴の保存..... 55
全ルート図表示について
全ルート表示画面..... 121

そ

走行軌跡..... 80
ソフトウェア更新..... 58
USB メモリーを使って更新する..... 59
ソフトウェア更新設定を変更する..... 62
本機の通信機能を使って更新する..... 60

た

タッチパッドの操作..... 29

ち

地上デジタルテレビの操作..... 211
各種切替画面について..... 217
緊急警報放送 (EWS) について..... 218
サブメニューの操作をする..... 213
初回起動時について..... 211
デジタル TV を視聴する..... 212
地図画面について..... 70
地図画面の見方..... 70
地図画面を操作する..... 24
地図に現在の車の位置を表示する..... 24
地図を動かす..... 24
地図を拡大／縮小する..... 24
地図更新..... 465
地図データ情報..... 175
地図データの更新について..... 176
地図データベースについて..... 176
データベースの情報を見る..... 175
地図の表示 / 設定..... 73

DSSS（Driving Safety Support Systems）運転支援機能について 82
現在の車の位置を表示する 73
高速分岐案内表示について 86
市街図を表示する 74
施設記号を表示する 77
施設の情報を表示する 77
走行した経路を表示する（走行軌跡）... 80
近くの施設を検索する 78
地図記号・地図表示について 80
地図のスケール（縮尺）を切り替える . 73
地図のスケール表示について 74
地図の向きについて 75
地図の向きを切り替える 75
地図を動かす 76
ハイウェイモードについて 84
表示変更画面 76
立体ランドマーク施設情報を表示する . 79

つ

通信設定 486
通信モジュール（DCM）について . 419
通話中の操作 402
受話音量を調整する 403
送話音量を調整する 404
送話音をミュート（消音）する 404
通話中画面 403
通話を転送する 404
10 キー入力する 403
ナビ音声案内をミュート（消音）する 404
割込通話を操作する 404

て

ディスクの出し入れ 187
ディスプレイと操作スイッチ 10
デジタルテレビ 211
デジタルテレビ用アンテナ 186
電子番組表（EPG）.....214
電話帳を編集する 408
携帯電話の電話帳データを転送する...409
電話帳に新規データを追加する.....412
電話帳のデータを削除する 413
電話帳のデータを修正する 412
履歴のデータを削除する 412
ワンタッチダイヤルを削除する.....412
ワンタッチダイヤルを登録する.....411
電話を受ける 399
着信を拒否する 400
電話に出る 399
電話を保留する（応答保留）.....400
電話をかける 396, 401
音声認識で発信する 401
携帯電話本体から発信する 401
ダイヤル発信する 398
電話画面を表示する 396
電話帳から発信する 398
ナビ画面から発信する 401
履歴から発信する 397
ワンタッチ発信する 398
電話を切る 399

と

到着予想時刻 129
時計を調整する 56
取り出しスイッチ 187

な

ナビゲーションについて 68
知っておいていただきたいこと.....68
ナビゲーション用アンテナ（GPS アンテナ）について 68
ナビゲーションの設定.....152
案内表示設定をする 154

音声設定をする 157
自動表示切替を設定する..... 154
その他の設定をする..... 161
地図表示設定をする..... 152
ナビの詳細設定画面を表示する 152
ルート系設定をする..... 158
ナビ設定を記憶する..... 163
ナビ設定を呼び出す..... 164
ナビの設定を記憶して使う（ユーザーカスタマイズ）..... 163

に

入力端子
AUX..... 187
USB..... 187

は

ハイブリッドナビ..... 468
パノラミックビューモニター 356
拡大機能について 375
カメラスイッチ 356
シースルービュー／ムービングビューについて..... 360
ドアミラー格納時の表示について 374
パノラミックビュー＆サイドクリアランスビュー／コーナリングビューについて 364
パノラミックビュー＆バックビュー／ワイドバックビューについて..... 368
パノラミックビュー＆サイドクリアランスビュー／コーナリングビュー の表示364
パノラミックビュー＆ワイドフロントビューについて 361
パノラミックビューモニターについて 356
ボディカラーを設定する..... 360
ハンズフリーについて 390
ハンズフリーが使用できないとき 390
ハンズフリーの準備をする.....392
Bluetooth 接続の再接続について.....394
携帯電話を接続する 392
携帯電話を登録する 392
通信モジュール（DCM）の使用について 394
ハンズフリーの設定をする 392
ハンズフリーの設定を変更する.....407
音の設定をする.....407
電話帳の設定・編集をする 408
電話の設定・編集をする 407
電話の通知設定を変更する 407

ふ

プライバシー設定 486
通信ロックを使う 487
プライバシー設定を変更する 486
ブレーキホールド作動中の動画視聴 191
分割画面の操作について.....16
各部の名称とはたらき 16
サイド画面.....17

へ

ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）.....433
各部の名称とはたらき 433
緊急通報できない場合 447
緊急通報をする.....437
故障とお考えになる前に 448
サービス開始操作をする 436
表示灯について 445
保守点検をする.....442

ほ

ポータブルオーディオ.....225, 227

ま

マップオンデマンド（地図差分更新）
.....460
故障とお考えになる前に.....467
地図を更新する.....465
マップコード.....114
マルチインフォメーションディスプレイとナビゲーションシステムの連携...35

め

メニュー画面について.....14
オンカーソルショートカットの使い方.15
メニュー画面の操作.....14
メモリ地点を登録する.....143
迂回メモリを登録する.....147
自宅を登録する.....143
特別メモリを修正する.....144
特別メモリを消去する.....145
特別メモリを登録する.....144
メモリ地点登録・編集画面を表示する143
メモリ地点の情報を修正する.....148
メモリ地点をグループで絞り込む.....150
メモリ地点を修正する.....146
メモリ地点を消去する.....146
メモリ地点を登録する.....145
メンテナンス項目を設定する
販売店の設定をする.....65

も

目的地案内の開始 / 中止.....125
目的地案内を開始する.....125
目的地案内を中止する.....125
目的地の検索.....108
施設で検索する.....114
ジャンルで検索する.....112
住所で検索する.....113
電話番号で検索する.....113
マップコードで検索する.....114
目的地検索画面.....108
目的地検索画面を表示する.....108
読みまたは名称で検索する.....109
履歴で検索する.....115
目的地を設定してルート探索.....118
自宅を目的地に設定する.....120
地図画面から目的地を設定する.....119
特別メモリ地点を目的地に設定する...120
メモリ地点を目的地に設定する.....120
目的地検索画面から目的地を設定する118
目的地候補情報から目的地を設定する118
文字・数字の入力のしかた
入力モードの切り替え.....32
予測変換候補を表示する.....32
モバイル音声認識の操作.....352

ら

ラジオの操作.....192
交通情報を聴く.....192
サブメニューの操作をする.....193
ラジオを聴く.....192
ワイド FM(FM 補完放送) について...193
ラジオ用アンテナ.....186

り

リスト画面の操作.....31
複数の候補から項目を選ぶ.....34
リスト画面.....33
リモートセキュリティ設定.....490
リモートタッチを操作する.....29
タッチパッドの操作.....29
タッチパッドの操作方法.....30
リモートタッチの操作.....12
各部の名称とはたらき.....12
リモートメンテナンスサービス.....457

e ケア 458
G- カスタマイズ 458
ウォーニング通知 457
リモートメンテナンスメール 457
リヤマルチオペレーションパネル... 233
オーディオ操作画面を表示する 233
オーディオソースを選択する 234
オーディオを操作する..... 234
ショートカットスイッチ..... 235
リヤマルチオペレーションパネルで操作する..... 233
利用手続きをする（G-Link)..... 423
お車を手放す際にすること 425
解約手続きについて..... 424
解約手続きをする 424
利用開始操作をする..... 423

る

ルート案内について 125
案内画面について 125
音声案内について 130
音声案内の音量を設定する 132
全ルート図を表示する..... 129
到着予想時刻・残距離表示を切り替える 130
到着予想時刻について..... 129
料金案内について 129
ルート案内をする..... 25
目的地を決める 25
目的地を消去する 25
ルート案内を中止する..... 25
ルートの再探索..... 133
ルートの再探索方法を選ぶ 133
ルートを自動で再探索する 133
ルートを変更する..... 135
季節規制区間の迂回ルートを探索する 142
探索条件を変更する..... 136
通過する道路を設定する 140
出入り口 IC（インターチェンジ）を指定する 139
目的地の順番を並び替える 137
目的地を消去する 138
目的地を追加する 137
ルート変更画面を表示する 135
ルート変更画面 136

れ

レクサスオーナーズデスク.....471
レクサス緊急サポート２４.....459

次の装備は、別冊「取扱説明書」をお読みください。

・エアコン
・Harmonious Driving Navi.
・車両カスタマイズ
・ドライブモードカスタマイズ
・燃費情報
・エネルギーモニター（LS500h）

アルファベット順さくいん

A

AM ラジオ 192
ASL 189
AUDIO ボタン 185
AUX/USB 端子について 187
AUX の操作 230
AUX を再生する 230
サブメニューの操作をする 230

B

BD/DVD の操作..... 197
BD/DVD の操作について..... 204
BD/DVD を再生する 198
サブメニューの操作をする 201
ディスクの出し入れ 187
メニュー項目を操作する 200
Bluetooth オーディオの操作..... 227
Bluetooth オーディオについて 227
Bluetooth オーディオを再生する 228
サブメニューの操作をする 229
Bluetooth 機器を初期登録する.... 36
Bluetooth オーディオと同時使用するとき..... 40
Bluetooth オーディオの機器を登録する 38
Bluetooth 機器を登録する 36
Bluetooth 携帯電話について 39
Bluetooth の仕様、対応プロファイルについて 38
Bluetooth の設定をする 41
Bluetooth オーディオとの接続方法を設定する..... 44
Bluetooth 電話機の登録を削除する 41
Bluetooth の各種設定をする 41
携帯電話の名称を変更する 44
自動で着信拒否する 45
使用する通信機器を選択する 42
セキュリティを設定・解除する .45
通信モジュールの発信制限をする 46
電話機詳細情報の確認・設定をする 42
電話帳制限をする.....46
電話帳データを通信モジュールでも利用する 47
登録してある電話帳を DCM の電話帳として利用する.....44
本機の Bluetooth 情報を編集する 47
Blu-ray プレーヤーについて 308

C

CD タイトル情報取得 484
CD の操作.....195
CD を再生する 195
サブメニューの操作をする 196
ディスクの出し入れ.....187

D

DSSS（Driving Safety Support Systems）.....82

E

EPG 214
ETC2.0 画面の操作.....511
ETC2.0 画面の表示.....511
ETC2.0 登録情報の表示.....513
ETC2.0 マーク表示.....512
ETC2.0 メッセージ.....511
ETC の通知設定.....513
ETC 割込表示.....512
統一エラーコードの表示 513, 515
履歴表示 512

ETC2.0 サービスについて 496
ETC2.0 システム 496
ETC2.0 ユニットの操作 502
ETC2.0 ユニットについて..... 502
ETC カードについて..... 503
ETC カードを挿入する..... 505
ETC カードを抜く 506
音量調整..... 510
クリーニングカードについて.. 503
クリーニングカードの使用方法504
セットアップ情報の確認 510
表示と音声案内 507
有効期限切れ通知 506
利用履歴の確認 509
ETC サービスについて 498
ETC を利用する前に..... 498
e ケア 458

F

FM ラジオ 192

G

G-BOOK Viewer 428
G-Link の設定..... 486
オンライン詳細設定 489
設定・編集画面を表示する 486
通信設定..... 486
プライバシー設定 486
リモートセキュリティ設定 490
G-Link トップ画面 426
G-Link 画面の使い方 426
G-Link について 421
GPS について 173
GPS 情報について 173
自車位置マークがずれているとき
..... 175
ナビの精度について 173
G-Security 450
アラーム通知 452
うっかり通知 453
エンジン始動通知.....453
カーファインダー.....457
警備員の派遣 456
車両の位置追跡 456
初期設定の確認・変更.....451
リモートイモビライザー.....454
リモート確認 454
リモート操作 455
G- カスタマイズ.....458
G 情報マーク 430
G 情報マークを非表示にする ..430
施設の情報を表示する.....430
G メモリ地点情報 427
G メモリ地点情報を表示する ..427
G ルート探索
（プローブ情報付）.....469

I

iPod について.....320
iPod の操作.....225
音楽ファイルを再生する.....225
サブメニューの操作をする 226

L

LEXUS Apps を使用する.....481

M

MAP ボタン 12
Miracast の操作.....231
Miracast の画面表示について .232
Miracast を操作する 231
機器を接続する 231
接続できる機器について 231

P

PWR・VOL ノブ..... 184, 429

S

SD カードの操作..... 205
SD メモリーカードの出し入れ 188
音楽ファイルを再生する 206
サブメニューの操作をする 208
動画ファイルを再生する 207
録音する..... 205
録音についての注意 205
SD メモリーカードについて 318
SD メモリーカードの出し入れ ... 188

U

USB メモリーについて..... 322
USB メモリーの操作..... 221
音楽ファイルを再生する 221
サブメニューの操作をする 223
動画ファイルを再生する 222

V

VICS・交通情報を使う..... 87
VICS 記号・表示について..... 104
VICS 図形情報･文字情報を表示する 90
VICS について 96
VICS 放送局を選択する 95
VICS･ETC2.0(ITSスポット)･DSSS の問い合わせ先 98
VICS・交通情報について..... 87
VICS・交通情報の表示設定..... 89
VICS 記号の内容を表示する 89
VICS センター著作権..... 98
VICS の用語 98
気象・災害情報を表示する 91
緊急情報を表示する.....91
知っておいていただきたいこと105
渋滞・規制音声案内について 90
渋滞・規制音声案内を再出力する 90
新旧ルートを比較して表示する .95
タイムスタンプについて 88
割込情報（ビーコン即時案内）を表示する 91
割込情報の表示設定を変更する .94

W

WEB で目的地を検索する 477
Wi-Fi 設定について 49
Wi-Fi 機器使用上の注意事項について 50
Wi-Fi 通信設定をする.....50
Wi-Fi について 49

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章　総則

（約款の適用）

第 1 条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 147 条の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

第 2 条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

第 3 条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

（1）　VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

（2）　VICS サービス契約
当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約

（3）　加入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者

（4）　VICS デスクランブラー
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章　サービスの種類等

（VICS サービスの種類）

第 4 条　VICS サービスには、次の種類があります。

（1）　文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

（2）　簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

（3）　地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICS サービスの提供時間）

第 5 条　当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第 3 章　契約

（契約の単位）

第 6 条　当センターは、VICS デスクランブラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）

第 7 条　VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）

第 8 条　VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICS サービスの種類の変更）

第 9 条　加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第 4 条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）

第 10 条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）

第 11 条　当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

（1）　加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

（2）　加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）

第 12 条　当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。

2　第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしま

せん。

第４章　料金

（料金の支払い義務）

第 13 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第５章　保守

（当センターの保守管理責任）

第 14 条　当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）

第 15 条　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。

2　当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。

ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第６章　雑則

（利用に係る加入者の義務）

第 16 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）

第 17 条　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは、当該変更においても、変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2　VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

［別表］

視聴料金 300 円（税抜き）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

「個人情報保護方針」については、http://lexus.jp にて掲載しております。

オ-51

M50G50
01999-50G50
NAC-2017年12月13日
2017年10月19日初版
2017年12月20日２版
LS500